

平成29年度版

筑波大学年次報告書

国立大学法人  
筑波大学

## はじめに

国立大学は法人化以降、自主的かつ柔軟な運営を進める一方、国の財政状況の悪化などの影響により、その経営環境は厳しさを増している。また、激変するグローバル社会の中では、様々な地球規模課題の解決が求められており、国立大学は「知の拠点」として、大きな期待と同時に厳しい視線を社会から注がれている。このような状況にあつて、国立大学は不断に改革を進めて行かなければならない。経営の効率化を推進し、優れた研究・教育・社会貢献の成果を創出して社会の負託に応えていくことが、私たちに課せられた重要な責務である。

また、国立大学は、法人評価や認証評価などの外部評価によって、活動の成果をこれまで以上に厳しく問われており、これに的確に応えるためには、絶えず自らの活動を点検・評価し、更なる改善に結び付けていく自律的な評価・改善プロセスの確立が不可欠である。筑波大学は、この自己点検・自己評価を開学以来一貫して実施し、その集大成として毎年度この年次報告書をまとめており、これまでに作成した報告書は、本学の歩みを記す貴重な財産となっている。

第3期中期目標期間（平成28年度～33年度）の2年目にあたる平成29年度においては、開学以来の本学の強みである「学際性」と「国際性」を両輪とした中期目標・中期計画の達成に向け、知の創出と継承、すなわち研究とそれを継承する人材育成について、将来に対するしっかりした展望を持って臨むことを念頭に、研究教育の質の向上及び業務運営の改善・効率化に係る施策を実施した。

「新構想大学」から「未来構想大学」へ。筑波大学は、地球規模課題の解決に貢献できるグローバル人材の育成を目指し、幅広い研究教育を展開する総合大学の強みを活かしつつ、トランスボーダー大学の先駆者として国境や機関、制度といった様々な「壁」を越えた連携により、研究・教育を一層充実しているところである。これを加速するためには、本学の置かれている状況や自らの活動成果を常に的確かつ客観的に把握しておくことが必要不可欠である。本年次報告書が、その基礎資料として本学の改革・改善のために大いに活用されることを期待したい。

平成30年11月

筑波大学長 永 田 恭 介

# 目 次

<b>I 総論</b>			
1	本学の自己点検・評価	1	
2	中期計画の全体的な実施状況	1	
<b>II 各教育研究組織の評価結果</b>		30	
<b>III 各種資料</b>			
1 管理運営関係			
(1)	沿革	65	
(2)	運営組織等	71	
(3)	制定改廃法人規則等	73	
(4)	主要行事	89	
(5)	役員・役職教員名簿	94	
(6)	役員・教職員数	100	
(7)	予算決算	102	
2 教育関係			
(1)	学年暦	110	
(2)	学生数	111	
(3)	授業科目数及び授業担当教員数	118	
(4)	卒業・修了者等数	120	
(5)	特別支援学校教員資格認定試験	134	
(6)	学生の身分異動	135	
(7)	入学者選抜	137	
3 研究関係			
(1)	紀要等発行状況	148	
(2)	各種受賞	156	
(3)	科学研究費助成事業採択状況	174	
(4)	研究プロジェクト支援経費	244	
(5)	その他の研究費	257	
(6)	各種研究費年度別取得状況	260	
(7)	日本学術振興会特別研究員採用状況	261	
(8)	工業所有権等	261	
4 学内共同教育研究施設等関係			
(1)	学内共同教育研究施設等勤務教職員数	262	
(2)	学内共同教育研究施設等利用概況	263	
(3)	理療科教員養成施設	270	
5 学生生活関係			
(1)	学生の表彰	271	
(2)	学生の懲戒	289	
(3)	学生の交通事故	289	
(4)	福利厚生施設	290	
(5)	奨学生数	291	
(6)	アルバイト	294	
(7)	学生団体数及び加入者数	294	
(8)	課外活動団体の主な成績	295	
(9)	就職等	302	
6 国際交流関係			
(1)	教職員等の交流	311	
(2)	学生の交流	312	
(3)	国際交流協定	314	
(4)	国際会議等の開催	328	
(5)	国別交流者数	332	
7 社会連携・大学公開関係			
(1)	社会貢献プロジェクト	333	
(2)	地方自治体との連携協定	334	
(3)	高大連携事業一覧	335	
(4)	公開講座実施状況	337	
(5)	教員免許状更新講習	339	
(6)	大学会館施設利用状況	340	
(7)	視察・来訪者	341	
(8)	広報刊行物等	345	
8 医療・保健関係			
(1)	附属病院	357	
(2)	保健管理センター	359	
9 附属図書館関係			
(1)	利用統計	365	
(2)	基盤統計	366	
(3)	推移	367	
(4)	オリエンテーション・講習会	368	
10 施設・環境関係			
(1)	平成29年度施設整備状況(竣工ベース)	369	
(2)	施設所在地	373	
(3)	大学構内施設配置図	374	
(4)	施設整備状況	375	

# I 総論

## 1. 本学の自己点検・評価

平成5年3月、大学設置基準の大綱化に伴う筑波大学自己点検・評価規則が制定されて以来、本学における研究教育活動の状況について、各組織は、本学の理念、目的、年次計画等を基準として、当該組織の設置目的等に即した自己点検・評価細目を設定し、自己点検・評価を実施してきた。

平成16年度からは、これまでの年次計画に代わるものとして、各組織が中期計画、年度計画を踏まえた「基本方針、重点施策、改善目標等」を提出し、年度終了後、組織ごとに自己点検・評価を実施して当該年度の活動状況を詳細に記述するとともに、その点検・評価の結果と次年度以降の課題をまとめることとした。

第3期中期目標期間においては、自己点検・評価のより一層の実質化を図るため、これまでの自己点検・評価プロセスを見直し、研究教育組織の自己点検・評価を主として定量的評価指標に基づくものに転換し、実施している。

本年次報告は、本学が研究教育と業務運営の質的向上のために推進した諸施策の実施状況と今後の課題についてまとめたものであり、次年度以降の国立大学法人筑波大学の発展と改革の礎となるものである。

## 2. 中期計画の全体的な実施状況

本学は、前身校の歴史と伝統の上に「新構想大学」として設立され、国内的にも国際的にも開かれた大学であることを理念に、これまで我が国の大学の在り方を先導してきた。

第3期にあっては、本学に根ざす人材育成マインド「師魂理才」の下、地球規模課題の解決に向けた知の創造とこれを牽引するグローバル人材の創出を担う世界的な研究教育の拠点としての機能を充実・強化させるべく、国境や機関、制度といった様々な「壁」を越えたトランスボーダー連携による研究教育等の展開を核とした5つの基本目標を掲げた。

1. 高い倫理観の下、自然と人間、社会と文化に係る幅広い学問分野における深い専門性を追求するとともに、分野融合型の領域を開拓し、研究機能の再編成と国際性の強化により、卓越した知の創造拠点として世界トップレベルの研究を展開する。
2. 世界から多様な学生を受け入れるとともに、高度で最先端の研究成果に裏打ちされ、学生の個性と能力を開花させる教育システムを学位プログラムにより構築し、豊かな人間性と創造的な知力を生涯にわたって養い、自立してグローバルに活躍できる人材を育成する。
3. 国際的互換性のある教育と世界トップレベルの研究活動を多彩な分野を擁する総合大学として展開し、世界の国々や地域とのネットワークの中心としての存在感を高めるとともに、国際的な信頼性と発信力を備え、国際性が日常化された大学を実現する。
4. 科学技術が集積するイノベーション創出拠点 TSUKUBA における中核的役割を担い、教育研究諸機関及び産業界との連携を強化し、自らの教育研究機能を高めるとともに、我が国のグローバルな産業競争力強化に貢献する。
5. 教職員のそれぞれが専門的かつ多様な能力を高めつつ、学長のリーダーシップの下、情報ガバナンスと経営基盤の強化及び学内資源の再配分を推進し、自律的に教育研究機能を改革することにより、世界と社会の変化に最も迅速に対応しうる大学として我が国の大学改革を先導する。

第3期中期目標期間の2年目となった平成29年度においては、予想を超える社会変化の中で、知の創出と継承、すなわち研究とそれを継承する人材育成について、将来に対するしっかりとした展望を持って臨むことを念頭に、研究・教育から業務運営に亘る各分野において、研究教育の質の向上及び業務運営の改善・効率化に係る施策を実施した。

## I. 研究教育等の質の向上の状況

### 1. グローバル化の推進に向けた大学運営上の取組

#### (1) 筑波研究学園都市全体のグローバル化の牽引

##### ○ 国際会議「つくばグローバルサイエンスウィーク (TGSW) 2017」の開催

平成29年9月に「Science for Social Innovation」をテーマとしてつくばグローバルサイエンスウィーク (TGSW) 2017 を開催した。8年目となる今回は、内閣府、文部科学省、経済産業省、茨城県、つくば市を後援組織とし、前年度を上回る48か国、158機関から約320名の発表者と1,800名を超える来場者を迎え、海外の協定校や筑波研究学園都市に所在する研究機関との共同主催を含む47のセッションが行われた。今後本学が中心となり開催を予定している「筑波会議」を見据え、Society5.0に向けた若手研究者の役割についてのセッションや世界経済フォーラムとの共催セッションにおいて、国境や学問分野を超えた研究者による横断的な討議を行うなど、本学及び筑波研究学園都市のプレゼンスの向上に貢献することができた。

##### ○ TGSWの実績を踏まえた「筑波会議」構想の推進

本学のイニシアティブにより、国内外の若手研究者や学生らが科学や社会が抱える課題などについて話し合う国際会議「筑波会議」の開催に向け、平成29年7月に第1回筑波会議委員会を開催し、2019年に筑波会議を開催することを合意した。その後9月には第1回筑波会議企画委員会を開催し、会議の実施・運営の方向性についての確認を行った。推進体制として、一般社団法人筑波会議支援機構の設立準備を行うとともに、本学内に筑波会議・TGSW推進ユニットを組織し、関係機関との協議を進めた。

#### (2) 本学におけるグローバル化の推進

##### ○ キャンパス・イン・キャンパス構想に係る取組

- ・ キャンパス・イン・キャンパス (以下、「CiC」) 構想に係る取組として、新たにグルノーブル大学連合及びユトレヒト大学の2校と協定を締結し、CiCパートナー校は累計で7校となった。
- ・ 平成28年度にCiCパートナー校となったサンパウロ大学及びマレーシア工科大学との間で、CiCパートナー校間で授業科目を共有する科目ジュークボックスによる履修コースを整備した。
- ・ 平成28年度からコースを開始している国立台湾大学、ボルドー大学においても新たな科目を設け、本学を含めたCiCパートナー校内から提供され科目ジュークボックスに登録された累計科目数は約2,000科目に大幅に拡大された。
- ・ つくばグローバルサイエンスウィーク (TGSW) において CiC ミーティング及び実務者ミーティングを実施するとともに、CiCパートナー校学生とのセッションを開催した。

##### ○ 国際共同学位プログラム等の開設

- ・ ボルドー大学及び国立台湾大学との3大学によるジョイントディグリープログラムを実施する「国際連携食料健康科学専攻」の設置申請を平成29年3月に行い、6月に設置審査結果の伝達を受け、計画どおり9月に専攻を設置し学生受入れを開始した。平成29年度は、本学から3名、ボルドー大学から5名、国立台湾大学から5名、計13名の学生が入学した。
- ・ マレーシア日本国際工科院とのジョイントディグリープログラムを実施する「国際連携持続環境科学専攻」の設置申請を平成29年3月に行い、6月に設置審査結果の伝達を受け、計画どおり9月に専攻を設置し学生受入れを開始した。平成29年度は、マレーシア日本国際工科院から3名の学生が入学した (本学からの入学は平成30年4月以降)。
- ・ 英語だけで履修可能なプログラムとして、学群では学士課程横断型の文理融合プログラムである「地球規模課題学位プログラム」を、大学院では上記2つの国際連携専攻を開設した。

##### ○ 海外教育研究ユニットの招致

海外の著名な大学や研究機関の研究者を含めた研究室を招致する海外教育研究ユニット招致は、これまで7件のユニットを招致しているが、新たにエモリー大学 (米国) 及びCampus-in-Campus 協定 (研究型) を締結したユトレヒト大学 (オランダ) からユニットを招致し、ユニット数は9件となった。

○ 主要広報資料及び教務関係重要文書の複数言語化

- ・学群・大学院シラバスの英訳については、全 14,177 科目中 4,544 科目を英語化し、計画を上回って全科目の 32.1%の英訳を完了した。
- ・平成 30 年度から共通科目「情報」の参考資料として作成した「ICT ガイド 2018」に英語版を併記し、平成 30 年度入学者の他、作成初年度につき、大学院生を含む全学生にも配付して周知並びに活用を図った。
- ・学士課程の地球規模課題学位プログラム及び Japan-Expert プログラムにおいては、パンフレット等を英語のほか、インドネシア語、ネパール語、モンゴル語、ベトナム語など 11 ケ国語に翻訳し、公式 HP で周知した。
- ・大学院課程の英語版募集要項について、数理工学科学研究科で新たに作成・公表し、大学院の全募集要項 23 のうち 12 の募集要項を英語化した。
- ・本学の全ての英語プログラム（学士課程、大学院課程）及び短期プログラム（受入）に関するリーフレットを英語で作成するとともに、公式 HP で周知した。
- ・学士課程の英語プログラムに関する「Course Registration Guidebook」を引き続き英語で作成した。
- ・入学手続き書類、証明書交付願など、全学生に関わる諸書類は全て日英併記としている。
- ・中期目標・中期計画の日英併記版を公式 HP に掲載し、本学の教育研究の質の向上に向けた取組や計画を学生にも周知した。

○ 海外における高機能中核拠点の整備

現在設置している海外拠点 12 か国 13 拠点のうち、CiC パートナー校内に設置する 5 拠点（台湾、ボルドー、サンパウロ、クアラルンプール、アーバイン）を CiC 構想の戦略的機能を担う高機能海外拠点（CiC Overseas Office）として位置づけ、従来の海外拠点設置に関する基本方針の一部改正を行った。

また、戦略的役割の一環として、交流促進のための現地機関とのマッチング・ファンドの整備を積極的に進めた。

○ 学生及び教職員の国際化に資するワンストップサービス等の実現

- ・外国人留学生、外国人研究者、外国人来訪者等の受入情報のリアルタイム把握に努め、発生するリスクに適切に対応すべく、学内関連組織の連携により輸出管理システム（TEXC0）の導入を実現、平成 29 年 6 月にリリースし、コンプライアンスの徹底に資するとともに、業務効率化が図られた。
- ・グローバル・コモンズ機構に設置するグローバル・スタッフ育成室では、CiC パートナー大学のボルドー大学及び国立台湾大学から、国際業務に携わる事務職員（各々 1 名）を事務研修として 1 週間程度受け入れて本学職員と実務交流を行う機会を設け、本学職員の国際対応能力の向上を推進した。

○ 海外での危機発生時における危機管理体制の充実・強化

海外でのテロ・事件等が頻発している中、各教育研究組織においても海外危機管理は重要な業務となっている。グローバル・コモンズ機構と各教育組織の窓口となるエリア支援室の協働により、危機管理体制の充実・強化を図った。

①グローバル・コモンズ機構の専任のスタッフとして、各教育組織の現場で学生、教職員に対し国際交流に関する業務支援を行う職員を「エリア・コモンズ」として配置している。平成 29 年度においては、エリア・コモンズを中心としたタスクフォースを設置して、当該業務に係る喫緊の課題について、改善策を検討するなど、国際交流支援体制の強化を図っている。

②各エリア支援室担当者が、全学の共有フォルダを利用して、Tsukuba Integrated International Network Navigation System (TIINNS) \*データを閲覧し、海外渡航者情報を確認できるよう整備した。

\* TIINNS は、協定校との交換留学プログラム、海外拠点活動、海外研究者とのネットワーク等の情報を可視化し、学生、教職員、卒業生の誰もが自らの国際連携活動に活用できるシステム構築を目指しており、現在、協定校の基本情報、教育研究交流実績などの情報を収集・整理し、運用している。

③海外におけるリスク管理、危機発生時の情報収集等について、具体的な事例を踏まえ、危機発生時における安否確認業務フローを含む海外派遣危機管理対応マニュアルを整備するなど、海外危機管理体制の強化を図った。

## 2. 世界トップレベルの研究の推進に向けた大学運営上の取組

### (1) 既存の研究センターの見直し・集約等による、基盤研究の着実な実施

#### ○ 基幹研究組織を中核とした研究センターの改組・再編・集約

平成28年度に策定した研究センター再編の基本方針に基づき、研究センターの機能別分類（従前の「全国共同教育研究施設」「学内共同教育研究施設」「部局附属教育研究施設」から「先端研究センター群」「研究支援センター群」「教育等センター群」に再編）、級別分類（R1（世界級研究拠点）～R3（重点育成研究拠点））及び評価を実施するため、関係する法人規則等を改正した。この再編に伴い、以下5つの研究センターを平成29年度から設置した。

ア) 人工知能科学センター、イ) エネルギー物質科学研究センター

ウ) 宇宙史研究センター、エ) 山岳科学センター

オ) つくば機能植物イノベーション研究センター

また、センター再編に伴う規則の改正に先立ち平成29年9月に、新たに設置される研究センターの級別分類の基準を定め、これに基づき新規に設置された研究センターの級認定評価を研究戦略イニシアティブ推進機構で実施した。

#### ○ 重点的な支援の加速による世界トップレベルの研究推進

重点研究センターに認定されたセンターについて、当該センターの研究戦略に沿った教員人事を実現する観点から人事部局として取扱うとともに、戦略イニシアティブ(S)として重点的な支援を行った。また、全国共同利用・共同研究拠点をはじめとした研究センターについても、戦略的な支援を行うため、従来の戦略イニシアティブ(S)及び同(A)に加えて、戦略イニシアティブ(SS)の設置を決定し、より重点的な支援を行う枠組みを設けた。

#### ○ 新たな研究評価指標の開発

人文社会科学の新たな研究評価指標としてiMD(index for Measuring Diversity: 学術誌の1年あたりの多様性を著者の所属機関とそれらが立地する国という観点から定量化する指標)を開発し、特許を出願した。これにより、Scopus等の商用データベースに収録されていない論文について、簡便かつ客観的に算出することができ、従来、世界大学ランキングで評価対象外となっていた学術誌を定量的に評価することが可能となった。

### (2) 分野融合型の領域の開拓と、研究機能の再編成と国際性の強化による、卓越した知の創造拠点の展開

#### ○ つくば機能植物イノベーション研究センターにおけるつくば国際戦略総合特区事業の推進

つくば国際戦略総合特区の新たなプロジェクトとして「植物機能を活用したヒトの健康増進に資する有用物質生産システムの開発事業化」が決定した。糖尿病や高血圧性疾患などの生活習慣病をはじめとした疾病の効果的な予防と健康管理による健康長寿社会の実現に資するため、ヒトの疾病予防・健康増進に資する有用物質(ミラクリンなど)を、トマトなど容易に栽培できる植物を利用して生産するシステムの開発・事業化を目指すものであり、同プロジェクトに特区調整費として140,000千円の支援を受けた。

#### ○ 国際的研究プロジェクトへの貢献

下田臨海実験センターにおいて、海洋酸性化が生物の生理・海洋生態系に与える影響を調べるための研究基地「式根島ステーション」を活用し、国際的な探査プロジェクト「科学探査船タラ号」とのパートナーシップによる国際共同調査を平成29年3月から4月にかけて実施した。これにより、平成30年度には、タラ財団との研究協力協定を締結できる見込みである。また、平成29年12月には、日本学術振興会からの依頼に基づき、国際生物学賞(海洋生物学分野)の記念シンポジウムを開催し、日本の海洋生物学分野における本センターのプレゼンスを国内外に発信できた。

#### ○ 社会還元型研究の積極的推進

社会的要請の高い学問分野での共同研究開発を積極的に推進し、産学官による協働研究体制を構築することを目的として、外部資金により事業運営を行う開発研究組織として開発研究センター制度を導入している。これまでに設置した2つのセンター(藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター、プレジジョン・メディスン開発研究センター)に続き、平成29年度においては、以下3つの開発研究センターを設置し、既存の開発研究センターの取組の成果発表を含めて第1回シンポジウムを開催した。

- ①Society5.0を通じ地域未来を研究開発するオープンラボとしての未来社会工学開発研究センターを設置し、次世代自動車交通技術サービスについて国際統合睡眠医科学研究機構と連携を開始した。
- ②国立大学初のアスレチックデパートメント(AD)の設立を目指す社会実験拠点としてスポーツイノベーション開発研究センターを設置した。8月には、同センター、株式会社ドーム及び米国テンプル大学の三者により、NCAA(全米大学体育協会)会長を招聘し特別基調講演会を行い、日本版NCAA創設について意見交換を行った。また、11月にはAD設置に係る準備委員会を設置し、平成30年度からのAD設置を決定した。
- ③健康・幸福をもたらすサービスの学問に特化した日本初の拠点としてヘルスサービス開発研究センターを設置し、予防から介護福祉を含む広いサービスとその連続性を社会に実装する研究を推進した。

○ TIA連携の推進

TIA\*に参画した東京大学が提案する「つくば-柏-本郷イノベーションコリドー構想(学術、技術、人材が活発に行き交う「知の協創プラットフォーム」を創設)」の一環として、本学と東京大学発ベンチャーとの共同研究により、世界最先端のIoT環境(LoRaWAN)を日本で初めて“本郷、柏の葉、つくば”に構築した。

\* TIA:産業技術総合研究所、物質・材料研究機構、高エネルギー加速器研究機構、東京大学及び本学が協力して運営するオープンイノベーション拠点

○ オープンサイエンスに向けた統合データベースの構築

オープンサイエンスの推進を図るため、「オープンサイエンス推進に向けたタスクフォース」を設置し、現在稼働している研究者情報システム(以下「TRIOS」という。)、機関リポジトリ、大学教員業績評価支援システム(以下「TESSA」という。)、論文受理報告書登録システムを連携し「TRIOSとつくばリポジトリの連携機能の追加(再開)」、「論文情報、著書情報にDOI、ISI番号等の値の登録を持つ情報の研究者総覧でのハイパーリンク化」、「ORCID登録者について、研究者総覧でのORCID表示およびORCIDサイトへのリンク化」、「TRIOSのデータ抽出APIを拡張したTESSAとの連携」を進めることにより、TRIOS、つくばリポジトリ、論文受理報告書登録システム、TESSA間の連携が強化され、統合的データベースとしての連携を図ることができた。

◇ 共同利用・共同研究拠点の取組状況

(1) 『先端学際計算科学共同研究拠点』(計算科学研究センター)

○ 共同利用・共同研究拠点としての取組と成果

計算科学研究センターでは、共同利用・共同研究拠点として、学際共同利用プログラムにより61課題のプロジェクトを採択し共同研究を実施した。重点課題についても、学際共同利用プログラムのプロジェクトとして実施した。これらの共同研究により、学術論文195件を発表した。10月には、センター設立25周年記念シンポジウムとして「第9回『学際計算科学による新たな知の発見・統合・創出』シンポジウムー計算科学の発展と将来ー」を開催し、計算科学・計算機科学のフロンティア、分野間の連携を議論した。

○ センターの独自の取組と成果

- ・東京大学情報基盤センターと共同設置した「最先端共同HPC基盤施設」において、昨年度導入し運用を開始したメモリアクティブ型大規模スーパーコンピュータシステムOakforest-PACSのストレージシステムが、11月のIO-500リストにおいて、世界最高性能システムとして認定された。
- ・国際連携として、米国ローレンスバークレー国立研究所(LBNL)との合同ワークショップを、4月に米国LBNLで、3月に計算科学研究センターにて開催した。12月にはエジンバラ大学(EPC)において、合同のワークショップを開催し、2月には韓国科学技術情報研究院(KISTI)とHPC Winter School及びワークショップを開催し、国際的な活動を進めた。
- ・「計算基礎科学連携拠点」を基盤に、ポスト「京」に係る各研究課題に対し担当機関として研究を推進するとともに、医学分野との連携により、計算科学による医療技術の開拓を目的とした「計算メディカルサイエンス推進事業」を創始した。

○ 共同利用・共同研究体制を強化する取組や拠点の意義に即した取組状況

計算科学研究センターは、ミッションの再定義を、計算機工学として工学分野で、計算科学分野として理学分野で行った。科学諸分野と計算機科学分野の協働・融合を軸とした「学際計算科学」の推進をミッションとし、学際共同利用プログラムの実施、先進的な計算機技術に基づく新たな計算機の開発・製作、計算科学諸分野の融



合、異分野間連携、国際連携の推進、人材育成のための教育プログラムの実施、スクール開催等を行っている。拠点の取組強化としては、11月のIO-500リストにおいて世界最高性能システムとして認定されたスーパーコンピュータ（Oakforest-PACS）を共同利用に供して学際研究を推進した。

○ 「今後の共同利用・共同研究体制の在り方について」に即した取組状況

計算科学研究センターは、本学の研究センター組織再編の下で、先端研究センター群の中の世界級研究拠点（R1）に位置付けられた。これにより、全学戦略枠の人員配置やプロジェクト予算の配分等を通じて重点的な機能強化が行われ、本学の独立した部局の一つとして大学の研究力強化に貢献している。今年度創始した「計算メディカルサイエンス推進事業」は、計算科学分野と医学分野との連携基盤を作るものであり、将来的には産業界との連携へと発展が見込まれることから、センターの持つ学際性と人材育成によって、機能強化を加速し、国際的なハブ拠点の形成を目指す。

(2) 『形質転換植物デザイン研究拠点』（遺伝子実験センター）

（平成29年4月1日より本センターはつくば機能植物イノベーション研究センター（T-PIRC）の一部へ改組）

○ 共同利用・共同研究拠点としての取組と成果

本拠点が保有する遺伝子組換え植物栽培研究設備や植物遺伝資源を活用した産官学研究者との共同研究を推進するとともに、同研究分野に関する国際研究ネットワークの整備を進めている。平成29年度は、形質転換先端技術を活用した植物重要形質発現に関わる遺伝子群の機能理解に関する共同研究及び国内トップクラスの規模の研究施設・設備を活用した実用化候補作物作出に繋がる共同研究（41件）を公募・実施した。うち1件は、拠点認定期間2期目から新たに設定した海外連携研究機関利用型課題として採択し、本学と全学研究交流協定を締結するベトナム国ホーチミン市バイオテクノロジーセンターを利用した共同研究を開始した。これらの活動を通じて、植物遺伝子研究、形質転換植物作出技術、遺伝子組換え植物の特性および安全性評価研究等に関する50報以上の学術論文を毎年発表している（平成29年度は51報（41報が国際誌。Cell誌1報、Nature Communication誌1報、Scientific Reports誌3報含む））。

また、植物バイオテクノロジーに関する科学リテラシー教育を目的とした高校生以上を対象とした公開講座（7月、38名参加）や、形質転換デザイン研究拠点平成29年度成果報告会（3月）を実施した。その他、国内外のシンポジウムや研究セミナー、技術セミナー等を5件開催した。また近年注目が集まるゲノム編集技術に関して、ワークショップ1件をSIP（戦略的イノベーション創造プログラム）とILSI（国際生命科学研究機構）との共催で開催し（7月）、国内のゲノム編集技術の普及に向けて先導的な活動を進めた。

○ センターの独自の取組と成果

学内外における遺伝子組換え実験の安全管理、学内共同利用施設としての高度な遺伝子関連実験機器・実験場所の提供を行っており、遺伝子組換え生物等に関する安全管理を推進した。また、学内共同利用・共同研究の推進に努め、平成29年度は合計324名のセンター利用者登録・利用があった。地域連携として、つくば市・茨城県と緊密に連絡し遺伝子組換え生物安全管理に関する情報提供を行うとともに、遺伝子関連実験技術の普及・教育に関連して、科学技術週間等に参加し、高校生や高校教員に対する公開講座・特別講義・実習を行った（12件）。

研究面では、近年注目が集まるゲノム編集技術を利用した植物の機能改変を積極的に進めており、8月にはゲノム編集技術を用いて健康機能性成分を高蓄積するトマトの作出に成功したほか、世界で初めて花卉のゲノム編集による花色を変化させたアサガオの作出に成功し、Scientific Reports誌に発表を行い国内外で高い評価を得た。さらにゲノム編集により受粉しなくても実がなるトマトを作出した成果（平成29年3月Nature Biotechnology誌）が「2017年農林水産研究成果10大トピックス」に選ばれるなど、国内外のゲノム編集研究をリードする優れた成果を発信している。また、本センター教員が関わった他研究成果として、Nature Communications誌に1報（平成30年2月）、Cell誌に1報（平成29年11月）が報告されているなど、高インパクトな研究成果を複数発信した。

我が国初となる文部科学省管轄での遺伝子組換え体の第一種使用について、耐冷性組換えユーカリの第一種使用規定隔離ほ場栽培試験、多弁咲き組換えシクラメンの第一種使用規定隔離ほ場栽培試験、バイオマス増産組換えサトウキビの特定網室栽培試験を実施した。これらに続き、ミラクリン産生組換えトマト、花色改変組換えコショウラン、水利用率改変組換え交雑アスペン（ポプラ）について、第一種使用を申請中である。

このうち、ミラクリン産生組換えトマトについては、つくば国際戦略総合特区の新たなプロジェクト「植物機能を活用したヒトの健康増進に資する有用物質生産システムの開発事業化」として決定し、糖尿病や高血圧性疾

患などの生活習慣病をはじめとした疾病の効果的な予防と健康管理による健康長寿社会の実現に資するため、ヒトの疾病予防・健康増進に資する有用物質（ミラクリンなど）を、トマトなど容易に栽培できる植物を利用して生産するシステムの開発・事業化を目指している。

また、農林水産省の「知」の集積と活用場による革新的技術創造促進事業について、T-PIRC より5名の教員が参加している研究課題「高付加価値野菜品種ごとに適した栽培条件を作出できる AI-ロボット温室の開発」が採択され、平成30年度中の試験開始を目指して研究用温室4棟の建設に着工した。今後、本学で開発されたトマト新品種も含めたさまざまな高付加価値トマトを商業生産するため栽培システム開発を進める予定である。

○ 「共同利用・共同研究体制の強化に向けて」に即した取組状況

- ・ IR 機能の強化として、拠点設立にあたり支援を表明した関連学会からの人員を含む運営協議会を設置するとともに、平成29年度は International Advisory Board の設置に向けた準備を行い、海外の各研究機関から賛同を得られた。
- ・ 他の国立研究開発法人との共同研究（理化学研究所環境資源科学研究センター等）体制整備を推進した。
- ・ アウトリーチ活動として、T-PIRC 教員により本学が主催するつくばグローバルサイエンスウィーク (TGSW) 2017（平成29年9月開催）にて国際シンポジウム (T-PIRC Symposium: Leading University Forum on Plant Resilience and Innovation) を開催した。このほか、国内外の研究者を招いた T-PIRC セミナーを5回開催するなど、積極的な情報発信に努めている。
- ・ 拠点独自の形質転換植物試験栽培設備を活用することにより、平成29年度は、共同研究課題採択を41件と平成28年度の43件に次ぐ課題を採択し、それまでの年32件程度の採択数に比べて大幅に増加させている。また通常型の共同研究課題に加えて、研究費上限を100万円とした特定枠や第一種使用にかかる隔離ほ場など本センター施設の利用のみに特化した施設利用型等を設定し、利用者の利便性及びより効果的な共同利用・共同研究の実施を試みている。また、情報発信技術研究グループが関わる案件については、研究者コミュニティからの遺伝子組換え作物の環境安全性評価に関する強い要望も踏まえ、必要性・緊急性の高い学術催事に対応して年度途中での申請も可とした。

○ 「今後の共同利用・共同研究体制の在り方について」に即した取組状況

- ・ 他拠点（岡山大植物研、鳥取大乾燥地研、熱帯生物圏研究センター）と連携し、植物研究拠点アライアンスを設立した。
- ・ 学内組織改組により、遺伝子実験センター及び農林技術センター（農場部門）を統合して T-PIRC を設置した。
- ・ 大学の研究交流協定を締結する海外大学・研究機関を活用した国際共同研究ネットワークの構築・共同研究への活用を進めており、ボルドー大学、フランス国立農学研究所ボルドーセンターとの国際ジョイントラボ活動を継続して実施している。さらに、T-PIRC の教員が中心となり、国立台湾大学、ベトナム国ホーチミン市バイオテクノロジーセンター、米国フロリダ大学と国際連携協定を締結し、積極的な人材交流を行った。特に、ベトナム国ホーチミン市バイオテクノロジーセンターでは、平成29年度初めて採択した海外提携研究機関利用型共同研究課題としてサトウキビの栽培試験を開始した。また、ミシガン州立大学及びボルドーサイエンスアグロ（グランゼコール）との国際連携協定を新規に締結した。
- ・ 産業界からの共同研究課題を採択・実施するとともに、共同研究の大型化を図るための特別共同研究事業制度（企業等からの資金を原資として企業等の研究者を本学の教員として雇用し、本学内の研究施設で共同研究を行う制度）を設け、企業所属研究者の大学への常駐を進め、産業界との連携強化を図っている。平成29年度からの新規事業として、BASF ジャパン新規遺伝子組換え作物環境影響評価手法開発共同研究事業を開始した。本事業では BASF 社が開発した組換えナタネの第一種使用隔離ほ場栽培試験による評価試験を計画しており、BASF 社による新規隔離ほ場の学内への建設を行うとともに、第一種利用申請に向けた申請手続き等を進めている。さらに、株式会社トーヨーエネルギーファームとの特別共同研究事業を開始し、同社による新規実験棟ならびに大型温室2棟の建設を行った。

### 3. 国際的に互換性のある教育の実施に向けた大学運営上の取組

#### (1) 国内外の大学や研究開発法人などとのトランスボーダー連携による教育の実施

- 国内外の国公私立大学との多様な形態による共同学位プログラム等の実施
  - ・科目ジュークボックスを活用したモデルプログラムとして、平成 27 年度からボルドー大学、国立台湾大学と個々に実施してきたダブルディグリープログラムでの連携を基盤に、3 大学によるジョイントディグリープログラムとして「国際連携食料健康科学専攻」を平成 29 年 9 月に設置した。同専攻では、平成 29 年度は、本学から 3 名、ボルドー大学から 5 名、国立台湾大学から 5 名、計 13 名の学生が入学し、平成 30 年 2 月には、全学生が本学での第 1 セメスターの学修を終え、国立台湾大学での第 2 セメスターの学修を開始した。
  - ・e-ラーニングを活用した教育課程の共同実施のモデルプログラムとして、鹿屋体育大学との 2 つの共同専攻「スポーツ国際開発学共同専攻」(修士課程)、「大学体育スポーツ高度化共同専攻」(3 年制博士課程)を平成 28 年度に開設しており、平成 29 年度は次のとおり学生受入を行った。また、修士課程は完成年度を迎え、最初の修了生 7 人を輩出した。
    - ①スポーツ国際開発学共同専攻 (修士課程) <入学定員 8 人>  
平成 29 年度入学者数 8 人 (筑波大学 5 人、鹿屋体育大学 3 人)
    - ②大学体育スポーツ高度化共同専攻 (博士課程) <入学定員 5 人>  
平成 29 年度入学者数 5 人 (筑波大学 3 人、鹿屋体育大学 2 人)
  - ・大学間協定による単位互換等を活用したモデルプログラムとして、信州大学、山梨大学、静岡大学との連携による「山岳科学学位プログラム」(博士前期課程)を平成 29 年度に開設し、6 人の学生を受け入れた。
  - ・平成 29 年度に開設した地球規模課題学位プログラム (学士課程) において、キャンパス機能の共有を目指した Campus-with-Campus 協定に基づき、平成 30 年 4 月から国際基督教大学に学生を派遣する体制を整備し、実施準備を行った。
- 筑波研究学園都市の研究機関との協働による学位プログラムの実施
  - ・筑波研究学園都市の研究開発法人及び企業の開発研究部門の研究者と筑波大学の関連分野の研究者の協働による「協働大学院方式」により平成 27 年 10 月に開設したライフイノベーション学位プログラム (区分制博士課程) では、魅力ある教育内容と指導體制により、世界から多様かつ優秀な学生を惹きつけている。平成 29 年 10 月現在の在籍学生数は 42 名 (博士前期課程 21 名、博士後期課程 21 名) であり、学生の出身国籍は 13 か国に及ぶ。平成 29 年度には博士前期課程の最初の修了者 8 名を輩出した。修了者の進路は、博士後期課程への進学、研究員、民間企業への就職等である。
  - ・また、ライフイノベーション学位プログラムの現在の 4 領域 (病態機構、創薬開発、食料革新、環境制御) に加えて、新たに 2 領域 (生体材料、生物情報) を拡充するための教員配置や連携機関との調整、必要な設備の配置など、教育研究体制・環境の整備を行った。
  - ・さらに平成 29 年 12 月に、10 の企業・研究機関と共に「レジリエンス研究教育推進コンソーシアム」を設立した。同コンソーシアムは、従来のリスクマネジメントを包含する概念として注目されているレジリエンスの分野において、世界の知の拠点と教育の中核となる活動を推進する。本学においては、同コンソーシアムを中核として協働大学院方式の学位プログラムを開設し、レジリエンス社会の実現に寄与できる人材の養成・輩出を通じて社会に貢献する。
- 国内外の政府・大学等の要請に基づく教育業務の受託
  - 本学では、これまでに日本並びに外国政府の要請に基づき、以下の大学の設置等に協力してきている。当該大学への協力を円滑に進めるにあたり、その中心的役割を担う組織や教員について、学内並びに当該大学における位置付けの明確化等の必要性に応じ、本学の教育研究資源による当該大学における教育での実践上の質保証の観点から、「海外大学教育プログラムユニット」を設置することとし、学内体制等の整備に向けて検討並びに準備を行った。
    - ①マレーシア日本国際工科院 防災プログラム (修士課程)
    - ②日越大学 公共政策プログラム (修士課程)
    - ③エジプト日本科学技術大学 国際ビジネス・人文学部 (学士課程)
    - ④オグズハン工科大学 ICT・ロボティクス専門プログラム (学士課程)
  - なお、本件については、海外の大学とのトランスボーダー連携による教育の推進として重点計画に掲げ、本計

画を追加した中期計画変更について、平成30年3月に文部科学大臣認可を受けたものである。

## (2) 学位プログラム制への全学的移行に向けた取組

### ○ 学位プログラム制への全学的移行

- ・全学的な学位プログラム制への移行に向けて、建学の理念に明示された本学の使命に基づき、「学際性」と「国際性」を両輪とした教育改革の方向性を明らかにし、平成29年3月に公表した。

この方向性に基づき、大学院において、本学学士課程と同様の組織編制原理に基づく組織への改組・再編を行うこととした。具体的には、学校教育法第100条ただし書の規定を適用した研究科以外の教育研究上の基本組織として、教育を担う組織と研究を担う組織を置いて、学位プログラムを運営する体制を構想し、平成30年1月に法定会議の承認を得た。以後、引き続き設置準備を進めている。

- ・この改組・再編とあわせて、新たに「大学院共通専門基盤科目（仮称）」の設定や、全学的な教学マネジメントを担う組織の整備等を計画し、具体的検討を進めている。

### ○ 学位プログラムの充実

- ・グローバル教育院で運営する全学的な学位プログラムとして、博士課程教育リーディングプログラムの2つの学位プログラム（ヒューマンバイオロジー学位プログラム：H24～、エンパワーメント情報学プログラム：H26～）に加えて、新たに「協働大学院方式」を採用したライフイノベーション学位プログラムを平成27年10月に開設し運営している。

- ・平成23年度に採択された博士課程教育リーディングプログラムの事後評価において、ヒューマンバイオロジー学位プログラムが「計画を超えた取組みが行われ、優れた成果が得られていることから、本事業の目的を十分達成できたと評価できる」とされ、最高評価のS評価を獲得した。

- ・平成25年度に採択された博士課程教育リーディングプログラムの中間評価において、エンパワーメント情報学プログラムが「計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる」とされ、最高評価のS評価を獲得した。

- ・研究科で運営する学位プログラムを次のとおり実施・拡充している。

- ①社会工学学位プログラム（区分制博士課程：H26～）
- ②サービス工学学位プログラム（修士課程：H26～）
- ③スポーツウエルネス学位プログラム（3年制博士課程：H28～）
- ④山岳科学学位プログラム（博士前期課程：H29～）
- ⑤教育学（国際教育）修士プログラム（修士課程：H29～）

## (3) 世界から多様かつ優秀な学生を受け入れる入学者選抜の実施

### ○ 海外教育プログラム修了者を対象とした入学者選抜の実施

- ・国際バカロレア以外の広く国際社会で認められた海外教育プログラム（アビトゥア、SAT等）修了者を対象とした入学者選抜を医学群医学類において新たに実施した。
- ・現行の国際バカロレア特別入試、帰国生徒特別入試等のグローバル入試の統合、再編等の検討を開始した。

### ○ 総合選抜の導入を含む入学者選抜改革

- ・平成33年度（平成32年度実施）個別学力検査等（前期日程）に、入学定員の約25%を募集人員として、文系及び理系の選抜区分による「総合選抜」を導入すること及びこれに併せて現在の入学者選抜を「学類・専門学群選抜」に名称を変更することなどを決定し、平成30年3月末に公表した。

- ・すべての入学者選抜において、調査書等を活用するなど、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価を加えた選抜方法を導入すること並びに大学入学共通テストを課す推薦入試の導入及び入学定員の一部を活用した外国人留学生に対する新たな入学者選抜の導入について検討を開始した。

### ○ 「Specialty Finding Term教育」の具体案策定

初年度に複数の専門分野に触れることにより広い視野を育てることを目的として構想している「Specialty Finding Term教育」（SF教育）の実施に向け、SF教育サブタスクフォースを設置し、以下の事項のほか、平成30年3月にSF教育の基本設計にかかる方針を策定した。

- ①共通科目（総合科目、新規開設「学問へのいざない」）に係る単位数・編成について

- ②総合選抜以外の入試を経た学生に対する1年次教育について
- ③受講希望者数に基づく教室割当、受講調整方法について
- ④専門導入科目の分析、配置について
- ⑤学群履修細則変更に必要な事項の整理について

また、教養教育に関し、共通教育タスクフォースでは学士課程から大学院課程に亘る総合智教育（仮称）の位置付け等を決定した。

○ 外部の英語能力検定試験の導入

学群1年次生及び3年次生を対象として実施している外部英語能力検定試験（TOEFL-ITP）について、平成29年度からは、学群1年次生の授業科目「英語」のプレースメントテストとして新たに実施した。その結果、学群1年次生の受験率は98.9%（昨年度：67.9%）と大幅に向上した。

**(4) 社会人受入の拡充など社会的ニーズに対応した取組**

○ 早期修了プログラムの拡大

平成29年度から、新たに生命環境科学研究科生物機能科学専攻において博士後期課程早期修了プログラムを開始した。これにより実施組織は4研究科20専攻となった。本プログラムを修了し博士を取得した学生はこれまで308名（平成19年～29年）に上り、平成29年度は41名が修了し博士を取得した。

○ 実践的なアントレプレナー教育の実施

- ・東京大学が主幹機関となり、本学とお茶の水女子大学、静岡大学の3大学が協働機関となった「産官学グローバル連携によるEDGE NEXT (Global Tech EDGE NEXT)」コンソーシアムは、平成29年度文部科学省補助事業次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXT)に採択された。本学のプログラムでは、国立研究開発法人、企業、本学の教職員、学生から22テーマ（チーム）の参加があり、最終的に起業2チーム、起業検討7チームなどとなった。
- ・平成28年度から学士課程に開講しているアントレプレナー教育科目「つくばクリエイティブキャンプ（TCC）ベーシック」及び「同アドバンスト」については、ベーシックは38名、アドバンストは22名が受講した。また、アントレプレナー教育の定着を図るため、学位プログラム化に伴う授業科目再編のためのTCCベーシック、TCCアドバンストを含めた体系化したプログラムの開設に向けた準備を開始した。
- ・このほか、起業を志す学生や教員等が、最低限のコストと短いサイクルで仮説の構築と検証を繰り返しながら、市場やユーザーのニーズを探り当てていく手法を学び実践していくプログラムである「リーンローンチパッド」を実施し、25名が参加した。

**◇ 教育に関する全国共同利用拠点の取組状況**

**(1) 『日本語・日本事情遠隔教育拠点』（グローバルコミュニケーション教育センター（CEGLOC））**

留学生（渡日前含む）に対する日本語と日本事情の教育支援を目的とし、初級の日本語学習者の自立学習を支援するためのWeb版eラーニングシステムを提供するとともに、スマートフォン用アプリを開発し公開している。また、中上級や上級学習者に対しては、自立学習を支援するための「日本語学習辞書」のほか、初級から上級までの学習者が日本語を測定するためのテストシステムとして「J-CAT」\*と「TTBJ」\*を提供している。

一方、日本語教育関係者への支援として本学で開発した教科書『SFJ (Situational Functional Japanese)』に対応したビデオ教材や大規模なウェブコーパスを提供し、日本語教育全体に資する取組を行っている。

以上のサービスを国内外の学習者、学習機関に対して全て無料で提供しており、全サービスの利用者は年間6万人を超えるまでになった。さらに、平成29年度には新たな取組として、AIを利用した初級日本語会話正誤判定システムの開発に向けた基礎研究を行った。

\* J-CAT：日本語の総合能力を測るテスト

\* TTBJ：日本語の分野（文法、漢字）ごとの能力を測るテスト

**(2) 『ナチュラルヒストリーに根ざした森と草原の生物多様性教育拠点』（菅平高原実験センター）**

（平成29年4月1日より本センターは山岳科学センターの一部へ改組）

豊かな森と草原の山岳フィールドを舞台に、生物多様性の実体を理解・活用・保全する人材の育成と教育プロ

グラムの開発・普及に向け、学部生向けに年間8つの公開実習を実施し、大学院生向けには7つの公開実習を実施した。これらは、他大学では類を見ない、多様な生物分類群を網羅した野外実習のラインナップとなっており、積極的な広報活動の結果、公開実習を受講した他大学学生数は平成26年度8名、平成27年度27名、平成28年度34名、平成29年度44名と着実に増加している。また、学内外の実習の受入、研究指導（常駐学生を除く）も含めた利用実績（延べ人数：人数×日数）においても、平成26年度2,662人・日、平成27年度2,922人・日、平成28年度3,075人・日、平成29年度3,423人・日（菅平高原実験所のみを集計結果、演習林を含めると8,040人・日）と、着実に増加している。

こうした利用者の増加に対応するため、独自にアンケート調査を行い、利用者の要望や施設の問題点を洗い出し、光学顕微鏡を新たに購入するなど、教育研究環境の改善を図っている。

平成29年度からは、農林技術センター演習林部門との統合により、「山岳科学センター」として本事業にて取り組んでおり、8月には拠点の継続申請が採択され、平成30年度からは「ナチュラルヒストリーに根ざした山岳科学教育拠点」として活動することとなった。次期拠点の活動計画としては、本事業の継続のみならず、教育内容の高度化と広範化、国際化を計画していることから、その準備を進めるとともに、日本と世界の山岳科学研究を先導する拠点としての機能強化を推進した。

#### 4. 学生の自立性を高めるための支援の実施に向けた大学運営上の取組

学生支援の充実を図るため、本学独自の海外派遣プログラムの実施、日本に居ながら異文化交流が体験できる住環境の提供など、グローバル人材の育成及び国際性の日常化に向けたキャンパスづくり等に資する以下の取組を実施した。

##### ○ 海外派遣学生数の増加に向けた取組

海外派遣プログラムの実施体制について検証を行い、平成29年度においては、以下の改善を実施した。

- ・CiC パートナー大学及び一部協定校への交換留学募集方法を一元化し、学生にわかりやすい応募フローに改善した。
- ・官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」への応募に係る事前説明会及び二次面接対策セミナーを開催し、応募に向けた支援を行った結果、同プログラムへの応募者が増加した。（第7期：48名、第8期：33名、第9期61名）
- ・平成30年度海外留学支援事業「はばたけ！筑大生」について、以下の改善を行うとともに、海外武者修行支援プログラム活動報告書を作成し、本支援プログラムによる学生派遣の成果を総括した。
  - ①国際交流協定校交換留学支援プログラムとつくばスカラシップ交換留学支援奨学金を統合し、支援対象期間を半年から1年に拡大するとともに、支援金の月額を地域別に設定。
  - ②海外武者修行支援プログラムの1企画あたりの構成員数を「数名～10名程度」から「数名～7名程度」に変更し、構成員の実働上の役割分担や責任及び協働体制を明確化。
  - ③語学系研修等参加支援プログラムを「語学研修・海外研修参加支援プログラム」に変更し、インターンシップやボランティア活動も支援可能とした。

（海外派遣学生数：平成28年度 2,224名 → 平成29年度 2,385名）

##### ○ 学生宿舎の整備による住環境の改善

- ・キャンパスの国際化推進を目的としたグローバルレジデンス整備事業の一環として、これまで本学にはなかった一般学生と留学生の混在シェアハウスタイプの学生宿舎である「グローバルヴィレッジ」の入居を平成29年4月から開始した。敷地内の共用施設として設けたコミュニティステーションでは、生け花教室や「Global Village New Year Party 2018」が開催され、日本人学生と留学生の交流の場として有効活用された。また、本学で初となるネーミングライツ（施設命名権）を導入して自己資金の獲得に努め、その収入により上記パーティの費用を賄うなど新たな取組を実施した。
- ・平成28年度から稼働している短期・ショートステイ専用の宿舎についても、平成29年4月から第二期の学生入居を開始した。
- ・既存の学生宿舎については、老朽化が進んでいる現状を踏まえ、今後の維持管理及び生活環境の改善に係る費用の確保に向けて寄宿料を見直し、平成29年度の入居者から新寄宿料を適用している。

#### ○ その他の取組

- ・学生の自主活動、社会貢献活動への自発的参加を促進する本学の人間力育成支援事業「つくばアクションプロジェクト」(T-ACT)の外部支援団体との連携を深め、経済界等からの資金獲得の枠組みの構築を検討するため、つくば市関連団体等との連携を強化し、企業や外部支援団体が実施している助成金の情報提供や手続きの改善を図った。また、経済界等からの資金獲得を支援するため、クラウドファンディングを利用する際の学内の取扱いを活用した相談体制を構築し支援を実施した。
- ・スーパーグローバル大学創成支援事業(SGU)の一環として、日本関連企業への就職を希望する留学生を対象として平成28年10月に開設した「Japan-Expert(学士)プログラム」に在学する学生に対し、以下のとおり経済支援を行った。
  - ①特別授業料免除を14人に対して実施した。
  - ②平成21年度に本学独自の奨学金制度として創設した「つくばスカラシップ」に、同プログラム在学学生に対する支援制度を新たに設け、10名に対し奨学金を支給した。
  - ③同プログラムのヘルスケアコースの学生を対象として平成28年6月に「今川FUTURE基金」を創設し、平成29年度には奨学金を1名に支給した。また、同じくSGUにより平成29年10月に開設したグローバル教育院学士課程の地球規模課題学位プログラムにおいても、在学する学生6名に対して、特別授業料免除を実施した。さらに、現行制度の見直しを含め、新たな経済支援モデルの策定について検討した。
- ・山中共同利用研修所及び館山研修所は、平成29年4月から民間業者に運営を委託し、平成29年7月からそれぞれ「レイクロッジヤマナカ」、「Nami Kaze Tateyama」の名称でリニューアルオープンした。特に山中研修所に新設したキャンプ施設が好評で、7月以降の研修所利用者数は前年比で163.5%となり、施設の稼働率を改善することができた。
- ・つくば市の協力と学内関係組織の連携により、「留学生とその家族のための健康管理セミナー」を平成29年7月に開催し、約60名の留学生等が参加した。つくば市における健康増進や医療支援、本学保健管理センターにおける健康診断や救急処置等、留学生が利用可能な支援制度について理解を深める機会として実施したもので、留学生の健康意識の向上に資することが期待される。
- ・機能強化経費による発達障害学生支援プロジェクトにおいて、アセスメント、支援及び効果の検証に関する研究を実施し、発達障害学生の支援モデルの試案を構築した。また、アセスメントと修学支援を円滑に行うため、拠点となるアセスメントサポートルームの機能拡充を図った。

## 5. 産学連携機能の強化とイノベーション創出

#### ○ 技術移転マネージャー等の評価実施

国際産学連携本部では、平成29年度においては、系、センター・機構、産学連携プラットフォーム事業をはじめとする6つの国際産学連携本部事業において産学連携をきめ細かく支援することを目標として掲げ、各組織に産官学共創プロデューサー3名、技術移転マネージャー及び産学連携URA11名を担当者として配置した。また、これらの技術移転マネージャー等に対し、毎週のフォローアップ会議等年間を通したフォローアップを行うとともに、人材育成に資する取組として、個々人の能力開発やモチベーションの向上を図るため、年度当初と10月に期間中の目標設定、自己評価、面談等による評価を実施し、産学連携支援体制の強化を図った。

#### ○ 知的財産の育成及び活用

- ・平成29年度から、外部TL0に特許30件の評価と採択案件のライセンス業務委託(発明評価、評価採択発明の共同研究先の開拓、評価採択発明の国内外企業へのライセンス営業。このうち2件は成功報酬型業務委託契約)を実施し、本学の産学連携活動の幅を広げ、ライセンス実績の向上を図っている。
- ・特許出願及び維持費については、平成26年度まで運営費交付金からの補填により運営していたが、民間共同研究費の受入額の拡大などにより、平成29年度において、民間共同研究費の受入額の10%の産学連携間接経費で全額を賄う特許経費の自立化を達成した。
- ・特許に関する大学ランキングでは、以下のとおり実績を残した。
  - ①特許権実施件数 309件、全国9位(平成28年度 大学等における産学連携等実施状況調査結果より。平成27

年度は13位)

- ②ランニングロイヤリティ収入があった特許権数 93件、全国8位(平成28年度大学等における産学連携等実施状況調査結果より。平成27年度は10位)
- ③特許権実施等収入 約3,200万円、全国12位(平成27年度は16位)
- ④「アジアで最もイノベティブな大学ランキング」(ロイター社)

特許協力条約に基づく出願(PCT出願)のうち日米欧に全て出願されている割合 アジア及び全国1位

- ・強い特許の創出に向けて、知的財産の発掘の取組として、教職員及び学生を対象とした知財相談会を毎月定期的で開催した。国際産学連携本部で実施している公募事業では、採択された教員の知財相談会への出席を義務付けた。
- ・知的財産の育成の取組として、知財審査会において、知財に関する実践的知識の提供と事例の共有を行うとともに、知財マインドの向上を目指す「実践知財セミナー(基礎編、実践編、応用編)」を実施した。
- ・中小企業と大学を結ぶポータルサイト「産学連携プラットフォーム」で提供している「特許インフォグラフィックス」で、アニメーションや動画を用いて本学の特許技術をわかり易く紹介しており、平成29年度は、特許活用に特化したベンチャーキャピタルとの共同研究に結び付いた。

#### ○ 基金事業の推進

民間企業や公的機関と連携し新規事業の開発に取り組み新たな収入を生み出すとともに、基金事業を推進し更なる基金の増収を図るなど、財政基盤強化のための業務を総合的に行う組織として「事業開発推進室」を設置した。

#### ○ 産業界との連携による共同研究の推進

- ・研究成果の社会実装を目指して本学と産業界がアンダーワンループで研究活動を行い、企業等の研究者を2～5年間本学教員として雇用することにより柔軟かつ迅速に研究活動を運営できる制度として、平成26年度から特別共同研究事業制度を設けている。平成29年度は8件、1億6,000万円に達し、平成28年度の6件、1億4,000万円から増加して共同研究の大型化の核となっている。
- ・大学の共同研究を進めるための新たな仕組みとして構築した学際融合型共同研究創成プラットフォームにより、「大型共同研究創成プログラム(M2B2A型共同研究プログラム、特別共同研究事業制度、グローバルマッチングプログラム、つくば産学連携強化事業)」及び「産学連携促進と人材育成の場作り」を推進し、大型の共同研究の拡大を図った。
- ・M2B2A型共同研究プログラムでは、本学が行っている学際的研究を産業分野別で再構成して産業分野別ポテンシャルデータベースを作成し、企業のニーズをベースとした共同研究のプロセスを組織連携の場に導入し、継続して実施した。
- ・グローバルな共同研究については、平成27年度から米国とドイツの大手製薬メーカー、平成29年度は新たに米国の大手製薬メーカーと共同研究契約を締結した。平成29年度は14,275千円の受入額となった。
- ・平成27年度より茨城県商工労働観光部との連携を強化し、グローバルニッチトップ事業、産学連携プラットフォーム事業などの施策の成果として、平成28年度の同一県内企業及び地方公共団体との共同・受託研究件数は90件で、東京都を除く関東地方では1位となった(平成28年度 大学等における産学連携等実施状況調査結果より。平成27年度は4位)。
- ・民間以外も含めた共同研究費は502件、14億1,000万円で、共同研究件数は平成24年度比61%増となった(平成24年度は311件)。

#### ○ つくば国際総合戦略特区における活動

- ・筑波研究学園都市内関係機関等の協議組織として新たな産学官連携の中核(ハブ)となってグリーンイノベーション、ライフイノベーションの分野で8つのプロジェクトを推進する、つくばグローバル・イノベーション推進機構(TGI)との連携により、以下のとおりイノベーション創出の一翼を担った。
- ・つくば国際戦略総合特区のプロジェクトとして、新たに「植物機能を活用したヒトの健康増進に資する有用物質生産システムの開発事業化」が追加された。実施主体は、本学及び株式会社インプラントイノベーションズであり、糖尿病や高血圧性疾患などの生活習慣病をはじめとした疾病の効果的な予防と健康管理による健康長寿社会の実現に資するため、ヒトの疾病予防・健康増進に資する有用物質(ミラクリンなど)を、トマトなど容易に栽培できる植物を利用して生産するシステムの開発・事業化を目指すものである。同プロジェクトに特区調整費



として140,000千円の支援が決定した。

- ・平成29年11月に特区プロジェクトの成果発表会を開催し、現在までの成果の発表、上記新プロジェクトの紹介、ポスターセッション及び「つくばエリアでの共創の実現に向けて」をテーマとしてパネルディスカッションを行った。

#### ○ 他機関との連携による産学連携の推進

- ・平成28年度に採択された文部科学省「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」は順調に成果を上げており、同プロジェクトの2つの事業のうち「世界中の眠りに悩む人々への睡眠計測検査サービス事業」に関しては、国際統合睡眠医科学研究機構（IIIS）を中心に開発が進められ、その成果を基に、装着性の良い脳波測定ウェアラブルデバイスとの開発とAIを駆使した自動解析による睡眠測定サービスを行う、（株）S' UIMINが設立された（筑波大学発ベンチャー企業）。また、「偏光OCT一次世代OCT産業の創造」事業においても、眼科用偏光OCTの事業化開発に加え、次世代OCT産業の創造のために、皮膚用途など新たな事業分野への対応を図るとともに、OCTの用途拡大に向けた技術開発を進めている。
- ・農業・食品産業技術総合研究機構との連携・協力協定が11月に締結され、つくば産学連携強化事業の合わせ技ファンドとして新たに平成30年度から資金が措置されることになった。また、茨城県もつくば産学連携強化事業の趣旨に賛同し、平成30年度から同じく資金が措置されることとなった。

#### ○ 大学発ベンチャーの支援

- ・経済産業省が実施した平成29年度産業技術調査事業（大学発ベンチャー・研究シーズ実態等調査）において、本学発のベンチャー企業数は全国3位となった。つくば地域におけるテック系の大規模なシーズを発掘・育成し、ベンチャーキャピタルと連携する環境を整備する仕組の構築を以下のとおり実施した。

##### ① 企業シーズの発掘・大規模化

国際産学連携本部が実施する公募事業において、資金と場所を提供し、年間200件にのぼる応募課題をシーズととらえ、これらのシーズをアントレプレナー教育から大学発ベンチャーの起業へ導くベンチャーエコシステムの構築に向けた取組を推進した。

##### ② 起業家育成の支援

平成29年度に採択された文部科学省次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT）において、本学のプログラムでは、国立研究開発法人、企業、本学の教職員、学生から22テーマ（チーム）の参加があり、最終的に起業2チーム、起業検討7チームなどとなった。

##### ③ 規制緩和

新たな外部資金獲得の機会を拡大するため、本学における大学発ベンチャーに対するストックオプションの取扱規程を平成30年1月に制定した。

- ・本学のアントレプレナー教育プログラムの起業家養成講座「TCCアドバンスト」や事業化支援プログラム「Talent-Connect&アクセラレーションプログラム」などにも参加し、メンターらによる事業プランのブラッシュアップを経て、数々のビジネスコンテストで賞を受賞することとなった。

① Forbes誌がスポーツからEコマースまで、10分野における「30歳以下の重要人物」をそれぞれ30名選出する「アジアを代表する30歳以下の30人」（Forbes“30under30” in Asia）に本学OBの大学発ベンチャー経営者及び本学在学中のベンチャー経営者が2名選出された。

② 日刊工業新聞社主催の「第14回キャンパスベンチャーグランプリ（CVG）全国大会」で、本学在学中の大学発ベンチャー経営者が、ビジネス部門大賞の「経済産業大臣賞」ほか2賞の受賞や世界各地の若手起業家ネットワーク「起業家機構（EO）」が主催する学生向けビジネスコンテストの最終審査会で優勝し、日本代表に選ばれ、2018年4月にカナダ・トロントで開催される世界大会に出場することとなった。

#### ◇ 産学官連携を推進するためのマネジメント強化等に関する取組

- ・外部資金獲得のための更なる体制強化として、新たに産学連携担当副学長を置き、国際産学連携本部の業務を統括することとなった。
- ・国際産学連携本部において、「組織」対「組織」連携による大型研究費獲得をさらに拡大できる人材である「産官学共創プロデューサー」を3名配置し、技術移転マネージャー等とともに、開発研究センターの設置や特別共同研究事業の締結など企業等との連携を推進した。その結果、民間との共同研究は415件、11億1,700万円に

達し、民間との共同研究費は前年度比で109%となった（平成28年度は401件、10億2,000万円）。

- ・産学官連携による共同研究強化のためのガイドラインに係る対応として、リスクマネジメント（営業秘密管理）の取組において、産学連携活動に関連する本学の秘密情報の保護を図り、及び企業等外部機関の秘密情報の侵害を未然に防止するため、平成29年11月に「国立大学法人筑波大学秘密保持に関するガイドライン」を策定した。

## 6. 社会との連携・地域貢献の推進／知的成果の幅広い社会還元

### ◇ 社会との連携・地域貢献の推進

- ・筑波研究学園都市のネットワーク強化による省エネルギー・低炭素の科学都市構築に向けた取組みである「つくば3Eフォーラム」の活動では、平成30年1月に第11回となる「つくば3Eフォーラム会議」を開催するなどした。会議では、「環境変動の現状をあらためて確認する」をテーマとして、自治体関係者、研究者、学生等による事例発表やパネルディスカッション等を行い、約100名の参加を得た。また、フォーラム内に設置されたタスクフォース（TF）においても、例えば、バイオマスTFにおいて、民間企業と連携し、夏季温度制御等諸システムを養魚場に設置するとともに、教育用アクアポニックスシステムの開発を行うなどの活動を行った。
- ・国や地方公共団体からの受託研究事業として、「震災復興に係る連携協定」を締結している神栖市3件、包括連携協定を締結している常総市2件を実施したほか、復興庁「心の復興」事業に1件が採択され、福島県南相馬市や同市市民の避難先地域において東日本大震災以前の豊かな故郷の記憶を次世代に伝える取組みを実施した。
- ・筑波大学社会貢献プロジェクトとして、教職員だけでなく学生も含めた大学の多様な構成員による社会貢献・地域連携の取組みを幅広く支援し、科学振興、国際、文化・地域活性化、環境、健康・医療・福祉等多様な分野にわたり37件のプロジェクトを実施した。
- ・オリンピック・パラリンピックに関する多様な推進事業情報を集約し、事業に関わる研究・教育グループの統合的な形成を図り、本学が進めるオリンピック・ムーブメント及びパラリンピック・ムーブメントを積極的に社会に発信するとともに、オリンピック・パラリンピック事業による地域社会の活性化の推進、オリンピック・パラリンピック教育の推進を図るため、オリンピック・パラリンピック総合推進室を7月に設置し、本学のオリンピック・パラリンピックに関する取組み等の情報収集と発信を行った。また、スイスオリンピック協会による事前キャンプに係る基本合意書締結に向けた調整、日本スポーツボランティアネットワークとの連携によるスポーツボランティア養成に係る授業科目の開設準備を進めた。

### ◇ 知的成果の幅広い社会還元

- ・本学の教育研究成果を普及し、社会に還元することを目的とし、エクステンションプログラムとしてニーズの高い専門的な講座を有料で開設している。平成29年度は14件の講座で453名が受講し、1,060万円の収益を得た（H28年度：5件、収益303万円）。また、公開講座及び履修証明プログラムを将来的にエクステンションプログラムの一部とする方向で関係組織と検討を行った。
- ・附属図書館と図書館情報メディア系の共催により、平成29年度特別展「江戸の遊び心：歌川国貞の描く源氏物語の世界」を、10月から11月にかけて開催した。会期中には、展示の企画者による特別講演会や、「浮世絵鑑賞システム」の開発チームによる実演デモも開催され、多くの観覧者の関心を集めた。本特別展には、学内外から2,835名が訪れ貴重な資料を観覧した。

#### <附属病院による地域医療への貢献>

- ・近隣医師会との外来逆紹介のためのネットワーク構築を図るべく、各診療グループが考える疾患・病態を調査し、つくば市医師会と協議を開始した。（次年度継続事項・他医師会拡大予定）
- ・社会的困難な症例が増加し、より柔軟な対応等が必要なため、医療ソーシャルワーカー（MSW）の増員を図った（平成28年度8名、平成29年度10名）。
- ・本院主催による地域医療連携懇談会を実施し、行政及び県内医療機関を中心とした参加者との顔の見える連携を構築させ、患者紹介・逆紹介等の医療連携推進化を図った。
- ・地域医療臨床教育センターの教育・研究機能の充実のために、遠隔医療のための通信インフラの整備など教育・

研究環境の整備を行った。

- ・平成30年度より新たに筑西地区に地域臨床教育センターを自治医科大学との合同（他大学との合同設立は初のケース）で開設する調印を締結した。既存のセンターを含め更なる人員拡充を図る予定である。
- ・ガバナンス強化及び機能充実に向け、各臨床教育センター・ステーションの位置付けを明確にし、センター長会議の位置付けを明文化した。
- ・BCP（事業継続計画）概要版を作成した。また、災害時訓練を2回（7月、11月）実施した。

#### <附属学校による地域貢献活動の推進>

- ・地域の教育委員会との連携体制については、4自治体教育委員会（文京区・目黒区・世田谷区・大子町）との間で運営組織が構築され、活動を行っている。
- ・地域の教育委員会と連携した教育研究活動は、平成29年度は32自治体において行われた。教育委員会における委員会に附属学校教員が委員として参加し、公立学校における児童生徒の学力向上に関する検討に助言を行った。教育委員会開催の研修会・公開講座に附属学校教員が講師として参加し、附属学校における教育研究成果を踏まえた講義を行った。また、2自治体においては、附属学校教員のみならず高校生も参加して、小学校児童への教育活動を行った。
- ・地域の幼稚園・学校、住民との連携した活動では、幼稚園・学校の園児・児童生徒との交流活動、学校への講師派遣、特別支援教育に関する相談支援活動、住民対象の公開講座・講演会（約50回）、スポーツスクールを附属学校群全校で行った。
- ・さらに、附属学校における研究発表会や研修会・講習会には、日本全国から多数の学校教員（附属学校全体で2,000名以上）が参加した。

## 7. 附属病院機能の強化

### (1) 質の高い医療人育成及び臨床研究の推進

- ・産業技術総合研究所や物質・材料研究機構など、筑波研究学園都市及びその周辺の関係法人等に直接足を運び、橋渡し研究拠点としての活動を積極的に広報することによって学外シーズの掘り起こしを行った。また、つくば臨床医学研究開発機構（T-CReDO）の主催でつくば医工連携フォーラムを開催し、出口戦略に結び付けるためのマッチングプログラムを導入して関係企業等との連携を図った。
- ・未来医工融合研究センターでの臨床研究を基に、脳卒中片麻痺歩行障害患者を対象に平成28年度医師主導治験として開始した、ロボットスーツ HAL の臨床応用をさらに展開すべく、サイバニクス研究センターと連携して、種々の疾患を対象とした実証研究を実施した。
- ・平成29年3月に、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）による「橋渡し研究戦略的推進プログラム」に採択されたことを受け、つくば臨床医学研究開発機構（T-CReDO）が中心となり、本学のみならず学外シーズ収集を精力的に推進し、知的財産権の獲得支援や研究開発戦略・薬事に関する相談（シーズ相談）、企業パートナーリング等、シーズの実用化に向けた総合的な支援を行った。
- ・本学のシーズ登録件数は、「橋渡し研究戦略的推進プログラム」拠点として採択された全国10拠点の中でも上位に位置している（平成30年3月現在132件、うち拠点外シーズ34件）。
- ・医療職の海外派遣制度については、若手医師等海外派遣事業と茨城県グローバル人材育成プログラムに加え平成28年度から赤岡基金が開始され、平成29年度は医師6名、看護師1名が海外研修を行った。
- ・看護師の特定行為研修は、6つの区分研修に昨年度の倍となる13名の受講生が参加した。専門医育成コースについては、18領域で新専門医制度に対応するプログラムを作成して専攻医を募集し、99名を採用した。

### (2) 質の高い医療の提供及び開発

- ・次世代の陽子線治療装置をPFI事業として整備することについて、学内の合意を得た。BNCT\*の医師主導治験に向けて、PMDA（独立行政法人医薬品医療機器総合機構）との事前相談を経て非臨床試験を実施し、平成30年度から臨床治験を開始する予定である。また、陽子線治療機器更新については事業スキーム等のサウンディングを実施し、PFI事業の導入可能性調査に着手することとした。

\* BNCT (Boron Neutron Capture Therapy) : ホウ素中性子捕捉療法 : がんに取り込まれやすいホウ素化合物を使用し、がん細胞を選択して破壊する新しい治療法。

- ・スポーツ医学・健康科学センターにおいて、「アスリートサポート部門」では、のべ2,135名に対してアスレティックリハビリテーションを実施した。「健康増進部門」では、高齢の肥満者や生活習慣病者、サルコペニアを有する者に対する3次元加速度訓練による骨格筋訓練等を実施した。

### (3) 継続的・安定的な病院運営

#### ○ 診療指標及び経営指標について（前年度との比較）

- ・診療指標としては、7対1看護体制は維持しつつ、手術人数の増加（8,708人→9,087人）、初診患者の増加（外来：22,752人→23,810人、入院：18,576人→19,483人）、病床稼働率（89.2%→90.1%）、在院日数の短縮（13.1日→12.4日）を達成した。
- ・経営指標としては、臨床指標の向上による診療単価の上昇（外来：20,209円→21,563円、入院：85,841円→88,461円）に伴い、病院収入金額は前年度実績を17.5億円上回る約322.7億円を達成した。
- ・支出については、▲1.3億円（医薬品・診療材料購入価格の見直し▲0.4億円、血液生化学検査件数の削減▲0.6億円、業務委託費の削減▲0.3億円）のコスト削減を達成した。
- ・収入増に伴う医薬品等診療材料費の増加、老朽化した医療機器の更新及び病院機能強化に向けた投資及び人事院勧告を準用した給与引上等の特殊要因により支出額も増加しているが、コスト削減の取組みにより前年度実績から約18.2億円増加した約317.2億円の支出に止めることができ、3期連続の黒字化を達成した。
- ・国立大学病院管理会計システムにより診療科別の粗利（対前年度増減を含む）及び診療経費率を会議で定期的に報告することにより、診療経費率も低下して昨年度より粗利額・粗利率とも上昇した。また当該粗利額は収益の源である物的資源（病床）配分の際の評価指標として活用し、人的資源（医師）配分の際の参考資料として活用した。

## 8. 附属学校教育の充実

### (1) 教育課題の解決に向けた研究の推進

#### ○ グローバル人材育成システムの構築

- ・スーパーグローバルハイスクール（SGH）事業の指定校における海外交流体験率は、全校生徒をSGHの対象としている附属高校では45%（712名中320名。3年生全員がシンガポールへ修学旅行、その他韓国、中国、カナダへ派遣された生徒を含む）、附属坂戸高校では100%（SGHクラス生徒180名全員がカナダへ修学旅行、その他インドネシアへ派遣された生徒を含む）であり、2校平均で56%に達した。
- ・附属坂戸高校において国際バカロレアディプロマプログラム（IBDP）の第1期生徒募集を行い、17名が受験、11名（募集人員10名）が合格した。
- ・教育研究科（教育学（国際教育）修士プログラム）との連絡会議を定期的に行い、同プログラム学生が2年次に附属坂戸高校で実習を行う方針が確認されている。
- ・附属図書館と連携し、附属高校、附属駒場高校、附属坂戸高校の教員を対象として英語論文データベース“Web of Science”の研修会を実施し、3校の生徒が自校で同データベースを利用できる体制を構築した。また、附属坂戸高校の生徒が卒業研究のための先行研究レビューに同データベースを利用しており、実際に高校生による活用が始まっている。
- ・文部科学省事業「平成29年度 新時代の教育のための国際協働プログラム」に採択され、本学附属学校9名及びお茶の水女子大学附属学校2名、計11名の教員をハワイ大学に派遣し、「イノベーション創出のための創造性を育成する初等・中等教育における学習プログラムの開発～STEMS2 教育メソッドの活用と実践を通して～」のテーマで研修交流活動を実施した。本事業により、わが国における新しい理系教育モデルの開発及び附属学校群とお茶の水女子大学附属学校との連携促進が今後期待できると考える。

○ インクルーシブ教育モデル開発

- ・共同生活型インクルーシブプログラム（黒姫高原共同生活、参加児童生徒 80 名：特別支援学校 25 名、普通学校 55 名）とスポーツ活動・文化交流型インクルーシブプログラム（共生社会を目指すスポーツ交流とシンポジウムの集い、参加者約 180 名：附属学校群の児童生徒・一般参加者）を開催した。平成 29 年度は、視覚障害児童も参加し、参加する児童生徒の障害種を拡大できた。さらに、各活動の事前・事後に調査を実施し、プログラムの評価を行い、筑波型インクルーシブ教育プログラムの開発を進めることができた。
- ・附属学校群 11 校全てにおいてオリンピック・パラリンピック教育を実施した。さらに、高校生を対象としたオリンピック・パラリンピックボランティアプログラム全 8 回のシラバスを作成、附属学校群及びお茶の水女子大学附属高校の高校生（特別支援学校を含む）を対象として同プログラムを試行し、同プログラムの検証を行った。障害のある高校生をも対象としたオリンピック・パラリンピックボランティア教育の実施は、わが国で初の試みである。

○ その他の取組

- ・附属高校は、お茶の水女子大学附属高校と連携して高校生対象のキャリア教育プログラムを作成し、両校の生徒を対象にキャリア講座を 7 回実施した。さらに、同プログラムの効果測定バッテリー（効果を測定するための評価方法）を作成し、効果測定を実施した。

**(2) 大学及び附属学校間の連携強化**

附属学校群では、教育・研究・運営等に関する事項を審議するため、各学校及び附属学校全体で各種委員会等を設置し、定期的に開催している。

大学と附属学校の連携による研究については、大学の教員、学群生、大学院生、留学生及び理療科教員養成施設学生が附属学校群をフィールドとして研究を行っており、研究成果を各学校に還元している。さらに一部の学校では大学教員、附属学校教員、学生等が参加した研究発表会を開催している。また、大学と附属学校が連携した研究では、附属学校教育局指導教員と全附属学校教員が参加するプロジェクト研究をはじめ、他大学も含めた大学との連携による研究活動を実施している。大学と附属学校の連携による平成 29 年度の教育活動は、附属学校における教育研究活動の成果を踏まえ、大学教員による附属学校での授業、附属学校教員による大学での授業が相互に行われた。

**(3) 附属学校の体制・機能の見直し**

○ 役割・機能の見直し

平成 29 年度は、附属学校群 11 校各校における強み、課題、展望・将来像を検討しまとめた。さらに、この結果を踏まえ、平成 30 年度に附属学校群の存在意義と展望をまとめ、平成 31 年度より実施可能な事項に着手する工程を定めた。

○ 附属学校群における教育研究成果の発信と深化

年度中間時期に出された「国立教員養成系大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議」最終報告書で提示された『国立大学附属学校についての対策：中長期的な方針』及び『国立大学附属学校についての対策：早急に対応すべきこと』のそれぞれへの対応についても着手した。特に、『早急に対応すべきこと』にある『成果の追跡と深化』に関し、平成 30 年度から実施できる体制を構築できた。

附属学校群における教育研究成果の発信と深化、改善を行える体制構築については、具体的には以下の 3 点である。①附属学校 11 校からの情報発信を一覧できるサイト設置と情報を更新する仕組みの導入（附属学校教育局サイトを一新）、②附属学校群に関するメールマガジン作成による情報発信体制の構築、③附属学校群研究会等への参加者対象の追跡調査の仕組みを構築（当日及びメールマガジンで依頼）

## II. 業務運営・財務内容等に関する取り組み状況

### 1. 業務運営の改善及び効率化に関する目標

#### (1) 大学戦略室による経営的な観点からの中長期の大学戦略についての検討と情報ガバナンス機能の強化

- ・平成 28 年 4 月に設置した大学戦略室において、平成 29 年度は 9 回の室員会議で検討を実施し、中長期の大学戦略に関する検討状況を学長に答申した。なお、これまでの大学戦略室での検討を基に、国立大学を取り巻く政策動向等を踏まえたうえで、将来の経営基盤を強化するために必要な具体的な戦略の検討と助言を行う組織として、大学戦略室を発展的改組した「大学経営改革室」の体制を整備した（平成 30 年 3 月規程制定）。学長直轄の「教職協働」組織として、企業経営者やマーケティング専門家といった外部有識者と若手教員、事務職員等を室員としている。室長に本学ビジネスサイエンス系の教員を充て、経営基盤強化方策等の検討作業を通し、副次的効果として、同室員の中から経営能力を備えた人材の育成・輩出につなげることを狙いとしている。
- ・定量的評価指標を用いた客観的な評価システムを導入した教育研究組織評価を実施し、評価結果に基づき重点及び戦略的経費の予算配分を実施した。学長のリーダーシップの下で、定量的評価指標に基づく組織評価結果による学内資源の効果的再配分を行うことにより、実施組織における活動のサポートを実現したものである。また、本学の方針に沿う形での活動を推進させることにより、大学全体のパフォーマンスの向上と機能強化につなげる体制を整備した。さらに、平成 31 年度以降に予定していた自組織と他の高等教育機関の同類の組織（ベンチマーク）との比較について、各教育研究組織の更なる機能向上を図るため、平成 30 年度に前倒しして開始する方針を決定した（平成 30 年 3 月）。今後、経年的に比較を行うことで、本学の独自性の強化や学問分野における傾向と将来像の策定にも活用を予定している。
- ・「大学作成情報マネジメントシステム（サービス名：リソースファインダー）」を構築した。これにより、学内各所で作成される電子データの所在情報やそのファイルが保有する項目、管理者等の情報をメタデータとして収集・蓄積し、網羅的に検索することが可能となった。平成 29 年度は、主要業務システムに関するメタデータ及び IR 情報共有サイトの情報をシステムに投入した。リソースファインダーには、業務系システムを連結する上でのキーとなる項目の把握や一元的な検索、データの活用事例情報収集など、大学作成情報の利活用を促進する機能を搭載した。

#### (2) ダイバーシティの実現に関する取組

- ・教職員及び学生向けの相談体制として、ワークライフバランス相談室「あう」、キャリア相談、LGBT 等に関する相談窓口（学類生も含む）を継続して実施するとともに、相談者の了解のもと、障害学生支援、学生相談室、保健管理センター（精神科）、留学生相談室、キャリア・就職相談等の各種相談窓口と密接に連絡を取り合うなど有機的な連携体制を構築した。
- ・「LGBT 等に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドラインの策定について」、「SOGI/LGBT とダイバーシティ」と題して全学 FD を実施し、LGBT の大学構成員のための支援体制を含むダイバーシティの環境整備・意識啓発を図った。加えて、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリア（DAC）センターにおいても独自の FD を実施し、学生対応を担当する職員を含めた意識啓発を徹底して行った。これらの取組により、任意団体「work with Pride」が策定した企業・団体等における LGBT などの性的マイノリティに関する取組みの評価指標「PRIDE 指標 2017」において大学初の「GOLD」を受賞し、さらに 5 社のみとなるベストプラクティスに選出されるなど、高い評価を受けている。
- ・また、平成 30 年 3 月に見直しを行った「LGBT 等に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドライン」では、当事者が望まない故意や悪意による情報暴露（アウティング）をハラスメントとして対処することを明記するとともに、就職活動やカミングアウトに関して追記し、きめ細やかな取組としてメディアにも取り上げられている。
- ・安心して学業に専念できる経済支援の充実（男女共同参画の推進）を図るため「育児（子育て）支援奨学金」を創設し、平成 30 年度予算に反映した。

### (3) 情報セキュリティ強化に向けた取組

情報セキュリティの更なる徹底に向け、以下のとおり情報セキュリティマネジメントの強化を図った。

#### ○ 情報セキュリティに係る規則の運用状況

「国立大学法人筑波大学情報セキュリティ規則」に基づき、監査室と情報セキュリティリスク管理室の連携体制により平成 28 年度から実施している情報セキュリティ監査では、前年度同様一部抽出した 5 つの部局を対象として、情報セキュリティに対する組織的な取組状況、情報セキュリティインシデント対応体制状況等の項目についてヒアリング及び書面により実施した。併せて、前年度実施した部局に対してもフォローアップ監査を書面により実施した。

#### ○ 個人情報や研究情報等の重要な情報の適切な管理を含む情報セキュリティの向上

学生・教職員を対象とした e-ラーニング (INFOSS 情報倫理) の受講を徹底するとともに、教職員・学生を対象とした情報セキュリティセミナー、システム管理者を対象としたセキュリティ技術セミナーを実施した。また、情報の機密性の格付け、取扱手順の明確化を図るため、関連規程の改正を行った。

#### ○ インシデント対応に係る未然防止及び被害最小化や被害拡大防止のための取組

高度サイバー攻撃への備えに向け、以下のとおり対応を行った。

- ① 基幹ネットワークシステムセキュリティ対策機能 (URL フィルタ、サンドボックス等) の全学的な適用による監視を開始した。また、これらの機能の試行運用を通じ、検出脅威情報への対応手順等を検討・整理した。
- ② 脆弱性点検ツールによる脆弱性診断の実施を開始した。
- ③ 文部科学省主導による、本学基幹システム (3 システム) のペネトレーションテストを実施した。
- ④ 国立情報学研究所 (NII) が推進する「大学間連携に基づく情報セキュリティ体制の基盤構築」に参加し、NII による SINET5 上の不正通信監視結果を入手する体制を構築した。

なお、前回評価結果 (平成 28 事業年度) において改善すべき点として指摘された情報セキュリティマネジメントについては、情報セキュリティ環境の構築について一層の充実・強化を図ることを重点計画として掲げ、中期計画の変更を行うとともに、以下の対策を実施し、制度面と設備面の双方で、情報セキュリティマネジメントの徹底を図った。

- 職務上取り扱う情報の格付けを行い、格付けに応じた情報の取扱制限を定めた「情報の格付け及び取扱制限に関する取扱手順」を策定し、法人文書の機密性の格付けに応じた取扱いも含め、平成 30 年度から運用を徹底することとした。
- 学外に機密情報を持ち出すことを防止するため、ネットワークシステム経由でアクセス可能な情報アクセスシステム (オンラインストレージシステム) を構築し、試行を経て、平成 30 年 4 月から全学的情報基盤として適するクラウドストレージ型のオンラインストレージシステム (UTOS : University of Tsukuba Online Storage) を本稼動する準備が完了した。また、システム導入に合わせて、UTOS 利用端末の登録制や暗号化を義務付けた運用ルールの策定も行った。

### (4) 「働き方改革」につながる業務の効率化、業務改善に向けた取組

#### ○ 職場環境等の整備

平成 27 年度から学長を本部長として設置された業務改革推進本部が主導し、継続して業務改善に取り組んでいる。平成 29 年度においては、業務一つひとつの処理や判断と全体の流れを図で表した「業務フロー」の作成・運用により、業務プロセスの適正化や効率化を組織的に推進した。

#### ○ 事務効率化推進の実例

- ・ 特別活動部門について、外部資金の種類、特別活動部門の仕組、活動分野、企業等名の表示、窓口、メリット等を確認し、寄附講座、寄附研究部門及び特別共同研究事業の設置又は契約の手順について、窓口一元化に向けて、関係組織と課題について検討した。
- ・ 附属図書館において、財務部と連携し、平成 29 年 11 月から教員を対象とした文献複写等料金の共通経費化の試行を開始した。これにより作業負担の高かった文献複写サービスに係る集計業務や予算振替業務が不要となり、当該業務を担当する全ての事務組織の業務改善を図ることが可能となった。平成 30 年度も試行を継続し、その結果を検証した上で平成 31 年度以降の本実施の判断を行う予定である。

- ・グローバル・コモンズ機構と各エリア支援室において、社内 SNS サービス「Yammer」\*を試験的に導入したところ、離れて業務を行っている両組織の職員間で情報共有・共同作業が飛躍的に向上した。  
\* 本学がMicrosoft 社と締結している包括契約の範囲で、追加費用なしで利用できる。
- ・会計業務の一元集中化による合理化の実現に向け、業務マニュアルの整備や財務会計システムの運用改善などの15 項目にわたる見直しについて効果を検証した結果、支払書類の適正化や不正防止体制の強化など、業務の質の向上が図られたとともに、業務作業時間についても削減が図られたことを確認できた。

#### ○ 人材育成の取組

- ・採用から3年目までの職員にOJTリーダーを配置して組織全体で人材を育成すること等を明記した「筑波大学OJT体制」に基づき、採用1年目職員のOJTリーダーを対象にOJTリーダー研修を実施した。研修では、OJTリーダーに求められる役割、ノウハウ等を習得するとともに、大学独自の「育成計画シート」を用いて対象者が大学職員として身につけるべき基本的事項を習得させるための育成計画を作成した。作成した育成計画については、適宜進捗状況等を確認するとともに、OJTを実施するうえで工夫した点、苦勞した点等を情報共有しOJTの充実を図った。
- ・本学で初めて事務系女性職員を対象とした「女性職員活躍セミナー」を開催した。本セミナーは、女性管理職経験者との意見交換を通じ、大学運営の中核として女性が活躍することの意義と期待を共有し、女性職員が自らのキャリアデザインを考えモチベーションを高めることを目的として実施し、89人（女性職員79人、男性職員10人）が参加した。また、セミナーに参加して有意義だったと回答した職員は92.6%であった。
- ・グローバル・コモンズ機構グローバル・スタッフ育成室において、国際化に対応しうる職員を育成するため、職員に対する語学研修や、海外短期派遣・受入研修を実施し、真の国際性を身に付けた職員を育成するプログラムを充実させ、体系的に実施した。
- ・本学職員が、海外の大学職員と共に、グローバル化する大学の課題解決のための情報共有と意見交換を行う場を提供し、職員の国際性の涵養を目的に、日頃から連携関係にある東南アジアのパートナー大学から教職員を招き、「大学のグローバル化を考える」と題したネットワーキング・ワークショップを開催した。
- ・財務部職員をクラウドファンディング事業者に研修派遣（6か月）し、当該事業者の指揮監督の下、知識を習得させる取組を実施した。研修派遣で得た知識等を学内研修「財務に関する勉強会」にて発表する機会を設けて広く展開した。

### ◇ ガバナンスの強化に関する取組みについて

#### ○ 学長のリーダーシップの確立

学長の諮問に応じて、経営的な観点から法人の中長期のビジョンと戦略について検討を行う組織として設置している「大学戦略室」において、社会環境の変化要因に応じて考えられる様々な選択肢について、「中長期の大学戦略に関する検討状況」としてまとめ学長への報告を行った。さらに、「大学戦略室」における検討状況を基に、大学政策動向等を踏まえた上で、将来の経営基盤を強化するために必要な具体的な戦略の検討と提言を行うため、大学戦略室を改組再編し、平成30年度から外部有識者を加えた教職協働体制による「大学経営改革室」の設置を決定した。

#### ○ 学長の選考・業績評価

毎年、学長選考会議において、学長からの業務実績の説明と質疑応答により業績評価を行い、評価結果は速やかに学内外に公表している。また、当該会議には、監事も陪席し、議長からの求めに応じて意見を述べられるようにしている。

#### ○ 監事の役割の強化

監事監査については、監査室と連携し、中期目標達成の支援及び業務の健全性の確保、全学的かつ組織横断的な対話と情報共有の促進、部局の状況等を踏まえた執行部との対話と課題解決に向けた助言・提言等を基本方針として、副学長等の職務分担ごとの本部業務監査（12担当）、部局実地監査（9部局）、内部統制システムの整備・運用状況や利益相反・安全保障輸出管理に関するテーマ監査、個人情報保護管理に関する監査のほか、重要な会議への出席や書類の閲覧、個別課題に対する関係者との意見交換などを通じた日常的な監査を実施した。



特に、監事監査が有効に機能し法人業務の適正性の確保に資するため、監事による重要文書の調査及び監事への重要事項の報告に関する制度を平成27年度から運用し、中期計画や財務諸表等の認可・承認申請などのほか、リスクマネジメントや内部統制など法人の業務運営に大きな影響を及ぼす恐れのある事項全般について、監事に対する確実かつ十分な情報伝達を行うことにより、監事の日常的な監査機能の強化に繋げた。

○ 経営能力のある教職員の育成

国立大学を取り巻く政策動向等を踏まえた上で、将来の経営基盤を強化するために必要な具体的な戦略の検討と助言を行う組織として、「大学戦略室」を発展的改組した「大学経営改革室」の体制を整備した（平成30年3月規程制定）。学長直轄の「教職協働」組織として、企業経営者やマーケティング専門家といった外部有識者と若手教員、事務職員等を室員としている。室長に本学ビジネスサイエンス系の教員を充て、経営基盤強化方策等の検討作業を通し、副次的効果として、同室員の中から経営能力を備えた人材の育成・輩出につなげることを狙いとしている。

○ 内部統制体制の強化

内部統制について、定例で開催されている学長、副学長等による「学長副学長懇談会」を当日の議題に応じて内部統制に関する検討する場に切り替えることにより、内部統制体制の強化を図った。新たな組織を設置せず、かつ、週1回開催される会議体を効果的に活用することで、より機動的な対応を可能とした。これにより、業務の進捗状況を確認し、進捗がはかばかしくない場合にはその要因と対策について議論し、業務の実施責任者である副学長等とその場で共有するとともに、速やかにその改善に取りかかることで、その結果が翌週には報告できる体制を整備・運用している。

○ その他のガバナンス改革

- ・学生支援組織連絡会において、メンタルヘルスに関連した事例について情報共有を図り連携を強化するとともに、学生こころの健康委員会及び保健管理センター主催による学生支援FDとして、各教育組織に設置している学生支援対応チーム等の教職員を対象に、事例に基づくグループワークを実施し、参加者から好評を得た。
- ・ダイバーシティ推進に関する全学FDを実施し、男女共同参画だけではなくLGBT等も含めたダイバーシティ推進に関する取組を全学的に強化した（実施回数：4回）。
- ・「教育戦略推進プロジェクト支援事業」として、アメリカ及び韓国から講師を招き、海外の大学におけるキャリア教育に関する全学FD研修会を実施した（実施回数：2回）。
- ・学群総合科目「ワークライフ学ー男女共同参画とダイバーシティ」「ダイバーシティスタディーズ入門」及び大学院共通科目「ダイバーシティと男女共同参画 I」「ダイバーシティと男女共同参画 II」を開講し、延べ248名の学生にダイバーシティや男女共同参画の推進に関する講義と演習を実施した。加えて、次世代キャリアセミナー「研究者という職業」（平成29年9月）やダイバーシティセミナーV（平成30年2月）を実施し、そのなかで女性研究者と学生や若手研究者とのロールモデル懇談会を開催することで、活発な意見交換・情報共有を促進した。

## 2. 財務内容の改善に関する目標

### (1) 外部資金獲得のための体制強化

研究担当副学長のもとに、URA 研究戦略推進室、研究推進部、産学連携部、財務部の連携による「外部資金獲得コアチーム」を設置し、研究成果の分析等により、本学の強みに合わせた競争的資金の獲得に向けて集中的支援を行った。また、産学連携担当副学長を配置し、渉外活動を強化した。その結果、共同研究件数は、平成 24 年度の 311 件に比べて 502 件となり、年度計画（対平成 24 年度比 50%増）を上回る 61%増となった。

### (2) 学生への新たな経済支援モデルの策定

国による「給付型奨学金制度」の創設を踏まえ、本学における学生への経済支援策（授業料等の減免制度、奨学金制度）の戦略的な運用モデルを策定した。

さらに、策定した運用モデルには、当初予定していた住民税非課税世帯の学群生に対する支援に加え、優秀な学生の獲得等の観点から踏まえた博士後期課程の学生に対する支援策の充実・強化や乳幼児を持つ学生の子育て支援策の創設など、独自の経済支援策を盛り込んだ。

これらの取組は、平成 30 年度予算編成において具体的な事業として、具現化している。

### (3) 会計業務の一元集中化による合理化の実現

契約業務等の一元集中化に伴う業務マニュアルの整備や財務会計システムの運用改善などの 15 項目にわたる見直しについて効果を検証した結果、支払書類の適正化や不正防止体制の強化など、業務の質の向上が図られたとともに、業務作業時間についても削減が図られたことを確認できた。

業務作業時間の削減が図られた主な項目は以下のとおり。

- ①財務会計システムの利用方法及び作業工程の改善
- ②法人カード利用に係る財務会計システム計上方法の改善
- ③勘定科目の統廃合による入力業務の簡素化 など

上記の業務作業時間の削減について、非常勤職員の年間業務時間に換算すると、年間約 10 人分の作業時間（約 16,000 時間）に相当し、人件費に換算した場合、当初予定していた 1,400 万円を上回る 2,400 万円（約 11%）の削減効果があった。（前年度は 4,700 万円（約 21%）の削減効果があり、これに加えての効果である）

### (4) 事業の存続に係る意思決定の明確化

事業の存廃に関する意思決定を行う会議に評価システムを導入することとして新規事業導入等を諮る会議資料にインプットとアウトプットを明示し、一定期間経過後にその実績を報告させ、事業の存廃を的確に意思決定できるようにした。なお、平成 30 年度は試行として、学長副学長懇談会から導入することとした。

### (5) 土地・施設の有効活用

- ・平成 29 年 6 月に不動産売買契約を締結し、並木 3 丁目職員宿舎の宅地（土地）29,313.32 m<sup>2</sup>及び建物 59 棟を譲渡（売却）し、同年 7 月に所有権移転登記を完了した。
- ・平成 29 年 4 月 1 日施行の国立大学法人法の一部改正を踏まえて、土地の有効活用方策の検討を進め、平成 29 年 10 月に「職員宿舎再開発整備見直し計画」を策定した。
- ・同計画を踏まえ、吾妻 2 丁目職員宿舎敷地は、つくば駅から最寄りの場所であるとともに、都市計画法上の用途区分においても商業地域であることから、利便性や事業性を考慮し、当初計画より用途廃止時期を早め、有効活用用地とすることが平成 29 年 12 月に決定した。
- ・大学全体の宿泊施設の今後の在り方等について検討するための「宿泊施設トータルプラン検討ワーキンググループ」を設置し、宿泊施設の現状と課題を整理し、今後の在り方や規模について検討を行い、民間事業者を活用したトータルプランを策定した。

## (6) 多様な財源を活用した整備手法による整備

- ・スペースチャージ制度は、平成28年度から系組織の研究室及び実験室を対象に運用を開始した。平成29年度には対象組織にセンター等を加え、全学の教育・研究組織全般に拡大できた。これにより、約45百万円の財源を確保し、公募スペース施設使用料39百万円と併せて、研究室及び実験室2,349㎡の空調機整備を行い、教育研究環境の改善を図った。
- ・PFI事業は、グローバルレジデンス整備計画に基づき、2期4棟(190戸)のグローバルヴィレッジを整備した。昨年度整備の1期7棟(310戸)と合わせた合計11棟(500戸)のグローバルヴィレッジの新築整備が計画どおり完了した。
- ・既存学生宿舎等の計画的な修繕と維持管理では、学生宿舎の料金改定による収入の一部を活用し、一の矢学生宿舎(3棟)屋上防水改修、追越学生宿舎(3棟)空調設備改修、一の矢学生宿舎等(43棟)給湯設備改修を行った。
- ・ネーミングライツ事業においては、グローバルヴィレッジ敷地内の共用施設の名称を募集し、「大和リースコミュニティステーション」に決定した。なお、ネーミングライツによる自己収入を財源とし、大学とPFI事業者との共催による「Global Village New Year Party 2018」が開催され、グローバルヴィレッジおよび短期・ショートステイハウスに入居する約140名の日本人学生・留学生が参加した。
- ・物納寄附については、企業からの資金獲得に努めた成果として、次の教育研究施設等の整備を行うことができた。
  - ①農林技術エリアに、特別共同研究事業遂行のための施設として、研究棟(木造平屋建、床面積:334.55㎡)及び温室(ビニールハウス、面積:594㎡(9m×33m×2棟))を建設した。
  - ②グローバルヴィレッジ西側の平砂学生宿舎に駐車場を整備した。(面積:416.25㎡)
- ・経年による施設の維持管理費が課題となっていた遠隔地研修所(山中、館山)について、平成29年4月から民間業者に運営を完全に委託し、約14百万円の経費削減を行うことができた。この委託により民間業者が独自にキャンプ施設を新たに整備するなどした上で、7月からリニューアルオープンし、前年度からの稼働率向上が図られた。
- ・民間事業者の資金及び経営能力等を活用した事業として、筑波キャンパス南地区内に、学生や教職員等の福利厚生等を目的とした、民間事業者が運営を行う小規模ショッピングプラザの整備について、平成30年度からの事業開始に向けた基本協定を締結した。

## (7) 経営力強化に向けた取組

大学の自主財源を多様化し財務基盤の強化を図るため、「外部資金獲得戦略」、「収益的事業の展開」及び「人事戦略」の3つの柱からなる「第3期中期目標期間における経営力強化方策」を平成29年3月に策定したところであり、平成29年度においては、各戦略の担当副学長等から、年2回(9月及び2月)のヒアリングを実施して目標値に対する達成状況を確認及び数値化し、法定会議及び学内会議に報告するとともに、平成30年度予算に反映した。

3つの各戦略等における主な取組は以下のとおり。

### ①外部資金獲得戦略

- ・外部資金の拡充を図るため、「外部資金獲得コアチーム」を設置し、進捗状況を共有。
- ・産学連携に係る「組織」対「組織」の共同研究に向けた取組として、「共同研究実用化ブースト事業」、「産官学共創プロデューサー人材活用事業」、「産学連携プラットフォーム事業」を開始。
- ・筑波大学発ベンチャーに対するストックオプションの取扱規程を制定。

### ②収益的事業の展開

- ・ネーミングライツ及び広告掲載料は、6月に規則を整備するとともに、ネーミングライツ(学生宿舎コミュニティステーション)、広告掲載料(筑波大学新聞)を実施。
- ・基金事業は、「50周年基金事業」の平成30年度募集開始に向けて準備。
- ・土地等の有効活用については、平成29年度に並木3丁目職員宿舎跡地を売却(財産処分収入:951百万円)
- ・収入・支出改革に関する取組みとして、共催事業に伴う施設使用料の徴収(新設)、講義室・会議室等の短期財産貸付料(増額改定)、大学会館の施設使用料(増額改定)を実施。

- ・国立大学初となるスポーツブランドとの包括的連携協定により「アンダーアーマークラブハウス筑波大学」をオープンし、筑波大学で新たに作成したスポーツエンブレムを使用したポロシャツ等のライセンス商品の販売を実施。
- ・平成28年度から学生・教職員の福利厚生のために就職活動等で必要となるスーツの割引販売を紳士服大手企業4社と提携し行っており、平成29年度においては、前年度比6割増となる4百万円の売り上げがあった。

### ③人事戦略

- ・教員のポイント見直しや事務系職員の配置見直し等を行いつつ、大学の戦略に応じた組織改革・分野強化を実現するため「戦略的分野拡充ポイント」を創出。
- ・混合給与については、クロスアポイントメントシステム19名、ハイブリッドサラリーシステム7名の合計26名であり目標18名を大幅に上回る実績。

## (8) 財政維持を勘案した戦略的な教員配置の取組

学長のリーダーシップの下で、全学的な見地から戦略的かつ柔軟な配置を行う全学戦略ポイント制の運用により、28 枠相当のポイントを配分決定した。加えて、卓越研究員事業等の全学的施策で雇用する教員を承継化するための全学戦略ポイント数を設定する等、全学戦略ポイントの配分計画を見直した。また、機能強化経費による取組みの自走化支援、大学の戦略に沿った新たな研究分野開拓及び総合大学として必要不可欠な研究分野の後任不補充解消等のために機動的な教員配置を行う戦略的分野拡充ポイントを創出し、40 枠相当のポイントを配分決定するとともに、極めて顕著な研究業績を残した若手教員を早期に昇任させる教員抜擢昇任人事制度の公募を開始した。

### ◇ 寄附金の獲得に関する取組について

- ・国立大学で初めて締結したクラウドファンディング事業者とのオフィシャル契約に基づき、平成29年度には新たに4件のプロジェクトについて資金募集を行い、全て目標達成し成立となり、総額20,809千円(目標額17,500千円)の寄附金を獲得した。
- ・クラウドファンディングによる継続的な寄附金募集の観点から、「筑波大学クラウドファンディングサンクスキャンペーン」として、学長名で寄附者へのお礼を行い、更なる寄附文化の醸成に繋げる取組を実施した。具体的には、各プロジェクトにおける、達成後のリターン(サンクスメール配信、活動内容報告、サンクスギフト、小冊子の配布等)について、確実に実施するとともに別途「サンクスカード」を送付した。さらに、10万円以上の高額寄附支援者には筑波大学アソシエイトとしての待遇を付与し、本学への支援について顕彰を行った。
- ・平成29年度は、6年後の開学50周年を見据え、ファンドレイザーを1名増員し、戦略を練りつつ計画を立てるなど準備を進めている。附帯事業については、国立大学初となるスポーツブランドとの包括的連携協定により、本学体育会各部の試合用ユニフォーム等の現物寄附(4,800万円相当)を受けた。
- ・海外大学との連携協定による国際交流を基に、オリジナルワイン及びオリジナルコーヒーの販売(売上の一部が寄附される仕組み)を行い、平成29年度においては、売上が好調であったことから、ワイン1,000千円の寄附受入、コーヒーは前年度比6割増の1,200千円の寄附受入があった。
- ・平成21年度から地元企業の社長、役員等を招待し、本学学長、執行部との懇談会を開催しているが、会員数も現在260企業と年々増えており、平成29年度においては、本会員より蹴球部の天皇杯ベスト16進出時や、本学が主催する国際交流イベントなどへの寄附金の受け入れがあった。(1,750千円)
- ・平成27年度から、大学関係者を入会対象とするクレジット機能付き大学カード事業(カード発行及びカード利用額に基づき手数料の一部が寄附される仕組み)を開始しており、事業開始からの3年間において約2,900枚発行し、平成29年度は約1,800千円の寄附受け入れがあった。
- ・本学の活動に対する寄附者の意向に沿った多様な活動の展開を重点計画として掲げるため、奨学寄附金による教育研究以外の多様な継続的活動を目的として、従来の寄附講座制度及び寄附研究部門制度等を一元化して「特別活動部門制度」を設けることを盛り込んだ中期計画の変更を行った。

### 3. 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

#### (1) 定量的評価指標を用いた組織評価の実施

国立大学法人評価との連動性を踏まえた「国立大学法人筑波大学組織評価規程」に則り、定量的評価指標の内容として、当該組織の収入と支出、人員数等を明示するとともに、研究及び教育の活動状況を示す定量的評価指標（研究分野一系・センター：指標15項目、教育分野一学群：指標6項目、研究科：指標8項目）を定めた、客観的評価システムによる教育研究組織評価を引き続き実施・検証した。

平成29年度においては、新たに評価結果に基づき重点及び戦略的経費の予算配分を実施した。学長のリーダーシップの下で、定量的評価指標に基づく組織評価結果による学内資源の効果的再配分を行うことにより、実施組織における活動のサポートを実現したものである。また、本学の方針に沿う形での活動を推進させることにより、大学全体のパフォーマンスの向上と機能強化につなげる体制を整備した。さらに、実施状況を検証した結果、平成31年度以降に予定していた自組織と他の高等教育機関の同類の組織（ベンチマーク）との比較について、各教育研究組織の更なる機能向上を図るため、平成30年度に前倒しして開始する方針を決定した（平成30年3月）。

今後、経年的に比較を行うことで、本学の独自性の強化や学問分野における傾向と将来像の策定にも活用を予定している。

#### (2) 電子ジャーナル等の整備方針の策定、オープンアクセス方針の運用推進及びつくばリポジトリへの登録推進

・電子ジャーナル・データベースは、教育研究の学術情報基盤という公共財的性格を有しており、大学全体として安定的に整備する必要があることから、本学では中長期的な期間で整備方針を定めている。平成29年度においては、第3期中期目標期間の後半となる平成31年度から平成33年度の電子ジャーナル等の整備方針を策定した。整備対象資料については、平成28年度、平成29年度に実施したアンケート結果、利用状況等により現在導入中の電子ジャーナル・データベースについてはすべて継続確保した上で、部局での購入実績、アンケートの回答数、利用数を考慮し、新たにAmerican Chemical Society、IEEE CSDLの電子ジャーナルパッケージ、聞蔵IIビジュアル（朝日新聞データベース）の3点を追加することができた。

・筑波大学オープンアクセス方針の運用推進方策として、「オープンアクセス方針実施要領」を決定した。立案は、研究推進部と学術情報部の協働による「オープンサイエンス推進に向けた検討タスクフォース」により行い、平成30年2月23日開催の附属図書館運営委員会において決定した。今後は図書館Webページ等で広報し周知を図ることにより、「筑波大学オープンアクセス方針（平成27年採択）」に対する学内の理解を一層深め、つくばリポジトリへの学術雑誌論文の登録件数増加を目指す。

さらに、学内紀要刊行状況調査を実施し登録推進を図ったところ、登録された紀要は、平成28年度130誌（登録率64%）に対し、平成29年度149誌（登録率72%）となり、登録件数の拡充を達成することができた。

また、紀要のほか学術雑誌掲載論文を含めたつくばリポジトリのコンテンツ数について、新たに登録した件数が、平成28年度3,092件に対し、平成29年度4,752件と大幅に増加し、コンテンツの総数が45,000件を超えるなど、オープンアクセスの推進が図られている。

#### (3) 社会に向けた教育研究成果等の発信

・公式英語ウェブサイトにおける教育研究分野の配信状況について検証・見直しを行い、各教育研究組織に対し、自英語サイトの充実・更新を依頼した。その結果、全教育研究組織の英語での紹介が可能となった。

・本学の教育研究成果公開の一翼を担う筑波大学出版会は設立10周年を迎え、次の記念諸行事を実施した。

①記念シンポジウム（平成29年9月 大学会館国際会議室・松本侑子氏（本学卒業生）による記念講演）

②10周年記念本出版（「サイバニクスが拓く未来」山海嘉之教授著、平成30年3月刊行）

③山海嘉之出版記念講演会（平成30年3月 東京キャンパス）

④出版会広報活動（ポスター展、刊行書籍記念セール）（筑波大学出版会）

#### (4) 筑波大学アーカイブズの設置

歴史公文書等の適切な管理を行うために必要な設備及び体制の整備を行い、独立行政法人国立公文書館の設置する公文書館に類する機能を有するものとして、平成 29 年 4 月に内閣総理大臣の指定を受けた。また、筑波大学 50 年史編纂委員会の下に設置された筑波大学 50 年史編纂専門委員会において、各委員の分担を決めた上、「史料編」編纂の準備を進めた。

#### (5) 附属図書館における知識情報基盤及び知の集積・発信

- ・読書推進の一環として、中央図書館のグループ学習エリア（チャットフレーム）で「全国大学ビブリオバトル 2017 茨城地区予選会」を実施した。  
チャットフレームでは図書館主催の各種セミナー（ライティング支援セミナー、博士論文インターネット公表の基礎知識等）の他、他部局と連携したセミナーや外部講師を招いた講演会なども開催した。
- ・体育・芸術図書館では、昨年度整備したアクティブラーニングスペース「ユーリカ！」の本格運用を開始した。空間整備に当たっては、マスキングテープによる壁面のデザインを学生主導で行った。また、ギャラリー機能活用の一環として、近代絵画や近世陶磁器などで構成される本学所蔵の「石井コレクション」の一部常設展示を開始した。
- ・ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリア（DAC）センターアクセシビリティ部門と連携し、障害のある学生のために教科書等をテキストデータ化し蓄積・提供するサービスの試行を平成 29 年 4 月に開始した。平成 29 年度の学生への提供件数は 14 件（PDF 5 件、テキストデータ 9 件）、そのうち 12 件（PDF 5 件、テキストデータ 7 件）については、本学 manaba 上に蓄積、コンテンツの共有化を行った。
- ・国文学研究資料館が中心となって行っている「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」に拠点連携大学として参加し、「日本語の歴史的典籍データベース」に係る資料の画像を提供した。資料撮影は、平成 28 年度 174 点（3,310,698 円）、平成 29 年度 470 点（8,185,268 円）と大幅に増加し、外部資金による電子画像データの作成も順調に進んでいる。
- ・平成 28 年度に実施したクラウドファンディングで得られた寄附金により、428 冊の図書と、一度購読を見合わせていた延べ 66 タイトルの雑誌・新聞を購入した。また、支援者へのお礼（リターン）として図書館ツアーの開催、図書館利用証の提供等を行った。寄附金によって図書館資料を充実できたことに加え、大学図書館の置かれた状況を広く発信し、300 名の支援を得て大学図書館への理解を得ることができた。なお、この取組は学内外の新聞や報告記事、関係会議等で取り上げられたほか、平成 29 年度における文部科学省の「大学図書館における先進的な取組の実践例」でも紹介された。

## 4. その他業務運営に関する重要目標

### ◇ 法令遵守（コンプライアンス）に関する取組について

- 障害者差別解消法への対応  
「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」及び「筑波大学障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に基づき、全教育組織にダイバーシティ・アクセシビリティ担当教員を配置し、連携を密にしながら障害のある学生等に対する合理的配慮の提供を行っている。
- 安全保障輸出管理の徹底  
大学のグローバル化に伴う、国境を越えた教育・研究の推進と、国際交流の加速により、安全保障輸出管理の徹底が求められていることから、外国人研究者受入に係る輸出管理システム（TEXC0）を構築した。これにより、外国人研究者受入に係る申請状況の網羅的把握と、効率的かつ迅速な審査手続きが可能となった。
- 安全管理・事故防止  
防犯体制と環境整備の強化として、学生及び教職員の連携のもとに学生宿舍入居日や新入生歓迎祭などのイベントにおいて、「キャンパスガード」を組織し、会場内の巡回警備を実施した。更に、安全キャンペーン期間を設け、「セーフティパトロール」として夜間に構内を巡回し、危険箇所の安全確認や外灯等の不具合の調査を行い、施設部等の関係部署と情報を共有した。

また、学生の防犯意識やモラルの向上を図るため、前年度の事件・事故の分析結果を基に、新入生のフレッシュマン・セミナーにおいて注意喚起するとともに、安全キャンペーン期間には、つくば市及びつくば中央警察署の協力の下、防犯・交通安全の啓蒙活動を行った。更に学生交流課と情報共有を図り、新規渡日留学生を対象としたオリエンテーション（英語対応）において、日本における生活習慣や防犯等について注意喚起を行った。

なお、12月に発生した屋根崩落事故を受け、学外専門家を含めたタスクフォースを設置し、更なる事故防止のため、事故が起きた連絡通路と類似の箇所（77箇所）について緊急調査を実施し、特に安全性の確保に疑義が生じた2箇所については撤去を実施した。また、事故原因調査結果については、4月に報告書を作成することとした。今後、同様の事故を起こさないよう予防の観点から、崩落事故と同様にボルトにより重量を負担している構造を優先的に、すべての渡り廊下等の安全性確保の確認を行うこととした。

#### ○ 水質汚濁防止法に基づく対応

水質汚濁防止法に基づく「有害物質」及び「特定施設」の届出について、行政への届出状況の管理徹底を図るため、使用できる有害物質を一覧にするとともに、流し台、ドラフトチャンバー及びスクラバーなどの特定施設を記載した「棟別平面図」を1月に学内Webサイトに公開した。これにより、当該建物に係る教職員が、現在の届出状況を常に確認することが可能となり、届出済の特定施設の撤去や移設等に係る手続きの必要性について、法令遵守の徹底が図られた。

#### ○ ハラスメントの防止

ハラスメントの早期解決のため、専任のカウンセラーを配置したハラスメント相談センターを設置し、平成28年度からハラスメントの苦情相談に対応している。

同センターでは、カウンセラーが受けた相談は共有され、一元的な対応が可能となっており、カウンセラーの継続的な対応によって、相談者からの信頼も得ることができた。（カウンセラー対応により解決又は継続対応を行っている相談は、センターへの相談の90%である。）

また、相談内容において修学環境の確保・改善などの緊急な対応を要する場合は、センター長とハラスメント防止対策委員会の部会長が協議し、部会長の判断により、センターと部会が協働して組織対応に当たるなど、緊急時における連携体制を構築することができた。（組織への緊急対応依頼数は、平成29年度は5件、平成28年度は2件である。）

また、コンプライアンスマニュアルにおいて紹介しているコンプライアンス違反事例について、昨今の学内外の事例を踏まえて見直しを図り、学内に向けて公開するとともに、平成30年度の新規採用職員研修や階層別職員研修の資料に反映させていくこととした。

### ◇ 施設マネジメントに関する取組について

#### ○ 施設の有効利用や維持管理（予防保全を含む）に関する事項

- ・戦略的な施設の有効活用・配分方策として、「スペースの流動化・共用化に関する基本構想」「公募スペース運用ガイドライン」を策定し、既存スペースの再配分を実施している。平成29年度においては、競争的外部資金を獲得したプロジェクト研究チームに対し公募スペース全体（約15,000㎡）のうち約85%を配分し、約15%を耐震改修工事等の移転スペースとして活用した。

- ・平成28年度に策定した「筑波大学インフラ長寿命化計画（行動計画）」を踏まえ、平成29年度においては、効率的・効果的な施設の維持管理を行うことができるよう学内の修繕関連予算を一本化した「施設修繕基盤経費」を新たに予算計上した。

#### ○ キャンパスマスタープラン等に基づく施設整備に関する事項

- ・建物の計画（アメニティの形成）に沿って、1H棟トイレ改修、下田臨海実験センター宿泊棟トイレ改修、武道館多目的トイレ新設を実施した。

- ・設備計画（太陽光発電設備）に沿って、1D棟等への太陽光発電設備の設置（10KW）に着手した。

- ・設備計画（照明設備）に沿って、1B棟、1C棟、1H棟、2A棟、7A棟の講義室照明をLED化し、併せて春日地区、一の矢、平砂、追越地区の学生宿舍周辺の外灯をLED化して高効率機器を導入した。

- ・設備計画（空調システム）に沿って、7A棟、生命領域学際研究センターB棟SPF室（動物飼育室）及び共同研究棟C棟の空調設備を高効率空調に更新してランニングコストの低減を図った。

- 環境保全対策や積極的なエネルギーマネジメントの推進に関する事項
  - ・地球温暖化対策とエネルギー対策を一体的に取り組む全学体制を整備するため、平成 29 年 3 月に制定した「筑波大学エネルギー管理規則」に基づき設置した「環境・エネルギー対策委員会」において、委員である各系長等の働きかけにより、各部局においても省エネ・節電の取り組みを推進した。  
本委員会では、毎月の「筑波キャンパス CO2 排出量・エネルギー使用量実績」を学内会議に報告し、適正なエネルギーの使用を働きかけた。また、夏季と冬季に「省エネ・節電行動計画」を策定し、全学を挙げて省エネ・節電に取り組み、地球温暖化対策とエネルギー対策を推進した。  
(主な取り組み)
  - ①「省エネ・節電標語」による省エネ・節電意識の周知  
附属各学校の協力により、小学生が作成した「省エネ・節電標語」を公式 HP で公表し、省エネ・節電の取り組みを広く周知した。また、学内掲示板等に掲示した。
  - ②学生による省エネ推進活動の実施  
「筑波大学学生人材バンク」を活用し、短期雇用(夏 7 名、冬 13 名、計 20 名)の学生による講義室等の節電確認を行った。その際、在室の学生に節電等の取り組みを「声かけ」にて働きかけること等を行った。
  - ③空調機に係る光熱費の抑制  
暖房期間中の暖かい日には、昼の 12 時から 14 時まで中央空調方式の空調機を停止し光熱費の抑制に努めた。  
さらに、今後の太陽光発電設備等の導入を拡張するため、特別高圧受変電設備を改修整備し、1 D 棟等への太陽光発電設備設置 (10KW) に着手した。
  - ・空調設備では、7 A 棟、生命領域学際研究センター B 棟 SPF 室(動物飼育室)及び共同研究棟 C を高効率空調に更新した。さらに、照明設備では、センター試験の会場となる 1 B 棟、1 C 棟、1 H 棟、2 A 棟及び 7 A 棟の各講義室等の照明を LED 化し高効率機器に更新した。
  - ・温室効果ガス排出量削減及び省エネルギー対策として太陽光発電設備の設置 (▲6. 2t-CO2)、照明設備の LED 化 (▲38. 1t-CO2) 及び空調機の高効率化 (▲34. 2t-CO2) により、年間約 78. 5t-CO2 の削減を図った。

#### ◇ 前回評価結果(平成 28 事業年度)において改善すべき点として指摘された事項への対応

- 情報セキュリティマネジメント上の課題について  
情報セキュリティを脅かす確率が高い事例が発生したことを鑑み、制度面と設備面の双方で、再発防止に向けた取組を行い、平成 30 年度から実施するための体制が整った。  
具体的には、制度面の改善として、情報の機密性の格付けのキーワードによる情報の定義及び機密性に応じた情報の取扱手順の明確化を行い、平成 30 年度から運用を徹底することとした。  
また、設備面の改善としては、機密情報を格納する専用システム(UTOS:University of Tsukuba Online Storage)の構築及び UTOS 利用端末の登録制や暗号化を義務付けた運用ルールの整備を行った。  
これらの取組により、より一層の情報セキュリティマネジメントの強化を図ることができた。  
なお、本事項については、前回評価結果において改善すべき点として指摘されたものであるが、指摘を真摯に受け止め、全学を挙げて対応を行った結果として、これまで、制度的に特に徹底しきれていなかった部分(情報の機密性の格付け、取扱手順の明確化等)について改善が図られた。  
これらの制度面及び設備面の整備が整ったことにより、平成 30 年度中期計画【57】に情報セキュリティ強化を図るための新たな目標を追加設定することが出来た。



## Ⅱ 各教育研究組織の評価結果

### 1. 組織評価の実施について

本学の組織評価(年度活動評価)は、国立大学法人評価制度と連動させるとともに、定量的評価及び定性的評価を組み合わせ、年度計画等の実施状況を自己点検・評価し、学長及び副学長等で構成する組織評価委員会において、その妥当性を確認することを基本としている。

平成 29 年度に係る実績については、各教育研究組織が作成した活動報告書等に基づき書面審査を行うとともに、各組織との対話を実施し、それぞれの取組状況の確認と意見交換を実施した。平成 29 年度活動評価結果報告書は、これらの確認結果を踏まえ、組織評価委員会において審議・決定したものである。

### 2. 主な評価項目

#### (1) 活動報告書

- ・基本情報（教員数、収入、支出等）
- ・中期目標・中期計画の関連事項の実施状況
- ・基本情報や定量的評価指標などを踏まえて、来年度向上を図りたいと考えている事項
- ・研究・教育に関する定量的評価指標 他

#### (2) 現況調査表

- ・「研究・教育の水準」の分析・判定（研究・教育活動の状況、研究・教育成果の状況）
- ・「質の向上度」の分析（研究・教育活動の状況、研究・教育成果の状況）

#### (3) 研究業績説明書

## 平成 29 年度活動評価結果報告書

- は優れた取組として高く評価できる  
●は改善が必要な取組として今後の改善を求める

### 1. 系

#### 〔人文社会系〕

- 人文社会科学分野の研究指標としてダイバシティファクターを Tsukuba Index として特許を出願し、評価指標として実用化を始めている。
  - クラウドファンディング（募集額 300 万円）による事業を実行している。
  - 河合塾と提携し、本系の教員の著作を広く高校生に紹介するオーサービジット事業を展開している。
  - 若手教員の増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 論文等の研究成果の公表の増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔ビジネスサイエンス系〕

- 科研費獲得のための方策（科研費説明会、大型科研費未獲得時の研究予算の補填など）を検討し、実行している。
  - 企業との共同研究を積極的に受入れている。
  - 論文数が大きく増加している。
  - 女性教員の割合が高く、活躍している。
  - 研究者及び研究内容の発信について、一層の努力を期待する。
  - 他系や他大学などとの連携について、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔数理物質系〕

- 数理物質融合科学センター (CiRfSE) を発展的に改組し、環境エネルギー材料研究拠点と位置づけられた学際物質科学研究センター (TIMS) を母体にエネルギー物質科学研究センター (TREMS)、宇宙史国際研究拠点を母体に宇宙史研究センター (TCHoU) を設立している。
- 株式会社日立ハイテクノロジーズと特別共同研究を開始する予定となっている。
- 若手教員（准教授）を選定した研究戦略チームにおいて定期的な会合を持ち、系の研究力強化など、系が有する問題に関する議論、総合政策室への上申施策案を立案し、若手教員の意見を入れた系の運営をこころがけている。
- 外部資金の増加に向けて、一層の努力を期待する。

### 〔システム情報系〕

- 外部資金獲得力をさらに向上させるための様々な取組（運営費交付金予算の傾斜的重点配分、科研費申請アドバイザー制度など）を進めている。
  - トヨタ自動車株式会社との共同により「未来社会工学開発研究センター」を設置すると共に、同社との共同研究「次世代社会システムとモビリティのあり方研究」を推進し、その成果を産業競争力懇談会(COCN)における2018年度の推進テーマ「地域社会の次世代自動車交通基盤」としてまとめられている。
  - 「若手融合研究プロジェクト制度」を推進し、2つ以上の域にわたる42歳以下の教員で構成するグループの萌芽的研究を支援している。
  - 女性教員の増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 

### 〔生命環境系〕

- 公益財団法人発酵研究所からの寄附講座を受入れ、本講座を担当する若手教員2名の採用を行っている。
  - 英文論文及び国際共著論文が増加している。
  - データベースに基づく指標（被引用数、FWCI及びTop10%論文）が上昇している。
  - 若手教員の増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 論文数は伸びているものの更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 

### 〔人間系〕

- 科研費獲得のため、様々な方策（科研費申請書作成説明会、申請書査読プログラムなど）を実施している。
  - 系内の教員が共同してより大型の競争的資金に応募するための基盤作り（人間系コロキアムの開催、人間系HPでの研究成果発信など）に取り組んでいる。
  - 女性教員の割合が高く、活躍している。
  - オハイオ州立大学との研究・教育交流に向けた組織対組織の連携準備を行っている。
  - 若手教員の増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 英文論文の増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 

### 〔体育系〕

- 日本版アスレチックデパートメント・モデルの構築に関する共同研究を行っている。
- 外部資金獲得へ向けて種々の取組（科研費セミナー、科研費だより、情報サイトの充実など）が進められている。
- 論文数及び著書数が大きく増加している。
- 若手教員の増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 外部資金の増加に向けて、一層の努力を期待する。

### 〔芸術系〕

- 運営の効率化と負担減のために、教員会議及び教育会議の終了時間を 17 時に設定して短時間化を図っている。また、会議資料はオンラインの資料アーカイブで対応し、ペーパーレスとしている。
  - 系内に研究推進室を置き、芸術系独自の研究プロジェクトの公募を行っている。
  - 論文数が大きく増加している。
  - 学内の IIIS 研究棟内に設置する芸術作品等では、若手の教員の作品を主に採用するなど、若手教員に経験を積ませる様に努めている。
  - 若手教員の増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 外部資金の増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 

### 〔医学医療系〕

- トランスボーダー医学研究センターを正式に立ち上げ、3 部門 11 研究分野の体制を整備し、11 研究部門のうち 6 部門は 40 歳以下の若手 PI を抜擢し、優れた研究成果を挙げている若手教育の育成を推進する体制を整備している。
  - T-CReD0 からシーズの募集が行われ、出口戦略を持った開発研究を行ない、特許件数が倍増している。
  - Summer Research Program を行い、世界 20 か国から 300 名の応募があり参加者のレベルが向上している。また、参加した学生の大学院受験が増加している。
  - 競争的資金の獲得に資する数多くの取組（セミナー、書類作成相談、研究発表会など）を効果的に進めている。
  - 若手教員の増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 外部資金の増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 

### 〔図書館情報メディア系〕

- 外部資金が大きく増加している。
- オープンサイエンス推進の一環として「大学におけるオープンサイエンス」と題するシンポジウムを開催し、筑波研究学園都市内の関係者と意見交換を行っている。
- NHK と連携し、「NHK ワールド特別講義」や「シンポジウム：映像コンテンツの国際展開と情報基盤の構築」等を開催し、メディア研究の共同研究に向けた準備を開始している。
- 英文論文が増加している。
- 若手教員の増加に向けて、一層の努力を期待する。

## 2. 学群

### 〔人文・文化学群〕

- 学群拡大教育課程委員会を開催し、専門科目の共通化や教職科目のあり方などを検討している。
  - Japan-Expert プログラムを全学群に波及させることを検討している。
  - TOEFL の1年次の平均点（平成27年度）から3年次の平均点（平成29年度）は上昇しているが、一層の努力を期待する。
- 

### 〔人文・文化学群人文学類〕

- 前期入試や推薦入試の定員の見直しなど入試のあり方を見直している。
  - 学位プログラム化などを見据えて17コースを11コースに再編している。
  - 2年次生への就職支援の説明会を大手就職支援企業の支援によって開催している。
  - 大学院進学者の増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
  - TOEFL の1年次の平均点（平成27年度）から3年次の平均点（平成29年度）は上昇しているが、一層の努力を期待する。
- 

### 〔人文・文化学群比較文化学類〕

- 学類独自に海外の大学と国際交流協定を締結するなどして、積極的に学生の海外派遣、海外からの教員・学生の受入を推進している。
  - 就職率が大きく上昇している。
  - TOEFL の1年次の平均点（平成27年度）から3年次の平均点（平成29年度）は上昇しているが、一層の努力を期待する。
- 

### 〔人文・文化学群日本語・日本文化学類〕

- 海外留学する際の奨学金申請を学生任せにしないで国際交流・留学生委員会で申請し、学生の海外派遣を推進している。
- 多文化共生をテーマにすえて、日本人学生と留学生の共同授業を推進している。
- 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- TOEFL の1年次の平均点（平成27年度）から3年次の平均点（平成29年度）は上昇しているが、一層の努力を期待する。

### 〔社会・国際学群〕

- 模擬国連会議全米大会において、社会・国際学群派遣団が特別賞を受賞している。また、総会第1委員会に参加した団員2名がベストポジションペーパー賞をそれぞれ受賞している。さらに模擬国連会議全米大会の経験を活かし、高大連携事業を推進している。
  - 就職率は上昇しているが、一層の努力を期待する。
  - TOEFLの平均点の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

### 〔社会・国際学群社会学類〕

- Forbes 30 Under 30 Asia に社会学類4年次の学生が選出されている。
  - 多文化共生をテーマにすえて、日本人学生と留学生の共同授業を推進している。
  - アクティブ・ラーニング、グローバルな教育を推進している。
  - 外国人学生率及び学生の海外渡航率は上昇しているが、一層の努力を期待する。
  - TOEFLの平均点の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

### 〔社会・国際学群国際総合学類〕

- 協定校への長期交換留学に3年次の約40%が参加し、全学生の約半数が海外渡航している。
- 全開設科目の約35%を英語で実施している。
- TOEFLの1年次の平均点（平成27年度）から3年次の平均点（平成29年度）は上昇しているが、一層の努力を期待する。
- 全国的に国際系の学部・学科が増えているので差別化を図り、一層の努力を期待する。

### 〔人間学群〕

- 人間学群国際化プロジェクトによりロシアに11名の学生を派遣し、その成果及び効果を「ロシアにおける交流協定締結大学との国際教育協力の理解と充実」として刊行している。
  - 学群コア・カリキュラムの開発と編成を推進している。
  - 就職率は上昇しているが、一層の努力を期待する。
  - TOEFLの1年次の平均点（平成27年度）から3年次の平均点（平成29年度）は上昇しているが、一層の努力を期待する。
- 

### 〔人間学群教育学類〕

- タイの高等学校における日本語補助教師として約1か月活動するための人間学群コア・カリキュラム「国際教育協力論」及び「国際教育協力実習」に教育学類の学生2名が履修し、タイでの活動を行っている。
  - TOEFLの平均点が大きく上昇している。
  - 学生の海外渡航率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率は上昇しているが、一層の努力を期待する。
- 

### 〔人間学群心理学類〕

- 国家資格「公認心理師」の受験資格取得可能な教育体制整備のためのカリキュラム再構成を推進している。
  - 志願倍率が大幅に上昇している。
  - 就職率は上昇しているが、一層の努力を期待する。
  - TOEFLの平均点の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

### 〔人間学群障害科学類〕

- 国家資格「社会福祉士」の合格率（75%）が全国平均の合格率（30.2%）に比べて大きく上回っている。
- 1年次に必修科目として英語で授業を行う“Current Topics in Disability Sciences”を設定している。
- 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- TOEFLの平均点の上昇に向けて、一層の努力を期待する。

### 〔生命環境学群〕

- 「グローバル人材育成事業」「世界展開力強化事業」などを活用し、外国人留学生の受け入れ及び学生の海外派遣を推進している。
  - 生命環境科学研究科と共催でユタ州立大学より教員を招聘し、英語によるFDセミナーを開催し、英語による教育法の充実を図っている。
- 

### 〔生命環境学群生物学類〕

- 「生命の樹」寺子屋プロジェクト：少人数チューター制授業「生物寺子屋」という学びの場を通じて、学生の主体性を引き出し、批判力や問題設定力という一般性の高い知的能力の涵養を可能にする体制を構築している。
  - 研究マインド応援プログラム：学習・研究に対する意欲と能力により選ばれた1～3年生に対し、教員等のサポートのもと、研究室で独自の研究テーマを追求する環境を提供しており、学生の学ぶ意欲、動機付けを促進する効果が認められ、文部科学省第7回サイエンス・インカレ文部科学大臣表彰受賞などの成果が出ている。
  - 就職率は上昇しているが、一層の努力を期待する。
  - TOEFLの1年次の平均点（平成27年度）から3年次の平均点（平成29年度）は上昇しているが、一層の努力を期待する。
- 

### 〔生命環境学群生物資源学類〕

- 外国人学生率が上昇している。
  - Campus in Campusを活用し、国立台湾大学とオンライン授業などを実施している。
  - TOEFLの平均点が大きく上昇している。
  - TOEFLの1年次の平均点（平成27年度）から3年次の平均点（平成29年度）は上昇しているが、一層の努力を期待する。
- 

### 〔生命環境学群地球学類〕

- フィールドワーク教育を積極的に推進しており、その成果などを「ジオカフェ」や「ジオキッズゼミナール」などのイベントとして実施し、社会に還元している。
- 学生の海外渡航率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- TOEFLの1年次の平均点（平成27年度）から3年次の平均点（平成29年度）は上昇しているが、一層の努力を期待する。



### 〔理工学群〕

- 理工系初の英語による学士課程「総合理工学位プログラム」開設準備を進めている。
  - 理工学群運営委員会及び理工学群総合政策室で情報交換を行い、AP や CP 見直しの方向性についての議論を行っている。
  - 単位取得状況に問題がある学生を早期に把握するための ESCAT システム、及び学修に悩む学生を個別指導する「寺子屋」を担当する「ESCAT 寺子屋塾実行委員会」を総合政策室の下に設け、学生支援の強化を図っている。
  - TOEFL の平均点の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

### 〔理工学群数学類〕

- 「数学手習い塾」（数学の演習や講義のみならず、数学に関する様々な疑問や質問に答える学習サポート）を実施している。
  - 基礎科目（微積分、線形代数、数学基礎）の独自教科書や教材を作成し、グローバルスタンダードに見合う教育の質を確保している。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
  - TOEFL の平均点の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

### 〔理工学群物理学類〕

- 未知のものに挑戦しようとする意欲をもたせるための課題探求セミナーを開設している。
  - 「科学英語」を開設し、アクティブ・ラーニングの推進及び英語力向上に努めている。
  - 高校生を対象として体験学習や出前講義などを行い、物理学への興味をかき立てるよう努めている。
  - 学生の海外渡航率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
  - TOEFL の平均点の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

### 〔理工学群化学類〕

- 高校生を対象として体験教室や出前講義などを行い、化学への興味をかき立てるよう努めている。
- 学生との対話を基に教育の質の保証と改善を行っている。
- 学生の海外渡航率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- TOEFL の1年次の平均点（平成27年度）から3年次の平均点（平成29年度）は上昇しているが、一層の努力を期待する。

#### 〔理工学群応用理工学類〕

- 総合理工学位プログラムの主担当学類として、カリキュラム及び実施体制の策定、英語による教材開発など、様々な取組を積極的に推進している。
  - 外国人教員による専門英語の充実を図っている。さらにクロスアポイントメント制度等を活用して外国人教員の増員を進めている。
  - 学類独自で開催する高校生を対象とした1日体験教室（スプリングスクール、サマースクール、SSH校体験教室受入れ等）や研究室訪問、模擬講義、出前講義等の高大連携事業を推進している。
  - TOEFLの平均点の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔理工学群工学システム学類〕

- 学位プログラム化へ向けて現在までの「3つのポリシー（AP、CP、DP）」を継続的に見直している。
  - JABEE認定を取得していることから、JABEEにおいて定められた基準を満たすように全教科のシラバスを作成しており、PDCA委員会により、シラバスが正しく記述されているかについて毎年確認している。
  - TOEFLの平均点の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔理工学群社会工学類〕

- 社会連携、高大連携を積極的に推進している。
- 「筑波社工会」を中心に同窓会活動を推進し、就職支援の強化を図っている。
- TOEFLの1年次の平均点（平成27年度）から3年次の平均点（平成29年度）は上昇しているが、一層の努力を期待する。

### 〔情報学群〕

- enPiT2（文部科学省「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成」）を着実に推進し、3年次学生実験の一環としてのPBL(Project-based learning)型授業を拡充するとともに、他大学学生との交流・共同作業を推進している。
  - 産業界の第一線で活躍する技術者・研究者による「キャンパスOJT」を推進し、情報分野における「ものづくり」指向の実践的授業を展開している。
  - 大手教育関係企業と共同で実施した海外研修「アメリカ西海岸パークレーで学ぶ Science and IT 海外派遣プログラム」や国際会議発表等、学生の海外渡航を積極的に支援している。
  - TOEFLの平均点の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

### 〔情報学群情報科学類〕

- 国際学生プログラミングコンテストへの支援を継続的に行い、情報科学類生2名を含むチームが2018年世界大会に進出している。
  - 学生の自主性を伸ばし、「とがった学生」を育てようとしている姿勢を見せている。
  - アクティブ・ラーニング型（情報特別演習）で海外アドバイザー制度を新たに導入している。
  - TOEFLの平均点の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

### 〔情報学群情報メディア創成学類〕

- 国内外の学会発表やコンテスト、公募プロジェクト等への応募の推奨と支援を推進している。
  - クリエイティブメディアラボの学生主体の管理運営の実施等により、学生の意識変革やマネジメント能力の養成を図っている。
  - TOEFLの平均点の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

### 〔情報学群知識情報・図書館学類〕

- 学生の特性を把握し、海外で活躍することの面白さを体験させるための様々な取組（国際インターンシップ等）を進めて、学生の海外派遣が増加している。
- TOEFL-ITPの試験結果を3年次必修科目である専門英語の成績評価の一部とし、受験率が大きく増加している。
- 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- TOEFLの平均点の上昇に向けて、一層の努力を期待する。

### 〔医学群〕

- 各学類の自主性を尊重しながらも、学群として全学類の状況を把握し、適切に管理している。
  - 「ケアコロキウム」では、医学類3年、看護学類、医療科学類4年、東京理科大学薬学部4年が参加し、合同で医療多職種間教育を行っている。
  - 国際バカロレア（医学類）、Japan-Expert プログラム特別入試（看護学類）、学群英語プログラム（医療科学類）に加え、海外教育プログラム特別入試（医学類）を新設している。
  - TOEFL の平均点の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

### 〔医学群医学類〕

- 多様な人材確保を目的とし、海外教育プログラム特別入試を新たに導入している。
  - 学類運営委員会から独立した組織として立ち上げた IR において、様々な観点から医学類教育を点検し、客観的証拠に基づいた学部教育・入試改革に繋げている。
  - 医学類で開発・監修した Medical Terminology の e-learning プログラムを活用し、新たな Medical Terminology コースを開設するなど英語教育改革を推進している。
  - TOEFL の平均点の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

### 〔医学群看護学類〕

- グローバルヘルスリーダーシッププログラムとして海外短期留学を実施するなど海外派遣を推進している。
  - 文部科学省及び看護系大学協議会から提示されたモデル・コア・カリキュラムにあわせてカリキュラムの再編を行っている。
  - TOEFL の平均点の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

### 〔医学群医療科学類〕

- 茨城県立医療大学との共同で学部間交流事業を実施している。
- 国際医療科学専攻学生ばかりでなく日本人も受講可能な英語による講義・実習を開設し、国際化を進めている。
- 「多職種連携医療学概論」「医科学グループワーク演習」を開設して、医療分野及び医科学分野での主体的で実践的な教育を実施している。
- 学生の海外渡航率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- TOEFL の平均点の上昇に向けて、一層の努力を期待する。

#### 〔体育専門学群〕

- 留学生と交流をしながら生きた英語を学ぶ場としてスチューデントコモンズ・フォー・アスリートを設置している。
- グローバル化への対応として「アジア諸国へのスタディー・ツアー」や「Tsukuba Summer Institute for PE and Sport」を継続して実施している。
- 競技部門学群長表彰者が増加している。
- TOEFLの1年次の平均点（平成27年度）から3年次の平均点（平成29年度）は上昇しているが、一層の努力を期待する。

#### 〔芸術専門学群〕

- 世界から多様かつ優秀な学生の受け入れを目指すため、特別入試として Japan-Expert プログラム 特別入試・日本芸術コースを実施している。
- 博士前期課程芸術専攻と共同で学生の海外留学を促進するための説明会及び海外留学を経験した学生による報告会の開催、学内外のスカラシップ制度への応募を推奨していることにより、学生の海外派遣が増加している。
- 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- TOEFL の 1 年次の平均点（平成 27 年度）から 3 年次の平均点（平成 29 年度）は上昇しているが、一層の努力を期待する。

### 3. 研究科

#### 〔人文社会科学研究科〕

- 日独韓共同修士プログラム(TEACH)を継続させている。
  - 志願倍率及び入学定員充足率など全体的に良好な状態である。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人文社会科学研究科哲学・思想専攻（一貫制博士課程）〕

- インドネシア・ガジャマダ大学と相互に2名ずつ教員を派遣して授業を行い、共同学位プログラムの構築に向けて議論している。
  - 海外教育研究ユニット招致プログラムの一環でハンブルク大学教授の授業を開講するとともに大学院生2名及び教員1名を2週間ハンブルクに派遣している。
  - 公開講座や哲学カフェなどを実施し、一般社会との連携に努めている。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人文社会科学研究科歴史・人類学専攻（一貫制博士課程）〕

- 学位授与者数を向上すべく集団指導体制を導入した結果、学位取得者が増加している。
  - 学位プログラム制への移行時に一貫制から区分制へ変更することに伴い、AP、DP、CPの再検討を行っている。
  - 入学定員充足率は上昇している。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人文社会科学研究科文芸・言語専攻（一貫制博士課程）〕

- 最優秀博士論文賞及び優秀博士論文賞並びに最優秀修士論文発表賞及び優秀修士論文発表賞を授与することで、学生の意欲を高めようとしている。
- 院生アンケート、院生懇談会での意見に基づき、支援回数、支援額の見直しを行い、より手厚く支援が行えるように改善を行っている。
- 一貫制博士課程から区分制博士課程への移行を正式に決定し、カリキュラムの変更を踏まえ、CPに基づき、カリキュラムの精選化、階層化を考慮しながら、具体的なカリキュラム、履修モデル等の作成を行っている。
- 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。

#### 〔人文社会科学研究科現代語・現代文化専攻（区分制博士課程）〕

- プリンスエドワード島大学（カナダ）における夏期研修（英語による授業実施スキルの修得、TA訓練など）を実施している。
  - 英語での博士論文執筆に対する支援や、英語コミュニケーション力向上に向けた講習、英語圏以外の地域への留学促進に向けた講演会などを実施している。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人文社会科学研究科国際公共政策専攻（区分制博士課程）〕

- 社会人特別選抜の制度を具体化し、新しい受験者層を開拓することで、今日の社会的ニーズに応えうる魅力的な専攻となるように、学生の受け入れ体制の改善を進めている。
  - 社会科学系の大学院進学を考える者にとって魅力的な専攻となるよう開設科目の提示の仕方を工夫していくとともに、入試の在り方についても継続して検討を行っている。
  - 学位授与者数を増加させるために全学生を対象に公募を行い、研究資料の購入補助の支援を実施している。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人文社会科学研究科国際地域研究専攻（修士課程）〕

- 多くの英語プログラム（国際関係短期特別プログラム（JDS）、アフリカの若者のための産業人材育成イニシアチブ（ABE）、人文社会科学に立脚した日本研究・ユーラシア地域研究者育成プログラム（SPJES）、経済・公共政策プログラム（PEPP））を開設し、順調に進捗している。さらに併設するこれら複数の英語プログラムについて、共同のオリエンテーション、合同の演習科目開設など、効率的かつ学習効果を高めるための運営について検討を続けている。
  - 志願倍率及び入学定員充足率など全体的に良好な状態である。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人文社会科学研究科国際日本研究専攻（区分制博士課程）〕

- 中期目標・中期計画期間のKPI達成を念頭に置いて専攻を運営している。
- 社会人特別選抜、指定校推薦入試制度以外に通常の入試を年3回行っている。
- 志願倍率及び入学定員充足率など全体的に良好な状態である。
- 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。



### 〔ビジネス科学研究科〕

- 研究科戦略プロジェクト経費により、専攻の取り組みを重点的に助けている。
  - 海外のビジネススクールとの学生交流協定に基づく Tsukuba Short-term Study Program を実施している。
  - 志願倍率及び入学定員充足率など全体的に良好な状態である。
  - 文部科学省の競争的資金である平成 29 年度高度専門職業人養成機能強化促進委託事業をビジネス科学研究科全体で受託し、有職社会人を対象とした短期で修得可能な新しい教育プログラム「社会科学型データサイエンティスト育成プログラム」を開発し、実際の試行を通じて、社会的ニーズの高いプログラムであることが確認できている。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 

### 〔ビジネス科学研究科経営システム科学専攻（博士前期課程）〕

- 国際会議での論文発表に係る旅費支援及び外国語論文校正支援を継続的に行っている。
  - 志願倍率及び入学定員充足率など全体的に良好な状態である。
- 

### 〔ビジネス科学研究科企業法学専攻（博士前期課程）〕

- 学生紀要『企業法学の序曲』を発刊している。
  - 授業評価アンケートを通じて、学生のニーズ等の把握に努め、科目の開設（非常勤科目を含む。）等に反映させている。
  - 志願倍率及び入学定員充足率など全体的に良好な状態である。
- 

### 〔ビジネス科学研究科企業科学専攻（博士後期課程）〕

- 志願倍率及び入学定員充足率など全体的に良好な状態である。
  - 国際会議での発表支援を行っている。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 

### 〔ビジネス科学研究科法曹専攻（専門職学位課程）〕

- クラウドを用いた情報共有システムである社会人学生向け e-ポートフォリオ・システム（通称「学生カルテ」）により、各学生の情報を有効に共有化して、把握されたデータを当専攻全体でフォローして支援の提供を組織化し、客観化された学生評価を実現し、個々の学生に対して学習計画の策定を効率化している。
- 「場所的・時間的障害を解消するための多様な ICT を利用した授業」の導入、チューター制度の積極的な活用を行っている。
- 他大学との間で授業科目について単位互換を利用して、教育課程を共同実施している。
- 平成 29 年度の司法試験合格者の本専攻修了生は、本学で史上最高に並ぶ 11 名であった。
- 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。

**〔ビジネス科学研究科国際経営プロフェッショナル専攻（専門職学位課程）〕**

- 円環的な研究・教育の向上、ならびに産学連携を強化するため、インダストリーアウトリーチ委員会を設置し活動を始めている。
- 「Business Studies」「ODA field work」など国際的教育を推進している。
- 志願倍率及び入学定員充足率など全体的に良好な状態である。
- 社会人大学院生の現実的なニーズの変化に対応するため、AI、IoT、ダイバーシティなどを教育に取り入れている。

#### 〔数理物質科学研究科〕

- 後期学生の経済的支援のために RA 経費の支給を行っている。
  - 博士課程学生の奨学金を民間企業より獲得している。
  - 国際的人材育成をめざし、フランスのグルノーブル・アルプス大学とダブルディグリープログラムを開設している。
  - つくば共鳴教育プログラムにより海外の大学・研究機関で研究する機会を与え、国際感覚の醸成を図っている。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔数理物質科学研究科数学専攻（区分制博士課程）〕

- 海外派遣支援を独自に行っている。
  - 開設科目「インターンシップ」の一環として、附属駒場高等学校との教育連携活動を位置づけている。
  - 志願倍率及び就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔数理物質科学研究科物理学専攻（区分制博士課程）〕

- TIA 連携の一つとして、サマーオープンフェスティバルを開催している。
  - 国際的人材育成をめざし、フランスのグルノーブル・アルプス大学とダブルディグリープログラムを開設し、双方でカリキュラム及び学位の授与条件について議論を重ね、協定を締結している。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔数理物質科学研究科化学専攻（区分制博士課程）〕

- フランスのグルノーブル・アルプス大学と共同でシンポジウムを開催している。また、同大学とのダブルディグリープログラムの開設について検討している。
- 化学物質取扱者のための環境安全衛生講習会を開催している。
- 日本学術振興会特別研究員 (DC1, DC2) の採択率が 50% であり、全国平均を大きく上回っている。
- 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。

**〔数理物質科学研究科ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻（博士後期課程）〕**

- 社会人学生向けに講義科目を土曜日に開講している。
  - 留学生への配慮として、同一趣旨の講義を日本語・英語の両方で開設するなど、学生のニーズに応じた配慮を行っている。
  - グルノーブル・アルプス大学との間でダブルディグリープログラムを開設している。
  - 志願倍率及び就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 

**〔数理物質科学研究科電子・物理工学専攻（区分制博士課程）〕**

- 大学間国際連携の大きなステップとして、グルノーブル・アルプス大学との間でダブルディグリープログラムを開設している。
  - サマーオープンフェスティバルを実施するなど、TIA 連携を活用した連携大学院を強化している。
  - 平成 29 年度が最終年度であったパワーエレクトロニクス寄附講座（第 2 期）について、平成 30 年度以降も第 3 期の開設を決定している。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

**〔数理物質科学研究科物性・分子工学専攻（区分制博士課程）〕**

- フランスのグルノーブル・アルプス大学とのダブルディグリープログラムを開設している。
  - TGSW において、ヨーロッパ特許庁からの講師を招聘して科学と特許の国際・学際的研究教育に係る科学全分野での学際的な研究発表・交流 Interdisciplinary Workshop on Science and Patents (IWP) を開催している。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

**〔数理物質科学研究科物質・材料工学専攻（3 年制博士課程）〕**

- 入試の案内、要項、口頭試問をすべてバイリンガル化し、さらに専攻内行事、教育も英語で実施し、連絡事項も英語で告知している。
- 外国人学生に対し、経済的支援を行っている。
- 志願倍率及び入学定員充足率など全体的に良好な状態である。
- 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。

#### 〔システム情報工学研究科〕

- 学位プログラム化について、研究科全体で一体感を醸成させつつ積極的に取り組んでいる。
  - 博士後期課程の定員充足率向上に向けて、研究科戦略会議及び研究科運営委員会で検討し、早期修了プログラム修了生 10 名の動画を作成し WEB 上に公開するなどの取組を実施している。
  - リカレント教育を強力に推進している。
  - 学生の論文生産性の向上に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔システム情報工学研究科社会工学専攻（区分制博士課程）〕

- 社会人を対象とする社会連携講座「地域未来創生教育コース」を創設している。
  - アクティブ・ラーニング科目において多様な課題を提供している。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔システム情報工学研究科リスク工学専攻（区分制博士課程）〕

- 学位プログラム化に備え、協働大学院方式による教育組織改革を開始している。
  - 筑波大学を含む 11 機関により、「レジリエンス研究教育推進コンソーシアム」を設置し、3 つのポリシーの策定やカリキュラムの検討、教員の募集など、順調に活動を行っている。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻（区分制博士課程）〕

- 一般プログラムの他に、実践的なソフトウェア開発に関する知識や技術の修得に重点を置いた「高度 IT 人材育成のための実践的ソフトウェア開発専修プログラム」を提供しており、最終年度の研究開発プロジェクトでは情報処理学会アクセシビリティ研究会第 5 回において学生奨励賞を受賞している。
- 文部科学省「情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業（enPiT）」を実施しており、この重要科目も取り入れた「実践的 IT カリキュラム」を開始している。
- 博士後期課程の学生を対象に、研究プレゼンテーションとディスカッションを英語で行うとともに、ネイティブスピーカーの教員から英語プレゼンテーションに関するコメントを受けられる「CS 研究セミナー」を実施している。
- 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。

**〔システム情報工学研究科知能機能システム専攻（区分制博士課程）〕**

- 就職支援の一環として、企業の就職担当者等が多数参加する研究ポスター発表会を実施しており、博士前期課程1年生全員が参加するほか、博士後期課程の学生も参加できるようにしている。
  - 専攻長表彰や早期修了の審査の際、トップレベルの国際会議の論文を学術雑誌論文に準ずる評価をすることによって、トップレベルの国際会議での発表を促している。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

**〔システム情報工学研究科構造エネルギー工学専攻（区分制博士課程）〕**

- 宇宙開発工学に関するPBL教育（通称：小型衛星プロジェクト）が全学の表彰を受けている。
- 社会人早期修了プログラム入学者を積極的に募っている。
- 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。

#### 〔生命環境科学研究科〕

- 日中韓学生フォーラムを実施している。
  - 研究科として、国際性、学際性を積極的に推進している。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔生命環境科学研究科地球科学専攻（博士前期課程）〕

- 「野外実験特別ティーチングアシスタント」及び「フィールドワーク特別ティーチングアシスタント」制度を実施し、博士前期学生を中心に野外実験特別 TA を育成している。
  - ユタ州立大学とのダブルディグリープログラム実施に向けて準備を進めている。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔生命環境科学研究科生物科学専攻（博士前期課程・博士後期課程）〕

- 留学生の受け入れ拡大、ならびに、将来的に開設を計画している海外大学とのダブルディグリープログラムの円滑な運営のため、若手教員の国際性の鍛錬に努めている。
  - 社会人早期修了プログラムを活用し、社会人学生をリクルートすることにより、一定数の入学者を獲得している。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔生命環境科学研究科生物資源科学専攻（博士前期課程）〕

- ボルドー大学、国立台湾大学、ユタ州立大学とのダブルディグリープログラムを実施している。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔生命環境科学研究科環境科学専攻（博士前期課程）〕

- 外国人学生を受け入れるため SUSTEP（英語だけで履修可能な特別プログラム）入試を実施しており、本入試で国際協力機構（JICA）が実施する人材育成奨学計画（JDS）に関連した海外からの有職者を選抜し、受け入れている。
- 本専攻が中心となり、本学とマレーシア工科大学・マレーシア日本国際工科院とのジョイント・ディグリー・プログラムを構築するための国際連携持続環境科学専攻を新たに設置している。
- 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。

**〔生命環境科学研究科国際連携持続環境科学専攻（博士前期課程）〕**

- 本学とマレーシア工科大学、マレーシア日本国際工科院との間でジョイント・ディグリー・プログラムなど様々な取組を推進している。
  - 本専攻の取組について、インターネット（専攻 HP）やセミナー開催（TGSW2017 や研究セミナー）、合同セミナーへの学部学生の参加を通じて、学内外への周知を実施している。
- 

**〔生命環境科学研究科山岳科学学位プログラム〕**

- 信州大学、静岡大学、山梨大学との連携プログラムとして、単位の互換や講義及び実習のスムーズな実施のために連携協定を締結している。
  - クラウドファンディングにより、学生の旅費等の資金を獲得している。
  - 学生のインターンシップ先を恒常的に確保するため、環境省、国土交通省との連携協定の締結に向けて努力している。
- 

**〔生命環境科学研究科地球環境科学専攻（博士後期課程）〕**

- 修了後に帰国した留学生とのネットワークで現地の優秀な留学生をさらに獲得するという好循環を確立している。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

**〔生命環境科学研究科地球進化科学専攻（博士後期課程）〕**

- 中国地質大学とのダブルディグリープログラムを推進している。
  - ABE イニシアチブの「資源の絆プログラム」との連携などにより留学生を獲得するなどして、学生の入学定員充足率を向上させている。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

**〔生命環境科学研究科環境バイオマス共生学専攻（一貫制博士課程）〕**

- 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

**〔生命環境科学研究科国際地縁技術開発科学専攻（博士後期課程）〕**

- 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。



**〔生命環境科学研究科生物圏資源科学専攻（博士後期課程）〕**

- 早期修了プログラムを含む積極的な社会人学生の受け入れにより、入学定員充足率を向上させている。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

**〔生命環境科学研究科生物機能科学専攻（博士後期課程）〕**

- 教員も含めて、研究倫理教育に力を入れている。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

**〔生命環境科学研究科生命産業科学専攻（博士後期課程）〕**

- 世界からの多様かつ優秀な学生の受入れ・社会人等のための学修機会の拡大をにらみ、グローバルフードセキュリティコースや Campus in Campus などを活用し、拡充に努めている。
  - 日本学生支援機構主催の留学生交流支援事業「生命産業分野における若手研究者育成プログラム」に採択され、このプログラムを学内の TSSP（つくばショートスタディプログラム）として位置づけ、90 日間学生を受け入れ、国際共同研究の推進及び大学院教育の国際化の一環として活用している。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

**〔生命環境科学研究科持続環境学専攻（博士後期課程）〕**

- 外国人学生を受け入れるため、SUSTEP（英語だけで履修可能な特別プログラム）入試や中国高水平入試を実施している。
  - 国際協力機構（JICA）が実施する人材育成奨学計画（JDS）事業により、環境科学専攻を修了した海外の有識者のうち、とくに優秀な者を、選抜の上で受け入れている。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

**〔生命環境科学研究科先端農業技術科学専攻（3 年制博士課程）〕**

- 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。

#### 〔人間総合科学研究科〕

- 人間総合科学研究科長賞や人間総合科学研究科 FD 大賞などの表彰制度を設け、各専攻の教育改善に資する取組を後押ししている。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人間総合科学研究科スポーツ健康システム・マネジメント専攻（修士課程）〕

- 筑波大学と Victoria 大学 Institute of Sports, Exercise and Active Living (ISEAL) との部局間連携締結に伴い、今後の学生の交流や研究交流を促進するため ISEAL の所長を招き記念シンポジウムを開催している。
  - リカレントプログラムを積極的に活用している。
  - 平成 29 年度人間総合科学研究科 FD 大賞を受賞している。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻（修士課程）〕

- 講義の英語化、海外の大学を結んだ TV 講義、外国人教員による英語教育など、教育のグローバル化を推進している。
  - 学位授与者数及び外国人学生数が多く、全体的に良好である。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人間総合科学研究科教育学専攻（博士前期課程）〕

- 優秀な留学生を確保するため、中国・華東師範大学、北京師範大学で専攻説明会を開催している。
  - 東北師範大学とのダブルディグリープログラムを実施している。
  - 教育基礎学専攻、学校教育学専攻、ヒューマン・ケア科学専攻と合同で、タシュケント国立東洋学大学及び華東師範大学に学生を派遣するなど学生の海外派遣の拡大を推進している。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人間総合科学研究科教育基礎学専攻（博士後期課程）〕

- 教育に関する高度専門職養成のための EdD プログラムについて、先導的な具体化に向け検討を開始している。
- 優秀な留学生を確保するため、中国・華東師範大学、北京師範大学で専攻説明会を開催している。
- 中国・東北師範大学、華東師範大学、北京師範大学との間で、博士後期課程における国際共同学位プログラムの開設に向けて協議を進めている。
- 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。

#### 〔人間総合科学研究科学校教育学専攻（博士後期課程）〕

- 優秀な留学生を確保するため、中国・華東師範大学、北京師範大学で専攻説明会を開催している。
  - 一年次に投稿形式論文発表会Ⅰ、二年次に投稿形式論文発表会Ⅱを実施し、構成員全員で論文指導に当たっている。さらに各研究室での論文指導や個別の論文指導の機会を充実させるなどの取組により、学生の論文数が増加している。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人間総合科学研究科心理専攻（博士前期課程）〕

- 国家資格「公認心理師」の施行に伴い、カリキュラムの整備、実習等の実施体制の整備、実質的な教育成果を上げられるように各種の整備を行っている。
  - コース間の入学者数のアンバランスを解消するため、産業技術総合研究所から連携大学院教員を採用し、新たな領域に関心を持つ大学院生を入学させるよう努めている。
  - 就職率は上昇しているが、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人間総合科学研究科心理学専攻（博士後期課程）〕

- インターンシップの機会が増えるよう関連企業に働きかけを行い、また単位化した科目の周知に努めている。
  - 入学者数の安定のために、産業技術総合研究所から連携大学院教員の採用を実施し、新たな領域に関心を持つ大学院生を入学させるよう努めている。
  - 英文誌投稿への支援として、エントリーレベルでの講義設置（心理学先端研究）、国際学会での発表を通じての海外の研究者とのネットワーキングの促進を指導している。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人間総合科学研究科障害科学専攻（区分制博士課程）〕

- エクステンションプログラム「発達障害の特別支援教育 PLUS+」を主催し、100名余の受講者を得ている。
- 留学生キャリア支援として、中国西南大学及び華東師範大学にて中国の留学生を引率し、専攻説明会・研究交流を行い、広報活動を行っている。
- ドイツミュンヘン大学の学生の実入や部局間協定の延長、国立台湾師範大学との国際交流協定の延長など、海外大学との交流を積極的に推進している。
- 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。

#### 〔人間総合科学研究科生涯発達専攻（博士前期課程）〕

- 平成 29 年度「教育戦略推進プロジェクト支援事業」に採択され、「キャリア・プロフェッショナル養成講座」プログラムを開発・施行実施し、平成 30 年度よりエクステンションプログラム化することを決定している。
  - “新しい心理職モデル”のイノベーションを目指す「人の支援・人材育成」総合センターの設立に向けたプロジェクトを開始している。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人間総合科学研究科生涯発達科学専攻（博士後期課程）〕

- 生涯発達科学の複合性と融合性がもたらす成果をさらに向上させるために、スタンフォード大学、シドニー大学、台湾国立彰化師範大学、南イリノイ大学との共同カリキュラム開発に基づく実践的な国際教育推進の取組を行っている。
  - 現職社会人に最適化したコースワーク・リサーチワーク複合型のカリキュラムに基づき、学位取得に至るまでの論文作成指導や学位論文審査などを柔軟かつ有機的に関連付けた指導を行っている。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻（3年制博士課程）〕

- 平成 29 年度より「公衆衛生学学位プログラム」を新設している。
  - 教育研究の学際化、国際化推進のため、第 2 回国際交流セミナーを開催し、3 月には教員 3 名、学生 4 名が台湾に赴き台湾師範大学、補仁大学との研究交流を果たしている。
  - 学生の要望に応え、育児室を設置している。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人間総合科学研究科感性認知脳科学専攻（区分制博士課程）〕

- キャリア形成・就職支援の実務セミナーを 2 回開催し、専攻合宿では学生の「キャリアパスデザイン講座」（キャリアパス講演、学振 DC を含む研究費申請講演）を実施している。
  - 専門科学英語、プレミアム論文セミナーに加えて Intensive Scientific English Training Program を実施し、教育に係る学長表彰を受けている。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人間総合科学研究科スポーツ医学専攻（3年制博士課程）〕

- 学生の海外派遣を推進させるため、各種制度を利用した海外派遣に加え、専攻独自による海外派遣を行っている。
- 早期修了を推進している。
- 就職率は上昇しているが、一層の努力を期待する。

#### 〔人間総合科学研究科生命システム医学専攻（一貫制博士課程）〕

- 医学独自の学振特別研究員申請セミナーを開始し、当専攻からの特別研究員採用が2名から5名に増加している。
  - 文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」「基礎研究医養成活性化プログラム」「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」に採択されるなど、入学者の増加に努めている。
  - 就職率は上昇しているが、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人間総合科学研究科疾患制御医学専攻（一貫制博士課程）〕

- 医学系2専攻で独自に優秀論文の顕彰制度を設けている。
  - 自治医大、獨協医大と共同で「基礎研究医養成活性化プログラム」を開始している。
  - 「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」に採択され、現地に教員を派遣した説明会や入試を実施している。
  - 外国人学生数の増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人間総合科学研究科看護科学専攻（区分制博士課程）〕

- 文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」採択事業の一環で「国際協力型高度実践看護学（がん看護）コース」を開設している。
  - 文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業」の一環で「地域基盤型高度実践看護師の養成コース」を開設し、このコースに米国における Clinical Nurse Leader 養成研修を取り入れ、学生1名の米国での研修を助成している。
  - 学生の論文数の増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人間総合科学研究科体育学専攻（博士前期課程）〕

- スポーツ・オリンピック学位プログラムを順調に進めている。
- 体育学専攻セミナー（キャリアセミナー、スポーツ施策セミナー）を開催している。
- 志願倍率及び入学定員充足率が良好である。
- 学生の論文数の増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。

#### 〔人間総合科学研究科体育科学専攻（博士後期課程）〕

- スポーツ庁委託事業「スポーツ研究イノベーション拠点形成プロジェクト：Sports Research Innovation Project (SRIP)」における若手研究者育成プログラムと次世代健康スポーツ科学学位プログラムの授業科目を連携し、若手研究者育成プログラム修了の認定を行うこととしている。
  - 学生の論文数が良好である。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人間総合科学研究科コーチング学専攻（3年制博士課程）〕

- 在学期間内に多くの学生を海外において武者修行させるために、海外交流事業を制度化し、海外で開催される国際学会での発表、海外の大学や研究機関での調査・研究等にかかる経費を助成支援している。
  - 学生の論文数が良好である。
  - 外国人学生及び学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人間総合科学研究科芸術専攻（区分制博士課程）〕

- 中国中央美術学院とスタンフォード大学のデザインの教育課程にかかわる DP・CP・AP の調査・分析など、海外大学との連携を積極的に行っている。
  - 芸術専攻優秀研究賞及び芸術専攻最優秀研究賞を設け、専門委員会において選考する顕彰制度を継続して実施している。
  - 学生のキャリア形成支援に向けて、授業の一環として「特別講義」を設け、国内外で活躍する修了者との研究交流や情報交換を行い、キャリア教育としている。
  - 学生の論文数の増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人間総合科学研究科世界遺産専攻（博士前期課程）〕

- 2016年から実施しているアジア太平洋の遺産保護における自然と文化の連携に関する人材育成ワークショップが、2017年7月にユネスコ高等教育局からユネスコチェアプログラムの認定を受け、9月にはTGSWにおいて国際シンポジウムを行っている。
- 学内外における広報・入試説明会を行い、志願者数の増加に努め、志願倍率が2倍に向上している。
- 学生の論文数の増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。

#### 〔人間総合科学研究科世界文化遺産学専攻（博士後期課程）〕

- 2016年から実施しているアジア太平洋の遺産保護における自然と文化の連携に関する人材育成ワークショップが、2017年7月にユネスコ高等教育局からユネスコチェアプログラムの認定を受け、9月にはTGSWにおいて国際シンポジウムを行っている。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人間総合科学研究科スポーツ国際開発学共同専攻（修士課程）〕

- ユトレヒト大学と共同し、南ア・ヨハネスブルグ大学を加えた3大学を、3大学の学生が巡回して学修し、修了証を発行する「グローバル・マスタープログラム」を開講し、ユトレヒト大学で最初のプログラムを実施している。
  - 第5回スポーツ国際開発国際シンポジウムを開催し、スポーツ国際開発学に関する講演のほか、ワークショップを行っている。
  - 16週間の国外 On the Job Practice(OJP)について、トラブルを防ぐため、実習学生及び現地指導者と連絡を取り、事前・事後指導のほか、OJPの最中にはSkypeなどを用いた指導を行っている。
  - 外国人学生及び学生論文数の増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人間総合科学研究科大学体育スポーツ高度化共同専攻（3年制博士課程）〕

- 大学体育スポーツの活性化をテーマとして、テンプル大学（米国）やユバスキュラ大学（フィンランド）などと連携を深め、学生及び教員の研究交流を促進している。
  - 学生全員を集め、授業や論文指導などについて、教員との意見交換を実施している。
  - 外国人学生率の向上に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔人間総合科学研究科国際連携食料健康科学専攻（修士課程）〕

- Campus in Campus 協定校であるボルドー大学及び国立台湾大学との間で日本初となる3大学ジョイント・ディグリー・プログラム（国際共同学位プログラム）を開設し、Campus in Campus 協定校との間で相補的な教育課程を構築し共同で実施している。
- 

#### 〔人間総合科学研究科スポーツウエルネス学位プログラム〕

- 課題に対するマネージメント力を養成するため、課題解決型プロジェクトワークという特色あるカリキュラムをもうけている。
- 外部メンターの力を研究指導に生かしている。
- 外国人学生及び学生論文数の増加に向けて、一層の努力を期待する。

#### 〔図書館情報メディア研究科〕

- 学会発表支援として、国際会議の支援額を多くするシステムを採用することにより、延べ31名が国際会議で発表している。
  - 「情報学学位プログラム」への転換に向けて、研究科長を中心に専攻の教育課程グループの委員をメンバーに検討チームを設置し、3つのポリシーの抜本的改定を行っている。
  - 外国人学生及び学生論文数の増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔図書館情報メディア研究科図書館情報メディア専攻（区分制博士課程）〕

- 学会発表支援として、国際会議の支援額を多くするシステムを採用することにより、延べ31名が国際会議で発表している。
- 図書館情報学英語プログラムを実施しており、海外からの学生を呼び寄せるために、海外での大学院説明会を実施している。
- 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。



#### 〔教育研究科〕

- 必修科目・教育デザイン論について、Manaba を活用した e-learning を取り入れたアクティブ・ラーニング型の学修を可能にするため、基本設計と具体的なコースワークの開発を行っている。
  - 全国各地の進学校等で管理職として活躍している筑波大学 OB を招聘し、大学院生と教職員を対象として FD「教職セミナー」を実施している。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻（修士課程）〕

- 必修科目・教育デザイン論について、Manaba を活用した e-learning を取り入れたアクティブ・ラーニング型の学修を可能にするため、基本設計と具体的なコースワークの開発を行っている。
  - 全国各地の進学校等で管理職として活躍している筑波大学 OB を招聘し、大学院生と教職員を対象として FD「教職セミナー」を実施している。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔教育研究科教科教育専攻（修士課程）〕

- 必修科目・教育デザイン論と教科教育論について、Manaba を活用した e-learning を取り入れたアクティブ・ラーニング型の学修を可能にするため、基本設計と具体的なコースワークの開発を行っている。
  - 全国各地の進学校等で管理職として活躍している筑波大学 OB を招聘し、大学院生と教職員を対象として FD「教職セミナー」を実施している。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
- 

#### 〔教育研究科教育学（国際教育）修士プログラム〕

- 教育戦略推進プロジェクト支援事業に採択された教育研究科の将来構想の一環として、現職教員及び一般の社会人受講生を想定した新しい IB 教員養成オンラインコースの開設に向けてのコースワークの設計やシステムの開発準備を行っている。
- 本学主催の「国際バカロレア教育シンポジウム」（於：筑波大学・東京キャンパス）を開催し、IB 教育研究の推進を図るとともに、IB 校の教員や研究者とのネットワークの拡充に務めている。

#### 4. グローバル教育院

##### [グローバル教育院ヒューマンバイオロジー学位プログラム]

- 平成 29 年度事後評価で最高ランクの S 評価を受けている。
  - 就職率が高く、就職先も良好である。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 

##### [グローバル教育院エンパワーメント情報学プログラム]

- 2 年次の博士課程研究基礎力試験 (QE) 合格者に対して修士の学位を付与するようにした結果、入学者を劇的に増加させている。
  - 海外 6 拠点から、優秀な学生を募集している。
  - 就職率が良好である。
  - 学位授与者の更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 

##### [グローバル教育院ライフイノベーション学位プログラム]

- 新たな大学院教育の方式として協働大学院方式を採用し、研究機関や企業と連携してプログラムを運営している。
- 英語だけで履修可能な分野横断型の学位プログラムであり、Oxford 大学や Montpellier 大学の教員の参画も得て着実に実施している。
- 学生の論文数の増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 就職率の更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。

## 5. センター

### 〔計算科学研究センター〕

- 東京大学情報基盤センターと共同設置した「最先端共同 HPC 基盤施設」において、メニーコア型大規模スーパーコンピュータシステム Oakforest-PACS のストレージシステムが、IO-500 リストにおいて世界最高性能システムとして認定されている。
  - 海外拠点との MOU（国際交流協定）を 10 拠点に拡大している。
  - 医学分野との連携により、計算科学による医療技術の開拓を目的とした、「計算メディカルサイエンス推進事業」を創始している。
  - 学際共同利用プログラムにより 61 課題のプロジェクトを採択しての共同研究をはじめ、積極的な研究活動が推進されている。
  - 女性教員の増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 論文等の研究成果の公表の増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 

### 〔生命領域学際研究センター〕

- センターの部門構成の再編や人員配置の変更を含めた将来構想の再検討を行い、センター名称を「生存ダイナミクス研究センター」に変更し、平成 30 年度からの運営体制整備を行っている。
  - 若手、女性、外国人教員の割合が高く、教員の多様化が推進されている。
  - 科研費の獲得割合が非常に高い。
  - 外部資金の増加に向けて、一層の努力を期待する。
  - 論文等の研究成果の公表の増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 

### 〔つくば機能植物イノベーション研究センター〕

- 農業・食品産業技術総合研究機構とのクロスアポイントメント人事により教授及び助教 1 名ずつの採用予定、農林水産省とのクロスアポイントメント人事による専任 URA の採用予定など、研究体制及び組織運営体制の強化を進めている。
- 能動的産学連携活動をより一層進めるために、学内中地区に T-PIRC インダストリアルゾーンを整備する計画を立てている。
- 若手、女性、外国人教員の割合が高く、教員の多様化が推進されている。
- 外部資金の増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 論文等の研究成果の公表の増加に向けて、一層の努力を期待する。

### Ⅲ 各種資料

#### 1 管理運営関係

##### (1) 沿革

- 昭 37. 9 東京教育大学、5学部の統合移転候補地の調査を決定
38. 9 研究学園都市を筑波地区に建設することを閣議了解
42. 7 東京教育大学、「総合大学として発展することを期し、条件付きで筑波に土地を希望する」ことを決定
42. 9 筑波地区への移転予定機関として、東京教育大学、東京医科歯科大学医学部附属病院霞ヶ浦分院等 36 機関を閣議了解
44. 7 東京教育大学、「筑波における新大学のビジョンの実現を期して筑波に移転する」旨を表明
44. 11 文部省に筑波新大学創設準備調査会を設置
45. 5 筑波研究学園都市建設法成立
46. 6 東京教育大学、「筑波新大学に関する基本計画案」を決定
46. 7 筑波新大学創設準備調査会、「筑波新大学のあり方について」文部大臣に報告
46. 10 文部省に筑波新大学創設準備会を設置
47. 5 筑波研究学園都市に新設移転する研究教育機関として、筑波新大学（仮称）等 42 機関を閣議決定、東京教育大学に筑波新大学創設準備室を設置
47. 8 政府機関の移転を繰り上げ、昭和 50 年度までに完了することを閣議了解
48. 2 国立学校設置法等の一部を改正する法律案を閣議決定
48. 10 筑波大学設置「国立学校設置法等の一部を改正する法律（昭和 48 年法律第 103 号）」  
三輪知雄、学長に就任  
第一学群「人文学類、社会学類、自然科学類」、医学専門学群、体育専門学群、26 学系、  
体育センター、農林技術センター、附属図書館、保健管理センターを設置
49. 4 外国語センター、加速器センター、計算センター（昭 53. 4 学術情報処理センターに改組）、企画調査室を設置
50. 4 第二学群「比較文化学類、人間学類、生物学類、農林学類（平 6. 4 生物資源学類に改称）」、  
芸術専門学群、大学院修士課程「地域研究研究科（平成 20. 4 人文社会科学研究科に改組・再編）」、  
大学院博士課程「哲学・思想研究科、歴史・人類学研究科、文芸・言語研究科、社会科学研究科、  
生物科学研究科、数学研究科、物理学研究科、化学研究科、地球科学研究科」、  
教育機器センター、アイソトープセンター、水理実験センター（平 12. 4 陸域環境研究センター（～平 22. 3）に転換）、  
附属病院創設準備室を設置
50. 10 国民体力特別プロジェクト研究組織（～昭 55. 3）を設置
51. 4 「（修士課程）経営・政策科学研究科（平 17. 4 システム情報工学研究科に改組・再編）、  
体育研究科（平 20. 4 人間総合科学研究科に改組・再編）」、「（博士課程）教育学研究科、  
心理学研究科、心身障害学研究科、農学研究科、体育科学研究科、芸術学研究科」を設置
51. 5 低温センター、分析センター、動物実験センター（平成 13. 4 生命科学動物資源センターに転換）、  
下田臨海実験センター、附属病院を設置

51. 8 宮島龍興、学長に就任
52. 4 第三学群「社会工学類、情報学類、基礎工学類（平 10.4 工学基礎学類に改組）」、「(修士課程) 教育研究科（平 20.4 人間総合科学研究科に一部改組・再編）、環境科学研究科（平 19.4 生命環境科学研究科に改組・再編）、芸術研究科（平 19.4 人間総合科学研究科に改組・再編）」、工作センター、菅平高原実験センターを設置
52. 5 核物性特別プロジェクト研究組織（～昭 57.3）を設置
53. 3 東京教育大学閉学
53. 4 「(修士課程) 理工学研究科（平 16.4 数理物質科学研究科、平 17.4 システム情報工学研究科及び生命環境科学研究科に改組・再編）」、「(博士課程) 社会工学研究科」、理療科教員養成施設、学校教育部、附属 10 学校を設置
53. 5 ラテンアメリカ特別プロジェクト研究組織（～昭 58.3）を設置
53. 10 筑波大学医療技術短期大学部を併設
54. 4 「(修士課程) 医科学研究科（平 18.4 人間総合科学研究科に改組・再編）」、プラズマ研究センターを設置
55. 4 福田信之、学長に就任  
「(博士課程) 医学研究科」、粒子線医科学センター（～平 2.3）、運動処方特別プロジェクト研究組織（～昭 57.3）を設置
56. 4 「(博士課程) 工学研究科」を設置
57. 4 熱帯農林資源特別プロジェクト研究組織（～昭 62.3）、老化特別プロジェクト研究組織（～昭 62.3）を設置
58. 4 「(第三学群) 国際関係学類（平 7.4 国際総合学類に改組）」、本能特別プロジェクト研究組織（～昭 63.3）を設置
59. 4 留学生教育センター（平 3.4 留学生センターに改称）、遺伝子実験センターを設置
60. 4 「(第二学群) 日本語・日本文化学類」を設置
61. 4 阿南功一、学長に就任  
大学研究センターを設置
62. 5 物質の進化特別プロジェクト研究組織（～平 4.3）、変換技術開発特別プロジェクト研究組織（～平 4.3）を設置
63. 4 代謝特別プロジェクト研究組織（～平 5.3）を設置
- 平元. 4 大学院修士課程に夜間開講の専攻を設置  
大学院修士課程において昼夜開講制を実施
2. 6 陽子線医学利用研究センター（～平 12.3）を設置
3. 4 「(第三学群) 工学システム学類」を設置
4. 4 江崎玲於奈、学長に就任  
「(博士課程) 国際政治経済学研究科」、計算物理学研究センター（～平 14.3）、新国際システム特別プロジェクト研究組織（～平 9.3）、循環器系バイオシステム特別プロジェクト研究組織（～平 9.3）を設置  
大学院博士課程において連携大学院方式（第一号連携大学院方式）を実施
5. 4 「(修士課程) バイオシステム研究科（平 17.4 生命環境科学研究科に改組・再編）」、地球環境変化特別プロジェクト研究組織（～平 10.3）を設置

- 6 . 5 先端学際領域研究センター（平 22. 10 生命領域学際研究センターに改組）
- 7 . 4 大学院博士課程において昼夜開講制を実施
- 8 . 4 大学院博士課程に夜間開講の専攻（後期 3 年博士課程）を設置
- 9 . 4 東西言語文化の類型論特別プロジェクト研究組織（～平 14. 3）、感性評価構造モデル構築特別プロジェクト研究組織（～平 14. 3）を設置
10. 4 北原保雄、学長に就任  
動的脳機能とこころのアメニティ特別プロジェクト研究組織（～平 15. 3）を設置
11. 4 構造工学系を機能工学系に改称、アドミッションセンターを設置
12. 4 「(博士課程) 生命環境科学研究科、数理物質科学研究科、システム情報工学研究科（社会工学研究科、生物科学研究科、農学研究科、数学研究科、物理学研究科、化学研究科、地球科学研究科、工学研究科の改組）」、陽子線医学利用研究センター（～平 22. 3）を設置
13. 4 「(博士課程) 人文社会科学研究科、ビジネス科学研究科、人間総合科学研究科（哲学・思想研究科、歴史・人類学研究科、文芸・言語研究科、教育学研究科、心理学研究科、心身障害学研究科、社会科学研究科、国際政治経済学研究科、経営・政策科学研究科（経営システム科学専攻、企業法学専攻及び企業科学専攻）、医学研究科、体育科学研究科及び芸術学研究科の改組）」を設置
14. 4 産学リエゾン共同研究センター、教育開発国際協力研究センター、計算物理学研究センター（～平 24. 3；平 16. 4 計算科学研究センターに改組）、ナノサイエンス特別プロジェクト研究組織（～平 19. 3）、獲得性環境因子の生体応答システム特別プロジェクト研究組織（～平 19. 3）の設置  
大学院修士課程において連携大学院方式を実施
14. 10 図書館情報大学と統合「国立学校設置法の一部を改正する法律（平成 14 年法律第 23 号）」  
医学専門学群「医学類、看護・医療科学類」、図書館情報専門学群、「(博士課程) 図書館情報メディア研究科」、図書館情報学系、知的コミュニティ基盤研究センター（～平 24. 3）を設置
15. 4 学際物質科学研究センターを設置（～平 25. 3）  
比較市民社会・国家・文化特別プロジェクト研究組織（～平 20. 3）を設置
16. 4 国立大学法人筑波大学設置「国立大学法人法（平成 15 年法律第 112 号）」  
岩崎洋一、学長に就任  
看護科学系、特別支援教育研究センター、北アフリカ研究センター、学術情報メディアセンター（教育機器センター及び学術情報処理センターを統合）、研究基盤総合センター（加速器センター、低温センター、アイソトープセンター、分析センター及び工作センターを統合）、附属久里浜養護学校、大学院修士課程芸術研究科「世界遺産専攻」を設置  
大学院博士課程において連携大学院方式（第二号連携大学院方式）を実施（数理物質科学研究科物質・材料工学専攻）  
大学院博士課程数理物質科学研究科を 5 年一貫制博士課程から区分制博士課程に転換
17. 4 大学院専門職学位課程「ビジネス科学研究科法曹専攻、国際経営プロフェッショナル専攻」、大学院博士課程生命環境科学研究科「生命産業科学専攻」を設置

- 大学院博士課程において連携大学院方式（第二号連携大学院方式）を実施（生命環境科学研究科先端農業技術科学専攻）
- 大学院博士課程システム情報工学研究科、大学院博士課程生命環境科学研究科（構造生物科学専攻、情報生物科学専攻、国際地縁技術開発科学専攻、生物圏資源科学専攻、生物機能科学専攻）を5年一貫制博士課程から区分制博士課程に転換
18. 4 大学院修士課程教育研究科「スクールリーダーシップ開発専攻」、大学院博士課程人間総合科学研究科「フロンティア医科学専攻（修士課程）、コーチング学専攻（後期のみの博士課程）、世界文化遺産学専攻（後期のみの博士課程）」、アイソトープ総合センターを設置
18. 10 次世代医療研究開発・教育統合センターを設置
19. 4 学群改組を実施（9学群23学類により編制）
- 人文・文化学群「人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類」、社会・国際学群「社会学類、国際総合学類」、人間学群「教育学類、心理学類、障害科学類」、生命環境学群「生物学類、生物資源学類、地球学類」、理工学群「数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、工学システム学類、社会工学類」、情報学群「情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類」、医学群「医学類、看護学類、医療科学類」、体育専門学群、芸術専門学群
- 大学院博士課程生命環境科学研究科（地球環境科学専攻、地球進化科学専攻）、大学院博士課程人間総合科学研究科（芸術学専攻）を5年一貫制から区分制に転換
- 大学院博士課程生命環境科学研究科「地球科学専攻（博士前期課程）、環境科学専攻（博士前期課程）、地球環境科学専攻（博士後期課程）、地球進化科学専攻（博士後期課程）、持続環境学専攻（博士後期課程）」、大学院博士課程人間総合科学研究科「看護科学専攻（修士課程）、世界遺産専攻（博士前期課程）、芸術専攻（博士前・後期課程）」を設置
- 附属盲学校、聾学校、大塚養護学校、桐が丘養護学校、久里浜養護学校を特別支援学校に変更
- 「学校教育法等の一部を改正する法律（平成18年法律第80号）」
20. 4 大学院人文社会科学研究科（現代文化・公共政策専攻、国際政治経済学専攻、社会科学専攻）、大学院博士課程人間総合科学研究科（教育学専攻、学校教育学専攻、心理学専攻、感性認知脳科学専攻、体育科学専攻）を5年一貫制から区分制に、大学院博士課程人間総合科学研究科（ヒューマン・ケア科学専攻、スポーツ医学専攻）を5年一貫制から後期3年博士課程に転換
- 大学院人文社会科学研究科「現代語・現代文化専攻、国際公共政策専攻、経済学専攻、法学専攻（以上、博士前・後期課程）、国際地域研究専攻（博士前期課程）、国際日本研究専攻（博士後期課程）」、大学院博士課程人間総合科学研究科「障害科学専攻（博士前・後期課程）心理専攻、生涯発達専攻、体育学専攻、スポーツ健康システム・マネジメント専攻（以上、博士前期課程）、教育基礎学専攻、生涯発達科学専攻、生命システム医学専攻、疾患制御医学専攻（以上、博士後期課程）」を設置
- 大学院修士課程教育研究科「特別支援教育専攻」を設置
21. 4 山田信博、学長に就任
- 大学院博士課程人間総合科学研究科「看護科学専攻（博士後期課程）」を設置

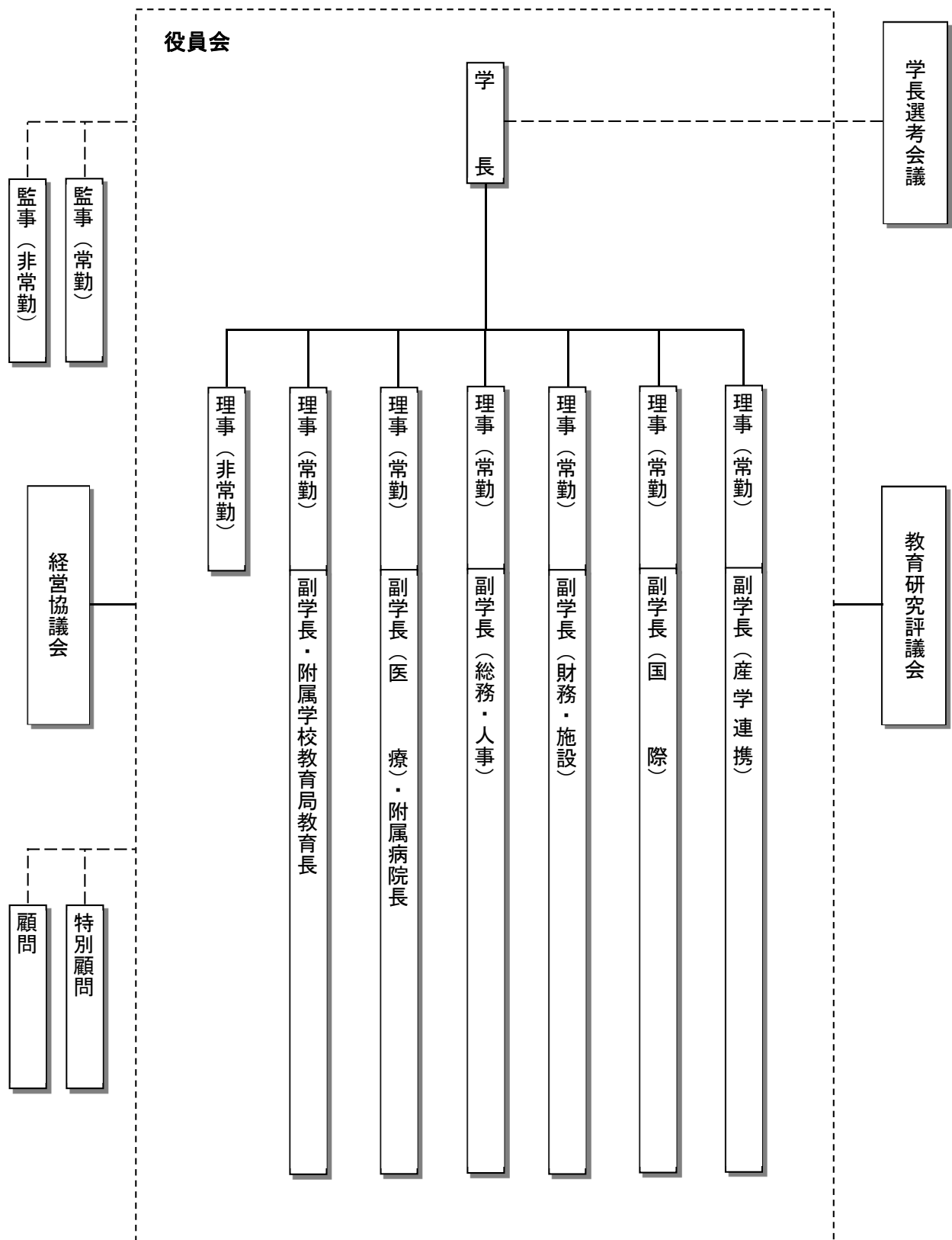
23. 4 教員組織である系(人文社会系、ビジネスサイエンス系、数理物質系、システム情報系、生命環境系、人間系、体育系、芸術系、医学医療系、図書館情報メディア系)を設置  
大学院博士課程生命環境科学研究科「生物科学専攻(博士後期課程)」を設置
23. 10 サイバニクス研究センターを設置
23. 12 グローバル教育院を設置
24. 3 学系を廃止
24. 4 ヒューマンバイオロジー学位プログラム(5年一貫制博士課程)を設置  
大学院博士課程数理物質科学研究科「ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻(博士後期課程)」、大学院博士課程生命環境科学研究科「環境バイオマス共生学専攻(5年一貫制)」を設置
24. 12 国際統合睡眠医科学研究機構を設置  
アイソトープ環境動態研究センター(アイソトープ総合センター及び陸域環境研究センターを統合)を設置
25. 4 永田恭介、学長に就任  
グローバル・コモンズ機構を設置
26. 4 エンパワーメント情報学プログラム(5年一貫制博士課程)を設置  
大学院博士課程システム情報工学研究科「社会工学専攻社会工学学位プログラム(博士前・後期課程)、社会工学専攻サービス工学学位プログラム(博士前期課程)」を設置  
利益相反・輸出管理マネジメント室を設置
27. 4 ライフイノベーション学位プログラム(博士前・後期)を設置  
グローバルコミュニケーション教育センター(外国語センター及び留学生センターを統合)を設置  
人文社会科学研究科「国際日本研究専攻(博士前期課程)」を設置  
高細精医療イノベーション研究コアを設置
27. 6 つくば臨床医学研究開発機構を設置
27. 7 ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センターを設置  
藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センターを設置
27. 10 ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター(ダイバーシティ推進室、障害学生支援室、キャリア支援室を統合)を設置  
つくばスポーツ医学・健康科学センターを設置
28. 4 大学院博士課程人間総合科学研究科「スポーツ国際開発学共同専攻(修士課程)、大学体育スポーツ高度化共同専攻(3年制博士課程)、スポーツウェルネス学位プログラム(3年制博士課程)」を設置  
筑波大学アーカイブズを設置
29. 1 プレシジョン・メディシン開発研究センターを設置
29. 4 地球規模課題学位プログラム(学士課程)を設置  
大学院修士課程教育研究科「教育学(国際教育)修士プログラム」を設置  
大学院博士課程生命環境科学研究科「山岳科学学位プログラム(博士前期課程)」を設置  
人工知能科学センターを設置  
つくば機能植物イノベーション研究センター(遺伝子実験センター・農林技術センター



- (農場部門)を統合)を設置  
 トランスボーダー医学研究センターを設置  
 山岳科学センター(菅平高原実験センター及び農林技術センター(演習林部門)を統合)を設置  
 未来社会工学開発研究センターを設置  
 スポーツイノベーション開発研究センターを設置  
 29. 7 ヘルスサービス開発研究センターを設置  
 オリンピック・パラリンピック総合推進室を設置  
 29. 9 大学院博士課程生命環境科学研究科「国際連携持続環境科学専攻(博士前期課程)」を設置  
 大学院博士課程人間総合科学研究科「国際連携食料健康科学専攻(修士課程)」を設置  
 29. 10 宇宙史研究センターを設置  
 エネルギー物質科学研究センター(TREMS)(学際物質科学研究センター・数理物質融合科学センター(環境エネルギー材料研究拠点)を統合)を設置

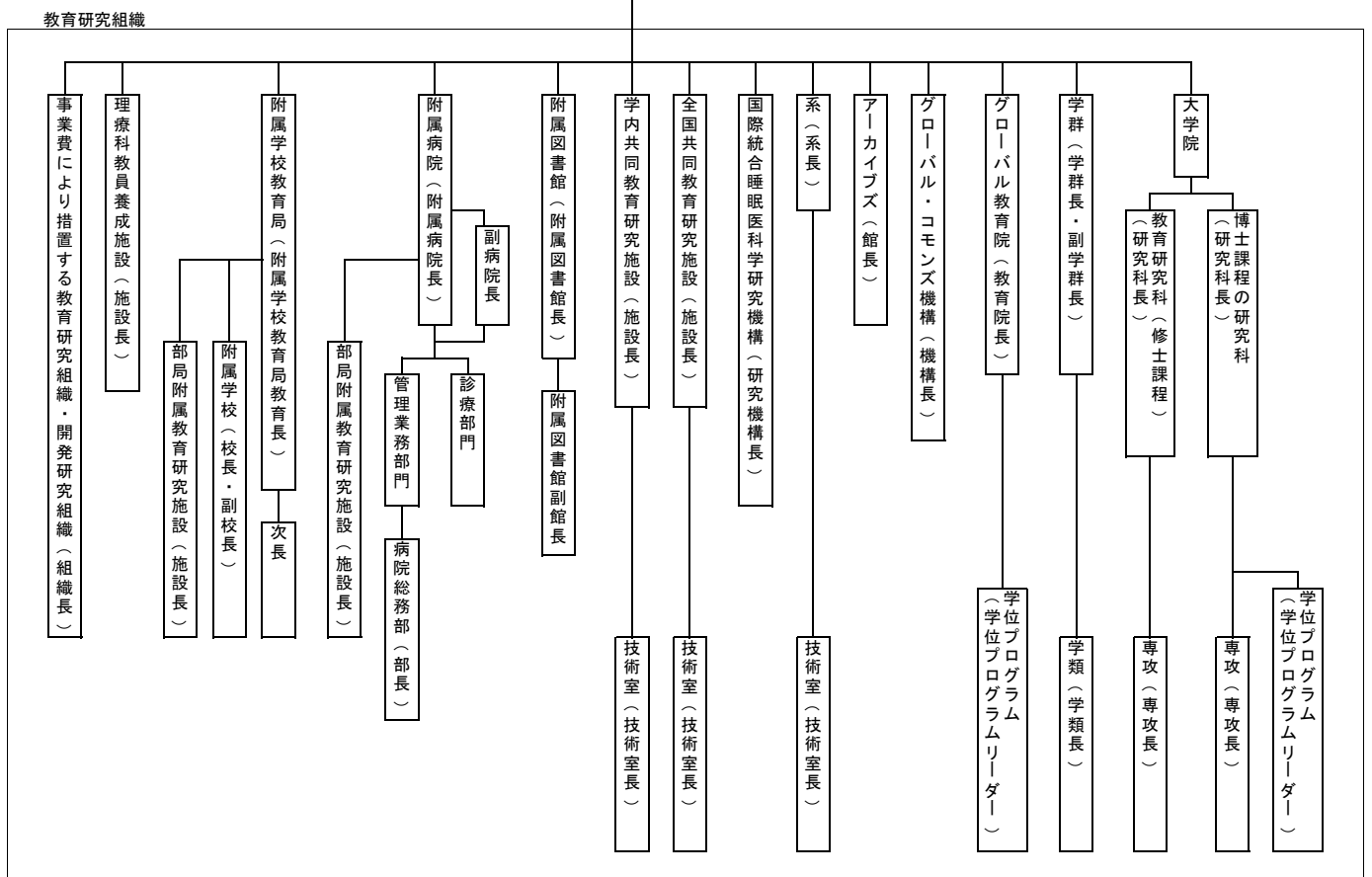
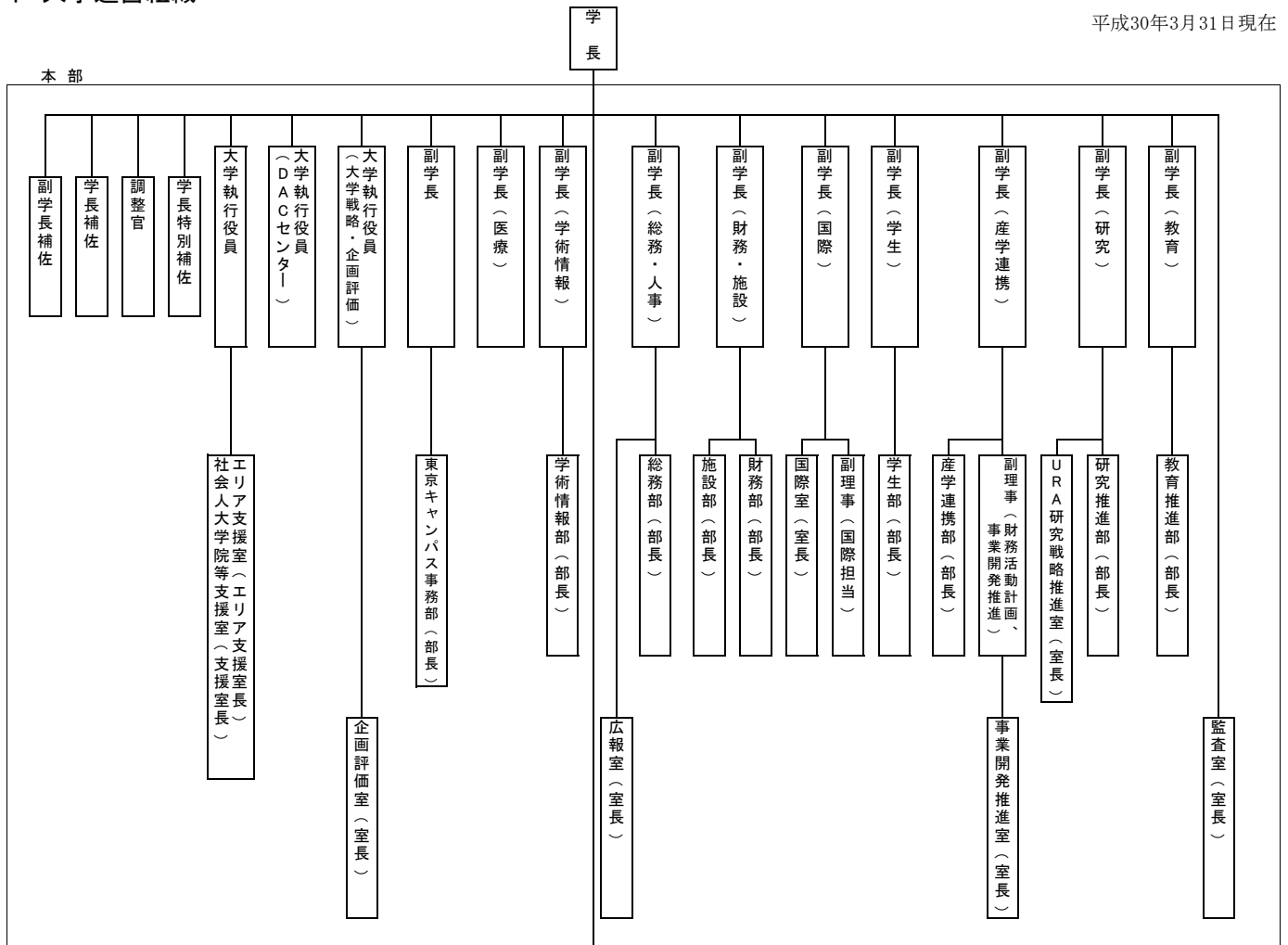
(2) 運営組織等  
ア 法人運営組織

平成 30 年 3 月 31 日現在



イ 大学運営組織

平成30年3月31日現在



### (3) 制定改廃法人規則等

#### ○法人規則

- 筑波大学学群学則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 6 月 22 日法人規則第 21 号）
- 筑波大学大学院学則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 6 月 22 日法人規則第 22 号）
- 国立大学法人筑波大学ネーミングライツ事業規則（平成 29 年 6 月 22 日法人規則第 23 号）
- 国立大学法人筑波大学広告掲載等取扱規則（平成 29 年 6 月 22 日法人規則第 24 号）
- 国立大学法人筑波大学個人情報保護管理規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 6 月 22 日法人規則第 25 号）
- 国立大学法人筑波大学本部等職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 6 月 22 日法人規則第 26 号）
- 国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 7 月 10 日法人規則第 27 号）
- 筑波大学大学院学則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 7 月 27 日法人規則第 28 号）
- 国立大学法人筑波大学における個人番号及び特定個人情報の取扱いに関する規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 8 月 31 日法人規則第 29 号）
- 国立大学法人筑波大学利益相反規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 9 月 21 日法人規則第 30 号）
- 国立大学法人筑波大学本部等職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 9 月 28 日法人規則第 31 号）
- 国立大学法人筑波大学における役員の報酬等に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 12 月 21 日法人規則第 32 号）
- 国立大学法人筑波大学職員の退職金に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 29 年 12 月 21 日法人規則第 33 号）
- 筑波大学附属病院の医療安全に係る監査委員会規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 1 月 22 日法人規則第 1 号）
- 国立大学法人筑波大学本部等職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 1 月 25 日法人規則第 2 号）
- 国立大学法人筑波大学附属病院職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 1 月 25 日法人規則第 3 号）
- 国立大学法人筑波大学附属学校職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 1 月 25 日法人規則第 4 号）
- 筑波大学附属図書館規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 1 月 25 日法人規則第 5 号）
- 筑波大学学群学則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 2 月 22 日法人規則第 6 号）
- 筑波大学大学院学則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 2 月 22 日法人規則第 7 号）
- 国立大学法人筑波大学キャンパス交通システムに関する規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 2 月 22 日法人規則第 8 号）
- 国立大学法人筑波大学情報セキュリティ規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 2 月 22 日法人規則第 9 号）
- 国立大学法人筑波大学役職員の再就職等の規制に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 2 月 22 日法人規則第 10 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員就業規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 11 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員就業規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 12 号）

国立大学法人筑波大学附属学校職員就業規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 13 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 14 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 15 号）

国立大学法人筑波大学附属学校職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 16 号）

国立大学法人筑波大学本部等非常勤職員就業規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 17 号）

国立大学法人筑波大学本部等非常勤職員の勤務時間及び報酬に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 18 号）

国立大学法人筑波大学附属学校非常勤職員の勤務時間及び報酬に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 19 号）

国立大学法人筑波大学職員の安全衛生管理規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 20 号）

国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 21 号）

国立大学法人筑波大学個人情報保護管理規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 22 号）

国立大学法人筑波大学リスクマネジメント規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 23 号）

国立大学法人筑波大学大学教員の任用手続等に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 24 号）

教育研究施設の長等の選考及び任期に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 25 号）

学外の有識者をもって充てる教育研究施設の長の選考及び委嘱期間に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 26 号）

国立大学法人筑波大学人事企画委員会規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 27 号）

国立大学法人筑波大学財務規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 28 号）

国立大学法人筑波大学財産管理規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 29 号）

国立大学法人筑波大学出張及び旅費に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 30 号）

筑波大学公開講座規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 31 号）

筑波大学における特別の課程の編成に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 30 年 3 月 22 日法人規則

則第 32 号)

国立大学法人筑波大学知的財産規則の一部を改正する法人規則 (平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 33 号)

国立大学法人筑波大学研究員受入規則の一部を改正する法人規則 (平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 34 号)

筑波大学研究者情報システム (T R I O S) 規則の一部を改正する法人規則 (平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 35 号)

筑波大学研究公正規則の一部を改正する法人規則 (平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 36 号)

国立大学法人筑波大学安全保障輸出管理規則の一部を改正する法人規則 (平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 37 号)

国立大学法人筑波大学エネルギー管理規則の一部を改正する法人規則 (平成 30 年 3 月 22 日法人規則第 38 号)

筑波大学校章等規則の一部を改正する法人規則 (平成 30 年 3 月 30 日法人規則第 39 号)

情報セキュリティ規則の一部を改正する法人規則 (平成 30 年 3 月 30 日法人規則第 41 号)

## ○法人規程

国立大学法人筑波大学国際イニシアティブ推進機構規程 (平成 29 年 5 月 25 日法人規程第 39 号)

利益相反・輸出管理マネジメント室規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 5 月 25 日法人規程第 40 号)

筑波大学動物実験取扱規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 6 月 22 日法人規程第 41 号)

筑波大学学生居住施設規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 6 月 22 日法人規程第 42 号)

国立大学法人筑波大学オリンピック・パラリンピック総合推進室規程 (平成 29 年 6 月 22 日法人規程第 43 号)

国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 6 月 22 日法人規程第 44 号)

国立大学法人筑波大学公印取扱規程の一部を改正する規程 (平成 29 年 6 月 22 日法人規程第 45 号)

筑波大学学位規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 6 月 30 日法人規程第 46 号)

国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 7 月 10 日法人規程第 47 号)

国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 7 月 27 日法人規程第 48 号)

筑波大学学位規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 7 月 27 日法人規程第 49 号)

筑波大学グローバルリーダーキャリア開発ネットワーク規程を廃止する法人規程 (平成 29 年 7 月 27 日法人規程第 50 号)

国立大学法人筑波大学法人文書管理規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 8 月 22 日法人規程第 51 号)

国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 8 月 31 日法人規程第 52 号)

国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程の一部を改正する法人規程 (平成 29 年 9 月 28 日法人規程第 53 号)

国立大学法人筑波大学公印取扱規程の一部を改正する規程 (平成 29 年 9 月 28 日法人規程第 54 号)

国立大学法人筑波大学附属病院院長候補者の選考に関する規程 (平成 29 年 10 月 26 日法人規程第 55 号)

国立大学法人筑波大学副学長の任期に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 29 年 10 月 26 日法人規程第 56 号）

筑波大学授業料の免除及び徴収猶予規程の一部を改正する法人規程（平成 29 年 12 月 21 日法人規程第 57 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 1 月 25 日法人規程第 1 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 1 月 25 日法人規程第 2 号）

国立大学法人筑波大学附属学校職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 1 月 25 日法人規程第 3 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 1 月 25 日法人規程第 4 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 1 月 25 日法人規程第 5 号）

国立大学法人筑波大学附属学校職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 1 月 25 日法人規程第 6 号）

国立大学法人筑波大学附属学校教員の再雇用に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 1 月 25 日法人規程第 7 号）

国立大学法人筑波大学におけるライセンス等、研究経費等又は財産貸付の対価として取得する株式等取扱規程（平成 30 年 1 月 25 日法人規程第 8 号）

国立大学法人筑波大学学術指導取扱規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 1 月 25 日法人規程第 9 号）

筑波大学附属図書館利用規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 1 月 25 日法人規程第 10 号）

筑波大学特別支援学校教員資格認定試験実施規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 2 月 8 日法人規程第 11 号）

国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 2 月 16 日法人規程第 12 号）

国立大学法人筑波大学学際研究系に関する規程（平成 30 年 2 月 16 日法人規程第 13 号）

国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 2 月 22 日法人規程第 14 号）

国立大学法人筑波大学文書処理規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 2 月 22 日法人規程第 15 号）

情報システムの利用に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 2 月 22 日法人規程第 16 号）

国立大学法人筑波大学におけるハラスメントの防止等に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 2 月 22 日法人規程第 17 号）

筑波大学構内自転車等駐輪規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 2 月 22 日法人規程第 18 号）

筑波大学附属図書館利用規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 2 月 22 日法人規程第 19 号）

広報戦略室規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 2 月 22 日法人規程第 20 号）

筑波大学附属図書館規則施行規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 2 月 27 日法人規程第 21 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 22 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規

程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 23 号）

国立大学法人筑波大学附属学校職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 24 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 25 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 26 号）

国立大学法人筑波大学附属学校職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 27 号）

国立大学法人筑波大学附属学校教員の再雇用に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 28 号）

国立大学法人筑波大学職員懲戒規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 29 号）

国立大学法人筑波大学大学教員のサバティカル制度の実施に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 30 号）

国立大学法人筑波大学職員の服務監督者に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 31 号）

筑波大学特定臨床研究倫理審査委員会の組織及び運営に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 32 号）

国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 33 号）

大学経営改革室規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 34 号）

国立大学法人筑波大学法人文書の開示の手続きに関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 35 号）

国立大学法人筑波大学法人文書管理規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 36 号）

国立大学法人筑波大学文書処理規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 37 号）

国立大学法人筑波大学公印取扱規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 38 号）

国立大学法人筑波大学の情報の格付け及び取扱制限に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 39 号）

情報システムの利用に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 40 号）

国立大学法人筑波大学防火・防災管理規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 41 号）

国立大学法人筑波大学組織評価規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 42 号）

国立大学法人筑波大学大学教員の任期に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 43 号）

国立大学法人筑波大学大学教員のテニユアトラック制に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 44 号）

国立大学法人筑波大学毒物及び劇物管理規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 45 号）

国立大学法人筑波大学廃棄物管理規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 46 号）



国立大学法人筑波大学危険物管理規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 47 号）  
国立大学法人筑波大学が任用する研究職員に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 48 号）  
国立大学法人筑波大学財務規則施行規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 49 号）  
国立大学法人筑波大学宿舍管理規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 50 号）  
国立大学法人筑波大学寄附金等取扱規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 51 号）  
国立大学法人筑波大学受託研究取扱規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 52 号）  
国立大学法人筑波大学共同研究取扱規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 53 号）  
国際産学連携本部規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 54 号）  
筑波大学動物実験取扱規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 55 号）  
筑波大学遺伝子組換え実験安全管理規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 56 号）  
国立大学法人筑波大学学術指導取扱規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 57 号）  
研究推進会議規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 58 号）  
国立大学法人筑波大学におけるライセンス等、研究経費等又は財産貸付の対価として取得する株式等取扱規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 59 号）  
筑波大学附属図書館利用規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 60 号）  
国立大学法人筑波大学外部資金臨床研究取扱規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 61 号）  
国立大学法人筑波大学特別共同研究事業取扱規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 62 号）  
国立大学法人筑波大学学際研究系に関する規程（平成 30 年 3 月 22 日法人規程第 63 号）  
国立大学法人筑波大学文書処理規程の一部を改正する法人規程（平成 30 年 3 月 30 日法人規程第 66 号）

## ○法人細則

筑波大学学生宿舍の管理運営に関する法人細則の一部を改正する法人細則（平成 29 年 6 月 22 日法人細則第 11 号）  
国立大学法人筑波大学保育施設運営細則の一部を改正する法人細則（平成 29 年 7 月 27 日法人細則第 12 号）  
国際連携専攻に係る学年の始期及び終期等に関する法人細則（平成 29 年 7 月 27 日法人細則第 13 号）  
国際連携教育課程に係る学位記の様式に関する法人細則（平成 29 年 7 月 27 日法人細則第 14 号）  
国立大学法人筑波大学の会計事務分掌及び専決に関する取扱いを定める法人細則の一部を改正する法人細則（平成 29 年 8 月 31 日法人細則第 15 号）  
国立大学法人筑波大学債権管理事務取扱細則の一部を改正する法人細則（平成 29 年 8 月 31 日法人細則第 16 号）

地球規模課題学位プログラム（学士）の人材養成目的等に関する法人細則（平成 29 年 10 月 19 日法人細則第 17 号）

国立大学法人筑波大学における独立行政法人等非識別加工情報の提供に関する法人細則（平成 29 年 11 月 30 日法人細則第 18 号）

国立大学法人筑波大学出納事務取扱細則の一部を改正する法人細則（平成 29 年 12 月 14 日法人細則第 19 号）

筑波大学附属図書館諸料金に関する細則の一部を改正する法人細則（平成 30 年 1 月 25 日法人細則第 1 号）

共同教育課程に係る学位記の様式に関する法人細則（平成 30 年 2 月 22 日法人細則第 2 号）

筑波大学特別学修生に関する法人細則（平成 30 年 2 月 22 日法人細則第 3 号）

国立大学法人筑波大学の会計責任者等の使用する公印に関する法人細則の一部を改正する法人細則（平成 30 年 3 月 22 日法人細則第 4 号）

国立大学法人筑波大学の会計事務分掌及び専決に関する取扱いを定める法人細則の一部を改正する法人細則（平成 30 年 3 月 22 日法人細則第 5 号）

国立大学法人筑波大学債権管理事務取扱細則の一部を改正する法人細則（平成 30 年 3 月 22 日法人細則第 6 号）

国立大学法人筑波大学の財産貸付料の算定に関する細則の一部を改正する法人細則（平成 30 年 3 月 22 日法人細則第 7 号）

国立大学法人筑波大学債権管理事務取扱細則の一部を改正する法人細則（平成 30 年 3 月 26 日法人細則第 8 号）

先端研究センター群に区分される教育研究施設の分類等に関する細則（平成 30 年 3 月 29 日法人細則第 9 号）

地球規模課題学位プログラム（学士）の人材養成目的等に関する法人細則の一部を改正する法人細則（平成 30 年 3 月 29 日法人細則第 10 号）

#### ○教育研究評議会規程

国立大学法人筑波大学大学教員の任用手続等に関する規則に基づく教育研究評議会規程の一部を改正する教育研究評議会規程（平成 30 年 3 月 22 日教育研究評議会規程第 1 号）

#### ○学長告示

国立大学法人筑波大学大学本部等事業場及び東京キャンパス事業場の適用範囲についての一部を改正する学長告示（平成 29 年 4 月 1 日学長告示第 1 号）

#### ○附属病院規程

筑波大学附属病院の組織及び運営に関する規程の一部を改正する附属病院規程（平成 30 年 3 月 5 日附属病院規程第 1 号）

筑波大学附属病院の組織及び運営に関する規程の一部を改正する附属病院規程（平成 30 年 3 月 26 日附属病院規程第 2 号）

#### ○附属病院細則

筑波大学附属病院虐待対策委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 4 月 3 日附属病院細則第

33 号)

筑波大学附属病院医療ガス安全管理委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 4 月 17 日附属病院細則第 34 号）

筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 6 月 5 日附属病院細則第 35 号）

筑波大学附属病院臨床医療管理部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 6 月 5 日附属病院細則第 36 号）

筑波大学附属病院臨床医療管理部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 6 月 19 日附属病院細則第 37 号）

筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 6 月 19 日附属病院細則第 38 号）

筑波大学附属病院リスクマネジメント委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 7 月 24 日附属病院細則第 39 号）

筑波大学附属病院臨床医療管理部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 7 月 24 日附属病院細則第 40 号）

筑波大学附属病院施設計画委員会細則（平成 29 年 8 月 7 日附属病院細則第 41 号）

筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 9 月 25 日附属病院細則第 42 号）

筑波大学附属病院感染管理部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 10 月 16 日附属病院細則第 43 号）

筑波大学附属病院感染対策委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 10 月 16 日附属病院細則第 44 号）

筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 10 月 16 日附属病院細則第 45 号）

筑波大学附属病院高難度新規医療技術検討委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 11 月 27 日附属病院細則第 46 号）

筑波大学附属病院つくばヒト組織診断センター研究用検体管理等受託細則を廃止する附属病院細則（平成 29 年 11 月 27 日附属病院細則第 47 号）

筑波大学附属病院つくばヒト組織バイオバンクセンターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 11 月 27 日附属病院細則第 48 号）

筑波大学附属病院つくばヒト組織バイオバンクセンター分譲細則（平成 29 年 11 月 27 日附属病院細則第 49 号）

筑波大学附属病院つくばヒト組織バイオバンクセンター研究用標本作製等受託細則（平成 29 年 11 月 27 日附属病院細則第 50 号）

筑波大学附属病院つくばヒト組織診断センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 12 月 25 日附属病院細則第 51 号）

筑波大学附属病院施設計画委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 29 年 12 月 25 日附属病院細則第 52 号）

筑波大学附属病院特定臨床研究倫理審査委員会細則（平成 30 年 1 月 22 日附属病院細則第 1 号）

筑波大学附属病院特定臨床研究管理委員会細則（平成 30 年 1 月 22 日附属病院細則第 2 号）

筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 1 月 22 日附属病院細則第 3 号）

筑波大学附属病院総合がん診療センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 1 月 22 日附属病院細則第 4 号）

筑波大学附属病院外来化学療法室の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 2 月 13 日附属病院細則第 5 号）

筑波大学附属病院医療材料選定委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 2 月 13 日附属病院細則第 6 号）

筑波大学附属病院薬事委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 2 月 13 日附属病院細則第 7 号）

筑波大学附属病院看護部の組織及び業務分掌に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 2 月 13 日附属病院細則第 8 号）

筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 3 月 5 日附属病院細則第 9 号）

筑波大学附属病院高次救急センターの組織及び運営に関する細則（平成 30 年 3 月 5 日附属病院細則第 10 号）

筑波大学附属病院地域医療調整委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 3 月 5 日附属病院細則第 11 号）

筑波大学附属病院地域医療教育センター・ステーション細則（平成 30 年 3 月 5 日附属病院細則第 12 号）

筑波大学附属病院水戸地域医療教育センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 3 月 5 日附属病院細則第 13 号）

筑波大学附属病院茨城県地域臨床教育センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 3 月 5 日附属病院細則第 14 号）

筑波大学附属病院ひたちなか社会連携教育研究センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 3 月 5 日附属病院細則第 15 号）

筑波大学附属病院日立社会連携教育研究センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 3 月 5 日附属病院細則第 16 号）

筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 3 月 5 日附属病院細則第 17 号）

筑波大学附属病院つくば市バースセンターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 3 月 5 日附属病院細則第 18 号）

筑波大学附属病院神栖地域医療教育センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 3 月 5 日附属病院細則第 19 号）

筑波大学附属病院茨城県小児地域医療教育ステーションの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 3 月 5 日附属病院細則第 20 号）

筑波大学附属病院取手地域臨床教育ステーションの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 3 月 5 日附属病院細則第 21 号）

筑波大学附属病院合同茨城県西部地域臨床教育センターの組織及び運営に関する細則（平成 30 年 3 月 5 日附属病院細則第 22 号）

筑波大学附属病院研修生受入細則（平成 30 年 3 月 12 日附属病院細則第 23 号）

筑波大学附属病院実習生受入細則（平成 30 年 3 月 12 日附属病院細則第 24 号）

筑波大学附属病院薬剤師実務研修生受入細則を廃止する附属病院細則（平成 30 年 3 月 12 日附属病院細則第 25 号）

筑波大学附属病院感染対策委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 3 月 12 日附属病院細則第 26 号）

筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 3 月 12 日附属病院細則第 27 号）  
筑波大学附属病院臨床研究倫理審査委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 3 月 26 日附属病院細則第 28 号）

筑波大学附属病院副病院長の職務分担に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 3 月 26 日附属病院細則第 29 号）

陽子線医学利用研究センター細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 3 月 26 日附属病院細則第 30 号）

筑波大学附属病院総合がん診療センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 3 月 26 日附属病院細則第 31 号）

筑波大学附属病院難病医療センターの組織及び運営に関する細則（平成 30 年 3 月 26 日附属病院細則第 32 号）

つくばスポーツ医学・健康科学センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 3 月 26 日附属病院細則第 33 号）

筑波大学附属病院奨学金貸与細則の一部を改正する附属病院細則（平成 30 年 3 月 26 日附属病院細則第 34 号）

#### ○附属学校教育局細則

国立大学法人筑波大学附属学校教育局の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属学校教育局細則（平成 30 年 3 月 14 日附属学校教育局細則第 1 号）

国立大学法人筑波大学特別支援教育研究センターの組織及び運営等に関する細則を廃止する附属学校教育局細則（平成 30 年 3 月 14 日附属学校教育局細則第 2 号）

## ○部局細則

### 博士課程の研究科

#### ビジネス科学研究科

ビジネス科学研究科の教育に関する細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 9 月 15 日ビジネス科学研究科部局細則第 1 号）

ビジネス科学研究科運営委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 30 年 3 月 16 日ビジネス科学研究科部局細則第 1 号）

#### システム情報工学研究科

筑波大学大学院学則に基づくシステム情報工学研究科細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 4 月 5 日システム情報工学研究科部局細則第 3 号）

システム情報工学研究科における教育課程の編成等に関する細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 5 月 24 日システム情報工学研究科部局細則第 4 号）

#### 人間総合科学研究科

人間総合科学研究科副研究科長選考細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 7 月 25 日人間総合科学研究科部局細則第 1 号）

人間総合科学研究科における人材養成の目的及び教育課程の編成等に関する細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 7 月 25 日人間総合科学研究科部局細則第 2 号）

#### 図書館情報メディア研究科

図書館情報メディア研究科の人材養成目的等に関する細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 7 月 19 日図書館情報メディア研究科部局細則第 1 号）

図書館情報メディア研究科の入学者選抜に関する細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 7 月 19 日図書館情報メディア研究科部局細則第 2 号）

## 学群

### 人間学群

人間学群履修細則の一部を改正する部局細則（平成 30 年 1 月 10 日人間学群部局細則第 1 号）

### 情報学群

情報学群履修細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 12 月 5 日情報学群部局細則第 1 号）

### 医学群

医学群履修細則の一部を改正する部局細則（平成 30 年 1 月 24 日医学群部局細則第 1 号）

## 系

### 人文社会系

人文社会系大学教員業績評価に係る評価委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 4 月 26 日人文社会系部局細則第 1 号）

人文社会系人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 5 月 11 日人文社会系部局細則第 2 号）

人文社会系年俸制教員評価実施委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 5 月 11 日人文社会系部局細則第 3 号）

## 数理物質系

数理物質系におけるナノテクノロジープラットフォーム共用施設の利用に関する細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 7 月 7 日数理物質系部局細則第 3 号）

国立大学法人筑波大学数理科学研究コアの組織及び運営に関する細則（平成 29 年 10 月 13 日数理物質系部局細則第 6 号）

国立大学法人筑波大学融合研究企画室の組織及び運営に関する細則（平成 29 年 10 月 13 日数理物質系部局細則第 7 号）

数理物質系大学教員業績評価委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 10 月 13 日数理物質系部局細則第 8 号）

数理物質系年俸制教員評価実施委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 10 月 13 日数理物質系部局細則第 9 号）

数理物質系研究倫理委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 10 月 13 日数理物質系部局細則第 10 号）

数理物質系人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 10 月 13 日数理物質系部局細則第 11 号）

数理物質系の系長の候補者選考細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 11 月 17 日数理物質系部局細則第 12 号）

## システム情報系

システム情報系人事委員会細則に関する部局細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 5 月 11 日システム情報系部局細則第 3 号）

システム情報系大学教員業績評価の実施に係る評価委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 6 月 7 日システム情報系部局細則第 4 号）

システム情報系大学教員業績評価の実施に係る評価委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 30 年 3 月 2 日システム情報系部局細則第 1 号）

## 生命環境系

生命環境系人事委員会細則の一部を改正する細則（平成 29 年 4 月 6 日生命環境系部局細則第 2 号）

生命環境系大学教員業績評価の実施に係る評価委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 6 月 14 日生命環境系部局細則第 5 号）

生命環境系における基本年俸表を適用する大学教員業績評価に関する細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 6 月 14 日生命環境系部局細則第 6 号）

生命環境系の系長の候補者選考細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 9 月 13 日生命環境系部局細則第 7 号）

生命環境系大学教員のテニユアトラック制に関する細則の一部を改正する細則（平成 29 年 11 月 2 日生命環境系部局細則第 8 号）

## 人間系

人間系年俸制教員評価実施委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 5 月 11 日人間系部局細則第 2 号）

働くひとのためのキャリア相談に関する細則の一部を改正する部局細則（平成 30 年 3 月 22 日人間系部局細則第 1 号）

## 体育系

体育系の系長の候補者選考細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 10 月 11 日体育系部局細則第 1 号）

## 芸術系

芸術系の系長の候補者選考細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 10 月 16 日体育系部局細則第 1 号）

芸術系大学教員のテニユアトラック制に関する細則の一部を改正する部局細則（平成 30 年 3 月 1 日芸術系部局細則第 1 号）

## 医学医療系

医学医療系人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 4 月 26 日医学医療系部局細則第 3 号）

## 図書館情報メディア系

図書館情報メディア系の系長の候補者選考細則の一部を改正する部局細則（平成 29 年 7 月 19 日図書館情報メディア系部局細則第 1 号）

図書館情報メディア系における研究職員選考審査手続等に関する細則の一部を改正する部局細則（平成 30 年 2 月 21 日図書館情報メディア系部局細則第 1 号）

図書館情報メディア系運営委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 30 年 3 月 22 日図書館情報メディア系部局細則第 2 号）

図書館情報メディア系業績評価委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 30 年 3 月 22 日図書館情報メディア系部局細則第 3 号）

図書館情報メディア系年俸制教員評価実施委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 30 年 3 月 22 日図書館情報メディア系部局細則第 4 号）

春日エリアリスクマネジメント細則の一部を改正する部局細則（平成 30 年 3 月 22 日図書館情報メディア系部局細則第 5 号）

図書館情報メディア系における研究職員選考審査手続等に関する細則の一部を改正する部局細則（平成 30 年 3 月 22 日図書館情報メディア系部局細則第 6 号）

知的コミュニティ基盤研究センター細則を廃止する部局細則（平成 30 年 3 月 22 日図書館情報メディア系部局細則第 7 号）



## 全国共同教育研究施設

### 計算科学研究センター

筑波大学計算科学研究センター電子計算機システム等利用負担金の額及び負担方法を定める細則の一部を改正する部局細則（平成30年2月13日計算科学研究センター部局細則第1号）

筑波大学計算科学研究センター電子計算機システム等利用負担金の額及び負担方法を定める細則の一部を改正する部局細則（平成30年3月13日計算科学研究センター部局細則第2号）

筑波大学計算科学研究センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する部局細則（平成30年3月13日計算科学研究センター部局細則第3号）

### つくば機能植物イノベーション研究センター

つくば機能植物イノベーション研究センター細則（平成29年4月1日つくば機能植物イノベーション研究センター部局細則第1号）

### プラズマ研究センター

筑波大学プラズマ研究センター細則の一部を改正する部局細則（平成29年12月14日プラズマ研究センター部局細則第1号）

## 学内共同教育研究施設

### 北アフリカ研究センター

北アフリカ研究センター細則の一部を改正する部局細則（平成30年3月30日北アフリカ研究センター部局細則第1号）

### 学術情報メディアセンター

国立大学法人筑波大学情報環境機構学術情報メディアセンター電子計算機等利用料金に関する細則の一部を改正する部局細則（平成29年5月31日学術情報メディアセンター部局細則第2号）

国立大学法人筑波大学情報環境機構学術情報メディアセンター電子計算機等利用料金に関する細則の一部を改正する部局細則（平成30年2月21日学術情報メディアセンター部局細則第1号）

### 研究基盤総合センター

研究基盤総合センターオープンファシリティ推進室登録機器共同利用等に関する細則の一部を改正する部局細則（平成29年6月14日研究基盤総合センター部局細則第4号）

研究基盤総合センター利用負担金及び負担方法に関する細則及び筑波大学研究基盤総合センター応用加速器部門における学外利用者の施設利用に関する細則の一部を改正する部局細則（平成29年7月27日研究基盤総合センター部局細則第5号）

研究基盤総合センターオープンファシリティ推進室登録機器共同利用等に関する細則の一部を改正する部局細則（平成29年9月20日研究基盤総合センター部局細則第6号）

筑波大学研究基盤総合センターオープンファシリティ推進室登録機器共同利用等に関する細則の一部を改正する部局細則（平成29年12月19日研究基盤総合センター部局細則第7号）

筑波大学研究基盤総合センターオープンファシリティ推進室登録機器共同利用等に関する細則の一部を改正する部局細則（平成30年1月24日研究基盤総合センター部局細則第1号）

筑波大学研究基盤総合センターオープンファシリティ推進室登録機器共同利用等に関する細則の一部を改正する部局細則（平成30年3月19日研究基盤総合センター部局細則第2号）

研究基盤総合センター利用負担金及び負担方法に関する細則の一部を改正する部局細則（平成30年3月

19 日研究基盤総合センター一部局細則第 3 号)

研究基盤総合センターにおける大学連携研究設備ネットワーク登録設備の利用に関する細則の一部を改正する部局細則 (平成 30 年 3 月 19 日研究基盤総合センター一部局細則第 4 号)

#### **サイバニクス研究センター**

サイバニクス研究センター細則の一部を改正する部局細則 (平成 29 年 10 月 1 日サイバニクス研究センター一部局細則第 1 号)

#### **人工知能科学センター**

人工知能科学センターの組織及び運営に関する細則 (平成 29 年 5 月 25 日人工知能科学センター一部局細則第 1 号)

#### **保健管理センター**

国立大学法人筑波大学保健管理センター細則の一部を改正する部局細則 (平成 30 年 3 月 20 日保健管理センター一部局細則第 1 号)

### **部局附属教育研究施設**

#### **宇宙史研究センター**

国立大学法人筑波大学宇宙史研究センター細則 (平成 29 年 10 月 13 日数理物質系部局細則第 4 号)

#### **エネルギー物質科学研究センター**

国立大学法人筑波大学エネルギー物質科学研究センター細則 (平成 29 年 10 月 13 日数理物質系部局細則第 5 号)

国立大学法人筑波大学エネルギー物質科学研究センター細則の一部を改正する部局細則 (平成 29 年 11 月 17 日数理物質系部局細則第 13 号)

#### **山岳科学センター (菅平高原実験センター)**

菅平高原実験センター細則等を廃止する部局細則 (平成 29 年 4 月 12 日生命環境系部局細則第 3 号)

山岳科学センター細則 (平成 29 年 4 月 12 日生命環境系部局細則第 4 号)

#### **教育開発国際協力研究センター**

教育開発国際協力研究センター細則の一部を改正する部局細則 (平成 29 年 5 月 25 日人間系部局細則第 3 号)

#### **生命科学動物資源センター**

生命科学動物資源センター遺伝子改変マウス作製等受託細則の一部を改正する部局細則 (平成 29 年 9 月 27 日医学医療系部局細則第 4 号)

### **附属図書館**

筑波大学附属図書館利用細則の一部を改正する部局細則 (平成 30 年 2 月 23 日附属図書館部局細則第 1 号)

### **つくば臨床医学研究開発機構**

つくば臨床医学研究開発機構の組織及び運営に関する細則の一部を改正する部局細則 (平成 29 年 4 月 1 日つくば臨床医学研究開発機構部局細則第 2 号)

## 開発研究センター

### 藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター

藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター細則の一部を改正する部局細則（平成 30 年 3 月 30 日藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター部局細則第 1 号）

国立大学法人筑波大学藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センターにおける利用負担金の額及び負担方法を定める細則（平成 30 年 3 月 30 日藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター部局細則第 2 号）

### プレジジョン・メディシン開発研究センター

プレジジョン・メディシン開発研究センター細則（平成 30 年 3 月 13 日プレジジョン・メディシン開発研究センター部局細則第 1 号）

### ヘルスサービス開発研究センター

ヘルスサービス開発研究センター細則（平成 29 年 12 月 19 日ヘルスサービス開発研究センター部局細則第 1 号）

#### (4) 主要行事

入学式	学群(理療科教員養成施設を含む), 大学院	4月7日(金)
	学群(秋学期入学), 大学院(秋学期入学)	9月29日(金)
新入生オリエンテーション	学群(4月入学)	4月7日(金)～12日(水)
	大学院	4月7日(金), 10日(月)
	私費外国人研究生(4月入学)	4月6日(木)
	国費外国人留学生(4月入学)	4月6日(木)
	私費外国人研究生(10月入学)	9月28日(木)
	国費外国人留学生(10月入学)	9月28日(木)
	私費外国人研究生(12月入学)	12月4日(月)
スポーツ・デー	春季	5月13日(土), 14日(日)
	秋季	11月18日(土), 19日(日)

#### 入学試験等(学群)

##### ・受験生のための筑波大学説明会

人文・文化学群(人文学類), 人間学群(教育学類, 心理学類, 障害科学類), 生命環境学群(生物学類), 理工学群(工学システム学類), 情報学群(知識情報・図書館学類), 医学群(医学類), 芸術専門学群  
..... 8月5日(土)

人文・文化学群(比較文化学類), 社会・国際学群(社会学類, 国際総合学類), 生命環境学群(生物資源学類), 理工学群(数学類, 物理学類, 化学類, 社会工学類), 情報学群(情報メディア創成学類), 医学群(医療科学類)..... 8月6日(日)

人文・文化学群(日本語・日本文化学類), 生命環境学群(地球学類), 理工学群(応用理工学類), 情報学群(情報科学類), 医学群(看護学類), 体育専門学群..... 8月11日(金・祝)

・平成29年度 Japan-Expert (学士) プログラム特別入試 (10月入学) ..... 5月15日(月)～19日(金)

・平成29年度地球規模課題学位プログラム(学士)入試(10月入学) ..... 5月15日(月)～19日(金)

・平成29年度帰国生徒特別入試(10月入学) ..... 7月15日(土)

・平成30年度学群編入学試験..... 7月15日(土), 16日(日)

・平成30年度アドミッションセンター入試

第1次選考合格発表..... 9月20日(水)

第2次選考..... 10月2日(月)～16日(月)

・平成30年度国際科学オリンピック特別入試..... 10月2日(月)～16日(月)

第1次選考合格発表(生物学類のみ)..... 9月20日(水)

第2次選考( )..... 10月11日(水)

・平成30年度国際バカロレア特別入試

第1次選考合格発表..... 9月20日(水)

第2次選考..... 10月2日(月)～16日(月)

- ・平成30年度海外教育プログラム特別入試
  - 第1次選考合格発表…………… 9月20日(水)
  - 第2次選考…………… 10月2日(月)～16日(月)
- ・平成30年度推薦入試…………… 11月29日(水), 30日(木)
  - 第1段階選抜合格発表
    - [障害科学類(障害者特別入試)のみ]…………… 11月14日(火)
    - 第2段階選抜〔 〃 〕…………… 11月29日(水)
- ・平成30年度帰国生徒特別入試(体育専門学群・芸術専門学群)
  - …………… 11月29日(水), 30日(木)
- ・平成30年度大学入試センター試験…………… 1月13日(土), 14日(日)
- ・平成30年度私費外国人留学生特別コース入試(9月入学)
  - 第1次選考発表…………… 2月7日(水)
  - 第2次選考…………… 2月27日(火)～3月9日(金)
  - [編入学]…………… 2月19日(月)～3月9日(金)
- ・平成30年度学群編入学試験(社会学類)…………… 2月25日(日), 26日(月)
- ・平成30年度私費外国人留学生入試…………… 2月25日(日), 26日(月)
  - 第1段階選抜合格発表(医学類のみ)…………… 2月7日(水)
  - 第2段階選抜( 〃 )…………… 2月25日(日)
- ・平成30年度個別学力検査等
  - 第1段階選抜発表 前期日程…………… 2月7日(水)
  - 後期日程…………… 2月27日(火)
  - 第2段階選抜 前期日程…………… 2月25日(日), 26日(月)
  - 後期日程…………… 3月12日(月)

#### 入学試験(大学院)

##### ○平成30年度修士課程入学試験

- ・教育研究科(スクールリーダーシップ開発専攻, 教科教育専攻)…………… 10月17日(火), 18日(水)
- ・教育研究科(教育学(国際教育)修士プログラム)…………… 10月28日(土)
- ・教育研究科(教科教育専攻)2次募集…………… 2月1日(木)

##### ○平成30年度博士課程入学試験

- ・数理物質科学研究科(博士前期課程), システム情報工学研究科(博士前期課程), 生命環境科学研究科(地球科学専攻), 人間総合科学研究科(障害科学専攻(博士前期課程), 体育学専攻), 図書館情報メディア研究科(博士前期課程)推薦…………… 7月4日(火)
- ・システム情報工学研究科(博士後期課程)内部進学…………… 7月4日(火)
- ・人文社会科学研究科(哲学・思想専攻, 文芸・言語専攻, 国際公共政策専攻(博士前期課程), 国際日本研究専攻(博士後期課程))推薦…………… 7月5日(水)
- ・人間総合科学研究科(ヒューマン・ケア科学専攻)内部進学…………… 7月5日(水)
- ・人間総合科学研究科(スポーツ健康システム・マネジメント専攻)推薦…………… 7月15日(土)

- ・システム情報工学研究科（リスク工学専攻（博士後期課程））東京会場…………… 8月19日（土）
- ・グローバル教育院（ライフイノベーション学位プログラム）…………… 8月22日（火）～24日（木）
- ・人間総合科学研究科（看護科学専攻（博士後期課程），生命システム医学専攻，疾患制御医学専攻，ヒューマン・ケア科学専攻，スポーツ医学専攻）…………… 8月22日（火）
- ・人間総合科学研究科（看護科学専攻（博士前期課程））…………… 8月22日（火），23日（水）
- ・数理物質科学研究科（博士前期課程，物質・材料工学専攻），システム情報工学研究科（構造エネルギー工学専攻（博士前期課程）），生命環境科学研究科（地球科学専攻，生物科学専攻（博士前期課程），環境バイオマス共生学専攻），人間総合科学研究科（心理専攻，感性認知脳科学専攻（博士前期課程））…………… 8月23日（水），24日（木）
- ・システム情報工学研究科（知能機能システム専攻（博士前期課程））…………… 8月23日（水），24日（木），25日（金）
- ・システム情報工学研究科（博士後期課程），生命環境科学研究科（環境科学専攻，地球進化科学専攻，国際地縁技術開発科学専攻，生物圏資源科学専攻，生物機能科学専攻，生命産業科学専攻，持続環境学専攻，先端農業技術科学専攻），人間総合科学研究科（フロンティア医科学専攻）…………… 8月23日（水）
- ・システム情報工学研究科（社会工学専攻（博士前期課程），コンピュータサイエンス専攻（博士前期課程））…………… 8月24日（木），25日（金）
- ・システム情報工学研究科（リスク工学専攻（博士前期課程）），生命環境科学研究科（生物資源科学専攻，生物科学専攻（博士後期課程）），人間総合科学研究科（感性認知脳科学専攻（博士後期課程））…………… 8月24日（木）
- ・数理物質科学研究科（博士後期課程）…………… 8月25日（金）
- ・人間総合科学研究科（生涯発達専攻）…………… 8月26日（土），27日（日）
- ・図書館情報メディア研究科（博士前期課程）…………… 8月28日（月），29日（火）
- ・図書館情報メディア研究科（博士後期課程），グローバル教育院（ヒューマンバイオロジー学位プログラム）…………… 8月29日（火），30日（水）
- ・人間総合科学研究科（スポーツ健康システム・マネジメント専攻）…………… 9月2日（土）
- ・ビジネス科学研究科（企業法学専攻，企業科学専攻）…………… 9月3日（日）
- ・人間総合科学研究科（スポーツ国際開発学共同専攻）…………… 9月23日（土）
- ・人間総合科学研究科（大学体育スポーツ高度化共同専攻）…………… 9月24日（日）
- ・人間総合科学研究科（体育学専攻）…………… 10月12日（木）
- ・人間総合科学研究科（教育学専攻，障害科学専攻（博士前期課程），芸術専攻（博士前期課程），世界遺産専攻）…………… 10月12日（木），13日（金）
- ・人間総合科学研究科（教育基礎学専攻，学校教育学専攻）…………… 10月16日（月）
- ・人間総合科学研究科（心理学専攻）内部進学…………… 10月18日（水）
- ・人文社会科学研究科（歴史・人類学専攻，国際公共政策専攻（博士前期課程），国際日本研究専攻（博士後期課程））…………… 10月19日（木）

- ・人文社会科学研究科（国際地域研究専攻，現代語・現代文化専攻（博士前期課程），国際日本研究専攻（博士前期課程））…………… 10月19日（木），20日（金）
- ・グローバル教育院（エンパワーメント情報学プログラム）…………… 10月23日（月）～11月12日（日）
- ・人間総合科学研究科（スポーツウエルネス学位プログラム）…………… 11月11日（土）
- ・ビジネス科学研究科（経営システム科学専攻），人間総合科学研究科（生涯発達科学専攻）  
…………… 11月11日（土），12日（日）
- ・グローバル教育院（エンパワーメント情報学プログラム）…………… 12月5日（火）
- ・グローバル教育院（ライフイノベーション学位プログラム）…………… 1月15日（月）～17日（水）
- ・グローバル教育院（ヒューマンバイオロジー学位プログラム）…………… 1月23日（火），24日（水）
- ・システム情報工学研究科（リスク工学専攻（博士後期課程））東京会場…………… 1月27日（土）
- ・人文社会科学研究科（哲学・思想専攻，歴史・人類学専攻，国際公共政策専攻（博士後期課程），国際日本研究専攻（博士後期課程）），人間総合科学研究科（障害科学専攻（博士前期課程））  
…………… 1月30日（火）
- ・人文社会科学研究科（国際公共政策専攻（博士前期課程）），人間総合科学研究科（看護科学専攻（博士前期課程），生命システム医学専攻，疾患制御医学専攻，看護科学専攻（博士後期課程），スポーツ医学専攻）2次募集…………… 1月30日（火）
- ・人文社会科学研究科（哲学・思想専攻，歴史・人類学専攻）第3年次編入学…………… 1月30日（火）
- ・人文社会科学研究科（文芸・言語専攻，現代語・現代文化専攻（博士前期課程），現代語・現代文化専攻（博士後期課程），国際日本研究専攻（博士前期課程）），数理物質科学研究科（電子・物理工学専攻（博士前期課程），物性・分子工学専攻（博士前期課程），物質・材料工学専攻），人間総合科学研究科（教育学専攻，心理学専攻）…………… 1月30日（火），1月31日（水）
- ・数理物質科学研究科（数学専攻（博士前期課程），物理学専攻（博士前期課程），化学専攻（博士前期課程）），人間総合科学研究科（心理専攻）2次募集…………… 1月30日（火），1月31日（水）
- ・人文社会科学研究科（文芸・言語専攻）第3年次編入学…………… 1月30日（火），1月31日（水）
- ・数理物質科学研究科（数学専攻（博士後期課程），物理学専攻（博士後期課程），電子・物理工学専攻（博士後期課程），物性・分子工学専攻（博士後期課程）），生命環境科学研究科（環境科学専攻，持続環境学専攻），人間総合科学研究科（障害科学専攻（博士後期課程））…………… 1月31日（水）
- ・数理物質科学研究科（化学専攻（博士後期課程），ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻（博士後期課程）），生命環境科学研究科（国際地縁技術開発科学専攻，生物圏資源科学専攻，生物機能科学専攻，生命産業科学専攻，先端農業技術科学専攻），人間総合科学研究科（フロンティア医科学専攻）2次募集…………… 1月31日（水）
- ・生命環境科学研究科（地球科学専攻，環境バイオマス共生学専攻）2次募集  
…………… 1月31日（水），2月1日（木）
- ・生命環境科学研究科（環境バイオマス共生学専攻）第3年次編入学  
…………… 1月31日（水），2月1日（木）
- ・システム情報工学研究科（リスク工学専攻（博士前期課程），社会工学専攻（博士後期課程），知能

機能システム専攻（博士後期課程），構造エネルギー工学専攻（博士後期課程），生命環境科学研究科（地球環境科学専攻，地球進化科学専攻，生物科学専攻（博士後期課程）），人間総合科学研究科（教育基礎学専攻，芸術専攻（博士後期課程），世界文化遺産学専攻，コーチング学専攻），図書館情報メディア研究科（博士前期課程），グローバル教育院（エンパワーメント情報学プログラム）

..... 2月 1日（木）

・生命環境科学研究科（生物科学専攻（博士前期課程），生物資源科学専攻），人間総合科学研究科（ヒューマン・ケア科学専攻）2次募集..... 2月 1日（木）

・システム情報工学研究科（社会工学専攻（博士前期課程），コンピュータサイエンス専攻（博士前期課程），知能機能システム専攻（博士前期課程）..... 2月 1日（木），2日（金）

・人間総合科学研究科（感性認知脳科学専攻（博士前期課程））2次募集..... 2月 1日（木），2日（金）

・システム情報工学研究科（構造エネルギー工学専攻（博士前期課程），リスク工学専攻（博士後期課程），コンピュータサイエンス専攻（博士後期課程）），人間総合科学研究科（体育科学専攻），図書館情報メディア研究科（博士後期課程）..... 2月 2日（金）

・人間総合科学研究科（感性認知脳科学専攻（博士後期課程））2次募集..... 2月 2日（金）

・人間総合科学研究科（スポーツ国際開発学共同専攻，大学体育スポーツ高度化共同専攻）2次募集..... 2月 3日（土）

・ビジネス科学研究科（企業法学専攻，企業科学専攻）2次募集..... 2月 4日（日）

○平成30年度専門職学位課程入学試験

・ビジネス科学研究科（法曹専攻）..... 9月17日（日），24日（日），10月22日（日）

・ビジネス科学研究科（国際経営プロフェッショナル専攻）..... 11月11日（土），12日（日）

永年勤続者（20年）表彰式..... 10月10日（水）

永年勤続者（退職時）表彰式..... 3月30日（金）

名誉教授称号授与式..... 6月16日（金）

学園祭（雙峰祭）..... 11月 3日（金・祝）～ 5日（日）

卒業式・学位記授与式

学群・大学院（7月期）..... 7月25日（火）

学群・大学院（9月期）..... 9月25日（月）

大学院（3月期）..... 3月23日（金）

学群（理療科教員養成施設を含む）..... 3月23日（金）



## (5) 役員・役職教員名簿

平成30年3月1日現在

役 職 名	氏 名	任 期
学長	永田 恭介	27. 4. 1～31. 3. 31
副学長（教育担当）	清水 諭	29. 4. 1～30. 3. 31
副学長（研究担当）	木越 英夫	29. 4. 1～30. 3. 31
副学長・理事（産学連携担当）	金保 安則	29. 4. 1～30. 3. 31
副学長（学生担当）	玉川 信一	29. 4. 1～30. 3. 31
副学長・理事（国際担当）	BENTON Caroline F.	29. 4. 1～30. 3. 31
副学長・理事（財務・施設担当）	石野 利和	29. 4. 1～30. 3. 31
副学長・理事（総務・人事担当）	稲垣 敏之	29. 4. 1～30. 3. 31
副学長（学術情報担当）・附属図書館長	西川 博昭	29. 4. 1～30. 3. 31
副学長・理事（医療担当）・附属病院長	松村 明	29. 4. 1～30. 3. 31
副学長・理事・附属学校教育局教育長	宮本 信也	29. 4. 1～30. 3. 31
理事（非常勤）	浅島 誠	29. 4. 1～30. 3. 31
監事	佐藤 総一郎	28. 4. 1～32. 8. 31
監事（非常勤）	井原 宏	28. 4. 1～32. 8. 31
大学執行役員（大学戦略・企画評価担当）	徳永 保	29. 4. 1～30. 3. 31
大学執行役員（DACセンター担当）	五十嵐 浩也	29. 4. 1～30. 3. 31
大学執行役員	遅野井 茂雄	29. 4. 1～30. 3. 31
大学執行役員	弥永 真生	29. 4. 1～30. 3. 31
大学執行役員	伊藤 雅英	29. 4. 1～30. 3. 31
大学執行役員	阿部 豊	29. 4. 1～30. 3. 31
大学執行役員	松本 宏	29. 4. 1～30. 3. 31
大学執行役員	茂呂 雄二	29. 4. 1～30. 3. 31
大学執行役員	中川 昭	29. 4. 1～30. 3. 31
大学執行役員	山中 敏正	29. 4. 1～30. 3. 31
大学執行役員	原 晃	29. 4. 1～30. 3. 31
大学執行役員	松本 紳	29. 4. 1～30. 3. 31
学長特別補佐	辻中 豊	29. 4. 1～30. 3. 31
学長特別補佐	馬場 忠	29. 4. 1～30. 3. 31
学長特別補佐	庄司 一子	29. 4. 1～30. 3. 31
学長特別補佐（非常勤）	河野 一郎	29. 4. 1～30. 3. 31
学長特別補佐（非常勤）	吉岡 高志	29. 4. 1～30. 3. 31
学長補佐室長	池田 潤	29. 4. 1～30. 3. 31

役 職 名	氏 名	任 期
-------	-----	-----

(系長)

人文社会系長	遅野井 茂雄	27. 4. 1～30. 3. 31
ビジネスサイエンス系長	弥永 真生	27. 4. 1～30. 3. 31
数理物質系長	伊藤 雅英	27. 4. 1～30. 3. 31
システム情報系長	阿部 豊	27. 4. 1～30. 3. 31
生命環境系長	松本 宏	27. 4. 1～30. 3. 31
人間系長	茂呂 雄二	27. 4. 1～30. 3. 31
体育系長	中川 昭	27. 4. 1～30. 3. 31
芸術系長	山中 敏正	27. 4. 1～30. 3. 31
医学医療系長	原 晃	27. 4. 1～30. 3. 31
図書館情報メディア系長	松本 紳	27. 4. 1～30. 3. 31

(博士課程研究科長)

人文社会科学研究科長	山田 博志	28. 4. 1～30. 3. 31
ビジネス科学研究科長	西尾 チヅル	28. 4. 1～30. 3. 31
数理物質科学研究科長	鈴木 博章	28. 4. 1～30. 3. 31
システム情報工学研究科長	北川 博之	28. 4. 1～30. 3. 31
生命環境科学研究科長	沼田 治	28. 4. 1～30. 3. 31
人間総合科学研究科長	園山 繁樹	28. 4. 1～30. 3. 31
図書館情報メディア研究科長	溝上 智恵子	28. 4. 1～30. 3. 31

(専攻長)

<b>人文社会科学研究科</b>		
哲学・思想専攻長（一貫制）	保呂 篤彦	29. 4. 1～31. 3. 31
歴史・人類学専攻長（一貫制）	伊藤 純郎	28. 4. 1～30. 3. 31
文芸・言語専攻長（一貫制）	杉本 武	29. 4. 1～31. 3. 31
現代語・現代文化専攻長（区分制）	畔上 泰治	29. 4. 1～31. 3. 31
国際公共政策専攻長（区分制）	竹中 佳彦	28. 4. 1～30. 3. 31
経済学専攻長（区分制）	平沢 照雄	29. 4. 1～31. 3. 31
法学専攻長（区分制）	根本 信義	29. 4. 1～31. 3. 31
国際地域研究専攻長（修士）	首藤 素子	28. 4. 1～30. 3. 31
国際日本研究専攻長（前期）	平山 朝治	29. 4. 1～31. 3. 31
国際日本研究専攻長（後期）	辻中 豊	29. 4. 1～31. 3. 31
<b>ビジネス科学研究科</b>		
経営システム科学専攻長（前期）	佐藤 忠彦	29. 4. 1～31. 3. 31
企業法学専攻長（前期）	本田 光宏	29. 4. 1～31. 3. 31
企業科学専攻長（後期）	徳本 穰	28. 4. 1～30. 3. 31
法曹専攻長（専門職学位課程）	森田 憲右	29. 4. 1～31. 3. 31
国際経営プロフェッショナル専攻長（専門職学位課程）	徐 驥	28. 4. 1～30. 3. 31
<b>数理物質科学研究科</b>		
数学専攻長（区分制）	加藤 久男	28. 4. 1～30. 3. 31
物理学専攻長（区分制）	守友 浩	28. 4. 1～30. 3. 31
化学専攻長（区分制）	山本 泰彦	29. 4. 1～31. 3. 31
ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻長（後期）	黒田 眞司	29. 4. 1～31. 3. 31
電子・物理工学専攻長（区分制）	佐々木 正洋	29. 4. 1～31. 3. 31
物性・分子工学専攻長（区分制）	日野 健一	29. 4. 1～31. 3. 31
物質・材料工学専攻長（3年制博士課程）	武田 良彦	29. 4. 1～31. 3. 31

役 職 名	氏 名	任 期
<b>システム情報工学研究科</b>		
社会工学専攻長（区分制）	吉瀬 章子	29. 4. 1～31. 3. 31
リスク工学専攻長（区分制）	遠藤 靖典	29. 4. 1～31. 3. 31
コンピュータサイエンス専攻長（区分制）	加藤 和彦	29. 4. 1～31. 3. 31
知能機能システム専攻長（区分制）	森田 昌彦	28. 4. 1～30. 3. 31
構造エネルギー工学専攻長（区分制）	武若 聡	29. 4. 1～31. 3. 31
社会システム・マネジメント専攻長（後期）	吉瀬 章子	29. 4. 1～31. 3. 31
<b>生命環境科学研究科</b>		
地球科学専攻長（前期）	角替 敏昭	29. 4. 1～31. 3. 31
生物科学専攻長（前期）	橋本 哲男	28. 4. 1～30. 3. 31
生物資源科学専攻長（前期）	山岡 裕一	28. 4. 1～30. 3. 31
環境科学専攻長（前期）	濱 健夫	28. 4. 1～30. 3. 31
国際連携持続環境科学専攻長（前期）	辻村 真貴	29. 9. 1～31. 3. 31
地球環境科学専攻長（後期）	浅沼 順	29. 4. 1～31. 3. 31
地球進化科学専攻長（後期）	角替 敏昭	28. 4. 1～30. 3. 31
生物科学専攻長（後期）	中田 和人	29. 4. 1～31. 3. 31
環境バイオマス共生学専攻長（一貫制）	鈴木 石根	28. 4. 1～30. 3. 31
国際地縁技術開発科学専攻長（後期）	松下 秀介	29. 4. 1～31. 3. 31
生物圏資源科学専攻長（後期）	大澤 良	28. 4. 1～30. 3. 31
生物機能科学専攻長（後期）	田中 俊之	28. 4. 1～30. 3. 31
生命産業科学専攻長（後期）	中村 幸治	29. 4. 1～31. 3. 31
持続環境学専攻長（後期）	辻村 真貴	29. 4. 1～31. 3. 31
先端農業技術科学専攻長（3年制博士課程）	三森 眞琴	29. 4. 1～31. 3. 31
生命共存科学専攻長（一貫制）	鈴木 石根	28. 4. 1～30. 3. 31
<b>人間総合科学研究科</b>		
スポーツ健康システム・マネジメント専攻長（修士）	水上 勝義	28. 4. 1～30. 3. 31
スポーツ国際開発学共同専攻長（修士）	本田 靖	29. 4. 1～31. 3. 31
フロンティア医科学専攻長（修士）	久武 幸司	28. 4. 1～30. 3. 31
教育学専攻長（前期）	濱田 博文	28. 4. 1～30. 3. 31
教育基礎学専攻長（後期）	濱田 博文	28. 4. 1～30. 3. 31
学校教育学専攻長（後期）	片平 克弘	29. 4. 1～31. 3. 31
心理専攻長（前期）	原田 悦子	29. 4. 1～31. 3. 31
心理学専攻長（後期）	櫻井 茂男	29. 4. 1～31. 3. 31
障害科学専攻長（区分制）	野呂 文行	28. 4. 1～30. 3. 31
生涯発達専攻長（前期）	小澤 温	28. 4. 1～30. 3. 31
生涯発達科学専攻長（後期）	藤生 英行	28. 4. 1～30. 3. 31
ヒューマン・ケア科学専攻長（3年制博士課程）	庄司 一子	29. 4. 1～31. 3. 31
感性認知脳科学専攻長（区分制）	小川 園子	28. 4. 1～30. 3. 31
スポーツ医学専攻長（3年制博士課程）	徳山 薫平	28. 4. 1～30. 3. 31
大学体育スポーツ高度化共同専攻長（3年制博士課程）	高木 英樹	28. 4. 1～30. 3. 31
国際連携食料健康科学専攻長（修士）	熊谷 嘉人	29. 9. 1～31. 8. 31
生命システム医学専攻長（一貫制・医学4年）	土屋 尚之	28. 4. 1～30. 3. 31
疾患制御医学専攻長（一貫制・医学4年）	千葉 滋	28. 4. 1～30. 3. 31
看護科学専攻長（前期）	水野 道代	28. 4. 1～30. 3. 31
看護科学専攻長（後期）	水野 道代	28. 4. 1～30. 3. 31
体育学専攻長（前期）	内山 治樹	28. 4. 1～30. 3. 31
体育科学専攻長（後期）	西保 岳	28. 4. 1～30. 3. 31
コーチング学専攻長（3年制博士課程）	會田 宏	28. 4. 1～30. 3. 31

役 職 名	氏 名	任 期
芸術専攻長（前期）	太田 圭	28. 4. 1～30. 3. 31
芸術専攻長（後期）	長田 年弘	29. 4. 1～31. 3. 31
世界遺産専攻長（前期）	吉田 正人	28. 4. 1～30. 3. 31
世界文化遺産学専攻長（後期）	吉田 正人	28. 4. 1～30. 3. 31
<b>図書館情報メディア研究科</b> 図書館情報メディア専攻長（区分制）	佐藤 哲司	28. 4. 1～30. 3. 31

（修士課程研究科長）

教育研究科長	清水 美憲	28. 4. 1～30. 3. 31
--------	-------	--------------------

（学位プログラムリーダー）

ヒューマンバイオロジー学位プログラムリーダー	澁谷 彰	28. 4. 1～30. 3. 31
エンパワーメント情報学プログラムリーダー	岩田 洋夫	28. 4. 1～30. 3. 31
ライフイノベーション学位プログラムリーダー	磯田 博子	29. 4. 1～31. 3. 31
サービス工学学位プログラムリーダー	渡邊 俊	29. 4. 1～31. 3. 31
地球規模課題学位プログラムリーダー	青木 三郎	29. 4. 1～31. 3. 31

（学群長）

人文・文化学群長	山中 弘	28. 4. 1～30. 3. 31
社会・国際学群長	根本 信義	28. 4. 1～30. 3. 31
人間学群長	吉田 武男	28. 4. 1～30. 3. 31
生命環境学群長	荒川 洋二	28. 4. 1～30. 3. 31
理工学群長	佐野 伸行	28. 4. 1～30. 3. 31
情報学群長	長谷川 秀彦	28. 4. 1～30. 3. 31
医学群長	榊 正幸	28. 4. 1～30. 3. 31
体育専門学群長	真田 久	28. 4. 1～30. 3. 31
芸術専門学群長	中村 伸夫	28. 4. 1～30. 3. 31

（副学群長）

理工学群副学群長	初貝 安弘	28. 4. 1～30. 3. 31
----------	-------	--------------------

（学類長）

<b>人文・文化学群</b>		
人文学類長	大倉 浩	28. 4. 1～30. 3. 31
比較文化学類長	徳丸 亜木	28. 4. 1～30. 3. 31
日本語・日本文化学類長	竹沢 幸一	28. 4. 1～30. 3. 31
<b>社会・国際学群</b>		
社会学類長	土井 隆義	28. 4. 1～30. 3. 31
国際総合学類長	関根 久雄	28. 4. 1～30. 3. 31
<b>人間学群</b>		
教育学類長	藤井 穂高	28. 4. 1～30. 3. 31
心理学類長	綾部 早穂	28. 4. 1～30. 3. 31
障害科学類長	鄭 仁豪	28. 4. 1～30. 3. 31

役 職 名	氏 名	任 期
<b>生命環境学群</b>		
生物学類長	千葉 智樹	28. 4. 1～30. 3. 31
生物資源学類長	北村 豊	28. 4. 1～30. 3. 31
地球学類長	松井 圭介	28. 4. 1～30. 3. 31
<b>理工学群</b>		
数学類長	竹内 潔	29. 4. 1～30. 3. 31
物理学類長	小澤 顕	28. 4. 1～30. 3. 31
化学類長	石橋 孝章	28. 4. 1～30. 3. 31
応用理工学類長	藤田 淳一	28. 4. 1～30. 3. 31
工学システム学類長	河井 昌道	28. 4. 1～30. 3. 31
社会工学類長	秋山 英三	28. 4. 1～30. 3. 31
<b>情報学群</b>		
情報科学類長	大矢 晃久	28. 4. 1～30. 3. 31
情報メディア創成学類長	平賀 譲	28. 4. 1～30. 3. 31
知識情報・図書館学類長	歳森 敦	28. 4. 1～30. 3. 31
<b>医学群</b>		
医学類長	田中 誠	28. 4. 1～30. 3. 31
看護学類長	森 千鶴	28. 4. 1～30. 3. 31
医療科学類長	二宮 治彦	28. 4. 1～30. 3. 31

(グローバル教育院)

グローバル教育院長	清水 諭	29. 4. 1～30. 3. 31
-----------	------	--------------------

(グローバル・コモنز機構)

グローバル・コモنز機構長	BENTON Caroline F.	29. 4. 1～30. 3. 31
---------------	--------------------	--------------------

(アーカイブズ)

アーカイブズ館長	中野目 徹	28. 4. 1～30. 3. 31
----------	-------	--------------------

(国際統合睡眠医科学研究機構)

国際統合睡眠医科学研究機構長	柳沢 正史	24.12. 1～
----------------	-------	-----------

(全国共同教育研究施設の長)

計算科学研究センター長	梅村 雅之	29. 4. 1～31. 3. 31
下田臨海実験センター長	稲葉 一男	28. 4. 1～30. 3. 31
つくば機能植物イノベーション研究センター長	江面 浩	29. 4. 1～30. 3. 31
プラズマ研究センター長	中嶋 洋輔	29. 4. 1～31. 3. 31

役 職 名	氏 名	任 期
-------	-----	-----

(学内共同教育研究施設の長)

生命領域学際研究センター長	花岡 文雄	29. 4. 1～30. 3. 31
グローバルコミュニケーション教育センター長	磐崎 弘貞	28. 4. 1～30. 3. 31
体育センター長	山田 幸雄	29. 4. 1～31. 3. 31
アドミッションセンター長	島田 康行	28. 4. 1～30. 3. 31
北アフリカ研究センター長	中嶋 光敏	29. 4. 1～30. 3. 31
学術情報メディアセンター長	亀山 啓輔	28. 4. 1～30. 3. 31
研究基盤総合センター長	河井 昌道	29. 4. 1～31. 3. 31
サイバニクス研究センター長	鈴木 健嗣	29.10. 1～31. 3. 31
アイソトープ環境動態研究センター長	恩田 裕一	29. 4. 1～31. 3. 31
人工知能科学センター長	櫻井 鉄也	29. 4. 1～30. 3. 31
保健管理センター所長	太刀川 弘和	28. 4. 1～30. 3. 31

(部局附属教育研究施設の長)

大学研究センター長	徳永 保	29. 4. 1～30. 3. 31
宇宙史研究センター長	金谷 和至	29.10. 1～31. 3. 31
エネルギー物質科学研究センター長	鍋島 達弥	29.10. 1～31. 3. 31
山岳科学センター長	石田 健一郎	29. 4. 1～31. 3. 31
教育開発国際協力研究センター長	磯田 正美	28. 4. 1～30. 3. 31
ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター長	征矢 英昭	29. 4. 1～31. 3. 31
生命科学動物資源センター長	杉山 文博	29. 4. 1～31. 3. 31
トランスボーダー医学研究センター長	高橋 智	29. 4. 1～31. 3. 31
知的コミュニティ基盤研究センター長	綿拔 豊昭	28. 4. 1～30. 3. 31
陽子線医学利用研究センター長	坪井 康次	28. 4. 1～30. 3. 31
つくばスポーツ医学・健康科学センター長	山崎 正志	29. 4. 1～31. 3. 31
特別支援教育研究センター長	岡 典子	29. 4. 1～31. 3. 31

(理療科教員養成施設長)

理療科教員養成施設長	宮本 俊和	28. 4. 1～30. 3. 31
------------	-------	--------------------

(附属学校長)

附属小学校長	甲斐 雄一郎	29. 4. 1～32. 3. 31
附属中学校長	野津 有司	29. 4. 1～32. 3. 31
附属駒場中学校長	林 久喜	29. 4. 1～32. 3. 31
附属高等学校長	大川 一郎	29. 4. 1～32. 3. 31
附属駒場高等学校長	林 久喜	29. 4. 1～32. 3. 31
附属坂戸高等学校長	田村 憲司	29. 4. 1～32. 3. 31
附属視覚特別支援学校長	柿澤 敏文	29. 4. 1～32. 3. 31
附属聴覚特別支援学校長	原島 恒夫	29. 4. 1～30. 3. 31
附属大塚特別支援学校長	柘植 雅義	29. 4. 1～32. 3. 31
附属桐が丘特別支援学校長	宇野 彰	29. 4. 1～31. 3. 31
附属久里浜特別支援学校長	下山 直人	29. 4. 1～31. 3. 31

## (6) 役員・教職員数

## ア 役員・教職員数総表

平成30年3月1日現在

職名 部局名	学長	理事・ 監事	副学長・ 系長	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	大学教 員計	研究員等	附属学校 教員	事務・ 技術・ 医療職員	合計
学長	1									0				1
理事・監事		9								0				9
副学長（理事でない）			4							4				4
本部（教員）				13	7		6			26				26
調整官										0				0
監査室										0			3	3
企画評価室										0			8	8
広報室										0			7	7
事業開発推進室										0			8	8
国際室										0			21	21
URA研究戦略推進室										0			12	12
総務部										0			83	83
財務部										0			69	69
施設部										0			42	42
教育推進部										0			73	73
学生部										0			58	58
研究推進部										0			75	75
産学連携部										0			47	47
学術情報部										0			82	82
人文社会系			1	94	87	4	37			223	6			229
人文社会エリア支援室										0			32	32
ビジネスサイエンス系			1	29	22	1	4		1	58				58
社会人大学院等支援室										0			17	17
数理物質系			1	67	66	29	51		1	215	17			232
数理物質エリア支援室										0			32	32
数理物質科学等技術室										0			11	11
システム情報系			1	70	76	6	46			199	12			211
システム情報エリア支援室										0			44	44
システム情報工学等技術室										0			14	14
生命環境系			1	82	75	16	71		8	253	18			271
生命環境エリア支援室										0			50	50
生命環境科学等技術室										0			23	23
人間系			1	51	33	5	15		9	114	5			119
人間エリア支援室										0			12	12
体育系			1	43	43	2	26		17	132	14			146
芸術系			1	24	19		13		1	58	3			61
体育芸術エリア支援室										0			40	40
医学医療系			1	115	101	173	89	1	2	482	13			495
医学医療エリア支援室										0			73	73
医学医療系技術室										0			38	38
図書館情報メディア系			1	23	20	5	12		1	62				62
図書館情報エリア支援室										0			20	20
利益相反・輸出管理マネジメント室										0			3	3
スポーツResearch&Developmentコア										0	7			7
サイバニクス研究センター										0	1			1
グローバル・コモンズ機構										0			15	15
国際統合睡眠医科学研究機構				6	8		14			28	24		23	75
農林技術センター技術室										0			14	14
研究基盤総合センター技術室										0			9	9
計算科学研究センター				14	9	3	11			37	26			63
下田臨海実験センター										0	0			0
生命領域学際研究センター				5		4	7			16	2			18
グローバルコミュニケーション教育センター										0	2			2
北アフリカ研究センター										0	2			2
アイソトープ環境動態研究センター										0	3		6	9
高繊精医療イノベーション研究コア										0	4			4
長期バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター										0	9			9
附属病院										0			1,063	1,063
病院総務部										0			159	159
附属学校教育局										0	1		60	61
附属学校										0		524		524
合計	1	9	14	636	566	248	402	1	40	1,907	169	524	2,346	4,956

イ 役員数

学長	理事	監事
1	7	2

ウ 大学教員異動状況

採用

	大学	研究所	企業	その他	総計
教授	6	2	3	3	14
准教授	13	4	0	1	18
講師	11	2	0	4	17
助教	32	5	0	16	53
特任助教	5	1	0	5	11
総計	67	14	3	29	113

退職

	大学	研究所	企業	定年	その他	総計
教授	14		0	32	13	59
准教授	21	1		5	10	37
講師	11				9	20
助教	23	10	1		24	58
特任助教	3	1			9	13
総計	72	12	1	37	65	187



## (7) 予算決算

## ア 貸借対照表

## 貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部			
I 固定資産			
1 有形固定資産			
土地		246,462,830	
建物	155,786,523		
建物減価償却累計額	△70,636,268		
建物減損損失累計額	△658,039	84,492,216	
構築物	11,579,353		
構築物減価償却累計額	△6,508,631		
構築物減損損失累計額	△16,683	5,054,039	
機械装置	112,576		
機械装置減価償却累計額	△95,947	16,629	
工具器具備品	56,794,964		
工具器具備品減価償却累計額	△45,836,123	10,958,841	
図書		10,237,306	
美術品・收藏品		905,065	
船舶	256,275		
船舶減価償却累計額	△160,149	96,125	
車両運搬具	147,086		
車両運搬具減価償却累計額	△129,187	17,899	
建設仮勘定		641,753	
その他の有形固定資産		6,924	
有形固定資産合計		358,889,627	
2 無形固定資産			
商標権		653	
特許権		212,069	
借地権		235,000	
電気施設利用権		24,205	
ソフトウェア		162,369	
電話加入権		8,549	
特許権仮勘定		174,903	
その他の仮勘定		168	
その他の無形固定資産		38,414	
無形固定資産合計		856,330	
3 投資その他の資産			
投資有価証券		2,700,654	
長期前払費用		5,040	
破産債権、再生債権、更生債権その他これらに準ずる債権	20,198		
貸倒引当金	△20,198	—	
長期未収附属病院収入	36,570		
徴収不能引当金	△36,570	—	
長期未収金	46,348		
貸倒引当金	△23,174	23,174	
その他の投資等		3,127	
投資その他の資産合計		2,731,995	
固定資産合計		362,477,953	
II 流動資産			
現金及び預金		16,983,409	
未収学生納付金収入		99,368	
未収附属病院収入	5,324,767		
徴収不能引当金	△15,452	5,309,315	
未収金	748,732		
貸倒引当金	△3,879	744,853	
たな卸資産		47,613	
医薬品及び診療材料		185,052	
前渡金		5,426	
前払費用		26,437	
未収収益		7,865	
その他の流動資産		201,941	
流動資産合計		23,611,278	
資産合計		386,089,231	

負債の部

I 固定負債

資産見返負債

資産見返運営費交付金等	10,802,268	
資産見返補助金等	2,659,402	
資産見返寄附金	3,274,211	
資産見返物品受贈額	8,485,357	
建設仮勘定見返運営費交付金	93,872	
建設仮勘定見返施設費	604,657	25,919,768

大学改革支援・学位授与機構債務負担金 543,592

長期借入金 6,589,725

長期リース債務 2,378,385

長期PFI債務 22,501,621

引当金

退職給付引当金 590,219

環境対策引当金 53,889 644,107

資産除去債務 244,146

その他の固定負債 46,268

固定負債合計 58,867,612

II 流動負債

運営費交付金債務 2,098,477

寄附金債務 4,400,865

前受受託研究費 512,955

前受共同研究費 888,648

前受受託事業費等 174,961

前受金 100,971

預り科学研究費補助金等 526,225

預り金 789,938

一年以内返済予定大学改革支援・学位授与機構債務負担金 247,868

一年以内返済予定長期借入金 4,034,063

リース債務 863,673

PFI債務 1,828,044

未払金 8,596,085

未払費用 179,707

未払消費税等 51,389

賞与引当金 588,495

流動負債合計 25,882,363

負債合計 84,749,974

純資産の部

I 資本金

政府出資金 231,333,303

資本金合計 231,333,303

II 資本剰余金

資本剰余金 128,642,121

損益外減価償却累計額(△) △62,456,427

損益外減損損失累計額(△) △647,445

損益外利息費用累計額(△) △23,634

資本剰余金合計 65,514,616

III 利益剰余金

前中期目標期間繰越積立金 2,556,696

教育研究環境等整備積立金 862,631

当期末処分利益 1,072,011

(うち当期総利益 1,072,011 )

利益剰余金合計 4,491,338

純資産合計 301,339,257

負債純資産合計 386,089,231

イ 損益計算書

損 益 計 算 書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位:千円)

経常費用			
業務費			
教育経費		6,743,324	
研究経費		6,771,315	
診療経費			
材料費	12,038,611		
委託費	3,600,809		
設備関係費	4,062,783		
研修費	50		
経費	986,819	20,689,073	
教育研究支援経費		2,193,428	
受託研究費		3,567,656	
共同研究費		1,126,488	
受託事業費等		1,233,424	
役員人件費		194,018	
教員人件費			
常勤教員給与	26,831,366		
非常勤教員給与	574,717	27,406,083	
職員人件費			
常勤職員給与	17,440,084		
非常勤職員給与	3,587,677	21,027,761	90,952,569
一般管理費			2,585,597
財務費用			
支払利息			567,836
雑損			36,599
			<hr/>
経常費用合計			<hr/> 94,142,601
経常収益			
運営費交付金収益		35,332,617	
授業料収益		8,013,804	
入学金収益		1,357,984	
検定料収益		308,851	
附属病院収益		32,475,429	
受託研究収益		4,156,264	
共同研究収益		1,253,027	
受託事業等収益		1,353,160	
施設費収益		89,015	
補助金等収益		2,319,673	
寄附金収益		2,163,823	
資産見返負債戻入			
資産見返運営費交付金等戻入	1,659,325		
資産見返補助金等戻入	1,102,118		
資産見返寄附金戻入	639,438		
資産見返物品受贈額戻入	7,281	3,408,162	
			<hr/>
財務収益			
受取利息	10,851		
有価証券利息	25,221		
為替差益	34	36,106	
			<hr/>

雑益			
公開講座収入	36,099		
財産貸付料収入	283,967		
学生寄宿舍収入	691,239		
職員宿舍料収入	145,182		
文献複写料収入	5,237		
研究関連収入	935,271		
その他の雑益	790,955	2,887,951	
經常収益合計			95,155,866
經常利益			1,013,265
臨時損失			
固定資産除却損		39,458	
損害賠償金		24,000	
その他の臨時損失		6,781	70,239
臨時利益			
資産見返運営費交付金等戻入		10,074	
資産見返寄附金戻入		19,955	
資産見返物品受贈額戻入		0	
資産見返補助金戻入		95	
その他の臨時利益		9,781	39,905
当期純利益			982,931
前中期目標期間繰越積立金取崩額			89,079
当期総利益			1,072,011

ウ 決算報告書

平成29事業年度 決算報告書

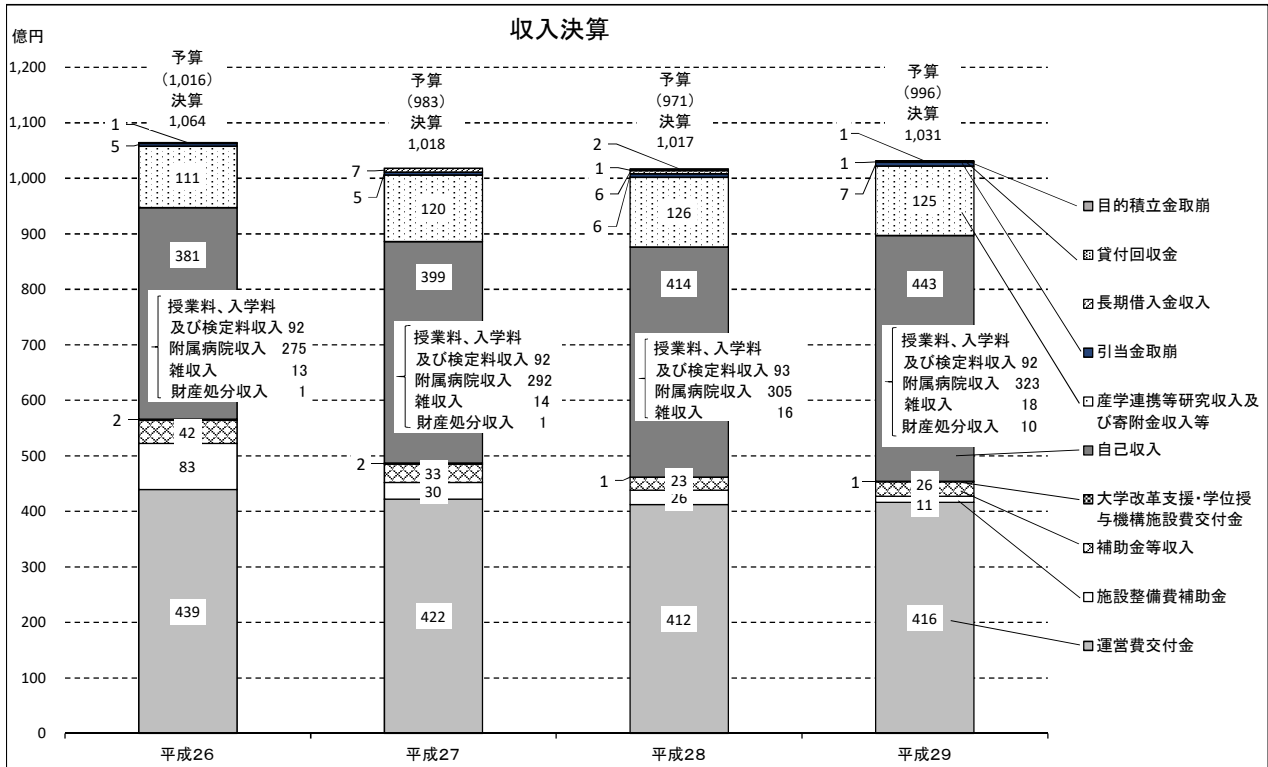
国立大学法人筑波大学

(単位：百万円)

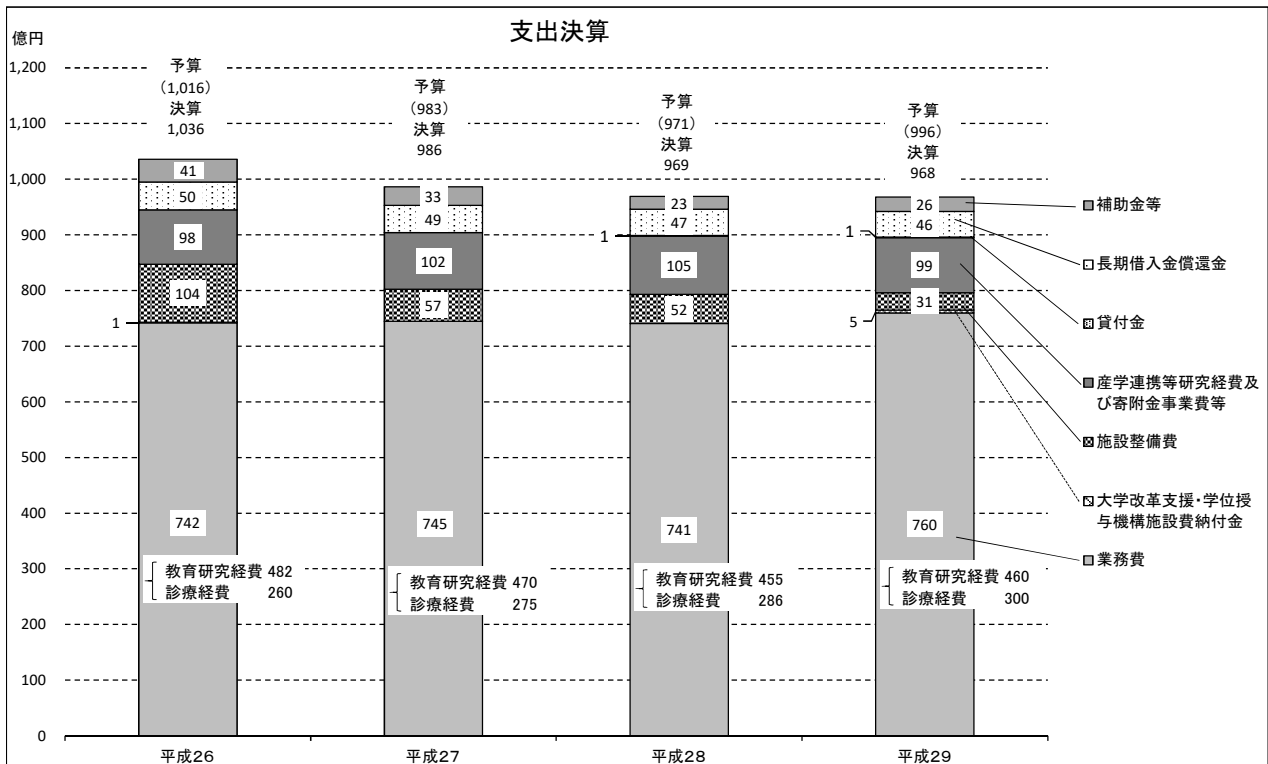
区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	40,618	41,616	998	(注1)
施設整備費補助金	2,023	1,156	△867	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	2,156	2,666	511	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	114	114	—	
自己収入	42,481	44,272	1,791	
授業料、入学料及び検定料収入	9,282	9,248	△34	(注4)
附属病院収入	30,671	32,264	1,592	(注5)
財産処分収入	620	951	331	(注6)
雑収入	1,907	1,809	△98	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	11,452	12,502	1,050	(注8)
引当金取崩	574	709	135	(注9)
長期借入金収入	108	—	△108	(注10)
貸付回収金	5	1	△4	(注11)
目的積立金取崩	70	89	19	(注12)
出資金	—	—	—	
計	99,600	103,124	3,524	
支 出				
業務費	76,885	76,009	△875	(注13)
教育研究経費	47,277	45,976	△1,300	
診療経費	29,608	30,033	425	
施設整備費	4,077	3,101	△975	(注14)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	2,156	2,666	511	(注15)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	11,452	9,924	△1,528	(注16)
貸付金	5	1	△4	(注17)
長期借入金償還金	4,716	4,649	△67	(注18)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	310	475	165	(注19)
出資金	—	—	—	
計	99,600	96,826	△2,775	
収入－支出	—	6,298	6,298	

- (注1) 運営費交付金については、追加配分による増加などの要因により、予算額に比して決算額が998百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、(小茂根(特附))校舎事業などが未完成となったため、予算額に比して決算額が867百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が511百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料免除額の拡充により、予算額に比して決算額が34百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、高度急性期医療の展開により、予算額に比して決算額が1,592百万円多額となっています。
- (注6) 財産処分収入については、並木3丁目職員宿舍跡地売却収入が予算段階の見込みより増額したため、予算額に比して決算額が331百万円多額となっています。
- (注7) 雑収入については、寄宿料収入及び著作権特許権収入などの減少により、予算額に比して決算額が98百万円少額となっています。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、積極的に資金の獲得に努めたことなどにより、予算額に比して決算額が1,050百万円多額となっています。
- (注9) 引当金取崩については、予算段階では予定していなかった退職手当引当金などの取崩を行ったため、予算額に比して決算額が135百万円多額となっています。
- (注10) 長期借入金収入については、事業計画の見直しにより、予算額に比して決算額が108百万円少額となっています。
- (注11) 貸付回収金については、学生などへの貸与が予算段階の見込みより減額したため、予算額に比して決算額が4百万円少額となっています。
- (注12) 目的積立金取崩については、年俸制導入促進費により、予算額に比して決算額が19百万円多額となっています。
- (注13) 業務費については、翌年度に継続して行う事業を繰越したことや、診療経費の節減等に努めたことにより、予算額に比して決算額が875百万円少額となっています。
- (注14) 施設整備費については、(注2)に示した理由を主な要因として、予算額に比して決算額が975百万円少額となっています。
- (注15) 補助金等については、(注3)に示した理由を主な要因として、予算額に比して決算額が511百万円多額となっています。
- (注16) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、翌年度に継続して行う事業を繰越したことにより、予算額に比して決算額が1,528百万円少額となっています。
- (注17) 貸付金については、(注11)に示した理由を主な要因として、予算額に比して決算額が4百万円少額となっています。
- (注18) 長期借入金償還金については、予算額に比して決算額が67百万円少額となっています。
- (注19) 大学改革支援・学位授与機構施設費納付金については、(注6)に示した理由を主な要因として、予算額に比して決算額が165百万円多額となっています。

## 工 収入支出概況



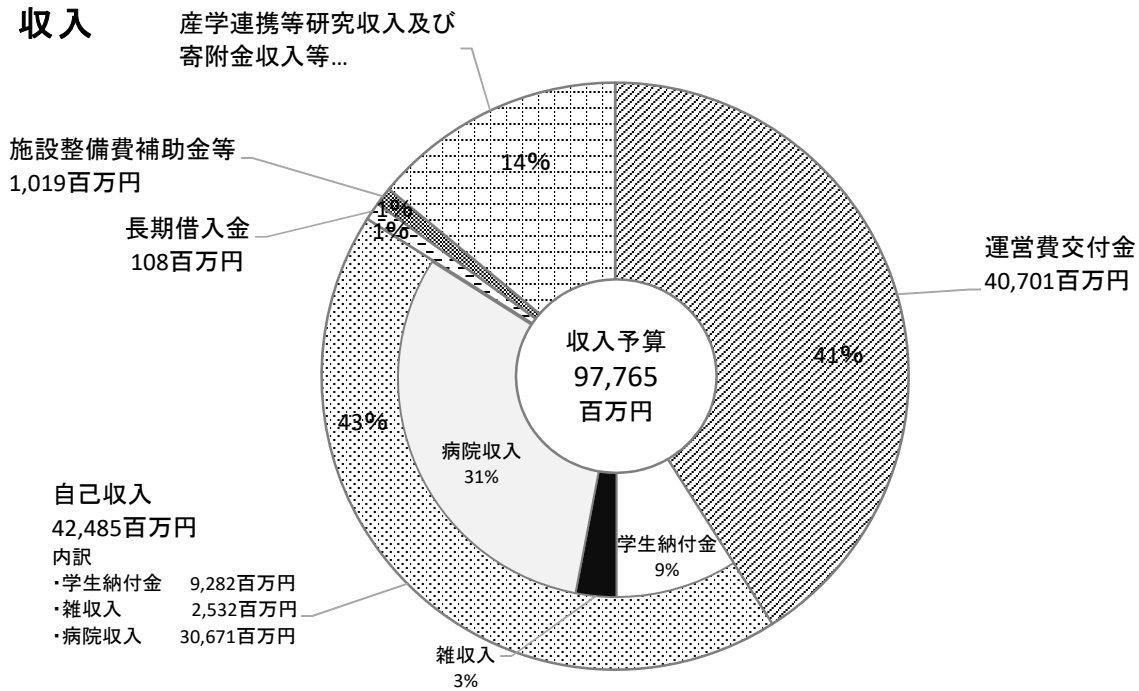
(注) 表中数字は決算額を、( )は年度計画予算総額を指す。



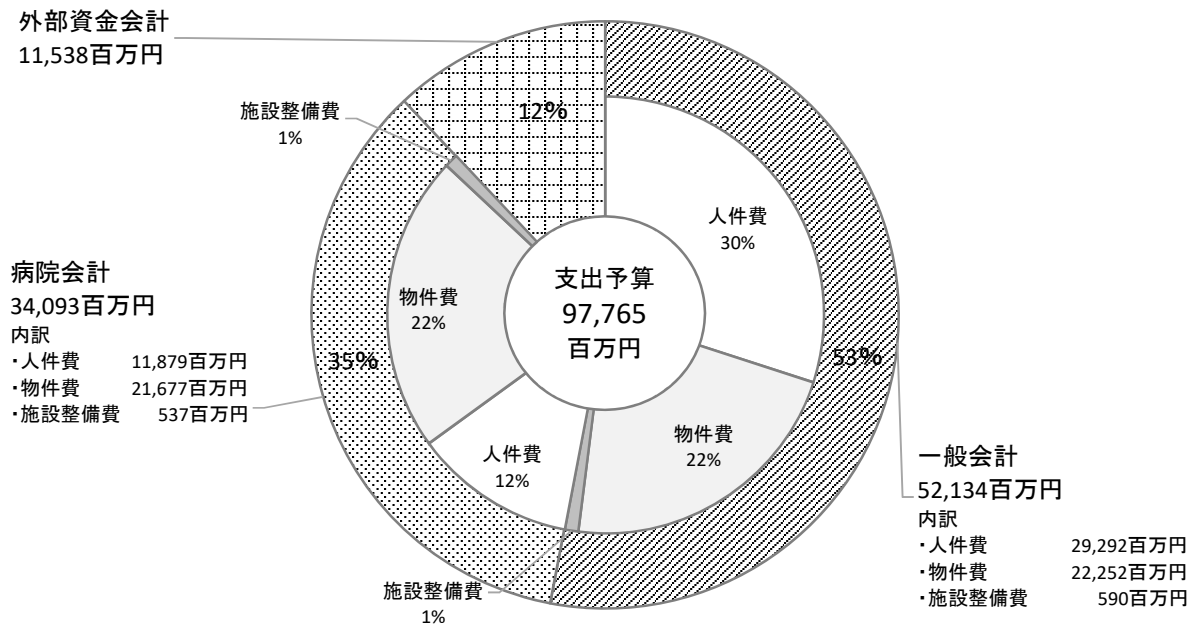
(注) 表中数字は決算額を、( )は年度計画予算総額を指す。

才 平成29年度予算構成図(当初配分予算)

収入



支出



(注) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等の外部資金会計における収入と支出の差異は、支出予算において間接経費を一般会計に繰り入れているため生じたものである。



## 2 教育関係

### (1) 学年暦

平成29年度 学年暦

事 項	学 群	大 学 院 【 】は 東京キャンパス
春学期(4月1日～9月30日)		
学年開始	4月 1日(土)	4月 1日(土)
春季休業	4月 1日(土)～ 4月 6日(木)	4月 1日(土)～ 4月 6日(木) 【 4月 1日(土)～ 4月10日(月)】
入学式	4月 7日(金)	4月 7日(金) 【 4月 8日(土)】
新入生オリエンテーション	4月 7日(金)～ 4月12日(水)	4月10日(月) 【 4月 8日(土)】
春学期授業開始	4月13日(木)	4月11日(火) 【 4月11日(火)】
春季スポーツ・デー	5月13日(土)～ 5月14日(日)	5月13日(土)～ 5月14日(日)
春ABモジュール期末試験	6月27日(火)～ 7月 3日(月)	6月27日(火)～ 7月 3日(月)
春ABCモジュール期末試験	8月 2日(水)～ 8月 8日(火)	8月 2日(水)～ 8月 8日(火) 【 7月25日(火)、 8月 2日(水)～ 8月 5日(土)】
春学期授業終了	8月 8日(火)	8月 8日(火) 【 7月29日(土)】
期末試験予備日	8月 9日(水)	8月 9日(水) 【 8月 1日(火)、 8月 9日(水)～ 8月10日(木)】
夏季休業	8月10日(木)～ 9月30日(土)	8月10日(木)～ 9月30日(土) 【 8月11日(金)～ 9月30日(土)】
卒業式	9月25日(月)	
大学院学位記授与式		9月25日(月)
秋学期(10月1日～3月31日)		
秋学期入学式	9月29日(金)	9月29日(金)
開学記念日	10月 1日(日)	10月 1日(日)
秋学期授業開始	10月 2日(月)	10月 2日(月) 【10月 3日(火)】
筑波キャンパス電気設備点検(全学停電)	10月下旬(予定)	10月下旬(予定)
学園祭	11月 3日(金)～11月 5日(日)	11月 3日(金)～11月 5日(日)
秋季スポーツ・デー	11月18日(土)～11月19日(日)	11月18日(土)～11月19日(日)
秋ABモジュール期末試験	12月20日(水)～12月26日(火)	12月20日(水)～12月26日(火)
冬季休業	12月27日(水)～ 1月 8日(月)	12月27日(水)～ 1月 8日(月) 【12月23日(土)～ 1月 5日(金)】
秋ABCモジュール期末試験	2月 5日(月)、2月 9日(金)、 2月13日(火)～ 2月15日(木)	2月 5日(月)、2月 9日(金)、 2月13日(火)～ 2月15日(木) 【 1月30日(火)～ 1月31日(水)、 2月 8日(木)～ 2月10日(土)】
秋学期授業終了	2月15日(木)	2月15日(木) 【 2月 3日(土)】
期末試験予備日	2月16日(金)	2月16日(金) 【 2月 6日(火)～ 2月 7日(水)、 2月13日(火)】
春季休業	2月17日(土)～ 3月31日(土)	2月17日(土)～ 3月31日(土) 【 2月14日(水)～ 3月31日(土)】
卒業式	3月23日(金)	
大学院学位記授与式		3月23日(金) 【 3月24日(土)】
学年終了	3月31日(土)	3月31日(土) 【 3月31日(土)】

(備 考)

- 学園祭の実施に伴い、11月6日(月)の授業は臨時休講とする。(東京キャンパスを除く)
  - 定期健康診断の日程については、別に定め、実施時間に当たる学群・学類の当該年次及び研究科の授業は、臨時休講とする。(東京キャンパスを除く)
  - 授業日数確保のため、下記のとおり曜日を振替えて授業を実施する。(東京キャンパスを除く)  
5月1日は振替え授業日とし、水曜日の授業を実施する。7月18日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。  
10月10日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。11月1日は振替え授業日とし、金曜日の授業を実施する。  
11月24日は振替え授業日とし、水曜日の授業を実施する。11月27日は振替え授業日とし、水曜日の授業を実施する。  
1月9日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。1月11日は振替え授業日とし、金曜日の授業を実施する。  
1月17日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。
  - 学群の入学者選抜の実施に伴う臨時休業は、準備及び後片付けに要する時間を含め、別に定める。(東京キャンパスを除く)
  - 医学類に係る卒業日は平成30年3月9日とし、卒業式は上記日程に従い実施する。
  - 平成24年度以前に8月又は12月に入学した者で標準修業年限で卒業・修了する者に係る卒業日・修了日は、それぞれ7月25日、11月30日とする。
- ※ 学期(学期の区分)は、春学期と秋学期の2学期とし、5週単位の6つ(春A, 春B, 春C, 秋A, 秋B, 秋C)のモジュールで構成する。





(平成30年3月1日現在)

Table with 15 columns: 1年, 2年, 3年, 4年, 5年, 合計. Each year column includes rows for 学生数, (女子), 一般学生, and (女子). The 合計 column includes rows for 学生数, (女子), 一般学生, and (女子). The first column lists research fields and programs.



ウ 科目等履修生・研究生・特別聴講学生・特別研究学生

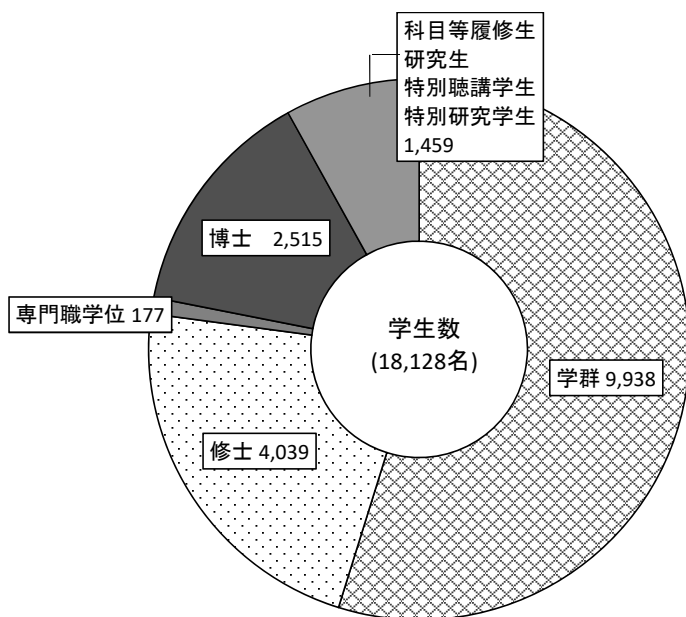
(平成29年度)

所 属		科目等履修生	研究生	特別聴講学生	特別研究学生	計	
学 群	人文・文化	人文学類	18 (9)	2 (2)	56 (38) ※56 ※(38)	76 (49) ※56 ※(38)	
		比較文化学類	7 (3)		34 (24) ※34 ※(24)	41 (27) ※34 ※(24)	
		日本語・日本文化学類	9 (6) ※6 ※(4)	15 (3) ※15 ※(3)	43 (24) ※43 ※(24)	67 (33) ※64 ※(31)	
	国際学・社会学	社会学類	8 (5)		11 (5) ※11 ※(5)	19 (10) ※11 ※(5)	
		国際総合学類	2 (1)		68 (39) ※68 ※(39)	70 (40) ※68 ※(39)	
		教育学類	9 (2)	10 (6)	1 (1) ※1 ※(1)	20 (9) ※1 ※(1)	
	学人	心理学類	2 (2)		3 (3) ※3 ※(3)	5 (5) ※3 ※(3)	
		障害科学類	3 (3)	4 (3)	1 ※1	8 (6) ※1	
		生物学類	3		5 (3) ※5 ※(3)	8 (3) ※5 ※(3)	
	生命環境	生物資源学類	8 (2)		121 (77) ※121 ※(77)	129 (79) ※121 ※(77)	
		地球学類	4 (2)	1	4 ※4	9 (2) ※4	
		数学類	3			3	
	理工学群	物理学類	6	1 (1)	1 (1) ※1 ※(1)	8 ※1 ※(1)	
		化学類	2			2	
		応用理工学類	2	3	2 (1) ※2 ※(1)	7 (1) ※2 ※(1)	
		工学システム学類	1		2 (1) ※2 ※(1)	3 (1) ※2 ※(1)	
		社会工学類	1 (1)		7 (6) ※7 ※(6)	8 (7) ※7 ※(6)	
		情報科学類	2	1	5 ※5	8 ※5	
	情報学群	情報メディア創成学類					
		知識情報・図書館学類	1	2		3	
医学類		2 (2)		2 (1) ※2 ※(1)	4 (3) ※2 ※(1)		
医学群	看護学類						
	医療科学類			8 (8) ※2 ※(2)	8 (8) ※2 ※(2)		
	体育専門学群	37 (10)	13 (4)	3 ※1	53 (14) ※1		
芸術専門学群	6 (5)	4 (4)	11 (9) ※11 ※(9)	23 (18) ※11 ※(9)			
学 群 計	138 (53) ※6 ※(4)	56 (23) ※15 ※(3)	388 (241) ※380 ※(235)	0 (0) ※0 ※(0)	582 (317) ※401 ※(242)		
大 学 院	修士・博士前期・専門職学位課程	教育研究科	2 (2)	25 (13) ※18 ※(10)		27 (15) ※18 ※(10)	
		人文社会科学研究科 (修士・博士前期課程)		77 (54) ※77 ※(54)	14 (10) ※14 ※(10)	27 (20) ※27 ※(20)	118 (84) ※118 ※(84)
		ビジネス科学研究科 (博士前期・専門職学位課程)	33 (8)				33 (8)
		数理物質科学研究科 (博士前期課程)	4	34 (12) ※32 ※(12)	2	3 (2) ※3 ※(2)	43 (14) ※35 ※(14)
		システム情報工学研究科 (博士前期課程)		133 (49) ※133 ※(49)	6 (3) ※6 ※(3)	12 (5) ※12 ※(5)	151 (57) ※151 ※(57)
		生命環境科学研究科 (博士前期課程)	1	81 (43) ※78 ※(42)	10 (2) ※4 ※(1)	37 (28) ※37 ※(28)	129 (73) ※119 ※(71)
		人間総合科学研究科 (修士・博士前期課程)	60 (45) ※1 ※(1)	86 (51) ※78 ※(48)	12 (6) ※12 ※(6)	14 (8) ※14 ※(8)	172 (110) ※105 ※(63)
		図書館情報メディア研究科 (博士前期課程)		18 (12) ※18 ※(12)	3 (3) ※3 ※(3)	2 (1) ※2 ※(1)	23 (16) ※23 ※(16)
		小 計	100 (55) ※1 ※(1)	454 (234) ※434 ※(227)	47 (24) ※39 ※(23)	95 (64) ※95 ※(64)	696 (377) ※569 ※(315)
		一貫制・博士後期・3年制博士課程	人文社会科学研究科 (一貫制博士課程)	4 (2)	23 (15) ※23 ※(15)	17 (9) ※17 ※(9)	21 (12) ※21 ※(12)
	人文社会科学研究科 (博士後期課程)		1 (1) ※1 ※(1)	6 (5) ※6 ※(5)	1 (1) ※1 ※(1)	19 (12) ※19 ※(12)	27 (19) ※27 ※(19)
	ビジネス科学研究科 (博士後期課程)		1	1			2
	数理物質科学研究科 (博士後期・3年制博士課程)			2 (1) ※2 ※(1)		9 (1) ※7 ※(1)	11 (2) ※9 ※(2)
	システム情報工学研究科 (博士後期課程)			5 (2) ※3 ※(2)		4 (1) ※4 ※(1)	9 (3) ※7 ※(3)
	生命環境科学研究科 (博士後期・3年制博士課程)			10 (4) ※9 ※(4)	1 (1) ※1 ※(1)	7 (6) ※6 ※(5)	18 (11) ※16 ※(10)
生命環境科学研究科 (一貫制博士課程)			3 ※3		1 (1) ※1 ※(1)	4 (1) ※4 ※(1)	
人間総合科学研究科 (博士後期・3年制博士課程)	2 (2)		23 (11) ※9 ※(5)	1 (1) ※1 ※(1)	3 (2) ※1 ※(1)	29 (16) ※11 ※(7)	
人間総合科学研究科 (医学の課程)		13 (10) ※8 ※(8)	1 (1) ※1 ※(1)	2 (1) ※2 ※(1)	16 (12) ※11 ※(10)		
図書館情報メディア研究科 (博士後期課程)							
小 計	8 (5) ※1 ※(1)	86 (48) ※63 ※(40)	21 (13) ※21 ※(13)	66 (36) ※61 ※(34)	181 (102) ※146 ※(88)		
大学院計	108 (60) ※2 ※(2)	540 (282) ※497 ※(267)	68 (37) ※60 ※(36)	161 (100) ※156 ※(98)	877 (479) ※715 ※(403)		
合 計	246 (113) ※8 ※(6)	596 (305) ※512 ※(270)	456 (278) ※440 ※(271)	161 (100) ※156 ※(98)	1,459 (796) ※1,116 ※(645)		

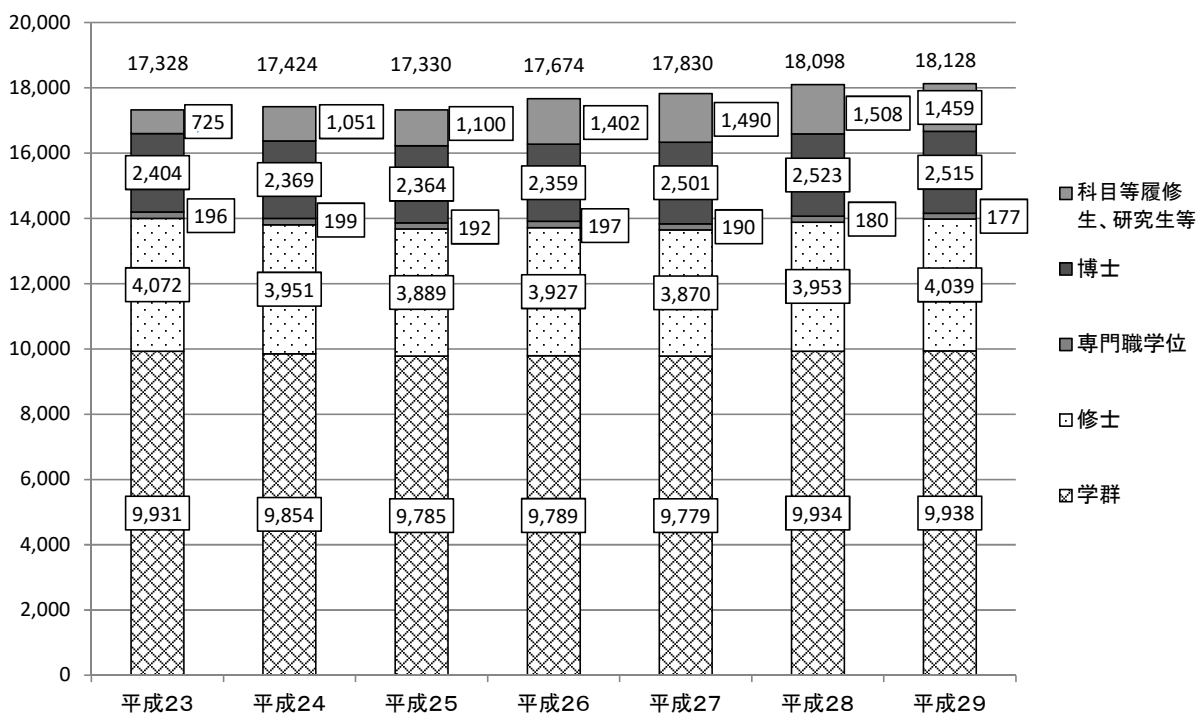
(注) 1 ( ) は女子を、※は外国人留学生(ただし、科目等履修生については、外国人の履修者)を、それぞれの内数で示す。  
2 日本語・日本文化研修留学生は、平成28年入学者までを学群の科目等履修生、平成29年度入学者より学群の特別聴講学生として受け入れている。

## エ 学生数の内訳及び近年の推移

[平成29年度 学生数の内訳]



[近年の推移]



オ 附属学校の定員・現員

(平成30年3月1日現在)

学 校 名	入学定員	総定員	現 員							計	
			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次			
附属小学校	128	832	127	125	127	121	158	153	811		
附属中学校	200	600	201	203	201				605		
附属駒場中学校	120	360	123	122	123				368		
附属高等学校	240	720	240	240	232				712		
附属駒場高等学校	160	480	163	163	164				490		
附属坂戸高等学校	160	480	162	165	158				485		
附属 視覚 特別 支援 学校	幼稚部	5	10	9	3				12		
	小学部	9	54	6	4	7	4	3	5	29	
	中学部	12	36	13	11	12				36	
	高等部	16	56	18	17	17				52	
	高等部 専攻科	鍼灸手技療法科	16	48	12	9	7				28
		音楽科	8	16	1	1					2
		理学療法科	8	24	8	3	4				15
		鍼灸手技療法研修科	8	8	6						6
小 計	82	252							180		
附属 聴覚 特別 支援 学校	幼稚部	10	40	9	10	9				28	
	小学部	12	72	12	12	12	12	12	10	70	
	中学部	12	36	14	14	14				42	
	高等部	24	72	23	24	26				73	
	高等部 専攻科	造形芸術科	8	16	2	3					5
		ビジネス情報科	8	16	7	7					14
		歯科技工科	10	30	8	3	2				13
	小 計	84	282							245	
附属 大塚 特別 支援 学校	幼稚部	5	10	3	7					10	
	小学部	4	24	4	4	4	2	4	4	22	
	中学部	6	18	6	6	6				18	
	高等部	8	24	8	8	8				24	
	小 計	23	76							74	
附属 桐が丘 特別 支援 学校	小学部	8	63	12	6	10	13	11	9	61	
	中学部	12	39	9	15	10				34	
	高等部	12	39	11	9	12				32	
	小 計	32	141							127	
附属 久里浜 特別 支援 学校	幼稚部	6	18	5	6	6				17	
	小学部	6	36	6	6	6	6	6	4	34	
	小 計	12	54							51	
附属学校合計		1,241	4,277							4,148	



### (3) 授業科目数及び授業担当教員数

#### ア 学 群

##### (ア) 基礎科目(共通科目等)

(平成30年3月31日現在)

共通科目等	授業科目数	授 業 担 当 教 員 数		
		常勤	非常勤	計
総 合 科 目	264	1,068	124	1,192
体 育	337	47	26	73
外 国 語	807	75	55	130
情 報 報	71	34	23	57
国 語	116	15	9	24
芸 術	18	17	1	18
自 由 科 目 ( 特 設 )	30	42	59	101
教職科目及び博物館に関する科目	221	75	89	164
合 計	1,864	1,373	386	1,759

(注) 1. 授業科目数は、他学群・学類開設科目を指定しているものを除く。

2. 総合科目における授業担当教員数は延人数

##### (イ) 専門基礎科目・専門科目

(平成30年3月31日現在)

学 群 ・ 学 類	授 業 科 目 数			授 業 担 当 教 員 数				
	専門科目	専門基礎科目	計	教育会議構成員	教育会議構成員以外の教員	非常勤	計	
全 学 群 対 象	0	14	14	0	0	8	8	
人 文 ・ 文 化 学 群	学 群 コ ア	0	10	10	5	3	2	10
	人 文 学 類	396	53	449	56	28	27	111
	比 較 文 化 学 類	184	92	276	56	26	17	99
	日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類	88	20	108	19	4	11	34
	小 計	668	175	843	136	61	57	254
社 会 ・ 国 際 学 群	学 群 共 通 科 目	0	3	3	1	0	12	13
	社 会 学 類	170	9	179	31	17	11	59
	国 際 総 合 学 類	116	30	146	37	18	14	69
	社 会 国 際 学 教 育 プ ロ グ ラ ム	52	19	71	0	0	10	10
	小 計	338	61	399	69	35	47	151
人 間 学 群	学 群 コ ア	0	14	14	46	0	1	47
	教 育 学 類	92	13	105	28	6	28	62
	心 理 学 類	47	10	57	32	0	10	42
	障 害 科 学 類	86	10	96	41	0	14	55
	小 計	225	47	272	147	6	53	206
生 命 環 境 学 群	学 群 コ ア	0	8	8	34	0	0	34
	生 物 学 類	153	49	202	78	65	17	160
	生 物 資 源 学 類	227	35	262	115	5	24	144
	地 球 学 類	97	23	120	44	18	15	77
	生 命 環 境 学 際 プ ロ グ ラ ム	125	31	156	143	5	17	165
小 計	602	146	748	414	93	73	580	
理 工 学 群	学 群 共 通 科 目	2	0	2	0	0	1	1
	数 学 類	65	48	113	39	18	4	61
	物 理 学 類	49	23	72	65	24	1	90
	化 学 類	37	15	52	33	22	6	61
	応 用 理 工 学 類	150	71	221	75	0	12	87
	工 学 シ ス テ ム 学 類	266	25	291	72	6	39	117
	社 会 工 学 類	160	66	226	49	6	24	79
	小 計	729	248	977	333	76	87	496
情 報 学 群	学 群 共 通 科 目	3	4	7	8	0	17	25
	情 報 科 学 類	79	22	101	53	20	30	103
	情 報 メ デ ィ ア 創 成 学 類	39	47	86	29	18	30	77
	知 識 情 報 ・ 図 書 館 学 類	80	47	127	46	5	18	69
	小 計	201	120	321	136	43	95	274
医 学 群	医 学 類	33	7	40	394	43	67	504
	看 護 学 類	63	29	92	31	14	13	58
	医 療 科 学 類	52	29	81	64	54	8	126
	小 計	148	65	213	489	111	88	688
体 育 専 門 学 群	214	106	320	118	3	56	177	
芸 術 専 門 学 群	293	50	343	53	3	9	65	
合 計	3,418	1,032	4,450	1,895	431	573	2,899	

(注) 授業科目数は、他学群・学類開設科目を指定しているものを除く。

イ 大学院

(ア) 大学院共通科目

(平成30年3月31日現在)

科目群	授業科目数	授業担当教員数		
		常勤	非常勤	計
生命・環境・研究倫理	6	8	3	11
研究マネジメント力養成	4	6	0	6
情報伝達力・コミュニケーション力養成	15	12	4	16
国際性養成	3	2	0	2
キャリアマネジメント	9	11	1	12
知的基盤形成	18	31	3	34
身心基盤形成	21	31	2	33
合計	76	101	13	114

(注) 非常勤には、連携大学院方式による教員を含まない。

(イ) 研究科

(平成30年3月31日現在)

課程・研究科	授業科目数	授業担当教員数					
		教育会議構成員	教育会議構成員以外の教員	非常勤	計		
修士課程							
教育研究科	213	118	84	17	219		
小計	213	118	84	17	219		
博士課程	人文社会科学研究科	一貫	417	89	1	10	100
		前期	661	129	74	43	246
		後期	292	96	14	11	121
	ビジネス科学研究科	前期	154	30	2	28	60
		後期	89	32	3	25	60
		専門職	167	23	5	67	95
	数理工学科学研究科	前期	510	256	34	54	344
		後期	259	250	33	4	287
	システム情報工学研究科	前期	391	208	66	66	340
		後期	84	211	37	14	262
	生命環境科学研究科	一貫	64	25	3	2	30
		前期	919	254	50	107	411
		後期	488	236	48	9	293
	人間総合科学研究科	一貫	161	375	2	17	394
		修士	118	258	15	38	311
		前期	820	306	24	92	422
		後期	85	193	12	10	215
		3年制	111	97	5	27	129
	図書館情報メディア研究科	前期	79	58	4	8	70
		後期	47	53	4	0	57
グローバル教育院	一貫	107	117	80	48	245	
	前期	46	113	0	7	120	
	後期	20	113	0	0	113	
小計	6,089	3,522	516	687	4,725		
合計	6,302	3,640	600	704	4,944		

(注) 1. 授業科目数は、他研究科開設科目を指定しているもの及び研究指導を除く。

2. 非常勤には、連携大学院方式による教員を含まない。

(4) 卒業・修了者等数

ア 学群卒業者

(平成30年3月31日現在)

学群・学類		卒業 年次 定員	編入学 定員	本年度卒業者(学位「学士」取得者)数		累計	
				学位記	計		
人文・ 学文化	人文学類	120		人文学	120 (58) ※0	120 (58) ※0	938 (494) ※0
	比較文化学類	80		文学	0 (0)	85 (56) ※3	665 (472) ※10
	日本語・日本文化学類	40		比較文化	85 (56) ※3	40 (30) ※1	320 (238) ※3
	小計	240	<0>	文学	40 (30) ※1	245 (144) ※4	1,923 (1,204) ※13
社会・国際学群	社会学類	80	<10>	社会学	23 (13) ※2	106 (38) ※13	750 (294) ※34
				法学	27 (7)		
				政治学	31 (14) ※1		
				経済学	16 (0) ※1		
	国際総合学類	80		国際関係学	9 (4) ※9	98 (56) ※10	677 (408) ※45
国際開発学	47 (29) ※2						
国際社会科学	42 (21)						
小計	160	<10>	国際社会科学	9 (6) ※8	204 (94) ※23	1,427 (702) ※79	
人間学群	教育学類	35		教育学	245 (144) ※4	204 (94) ※23	291 (128) ※2
	心理学類	50		心理学	39 (15) ※1	50 (27) ※1	398 (229) ※5
	障害科学類	35		障害科学	50 (27) ※1	35 (31) ※2	288 (222) ※3
				特別支援教育学	20 (17) ※2		
小計	120	<0>	社会福祉学	5 (5)	124 (73) ※4	977 (579) ※10	
生命学環境	生物学類	80		理学	10 (9)	87 (45) ※11	681 (305) ※27
	生物資源学類	120	<10>	生物資源学	124 (73) ※4	111 (51) ※15	1,125 (600) ※57
	地球学類	50		農学	87 (45) ※11	31 (16) ※1	443 (148) ※8
	小計	250	<10>	理学	60 (27) ※4	289 (139) ※31	2,249 (1,053) ※92
理工学群	数学類	40		理学	37 (2)	37 (2) ※0	342 (46) ※6
	物理学類	60		理学	57 (6)	57 (6) ※0	488 (50) ※15
	化学類	50		理学	51 (8) ※1	51 (8) ※1	434 (112) ※6
	応用理工学類	120	<10>	工学	132 (19) ※5	132 (19) ※5	1,075 (121) ※47
	工学システム学類	130		工学	138 (18) ※3	138 (18) ※3	1,134 (93) ※42
	社会工学類	120		社会工学	130 (30) ※2	130 (30) ※2	1,017 (197) ※28
情報学群	情報科学類	80	<10>	情報科学	545 (83) ※11	32 (0) ※1	100 (6) ※4
情報メディア創成学類	50	<10>	情報メディア科学	71 (15)	71 (15)	505 (123) ※7	
知識情報・図書館学類	100	<10>	図書館情報学	107 (57) ※1	107 (57) ※1	870 (497) ※4	
小計	230	<30>	情報科学	278 (78) ※5	278 (78) ※5	2,113 (665) ※38	
医学群	医学類	135	<5>	医学	120 (41)	120 (41)	631 (218)
	看護学類	70	<10>	看護学	82 (76) ※1	82 (76) ※1	626 (593)
	医療科学類	37	<3>	医療科学	27 (22)	40 (28) ※1	306 (200) ※9
	小計	242	<18>	国際医療科学	13 (6) ※1	242 (145) ※2	1,563 (1,011) ※9
体育	専門学群	240		体育学	250 (73)	250 (73)	9,782 (2,548) ※7
芸術	専門学群	100		芸術学	106 (85) ※1	106 (85) ※1	3,989 (2,484) ※22
第一学群	人文学類			人文学	0 (0)	0 (0)	3,965 (1,916) ※15
	社会学類			社会学	0	0 (0)	3,669 (1,197) ※37
				法学	0		
				政治学	0		
自然学類			経済学	0	0 (0)	6,828 (1,374) ※17	
小計			理学	0 (0)	0 (0)	14,462 (4,487) ※69	
第二学群	比較文化学類			文学	0	0 (0)	2,758 (1,693) ※15
	日本語・日本文化学類			比較文化	0	0 (0)	1,454 (1,110) ※18
	人間学類			人間科学	0	0 (0)	3,949 (2,242) ※17
	生物学類			生物資源学	0	0 (0)	2,686 (1,099) ※20
	生物資源学類			農学	0	0 (0)	2,474 (1,155) ※16
	農林学類			農学	0	0 (0)	2,057 (514) ※4
小計			農学	0 (0)	0 (0)	15,378 (7,813) ※90	
第三学群	社会工学類			社会工学	0	0 (0)	3,835 (559) ※57
	国際総合学類			国際関係学	0	0 (0)	1,242 (777) ※70
	国際関係学類			国際開発学	0	0 (0)	1,001 (466) ※64
	情報学類			国際関係学	0	0 (0)	3,017 (377) ※67
	工学システム学類			情報科学	0	0 (0)	1,988 (165) ※47
	工学基礎学類			情報工学	0	0 (0)	1,215 (76) ※11
	基礎工学類			工学	0	0 (0)	3,765 (500) ※20
小計			工学	0 (0)	0 (0)	16,063 (2,920) ※336	
医学専門学群	医学専門学類			医学	0	0 (0)	3,259 (906) ※7
	看護学類			看護学	0 (0)	0 (0)	315 (297)
	医療科学類			看護学	0	0 (0)	160 (111)
	小計			医療科学	0 (0)	0 (0)	3,734 (1,314) ※7
図書館情報専門学群	図書館情報専門学類			図書館情報学	0	0 (0)	696 (436) ※7
	図情大からの移籍学生			図書館情報学	0	0 (0)	3,819 (2,550) ※34
小計			図書館情報学	0 (0)	0 (0)	4,515 (2,986) ※41	
合計	2,102	<78>		2,283 (914) ※81	2,283 (914) ※81	82,665 (30,385) ※957	

- (注) 1. ( ) は女子を、※は外国人留学生を、それぞれ内数で示し、< >は編入学定員を外数で示す。  
 2. 卒業者数には、第2学期推薦入学者等の年度途中卒業生35名を含む。  
 3. 累計には、東京教育大学からの移籍学生を含む。  
 4. 第二学群農林学類は、平成6年度から生物資源学類へ名称変更。  
 5. 第三学群国際総合学類は、平成7年度に国際関係学類を改組。  
 6. 第三学群工学基礎学類は、平成10年度に基礎工学類を改組。  
 7. 図情大からの移籍学生の累計は、平成15年度をもって閉学した図書館情報大学の卒業生を含む。

# イ 大学院修了者等

## (ア) 修士課程修了者

(平成30年3月31日現在)

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度修了者数	累 計
地域研究	地域研究	国際学修士		563 ( 287 ) ※ 207
		修士(国際学)		8 ( 6 )
		修士(地域研究)		1,002 ( 615 ) ※ 335
教 育	障害児教育	教育学修士		290 ( 125 ) ※ 18
		修士(教育学)		595 ( 415 ) ※ 45
	スクールリーダーシップ開発	修士(教育学)	19 ( 8 )	177 ( 70 ) ※ 14
		教育学修士		735 ( 189 ) ※ 42
	教科教育	修士(教育学)	58 ( 18 )	2,062 ( 802 ) ※ 64
		教育学修士		30 ( 12 )
	カウンセリング	修士(教育学)		2 ( 2 )
		修士(カウンセリング)		395 ( 257 ) ※ 2
		修士(リハビリテーション)		403 ( 228 )
		修士(学術)		1
特別支援教育	修士(特別支援教育学)		101 ( 71 ) ※ 9	
経営・政策科学	経営・政策科学	経済学修士		540 ( 48 ) ※ 128
		修士(経済学)		333 ( 65 ) ※ 60
		修士(ビジネス)		109 ( 32 ) ※ 49
		修士(社会工学)		56 ( 5 ) ※ 6
		修士(経営科学)		272 ( 67 ) ※ 136
		修士(公共政策)		1
	経営システム科学	経営学修士		25 ( 2 )
		修士(経営学)		256 ( 47 )
		修士(経営システム科学)		121 ( 19 )
	企業法学	修士(法学)		320 ( 47 )
理工学	理工学	工学修士		772 ( 30 ) ※ 56
		修士(工学)		2,326 ( 181 ) ※ 197
		理学修士		411 ( 44 ) ※ 6
		修士(理学)		733 ( 118 ) ※ 16
環境科学	環境科学	学術修士		922 ( 127 ) ※ 36
		修士(学術)		91 ( 21 ) ※ 3
		修士(環境科学)		1,686 ( 590 ) ※ 185
バイオシステム	バイオシステム	修士(学術)		851 ( 299 ) ※ 90
医科学	医科学	医科学修士		242 ( 63 ) ※ 7
		修士(医科学)		681 ( 352 ) ※ 32
体 育	体育方法学	体育学修士		251 ( 60 ) ※ 14
		修士(体育学)		429 ( 123 ) ※ 71
	コーチ学	体育学修士		328 ( 25 ) ※ 15
		修士(体育学)		679 ( 120 ) ※ 54
	健康教育学	体育学修士		218 ( 42 ) ※ 12
		修士(体育学)		429 ( 182 ) ※ 33
	スポーツ健康科学	修士(体育学)		235 ( 81 ) ※ 6
	スポーツ科学	修士(体育学)		379 ( 97 ) ※ 27
スポーツ健康システム・マネジメント	修士(体育学)		58 ( 11 )	
	修士(保健学)		54 ( 46 )	
芸 術	美 術	芸術学修士		175 ( 45 ) ※ 9
		修士(芸術学)		440 ( 210 ) ※ 40
	デザイン	芸術学修士		190 ( 49 ) ※ 43
		修士(芸術学)		28 ( 15 ) ※ 3
		修士(デザイン学)		481 ( 171 ) ※ 159
	世界遺産	修士(世界遺産学)		34 ( 31 ) ※ 2
		修士(学術)		20 ( 14 ) ※ 2

(平成30年3月31日現在)

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度修了者数	累 計
人文社会科学	現代語・現代文化	修士(文学)	2 ( 1 )	27 ( 18 ) ※ 2
		修士(言語学)	2 ( 1 )	35 ( 17 ) ※ 7
		修士(学術)	3 ( 2 ) ※ 1	12 ( 9 ) ※ 1
	国際公共政策	修士(国際政治経済学)	1	34 ( 18 ) ※ 19
		修士(政治学)	1	8 ※ 1
		修士(社会学)	10 ( 7 ) ※ 3	49 ( 26 ) ※ 16
		修士(国際公共政策)	6 ( 4 ) ※ 2	47 ( 20 ) ※ 35
	国際地域研究	修士(国際学)	12 ( 9 ) ※ 10	469 ( 310 ) ※ 351
		修士(経済学)	12 ( 4 ) ※ 12	21 ( 6 ) ※ 20
		修士(地域研究)	18 ( 9 ) ※ 9	33 ( 18 ) ※ 19
		修士(公共政策)	4 ( 3 ) ※ 4	10 ( 5 ) ※ 10
	国際日本研究	修士(学術)		13 ( 10 ) ※ 11
		修士(国際日本研究)		1 ( 1 )
		修士(社会科学)	17 ( 12 ) ※ 14	32 ( 21 ) ※ 26
		修士(人文科学)	17 ( 14 ) ※ 16	25 ( 21 ) ※ 24
		修士(日本語教育学)	9 ( 7 ) ※ 5	16 ( 11 ) ※ 11
	法学	修士(学術)	1 ※ 1	1 ※ 1
修士(法学)			29 ( 17 ) ※ 14	
経済学	修士(経済学)	1	40 ( 14 ) ※ 34	
数理物質科学	数学	修士(理学)	12 ※ 1	197 ( 18 ) ※ 7
		修士(数学)		86 ( 7 ) ※ 2
	物理学	修士(理学)	58 ( 6 ) ※ 1	557 ( 53 ) ※ 16
		修士(物理学)		43 ( 6 ) ※ 4
	化学	修士(理学)	50 ( 15 ) ※ 2	558 ( 142 ) ※ 14
		修士(学術)		146 ( 34 ) ※ 4
	物質創成先端科学	修士(理学)		1
		修士(数学)		2
修士(物理学)				
電子・物理工学	修士(工学)	62 ( 3 ) ※ 10	101 ( 6 ) ※ 9	
物性・分子工学	修士(工学)	64 ( 13 ) ※ 12	746 ( 56 ) ※ 69	
システム情報工学	社会システム工学	修士(工学)		857 ( 91 ) ※ 70
		修士(社会工学)		221 ( 40 ) ※ 49
		修士(社会経済)		224 ( 48 ) ※ 25
	経営・政策科学	修士(ビジネス)		24 ( 1 ) ※ 9
		修士(公共政策)		414 ( 181 ) ※ 272
	リスク工学	修士(工学)	29 ( 5 ) ※ 8	26 ( 7 ) ※ 9
		修士(社会工学)	2	318 ( 33 ) ※ 47
	コンピュータサイエンス	修士(工学)	2	39 ( 8 ) ※ 5
	知能機能システム	修士(工学)	135 ( 16 ) ※ 41	1,382 ( 141 ) ※ 299
	社会工学	修士(工学)	115 ( 8 ) ※ 21	1,205 ( 100 ) ※ 155
修士(社会工学)		86 ( 39 ) ※ 39	249 ( 107 ) ※ 120	
構造エネルギー工学	修士(サービス工学)	12 ( 4 ) ※ 3	41 ( 11 ) ※ 7	
	修士(工学)	84 ( 7 ) ※ 4	895 ( 42 ) ※ 49	
生命環境科学	生物科学	修士(生物学)		39 ( 18 ) ※ 7
		修士(理学)	42 ( 22 ) ※ 5	478 ( 201 ) ※ 28
	生物資源科学	修士(学術)		63 ( 30 ) ※ 20
		修士(生物工学)	17 ( 7 ) ※ 6	240 ( 102 ) ※ 54
		修士(生物資源工学)	16 ( 7 ) ※ 11	133 ( 58 ) ※ 61
		修士(農学)	104 ( 54 ) ※ 23	1,080 ( 507 ) ※ 156
	環境科学	修士(ハイオテクノロジー・ロマシー)		5 ( 3 ) ※ 2
		修士(環境科学)	61 ( 28 ) ※ 40	759 ( 295 ) ※ 265
	地球科学	修士(理学)	33 ( 9 ) ※ 9	381 ( 111 ) ※ 47
		修士(地球科学)	4 ( 1 )	7 ( 1 )
修士(地球環境科学)			1	
ビジネス科学	企業法学	修士(法学)	34 ( 10 )	443 ( 91 ) ※ 1
	経営システム科学	修士(経営システム科学)	2	51 ( 6 )
		修士(経営学)	30 ( 7 )	412 ( 82 ) ※ 1

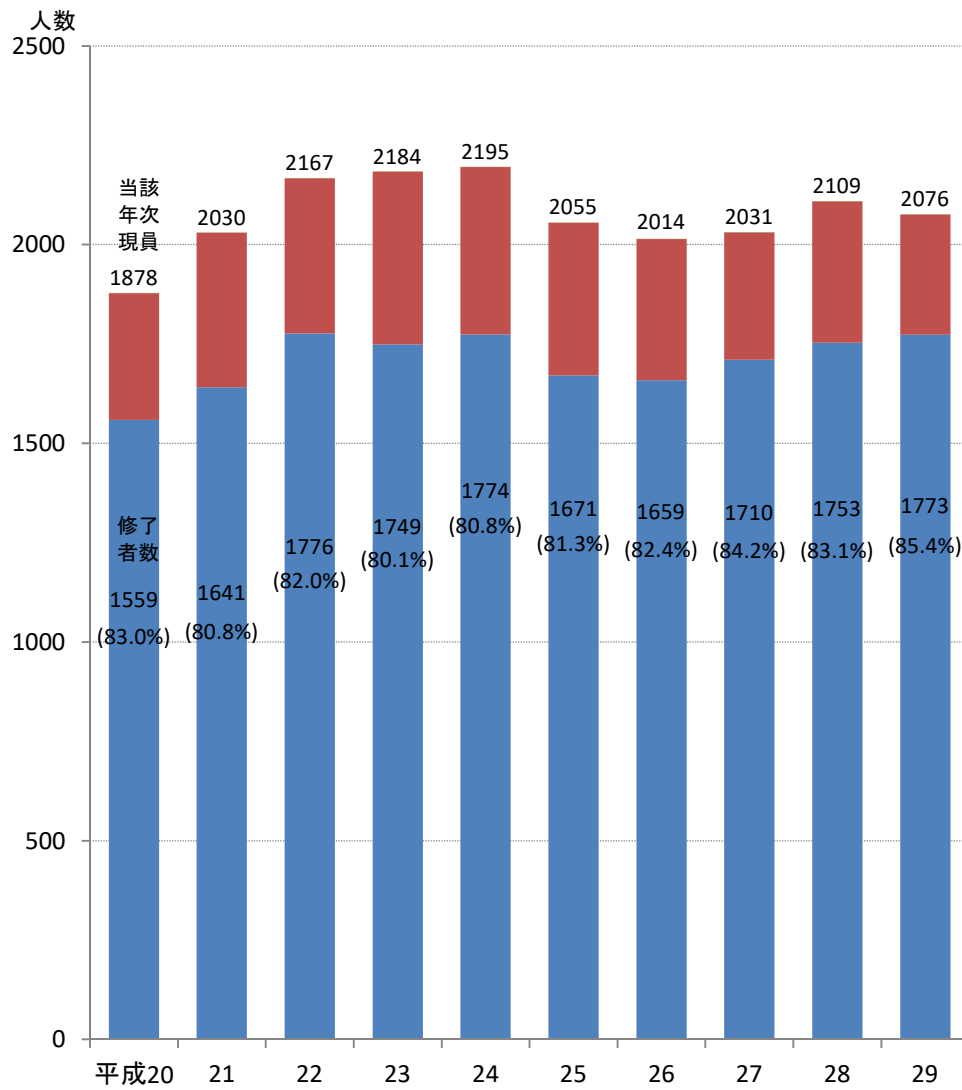
(平成30年3月31日現在)

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度修了者数	累 計
人間総合科学	スポーツ健康システム・マネジメント	修士(体育学)	15 ( 5 )	117 ( 35 ) ※ 2
		修士(保健学)	11 ( 7 ) ※ 2	103 ( 75 ) ※ 3
	スポーツ国際開発学共同	修士(スポーツ国際開発学)	7 ( 2 )	7 ( 2 )
	フロンティア医科学	修士(医科学)	56 ( 28 ) ※ 9	545 ( 257 ) ※ 47
		修士(公衆衛生学)	17 ( 9 ) ※ 8	89 ( 59 ) ※ 37
		修士(ヒューマンケア科学)	2 ( 2 ) ※ 1	32 ( 24 ) ※ 6
	教育学	修士(教育学)	17 ( 5 ) ※ 4	123 ( 68 ) ※ 48
	心理	修士(心理学)	17 ( 8 ) ※ 1	147 ( 87 ) ※ 13
	障害科学	修士(障害科学)	31 ( 22 ) ※ 14	217 ( 148 ) ※ 47
		修士(特別支援教育学)	5 ( 4 )	49 ( 33 ) ※ 3
	生涯発達	修士(カウンセリング)	22 ( 15 )	205 ( 143 )
		修士(リハビリテーション)	20 ( 6 )	203 ( 105 )
	感性認知脳科学	修士(感性科学)	4 ( 3 ) ※ 1	46 ( 21 ) ※ 15
		修士(行動科学)	9 ( 6 ) ※ 1	57 ( 36 ) ※ 7
		修士(神経科学)	5 ( 3 ) ※ 2	30 ( 16 ) ※ 4
		修士(学術)		1
	体育学	修士(体育学)	109 ( 37 ) ※ 7	1,100 ( 323 ) ※ 61
		修士(スポーツ・オリンピック学)	17 ( 9 ) ※ 13	35 ( 17 ) ※ 27
		修士(スポーツ国際開発学)	1 ( 1 )	2 ( 1 )
		修士(コーチング学)	1 ( 1 )	10 ( 3 )
	看護科学	修士(看護科学)	18 ( 17 ) ※ 1	148 ( 137 ) ※ 8
	芸術	修士(芸術学)	31 ( 22 ) ※ 2	314 ( 226 ) ※ 28
		修士(デザイン学)	30 ( 17 ) ※ 14	336 ( 176 ) ※ 93
世界遺産	修士(世界遺産学)	10 ( 7 ) ※ 6	87 ( 64 ) ※ 26	
	修士(学術)	6 ( 3 ) ※ 2	70 ( 47 ) ※ 8	
図書館情報メディア	図書館情報メディア	修士(図書館情報学)	26 ( 18 ) ※ 8	266 ( 167 ) ※ 32
		修士(情報学)	33 ( 11 ) ※ 7	303 ( 109 ) ※ 60
		修士(学術)		22 ( 12 ) ※ 4
グローバル教育院	ライフイノベーション学位プログラム	修士(食料革新学)	7 ( 3 ) ※ 7	7 ( 3 ) ※ 7
		修士(病態機構学)	1 ( 1 ) ※ 1	1 ( 1 ) ※ 1
計			1,773 ( 632 ) ※ 424	39,538 ( 12,132 ) ※ 5,305

(注) 1 ( )は女子を, ※は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。

2 平成3年7月以降の学位についてその種類が廃止され, 単に「修士」とすることとされた。

## 【修士課程修了状況の推移】



( )内は、修了対象年次の現員に対する修了者率(%)を示す。

## (イ) 博士課程修了者

(平成30年3月31日現在)

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度修了者数	累 計
人文社会科学	哲学・思想	博士(文学)		28 ( 7 ) ※ 3
	歴史・人類学	博士(文学)	7 ( 5 ) ※ 1	40 ( 21 ) ※ 7
		博士(文学)	3 ( 1 ) ※ 1	60 ( 34 ) ※ 30
	文芸・言語	博士(言語学)	8 ( 3 ) ※ 3	81 ( 46 ) ※ 36
		博士(言語学)		15 ( 10 ) ※ 6
	現代文化・公共政策	博士(文学)		7 ( 3 ) ※ 1
		博士(学術)		4 ( 2 )
		博士(政治学)		14 ( 8 ) ※ 5
	経済学	博士(経済学)		1
	社会科学	博士(経済学)		3 ※ 2
		博士(社会学)		16 ( 8 ) ※ 5
		博士(法学)		2 ( 1 ) ※ 1
	国際政治経済学	博士(国際政治経済学)		31 ( 11 ) ※ 21
	現代語・現代文化	博士(文学)		2 ( 2 )
		博士(言語学)	3 ( 1 )	19 ( 8 )
	法学	博士(法学)		2 ※ 1
	国際公共政策	博士(国際政治経済学)	1	3 ( 1 ) ※ 1
		博士(政治学)		5 ( 3 ) ※ 3
		博士(社会学)	1	2 ( 1 )
博士(国際公共政策)		2 ( 1 ) ※ 1	5 ( 2 ) ※ 3	
博士(学術)			1 ( 1 )	
国際日本研究	博士(学術)	2 ( 1 ) ※ 1	18 ( 9 ) ※ 11	
	博士(国際日本研究)	6 ( 5 ) ※ 4	17 ( 13 ) ※ 12	
	博士(社会学)	1 ( 1 ) ※ 1	2 ( 2 ) ※ 2	
ビジネス科学	企業科学	博士(システム・マネジメント)	3 ( 1 )	39 ( 6 )
		博士(経営学)	1	57 ( 7 )
		博士(法学)	1	30 ( 4 )
数理物質科学	数学	博士(理学)	3 ( 1 )	61 ( 6 ) ※ 6
		博士(数学)		11
	物理学	博士(理学)	10 ( 1 ) ※ 2	117 ( 9 ) ※ 6
		博士(物理学)		14 ( 1 ) ※ 1
	化学	博士(理学)	7 ( 1 )	113 ( 15 ) ※ 8
	物質創成先端科学	博士(理学)		30 ( 6 ) ※ 6
		博士(工学)		9 ※ 3
	電子・物理工学	博士(工学)	6 ( 1 ) ※ 2	138 ( 8 ) ※ 21
物性・分子工学	博士(工学)	10 ※ 3	126 ( 11 ) ※ 40	
ナノサイエンス・ナノテクノロジー	博士(工学)	8 ※ 3	34 ( 1 ) ※ 7	
博士(理学)	1 ( 1 )	15 ( 5 ) ※ 2		
物質・材料工学	博士(工学)	14 ( 5 ) ※ 8	134 ( 31 ) ※ 87	
システム情報工学	社会システム工学	博士(工学)		12 ( 2 ) ※ 4
		博士(社会工学)		18 ( 4 ) ※ 7
		博士(社会経済)		10 ( 3 ) ※ 5
	社会システム・マネジメント	博士(マネジメント)		12 ( 5 ) ※ 8
		博士(社会経済)		9 ( 2 ) ※ 1
		博士(社会工学)		15 ( 1 ) ※ 2
	リスク工学	博士(工学)	1	41 ( 8 ) ※ 15
		博士(社会工学)	4 ( 1 ) ※ 2	63 ( 8 ) ※ 14
	コンピュータサイエンス	博士(工学)	11 ( 1 ) ※ 4	208 ( 16 ) ※ 71
	知能機能システム	博士(工学)	12 ( 1 ) ※ 4	185 ( 14 ) ※ 42
	構造エネルギー工学	博士(工学)	12 ( 3 ) ※ 3	104 ( 9 ) ※ 26
社会工学(社会工学学位プログラム)	博士(社会工学)	12 ( 4 ) ※ 4	23 ( 8 ) ※ 8	
計量ファイナンス・マネジメント	博士(ファイナンス)		2 ( 1 ) ※ 2	
	博士(マネジメント)		4 ( 2 ) ※ 4	
博士(社会工学)		2		
生命環境科学	地球環境科学	博士(理学)	6 ( 2 ) ※ 3	90 ( 27 ) ※ 34
	地球進化科学	博士(理学)	6 ( 1 ) ※ 3	38 ( 13 ) ※ 11
	生物科学	博士(理学)	9 ( 6 ) ※ 2	57 ( 16 ) ※ 8
		博士(生物科学)	18 ( 4 ) ※ 1	43 ( 10 ) ※ 2
		博士(学術)		10
	構造生物科学	博士(理学)		44 ( 11 ) ※ 2
		博士(生物科学)		2
情報生物科学	博士(理学)		83 ( 27 ) ※ 5	
	博士(生物科学)		5 ( 2 ) ※ 1	



(平成30年3月31日現在)

研究科	専攻	学位（専攻分野の名称）	本年度修了者数	累 計	
生命環境科学	生命共存科学	博士（理学）	2（ 1）	68（ 18）※ 25	
		博士（農学）		11（ 3）※ 1	
		博士（生命共存科学）		7（ 1）※ 4	
	環境バイオマス共生学	博士（学術）	3 ※ 2	5（ 1）※ 3	
		博士（学術）	3（ 2）※ 3	37（ 18）※ 20	
	国際地緑技術開発科学	博士（生物資源工学）	8（ 3）※ 8	45（ 18）※ 42	
		博士（農学）	11（ 3）※ 5	85（ 31）※ 31	
		博士（学術）	2（ 1）	23（ 12）※ 16	
	生物圏資源科学	博士（農学）	12（ 3）※ 5	137（ 43）※ 62	
		博士（生物工学）	7（ 1）※ 1	86（ 25）※ 28	
	生物機能科学	博士（農学）	8（ 2）※ 1	85（ 24）※ 8	
		博士（学術）		22（ 5）	
	生命産業科学	博士（農学）	1（ 1）	32（ 11）※ 12	
		博士（生物科学）	1（ 1）	16（ 13）※ 7	
博士（生物工学）		9（ 4）※ 5	77（ 29）※ 50		
博士（学術）			14（ 4）※ 4		
持続環境学	博士（環境学）	16（ 6）※ 10	146（ 51）※ 88		
先端農業技術科学	博士（農学）	2（ 2）	53（ 16）※ 11		
人間総合科学	教育学	博士（教育学）		2	
	学校教育学	博士（教育学）		21（ 11）※ 5	
	教育基礎学	博士（教育学）	1（ 1）	7（ 6）※ 3	
	心理学	博士（心理学）	3（ 1）※ 1	48（ 16）※ 2	
		博士（学術）		1 ※ 1	
	障害科学	博士（障害科学）	5（ 5）	34（ 18）※ 3	
	心身障害学	博士（心身障害学）		15（ 10）※ 3	
	ヒューマン・ケア科学	博士（ヒューマン・ケア科学）	13（ 6）※ 1	114（ 83）※ 8	
		博士（心理学）	2（ 1）	35（ 12）※ 1	
		博士（心身障害学）		1（ 1）※ 1	
		博士（教育学）	1（ 1）	9（ 4）※ 1	
		博士（体育科学）		4（ 1）	
		博士（医学）		3（ 2）	
	生涯発達科学	博士（学術）	1（ 1）	29（ 24）※ 2	
		博士（キャリア科学）	3（ 2）	23（ 14）	
		博士（生涯発達科学）	3（ 1）	16（ 9）	
	感性認知脳科学	博士（リハビリテーション科学）	4（ 2）	20（ 7）	
		博士（感性科学）		24（ 11）※ 16	
		博士（神経科学）	2（ 1）	33（ 11）※ 1	
		博士（行動科学）	1（ 1）	25（ 14）※ 2	
	スポーツ医学	博士（学術）		5（ 4）※ 2	
		博士（スポーツ医学）	10（ 2）※ 1	109（ 37）※ 21	
		博士（医学）		2（ 1）※ 1	
		博士（学術）		2	
		先端応用医学	博士（医学）		105（ 21）※ 11
		分子情報・生体統御医学	博士（医学）		76（ 36）※ 18
		病態制御医学	博士（医学）		79（ 26）※ 9
		機能制御医学	博士（医学）		53（ 17）※ 4
		社会環境医学	博士（医学）		69（ 31）※ 11
		生命システム医学	博士（医学）	23（ 12）※ 13	124（ 49）※ 28
		疾患制御医学	博士（医学）	46（ 8）※ 2	294（ 81）※ 17
		看護科学	博士（看護科学）	8（ 6）	28（ 22）※ 1
		体育科学	博士（体育科学）	7（ 2）※ 1	95（ 19）※ 15
博士（健康スポーツ科学）			1（ 1）	1（ 1）	
芸術	博士（学術）		17（ 5）※ 4		
	博士（芸術学）	3（ 1）	65（ 35）※ 11		
世界文化遺産学	博士（デザイン学）	2（ 2）※ 1	28（ 16）※ 12		
	博士（世界遺産学）		14（ 10）※ 5		
コーチング学	博士（学術）	2（ 2）※ 1	14（ 12）※ 7		
	博士（コーチング学）	3（ 1）	32（ 6）※ 2		
芸術学	博士（芸術学）		19（ 9）※ 3		
	博士（デザイン学）		17（ 7）※ 9		
図書館情報メディア	博士（図書館情報学）	2（ 1）	32（ 16）※ 6		
	博士（情報学）	2（ 1）※ 1	39（ 14）※ 12		
	博士（学術）	3（ 3）※ 1	20（ 13）※ 5		
グローバル教育院	ヒューマン・イノベーション学位プログラム	博士（人間生物学）	10（ 6）※ 6	17（ 8）※ 10	
	エンバロメント情報学プログラム	博士（人間情報学）	4（ 3）※ 4	7（ 3）※ 5	

(平成30年3月31日現在)

研究科	専攻	学位（専攻分野の名称）	本年度修了者数	累 計
哲学・思想	哲学	文学博士		3
		博士（文学）		5（ 1 ）※ 1
	倫理学	文学博士		8（ 1 ）※ 2
		博士（文学）		2
		博士（学術）		3 ※ 2
	宗教学・比較思想学	文学博士		2
		博士（文学）		3
博士（学術）			1	
歴史・人類学	史学	文学博士		11（ 2 ）※ 8
		博士（文学）		9（ 4 ）※ 3
		博士（学術）		3（ 1 ）※ 1
	文化人類学	文学博士		6（ 2 ）※ 6
		博士（文学）		9（ 2 ）※ 3
		博士（学術）		2（ 1 ）※ 1
文芸・言語	文学	文学博士		2（ 1 ）※ 2
		博士（文学）		22（ 13 ）※ 14
		博士（学術）		2（ 2 ）※ 1
	各国文学	文学博士		2（ 2 ）※ 1
		博士（文学）		11（ 4 ）※ 2
		博士（学術）		6（ 2 ）※ 5
	言語学	文学博士		8（ 3 ）※ 7
		博士（言語学）		47（ 22 ）※ 35
	教育学	教育学	教育学博士	
教育基礎学		教育学博士		6（ 4 ）※ 5
		博士（教育学）		12（ 8 ）※ 10
学校教育学		教育学博士		2 ※ 2
		博士（教育学）		17（ 7 ）※ 14
心理学	心理学	教育学博士		6（ 1 ）
		博士（心理学）		44（ 13 ）※ 5
		学術博士		4（ 1 ）※ 2
心身障害学	心身障害学	教育学博士		22（ 10 ）※ 2
		博士（教育学）		23（ 11 ）※ 6
		博士（心身障害学）		26（ 15 ）※ 6
		学術博士		1（ 1 ）
		博士（学術）		1
社会科学	法学	法学博士		11 ※ 2
		博士（法学）		23（ 3 ）※ 11
	経済学	経済学博士		1 ※ 1
		博士（経済学）		7（ 1 ）※ 4
	社会学	社会学博士		8（ 2 ）※ 5
		博士（社会学）		24（ 3 ）※ 17
計量計画学	経済学博士		1	
社会工学	計量計画学	学術博士		1 ※ 1
		博士（社会経済）		13（ 3 ）※ 8
		博士（経営工学）		1
	経営工学	学術博士		10（ 1 ）※ 8
		博士（経営工学）		27（ 6 ）※ 18
		博士（社会経済）		1 ※ 1
	都市・地域計画学	学術博士		11（ 1 ）※ 8
		博士（社会工学）		3 ※ 1
		博士（都市・地域計画）		30（ 3 ）※ 20
		博士（経営学）		4（ 1 ）※ 4
		博士（計量ファイナンス）		3
社会経済システム	博士（社会経済）		3（ 1 ）※ 3	
都市・環境システム	博士（社会工学）		9（ 2 ）	
	博士（都市・環境システム）		2 ※ 2	
システム情報数理	博士（数理工学）		1 ※ 1	
国際政治経済学	国際政治経済学	博士（学術）		2（ 1 ）※ 1
		博士（国際政治経済学）		21（ 4 ）※ 15
経営・政策科学	企業科学	博士（法学）		5（ 1 ）
		博士（経営学）		8（ 3 ）
		博士（システム・マネジメント）		10（ 1 ）

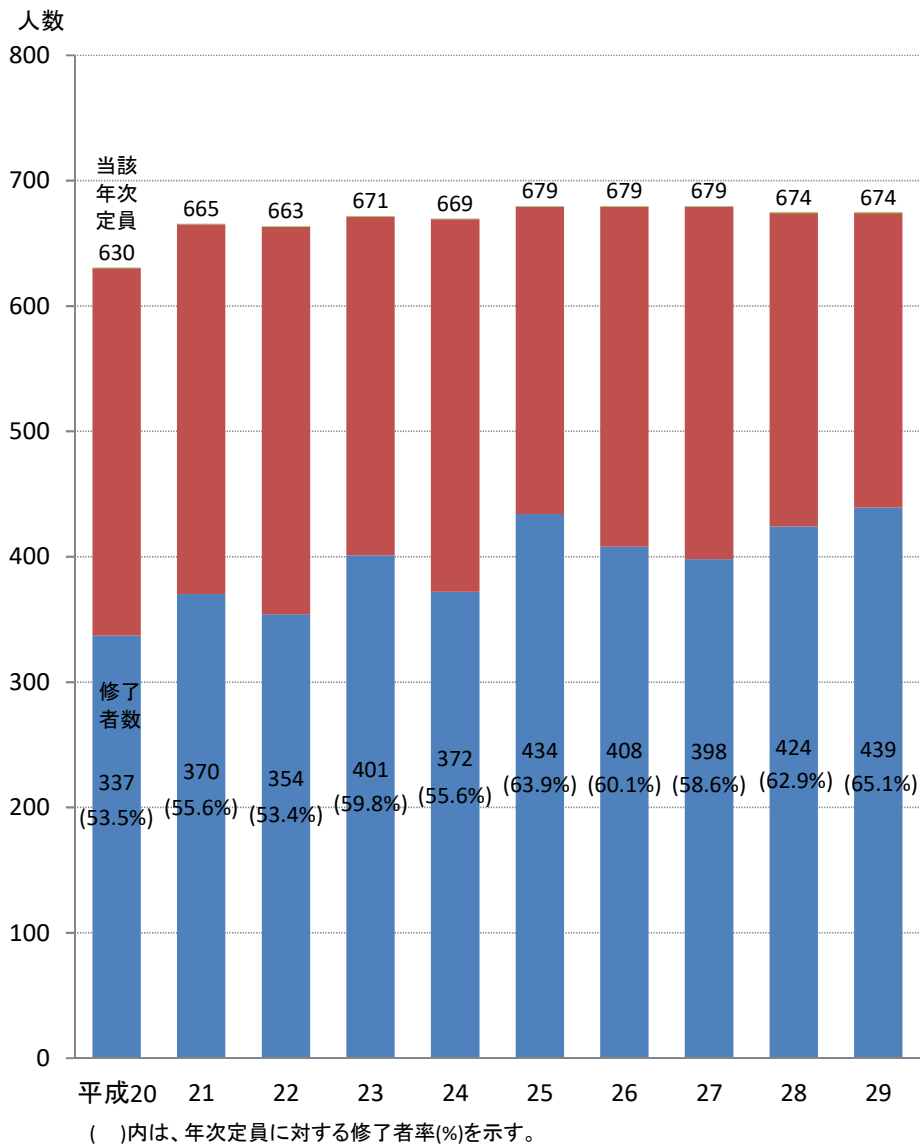
(平成30年3月31日現在)

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度修了者数	累 計
生物科学	生物学	理学博士		36 ( 2 ) ※ 6
		博士(理学)		56 ( 16 ) ※ 5
		博士(生物科学)		3
	生物物理化学	理学博士		34 ( 4 ) ※ 2
		博士(理学)		85 ( 23 ) ※ 9
		博士(学術)		8 ( 1 )
博士(生物科学)			1	
農 学	農林学	農学博士		41 ( 4 ) ※ 13
		博士(農学)		87 ( 9 ) ※ 35
	農林工学	農学博士		21 ※ 10
		博士(農学)		99 ( 13 ) ※ 53
	応用生物化学	農学博士		59 ( 6 ) ※ 18
		博士(農学)		175 ( 41 ) ※ 50
		学術博士		7
		博士(学術)		42 ( 8 ) ※ 5
	数 学	数 学	理学博士	
博士(理学)				53 ( 6 ) ※ 6
博士(数学)				17 ( 1 ) ※ 3
				119 ( 2 ) ※ 3
物理学	物理学	博士(理学)		122 ( 7 ) ※ 9
		博士(物理学)		21 ( 1 ) ※ 1
		学術博士		1
				98 ( 6 ) ※ 6
化 学	化 学	理学博士		94 ( 9 ) ※ 7
		博士(理学)		46 ( 3 ) ※ 19
地球科学	地理学・水文学	理学博士		50 ( 8 ) ※ 15
		博士(理学)		28 ( 3 ) ※ 6
	地質学	理学博士		75 ( 15 ) ※ 28
		博士(理学)		32 ※ 8
工 学	物理工学	工学博士		102 ( 3 ) ※ 21
		博士(工学)		21 ※ 3
	物質工学	工学博士		132 ( 6 ) ※ 31
		博士(工学)		18 ※ 3
	構造工学	工学博士		86 ( 6 ) ※ 26
		博士(工学)		54 ( 4 ) ※ 9
	知能機能工学	工学博士		21 ※ 8
		博士(工学)		134 ( 9 ) ※ 42
医 学	形態系	医学博士		19 ( 1 )
		博士(医学)		103 ( 24 ) ※ 17
	生化系	医学博士		30 ( 4 ) ※ 1
		博士(医学)		114 ( 42 ) ※ 13
	生理系	医学博士		53 ( 3 ) ※ 2
		博士(医学)		173 ( 50 ) ※ 24
	生物系	医学博士		19 ( 4 ) ※ 1
		博士(医学)		67 ( 19 ) ※ 7
	環境生態系	医学博士		34 ( 6 ) ※ 2
		博士(医学)		81 ( 36 ) ※ 7
体育科学	体育科学	教育学博士		30 ( 3 ) ※ 12
		博士(体育科学)		88 ( 11 ) ※ 22
		学術博士		5
		博士(学術)		20 ( 6 ) ※ 6
				4 ( 1 ) ※ 1
芸術学	芸術学	学術博士		34 ( 25 ) ※ 9
		博士(芸術学)		39 ( 11 ) ※ 23
		博士(デザイン学)		
計			439 ( 156 ) ※ 129	8,752 ( 2,202 ) ※ 2,188

(注) 1 ( ) は女子を, ※は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。

2 平成3年7月以降の学位についてその種類が廃止され, 単に「博士」とすることとされた。

## 【博士課程修了状況の推移】



(ウ) 博士課程修士学位授与者

(平成30年3月31日現在)

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度授与者数	累 計	
人文社会科学	哲学・思想	修士(文学)	9 ( 6 ) ※ 4	98 ( 42 ) ※	13
		歴史・人類学	修士(文学)	9 ( 3 ) ※ 2	146 ( 66 ) ※
	文芸・言語	修士(言語学)	9 ( 3 ) ※ 2	165 ( 91 ) ※	55
		修士(文学)	5 ( 2 ) ※ 1	122 ( 67 ) ※	34
		修士(学術)	2 ( 1 )	7 ( 6 ) ※	2
		修士(学術)		16 ( 8 ) ※	3
	現代文化公共政策	修士(言語学)		26 ( 16 ) ※	7
		修士(政治学)		28 ( 13 ) ※	10
		修士(文学)		17 ( 11 ) ※	1
		修士(経済学)		10 ( 2 ) ※	2
	社会科学	修士(社会学)		21 ( 14 ) ※	5
		修士(法学)		24 ( 16 ) ※	4
		修士(国際政治経済学)		94 ( 36 ) ※	76
	国際政治経済学	修士(学術)		2 ( 2 )	
数理物質科学	数学	修士(理学)		43 ( 1 )	
		修士(数学)		4	
	物理学	修士(理学)		58 ( 5 )	
		修士(物理学)		13 ( 1 )	
	化学	修士(理学)		66 ( 14 ) ※	2
	物質創成先端科学	修士(理学)		36 ( 6 )	
		修士(工学)		22 ( 2 )	
	電子・物理工学	修士(物理学)		3	
		修士(工学)		66 ( 3 )	
	物性・分子工学	修士(工学)		76 ( 7 ) ※	2
システム情報工学	社会システム工学	修士(社会経済)		7 ※	1
		修士(社会工学)		53 ( 8 ) ※	6
		修士(工学)		27 ( 2 ) ※	6
	リスク工学	修士(工学)		48 ( 5 ) ※	4
		修士(社会工学)		5 ( 1 )	
	コンピュータサイエンス	修士(工学)		159 ( 11 ) ※	15
	知能機能システム	修士(工学)		134 ( 9 ) ※	6
	構造エネルギー工学	修士(工学)		101 ( 5 ) ※	1
	計量ファイナンス・マネジメント	修士(ファイナンス)		15 ※	1
		修士(マネジメント)		3 ( 1 ) ※	3
修士(社会工学)			10		
生命環境科学	地球環境科学	修士(理学)		79 ( 25 ) ※	4
		修士(地球環境科学)		3 ( 2 )	
	地球進化科学	修士(理学)		63 ( 20 ) ※	4
		修士(地球科学)		1	
	構造生物科学	修士(理学)		36 ( 13 )	
		修士(生物科学)		3 ( 2 ) ※	1
	情報生物科学	修士(理学)		98 ( 37 )	
		修士(生物科学)		8 ( 1 )	
	生命共存科学	修士(理学)		120 ( 44 ) ※	10
		修士(農学)		29 ( 5 ) ※	1
		修士(生命共存科学)		19 ( 6 ) ※	6
		修士(学術)		1	
	環境バイオマス共生学	修士(農学)	1	11 ( 6 ) ※	1
		修士(理学)	7 ( 1 ) ※ 1	37 ( 14 ) ※	5
		修士(学術)		1	
		修士(農学)		54 ( 24 ) ※	6
	国際地縁技術開発科学	修士(生物資源工学)		16 ( 4 ) ※	7
		修士(学術)		14 ( 7 ) ※	3
生物圏資源科学	修士(農学)		89 ( 31 ) ※	15	
	修士(学術)		4 ( 3 ) ※	1	
生物機能科学	修士(農学)		38 ( 12 ) ※	1	
	修士(生物工学)		25 ( 5 ) ※	2	
	修士(学術)		3		

(平成30年3月31日現在)

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度授与者数	累 計		
人間総合科学	教育学	修士(教育学)		37	( 20 ) ※	8
	学校教育学	修士(教育学)		37	( 13 ) ※	4
	心理学	修士(心理学)		46	( 20 )	
	心身障害学	修士(学術)		1		
		修士(心身障害学)		46	( 24 ) ※	4
	ヒューマン・ケア科学	修士(ヒューマン・ケア科学)		43	( 40 ) ※	10
		修士(教育学)		5	( 4 )	
		修士(心理学)		51	( 28 ) ※	1
		修士(体育科学)		2	( 1 )	
	感性認知脳科学	修士(心身障害学)		1		
		修士(学術)		2	( 1 )	
		修士(感性科学)		18	( 7 ) ※	8
		修士(行動科学)		28	( 18 ) ※	2
	スポーツ医学	修士(神経科学)		26	( 11 ) ※	1
		修士(スポーツ医学)		54	( 15 ) ※	16
	体育科学	修士(学術)		6	( 3 )	
修士(体育科学)			62	( 11 ) ※	9	
芸術学	修士(デザイン学)		17	( 8 ) ※	5	
	修士(学術)		1			
	修士(芸術学)		36	( 26 ) ※	5	
哲学・思想	哲 学	文学修士		19	( 1 )	
		修士(文学)		18	( 3 ) ※	1
	哲学・思想	修士(文学)		1		
		文学修士		20	( 3 ) ※	6
	倫理学	修士(文学)		18	( 4 ) ※	2
		修士(学術)		5	※	4
	宗教学・比較思想学	文学修士		30	( 9 ) ※	7
		修士(文学)		20	( 3 ) ※	1
	修士(学術)		3	( 1 )		
歴史・人類学	史 学	文学修士		88	( 14 ) ※	12
		修士(文学)		71	( 23 ) ※	2
		修士(学術)		10	( 3 ) ※	2
	文化人類学	文学修士		65	( 16 ) ※	10
		修士(文学)		48	( 10 ) ※	3
		修士(学術)		5	( 3 ) ※	2
文芸・言語	文 学	文学修士		20	( 7 ) ※	2
		修士(文学)		23	( 11 ) ※	7
		修士(学術)		1	( 1 ) ※	1
	各国文学	文学修士		107	( 39 ) ※	12
		修士(文学)		65	( 22 ) ※	4
		修士(学術)		10	( 4 ) ※	9
	言語学	文学修士		118	( 24 ) ※	16
		修士(言語学)		117	( 56 ) ※	36
		修士(学術)		5	( 4 ) ※	1
教育学	教育学	教育学修士		65	( 4 ) ※	4
	教育基礎学	教育学修士		29	( 10 ) ※	4
		修士(教育学)		64	( 21 ) ※	5
	学校教育学	教育学修士		37	( 6 ) ※	5
修士(教育学)			62	( 18 ) ※	11	
心理学	心理学	教育学修士		94	( 19 ) ※	6
		修士(心理学)		111	( 48 ) ※	9
心身障害学	心身障害学	教育学修士		71	( 16 ) ※	4
		修士(教育学)		23	( 12 ) ※	4
		修士(心身障害学)		48	( 22 ) ※	4
社会科学	法 学	法学修士		17	( 5 ) ※	2
		修士(法学)		35	( 9 ) ※	14
	経済学	経済学修士		12	※	2
		修士(経済学)		21	( 7 ) ※	7
	社会学	社会学修士		23	( 6 ) ※	8
		修士(社会学)		37	( 12 ) ※	15
	計量計画学	経済学修士		2	( 1 )	

(平成30年3月31日現在)

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度授与者数	累 計				
社会工学	計量計画学	学術修士		11	※	1		
		修士(社会経済)		19 ( 2 )	※	7		
	経営工学	学術修士		19	※	5		
		修士(経営工学)		38 ( 8 )	※	15		
	都市・地域計画学	学術修士		8 ( 1 )	※	1		
		修士(都市・地域計画)		32 ( 5 )	※	12		
	社会経済システム	修士(社会経済)		7	※	1		
	システム情報数理	修士(社会工学)		1				
		修士(数理工学)		12 ( 1 )	※	3		
	都市・環境システム	修士(社会工学)		12 ( 6 )				
修士(都市・環境システム)			7 ( 1 )	※	1			
計量ファイナンス・マネジメント	修士(社会工学)		3					
	修士(計量ファイナンス)		10 ( 2 )	※	2			
国際政治経済学	国際政治経済学	修士(国際政治経済学)		52 ( 18 )	※	34		
		修士(学術)		57 ( 24 )	※	33		
生物科学	生物学	理学修士		52 ( 7 )	※	4		
		修士(理学)		78 ( 27 )	※	1		
		修士(生物科学)		6 ( 1 )				
	生物物理化学	理学修士		74 ( 16 )	※	2		
修士(理学)			113 ( 44 )	※	2			
修士(生物科学)			1 ( 1 )					
農 学	農林学	農学修士		64 ( 2 )	※	14		
		修士(農学)		122 ( 29 )	※	18		
	農林工学	農学修士		47 ( 1 )	※	8		
		修士(農学)		80 ( 15 )	※	13		
	応用生物化学	農学修士		112 ( 13 )	※	10		
修士(農学)		177 ( 51 )	※	12				
数 学	数 学	理学修士		90 ( 2 )	※	2		
		修士(理学)		76 ( 11 )	※	2		
		修士(数学)		46 ( 5 )				
物理学	物理学	理学修士		178 ( 6 )	※	1		
		修士(理学)		156 ( 9 )				
		修士(物理学)		54 ( 5 )				
化 学	化 学	理学修士		111 ( 13 )	※	4		
		修士(理学)		117 ( 19 )	※	1		
		修士(化学)		3 ( 1 )				
地球科学	地理学・水文学	理学修士		83 ( 5 )	※	15		
		修士(理学)		79 ( 11 )	※	2		
		修士(地球科学)		1				
	地質学	理学修士		42 ( 6 )	※	6		
		修士(理学)		74 ( 14 )	※	19		
修士(地球科学)		1						
工 学	物理工学	工学修士		53				
		修士(工学)		155 ( 4 )	※	1		
	物質工学	工学修士		58 ( 4 )				
		修士(工学)		172 ( 10 )	※	2		
	構造工学	工学修士		63 ( 1 )				
	修士(工学)		171 ( 7 )	※	3			
知能機能工学	修士(工学)		101 ( 4 )	※	1			
電子・情報工学	工学修士		60 ( 1 )	※	2			
	修士(工学)		203 ( 11 )	※	9			
体育科学	体育科学	教育学修士		96 ( 11 )	※	23		
		修士(体育科学)		118 ( 24 )	※	27		
芸術学	芸術学	学術修士		34 ( 15 )	※	2		
		修士(芸術学)		35 ( 22 )	※	5		
		修士(デザイン学)		23 ( 9 )	※	9		
計			42 ( 16 )	※	10	8,306 ( 1,966 )	※	996

(注) 1 ( ) は女子を, ※は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。

2 平成3年7月以降の学位についてその種類が廃止され, 単に「修士」とすることとされた。

(エ) 論文博士学位授与者

(平成30年3月31日現在)

	学位(専攻分野の名称)	本年度授与者数	累 計	
平成3年6月までの 学位授与数	文学博士		72 ( 4 ) ※	11
	教育学博士		86 ( 13 ) ※	12
	法学博士		1	
	経済学博士		2	
	社会学博士		2 ( 1 ) ※	1
	理学博士		290 ( 19 ) ※	11
	農学博士		67 ( 1 ) ※	6
	工学博士		33 ( 1 )	
	学術博士		22 ( 1 ) ※	3
	医学博士		122 ( 13 ) ※	1
平成3年7月以降の 学位授与数	博士(文学)	6 ( 4 )	230 ( 45 ) ※	20
	博士(言語学)	2 ※ 2	70 ( 15 ) ※	11
	博士(国際日本研究)	1 ※ 1	2 ※ 2	
	博士(教育学)	1	107 ( 17 ) ※	8
	博士(心理学)	1 ( 1 )	79 ( 28 ) ※	3
	博士(心身障害学)		27 ( 9 ) ※	1
	博士(法学)		23 ( 3 ) ※	4
	博士(政治学)	1 ( 1 )	3 ( 2 ) ※	1
	博士(経済学)		11 ( 1 )	
	博士(社会学)		23 ( 9 ) ※	2
	博士(経営学)		8 ( 2 )	
	博士(社会工学)		3 ※ 1	
	博士(社会経済)		10 ※ 1	
	博士(経営工学)		6 ( 1 ) ※ 1	
	博士(数理工学)		1 ※ 1	
	博士(都市・地域計画)		4 ( 1 ) ※ 2	
	博士(ファイナンス)		1	
	博士(マネジメント)		1	
	博士(システムズ・マネジメント)		5 ( 1 )	
	博士(国際政治経済学)		15 ( 10 ) ※ 7	
	博士(理学)	2	276 ( 44 ) ※ 20	
	博士(生物科学)	1 ( 1 ) ※ 1	6 ( 3 ) ※ 1	
	博士(数学)		8 ( 2 )	
	博士(物理学)		1	
	博士(化学)		2 ( 1 )	
	博士(地球科学)		1 ※ 1	
	博士(農学)	5 ※ 2	225 ( 31 ) ※ 27	
	博士(生物資源工学)	1	5 ※ 1	
	博士(生物工学)		19 ( 6 ) ※ 4	
	博士(工学)	2	304 ( 24 ) ※ 35	
	博士(生命共存科学)		1	
	博士(感性科学)		10 ( 3 ) ※ 1	
	博士(障害科学)		5 ( 1 )	
	博士(行動科学)		8 ( 3 )	
	博士(神経科学)		5 ( 1 )	
	博士(リハビリテーション科学)		2 ( 1 )	
	博士(スポーツ医学)		10 ( 3 )	
	博士(医学)	9 ( 3 )	394 ( 69 ) ※ 7	
	博士(看護科学)		1	
	博士(体育科学)	2	103 ( 8 ) ※ 7	
	博士(ヒューマン・ケア科学)		5 ( 5 )	
	博士(芸術学)	2 ( 1 )	34 ( 7 ) ※ 1	
	博士(世界遺産学)		1	
	博士(コーチング学)	1	7	
	博士(デザイン学)		19 ( 7 ) ※ 2	
	博士(学術)	3 ( 1 ) ※ 1	78 ( 23 ) ※ 13	
博士(図書館情報学)		6 ( 2 ) ※ 2		
博士(情報学)	2 ( 1 )	9 ( 1 ) ※ 1		
計	42 ( 13 ) ※ 7	2,871 ( 442 ) ※ 233		

(注) 1 ( ) は女子を, ※は外国人をそれぞれ内数で示す。

2 平成3年7月以降の学位についてその種類が廃止され, 単に「博士」とすることとされた。



**(オ) 専門職課程修了者**

(平成30年3月31日現在)

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度修了者数	累 計
ビジネス科学	国際経営プロフェッショナル	国際経営修士(専門職)	33 ( 16 ) ※ 1	363 ( 132 ) ※ 49
	法曹(法科大学院)	法務博士(専門職)	27 ( 2 )	317 ( 66 )
合 計			60 ( 18 ) ※ 1	680 ( 198 ) ※ 49

(注) 1. ( )は女子を, ※は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。

**(5) 特別支援学校教員資格認定試験**

科目	受験者数	第1次試験 合格者数	第2次試験 合格者数	合格率
視覚障害教育	45 [5]	12 [5]	5	11.1%
言語障害教育	125 [19]	34 [19]	15	12.0%
合 計	170 [24]	46 [24]	20	11.8%

(注) 1. [ ]は、第1次試験免除者を内数で示す。

2. 試験日程等は、次のとおりである。

第1次試験	8月 6日(日)	場所	東京キャンパス文京校舎
第2次試験	10月 1日(日)	場所	東京キャンパス文京校舎
最終合格発表	11月20日(月)	文部科学省ホームページ及び官報にて官庁報告	

(6) 学生の身分異動

ア 学群

学群・学類		休学	退学	除籍	計
人文 文化学群	人文学類	21 (11)	7 (3)		28 (14)
	比較文化学類	23 (11)	5 (4)		28 (15)
	日本語・日本文化学類	9 (6)	5 (3)		14 (9)
社会・国 際学群	社会学類	9 (3)	1	1	11 (3)
	国際総合学類	14 (6)	2 (1)	2 (1)	18 (8)
人間学群	教育学類	6 (2)	1		7 (2)
	心理学類	14 (6)	1		15 (6)
	障害科学類	1 (1)	1 (1)		2 (2)
生命 環境学群	生物学類	11 (3)	7		18 (3)
	生物資源学類	17 (9)	3 (1)		20 (10)
	地球学類	8 (1)	2		10 (1)
理工学群	数学類	9 (1)	3	1	13 (1)
	物理学類	14	3		17 (0)
	化学類	4 (1)	2		6 (1)
	応用理工学類	14 (1)	5		19 (1)
	工学システム学類	21 (1)	6 (1)	1 (1)	28 (3)
	社会工学類	17	3		20 (0)
情報学群	情報科学類	17 (2)	7 (1)		24 (3)
	情報メディア創成学類	6	6 (1)		12 (1)
	知識情報・図書館学類	14 (6)	8 (4)		22 (10)
医学群	医学類	19 (3)	2		21 (3)
	看護学類	9 (9)	1 (1)		10 (10)
	医療科学類	5 (2)	4 (3)		9 (5)
体育専門学群	20 (7)	4	1	25 (7)	
芸術専門学群	21 (16)	5 (4)		26 (20)	
学群計		323 (108)	94 (28)	6 (2)	423 (138)

(注) ( ) は女子を内数で示す。

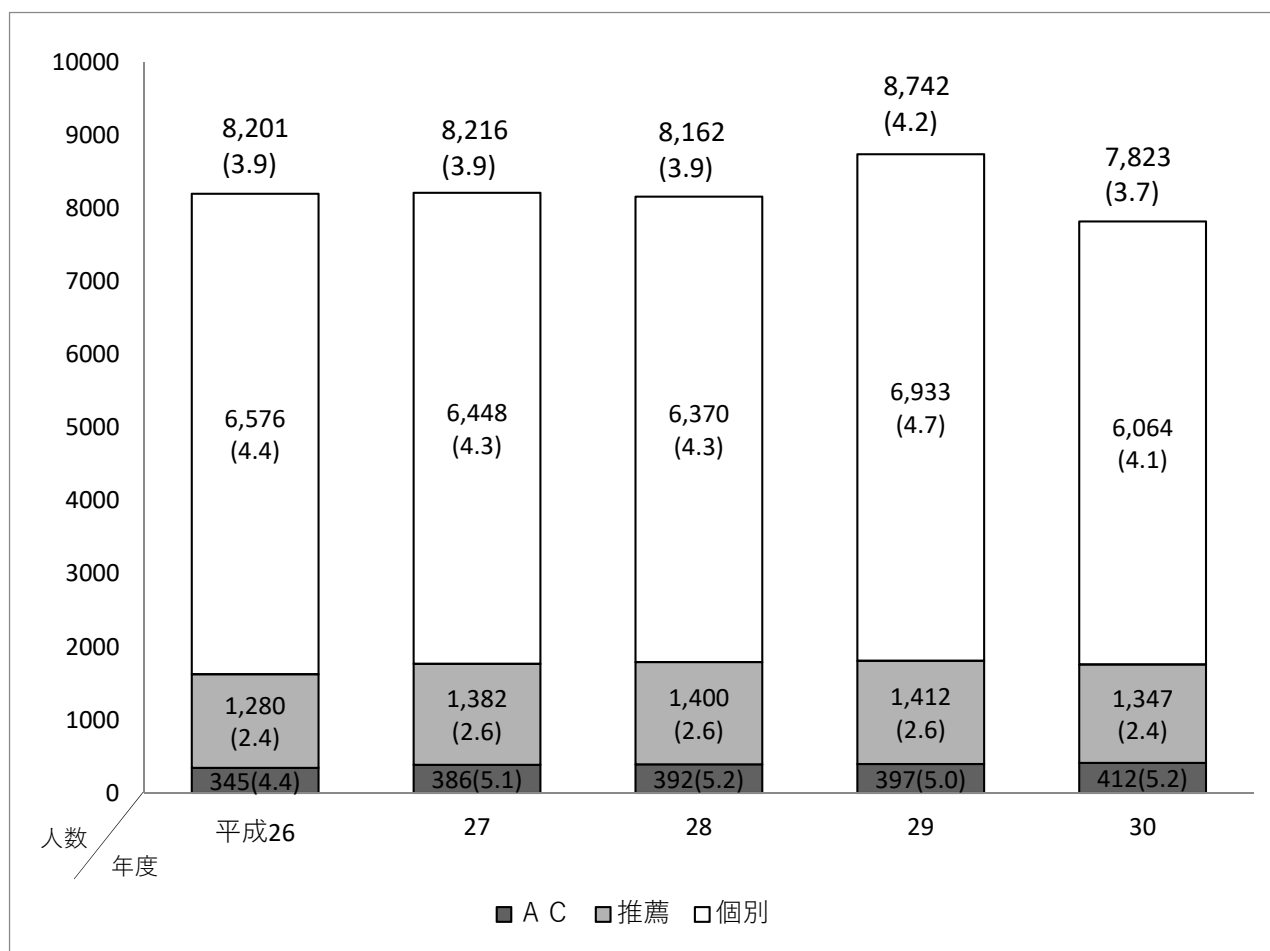
イ 大学院

所 属		休学	退学	除籍	計
教育研究科	修 士 課 程	17 (10)	9 (4)		26 (14)
人文社会科学研究科	一貫制博士課程	62 (37)	31 (13)	1	94 (50)
	修 士 課 程	3 (2)	1		4 (2)
	博 士 前 期 課 程	13 (12)	8 (6)	1	22 (18)
	博 士 後 期 課 程	35 (20)	13 (5)		48 (25)
ビジネス科学研究科	博 士 前 期 課 程	40 (10)	10 (3)		50 (13)
	博 士 後 期 課 程	62 (16)	10 (3)		72 (19)
	専 門 職 学 位 課 程	31 (10)	17 (6)		48 (16)
数理物質科学研究科	一貫制博士課程				0 (0)
	博 士 前 期 課 程	20 (1)	13 (1)	2 (1)	35 (3)
	博 士 後 期 課 程	18 (3)	12 (1)		30 (4)
	3 年 制 博 士 課 程		2		2 (0)
システム情報工学研究科	一貫制博士課程				0 (0)
	博 士 前 期 課 程	30 (7)	20 (4)	1	51 (11)
	博 士 後 期 課 程	43 (6)	18 (2)	1 (1)	62 (9)
生命環境科学研究科	一貫制博士課程	3 (1)	8 (1)		11 (2)
	博 士 前 期 課 程	35 (18)	33 (17)		68 (35)
	博 士 後 期 課 程	47 (19)	26 (7)	2 (1)	75 (27)
	3 年 制 博 士 課 程	4 (3)			4 (3)
人間総合科学研究科	一貫制博士課程	31 (13)	19 (10)	2	52 (23)
	修 士 課 程	10 (5)	6 (4)		16 (9)
	博 士 前 期 課 程	65 (30)	24 (11)	2	91 (41)
	博 士 後 期 課 程	124 (69)	36 (12)		160 (81)
	3 年 制 博 士 課 程	59 (29)	19 (9)	1	79 (38)
図書館情報メディア研究科	博 士 前 期 課 程	8 (3)	3	1	12 (3)
	博 士 後 期 課 程	21 (6)	4 (2)		25 (8)
グローバル教育院	一貫制博士課程	2 (2)	1 (1)		3 (3)
	博 士 前 期 課 程				0 (0)
	博 士 後 期 課 程		1		1 (0)
大 学 院 計		783 (332)	344 (122)	14 (3)	1,141 (457)

(注) ( ) は女子を内数で示す。



### [志願者数の推移]



(注) ( ) は、志願倍率を示す。

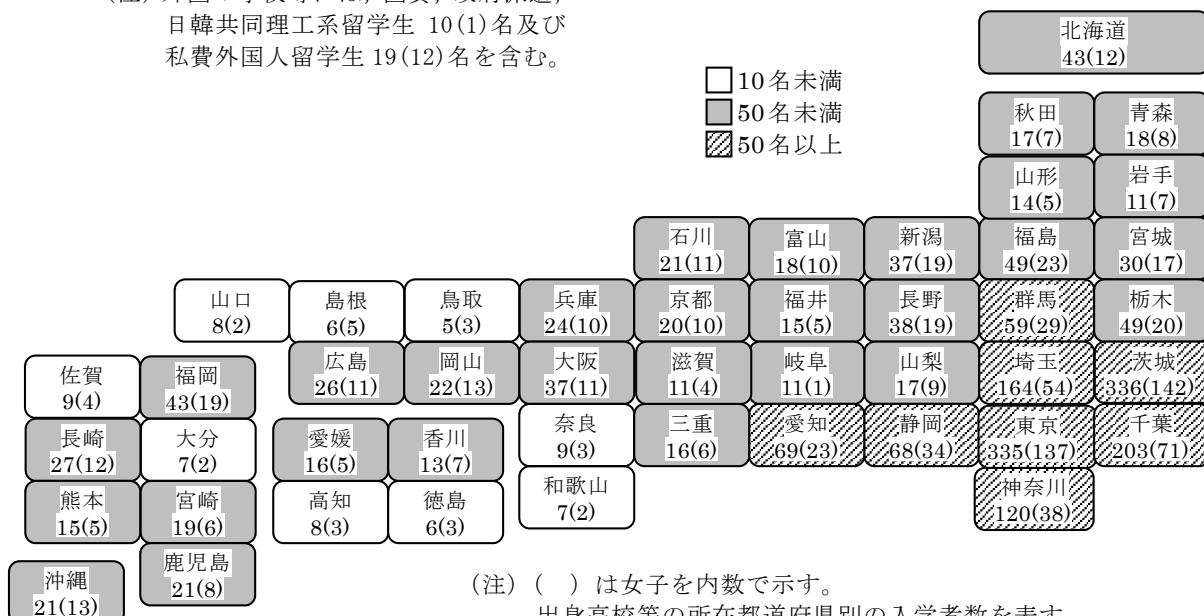
私費外国人留学生入試を除く。

### [平成 30 年度都道府県等別入学者数]

平成 30 年 4 月 1 日現在

高卒認定試験	6 (3)
外国の学校等	32 (13)

(注) 外国の学校等には、国費、政府派遣、日韓共同理工系留学生 10 (1) 名及び私費外国人留学生 19 (12) 名を含む。



(注) ( ) は女子を内数で示す。

出身高校等の所在都道府県別の入学者数を表す。

(イ) 平成29年度入学者選抜 (秋学期入学)

(平成29年10月1日現在)

学群・学類	帰国生徒特別入試(10月入学)			学群英語コース入試			Japan-Expert(学士)プログラム特別入試		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
人文・文化学群	人文学類								
	比較文化学類								
	日本語・日本文化学類						( 8 ) 17	( 3 ) 4	( 3 ) 4
	小 計						( 8 ) 17	( 3 ) 4	( 3 ) 4
社会・国際学群	社会学類	( 3 ) 5	( 0 ) 1	( 0 ) 0	( 16 ) 37	( 7 ) 11	( 7 ) 9		
	国際総合学類	( 5 ) 10	( 3 ) 4	( 3 ) 4	( 36 ) 50	( 14 ) 15	( 9 ) 10		
	小 計	( 8 ) 15	( 3 ) 5	( 3 ) 4	( 52 ) 87	( 21 ) 26	( 16 ) 19		
人間学群	教育学類	( 2 ) 2	( 0 ) 0	( 0 ) 0					
	心理学類	( 3 ) 4	( 0 ) 0	( 0 ) 0					
	障害科学類	( 2 ) 2	( 1 ) 1	( 1 ) 1					
	小 計	( 7 ) 8	( 1 ) 1	( 1 ) 1					
生命環境学群	生物学類	( 2 ) 5	( 1 ) 1	( 1 ) 1	( 21 ) 36	( 12 ) 18	( 10 ) 15		
	生物資源学類	( 0 ) 3	( 0 ) 0	( 0 ) 0	( 16 ) 33	( 10 ) 14	( 3 ) 7	( 2 ) 4	( 0 ) 1
	地球学類	( 1 ) 1	( 1 ) 1	( 1 ) 1	( 2 ) 13	( 1 ) 4	( 1 ) 3		
	小 計	( 3 ) 9	( 2 ) 2	( 2 ) 2	( 39 ) 82	( 23 ) 36	( 14 ) 25	( 2 ) 4	( 0 ) 1
理工学群	数学類								
	物理学類								
	化学類								
	応用理工学類								
	工学システム学類								
	社会工学類								
	小 計								
情報学群	情報科学類								
	情報メディア創成学類								
	知識情報・図書館学類								
小 計									
医学群	医学類								
	看護学類						( 1 ) 2	( 1 ) 2	( 1 ) 2
	医療科学類				( 0 ) 2	( 0 ) 1	( 0 ) 1		
	小 計				( 0 ) 2	( 0 ) 1	( 0 ) 1	( 1 ) 2	( 1 ) 2
体育専門学群									
芸術専門学群							( 6 ) 10	( 0 ) 1	( 0 ) 1
合 計	( 18 ) 32	( 6 ) 8	( 6 ) 7	( 91 ) 171	( 44 ) 63	( 30 ) 45	( 17 ) 33	( 4 ) 8	( 4 ) 8
前年度合計	( 13 ) 34	( 6 ) 9	( 6 ) 9	( 76 ) 158	( 43 ) 68	( 34 ) 54	( 12 ) 17	( 7 ) 7	( 6 ) 6

- (注) 1. ( )内は、女子を内数で示す。  
 2. 帰国生徒特別入試とは、海外帰国生徒(海外で2年以上継続在学)の学校推薦入試選抜を行うものである。(旧第2学期推薦入試)  
 3. 学群英語コース入試とは、英語で授業を受け学位が取得できるコースの入試である。  
 (入学時期は平成29年9月入学。生命環境学群生物学類の志願者数、合格者数、入学者数には1(0)名、地球学類の志願者数には1(0)名の編入学が含まれる。医学群医療科学類は第3年次編入学)

地球規模課題学位プログラム(学士)入試			
	志願者数	合格者数	入学者数
合 計	( 13 ) 27	( 5 ) 9	( 3 ) 6

(注) 平成29年度より実施。

## (ウ) 編入学

(平成30年4月1日現在)

学群・学類	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	
人文・文化学群	人文学類				
	比較文化学類				
	日本語・日本文化学類				
	小計				
社会・国際学群	社会学類	10	( 22 ) 65	( 5 ) 11	( 5 ) 11
	国際総合学類				
	小計		( 22 ) 65	( 5 ) 11	( 5 ) 11
人間学群	教育学類				
	心理学類				
	障害科学類				
	小計				
生命環境学群	生物学類	若干名	( 6 ) 17	( 0 ) 0	( 0 ) 0
	生物資源学類	10	( 12 ) 32	( 6 ) 12	( 6 ) 12
	地球学類	若干名	( 0 ) 6	( 0 ) 2	( 0 ) 1
	小計		( 18 ) 55	( 6 ) 14	( 6 ) 13
理工学群	数学類	若干名	( 0 ) 14	( 0 ) 2	( 0 ) 2
	物理学類	若干名	( 4 ) 14	( 0 ) 1	( 0 ) 0
	化学類	若干名	( 3 ) 17	( 0 ) 1	( 0 ) 1
	応用理工学類	10	( 8 ) 69	( 0 ) 20	( 0 ) 11
	工学システム学類	若干名	( 2 ) 63	( 0 ) 13	( 0 ) 4
	社会工学類	若干名	( 1 ) 17	( 0 ) 3	( 0 ) 1
	小計		( 18 ) 194	( 0 ) 40	( 0 ) 19
	情報学群	情報科学類 (単願)		( 0 ) 37	( 0 ) 3
情報科学類 (併願 第1志望)		( 1 ) 45	( 1 ) 15	( 1 ) 12	
情報科学類 (併願 第2志望)	10		( 0 ) 0	( 0 ) 0	
情報メディア創成学類 (単願)		( 3 ) 34	( 0 ) 6	( 0 ) 4	
情報メディア創成学類 (併願 第1志望)		( 2 ) 16	( 0 ) 4	( 0 ) 4	
情報メディア創成学類 (併願 第2志望)	10		( 0 ) 3	( 0 ) 3	
知識情報・図書館学類	10	( 19 ) 37	( 7 ) 13	( 6 ) 12	
小計		( 25 ) 169	( 8 ) 44	( 7 ) 37	
医学群	医学類	5	( 32 ) 116	( 0 ) 8	( 0 ) 5
	看護学類	10	( 23 ) 25	( 10 ) 10	( 10 ) 10
	医療科学類	3	( 2 ) 7	( 0 ) 1	( 0 ) 1
	小計		( 57 ) 148	( 10 ) 19	( 10 ) 16
体育専門学群					
芸術専門学群					
合計		( 140 ) 631	( 29 ) 128	( 28 ) 96	
前年度合計		( 155 ) 698	( 37 ) 166	( 32 ) 118	

(注) 1. ( )内は、女子を内数で示す。

2. 編入学とは、大学等に2年以上在学した者で、2年又は3年次に入学するものである。

# イ 大学院 (ア) 平成30年度大学院入学者選抜

(平成30年4月1日現在)

平成30年度大学院入学者数 (課程別)

課程	定員	志願者数	女子内数		外国人留学生内数		合格者数	女子内数		外国人留学生内数		入学者数	女子内数		外国人留学生内数	
			女子内数	外国人留学生内数	女子内数	外国人留学生内数		女子内数	外国人留学生内数	女子内数	外国人留学生内数					
修士課程	224	340	153	45	324	148	44	212	104	30	23	189	87	27		
博士前期課程	1,427 [39]	2,783 [69]	984	608	2,660 [65]	942	579	1,754 [45]	554	307	184 [9]	1,570 [36]	502	284		
専門職学位課程	66	164	46	6	155	45	6	80	28	1	10	70	26	1		
一貫制博士課程	59 [1]	120 [0]	49	57	119 [0]	49	56	70 [0]	26	27	9 [0]	61 [0]	20	23		
一貫制博士課程(3年次編入)		15 [0]	7	10	15 [0]	7	10	12 [0]	7	7	1 [0]	11 [0]	6	7		
博士後期課程	507 [39]	473 [25]	168	112	467 [25]	168	110	358 [24]	125	93	18 [1]	340 [23]	114	85		
3年制博士課程	51 [15]	89 [22]	30	16	86 [21]	28	15	63 [13]	24	8	0 [0]	63 [13]	24	8		
医学を履修する博士課程	62 [0]	83 [1]	22	10	83 [1]	22	10	82 [1]	22	10	2 [0]	80 [1]	21	10		
合計	2,396 [94]	4,067 [117]	1,459	864	3,909 [112]	1,409	830	2,631 [83]	890	483	247 [10]	2,384 [73]	800	445		

注) 1. [ ]内は、連携大学院方式を内数で示す。  
2. 特別プログラム等の対象者は除く。

平成30年度大学院入学者数 (研究科別)

研究科	課程	専攻	定員	志願者数	女子内数		外国人留学生内数		合格者数	女子内数		外国人留学生内数		入学者数	女子内数		外国人留学生内数	
					女子内数	外国人留学生内数	女子内数	外国人留学生内数		女子内数	外国人留学生内数	女子内数	外国人留学生内数					
教 育	修士	スクールリーダーシップ開発	20	21	10	3	20	10	3	15	7	0	1	14	6	0		
		社会人特別選抜		6	1	0	6	1	0	5	0	0	0	5	0	0		
		教科教育	80	78	26	0	70	23	0	62	22	0	7	55	16	0		
		社会人特別選抜		7	3	0	7	3	0	4	2	0	0	4	2	0		
		教育学(国際教育)修士プログラム		15	7	8	15	7	8	7	4	5	0	7	4	5		
		社会人特別選抜		5	4	0	5	4	0	4	3	0	0	4	3	0		
計	100	132	51	11	123	48	11	97	38	5	8	89	31	5				
人 文 社 会 学 科	一貫制	哲学・思想	6	11	4	4	11	4	4	7	3	3	1	6	2	3		
		歴史・人類学	12	29	11	12	29	11	12	15	6	7	4	11	4	6		
		文芸・言語	20	41	18	25	40	18	24	19	8	7	2	17	6	6		
		小計	38	81	33	41	80	33	40	41	17	17	7	34	12	15		
	一貫制(3年次編入)	哲学・思想	若干名	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0		
		歴史・人類学	若干名	3	2	2	3	2	2	3	2	2	1	2	1	2		
		文芸・言語	若干名	6	2	4	6	2	4	3	2	1	0	3	2	1		
		小計	10	10	4	6	10	4	6	7	4	3	1	6	3	3		
	修士	国際地域研究	36	21	11	16	20	10	15	14	8	10	2	12	7	9		
		小計	36	21	11	16	20	10	15	14	8	10	2	12	7	9		
	博士前期	現代語・現代文化	10	15	6	4	14	5	4	9	2	1	1	8	2	0		
		国際公共政策	15	37	20	19	33	19	17	17	9	4	2	15	7	4		
		国際日本研究	25	94	74	81	92	72	79	39	30	33	6	33	25	27		
		社会人特別選抜	若干名	9	8	5	8	7	4	3	2	1	0	3	2	1		
	小計	50	155	108	109	147	103	104	68	43	39	9	59	36	32			
	博士後期	現代語・現代文化	8	6	4	1	6	4	1	6	4	1	0	6	4	1		
		国際公共政策	10	8	6	4	8	6	4	7	5	3	1	6	4	3		
		国際日本研究	19	21	12	17	21	12	17	15	8	12	1	14	7	11		
		社会人特別選抜	若干名	6	4	1	6	4	1	6	4	1	1	5	3	1		
	小計	37	41	26	23	41	26	23	34	21	17	3	31	18	16			
	計	161	308	182	195	298	176	188	164	93	86	22	142	76	75			

注) 1. 教育研究科の定員には、現職教員1年制プログラムを含む。  
2. 修士課程国際地域研究専攻、博士前期課程国際日本研究専攻には、特別プログラムの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。

研究科	課程	専攻	定員	志願者数	女子内数		外国人留学生内数		合格者数	女子内数		外国人留学生内数		入学者数	女子内数		外国人留学生内数	
					女子内数	外国人留学生内数	女子内数	外国人留学生内数		女子内数	外国人留学生内数	女子内数	外国人留学生内数					
ビ ジ ネ ス 学 科	博士前期	※経営システム科学	30	110	22	0	109	22	0	36	10	0	6	30	9	0		
		※企業法学	30	69	16	0	69	16	0	34	7	0	4	30	7	0		
	小計	60	179	38	0	178	38	0	70	17	0	10	60	16	0			
	博士後期	※企業科学	23	74	12	0	73	12	0	25	6	0	2	23	6	0		
		小計	23	74	12	0	73	12	0	25	6	0	2	23	6	0		
	専門職学位	※法曹	36	88	21	0	80	20	0	45	14	0	8	37	13	0		
		※国際経営プロフェッショナル	30	76	25	6	75	25	6	35	14	1	2	33	13	1		
小計		66	164	46	6	155	45	6	80	28	1	10	70	26	1			
計	149	417	96	6	406	95	6	175	51	1	22	153	48	1				

注) 1. ※は、専ら夜間において教育を行う課程。



研究科	課程	専攻	定員	志願者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	受験者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	合格者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	辞退者数	入学者数	女子 内数	外国人 留学生 内数
数 理 物 質 科 学	博士前期	数学	26	48	2	0	46	2	0	29	1	0	5	24	0	0
		社会人特別選抜	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		物理学	48	131	17	2	126	17	2	86	12	1	26	60	7	1
		社会人特別選抜	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		化学	46	70	23	11	68	21	9	51	13	3	4	47	13	3
		社会人特別選抜	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電子・物理工学	51	110	8	22	102	7	22	69	4	8	6	63	4	6
		社会人特別選抜	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		物性・分子工学	59	101	24	25	95	22	24	75	18	15	6	69	16	15
		社会人特別選抜	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	240	461	74	60	437	69	57	310	48	27	47	263	40	25	
	博士後期	数学	12	3	0	1	3	0	1	3	0	1	0	3	0	1
		社会人特別選抜	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		物理学	20	6	1	1	6	1	1	6	1	1	0	6	1	1
		社会人特別選抜	若干名	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	0
		化学	16	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
		社会人特別選抜	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ナノサイエンス・ナノテクノロジー	25	7	1	3	7	1	3	7	1	3	0	7	1	3
		社会人特別選抜	若干名	4	0	4	1	0	0	4	0	0	0	4	0	0
		電子・物理工学	16	7	2	4	7	2	4	7	2	4	0	7	2	4
		社会人特別選抜	若干名	2	0	2	1	0	0	2	0	0	2	1	0	0
	物性・分子工学	13	3	0	1	3	0	1	3	0	1	0	3	0	1	
	社会人特別選抜	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小 計	102	35	4	10	35	4	10	35	4	10	1	34	4	10	
	3年制博士	物質・材料工学	9	17	1	11	16	1	10	9	1	4	0	9	1	4
		社会人特別選抜	若干名	2	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0
	小 計	9	19	1	11	18	1	10	10	1	4	0	10	1	4	
	計	351	515	79	81	490	74	77	355	53	41	48	307	45	39	

注) 1. { }内は、連携大学院方式を内数で示す。  
2. 博士前期課程電子・物理工学専攻には、特別プログラムの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。

シ ン 報 テ 工 学	博士前期	社会工学	98	175	61	69	170	58	67	134	41	43	10	124	39	41
		社会人特別選抜	10	8	2	0	8	2	0	7	2	0	0	7	2	0
		リスク工学	28	47	7	13	43	7	12	40	6	10	4	36	5	8
		社会人特別選抜	2	2	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
		コンピュータサイエンス	111	213	31	75	196	27	67	153	14	38	7	146	13	35
		社会人特別選抜	2	5	2	4	4	2	3	4	2	3	0	4	2	3
		知能機能システム	106	197	21	40	184	20	38	138	14	25	29	109	13	23
		社会人特別選抜	2	3	1	2	2	1	1	2	1	1	0	2	1	1
		構造エネルギー工学	66	142	21	16	135	19	16	108	16	8	16	92	12	7
		社会人特別選抜	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2	0	2	0	2
	小 計	427	794	146	222	745	136	206	589	96	130	66	523	87	120	
	博士後期	社会工学	21	13	5	7	13	5	7	12	4	6	2	10	3	5
		社会人特別選抜	5	6	1	1	6	1	1	4	0	1	0	4	0	1
		リスク工学	10	4	0	2	4	0	2	4	0	2	0	4	0	2
		社会人特別選抜	2	11	1	0	10	1	0	10	1	0	0	10	1	0
		コンピュータサイエンス	24	12	5	9	11	5	8	11	5	8	1	10	5	7
		社会人特別選抜	4	4	0	0	3	0	0	3	0	0	0	3	0	0
		知能機能システム	22	14	3	0	14	0	3	13	0	3	1	12	0	3
		社会人特別選抜	2	8	1	0	8	1	0	8	1	0	0	8	1	0
		構造エネルギー工学	14	3	0	0	3	0	0	3	0	0	0	3	0	0
社会人特別選抜		2	5	0	0	5	0	0	5	0	0	0	5	0	0	
小 計	106	80	13	22	77	13	21	73	11	20	4	69	10	18		
計	533	874	159	244	822	149	227	662	107	150	70	592	97	138		

注) 1. { }内は、連携大学院方式を内数で示す。  
2. 博士前期課程社会工学専攻の再入学者1名は除く。  
3. 博士前期課程コンピュータサイエンス専攻には、デュアルディグリープログラム(副専攻)の1名を除く。



研究科	課程	専攻	定員	志願者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	受験者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	合格者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	辞退者数	入学者数	女子 内数	外国人 留学生 内数
人間総合科学	医学の課程	生命システム医学	28	15	6	3	15	6	3	15	6	3	0	15	6	3
		社会人特別選抜	若干名	7	0	0	7	0	0	7	0	0	1	6	0	0
		疾患制御医学	34	37 (1)	12	7	37 (1)	12	7	37 (1)	12	7	0	37 (1)	12	7
		社会人特別選抜	若干名	24	4	0	24	4	0	23	4	0	1	22	3	0
	小計		62 (0)	83 (1)	22	10	83 (1)	22	10	82 (1)	22	10	2 (0)	80 (1)	21	10
	3年制博士	ヒューマン・ケア科学	18	30	18	4	28	16	4	27	15	4	0	27	15	4
		スポーツ医学	10	11	3	0	11	3	0	9	3	0	0	9	3	0
		コーチング学	5	15	3	0	15	3	0	8	1	0	0	8	1	0
		大学体育スポーツ高度化共同	3	4	3	1	4	3	1	3	2	0	0	3	2	0
		スポーツウエルネス学位プログラム ※	若干名	7	1	0	7	1	0	3	1	0	0	3	1	0
	小計		36	67	28	5	65	26	5	50	22	4	0	50	22	4
	計		616 (0)	1,203 (16)	633	152	1,167 (15)	616	149	670 (11)	341	81	43 (2)	627 (9)	312	75

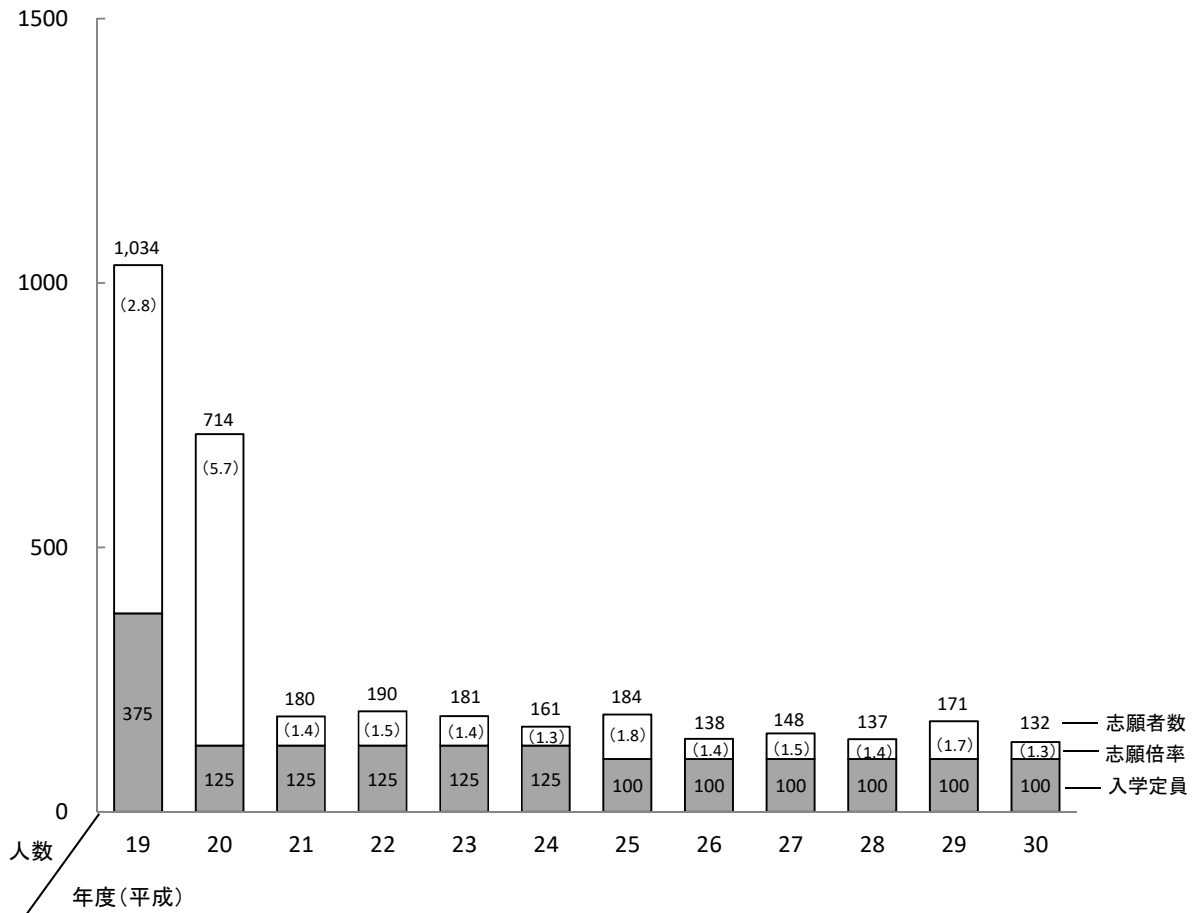
注) 1. ( )内は、連携大学院方式を内数で示す。なお、修士課程フロンティア医科学専攻、博士前期課程心理専攻、感性認知科学専攻、博士後期課程心理学専攻、感性認知科学専攻、医学の課程生命システム医学専攻及び疾患制御医学専攻、3年制博士課程ヒューマン・ケア科学専攻については、内数を明示していないが、連携大学院方式の募集あり。  
2. ※は、専ら夜間において教育を行う課程。  
3. 修士課程スポーツ国際開発学共同専攻及び3年制博士課程大学体育スポーツ高度化共同専攻には、鹿屋体育大学を主として在籍する者を除く。  
4. 博士前期課程看護科学専攻の再入学者1名を除く。  
5. 修士課程フロンティア医科学専攻、博士前期課程教育学専攻、医学の課程生命システム医学専攻、疾患制御医学専攻には、特別プログラムの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。

図書館情報メディア	博士前期	図書館情報メディア	37	91	34	30	88	32	29	47	17	8	3	44	15	8
		社会人特別選抜	若干名	6	2	0	6	2	0	3	2	0	0	3	2	0
	小計		37 (0)	97 (0)	36	30	94 (0)	34	29	50 (0)	19	8	3 (0)	47 (0)	17	8
	博士後期	図書館情報メディア	21	6	4	0	6	4	0	6	4	0	0	6	4	0
		社会人特別選抜	若干名	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0
小計		21 (0)	7 (0)	5	0	7 (0)	5	0	7 (0)	5	0	0 (0)	7 (0)	5	0	
計		58 (0)	104 (0)	41	30	101 (0)	39	29	57 (0)	24	8	3 (0)	54 (0)	22	8	

注) 1. ( )内は、連携大学院方式を内数で示す。なお、内数を明示していないが、連携大学院方式の募集あり。

グローバル教育院	一貫制	ヒューマンバイオロジー学位プログラム	15	11	9	15	11	9	8	5	4	2	6	4	2
		エンバロメント情報学プログラム	12	2	3	12	2	3	10	1	2	0	10	1	2
		小計	27	13	12	27	13	12	18	6	6	2	16	5	4
	(3年次編入)	エンバロメント情報学プログラム	5	3	4	5	3	4	5	3	4	0	5	3	4
		小計	5	3	4	5	3	4	5	3	4	0	5	3	4
	博士前期	ライフイノベーション学位プログラム	7	4	4	7	4	4	7	4	4	1	6	4	3
		小計	7	4	4	7	4	4	7	4	4	1	6	4	3
	博士後期	ライフイノベーション学位プログラム	8	5	4	8	5	4	8	5	4	2	6	3	2
		小計	8	5	4	8	5	4	8	5	4	2	6	3	2
	計		47	25	24	47	25	24	38	18	18	5	33	15	13

[修士課程研究科志願者数の推移]



※博士前期課程を除く。

人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻を除く。

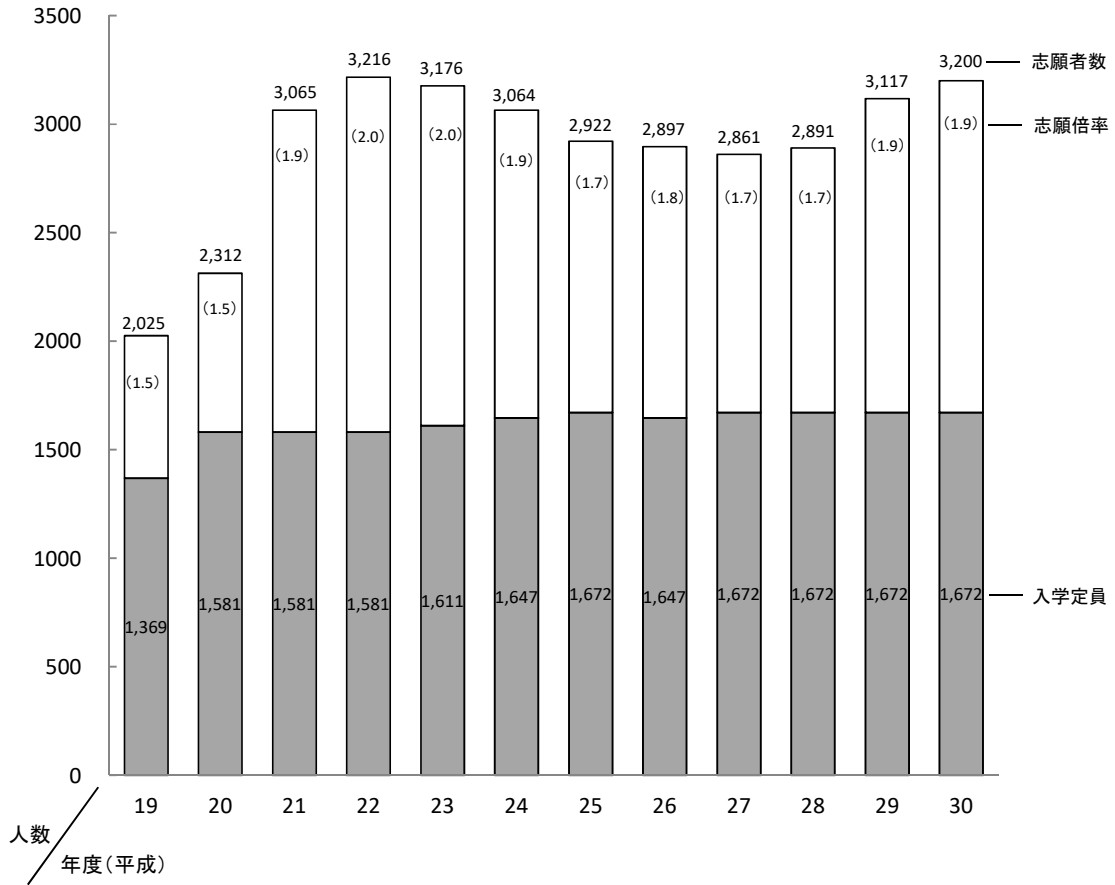
平成20年度より、人間総合科学研究科スポーツ健康システム・マネジメント専攻を除くものとした。

平成27年度より、人文社会科学研究科国際地域研究専攻を除くものとした。

平成28年度より、人間総合科学研究科スポーツ国際開発学共同専攻を除くものとした。

平成29年度より、人間総合科学研究科国際連携食料健康科学専攻を除くものとした。

### [博士課程研究科志願者数の推移]



※後期3年制博士課程及び博士後期課程を除く。

大学院学則に基づく博士前期課程を含む。

人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻を含む。

平成20年度より、人間総合科学研究科スポーツ健康システム・マネジメント専攻を含むものとした。

平成27年度より、人文社会科学部国際地域研究専攻を含むものとした。

平成28年度より、人間総合科学研究科スポーツ国際開発学共同専攻を含むものとした。

平成29年度より、人間総合科学研究科国際連携食料健康科学専攻を含むものとした。

## (イ) 再入学・特別プログラム等

(平成30年4月1日現在)

研究科	課程	専攻	志願者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	受験者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	合格者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	辞退者数	入学者数	女子 内数	外国人 留学生 内数
<b>【再入学】</b>															
システム情報工学	博士前期	社会工学	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
人間総合科学	博士前期	看護科学	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0
計			2	1	0	2	1	0	2	1	0	0	2	1	0
<b>【転入学】</b>															
生命環境科学	博士前期	地球科学	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0
計			1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0
<b>【人文社会科学研究科 ASIIP】</b>															
人文社会科学	修士	国際地域研究	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0
計			2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0
<b>【人文社会科学研究科 TEACHプログラム】</b>															
人文社会科学	博士前期	国際日本研究	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1
計			1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1
<b>【数理工学系研究科 グルノーブル・アルプス大学とのDouble Master Degree Agreementに基づき派遣される大学院学生を募集する外国人留学生特別選抜】</b>															
数理工学系	博士前期	電子・物理工学	3	2	3	3	2	3	3	2	3	0	3	2	3
計			3	2	3	3	2	3	3	2	3	0	3	2	3
<b>【生命環境科学研究科地球環境科学専攻におけるコンピュータサイエンス専攻とのデュアルディグリープログラム】</b>															
システム情報工学	博士前期	コンピュータサイエンス	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
計			1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
<b>【生命環境科学研究科 国際共同農業研究エキスパート養成プログラム】</b>															
生命環境科学	博士前期	生物資源科学	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1
計			1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1
<b>【生命環境科学研究科 国立台湾大学とのダブルディグリープログラム】</b>															
生命環境科学	博士前期	生物資源科学	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1
計			1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1
<b>【生命環境科学研究科 乾燥地資源科学コース】</b>															
生命環境科学	博士後期	国際地縁技術開発科学	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	2	2	2
計			2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	2	2	2
<b>【人間総合科学研究科 鹿屋体育大学との共同専攻（主として鹿屋体育大学に在籍）】</b>															
人間総合科学	修士	スポーツ国際開発学共同	2	0	2	2	0	2	2	0	2	1	1	0	1
	3年制博士	大学体育スポーツ高度化共同	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0
計			4	0	2	4	0	2	4	0	2	1	3	0	1
<b>【人間総合科学研究科 東北師範大学とのダブルディグリープログラム】</b>															
人間総合科学	博士前期	教育学	3	2	3	3	2	3	3	2	3	1	2	1	2
計			3	2	3	3	2	3	3	2	3	1	2	1	2
<b>【人間総合科学研究科 海外居住者特別選抜】</b>															
人間総合科学	修士	フロンティア医科学	2	1	2	2	1	2	1	0	1	1	0	0	0
	医学の課程	生命システム医学	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1
	医学の課程	疾患制御医学専攻	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1
計			5	4	5	5	4	5	4	3	4	2	2	2	2
<b>【人間総合科学研究科 マスター・オブパブリックヘルスプログラム】</b>															
人間総合科学	修士	フロンティア医科学	2	1	2	2	1	2	2	1	2	1	1	1	1
計			2	1	2	2	1	2	2	1	2	1	1	1	1

### 3 研究関係

#### (1) 紀要等発行状況

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
哲学・思想論集 第43号	国内外の主要大学、研究機関、国立国会図書館、つくばリポジトリ	『哲学・思想論集』編集委員会・哲学・思想専攻
歴史人類 第46号	国内外の主要大学、研究機関、学内組織等	歴史・人類学専攻
先史学・考古学研究 第29号	国内外の主要大学、研究機関、学内組織等	歴史・人類学専攻
歴史地理学野外研究 第18号	国内外の主要大学、研究機関、学内組織等	歴史・人類学専攻
論叢 現代語・現代文化 VOL. 19	国内外の関係大学、関連研究機関	現代語・現代文化専攻
経済学論集 70号	各大学図書館	経済学専攻
筑波法政 第71号、第72号、第73号、第74号	「つくばリポジトリ」サイト上にて公開	法学専攻
「国際日本研究」第10号（印刷版）	国内：国立国会図書館他 国外：「国際日本研究」第10号（印刷版）に関する通知を送付	国際日本研究専攻
「国際日本研究」第10号（オンライン版）	オープンアクセス（国際日本研究専攻ホームページ、つくばリポジトリ（筑波大学図書館））	国際日本研究専攻
平成29年度 日本語教育実践研究論文集	日本語教育に関心のある教員、学生等	国際日本研究専攻 日本語教師養成プログラム
筑波大学地域研究 第39号	国内外の大学附属図書館及び学内外の研究者、国立国会図書館、つくばリポジトリ（筑波大学図書館）	国際地域研究専攻
文藝言語研究 72巻、73巻	国立国会図書館	文芸・言語専攻
国際公共政策論集 40号	国際関係学・文化人類学・政治学などの学部等を有する国内外の教育研究機関、図書館他	国際公共政策専攻

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
社会学ジャーナル 43号	社会学の学部等を有する国内外の各教育研究機関、図書館、研究協力者他	国際公共政策専攻
筑波ロー・ジャーナル 22号	主要大学法学部・法科大学院・図書館等	編集：筑波ロー・ジャーナル編集委員会 発行：ビジネス科学研究科企業法学専攻、法科大学院
筑波ロー・ジャーナル 23号	主要大学法学部・法科大学院・図書館等	編集：筑波ロー・ジャーナル編集委員会 発行：ビジネス科学研究科企業法学専攻、法科大学院
大学研究 第43号、第44号	学内関係者・国内大学・文部科学省・図書館等	大学研究センター
平成29年度年報筑波大学学際物質科学研究センター・エネルギー物質科学研究センター	国立私立大学、関係研究機関、学内組織の長	学際物質科学研究センター・エネルギー物質科学研究センター
2017（平成29）年度物理学域年次研究報告	Web公開	数理物質系物理学域
2016（平成28）年度筑波大学数理物質系数学域年次報告	学内組織・学内関係者	数学域
Tsukuba Journal of Mathematics, Vol. 41 No. 1, No. 2	国内外の大学、研究機関、学内関係者	数学域
筑波大学数理物質系 数理物質融合科学センター 平成26年9月1日～平成29年9月30日 活動報告書	国立私立大学、関連研究機関、学内組織の長、学内関係部局等	数理物質融合科学センター
リスク工学研究	Web公開	リスク工学専攻
リスク工学グループ演習研究成果報告書	Web公開	リスク工学専攻
Tsukuba Geoenvironmental Sciences Vol.13	Web公開	地球環境科学専攻
人文地理学研究 38号	Web公開	地球環境科学専攻
地域研究年報 40号	Web公開及び国内の大学・研究機関等	人文地理学・地誌学研究会



紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
筑波大学農林社会経済研究 第33号	「つくばリポジトリ」サイト上にて公開	生命環境科学研究科 農林社会経済学領域
教育学系論集 第42巻第1号	国公立大学、関連研究機関	人間系（教育学域）
教育学系論集 第42巻第2号	国公立大学、関連研究機関	人間系（教育学域）
筑波大学心理学研究 第54号	国立図書館、心理学関係学部を持つ 全国の国立大学、主要私立大学、主 要な研究所	人間系（心理学域）
筑波大学心理学研究 第55号	国立図書館、心理学関係学部を持つ 全国の国立大学、主要私立大学、主 要な研究所	人間系（心理学域）
筑波大学臨床心理学論文集 第32号	心理相談室を設置している全国の主 要な大学、公的相談機関	筑波大学心理相談室
筑波大学発達臨床心理学研究 第29号	心理相談室を設置している全国の主 要な大学、公的相談機関	筑波大学発達臨床心理相談室
筑波大学特別支援教育研究 第12巻	国立、私立大学の関係組織、都道府 県教育センター	特別支援教育研究センター
筑波大学体育系紀要 第41巻	体育関係大学、研究機関	編集：体育系紀要・ 業績集編集委員会 発行：筑波大学・体育系
筑波大学芸術年報2017	国公立大学、美術館・博物館、関 連研究機関、学内関係部局等	編集：芸術系図書・研究報委員会 発行：芸術系
芸術研究報38	国公立大学、美術館・博物館、関 連研究機関、学内関係部局等	編集：芸術系図書・研究報委員会 発行：芸術系
芸術研究報・作品集29	国公立大学、美術館・博物館、関 連研究機関、学内関係部局等	編集：芸術系図書・研究報委員会 発行：芸術系
芸術学研究 NO. 22	芸術系の部門を有する主要教育機関 及び美術館	編集：芸術学研究編集委員会 発行：人間総合科学研究科博士後期 課程芸術専攻
藝叢 33号	国内主要大学及び博物館・美術館等	芸術系芸術学研究室

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
石井コレクション研究5：桂ゆき 福島秀子	国公立大学及び国内主要美術館	編集：五十殿利治・江口みなみ 発行：芸術系
儀礼空間の表象 積奠―東アジアの孔子祭典を考える	国内主要大学及び博物館等	日本美術史研究室
Art Writing 第12号	全国高等学校、美術館、大学図書館、報道機関等	編集・発行 芸術支援研究室
高校生アトラライター大賞優秀作品集	コンテスト参加者、報道機関等	芸術専門学群
筑波大学芸術専門学群・博士課程芸術専攻 第19回 彫塑展 図録	来場者の内の希望者・国内の美術科のある高等学校・芸術系大学	彫塑研究室
書芸術研究 第11号	国立大学附属図書館、書コースを有する大学の研究室	人間総合科学研究科書研究室
「ファインアート・ユニバーシアード U-35展」 展覧会作品集	国内芸術系・教育系大学、海外参加大学、文化庁	芸術系ファインアート展実行委員会
「新進芸術家選抜展 FAUSS」2017年度作品集	出品者、参加大学、展覧会関係者、 全国芸術系大学図書館	芸術系ファインアート展実行委員会
文化庁委託事業「平成29年度次代の文化を創造する 新進芸術家育成事業」若手ファインアーティストの活躍の場の創生 -『ファインアート・ユニバーシアード』の開催-事業報告書	参加大学窓口教員、展覧会関係者、 芸術系教員、学内組織長、大学役員	芸術系ファインアート展実行委員会
ほうきをつくる	国内博物館等	宮原克人研究室
図書館情報メディア研究 15巻1号 2017年	Web公開	図書館情報メディア研究編集委員会
図書館情報メディア研究 15巻2号 2017年	Web公開	図書館情報メディア研究編集委員会
筑波大学グローバルコミュニケーション教育 センター外国語教育論集 第40号	「つくばリポジトリ」への登録	グローバルコミュニケーション教育 センター外国語教育部門
筑波大学グローバルコミュニケーション教育 センター日本語教育論集 第33号	「つくばリポジトリ」への登録	グローバルコミュニケーション教育 センター日本語教育部門

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
大学体育研究 第40号	国公立体育系大学、学内関係部局	体育センター
体育センター年次報告書（平成29年度版）	学内関係部局	体育センター
プラズマ研究センター 平成28年度 年次報告	国内外の関係者、関係大学、関連研 究機関等	プラズマ研究センター
計算科学研究センター 平成28年度 年次報告書	文部科学省、学内組織の長、学内関 係部局、センター関係者	計算科学研究センター長
計算科学研究センター 平成28年度 研究評価	学内組織の長、センター関係者	計算科学研究センター研究評価委員会
UTTC Annual Report 2016（UTTAC-86, 2017）	Web公開	研究基盤総合センター 応用加速器部門
研究紀要 73集	平成29年度学習公開・研究発表会参 加者	附属小学校
研究資料〈教育課程研究〉53号 総合学習研究（43）	研究協議会来校者他	附属中学校
第45回研究協議会発表要項	研究協議会来校者他	附属中学校
研究紀要 第70号	国立大学附属中学校・筑波大学関係	附属中学校
研究紀要 第59巻	文部科学省及び関係機関、国立大学 附属高等学校、学内関係者	附属高等学校
スーパーグローバルハイスクール研究開発 実施報告集	文部科学省、学内関係部局、学内関係者	附属高等学校
スーパーグローバルハイスクール「海外研修報告 書 University of Prince Edward Island研修 2017」	文部科学省、学内関係部局、学内関係者	附属高等学校
スーパーグローバルハイスクール「海外研修報告 書 HWA CHONGへの短期留学 課題研究」	文部科学省、学内関係部局、学内関係者	附属高等学校

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
スーパーグローバルハイスクール「海外研修報告書 日中高校生交流」	文部科学省、学内関係部局、学内関係者	附属高等学校
スーパーグローバルハイスクール「海外研修報告書 ASIA PACIFIC YOUNG LEADERS SUMMIT-2017」	文部科学省、学内関係部局、学内関係者	附属高等学校
スーパーグローバルハイスクール「海外研修報告書 第8回国際学術シンポジウム報告書」	文部科学省、学内関係部局、学内関係者	附属高等学校
筑波大学附属駒場論集 第57集	国立大学附属中学校、附属高等学校 学内関係部局、教育関係機関等	附属駒場中・高等学校
第44回教育研究会報告書	教育研究会参加者、講師・助言者等	附属駒場中・高等学校
スーパーサイエンスハイスクール研究開発実施報告書 第一年次	文部科学省、(独)科学技術振興機構、SSH関係学校、国立大学附属中学校・附属高等学校、学内関係部局、教育関係機関等	附属駒場中・高等学校
SSH数学科研究報告書	SSH関係学校、国立大学附属中学校・附属高等学校、学内関係部局、教育関係機関等	附属駒場中・高等学校
SSH数学科教員研修会資料	SSH関係学校、国立大学附属中学校・附属高等学校、学内関係部局、教育関係機関等	附属駒場中・高等学校
SSH数学科課題研究論文集	SSH関係学校、国立大学附属中学校・附属高等学校、学内関係部局、教育関係機関等	附属駒場中・高等学校
SSH台湾研究交流会発表要旨集「Academic and Cultural Exchange Program in Taichung 2017」	研究交流参加生徒・教員（本校、国立台中第一高級中学）等	附属駒場中・高等学校
SSH台湾生徒研究交流会2017実施報告書	研究交流参加生徒・教員（本校、国立台中第一高級中学）等	附属駒場中・高等学校
数学科学研究会レポート集「Café Bollweck 2017」	SSH関係学校、学内関係部局、研究関係者	附属駒場中・高等学校
2017年度 筑波大学附属駒場高2課題研究「水俣から日本を考える」実習報告書	SSH関係学校、学内関係部局、研究関係者	附属駒場中・高等学校
高2課題研究：Science Dialogue Presentation Scripts and PPTs 2017	SSH関係学校、学内関係部局、研究関係者	附属駒場中・高等学校

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
研究紀要 第54集	文部科学省、学内関係者、国立大学 附属学校、全国総合学科高等学校、 埼玉県公立高等学校等	附属坂戸高等学校
第21回総合学科研究大会資料集	文部科学省、学内関係者、国立大学 附属学校、全国総合学科高等学校、 埼玉県公立高等学校等	附属坂戸高等学校
「先進的な総合学科を活かした持続可能なアセン 社会を創るグローバル人材の育成」(文部科学 省スーパーグローバル事業 第4年次報告書)	文部科学省、学内関係者、国立大学 附属学校、全国総合学科高等学校、 埼玉県公立高等学校等、SGH認定 校・アソシエイト校	附属坂戸高等学校
研究紀要 49巻	全国視覚特別支援学校、各関係機関等	附属視覚特別支援学校
視覚障害教育研究協議会資料集14	第14回視覚障害教育研究協議会参加者	附属視覚特別支援学校
筑波大学聾学校紀要 第40巻	全国の公私立聾学校、各種関係機関等	附属聴覚特別支援学校
聴覚障害教育担当教員講習会 授業公開指導案集	聴覚障害教育担当教員講習会参加者	附属聴覚特別支援学校
研究紀要 第62集	特別支援学校(養護学校)、障害児 教育研究機関、学内関係部局	附属大塚特別支援学校
文部科学省委託事業 インクルーシブ教育システム構築モデル事業 学校における交流及び共同学習を通じた障害者理 解(心のバリアフリー)の推進 平成29年度交流実践報告書	文部科学省、学内関係者、国立大学 附属学校、学内・学外関係機関	附属大塚特別支援学校
研究紀要 第53巻	学内関係者・各関係機関・附属学 校・公立肢体不自由学校	附属桐が丘特別支援学校
自閉症教育実践研究協議会プレゼンテーション資 料集	自閉症教育実践研究協議会参加者	附属久里浜特別支援学校
自閉症教育実践研究協議会授業公開学習指導案集	自閉症教育実践研究協議会参加者	附属久里浜特別支援学校
自閉症教育実践研究協議会実践研究集録	自閉症教育実践研究協議会参加者	附属久里浜特別支援学校
附属学校教育局広報誌ポローニア	HP、学内関係部局、文部科学省、来 訪者等	附属学校教育局

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
筑波大学学校教育論集	国立教育政策研究所 教育図書館、国立特殊教育総合研究所、国立国語研究所、国文学研究資料館、国立国会図書館、メディア教育開発センター、私学教育研究所 教科書研究センター、中央教育研究所、北海道立図書館、日本教育研究連合会	附属学校教育局
附属学校研究発表会	HP、文部科学省、国立大学附属学校等	附属学校教育局
附属学校国際教育推進委員会報告書	HP、文部科学省、国立大学附属学校等	附属学校教育局
附属学校NEWS	HP、学内関係部局、文部科学省、来訪者等	附属学校教育局
筑波大学特別支援教育研究 第12巻	特別支援教育関係の国公立及び私立大学・都道府県および政令指定都市の教育センター	特別支援教育研究センター
筑波大学理療科教員養成施設紀要 第2巻第1号	全国視覚特別支援学校、各関係機関等	筑波大学理療科教員養成施設
筑波大学理療科教員養成施設紀要 第3巻第1号	全国視覚特別支援学校、各関係機関等	筑波大学理療科教員養成施設

## (2) 各種受賞

### ア 学会賞等

所属	職位	氏名	受賞名	受賞月
人文社会系	教授	吉田 脩	Marquis Who's Who in the World (35th Edition, 2018)に掲載	H29.08
人文社会系	准教授	小野 雄一	Best Overall Paper Award Nominee (The 25th International Conference on Computers in Education (ICCE 2017) )	H29.12
人文社会系	准教授	Dadabaev Timur	2017年度(第32回)大同生命地域研究賞(大同生命地域研究奨励賞)	H29.07
人文社会系	助教	関崎 博紀	日本語教育方法研究会優秀賞	H30.03
人文社会系	助教	土井 裕人	平成29年度 科学技術分野 文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)	H29.04
ビジネスサイエンス系	教授	佐藤 忠彦	独立行政法人日本学術振興会 平成28年度特別研究員等審査会専門委員(書面担当)及び国際事業委員会書面審査員の表彰	H29.07
ビジネスサイエンス系	教授	立本 博文	多国籍企業学会 2017年度 学会賞(単行本の部) 入江猪太郎賞	H29.07
ビジネスサイエンス系	教授	立本 博文	国際ビジネス研究学会 2017年度 学会賞(単行本の部)	H29.10
ビジネスサイエンス系	教授	Xu Hua	2018年度サービス学会 第6回 国内大会Best Paper Award	H30.03
ビジネスサイエンス系	准教授	尾崎 幸謙	日本テスト学会大会発表賞	H29.12
ビジネスサイエンス系	講師	稲永 由紀	平成29年度日本学術振興会科研費審査委員表彰	H29.09
数理物質系	教授	青嶋 誠	第22回日本統計学会 学会賞	H29.07
数理物質系	教授	木塚 徳志	独立行政法人日本学術振興会 平成28年度特別研究員等審査会専門委員(書面担当)及び国際事業委員会書面審査員の表彰	H29.07
数理物質系	教授	黒田 眞司	独立行政法人日本学術振興会 平成28年度特別研究員等審査会専門委員(書面担当)及び国際事業委員会書面審査員の表彰	H29.07
数理物質系	教授	服部 利明	2017年度APEX/JJAP編集貢献賞	H30.03
数理物質系	教授	中村 潤児	日本表面科学会 学会賞	H29.05
数理物質系	教授	西堀 英治	日本結晶学会賞 学術賞	H29.11
数理物質系	准教授	伊藤 良一	平成29年度 科学技術分野 文部科学大臣表彰若手科学者賞	H29.04
数理物質系	准教授	辻村 清也	農芸化学奨励賞(日本農芸化学会)	H30.03

所属	職位	氏名	受賞名	受賞月
数理物質系	准教授	都甲 薫	平成29年度 科学技術分野 文部科学大臣表彰若手科学者賞	H29.04
数理物質系	准教授	所 裕子	野口遵賞	H30.03
数理物質系	助教	菱田 真史	第53回熱測定討論会 日本熱測定学会奨励賞	H29.11
数理物質系	助教	菱田 真史	日本物理学会若手奨励賞	H30.03
数理物質系	講師	桑原 純平	平成29年度 高分子学会日立化成賞	H29.09
システム情報系	教授	伊藤 誠	電子情報通信学会基礎・境界ソサエティ貢献賞(編集)	H29.09
システム情報系	教授	伊藤 誠	A. P. Sage Best Transaction Paper Award (Trans. IEEE HMS)	H29.10
システム情報系	教授	イリチュ(佐藤) 美佳	国際会議CAS2017 1st Runner-Up Theoretical Paper Award	H29.11
システム情報系	教授	加藤 和彦	情報処理学会フェロー	H29.06
システム情報系	教授	坪内 孝司	産学官連携特別賞	H29.04
システム情報系	教授	西川 博昭	国際会議CSCE'17 Achievement Award	H29.07
システム情報系	教授	福井 和広	独立行政法人日本学術振興会 平成28年度特別研究員等審査会専門委員(書面担当)及び国際事業委員会書面審査員の表彰	H29.07
システム情報系	教授	森田 昌彦	日本視覚学会鶴飼論文賞	H30.01
システム情報系	准教授	海老原 格	IEEE OES Japan Chapter Young Researchers Award	H29.10
システム情報系	助教	Aranha Claus de Castro	進化計算研究会 最優秀論文賞	H29.12
システム情報系	助教 助教 助教	今倉 暁 保國 恵一 高安 亮紀	日本応用数学会2017年度年会 最優秀ポスター賞	H29.09
システム情報系	助教	鈴木 研悟	日本シミュレーション&ゲーミング学会奨励賞	H29.11
システム情報系	助教	保國 恵一	日本応用数学会2016年度年会 若手優秀講演賞	H29.06
人間系	助教	登藤 直弥	第11回日本テスト学会大会発表賞	H29.12
生命環境系	准教授	氏家 恒太郎	独立行政法人日本学術振興会 平成28年度特別研究員等審査会専門委員(書面担当)及び国際事業委員会書面審査員の表彰	H29.07



所属	職位	氏名	受賞名	受賞月
生命環境系	准教授	松下 文経	平成28年度日本リモートセンシング学会論文賞	H29.05
生命環境系	助教	大森 裕子	日本地球化学会奨励賞	H29.09
生命環境系	名誉教授	佐竹 隆顕	日本農業工学会第33回総会 フェローの称号	H29.05
生命環境系	名誉教授	佐竹 隆顕	日本農業工学会第33回総会 新農林社賞	H29.05
生命環境系	名誉教授	佐竹 隆顕	日本農業工学会第33回総会 日本農業工学会賞	H29.05
体育系	教授	佐野 淳	独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業審査委員表彰	H29.09
体育系	教授	鍋倉 賢治	ランニング学会「奨励賞」(初心者ランナーにおけるマラソンレースが2日後の左心室機能に及ぼす影響)	H30.03
体育系	准教授	麻見 直美	総務省消防庁 平成29年度防防災科学技術賞「優秀賞」(一般の部門:消防防災科学技術論文)	H29.09
体育系	特任助教	武田 紘平	第25回日本運動生理学会大会 若手研究賞	H29.07
体育系	研究員	陸 暉洙	Young Investigators Award (1st Place)	H29.12
芸術系	教授	太田 圭	平成29年度茨城県文化プログラム推進事業「県民企画公募型事業」優秀賞	H29.11
芸術系	教授	國安 孝昌	環境芸術学会 学会賞	H29.12
医学医療系	教授	櫻井 武	第2回 塩野賞	H29.07
医学医療系	教授	土屋 尚之	平成29年度 ノバルティス・リウマチ医学賞	H29.06
医学医療系	教授	松崎 一葉	茨城労働局地方労災医員 功労者 表彰	H29.11
医学医療系	教授	松本 正幸	第27回つくば奨励賞(若手研究者部門)	H29.11
医学医療系	准教授	浅野 美礼	看護理工学会学会賞	H29.10
医学医療系	准教授	松本 功	日本リウマチ学会 学会賞	H29.04
医学医療系	准教授	矢作 直也	第12回日本動脈硬化学会 五島雄一郎賞	H29.07
医学医療系	准教授 講師	吉本 尚 高屋敷 明由美	第8回プライマリ・ケア連合学会学術大会 専攻医優秀賞	H29.05

所属	職位	氏名	受賞名	受賞月
医学医療系	准教授	吉本 尚	米国内科学会(ACP)日本支部 年次総会2017 若手医師部門 best abstract Award	H29.06
医学医療系	講師	瀧野 淳	平成29年度第22回茨城県医師会勤務医部会学術奨励賞	H29.08
医学医療系	助教	Alexander Zaboronok	Sammy's Award 1st place, The 32nd Annual Meeting of the Japan Neurosurgery English Forum (第32回日本脳神経外科国際学会フォーラム)	H29.07
医学医療系	助教	松本 孔貴	The BEST Poster Presentation AWARD	H29.11
医学医療系	助手	照沼 利之	第113回日本医学物理学会学術大会CyPos 賞(大会長賞)	H29.04
図書館情報メディア系	教授	杉本 重雄	独立行政法人日本学術振興会 平成28年度特別研究員等審査会専門委員(書面担当)及び国際事業委員会書面審査員の表彰	H29.07
図書館情報メディア系	教授	吉田 右子	独立行政法人日本学術振興会 平成28年度特別研究員等審査会専門委員(書面担当)及び国際事業委員会書面審査員の表彰	H29.07
計算科学研究センター	教授	天笠 俊之	International Conference on Digital Information Management (ICDIM 2017) Best Paper Award	H29.09
計算科学研究センター	教授	北川 博之	International Conference on Digital Information Management (ICDIM 2017) Best Paper Award	H29.09
計算科学研究センター	教授	北川 博之	DEIM2018最優秀インタラクティブ賞	H30.03
計算科学研究センター	教授 教授	天笠 俊之 北川 博之	DEIM2018優秀インタラクティブ賞	H30.03
計算科学研究センター	教授	重田 育照	QSCP Promising Scientist Prize of CMOA	H29.10
計算科学研究センター	准教授	全 暁民	アメリカ物理学会フェロー(APS Fellow)	H29.10
計算科学研究センター	助教	塩川 浩昭	WebDB Forum 2017論文賞受賞	H29.09
計算科学研究センター	助教	宍戸 英彦	Best Poster Award - 1st Place	H30.03
計算科学研究センター	助教	原田 隆平	第67回日本化学会進歩賞	H30.01
生命領域学際研究センター	教授	牧野 昭二	電子情報通信学会 平成28年度 業績賞	H29.06
生命領域学際研究センター	教授	牧野 昭二	日本音響学会 論文賞佐藤賞	H30.03
生命領域学際研究センター	教授	柳沢 裕美	第1回日本循環器学会基礎研究フォーラム ポスター賞	H30.01
生命領域学際研究センター	助教	鍋倉 宰	日本免疫学会奨励賞	H29.12

所属	職位	氏名	受賞名	受賞月
生命領域学際研究センター	助教	林 良樹	Best Poster Award KEY Forum 2018: The 3rd International Symposium on Stem Cell Traits and Developmental Systems	H30.01
国際統合睡眠医科学研究機構	教授	柳沢 正史	第54回(2017年度) ベルツ賞	H29.11
国際統合睡眠医科学研究機構	教授	柳沢 正史	2017年度朝日賞	H30.01
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	林 悠	平成29年度 科学技術分野 文部科学大臣表彰若手科学者賞	H29.04
国際統合睡眠医科学研究機構	助教	征矢 晋吾	平成29年度 時実利彦記念神経科学優秀博士研究賞	H29.07
国際統合睡眠医科学研究機構	助教	長谷川 恵美	平成29年度 井上研究奨励賞	H29.12
附属病院	病院講師	池田 篤史	EAU18(欧州泌尿器科学会) ベストポスター賞	H30.03
附属病院	病院講師	高野 晋吾	第35回日本脳腫瘍病理学会 学会賞	H29.05
附属病院	病院講師	平谷 太吾	第82回日本循環器学会学術集会 第7回 循環器臨床研究奨励賞(症例報告部門) 優秀賞	H30.03
附属病院	病院講師	松山 政史	2017 American Thoracic Society abstract award	H29.05
附属病院	レジデント	赤星 南	Sammy's Award 3rd place, The 32nd Annual Meeting of the Japan Neurosurgery English Forum (第32回日本脳神経外科国際学会フォーラム)	H29.07
附属病院	レジデント	石田 俊樹	第15回茨城放射線腫瘍研究会優秀演題賞	H30.02
附属病院	レジデント	石月 翔一郎	平成28年度日本皮膚科学会茨城地方会 優秀発表賞	H29.06
附属病院	レジデント	飯泉 天志	日本放射線腫瘍学会第30回学術大会 JASTRO2017優秀教育展示賞	H29.11
附属病院	レジデント	今川 和生	日本小児肝臓研究会 白木賞	H29.07
附属病院	レジデント	岡村 純子	第174回日本胸部外科学会関東甲信越地方会 最優秀賞	H29.06
附属病院	レジデント	兒玉 貴久子	第30回日本総合病院精神医学会 優秀ポスター賞	H29.11
附属病院	レジデント	酒井 愛子	第44回日本小児栄養消化器肝臓学会 若手優秀論文賞	H29.10
附属病院	レジデント	高橋 宏彰	茨城県立中央病院 臨床研究最優秀賞	H29.05
附属病院	レジデント	馬場 敬一郎	日本放射線腫瘍学会第30回学術大会 JASTRO2017優秀教育展示賞	H29.11

所属	職位	氏名	受賞名	受賞月
附属病院	レジデント	原 モナミ	小児医学研究振興財団 アワード	H30.03
附属病院	レジデント	穂坂 翔	第117回茨城小児科学会 最優秀演題賞	H30.02
附属病院	レジデント	三浦 航星	PTCOG Goitein Award	H29.05
附属病院	レジデント	宮内 大悟	第14回茨城放射線腫瘍研究会優秀演題賞	H29.09
医学医療系技術室 附属病院検査部	技術専門官 臨床検査技師	阿部 まゆみ 上牧 隆	平成29年度医学教育等関係業務功労者表彰	H29.11
医学医療系技術室	技術職員	長谷川 賀一	第64回 日本実験動物学会総会 平成29年度奨励賞	H29.05
生命環境系技術室 山岳科学センター井川演習林	技術職員	遠藤 好和	第19回森林管理技術賞 技術貢献賞	H29.09
附属中学校	教諭	肥沼 則明	平成29年度文部科学大臣優秀教職員表彰	H30.01
附属視覚特別支援学校	教諭	石崎 喜治	第49回東レ理科教育賞 佳作	H30.03
附属聴覚特別支援学校	教諭	横山 知弘	第12回エネルギー教育賞最優秀賞	H30.03

## イ 研究助成等

所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
人文社会系	教授	吉水 千鶴子	公益財団法人 三菱財団	仏教典籍の翻訳と伝承における講義の役割	H29.08
人文社会系	准教授	海後 宗男	公益財団法人 電気通信普及財団	2018年E-デモクラシー・オープンガバメント 国際会議アジア大会開催に対する助成	H30.03
人文社会系	准教授	星野 豊	公益財団法人 かんぼ財団	生命保険金管理における信託の活用可能性と生命保険金管理機構構想	H29.08
ビジネスサイエンス系	教授	木村 真生子	公益財団法人 全国銀行学術研究振興財団	Regtechに関する一考察ー自動監視システム・ロボアドバイザーー	H30.01
ビジネスサイエンス系	准教授	小林 和子	公益財団法人 生命保険文化センター	生命保険契約とこれに関連した契約の相互依存関係-フランス法からの示唆	H29.04
ビジネスサイエンス系	准教授	中村 亮介	公益財団法人 全国銀行学術研究振興財団	財務制限条項の実態・影響・役割ー債務契約における会計情報の活用ー	H30.02
数理物質系	教授	神原 貴樹	公益財団法人 日本科学協会	藻類生産オイルを原料とした、新規化成品の創出	H29.05
数理物質系	教授	長崎 幸夫	公益財団法人 日本対がん協会	患者に優しい、副作用の無い経口抗癌DDSの開発	H29.10
数理物質系	教授	鍋島 達弥	公益財団法人 三菱財団	らせん型ジピリン典型元素錯体を利用した不斉情報発信分子素子の創製	H29.08
数理物質系	准教授	伊藤 良一	公益財団法人 熊谷科学技術振興財団	持続可能な水素社会に向けた酸性条件でも溶けない卑金属による白金代替電極の開発	H30.02
数理物質系	准教授	伊藤 良一	一般財団法人 向科学技術振興財団	3次元グラフェンを用いた海水中のリチウムイオンの分離技術の開発	H30.03
数理物質系	准教授	江角 晋一	公益財団法人 伊藤科学振興会	原子核衝突ビームエネルギー走査による高密度クォーク核物質の研究	H29.09
数理物質系	准教授	辻村 清也	公益財団法人 徳山科学技術振興財団	国際交流助成「第24回生物電気化学と生体エネルギー論に関する生物電気化学会国際シンポジウム」	H29.06
数理物質系	准教授	都甲 薫	公益財団法人 新世代研究所	プラスチック上多層グラフェンの創製と革新二次電池への応用	H29.09
数理物質系	准教授	丸本 一弘	公益財団法人 村田学術振興財団	高効率有機太陽電池の長寿命電荷状態の解明とその制御	H29.04
数理物質系	准教授	丸本 一弘	公益財団法人 日立財団	高効率・長寿命な有機太陽電池の開発と素子特性劣化機構のマイクロ解明	H30.02
数理物質系	講師	大石 基	公益財団法人 高橋産業経済研究財団	ナノバイオシステムによるアルツハイマー認知症の客観的簡易診断法の開発	H29.05
数理物質系	講師	大石 基	一般財団法人 東和食品研究振興会	DNAナノシステムによる16SrRNA検出に基づく「その場」かつ迅速な食品細菌検出法の開発	H29.06
数理物質系	助教	中村 貴志	日産化学工業株式会社	剛直な環状骨格を有する多重修飾シクロデキストリンの合成と分子認識場の創出	H29.04

所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
数理物質系	助教	松岡 亮太	公益財団法人 マツダ財団	鎖の撚りあわせにより可逆に剛直性が変化する機能性ナノシートの開発	H29.10
数理物質系	助教	松岡 亮太	公益財団法人 小笠原科学技術振興財団	分子のねじれで可逆に機能を変えるナノワイヤ・ナノシートの開発	H29.12
数理物質系	助教	森 龍也	公益財団法人旭硝子財団	テラヘルツ帯赤外・ラマン分光によるガラスの普遍的ダイナミクスの研究	H29.04
数理物質系	助教	森 龍也	公益財団法人 村田学術振興財団	海外派遣に対する研究助成	H29.08
数理物質系	助教	山崎 信哉	公益財団法人 三菱財団	三菱財団研究助成金の協同研究者への分担金「福島第一原発由来高濃度放射性セシウム含有微粒子の寄与率とその毒性に関する研究」	H29.10
数理物質系	助教	山崎 信哉	一般財団法人 向科学技術振興財団	リボソームを用いた希土類元素の新規分離法の確立	H30.03
システム情報系	教授	鈴木 健嗣	つくば市	「特別支援学級の子どもたちのためのスマートデバイスによるコミュニケーション支援」の実証実験に対する研究助成	H29.11
システム情報系	教授	鈴木 勉	公益財団法人 大林財団	自動運転社会における道路空間シェアリングと公共交通システムを考慮した総合的交通インフラマネジメントに関する基礎研究	H29.04
システム情報系	教授	星野 聖	公益財団法人 高速道路調査会	ドライバ向け超軽量眼球運動計測メガネ開発と安全運転および道路行政支援に関する研究	H29.04
システム情報系	教授	星野 聖	公益財団法人 スズキ財団	運転者や同乗者の心理および生理状態をモニタリングできるセンシング技術の開発	H29.08
システム情報系	准教授	川崎 真弘	公益財団法人 中山人間科学振興財団	脳波位相同期を用いたニューロフィードバックシステムによるうつ傾向の軽減	H29.08
システム情報系	准教授	川崎 真弘	公益財団法人 小笠原科学技術振興財団	国際研究集会出现助成金	H29.08
システム情報系	准教授	志築 文太郎	公益財団法人 高橋産業経済研究財団	頭部動作認識システム	H29.04
システム情報系	准教授	延原 肇	公益財団法人 すかいらーくフードサイエンス研究所	クロス・モーダルな観点からの食感性プロセスの解明と創出	H29.09
システム情報系	助教	大澤 博隆	公益財団法人 中山隼雄科学技術文化財団	実世界人狼ゲームのデータセット作成と対話技能習得過程の分析	H30.03
システム情報系	助教	金川 哲也	三菱UFJ信託銀行株式会社 リテール受託業務部	高速非線形音響波の利用によるポンプ損傷抑制に向けた革新的技術の理論的基盤創成	H29.04
システム情報系	助教	金川 哲也	公益財団法人日本科学協会	「非線形波動論に基づく気泡流中の衝撃波の抑制技術への新展開」の遂行のため	H29.04
システム情報系	助教	金川 哲也	公益財団法人 矢崎科学技術振興記念財団	「気泡流中における超高速音波の伝播特性の理論的解明」に対する援助	H29.08
システム情報系	助教	嶋村 耕平	公益財団法人 スズキ財団	平成29年度研究者海外研修助成金	H29.07

所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
システム情報系	助教	津川 翔	株式会社リバネス	研究者ネットワークマイニングによる融合研究領域形成の予測	H29.11
システム情報系	助教	Tran Lam Anh Duong	公益財団法人ヒロセ国際奨学財団	経済のグローバル化が市場の不完全性を通じて所得の不平等に与える影響の分析	H29.11
システム情報系	助教	保國 恵一	公益財団法人服部報公会	長方行列束に対する周回積分型耐振動固有値解法の開発	H29.08
システム情報系	助教	山本 亨輔	公益財団法人村田学術振興財団	第33回(平成29年度)海外派遣援助	H29.06
生命環境系	教授	青柳 秀紀	公益財団法人新技術開発財団	革新的培養基材の開発と植物生態関連微生物ライブラリーの構築	H29.05
生命環境系	教授	青柳 秀紀	一般財団法人杉山産業化学研究所	腸内大腸菌群の培養に伴うエンドトキシン遊離挙動の定量解析とその応用	H29.05
生命環境系	教授	青柳 秀紀	公益財団法人住友電工グループ社会貢献基金	ダークマター微生物資源利用・生物化学工学講座	H29.11
生命環境系	教授	青柳 秀紀	公益財団法人LIXIL住生活財団	カビ産生赤色色素の実用的連続生産システムの開発とDSSCへの高度活用	H29.11
生命環境系	教授	上條 隆志	公益財団法人自然保護助成基金	伊豆諸島植生誌—森林—の編纂	H29.10
生命環境系	教授	草野 都	公益財団法人松籟科学技術振興財団	植物有用成分およびバイオマス資源の高度利用に関わる研究	H30.01
生命環境系	教授	小林 達彦	公益財団法人発酵研究所	微生物由来ピペリン代謝酵素に関する研究	H29.04
生命環境系	教授	田島 淳史	一般財団法人旗影会	ニワトリ初期発生胚におけるステージ判定法の精密化に関する研究	H29.04
生命環境系	教授	松本 宏	HIGHER EDUCATION COMMISSION	Assessment of Growth and Physicochemical of Wheat to Chemoblended Silver and Iron Nanoparticles	H29.11
生命環境系	准教授	池田 敦	苗場山麓ジオパーク振興協議会	苗場山の湿原および周辺植生の線状分布の規定要因	H29.05
生命環境系	准教授	岩井 宏暁	公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団	細胞壁再構成機構による塩ストレス下のトマト果実硬度変化調節のための基盤形成	H29.04
生命環境系	准教授	氏家 清和	公益財団法人浦上食品・食文化振興財団	西アフリカ地域におけるコメ消費に関する実証的研究	H29.10
生命環境系	准教授	氏家 清和	公益財団法人味の素の文化センター	西アフリカ地域における食文化と主食消費の変容に関する定量的研究	H30.02
生命環境系	准教授	丹羽 隆介	公益財団法人武田科学振興財団	病原菌感染に伴う生殖幹細胞増殖の分子メカニズムの解明	H29.07
生命環境系	准教授	萩原 大祐	国立大学法人千葉大学	糸状菌胞子に特異的に蓄積する二次代謝産物の探索と生理機能解析	H29.12

所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
生命環境系	准教授	堀田 紀文	一般財団法人 砂防・地すべり技術センター	土砂災害の多様性と地域性を考慮した土砂災害危険雨量の運用に関する検討	H29.07
生命環境系	講師	横谷 香織	一般社団法人 ヤンマー資源循環支援機構	次世代若手研究者育成-個々の生物システムと閉鎖生態系シミュレーション研究の融合	H29.04
生命環境系	助教	浅野 敦之	RANGGA SETIAWAN	Functional Roles and Regulation Mechanisms of Plasma Membrane Calcium ATPase in Chicken Sperm	H29.09
生命環境系	助教	池端 慶	一般財団法人 日本鉱業振興会	熱水性自然銅の形成メカニズムの解明	H29.06
生命環境系	助教	木下 奈都子	公益財団法人 コニカミノルタ科学技術 振興財団	香りを使った植物間コミュニケーションの可視化:時空間的なモニタリング技術による予防型精密農業の開発	H30.03
生命環境系	助教	新保 奈穂美	公益財団法人 トヨタ財団	多文化共生型コミュニティガーデンの社会実装に向けた実証研究	H29.05
生命環境系	助教	鶴田 文憲	公益財団法人 アステラス病態代謝研究会	環境刺激による発達脳RNAスプライシングの制御	H29.11
生命環境系	助教	Parkner Thomas	一般財団法人 砂防・地すべり技術センター	北海道『八幡の大崩れ』における風化・侵食・マスマーブメントの相互作用	H29.07
生命環境系	助教	平川 泰久	THE UNIVERSITY OF BRITISH COLUMBIA	Transformation for myxozoans	H29.11
生命環境系	助教	Benjamin Paul Harve	公益財団法人 日本科学協会	酸性化が引き起こす殻の溶解は巻貝の生存にとって脅威となるのか	H29.04
生命環境系	助教	松崎 仁美	公益財団法人 アステラス病態代謝研究会	制御配列のヒト化マウスを用いたゲノム刷り込みの研究	H29.11
生命環境系	助教	守野 孔明	公益財団法人 日本科学協会	軟体動物腹足類における冠輪動物特異的Homeobox遺伝子の進化史の解明	H29.04
生命環境系	助教	山川 陽祐	一般財団法人 砂防・地すべり技術センター	土砂災害の多様性と地域性を考慮した土砂災害危険雨量の運用に関する検討	H29.06
生命環境系	特任助教	篠崎 鉄哉	公益財団法人 深田地質研究所	津波堆積物の起源に関する実験的検討	H29.06
生命環境系	特別研究員	経隆 悠	公益社団法人 砂防学会	ソロモン諸島におけるフラッシュフラッド災害に関する情報収集とUAVを用いた森林伐採地のモニタリングの適用性の検討	H29.06
人間系	教授	岡田 昌毅	特定非営利活動法人 キャリアカウンセリング協会	「人の支援・人材育成」総合センター化プロジェクト(キャリア支援に携わる指導者レベルの人材養成)	H29.05
人間系	教授	松井 豊	公益財団法人 がん研究振興財団	若年がん体験者のがん罹患が恋愛及び結婚に及ぼす影響について	H29.08
人間系	教授	茂呂 雄二	公益財団法人 トヨタ財団	格差社会において様々な交換をアクティベートする実践的な分配の正義-共生人間科学に基づく社会の新たな価値創出	H28.05から継続
人間系	准教授	山田 実	公益社団法人 日本理学療法士協会	大規模コホート研究による介護予防効果の検証と理学療法士による個別プログラムの有用性の検証	H30.01



所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
人間系	特任助教	猪俣 朋恵	公益財団法人 博報児童教育振興会	読み書き習得に伴う脳内視覚処理システム の変化	H29.08
人間系	特任助教	堀口 康太	一般財団法人 財団せせらぎ	高齢就業者の自律的なワークモチベーショ ンを促進する要因の検討	H29.10
体育系	准教授	榎本 靖士	公益財団法人 カシオ科学振興財団	中・長距離走トレーニングによるパフォー マンスおよびコンディションの変化予測のため の数学モデルの開発	H29.10
体育系	助教	大林 太郎	公益財団法人 笹川スポーツ財団	関東大震災(1923年)からの復興と第12回 オリンピック東京大会(1940年)招致に関す る研究-「復興五輪」の歴史的検討-	H29.05
体育系	研究員	荒井 サブリナ	公益財団法人 内藤記念科学振興財団	糖尿病性心血管系疾患におけるエストロゲ ンの役割:血管内皮増殖因子(VEGF)の関 与	H30.02
体育系	特任助教	武田 紘平	公益財団法人 日本科学協会	母親が実施する運動が子どもの骨格筋ミト コンドリアに与える影響	H29.05
体育系	特任助教	武田 紘平	公益財団法人 中富健康科学振興財団	運動時に生成される乳酸が骨格筋のトレ ニング適応に与える意義	H30.02
体育系	特任助教	吉田 拓矢	公益財団法人 ミズノスポーツ振興財団	プレセット局面中の脳内状態ドロップジャン プパフォーマンスの縦断的な調査	H30.02
芸術系	教授	黒田 乃生	公益財団法人 LIXIL住生活財団	白川村における合掌造りの屋根をおろした 家屋の現状に関する研究	H29.12
芸術系	准教授	佐伯 いく代	公益財団法人 日本生命財団	地域遺産としての湿地生態系の保全:小さ な自然の価値の再考	H29.09
医学医療系	教授	新井 哲明	ファイザー株式会社	精神疾患に関する研究	H29.09
医学医療系	教授	井上 貴昭	ファイザー株式会社	感染症に関する研究	H29.09
医学医療系	教授	大河内 信弘	ファイザー株式会社	消化器疾患に関する研究	H29.09
医学医療系	教授	大鹿 哲郎	アルコンファーマ株式会社	新しい生体画像化技術を用いたマルチコ ントラスト三次元眼イメージング装置の開発	H29.06
医学医療系	教授	大鹿 哲郎	ファイザー株式会社	眼疾患に関する研究	H29.09
医学医療系	教授	志賀 隆	ファイザー株式会社	精神疾患に関する研究	H29.09
医学医療系	教授	島野 仁	田辺三菱製薬株式会社	エネルギー代謝制御転写因子及び脂質関 連酵素解析による包括的代謝性疾患予防 と新規治療法の開発	H29.11
医学医療系	教授	島野 仁	ノバルティス ファーマ 株式会社	Elovl6/脂肪酸組成による脂肪毒性インスリ ン作用障害保護メカニズム:分子メカニズ ム、責任臓器、キイ脂肪酸の同定	H29.06
医学医療系	教授	島野 仁	ファイザー株式会社	内分泌・代謝疾患に関する研究	H29.09

所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
医学医療系	教授	住田 孝之	田辺三菱製薬株式会社	シェーグレン症候群の抗原特異的制御	H29.11
医学医療系	教授	住田 孝之	ファイザー株式会社	iPS細胞を用いたSS治療戦略	H29.09
医学医療系	教授	田宮 菜奈子	公益財団法人 日本理学療法士協会	ハイリスク者へのリハビリテーションによる健康寿命の延伸への効果—医療・介護レポート連結データによる分析	H30.01
医学医療系	教授	高橋 智	公益財団法人 高松宮妃癌研究基金	転写因子c-Mafの腫瘍随伴マクロファージにおける機能解析	H29.12
医学医療系	教授	高橋 智	公益財団法人 上原記念生命科学財団	マクロファージにおけるMaf転写因子の機能解析	H30.01
医学医療系	教授	田中 誠	ファイザー株式会社	筋骨格系疾患に関する研究	H29.09
医学医療系	教授	玉岡 晃	ノバルティス ファーマ株式会社	アルツハイマー病におけるアミロイドβ蛋白とその前駆体の分子病態	H29.06
医学医療系	教授	千葉 滋	一般社団法人 日本血液学会	造血器腫瘍における微小環境細胞異常の解析と治療標的としての評価	H29.11
医学医療系	教授	千葉 滋	ノバルティス ファーマ株式会社	急性骨髄性白血病の微小環境を標的とする治療法の研究	H29.06
医学医療系	教授	千葉 滋	ファイザー株式会社	血液疾患に関する研究	H29.09
医学医療系	教授	徳田 克己	公益財団法人 食生活研究会	食物アレルギーのある幼児の保育ケアに関する保育者向け研修プログラムの開発	H29.04
医学医療系	教授	徳田 克己	公益財団法人 小林製薬青い鳥財団	育児に困難感を持っている母親の支援ニーズの解明	H30.03
医学医療系	教授	徳田 克己	公益財団法人 タカタ財団	大人は子どもの命を守るモデルになっているか—交通場面での幼児の模倣学習の実態—	H30.03
医学医療系	教授	西山 博之	ファイザー株式会社	BCG菌ミコール酸を用いた、全身投与可能な新規癌治療剤の開発	H29.09
医学医療系	教授	久武 幸司	公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団	非侵襲的蛍光生体イメージングによる脱共役タンパク質の計測技術の開発	H30.02
医学医療系	教授	檜澤 伸之	一般社団法人 日本アレルギー学会	成人喘息における増悪関連フェノタイプの検討—多施設共同による観察研究	H29.04
医学医療系	教授	檜澤 伸之	ノバルティス ファーマ株式会社	難治性喘息のエンドタイプの解明に向けた遺伝学的研究	H29.06
医学医療系	教授	檜澤 伸之	ファイザー株式会社	内分泌・代謝疾患に関する研究	H29.09
医学医療系	教授	日高 紀久江	公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団	在宅遷延性意識障害者と家族の生活機能を高めるための包括的支援の問題点とその方策	H30.03

所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
医学医療系	教授	藤本 学	ノバルティス ファーマ株式会社	皮膚筋炎特異的自己抗原TIF1 $\gamma$ 誘導性筋炎モデルマウスの確立と病態解析	H29.06
医学医療系	教授	藤本 学	ファイザー株式会社	皮膚疾患に関する研究	H29.09
医学医療系	教授	藤本 学	田辺三菱製薬株式会社	メカニカルストレスによる皮膚炎の誘導のメカニズムの解明	H29.11
医学医療系	教授	本間 真人	ファイザー株式会社	チロシンキナーゼ阻害薬の血中濃度測定に関する研究及び漢方薬の使用実態と有害事象に関する研究	H29.09
医学医療系	教授	榊 正幸	ファイザー株式会社	分子神経生物学研究	H29.08
医学医療系	教授	榊 正幸	公益財団法人 内藤記念科学新興財団	ヘパラン硫酸糖鎖の特異的な硫酸化構造による高次脳機能制御機構の解明	H29.09
医学医療系	教授	榊 正幸	田辺三菱製薬株式会社	神経回路形成と機能獲得の分子機構	H29.10
医学医療系	教授	松村 明	ファイザー株式会社	神経疾患に関する研究	H29.09
医学医療系	教授	松本 正幸	公益財団法人 ブレインサイエンス振興財団	第40回日本神経科学大会における講演及び京都大学における講演	H29.04
医学医療系	教授	森川 一也	ファイザー株式会社	感染症に関する研究	H29.09
医学医療系	教授	山縣 邦弘	ファイザー株式会社	泌尿器疾患に関する研究	H29.09
医学医療系	教授	山崎 正志	ファイザー株式会社	筋骨格系疾患に関する研究	H29.09
医学医療系	准教授	國府田 正雄	公益財団法人 三井住友海上福祉財団	交通事故による重度脊髄損傷に対する脊髄硬膜外電気刺激とHALRの組み合わせ療法による歩行再建:パイロットスタディ	H29.12
医学医療系	准教授	坂田 麻実子	公益財団法人 小林がん学術振興会	血管免疫芽球形T細胞リンパ腫におけるゲノム異常に基づく新規標的療法の開発	H29.05
医学医療系	准教授	坂田 麻実子	公益財団法人 武田科学振興財団	TET2-RHOA シグナルクロストークによるT細胞リンパ腫の発症メカニズムの解明	H29.08
医学医療系	准教授	坂田 麻実子	公益信託 日本白血病研究基金	血管免疫芽球形T細胞リンパ腫における微小環境細胞による腫瘍支持機構の分子基盤	H29.10
医学医療系	准教授	坂田 麻実子	公益財団法人 鈴木謙三記念医科学 応用研究財団	血管免疫芽球形T細胞リンパ腫におけるクローン性造血由来の炎症細胞による腫瘍発症の支持機構の解明	H29.11
医学医療系	准教授	西村 健	公益財団法人 金原一郎記念医学医療振興財団	代謝プログラミングの調節を介したゲノム変異の少ないiPS細胞の樹立	H29.10
医学医療系	准教授	根本 清貴	ノバルティス ファーマ株式会社	脳形態MRI、脳血流SPECTを用いた認知症の心理・行動症状に関する脳内機序の解明	H29.06

所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
医学医療系	准教授	根本 清貴	公益財団法人 メンタルヘルス岡本記念財団	小中高校生と養護教諭を対象とした摂食障害の疾患啓発活動	H29.08
医学医療系	准教授	早田 匡芳	ファイザー株式会社	筋骨格系疾患に関する研究	H29.09
医学医療系	准教授	松坂 賢	公益財団法人 日本応用酵素協会	神経新生における脂肪酸伸長酵素Elov16の役割	H29.05
医学医療系	准教授	松坂 賢	公益財団法人 日本糖尿病財団	脂肪酸組成制御による $\beta$ 細胞保護作用の分子機序の解明と新規糖尿病治療法の開発	H29.12
医学医療系	准教授	松本 功	ノバルティス ファーマ 株式会社	関節リウマチにおけるSTEAP4とその変異体の炎症細胞における病因的意義	H29.06
医学医療系	准教授	松本 功	田辺三菱製薬株式会社	関節リウマチにおけるSTEAP4とその変異体の病因的意義	H29.11
医学医療系	准教授	万本 健生	ファイザー株式会社	筋骨格系疾患に関する研究	H29.09
医学医療系	准教授	水野 智美	公益財団法人 すかいらーく フードサイエンス研究所	乳児用液体ミルクが母親の育児負担感に及ぼす効果	H29.09
医学医療系	准教授	村越 伸行	田辺三菱製薬株式会社	MAIR-II遺伝子改変マウスを用いた心筋梗塞における単球集簇メカニズムの解明	H29.12
医学医療系	准教授	森島 祐子	ノバルティス ファーマ 株式会社	難治性喘息のステロイド抵抗性改善に向けた検討;転写因子に着目して	H29.06
医学医療系	准教授	矢作 直也	公益財団法人 武田科学振興財団	ニュートリゲノミクスの新手法による代謝制御シグナルの生体内解析	H29.07
医学医療系	准教授	矢作 直也	公益財団法人 内藤記念科学振興財団	エネルギー代謝制御を担う核内情報処理機構の解明	H29.09
医学医療系	准教授	矢作 直也	公益財団法人 先進医薬研究振興財団	エネルギー代謝制御を担う核内情報処理機構の解明	H29.12
医学医療系	准教授	山岸 良匡	公益財団法人 日本中小企業福祉事業財団	要介護認知症予防のための食事・生活習慣要因に関する疫学研究	H29.04
医学医療系	講師	浅島 弘充	公益財団法人 日本リウマチ財団	抗原特異的T細胞の抑制によるシェーグレン症候群の新規治療薬開発	H29.04
医学医療系	講師	小川 健	一般社団法人 日本農村医学会	新しい医療に関する研究:母指CM関節症に対する関節鏡視下手術の普及	H29.04
医学医療系	講師	沖山 奈緒子	ロート製薬株式会社	CD8T細胞による移植片対宿主病様苔癬反応と線維化誘導の機序	H29.04
医学医療系	講師	金子 剛	公益財団法人 LIXIL住生活財団	日常生活に於いて排便時、大腸癌を早期に発見し警告するシステム構築	H29.04
医学医療系	講師	近藤 裕也	ノバルティス ファーマ 株式会社	自己免疫性関節炎を制御するFoxp3+制御性T細胞サブセットの同定	H29.06

所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
医学医療系	講師	酒井 俊	公益財団法人 タカノ農芸化学研究助成財団	納豆による動脈硬化進展の抑制作用の証明とその分子機序解明	H29.05
医学医療系	講師	関谷 元博	公益財団法人 小野医学研究財団	エネルギー代謝産物センサー分子を軸にした新しい代謝制御システムの解明と医療応用	H30.03
医学医療系	講師	辻 浩史	グラクソ・スミスクライン 株式会社	GDF15を指標としたパーキンソン病におけるミトコンドリア障害の解明と治療応用にむけた研究	H29.09
医学医療系	講師	坪井 洋人	ノバルティス ファーマ 株式会社	新規免疫疾患「IgG4関連疾患」の疾患特異的治療戦略構築に向けたCCL18-CCR8シグナルと新たな治療標的分子の解析	H29.06
医学医療系	講師	土岐 浩介	公益財団法人 臨床薬理研究振興財団	抗不整脈薬の薬理遺伝学的情報に基づく効果的な治療薬物モニタリング	H29.11
医学医療系	講師	濱野 淳	公益財団法人 笹川記念保健協力財団	総合診療医教育における緩和ケア領域の学習到達目標の作成	H29.04
医学医療系	講師	濱野 淳	公益財団法人 日本ホスピス・緩和ケア 研究振興財団	非がん疾患の終末期医療の実態に関する調査	H29.05
医学医療系	講師	福島 紘子	公益財団法人 がん研究振興財団	陽子線治療を受けた小児がん患者の長期予後評価	H30.02
医学医療系	講師	星 崇仁	バイエル薬品株式会社	新規臨界ハイドロゲルを用いた人工硝子体の開発および網膜剥離治療用眼内タンポナーデとしての応用	H29.04
医学医療系	講師	松野 洋輔	ノバルティス ファーマ 株式会社	肺線維症における活性酸素シグナリングの役割とその制御機構	H29.06
医学医療系	講師	渡辺 玲	一般財団法人 リディアオリリー記念 ピアス皮膚科学振興財団	皮膚免疫の加齢に伴う変化における皮膚T細胞の影響の検討	H29.05
医学医療系	講師	渡辺 玲	ノバルティス ファーマ 株式会社	ヒト皮膚T細胞における加齢に伴う免疫応答の変化	H29.06
医学医療系	講師	渡辺 玲	公益財団法人 武田科学振興財団	皮膚免疫の加齢変化における皮膚T細胞の役割の検討	H29.08
医学医療系	講師	渡辺 玲	一般社団法人 日本研究皮膚科学会	ヒト皮膚T細胞の加齢に伴う変化	H29.12
医学医療系	助教	安孫子 ユミ	公益財団法人 浦上食品・食文化振興財団	環境化学物質による健康リスク軽減に寄与するニンニク中活性イオウ分子の探索	H29.10
医学医療系	助教	安孫子 ユミ	公益財団法人 上原記念生命科学財団	環境中親電子物質複合曝露による健康リスク	H30.01
医学医療系	助教	沖田 結花里	公益財団法人 上原記念生命科学財団	休眠期がん幹細胞におけるGPNMBの機能解析	H30.01
医学医療系	助教	小田 ちぐさ	公益財団法人 武田科学振興財団	食欲を制御する機構の解明	H29.08
医学医療系	助教	小田 ちぐさ	公益財団法人 上原記念生命科学財団	死細胞の食欲を制御する機構の解明	H30.01

所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
医学医療系	助教	河村 哲也	公益財団法人 日本腎臓財団	ANCA関連腎炎に合併する貧血における 炎症性貧血マーカーの検討	H29.12
医学医療系	助教	久保田 茂希	公益財団法人 整形災害外科学研究助成財団	腕神経叢損傷患者に対する上肢ロボットを用いた新たなバイオフィードバック療法に関する研究	H29.04
医学医療系	助教	齋藤 祥子	公益財団法人 武田科学振興財団	核膜孔タンパク質によるmicroRNA輸送制御と細胞がん化	H29.08
医学医療系	助教	佐々木 哲也	公益財団法人 先進医薬研究振興財団	オーバーシュート型シナプス形成異常による自閉症発現機構の解明	H30.01
医学医療系	助教	孫 略	公益財団法人 がんの子どもを守る会	酸化ストレス応答の視点から考える休止期脳腫瘍細胞の放射線抵抗性メカニズム	H29.10
医学医療系	助教	孫 略	公益財団法人 放射線影響協会	放射線被ばくによって誘導される血中抗酸化能低下メカニズムの解明と応用	H30.03
医学医療系	助教	武内 謙憲	一般社団法人 日本糖尿病学会	生体イメージングで迫る糖・脂質代謝に重要なKLF15遺伝子発現制御機構の解明	H29.05
医学医療系	助教	武内 謙憲	公益財団法人 武田科学振興財団	生体イメージングを用いた糖・脂質代謝調節因子KLF15の発現調節機構の解析	H29.08
医学医療系	助教	武内 謙憲	公益財団法人 鈴木謙三記念医科学 応用研究財団	In vivo imagingを用いた糖・脂質代謝に重要なKLF15遺伝子発現制御機構の解明	H29.11
医学医療系	助教	武内 謙憲	公益財団法人 先進医薬研究振興財団	in vivoイメージングによる糖・脂質代謝に重要なKLF15発現制御機構の解析	H29.12
医学医療系	助教	武内 謙憲	公益財団法人 MSD生命科学財団	KLF15の新機能－糖代謝と脂質代謝の新たな接点－ならびに発現制御メカニズムの解明	H29.12
医学医療系	助教	林 洋平	公益財団法人 東京生化学研究会	ゲノム編集を応用した「染色体編集法」の開発	H30.02
医学医療系	助教	宮寺 浩子	認定特定非営利活動法人 日本IDDMネットワーク	1型糖尿病を発症しない動物モデルの確立と発症・抑制機序の解明	H29.05
医学医療系	助教	山田 朋子	公益財団法人 ブレインサイエンス振興財団	神経におけるGatad2bの機能の解明	H29.04
医学医療系	助教	山田 洋	公益財団法人 武田科学振興財団	欲求に応じて行動を調節する神経回路の解明:モデル動物を用いた研究	H29.09
医学医療系	研究員	菅澤 威仁	公益財団法人 ミズノスポーツ振興財団	複合性局所疼痛症候群1 (CRPS1) モデルに対するクライオセラピーの効果-オミックス解析を用いた検証-	H30.03
図書館情報メディア系	准教授	上保 秀夫	日本マイクロソフト 株式会社	Search Engine That Listens (SETL)	H29.07
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	坂口 昌徳	公益財団法人 武田科学振興財団	光遺伝学による睡眠中のトラウマ記憶消失	H29.04
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	坂口 昌徳	公益財団法人 日本応用酵素協会	睡眠の記憶における機能	H29.07

所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	中川 嘉	公益財団法人 武田科学振興財団	食事性の肝がん発症を調節する新たな腸 肝循環調節因子の解析	H29.04
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	林 悠	公益財団法人 日本応用酵素協会	レム睡眠を制御する神経基盤および分子 基盤の解明と神経疾患の治療への応用	H29.07
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	林 悠	公益財団法人 かなえ医薬振興財団	レム睡眠の破綻が脳発達やメンタルヘルス に及ぼす影響の解明	H29.12
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	林 悠	公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団	レム睡眠による脳の恒常性維持のメカニ ズムの解明	H29.12
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	Lazarus Michael	ネスレ日本株式会社	抹茶がマウスの睡眠覚醒サイクルに与える 影響	H30.03
国際統合睡眠医科学研究機構	助教	上田 壮志	株式会社山田養蜂場本社	睡眠因子の新規イメージング技術による不 眠改善物質の探索	H29.10
国際統合睡眠医科学研究機構	助教	大石 陽	公益財団法人 日本応用酵素協会	腹側被蓋野ドーパミン系による睡眠覚醒制 御機構の解析	H29.07
国際統合睡眠医科学研究機構	助教	斉藤 毅	公益財団法人 日本応用酵素協会	オレキシン受容体アゴニストの創製と薬理 作用の解明	H29.07
国際統合睡眠医科学研究機構	助教	長谷川 恵美	公益財団法人 内藤記念科学振興財団	オレキシンニューロンの直接の下流で睡 眠・覚醒調節及び行動の変容に重要な役 割を果たす神経回路の探索	H29.10
国際統合睡眠医科学研究機構	助教	長谷川 恵美	公益財団法人 先進医薬研究振興財団	環境に応じた行動を支える覚醒系と筋緊張 の制御機構の解明	H30.03
国際統合睡眠医科学研究機構	助教	平野 有沙	公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団	時計細胞のin vivoイメージングと操作によ る睡眠リズム制御の徹底解剖	H29.12
国際統合睡眠医科学研究機構	助教	平野 有沙	公益財団法人 上原記念生命科学財団	時計細胞が睡眠のタイミングを決定する神 経機構	H29.12
国際統合睡眠医科学研究機構	助教	本城 咲季子	公益財団法人 日本応用酵素協会	ノンレム睡眠特異的脳波パターンを作り出 す神経回路の解析	H29.07
生命領域学際研究センター	教授	深水 昭吉	公益財団法人 三菱財団	RNAの遺伝情報を起点としたアルギニンメ チル化酵素を介する脳機能の解明	H29.10
生命領域学際研究センター	助教	佐田 亜衣子	公益財団法人 稲盛財団	マウス表皮幹細胞の老化メカニズムの解明	H29.04
生命領域学際研究センター	助教	佐田 亜衣子	公益財団法人 中島記念国際交流財団	幹細胞老化メカニズムの解明:2種類の幹 細胞が共存するマウス表皮をモデルとして	H29.04
生命領域学際研究センター	助教	佐田 亜衣子	一般財団法人 ホーユー科学財団	糖鎖プロファイリング技術を用いた幹細胞 老化マーカーの網羅的探索	H30.02
生命領域学際研究センター	助教	佐田 亜衣子	公益財団法人 中富健康科学振興財団	レクチンアレイ法を用いた幹細胞老化度指 標の確立とその応用	H30.03
生命領域学際研究センター	助教	島田 裕子	公益信託 成茂神経科学研究助成基金	栄養条件に応答して口胃セロトニン産生神 経系の突起伸張と縮退を促す分子機構の 解明	H29.06

所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
生命領域学際研究センター	助教	鍋倉 幸	公益財団法人 ライフサイエンス振興財団	急性肝障害におけるDNAM-1の役割	H29.04
生命領域学際研究センター	助教	鍋倉 幸	特定非営利活動法人 日本免疫学会	記憶ナチュラルキラー細胞分化の分子機構の解析	H29.08
生命領域学際研究センター	助教	鍋倉 幸	公益財団法人 かなえ医薬振興財団	急性肝障害におけるグループ1自然リンパ球が発現するDNAM-1の役割	H29.11
生命領域学際研究センター	助教	鍋倉 幸	公益財団法人 上原記念生命科学財団	急性肝障害におけるDNAM-1の役割	H30.01
生命領域学際研究センター	助教	鍋倉 幸	公益財団法人 内藤記念科学振興財団	急性肝障害におけるグループ1自然リンパ球が発現するDNAM-1の役割	H30.03
生命領域学際研究センター	助教	鍋倉 幸	公益財団法人 加藤記念バイオサイエンス振興財団	急性肝障害におけるDNAM-1の役割	H30.03
生命領域学際研究センター	助教	山城 義人	公益財団法人 武田科学振興財団	大動脈瘤発生に関与するマトリセルラータンパク質の血管壁における機能解析	H29.09
附属病院	病院教授	溝上 裕士	武田薬品工業株式会社	附属病院光学医療診療部	H29.04
附属病院	病院講師	伊藤 嘉朗	日本脳神経血管内治療学会	静脈洞血栓症の視覚的評価と罹患静脈洞の血管新生因子の解析による硬膜動静脈瘻の病態解明と新規治療方法の確立	H29.10
附属病院	病院講師	木村 泰三	第一三共株式会社	糖代謝異常による肺高血圧増悪機序の解明	H29.04
附属病院	レジデント	今川 和生	公益財団法人 森永奉仕会	小児期胆汁うっ滞症患者における成長障害の調査研究	H29.07
国際産学連携本部	准教授	大津 巖生	公益財団法人 飯島藤十郎記念食品科学振興財団	抗酸化能をもつエルゴチオネイン高含有パンの開発	H29.04
国際産学連携本部	助教	杉原 英志	公益信託 日本白血病研究基金	個体モデルを用いた難治性リンパ腫の脆弱性の解明	H29.10
国際産学連携本部	助教	杉原 英志	公益財団法人 がんの子どもを守る会	個体モデルを用いた小児悪性リンパ腫の脆弱性の解明と新規治療法開発	H29.10
国際産学連携本部	助教	杉原 英志	一般社団法人 日本血液学会	新規個体モデルを用いたDouble hit lymphomaの生物学的特性の解明	H29.12
附属坂戸高等学校	教諭	建元 喜寿	公益財団法人 日本科学技術振興財団	平成29年度「エネルギー教育モデル校」選定	H29.06
附属駒場高等学校	教諭	須田 智之	公益財団法人 日本英語検定協会	即興型英語ディベートによる英語学習の動機付けに関する研究	H29.07
附属小学校	校長	甲斐 雄一郎	公益財団法人 笹川平和財団	海が教えてくれること～富浦の海から学ぶ～	H29.04
附属聴覚特別支援学校	教諭	横山 知弘	公益財団法人 日本科学技術振興財団	平成28年度エネルギー教育モデル校認定(27～29年度継続認定)	H29.04



(3) 科学研究費助成事業採択状況(新規+継続分)

ア 総括表

平成30年3月31日現在  
(単位：千円)

種 目 系 等	特別推進研究		新学術領域研究		基盤研究(S)		基盤研究(A)		基盤研究(B)		基盤研究(C)		若手研究(A)		若手研究(B)		研究活動 スタート支援		挑戦的 萌芽研究		研究成果公開 促進費		特別研究員 奨励費		合 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
人文社会系	0	0	3	13,640	0	0	3	21,450	16	52,910	52	61,295	0	0	18	17,213	3	3,120	12	15,210	2	2,300	25	21,670	134	208,808
ビジネス サイエンス系	0	0	0	0	0	0	2	16,120	5	14,950	21	23,140	0	0	5	4,940	1	1,430	2	2,600	0	0	0	0	36	63,180
数理工学系	1	221,650	21	99,450	3	53,942	15	112,970	23	118,820	52	70,330	8	44,980	27	41,860	1	1,430	16	30,160	0	0	31	26,560	198	822,152
システム 情報系	0	0	4	18,980	1	34,450	8	73,320	26	114,400	50	70,460	5	22,100	22	27,043	1	1,430	26	40,430	0	0	25	22,710	168	425,323
生命環境系	0	0	6	83,850	1	28,210	11	115,960	39	183,798	47	64,675	4	27,560	42	70,859	1	1,430	26	42,250	1	1,200	37	32,322	215	652,115
人間系	0	0	1	3,510	1	38,480	3	25,350	13	46,670	35	44,330	3	17,940	10	12,610	2	1,950	12	16,770	1	900	19	16,330	100	224,840
体育系	0	0	1	21,840	0	0	3	27,040	9	30,290	26	37,310	2	18,460	14	17,810	3	3,770	8	9,230	0	0	6	5,830	72	171,580
芸術系	0	0	0	0	0	0	7	61,620	7	23,920	16	22,100	0	0	4	3,900	1	1,430	4	5,590	0	0	1	1,560	40	120,120
医学医療系	0	0	10	150,501	2	54,470	3	40,950	39	199,030	138	208,520	7	43,160	48	81,900	7	9,055	32	58,630	0	0	8	7,230	294	853,446
図書館情報 メディア系	0	0	0	0	0	0	2	24,570	4	18,720	22	27,690	1	9,750	6	6,240	0	0	2	3,250	0	0	0	0	37	90,220
計算科学研究 センター	0	0	2	17,420	0	0	0	0	9	40,300	6	6,630	2	23,270	4	6,630	1	1,430	2	2,210	0	0	4	4,860	30	102,750
生命領域学際 研究センター	0	0	4	74,620	1	32,110	1	11,310	3	20,930	2	3,900	2	22,360	3	4,810	0	0	1	1,430	0	0	4	3,500	21	174,970
附属病院	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5,200	3	2,990	0	0	19	28,990	1	1,430	2	1,690	0	0	0	0	26	40,300
国際統合睡眠医科学 研究機構	1	149,500	6	37,180	1	0	1	14,560	6	34,320	3	4,940	1	9,490	12	19,993	2	2,860	3	5,590	0	0	7	7,630	43	286,063
北アフリカ 研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,040	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,040
藻類バイオマス・エ ネルギーシステム開 発研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	780	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	780
グローバル教育院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,950	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,950
本部任用教員等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1,883	0	0	3	5,590	0	0	1	1,430	0	0	0	0	6	8,903
合計	2	371,150	58	520,991	10	241,662	59	545,220	200	904,258	477	652,924	35	239,070	238	351,428	24	30,765	149	236,470	4	4,400	167	150,202	1,423	4,248,540

- ※ 転入・転出状況を反映した。
- ※ 奨励研究は除く。
- ※ 学長、副学長、名誉教授等は元の所属部局に加算した。
- ※ 本部任用教員等はまとめて計上。(内訳：環境安全管理室(1)、国際産学連携本部(1)、高細精医療イノベーション研究コア(1)、ダイバーシティ・A・センター(3))
- ※ 間接経費を含む。
- ※ 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)：1件、50,440千円(全研究期間分)の採択あり。(うち平成29年度の交付決定は0件)

イ 種目別採択状況

(金額の単位:千円)

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
特別推進研究	17H06088	数理物質系	教授	重川 秀実	サブサイクル時間分解走査トンネル顕微鏡法の開発と応用	221,650
	17H06095	国際統合睡眠医科学研究機構	教授	柳沢 正史	フォワード・ジェネティクスによる睡眠覚醒制御機構の解明	149,500
新学術領域研究(研究領域提案型)	15H05941	医学医療系	教授	松崎 一葉	想定外のストレス下での精神・自律神経系の恒常性維持機構の解明	15,210
	15H05942	国際統合睡眠医科学研究機構	教授	長瀬 博	超ストレス環境・宇宙を見据えた新規睡眠覚醒制御手法の開発	16,640
	16H00738	システム情報系	助教	鬼頭 朋見	社会ネットワークの多様性と非均質性の創発原理に関するモデル化と実証	3,120
	16H00794	数理物質系	教授	齋藤 一弥	球形分子会合体からなる液体の構造とガラス転移	2,990
	16H00821	数理物質系	教授	石橋 孝章	全内部反射ラマン・振動SFG分光システムの構築と固液界面への応用	3,380
	16H00870	数理物質系	助教	飯田 崇史	セルフリガー可能な <sup>24</sup> Na線源開発とCaF <sub>2</sub> 検出器の低バックグラウンド化	2,990
	16H00895	数理物質系	准教授	近藤 剛弘	単層ボロンシートの合成	2,340
	16H00896	数理物質系	研究員	大塚 洋一	折りたたみグラフェンを利用した階段型磁場中の二次元電子系の電気伝導の研究	1,300
	16H00897	数理物質系	教授	神田 晶申	原子膜積層化により形成した超伝導システムの物性探索	3,640
	16H00898	数理物質系	教授	岡田 晋	計算科学による原子層物質の新物性デザインとデバイス設計指針の提示	3,640
	16H00978	数理物質系	准教授	野村 晋太郎	先端ナノプローブ分光測定によるトポロジカル物質の解明	2,600
	16H01002	数理物質系	教授	市川 淳士	フッ素脱離過程を活用する炭素-フッ素結合の活性化	2,990
	16H01048	数理物質系	教授	黒田 眞司	格子歪を介した単一スピント機械的振動との結合	5,200
	16H01264	国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	林 悠	レム睡眠の操作が可能なマウスを用いた睡眠の質が記憶に及ぼす影響の解明	4,160
	16H01457	生命環境系	准教授	寿崎 拓哉	窒素栄養環境に応じた全身的・根局所的な情報処理による共生器官形成機構	5,330
	16H01458	生命環境系	教授	三浦 謙治	ヒストンSUMO化による転写調節機構の解明	5,330
	16H01459	生命環境系	准教授	Buzas Diana Mihaela	The DNA elements of vernalization insensitive 3 gene for quantitative and priming epigenetic memory of cold	5,330
	16H01629	国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	Lazarus Michael	低体温誘導の記憶へのリスクと可塑性	3,120
	16H01630	医学医療系	講師	三輪 佳宏	極限環境の生体影響非侵襲解析マウスモデル系の樹立	5,200

(金額の単位:千円)

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
新学術領域研究(研究領域提案型)	16H01662	システム情報系	准教授	嵯峨 智	錯触覚を利用したタッチパネル型多自由度標準触覚デバイス	4,290
	16H06400	医学医療系	教授	桜井 武	意志動力学(ウィルダイナミクス)の創成と推進	43,680
	16H06401	医学医療系	教授	桜井 武	動機付けおよび強化学習に関与する分子・神経基盤の解明	37,310
	16H06405	体育系	教授	征矢 英昭	意欲と身心パフォーマンスを共に育む次世代運動プログラム	21,840
	16H06424	数理物質系	教授	上殿 明良	陽電子消滅による結晶特異構造のキャリア捕獲・散乱ダイナミクスの評価	10,660
	16H06476	生命環境系	准教授	氏家 恒太郎	スロー地震の地質学的描像と摩擦・水理特性の解明	62,530
	16H06521	数理物質系	准教授	所 裕子	アシンメトリック配位磁性化合物の創出	8,450
	16H06523	数理物質系	准教授	二瓶 雅之	非対称電子移動ユニットの集積による異方性電子機能の創出	12,740
	16H06567	医学医療系	教授	松本 正幸	報酬と注意の情報処理に関与するドーパミン神経回路機構	12,350
	17H05116	人文社会系	准教授	Heselhaus Geva Herrad	越境的合流—ヨーロッパの難民問題	2,080
	17H05141	数理物質系	講師	桑原 純平	三成分連結反応を用いた多様な $\pi$ 電子系の構築	2,600
	17H05142	数理物質系	教授	山本 洋平	様々な励起プロセスを介した $\pi$ 電子球体への発光閉じ込めと共鳴発光の変調	3,770
	17H05194	計算科学研究センター	助教	日野原 伸生	生成座標法による二重ベータ崩壊原子核行列要素の評価	1,300
	17H05319	生命環境系	研究員	西山 直毅	圧力溶解変形の予測に向けた粒間水の性質の解明	1,430
	17H05328	数理物質系	教授	西堀 英治	先端X線利用による回折結晶学の再構築	1,950
	17H05351	数理物質系	助教	中村 貴志	非対称化を伴う配位駆動自己集積による複雑巨大分子の構築と機能開拓	2,600
	17H05352	数理物質系	教授	小島 隆彦	水溶液中における高効率・高選択的不斉酸化触媒反応の開発	2,470
	17H05475	数理物質系	講師	関場 大一郎	複合アニオン薄膜分析用水素検出効率100%の重イオンERDA開発	2,080
	17H05495	医学医療系	助教	小田 ちぐさ	アポトーシス細胞の貪食シグナルに対する負の制御機構とその生理的意義の解明	4,680
	17H05519	医学医療系	教授	熊谷 嘉人	電子伝達系におけるユビキノンと活性イオウ分子とのレドックスカップルの意義	2,730
17H05549	人間系	教授	小川 園子	母親特有の適応的社会的行動を司る神経回路の解析	3,510	
17H05631	生命領域学際研究センター	助教	佐田 亜衣子	分裂頻度の異なる幹細胞に着目した表皮幹細胞老化メカニズムの解明	3,120	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
新学術 領域研究 (研究 領域 提案型)	17H05786	医学医療系	教授	野口 恵美子	HLA型に基づく経皮感作小麦アレルギー関連ペプチドの同定	4,160
	17H05853	システム情報系	准教授	望山 洋	こどもの遊び心にコミットする小動物型俊敏ロボット	5,590
	17H06023	システム情報系	准教授	井澤 淳	感覚予測と報酬予測に基づく運動学習の計算理論的理解と脳内基盤の解明	5,980
	17H06047	国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	Lazarus Michael	レム睡眠と食欲の意志動力学	4,550
	17H06048	国際統合睡眠医科学研究機構	教授	Liu Qinghua	新規恐怖反応異常マウスで切り拓く恐怖感情と意志力のダイナミクス	4,550
	17H06049	国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	入鹿山 容子	オレキシン受容体作動薬による意志力創成の分子機序の解明と新規創薬へのアプローチ	4,160
	17H06068	医学医療系	学長	永田 恭介	ウイルス感染現象における宿主細胞コンピテンシーの分子基盤	3,861
	17H06069	人文社会系	教授	常木 晃	西アジア文明学の構築	3,890
	17H06070	生命環境系	教授	恩田 裕一	福島原発事故により放出された放射性核種の環境動態に関する学際的研究	3,900
	25105007	数理物質系	特命教授	金 信弘	宇宙背景ニュートリノの崩壊探索に用いる超伝導赤外線検出器の開発	12,090
	25114001	生命領域学際研究センター	教授	小林 悟	動物における配偶子産生システムの制御	13,650
	25114002	生命領域学際研究センター	教授	小林 悟	ショウジョウバエPGCの形成を制御する遺伝子ネットワークの解明	43,810
	26105011	数理物質系	准教授	小林 伸彦	有機半導体の活性サイトの理論	8,970
	26107004	計算科学研究センター	教授	重田 育照	理論と実験の協奏的アプローチによる複合スピン励起子変換制御	16,120
	15K21736	生命領域学際研究センター	教授	小林 悟	世界最先端の解析システムの構築による配偶子産生研究の国際展開	14,040
	17H06335	人文社会系	名誉教授	波多野 澄雄	脱植民地化の比較からみた戦後日本をめぐる政府間和解の再検証	7,670
17H06395	医学医療系	教授	島野 仁	炎症細胞社会における臓器脂質の量的質的変容がもたらす炎症と線維化の機序と予防戦略	21,320	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基 盤 研 究 ( S )	15H05716	システム情報系	副学長	稲垣 敏之	人の認知・判断の特性と限界を考慮した自動走行システムと法制度の設計	34,450
	15H05724	人間系	教授	小川 園子	社会性の形成・維持を司る神経内分泌機構の解明	38,480
	15H05734	数理物質系	教授	重川 秀実	フェムト秒時間分解STMによる光誘起ダイナミックスのナノスケール分光	1,942
	16H06382	生命環境系	教授	足立 泰久	フロッキュレーション解析に基づく環境界面工学の展開	28,210
	16H06387	生命領域学際研究センター	教授	渋谷 彰	抑制性免疫受容体による自然免疫応答の制御機構の解明	32,110
	17H06138	数理物質系	教授	初貝 安弘	トポロジカル相でのバルク・エッジ対応の多様性と普遍性:固体物理を越えて分野横断へ	45,370
	25220103	医学医療系	教授	熊谷 嘉人	環境中親電子物質によるシグナル伝達変動とその制御に関する包括的研究	30,420
	25220203	数理物質系	教授	長崎 幸夫	活性酸素を制御するバイオマテリアルの構築	6,630
	26220207	国際統合睡眠医科学研究機構	教授	柳沢 正史	フォワードジェネティクスで同定した新規睡眠制御遺伝子による睡眠覚醒制御機構の解明	0
	26221004	医学医療系	教授	高橋 智	生体の光学的な窓を利用した新規in vivoイメージング技術の開発	24,050

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基 盤 研 究 ( A ) 【 一 般 】	15H01678	数理物質系	教授	青嶋 誠	大規模複雑データの理論と方法論の総合的研究	7,150
	15H01708	システム情報系	准教授	田中 文英	子どもと高齢者の教育的コミュニケーションを支援するロボットインタフェース	11,310
	15H01758	芸術系	特命教授	逢坂 卓郎	地域資源を基盤とする創造的復興とレジリエンス力強化に関する実践研究	8,320
	15H01825	体育系	教授	高木 英樹	体工連携によるスポーツ科学イノベーションー革新的な用具・コーチング法の開発ー	5,980
	15H01828	体育系	教授	征矢 英昭	身心の活力を増進する最適運動条件の橋渡し研究:意欲と認知をともに高める脳機構	10,140
	15H01859	生命環境系	教授	松井 圭介	世界遺産の創造と場所の商品化に関わる理論的・実証的研究	6,890
	15H01874	芸術系	特命教授	五十殿 利治	大学における「アート・リソース」の活用に関する総合的研究	14,690
	15H01986	大学研究センター	特命教授	金子 元久	大学組織の構造・機能とその変容可能性	7,280
	15H01996	数理物質系	教授	門脇 和男	固有ジョセフソン接合によるテラヘルツ発振デバイスの高機能化と応用開拓	8,060
	15H02023	数理物質系	准教授	武内 修	有機光電変換デバイスの微視的評価法の確立	2,470
	15H02195	数理物質系	教授	藤田 淳一	超高感度局在場可視化技術創出による触媒機能発現機構解明と高機能触媒の開発	7,020
	15H02237	数理物質系	教授	末益 崇	結晶Siタンデム型太陽電池に向けたSi系ワイドギャップ新材料の探索	6,500
	15H02281	芸術系	教授	花里 俊廣	課題解決能力・支払能力・公的支援策を考慮したマンション建替え可能性の評価方法	5,590
	15H02340	数理物質系	准教授	笹 公和	多種の長寿命放射性核種を超高感度で検出可能な加速器質量分析法の開発	10,790
	15H02487	生命環境系	教授	高谷 直樹	しつこく生えるカビの環境耐性と適応の分子機構	6,110
	15H02503	医学医療系	教授	金保 安則	新規抗癌剤開発に向けた腫瘍血管新生・癌転移阻害ペプチドの創成	14,820
	15H02541	医学医療系	教授	島野 仁	Elovl6による脂肪酸の質的変容が起こす多臓器代謝病態と脳行動異常のメカニズム	12,480
	16H01754	図書館情報メディア系	教授	杉本 重雄	デジタルアーカイブ間の複合的・横断的連携によるコンテンツの利活用性高度化の研究	13,780
	16H01833	ビジネスサイエンス系	教授	山田 雄二	電力市場活性化のための需給予測型取引戦略とリアルタイム取引実験環境の構築	8,840
	16H01842	システム情報系	准教授	庄司 学	強震動と液状化の複合作用を受けるライフラインネットワークの被害推定システムの開発	7,280
16H01881	国際統合睡眠医科学研究機構	教授	裏出 良博	プロスタグランジンD2による脳機能と炎症反応の相互作用機構の解明	14,560	
16H01948	人文社会系	教授	山田 重郎	文献学・考古学の協働による紀元前18～8世紀の上メソポタミアの歴史研究	6,240	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤 研究 (A) 【一 般】	16H01996	人文社会系	教授	辻中 豊	日本とアジアにおけるローカルガバナンス(国家・市民社会関係)の比較実証研究	10,530
	16H02053	人間系	教授	原田 悦子	高齢者の学習:認知的制御,感情,動機づけを考慮した学習機制の解明と支援の検討	10,660
	16H02081	数理物質系	教授	山本 洋平	光機能性ポリマー球体の高次連結による光学メタマテリアルの開発	11,050
	16H02318	システム情報系	教授	藪野 浩司	非線形モード局在型マイクロレゾネータアレイによる超微小質量計測とバイオセンシング	4,940
	16H02463	生命環境系	名誉教授	林 純一	マウスmtDNAと未知細胞質因子起因のミトコンドリア・老化関連疾患発症機構解明	13,780
	16H02530	生命環境系	教授	大澤 良	アレルギー欠失・低減化ソバ育成を目指した食品化学・臨床医学・育種学融合研究	9,230
	16H02572	生命環境系	教授	納口 るり子	実践的農業経営学の構築—技術導入と人的組織形成の視点から—	13,520
	16H02660	医学医療系	教授	千葉 滋	血管免疫芽球性T細胞リンパ腫の病態解明と診断・治療法開発をめざす統合的アプローチ	13,650
	17H00750	システム情報系	准教授	掛谷 英紀	革新的な高解像度裸眼立体表示とプロトタイプ医療応用の実現	12,220
	17H00751	システム情報系	教授	岩田 洋夫	可変形状床を用いた歩行移動インタフェース	3,900
	17H00772	図書館情報メディア系	教授	白井 哲哉	防災と被災地復興の基盤を形成する地域災害資料・情報学の構築—国際比較の観点から—	10,790
	17H00800	生命環境系	教授	鈴木 石根	アルケノン生産性藻類の物質生産性向上のための基盤技術の研究	14,560
	17H00842	システム情報系	教授	伊藤 誠	ヒューマンマシンシステム高安全化のための相補的共有制御の体系化	14,690
	17H00876	体育系	教授	西保 岳	高体温誘発性換気亢進反応のメカニズム解明と熱中症予防への応用	10,920
	17H00966	人文社会系	教授	竹中 佳彦	グローバル時代のエリートと対抗エリートの平等観と政策ネットワークの変容	4,680
	17H01122	数理物質系	講師	中條 達也	ALICE 実験 ジェットと前方光子で探る高温クォーク物質生成の起源	17,290
	17H01137	数理物質系	教授	守友 浩	イオン注入に伴う物質の局所構造とその構造発展の解明	7,540
	17H01146	数理物質系	教授	初貝 安弘	トポロジカル相でのバルク・エッジ対応の多様性と普遍性:固体物理を越えて分野横断へ	0
	17H01251	システム情報系	教授	鈴木 健嗣	姿勢変換と移動行為を支援するソフトロボットアシスト技術の創成	10,660
	17H01342	数理物質系	教授	中村 潤児	窒素ドーブカーボン触媒の機能解明とボトムアップ合成	19,110
17H01440	生命環境系	教授	稲葉 一男	新規光受容タンパク質による鞭毛繊毛機能の光制御	12,610	
17H01461	生命環境系	教授	江面 浩	大規模変異体集団と新規高糖変異体を活用したトマトの糖蓄積分子機構の解明	9,100	

(金額の単位:千円)

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
【一般】 基盤研究(A)	17H01519	生命領域学際研究センター	教授	深水 昭吉	RNAメチル化を介した栄養情報と生物寿命	11,310
	25241020	生命環境系	教授	野村 暢彦	微生物シグナルを利用した微生物集団制御技術の科学的基盤確立に関する研究	6,500
	26242021	芸術系	教授	松井 敏也	被災博物館等の汚染ガスからみた資料と環境の安定化およびその評価手法の研究	8,060
	26242073	数理物質系	副学長	木越 英夫	海洋天然物の誘導するタンパク質-タンパク質相互作用の解明	5,200
	26244008	芸術系	教授	守屋 正彦	東アジア文化の基層としての儒教の視覚イメージに関する研究	6,240
	26245082	人間系	教授	磯田 正美	グローバル社会における未来構築型数学教育実現への国際先導研究	7,930
	26245086	人間系	教授	竹田 一則	障害のある学生の修学支援における合理的配慮のあり方に関する学際的研究	6,760
	26247019	数理物質系	教授	中井 直正	大規模電波カメラによる「あかり」北極域の掃天観測	1,300
	26249073	システム情報系	准教授	谷口 綾子	健康に配慮した交通行動誘発のための学際的研究	8,320
	26249104	数理物質系	特命教授	宮崎 修一	チタン合金のマルチスケール組織の解明と実用材料開発	4,420
26249141	数理物質系	名誉教授	今井 剛	原型炉ECHに向けたマルチMWジャイロトロン発振の研究	5,070	
【海外学術調査】 基盤研究(A)	15H02636	芸術系	教授	上北 恭史	伝統的生産システムによる保存手法の研究-熱帯地域木造建造物保存の国際共同研究	8,580
	17H01625	生命環境系	教授	中嶋 光敏	インドネシアにおける海藻産業の高度持続的発展のための生産・加工・開発経済的戦略	12,480
	17H01628	芸術系	教授	松井 敏也	アンコール遺跡群における石材劣化の新展開とその集学的研究	10,140
	17H01682	生命環境系	教授	渡邊 和男	政治的及び地理的に隔離された少数民族独自生存圏での植物遺伝資源及び伝統知の賦存	11,180



(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基 盤 研 究 ( B ) 【 一 般 】	25280114	ビジネスサイエンス系	教授	吉田 健一	通販のための学習不要型不正取引検知技術の研究	2,730
	25282185	体育系	准教授	長谷川 悦示	e-Learningによる体育授業評価システムと授業実践研究ネットワークの構築	2,340
	25285026	ビジネスサイエンス系	教授	弥永 真生	中小企業の会計とその適正性の確保	2,470
	26280027	システム情報系	教授	李 頡	クラウド環境における異種ネットワークの管理・評価・情報サービスイノベーション	3,640
	26280118	図書館情報メディア系	教授	中山 伸一	検索メディアと思考パターンに関する検索語生成過程の脳活動データ解析	3,250
	26284051	人文社会系	准教授	平石 典子	日本現代文学・文化の世界展開の比較文学的研究―〈ポップ〉なテキストを中心に	4,550
	26285095	ビジネスサイエンス系	教授	佐藤 忠彦	市場反応形成メカニズム解明のための体系的な研究	4,030
	26285196	人文社会系	教授	矢澤 真人	作文を支援する語彙・文法的事項に関する研究	1,560
	26285208	人間系	教授	原島 恒夫	インクルーシブ時代および高度医療時代における聴覚障害教育の在り方に関する研究	2,080
	26286011	数理物質系	教授	佐々木 正洋	有機半導体のドーピングにおける分子レベル構造変化と電子物性改質の相関	1,300
	26287001	数理物質系	教授	宮本 雅彦	頂点作用素代数の研究と軌道理論の応用	3,380
	26289159	生命環境系	教授	浅沼 順	広域観測データを用いた陸面データ同化実験	2,340
	26289352	数理物質系	教授	坂本 瑞樹	照射損傷タングステンの水素吸蔵とその低減法の開発	2,470
	26292189	生命環境系	教授	谷本 啓司	エピゲノム情報修復システムとしての受精後刷り込みメチル化機構の役割	2,730
	26293320	医学医療系	副学長	松村 明	病院内加速器中性子捕捉療法確立のための基礎的・臨床的研究	4,160
	26293349	医学医療系	教授	西山 博之	多系統動物モデルを用いた尿路上皮癌の発癌進展における腫瘍微小環境の解明	3,900
	15H02674	システム情報系	准教授	山際 伸一	データストリーム伝送路におけるロスレス圧縮技術の開発	4,810
	15H02733	システム情報系	教授	矢野 博明	バーチャルモデルとの協調歩行に関する研究	2,340
	15H02744	システム情報系	教授	山本 幹雄	統計的機械翻訳における翻訳・言語モデルの高速かつコンパクトな実装方法に関する研究	4,290
	15H02765	医学医療系	講師	首藤 文洋	感性を通して直感的に「惹かれる」物に対する行動選択思考メカニズムの脳機能的解明	3,380
15H02840	生命環境系	准教授	清水 和哉	藍藻産生毒素分解菌の分子育種株を用いた新規水環境修復技術の開発	4,680	
15H02859	生命環境系	教授	楊 英男	海洋微細藻類からのエネルギー回収を目指した太陽光利用型光触媒システムに関する研究	4,290	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基 盤 研 究 ( B ) 【 一 般 】	15H02957	生命環境系	准教授	山中 勤	同位体トレーサーと数値モデルの複合利用による山岳流域水収支評価の高精度化	1,950
	15H02966	システム情報系	教授	吉瀬 章子	錐最適化技術の実社会における利活用を加速させる基礎理論の整備と深化	3,250
	15H03069	体育系	教授	本田 靖	簡易暑熱順化トレーニング法開発とその実用化にむけたコベネフィット評価	3,250
	15H03070	体育系	准教授	小池 関也	駆動源の出力様式を考慮した走・打・投動作の動力学的な生成メカニズムの解明	1,950
	15H03091	体育系	名誉教授	目崎 登	運動や食事による性ステロイドホルモンの増加が動脈硬化改善効果に貢献する機序の解明	4,550
	15H03092	医学医療系	准教授	矢作 直也	エネルギー代謝制御を担う核内情報処理機構の解明と生活習慣病治療への応用	4,680
	15H03093	医学医療系	准教授	松坂 賢	生活習慣病予防における脂肪酸組成制御の有用性の解明と健康科学への応用	4,680
	15H03122	医学医療系	教授	桜井 武	ストレスや不安が過覚醒をうむ神経科学的機構の解明	5,980
	15H03146	システム情報系	教授	岡本 直久	複数の観光交通データの融合的活用方法の開発と政策評価への展開	2,730
	15H03150	人文社会系	名誉教授	谷川 多佳子	中世後期から近世初期までの(メディタチオ)に関する国際協働による哲学史的総合研究	3,380
	15H03173	芸術系	教授	中村 義孝	日伊の交流を通じた蠟型ブロンズ彫刻の新しい表現の研究	3,120
	15H03214	人文社会系	教授	加納 千恵子	日本語の漢字力評価の方法に関する研究	4,420
	15H03274	生命環境系	教授	呉羽 正昭	日本におけるインバウンド・ツーリズムの発展に関する地理学的研究	3,900
	15H03280	人文社会系	教授	前川 啓治	下からの地域開発の実践—フットパスと農村民泊による展開	3,640
	15H03327	システム情報系	准教授	栗野 盛光	肝臓・肺生体交換移植ネットワークの構築	2,990
	15H03373	ビジネスサイエンス系	教授	大野 忠士	流動性指標の時系列分析:企業倒産に影響を及ぼす金融経済指標間の因果関係解明	1,690
	15H03426	人間系	教授	小澤 温	ケアマネジメントにおける意思決定支援プログラム開発と評価に関する研究	2,470
	15H03454	体育系	教授	坂入 洋右	心のダイアグラムを活用した自己調整による“身心”の機能の最適化	3,380
	15H03470	人文社会系	教授	桑原 直巳	カトリック系人文主義教育と日本—イエズス会を中心に—	4,030
	15H03493	人間系	名誉教授	長洲 南海男	教科と内容構成新ビジョンの解明—米国・欧州STEM・リテラシー教育との比較より	4,680
15H03509	人間系	准教授	佐島 毅	盲幼児・児童の発達段階に応じた教材・教具の開発と指導モデルの構築	3,770	
15H03638	計算科学研究センター	教授	梅村 雅之	一般相対論的輻射流体によるブラックホール超臨界降着流と超大質量星の研究	1,560	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤 研究 (B) 【一 般】	15H03650	計算科学研究センター	准教授	石塚 成人	格子QCDによるK中間子崩壊の直接的CP非保存パラメータの決定	4,550
	15H03651	計算科学研究センター	教授	蔵増 嘉伸	テンソルネットワーク形式による格子ゲージ理論の研究	5,980
	15H03673	数理物質系	准教授	野村 晋太郎	ヘリカルTHz波による二次元電子系局所励起効果の解明	2,990
	15H03674	計算科学研究センター	教授	矢花 一浩	第一原理計算に基づく極限パルス光と物質の相互作用の解明	2,990
	15H03925	システム情報系	教授	阿部 豊	静電場・超音波ハイブリッド浮遊法を用いた非接触無容器プロセス制御技術の開発	4,160
	15H03966	数理物質系	教授	柳原 英人	人工磁壁における非線形電気磁気効果の観測	2,600
	15H03983	数理物質系	教授	佐野 伸行	単原子層FETデバイスにおける電子間クーロン相互作用と室温動作特性の予測	4,550
	15H04054	システム情報系	教授	堤 盛人	空間的自己相関を考慮した地域間フローの計量分析と空間詳細化	5,460
	15H04249	システム情報系	教授	石田 政義	固体酸化物形燃料電池の大容量化に資する電気絶縁信頼性向上	1,300
	15H04281	医学医療系	講師	三輪 佳宏	マウス高度非侵襲イメージングシステムの開発と応用	4,030
	15H04406	生命環境系	教授	橋本 哲男	新型分割イントロンのスプライシング機構と進化多様性の解明	4,810
	15H04411	生命環境系	教授	石田 健一郎	クロララクニオン藻成立に至る宿主ケルコプアの進化	6,240
	15H04445	生命環境系	研究員	小松 節子	オミクス統合シミュレーションを基軸にしたダイズ出芽期に耐湿性を付与する技術の開発	5,070
	15H04506	生命環境系	教授	山岡 裕一	Ash dieback病原菌の起源地周辺での生態、多様性と移入病原菌リスク評価	2,470
	15H04507	生命環境系	教授	上條 隆志	火山島の荒廃地における自生種を用いた緑化に関する生態学的基礎研究	1,560
	15H04560	生命環境系	教授	加藤 衛拡	東北型社会の特質に関する史的研究:地域資源の開発・管理・利用との関係を重視して	2,340
	15H04563	生命環境系	准教授	小林 幹佳	土壌・水環境技術の高度化に資する農業工学とコロイド化学の融合域における課題の解明	3,510
	15H04569	生命環境系	教授	青柳 秀紀	ナノバブルによるプロトプラスト機能の活性化と有用物質の高速度生産システムの開発	4,030
	15H04795	医学医療系	教授	井上 貴昭	救命センターにおける多剤耐性アシネトバクターバウマニ感染経路の解明	1,950
	15H04827	医学医療系	教授	檜澤 伸之	ゲノム情報に基づく難治性気道疾患のエンドタイプへの解明に向けた基盤研究	3,380
15H04862	生命領域学際研究センター	講師	田原 聡子	アレルギー抑制性受容体アラジン-1のリガンド同定とその機能解明	5,070	
15H04885	医学医療系	教授	藤本 学	皮膚筋炎におけるB細胞と自己抗体の病態関与メカニズムの解明	5,070	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基 盤 研 究 ( B ) 【 一 般 】	15H04901	医学医療系	教授	櫻井 英幸	次世代型マルチ粒子線治療の臨床応用のための 基盤研究	5,200
	15H04917	医学医療系	准教授	柳川 徹	Nrf2-p62ダブルノックアウトを用いたオートファジー 異常による肝発癌の解析	4,810
	15H04924	医学医療系	教授	小田 竜也	iCAF:iPS由来の癌線維芽細胞による膵癌幹細胞、 間質幹細胞の糖鎖標的探索	3,250
	15H04947	附属病院	病院講師	高野 晋吾	神経血管ワイアリング分子を標的とした脳腫瘍の血 管新生抑制療法	5,200
	15H05038	医学医療系	教授	武川 寛樹	口腔がん関連microRNAの総合的機能解析と新規 治療法の探索	3,770
	15H05077	医学医療系	教授	水野 道代	ウェブサイトを用いた自己管理支援ががん体験者 のQOL及び心理的安寧に与える効果	3,770
	16H02805	システム情報系	准教授	新城 靖	インターネットにおける利用者協調による利用者追 跡防止	2,210
	16H02842	システム情報系	教授	福井 和広	一般化差分部分空間に基づく特徴抽出の完全解 明と機能強化	5,460
	16H02864	システム情報系	教授	佐久間 淳	機械学習における統計的安全性の理論	5,590
	16H02904	図書館情報メディア系	教授	佐藤 哲司	ソーシャルキャピタルの成長とユーザの情報行動と の相互作用に関する研究	3,120
	16H02913	図書館情報メディア系	准教授	関 洋平	ソーシャルメディアにおける市民意見を活用したシ ティプロモーション	6,500
	16H02967	生命環境系	教授	濱 健夫	海洋バクテリアの長期炭素隔離機能に対する海洋 酸性化の影響評価	4,290
	16H02991	システム情報系	教授	吉野 邦彦	超多重分光画像を用いた釧路湿原の生物多様性 ホットスポット植物群落分類	4,160
	16H03013	芸術系	准教授	橋本 剛	地域の気候と災害の特性に適応した伝統民家・集 落の熱環境デザイン手法	4,160
	16H03111	生命環境系	教授	辻村 真貴	マルチ・トレーサーと数値モデルによる山地源流域 の地下水滞留時間時空間動態の解明	3,510
	16H03118	システム情報系	教授	繁野 麻衣子	ネットワーク上の時間軸をもった最適化問題とその 応用	1,690
	16H03200	システム情報系	准教授	井澤 淳	3次元機能回復モデル規範型リハビリシステムの開 発による麻痺手使用機会の向上	2,860
	16H03223	体育系	教授	酒井 利信	日欧連携による教育としての武道に関する国際研究	4,550
	16H03229	体育系	教授	齋藤 健司	Lex Olympicaの体系と影響に関する研究	3,900
	16H03245	国際統合睡眠医科学研究機構	教授	佐藤 誠	勤労世代のメンタルヘルスの危険因子としての睡 眠様態とその遺伝的要因の探索	5,590
16H03253	国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	中川 嘉	腸肝循環から始まる栄養代謝と炎症による複合炎 症を対象とした生活習慣病の解析	5,850	
16H03254	体育系	教授	徳山 薫平	運動が生体リズムと時計遺伝子発現に及ぼす影響	4,160	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤 研究 (B) 【一 般】	16H03255	医学医療系	教授	久賀 圭祐	運動はNrf2を活性化し組織障害因子TWEAKに誘発される肥満肝疾患を改善する	4,940
	16H03269	医学医療系	教授	野口 恵美子	出生コホート研究によるアレルギー疾患の遺伝環境要因の解明	7,540
	16H03301	医学医療系	教授	設楽 宗孝	行動決定における報酬価値の脳内分散表現メカニズム	5,590
	16H03329	人文社会系	教授	山中 弘	ツーリズムにおける「スピリチュアル・マーケット」の展開の比較研究	2,860
	16H03392	人文社会系	准教授	吉原 ゆかり	1945年を跨境して---アジアにおける英米文学教育のジオポリティクス	2,340
	16H03428	人文社会系	准教授	島田 雅晴	Mirativityにおける「焦点」と「評価」の役割:日英語からのアプローチ	1,170
	16H03439	人文社会系	教授	卯城 祐司	英文理解における5つの状況的次元の更新プロセス:視線計測を用いたアプローチ	2,210
	16H03791	人間系	教授	藤田 晃之	キャリア教育のアウトカム評価指標の開発に関する調査研究	1,950
	16H03792	人間系	教授	清水 美憲	学校数学における次世代型プロセススタンダードの開発	5,980
	16H03808	人間系	教授	園山 繁樹	選択性緘黙児童生徒の多様な状態像の解明と個に応じた支援方法の検討	2,210
	16H03823	数理物質系	准教授	近藤 剛弘	ホウ素を基盤とした新規2次元化合物の創成	5,720
	16H03839	数理物質系	教授	木塚 徳志	原子直視法による自由空間1nm級配線法の開発	1,560
	16H03865	計算科学研究センター	准教授	小野 倫也	大規模第一原理スピン輸送シミュレーターの開発と革新的デバイス用界面構造の設計	2,600
	16H04105	数理物質系	教授	市川 淳士	ピンポイントフッ素化した多環式芳香族化合物の系統的合成と機能開発	4,030
	16H04212	数理物質系	准教授	鈴木 義和	自発的マイクロ球体化現象を用いた新奇多孔質球状粒子の合成と徐放性キャリアへの応用	3,510
	16H04326	数理物質系	准教授	矢野 裕司	低損失p型SiC超接合パワーMOSFETの基盤技術開発	5,460
	16H04469	芸術系	教授	野中 勝利	近代の城下町都市における文化的景観形成の思想と計画技術	1,300
	16H04483	芸術系	教授	上北 恭史	ウクライナ木造教会堂群保存手法の構築ー日欧校倉造修理工法の比較議論を通して	5,460
	16H04514	数理物質系	教授	金 熙榮	Zr合金のマルテンサイト変態の材料学的基礎の確立と新規生体用形状記憶合金の開発	2,860
	16H04678	生命環境系	教授	中田 和人	ミトコンドリアゲノム変異のマウス逆遺伝学	5,980
16H04740	国際統合睡眠医科学研究機構	教授	Liu Qinghua	RNA干渉におけるRISC形成への核内転写因子の関与	6,370	
16H04792	生命環境系	准教授	丹羽 隆介	栄養状態に応じて個体発生と行動を制御する神経基盤の研究	6,890	

(金額の単位:千円)

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(B)【一般】	16H04801	生命環境系	教授	佐藤 忍	多年生植物の有する維管束を介した新規冬季環境適応機構の解明	4,160
	16H04815	生命環境系	教授	笹倉 靖徳	動物の変態において、形態と行動の変化を調和させるメカニズムの解明	5,720
	16H04825	生命環境系	教授	町田 龍一郎	昆虫類頭部内骨格の比較発生学的検討－昆虫類基部分岐の系統的再構築－	4,940
	16H04826	計算科学研究センター	教授	稲垣 祐司	渦鞭毛藻細胞内に発見された新たな共生体痕跡核ゲノムの解読	5,850
	16H04895	生命環境系	教授	中村 顕	"A Sweet and Calorie-free Bacillus!?: Production of L-glucose in B. subtilis	3,120
	16H04985	生命環境系	准教授	氏家 清和	食品の公共財的属性に対する消費者選好の適正な評価手法についての研究	7,280
	16H05008	システム情報系	教授	水谷 孝一	ネットワーク化された個別見守りによる豚の呼吸器感染症拡散防止システム	4,420
	16H05045	医学医療系	教授	青沼 和隆	自然発症心室性不整脈突然死モデルマウスの分子生理学的機序の解明とその臨床応用	2,340
	16H05060	システム情報系	教授	村上 暁信	量から質へのシフトを実現するための緑地の計画制度・設計手法・運用方法の研究	4,810
	16H05098	国際統合睡眠医科学研究機構	教授	長瀬 博	新規オレキシンリガンドの創出と薬理作用の解明	4,290
	16H05169	医学医療系	准教授	渋谷 和子	炎症性腸疾患に対する分子標的療法の基盤開発	5,720
	16H05180	医学医療系	准教授	Ho Kiong	Mechanism of mRNA Recapping pathway in Trypanosome	4,680
	16H05192	医学医療系	助教	川口 敦史	気道上皮細胞特異的なインフルエンザ感染に対する炎症応答	5,850
	16H05220	医学医療系	講師	酒井 俊	肺高血圧進展におけるプロリン異性化酵素Pin1の役割解明と新規治療法の開発	6,110
	16H05236	医学医療系	准教授	熊田 博明	BNCT照射中の患者の動きに追従してリアルタイム線量評価を行うシステムの開発	4,160
	16H05350	医学医療系	助教	小田 ちぐさ	常在菌一制御性T細胞による小児アレルギー疾患の制御メカニズムの解明	5,330
	16H05387	医学医療系	教授	坪井 康次	DNA損傷と細胞死応答に基づく「がん陽子線・複合免疫療法」の開発	5,330
	17H01707	システム情報系	准教授	山口 佳樹	高効率な並列計算を実現するコロニー型メーコプアーキテクチャ	8,450
	17H01718	システム情報系	教授	加藤 和彦	高精度なアクセスパターン予測に基づく省電力大容量ストレージシステムに関する研究	9,880
	17H01748	計算科学研究センター	教授	建部 修見	極端気象予測を拓くビッグデータ機械学習基盤の研究	5,590
17H01754	システム情報系	教授	酒井 宏	皮膚における形状表現の形成－図地分離と物体の中間表現	7,800	
17H01771	システム情報系	教授	葛岡 英明	連鎖的相互行為を支援する超空間遠隔対話システムの研究開発	7,540	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基 盤 研 究 ( B ) 【 一 般 】	17H01772	計算科学研究センター	准教授	北原 格	不特定人称視点映像を用いたコミュニケーション型 教示映像メディア	6,500
	17H01773	計算科学研究センター	教授	亀田 能成	経路撮影に基づく歩行者・パーソナルモビリティナ ビゲーション基盤の構築	4,680
	17H01850	生命環境系	准教授	松下 文経	新リモートセンシング手法による全球湖沼一次生産 量の推定	3,770
	17H01874	数理物質系	准教授	坂口 綾	質量分析による環境中ネプツニウム同位体測定法 開発とその応用	8,450
	17H01957	生命環境系	教授	市川 創作	栄養吸収の制御を目指した胃小腸消化シミュレー ターによる固形食品の消化特性の解析	5,720
	17H01974	芸術系	教授	田中 佐代子	研究者のビジュアルコミュニケーションデザイン力を 育成するeラーニング教材の開発	1,950
	17H02029	生命環境系	教授	松岡 憲知	大起伏山地の侵食モデルの構築－気候環境の異 なる山地での多角的手法に基づく分析－	6,890
	17H02035	ビジネスサイエンス系	教授	倉橋 節也	モデル予測政策決定のためのエージェントベース・ データ同化モデル	4,030
	17H02046	システム情報系	准教授	雨宮 護	地理的犯罪予測の手法構築-学際研究と産官学連 携による学術基盤の確立とシステム開発	2,210
	17H02057	システム情報系	教授	磯部 大吾郎	津波・漂流物による外力を考慮した津波避難ビル の統合型安全性照査システムの構築	3,770
	17H02144	体育系	准教授	宮崎 明世	オリンピック・パラリンピック教育をレガシーとして根 付かせるための教育モデルの開発	2,210
	17H02163	医学医療系	准教授	中田 由夫	身体活動量調査の標準プロトコルの作成と各手法 間の比較可能性の検証	3,640
	17H02174	医学医療系	教授	正田 純一	運動実践はKupffer細胞機能を改善し、脂肪性肝 炎と肝発癌のリスクを低下させる	7,280
	17H02215	国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	Lazarus Michael	動機づけ行動による徐波睡眠制御における側坐核 の役割	7,410
	17H02291	芸術系	教授	菅野 智明	近代東アジアにおける「書壇」形成の地域比較研究	3,900
	17H02316	人文社会系	教授	今泉 容子	ブレイクの複合芸術における「足」——医学的、 ジェンダー的研究	2,600
	17H02412	人文社会系	教授	常木 晃	西アジアにおける農耕化・都市化プロセスの研究	7,410
	17H02434	人文社会系	助教	木村 周平	災害に伴う地域の超長期的な変動の比較研究:東 日本大震災被災地を事例に	3,250
	17H02584	人文社会系	准教授	野上 元	現代の戦争研究と総力戦研究とを架橋する学際的 戦争社会学研究領域の構築	3,510
	17H02604	医学医療系	教授	安梅 勅江	20年間追跡調査に基づく虐待予防および悪化防 止機序の解明と支援モデル開発	7,410
17H02640	人間系	准教授	大塚 泰正	セクシュアル・マイノリティへの適切な対応を促進す る産業保健スタッフ向け研修の開発	6,890	
17H02689	人間系	教授	井田 仁康	「持続可能な社会」に向けての社会科・理科のグ ローバルな融合カリキュラムの開発	4,290	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基 盤 研 究 ( B ) 【 一 般 】	17H02780	数理物質系	准教授	小林 伸彦	キャリア輸送理論に基づく高移動度有機半導体設計	7,540
	17H02781	数理物質系	准教授	梅田 享英	ワイドギャップ半導体(SiCおよびGaN)MOS界面欠陥の電子スピン共鳴分光同定	10,270
	17H02848	数理物質系	教授	竹内 潔	不確定特異点を持つD-加群と幾何学的モノロミーの研究	4,810
	17H02876	数理物質系	教授	三明 康郎	Di-Jet識別装置を用いたグルオン衝撃波の探索	4,160
	17H02908	数理物質系	教授	長谷 宗明	トポロジカル絶縁体におけるコヒーレント表面フォノン誘起量子相転移の研究	3,120
	17H02909	数理物質系	准教授	池沢 道男	0次元および2次元的に閉じ込められた励起子の共鳴励起による区別のつかない光子発生	7,800
	17H03027	数理物質系	教授	小島 隆彦	高原子価金属錯体の酸化反応特性と基質酸化反応機構制御要因の解明	11,440
	17H03034	数理物質系	教授	守橋 健二	新奇光機能ナフタルイミド誘導体の理論・実験融合型基盤研究	8,190
	17H03063	数理物質系	教授	神原 貴樹	繰り返し構造秩序の制御を可能にする酸化クロスカップリング重合法の開発	8,320
	17H03258	システム情報系	教授	安永 守利	適応的に波形を整形できる伝送線の開発	2,990
	17H03319	システム情報系	教授	谷口 守	成人病化する都市の退化マネジメントによる自律再生	5,590
	17H03371	芸術系	教授	稲葉 信子	文化と景観およびその保護手法の研究ー農業景観・里地里山景観の保全管理の課題	4,030
	17H03566	医学医療系	特命教授	八神 健一	胚発生と配偶子形成におけるExoc1遺伝子の機能解析	8,450
	17H03568	医学医療系	教授	杉山 文博	ヒト多能性幹細胞評価を革新する非ヒト霊長類-マウス異種間キメラ解析システムの開発	6,890
	17H03612	医学医療系	助教	宮寺 浩子	MHC機能改変による自己免疫疾患の発症制御とその機序の解明	6,370
	17H03761	生命環境系	准教授	有泉 亨	トマトにおける細胞質雄性不稔性回復遺伝子同定による効率的F1採種系の確立	5,850
	17H03891	生命環境系	教授	北村 豊	生産・加工空間におけるストレス操作によるカンキツ成分制御法の確立	9,750
	17H03962	生命環境系	准教授	橋本 義輝	アミド合成工業酵素素群の分子機能解析	6,500
	17H04023	国際統合睡眠医科学研究機構	教授	船戸 弘正	SIKファミリーによる睡眠覚醒制御機構の解明	4,810
	17H04036	医学医療系	教授	久武 幸司	iPS細胞誘導過程でのKlf4による細胞形態と細胞機能のリプログラミング機構	5,720
17H04121	医学医療系	准教授	山岸 良匡	要介護認知症の介入可能な促進・抑制因子解明のための大規模コホート共同研究	4,420	
17H04256	医学医療系	准教授	福光 延吉	99Mo/99mTc国産化を推進する空間構造に優れた新規アルミナ吸着剤の開発	5,720	



(金額の単位:千円)

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(B)【一般】	17H04289	生命領域学際研究センター	教授	柳沢 裕美	メカニカルストレス応答の破綻に着目した大動脈瘤形成メカニズムの解明	8,970
	17H04350	医学医療系	教授	大鹿 哲郎	新しい生体画像化技術を用いたマルチコントラスト三次元眼イメージング装置の開発	9,490
	17H04362	生命領域学際研究センター	研究員	本多 伸一郎	アラジン-1を標的とした新規敗血症治療法の開発	6,890
基盤研究(B)【海外学術調査】	26300032	生命環境系	名誉教授	田林 明	カナダにおける農村空間の商品化による都市-農村共生システム構築の実証的研究	3,770
	26301030	人文社会系	教授	田中 洋子	ドイツにおける仕事とケアの調整政策の研究	3,120
	26302009	生命環境系	教授	角替 敏昭	原生代ゴンドワナ衝突帯にみられる太古代地殻断片の岩石学的解析	2,080
	15H05111	生命環境系	准教授	廣田 充	チベット高原における温暖化にともなう有機物分解促進メカニズムの解明	2,990
	15H05198	人間系	教授	嶺井 明子	ロシア及びCIS諸国における教育改革と教師教育の現代化に関する総合的調査研究	3,380
	15H05231	生命環境系	教授	橋本 哲男	嫌気環境に生育する真核微生物の多様性の解明	3,250
	15H05294	医学医療系	講師	河野 了	Exploration of the role of environmental chemical (arsenic) in the development of diabetes and the related metabolic disorders for South Asian Countries	2,340
	15H05296	医学医療系	教授	我妻 ゆき子	バングラデシュの妊婦へのプロバイオティクス経口投与による出生体重と乳児成長の効果	5,460
	16H05701	人間系	准教授	Lamichhane Kamal	ネパール大地震の社会的インパクトとレジリエンス強化のための革新的支援法	2,080
	16H05726	人間系	教授	窪田 眞二	国際バカロレアに対応する教員養成の国際比較研究	4,290
	16H05778	生命環境系	教授	河瀬 眞琴	東南アジア山地の植物遺伝資源探索と農民の権利	4,550
	16H05787	生命環境系	助教	安立 美奈子	熱帯乾燥季節林の水分ストレスと火災が炭素循環に与える影響評価と森林再生への対策	4,528
	17H04543	人文社会系	准教授	明石 純一	人の国際移動をめぐるリージョナルガバナンスの国際比較実証分析	2,860
	17H04565	図書館情報メディア系	准教授	鈴木 佳苗	広告における栄養強調表示が保健行動の促進と抑制に及ぼす影響に関する国際比較研究	5,850
17H04581	生命環境系	准教授	上松 佐知子	微化石相の多様性に着目した古生代前半の海洋環境の復元と展示普及事業への活用	4,030	

(金額の単位:千円)

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
【特設分野研究(B)】	15KT0074	生命環境系	教授	和田 洋	転写制御ネットワークの頑健性と柔軟性、相転移の実験的検証	4,030
	16KT0005	人間系	研究員	中村 仁洋	高齢期・超高齢期における歌いと語りの神経機構	2,600
	16KT0048	数理物質系	教授	山本 泰彦	水分子によるヘム核酸複合体の酸化触媒作用調節機構の解明と機能設計への応用	4,290
	16KT0117	医学医療系	助教	宮寺 浩子	HLA提示抗原ペプチドのカタログ化	6,240
	17KT0068	生命環境系	准教授	廣田 充	農資源としてのカヤ生産に欠かせないカヤ場の多面的評価:カヤ場の持続利用にむけて	11,700
	17KT0069	生命環境系	教授	江前 敏晴	日本林業再興のための木材需要を生み出す統合的ペーパーデバイスの開発と活用	8,580
【一般】	15K00005	数理物質系	名誉教授	佐々木 建昭	疎な多変数多項式・系に対する近似代数法の開発と安定・効率化	1,300
	15K00296	システム情報系	教授	狩野 均	複雑制約ネットワークを対象とした汎用群知能による問題解決方式	910
	15K00358	図書館情報メディア系	准教授	三河 正彦	積雪地帯における半自律移動ロボットと地域情報データベースによる情報提供システム	1,170
	15K00395	ビジネスサイエンス系	教授	津田 和彦	死因究明プロセスのノウハウ顕在化に関する研究	1,170
	15K00420	システム情報系	准教授	岡 瑞起	ソーシャルメディアにおけるバースト現象の理解と予測に関する研究	1,430
	15K00434	システム情報系	准教授	佐藤 聡	異なり数計測アルゴリズムを多分野に適応するための最適パラメータの設定手法の開発	1,170
	15K00444	図書館情報メディア系	講師	永森 光晴	LinkedDataを基礎とした用例に基づくメタデータ語彙発見とスキーマ設計支援	1,430
	15K00458	図書館情報メディア系	准教授	真栄城 哲也	糖尿病の包括的な知識表現	1,430
	15K00479	図書館情報メディア系	教授	綿抜 豊昭	共同体験型自然観察会学習支援システム	1,300
	15K00599	生命環境系	准教授	雷 中方	Formation of Granules with High Phosphorus Content to Realize Efficient Phosphorus Recovery from Waste Activated Sludge by Using Anaerobic Digestion Followed by Aerobic Granulation Technology	910
	15K00677	芸術系	准教授	山本 早里	地域再生に資する環境色彩デザイン手法ー日本特有の環境色彩と歴史の変遷を考慮してー	1,170
	15K00776	生命環境系	名誉教授	佐竹 隆顕	食肉の新鮮度を評価する電気化学的マイクロ分析システムの開発	1,430
	15K01055	医学医療系	研究員	Kim Jaejeong	新外科教育コンバージェンス構築のための次世代型ダイナミック手術教材開発	1,300
	15K01159	生命環境系	教授	杉田 倫明	霞ヶ浦水収支に係わる水文量の空間分布構造とその40年間の変化	1,300
15K01179	ビジネスサイエンス系	教授	猿渡 康文	医療サービスとそのネットワーク化のメカニズム分析	780	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基 盤 研 究 ( C ) 【 一 般 】	15K01451	医学医療系	教授	徳田 克己	高齢者、障害者、幼児の移動上のバリアを解消するための啓発・教育プログラムの開発	1,430
	15K01514	体育系	講師	本谷 聡	小学校低・中学年における児童の笑顔あふれる運動プログラムの開発に関する研究	1,170
	15K01550	体育系	教授	鍋倉 賢治	長距離ランナーのエネルギー節約に関わる能力の評価	910
	15K01551	体育系	准教授	榎本 靖士	ランニングエコノミーを用いた中・長距離走における評価・診断法の開発	780
	15K01586	体育系	教授	真田 久	オリンピック・パラリンピック競技大会開催国におけるマナー教育の在り方に関する研究	1,040
	15K01587	体育系	副学長	清水 諭	東京湾岸エリアとオリンピックに関する研究	1,040
	15K01646	医学医療系	准教授	太刀川 弘和	大学生の自殺予防を目的とするメンタルヘルスリテラシー教育手法の開発	1,300
	15K01647	体育系	准教授	柴田 愛	地域在住高齢者における座り過ぎの健康影響および決定要因を解明するための縦断研究	1,560
	15K01701	医学医療系	准教授	鈴木 浩明	生活習慣病におけるmicroRNAのバイオマーカーとしての意義に関する研究	1,040
	15K01862	人文社会系	准教授	Dadabaev Timur	対中央アジア政策の日中比較	1,560
	15K01984	人文社会系	教授	檜垣 良成	カント目的論のコンテキストとしてのバウムガルテン「自然神学」の検討	650
	15K02333	人文社会系	教授	竹谷 悦子	African American Global Imaginary	650
	15K02401	人文社会系	教授	武井 隆道	18・19世紀転換期の身体表象 — ヘルダー・ゲーテとパフォーマンス芸術	1,170
	15K02502	人文社会系	教授	柳田 優子	言語類型論の視点からみた日本語史の項表示の変遷: 通時コーパスを利用した実証研究	1,690
	15K02630	人文社会系	教授	小野 正樹	「言い換え」に関する語彙・表現の基礎的研究	1,560
	15K02746	人文社会系	教授	相澤 啓一	通訳者が持つ知見とノウハウのドイツ語教育への還元	910
	15K03003	生命環境系	准教授	松井 健一	先住民族の環境紛争解決のためのインフィニティ型ディプロマシー理論の実証	1,430
	15K03237	図書館情報メディア系	准教授	石井 夏生利	個人情報不正取得・漏えいに関する法制度及び運用状況の各国比較	780
	15K03309	人文社会系	教授	潘 亮	冷戦期日本の国連外交における西側とアジア・アフリカー調整と対立の過程に関する研究	520
	15K03310	人文社会系	准教授	東野 篤子	トルコのEU加盟問題の今日的課題とヨーロッパ国際関係をめぐる研究	910
15K03391	システム情報系	准教授	大久保 正勝	モデル不確実性回避度の計測と異質性の国際比較	780	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基 盤 研 究 ( C ) 【 一 般 】	15K03412	人文社会系	助教	Jeet Bahadur Sapkota	Impacts of Access to Infrastructure on Human and Community Development in Hilly-Mountainous Area: Evidence from Rural Nepal	1,170
	15K03413	システム情報系	名誉教授	丸山 義皓	自己雇用生産者家計の景気変動安定化作用に関する経時的国際研究	650
	15K03414	ビジネスサイエンス系	准教授	Maswana Jean-Claude	Accounting for Technology Imitation in Trade-Led Growth in African Economies	650
	15K03501	人文社会系	准教授	内藤 久裕	人口減少社会での、大規模移民受け入れと企業のオフショアリングの総合的分析	1,040
	15K03721	ビジネスサイエンス系	教授	西尾 チヅル	消費者の社会志向と消費行動	1,690
	15K03833	人文社会系	准教授	五十嵐 泰正	生産者と消費者の認識論的切断の克服のための多角的研究ー主に労働と地域の視点から	910
	15K04051	医学医療系	准教授	水野 智美	発達障害幼児を持つ保護者の障害受容を促す支援プログラムの開発	1,560
	15K04110	人間系	准教授	青木 佐奈枝	自殺念慮・自傷行為への遭遇体験に関する調査研究ー自殺予防教育の一環としてー	1,170
	15K04180	人間系	准教授	山田 一夫	ニオイ刺激が生み出すトラウマ記憶:恐怖条件づけと母子分離を用いた検討	1,170
	15K04210	人間系	准教授	國分 麻里	学校より見る植民地期朝鮮の教育に関する基礎的研究	910
	15K04276	利益相反・輸出管理マネジメント室	准教授	新谷 由紀子	大学の利益相反マネジメント運用基準策定及び教職員研修の資料作成に関する調査研究	650
	15K04277	人間系	教授	樋口 直宏	小中一貫教育における発達特性および汎用的能力をふまえたキャリア教育プログラム開発	1,170
	15K04278	図書館情報メディア系	教授	溝上 智恵子	多文化国家カナダにおける道徳教育政策の形成と推進	1,300
	15K04404	芸術系	准教授	齋藤 敏寿	コミュニケーションツールとなる作陶を活用した教育プログラムの構築	1,170
	15K04480	人間系	教授	甲斐 雄一郎	東アジアを視野においた古典化への参加プログラムの開発	910
	15K04537	人間系	教授	野呂 文行	通常学級での発達障害児童の行動問題に対する集団随伴性と個別支援の組合せ条件の検討	1,820
	15K04538	人間系	講師	浜田 淳	鍼灸実習における視覚障害学生の治療教育プログラムの開発に関する教材論的研究	1,560
	15K04539	人間系	名誉教授	廣田 栄子	軽中等度難聴児の言語処理機能のアセスメントプロセスと支援ガイドラインの構築	1,170
	15K04632	数理物質系	講師	大石 基	DNAクリック連鎖反応に最適なナノ界面の構築によるアルツハイマーの客観的早期診断	780
	15K04688	数理物質系	講師	南 英俊	高温超伝導体によるテラヘルツ波発振の高周波教化、高強度化と高温化	910
15K04719	数理物質系	准教授	寺田 康彦	イネ腋芽の成長評価用4次元MRIマイクロコピーの開発	1,040	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤 研究 (C) 【一 般】	15K04803	数理物質系	准教授	佐垣 大輔	Kirillov-Reshetikhin 加群の結晶基底とその組合せ論的実現	1,170
	15K04804	数理物質系	名誉教授	木村 達雄	良い性質をもつ概均質ベクトル空間の研究	1,170
	15K04834	数理物質系	教授	井ノ口 順一	ループ群による非コンパクト対称空間への調和写像の構成と曲面論への応用	1,170
	15K04835	数理物質系	准教授	田崎 博之	対称空間の対蹠集合の拡張と応用	1,560
	15K04866	数理物質系	講師	石井 敦	ハンドル体結び目の向きと不変量	1,560
	15K04891	数理物質系	教授	田島 慎一	特異点の計算複素解析と代数解析アルゴリズム	780
	15K04946	数理物質系	講師	久保 隆徹	流体力学の非定常問題への実解析的・数値解析的アプローチ	910
	15K04974	システム情報系	教授	Miao Ying	デジタル指紋及びグループ検査に共通する組合せ構造とアルゴリズムに関する研究	1,430
	15K05041	数理物質系	教授	金谷 和至	有限温度・有限密度クォーク物質の物性と相構造	1,040
	15K05068	数理物質系	研究員	滑川 裕介	格子量子色力学による新たなハドロン存在形態の解明	910
	15K05121	数理物質系	教授	日野 健一	コヒーレントフォノン生成機構における過渡的準粒子描像の定量的検証	780
	15K05307	生命環境系	准教授	鎌田 祥仁	ジュラ紀付加体における地震性断層	650
	15K05412	数理物質系	講師	中本 真晃	歪共役系分子の化学: 高歪み炭素 $\sigma$ 骨格および4 $\pi$ 反芳香族分子の構築と物性の解明	1,560
	15K05413	数理物質系	講師	Lee Vladimir	Pyramidal Structures: New Type of Cluster Compounds	1,300
	15K05414	数理物質系	准教授	瀧辺 耕平	フッ素置換錯体を基盤とする有機フッ素化合物の触媒的合成法	1,040
	15K05671	システム情報系	准教授	松田 昭博	マイクロセルラー発泡材料のマイクロ構造均質化による力学特性の設計法構築	650
	15K05754	システム情報系	教授	三谷 純	折り紙の技術を産業へ活用するための形状設計手法に関する研究	1,560
	15K05781	システム情報系	准教授	金子 暁子	化学反応器としてのマイクロバブルの可能性とその応用に関する研究	1,430
	15K05922	システム情報系	准教授	伊達 央	流体のみにより動作・制御される自己推進柔軟マニピュレータの3次元化	390
	15K06103	システム情報系	教授	工藤 博幸	超圧縮センシングの基礎構築と多様なトモグラフィへの応用	1,040
15K06823	医学医療系	助教	山下 年晴	グリオブラストーマ由来血管の発生機序とその性質がもたらす悪性度への影響	650	
15K06943	医学医療系	研究員	田原 浩昭	減数分裂期染色体の対合機構と非対合サイレンシング機構の関係解明	1,560	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤 研究 (C) 【一 般 】	15K06944	医学医療系	教授	入江 賢児	RNA制御系によるmRNA安定性と翻訳の時空間 ファインチューニング	1,040
	15K07039	医学医療系	准教授	大林 典彦	Rabによるエフェクター分子分解機構の解明	1,560
	15K07213	生命環境系	研究員	鈴木 亮	温暖化に対する生物多様性の安定性効果	1,300
	15K07253	生命環境系	助教	野中 聡子	人工制限酵素CRISPR/Cas9を利用したγアミノ酪 酸高蓄積トマトの育種	2,470
	15K07284	生命環境系	准教授	福田 直也	レタス植物体中におけるクロロゲン酸含有量を増大 させる明期延長型照明処理法の開発	780
	15K07333	生命環境系	准教授	古川 純	多核種同時イメージング手法を用いた植物のミネラ ル輸送機構の解析	1,690
	15K07406	生命環境系	教授	繁森 英幸	植物の屈性現象機構解明に関する生物有機化学的 研究	1,430
	15K07452	生命環境系	准教授	Neves Marcos	Development of antimicrobial packaging system foreseeing enhanced storage stability of lotus root (Nelumbo nucifera)	1,560
	15K07523	藻類バイオマス・ エネルギーシステム 開発研究センター	主任研究員	田辺 雄彦	汽水湖で特異的に大量発生する新奇強毒アオコの エコトキシコ・ゲノミクス	780
	15K07761	生命環境系	助教	浅野 敦之	鳥類精子の受精機構分子基盤における膜ラフトマ イクロドメインの機能的役割	1,300
	15K07790	生命環境系	教授	戒能 洋一	ハマキガの産卵が引き起こす誘導とその発現機構 の解明	1,170
	15K07823	芸術系	教授	黒田 乃生	世界文化遺産における複合的な森林整備のため のガイドラインの作成	1,170
	15K08042	医学医療系	助教	新開 泰弘	カドミウムの毒性防御を担う小胞体ストレス応答系と 活性イオウ分子産生系の協調的役割	1,560
	15K08148	医学医療系	准教授	増田 知之	従来型解析にバイオインフォマティクスデータを取り 入れた新規長鎖遺伝子の機能解析	1,560
	15K08171	医学医療系	助教	小金澤 禎史	呼吸循環連関に関与する脳内ネットワークの解明: 本態性高血圧の原因とは?	1,560
	15K08457	医学医療系	教授	森川 一也	限定的発現遺伝子群espの機能解析による新たな 細菌特性の解明	1,430
	15K08540	医学医療系	講師	高屋敷 明由美	地域枠医学生の医師不足地域での従事意思につ いての全国調査	1,040
	15K08640	医学医療系	准教授	大越 靖	原発不明がんの治療成績向上を目的とした、がん 組織由来マイクロRNAの網羅的解析	1,430
	15K08665	医学医療系	講師	山本 純偉	疼痛による扁桃体抑制性神経回路可塑性機構の 解明	1,560
	15K08800	医学医療系	助教	馬 恩博	Disparities, dynamic changes, and controls of burden of cardiovascular diseases and cancer in Japan, China, and Taiwan	1,430
15K08963	医学医療系	教授	小島 寛	大腸癌血管新生阻害薬の効果予測を可能にする バイオマーカーの網羅的探索	1,560	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤 研究 (C) 【一 般】	15K09209	医学医療系	講師	川口 未央	難治性喘息の病態解明: IL-17Fの意義	1,170
	15K09241	医学医療系	講師	森戸 直記	転写因子異常による巣状糸球体硬化症発症機序の解明	1,170
	15K09493	医学医療系	助教	錦井 秀和	同種骨髄移植後の新規免疫モニタリングシステムと免疫寛容メカニズムの解明	1,430
	15K09518	医学医療系	准教授	松本 功	関節炎における炎症性サイトカインと自己免疫応答相互の制御	1,560
	15K09519	医学医療系	講師	坪井 洋人	IgG4関連疾患におけるCCL18-CCR8と疾患特異的治療標的分子の探索	1,560
	15K09680	医学医療系	教授	堀米 仁志	早期に発症する遺伝性不整脈の遺伝子型と臨床的表現型の関連の検討及び治療法の確立	910
	15K09757	医学医療系	講師	沖山 奈緒子	皮膚苔癬反応におけるランゲルハンス細胞によるCD8 T細胞抑制機構の解明	1,560
	15K09758	医学医療系	特任助教	高崎 真美	表皮初期発生制御におけるADAMTS-2の機能解析	910
	15K09822	医学医療系	講師	東 晋二	タンパク質-RNA相互作用が及ぼす神経変性疾患の病態機序の解明	910
	15K09986	医学医療系	助教	松本 孔貴	次世代型ホウ素中性子捕捉療法の実現に向けた多角的アプローチ	1,560
	15K10277	医学医療系	准教授	鬼塚 正孝	胸腔内に存在する癌細胞の進展に関する実験研究	1,170
	15K10291	医学医療系	准教授	鶴嶋 英夫	徐放性DDSと未分化細胞を用いた脳虚血に対する再生医療の基礎的研究	1,040
	15K10327	医学医療系	准教授	石川 栄一	グリオーマ幹細胞に対する免疫チェックポイント阻害薬とワクチン療法の併用	1,300
	15K10531	医学医療系	教授	福田 妙子	術後認知障害におけるオランザピンの効果	520
	15K10797	医学医療系	准教授	栗飯原 輝人	難治性頭頸部癌硼素中性子捕捉療法と併用療法上乗せ効果の研究	650
	15K10859	医学医療系	准教授	加治 優一	加齢黄斑変性症における異常凝集蛋白質の同定および新規治療薬・光線力学療法の開発	1,170
	15K11655	医学医療系	准教授	川野 亜津子	バイオマーカーを用いた妊娠期からの産後鬱スクリーニングプログラム開発に関する検討	520
	15K11787	医学医療系	教授	森 千鶴	統合失調症者のメタ認知機能を高めるリアリティモニタリングプログラムの開発	1,430
	16K00008	システム情報系	名誉教授	井田 哲雄	Geometric Algebraを核とする折紙計算論の展開	780
	16K00028	システム情報系	教授	久野 誉人	非凸大域的最適化のための実践的分枝限定法の構築	1,560
16K00029	ビジネスサイエンス系	教授	Xu Hua	両面性電力市場におけるプラットフォーム戦略に関する研究	1,430	
16K00148	図書館情報メディア系	助教	藤澤 誠	複雑な境界形状に対応できる流体シミュレーション技術の確立	1,300	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基 盤 研 究 ( C ) 【 一 般 】	16K00149	システム情報系	助教	渡辺 知恵美	クラウド環境におけるセキュアなデータ販売市場支援システム	1,300
	16K00150	計算科学研究センター	准教授	川島 英之	先進的デバイスの利活用による高性能データ基盤システムに関する研究	910
	16K00168	計算科学研究センター	教授	高橋 大介	メニーコア超並列クラスタにおける有理数演算ライブラリに関する研究	1,300
	16K00183	システム情報系	准教授	面 和成	多彩な機能を有する準同型認証子およびデータ軽量認証手法に関する研究	2,080
	16K00228	図書館情報メディア系	准教授	手塚 太郎	カーネル法による辞書学習の拡張と画像特徴量抽出への応用	1,170
	16K00265	システム情報系	准教授	嵯峨 智	錯触覚を利用した人間の創造性を促す双方向型多自由度触覚デバイス	1,430
	16K00322	システム情報系	教授	亀山 啓輔	高次スペクトル特徴量の学習的な選択による信号認識機構の開発	2,080
	16K00349	システム情報系	教授	大矢 晃久	三次元測域センサを用いた視覚障害者のための誘導方式に関する研究	1,950
	16K00418	システム情報系	助教	橋本 康弘	オンライン写真共有サービスにおけるソーシャルタグギングダイナミクスの解明	1,430
	16K00438	図書館情報メディア系	准教授	辻 慶太	Wikipedia閲覧者に対する図書推薦	650
	16K00456	人文社会系	准教授	和氣 愛仁	アノテーション付与型画像データベースプラットフォームの応用に関する方法論構築	1,300
	16K00457	図書館情報メディア系	名誉教授	岩澤 まり子	症状表現とアウトカム表現を使用した、医療消費者による学術文献の利用支援の研究	1,820
	16K00567	生命環境系	助教	川田 清和	バイオロギングーリアルタイムグレイジング解析を用いた砂漠化プロセスの解明	1,560
	16K00670	芸術系	教授	吉田 正人	世界遺産地域における自然と文化の統合とコミュニティの役割に関する研究	2,340
	16K01214	生命環境系	准教授	八反地 剛	高解像度DEMを用いた流路地形判読に基づく表層崩壊予測モデルの改良	1,560
	16K01215	生命環境系	准教授	池田 敦	現地観測値と数値標高モデルを用いた日本アルプスの氷河・周氷河地形の発達史研究	650
	16K01234	ビジネスサイエンス系	教授	牧本 直樹	スタイルローテーションを考慮したファクター投資に関する研究	650
	16K01312	システム情報系	教授	境 有紀	甚大な建物被害を引き起こす震源と地盤構造パラメータの解明	1,560
	16K01348	医学医療系	講師	三好 浩稔	長期保管可能フィーダー細胞層を用いた造血機能の生体外再構築	1,690
	16K01405	附属病院	病院講師	武居 秀行	治療用高エネルギーX線を利用した体内線量リアルタイムモニタリングシステムの開発	1,170
16K01434	医学医療系	教授	山崎 正志	コンビネーション医療機器の革新的評価法の構築	1,170	
16K01536	システム情報系	准教授	滝沢 穂高	周辺環境の雰囲気伝える視覚障がい者用ナビゲーションシステムの開発	1,300	



(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤 研究 (C) 【一般】	16K01592	体育系	准教授	小野 誠司	パーシュートを用いた視覚情報処理能力の測定法の開発	650
	16K01609	体育系	教授	尾縣 貢	アスリートのバネを評価する新指標の開発ーコンディショニングへの活用を目指してー	1,950
	16K01610	体育系	准教授	中村 剛	体育・スポーツ指導者の交信分析能力の解明および養成方法論の確立	1,040
	16K01611	体育系	教授	坂本 昭裕	自然体験療法における発達障害児の社会性支援プログラムの構築	1,170
	16K01612	体育系	准教授	寺山 由美	「いつの間にか」動いているダンス授業の検討ー動きが表現になる瞬間をつかまえるー	2,600
	16K01649	体育系	教授	柳沢 和雄	地域スポーツ推進体制をめぐる構造的矛盾とソーシャルガバナンス	1,170
	16K01650	体育系	教授	内山 治樹	スポーツにおける感性論の展開	650
	16K01694	体育系	准教授	金谷 麻理子	スポーツコーチングにおける運動を「見抜く力」の養成に関する研究	520
	16K01695	体育系	教授	會田 宏	球技スポーツにおける卓越したコーチの戦術指導に関する実践知の構造とその獲得過程	2,730
	16K01751	医学医療系	講師	鎌田 浩史	小中学生の運動器障害に対する運動器検診の構築と予防の取り組み	1,300
	16K01810	医学医療系	准教授	坂本 裕昭	放射光微小冠動脈造影を用いた微小冠動脈の機能評価法確立および虚血性心疾患への応用	1,300
	16K01811	医学医療系	研究員	韓 松伊	SREBP-1活性化を制御する新奇プロテアーゼによる新たな脂質代謝機構の解明	1,560
	16K02199	人文社会系	准教授	巖 錫仁	熊本実学派と李退溪学に関する比較思想史的研究	1,300
	16K02230	芸術系	教授	仏山 輝美	油彩画技法「ミッシュテクニク」の東アジアにおける継承と実践に関する調査研究	1,300
	16K02298	芸術系	教授	太田 圭	伝統的工芸作品のテクスチャーを活用した日本画のマチエールの研究	910
	16K02299	人文社会系	准教授	清水 知子	動物と現代芸術-社会的エコロジーと表象の政治学	1,690
	16K02357	人文社会系	准教授	本井 牧子	16世紀の社寺縁起絵巻に関する基礎的研究	910
	16K02358	人文社会系	准教授	吉森 佳奈子	年代記類の世界と『河海抄』の空間	1,300
	16K02397	人文社会系	准教授	馬場 美佳	近代日本の人文知形成と新聞小説ー森田思軒の翻訳と大英帝国の情報ネットワーク	1,430
	16K02795	人文社会系	准教授	木戸 光子	文章構造における誤用分析に基づく文章表現辞典の開発	1,430
16K02835	人文社会系	准教授	Schmidt M・G	CEFRに依拠した言語教育改善の支援システムの構築	2,080	
16K02876	人文社会系	教授	久保田 章	英語の発表語彙習得における教材によるインプットの影響の検証と教材開発	1,560	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基 盤 研 究 ( C ) 【 一 般 】	16K02953	人文社会系	教授	平井 明代	授業を活かす技能統合的スピーキング活動と評価 尺度の開発研究	910
	16K03072	人文社会系	准教授	山本 真	台湾海峡金門島・馬祖島から読み解く近現代東ア ジアの社会変動	1,560
	16K03151	人文社会系	准教授	滝沢 誠	伊豆半島の前期古墳と東日本太平洋岸域の拠点 形成に関する基礎的研究	1,820
	16K03214	人文社会系	教授	徳丸 亜木	死者霊の祭祀・儀礼における伝承の内面化につい ての民俗学的研究	780
	16K03383	ビジネスサイエンス系	教授	大塚 章男	取締役会の企業価値実現のプロセスから見た実効 的なコーポレートガバナンスの再構築	1,040
	16K03384	ビジネスサイエンス系	准教授	白石 友行	現代法における人と家族を起点とした民事責任法 理の構想	650
	16K03432	ビジネスサイエンス系	教授	平嶋 竜太	医療政策及び医療イノベーションとの調和的発展 を指向した知的財産法制の統合的研究	1,690
	16K03547	人文社会系	准教授	黒川 義教	終身雇用・ジョブローテーション・年功賃金のマッ チング理論による分析	780
	16K03767	人文社会系	助教	高橋 秀直	戦間期における国際的金本位制の改廃に対する 金融市場側の対応とその帰結の検討	1,300
	16K03849	ビジネスサイエンス系	准教授	佐野 享子	熟達したマーケティングによる価値創造をもたらす実践知	650
	16K03850	ビジネスサイエンス系	教授	立本 博文	プラットフォーム企業の技術ポートフォリオと市場成 果分析	1,300
	16K04256	人間系	准教授	外山 美樹	楽観性と目標達成の関連－目標の追求の仕方に 焦点を当てて－	1,170
	16K04292	人間系	教授	安藤 智子	両親の抑うつと小学校低学年児の適応に関する検討	1,040
	16K04340	人間系	教授	杉江 征	高齢者の不眠に対する自律訓練法の有効性とメタ 認知的気づきの検討	1,300
	16K04341	人間系	教授	藤生 英行	日本に適合したカウンセリング訓練ツールの開発に 関する基礎研究	1,170
	16K04418	人間系	教授	綾部 早穂	嗅覚における注意の機能に関する心理学的研究	2,210
	16K04419	人間系	教授	一谷 幸男	自発的物体再認にもとづく海馬の記憶機能の解明	1,300
	16K04531	人間系	教授	大谷 奨	新構想大学の誘致をめぐる地方における政治・行 政過程とその効果	1,040
	16K04532	人間系	教授	吉田 武男	ベルリンの就学前施設における道徳教育改革の今 日的動向に関する総合的研究	1,040
	16K04596	人文社会系	准教授	柴田 政子	ドイツ周辺国におけるホロコースト教育の変化:イ ギリス・フランス・スウェーデンの例	1,040
16K04597	人間系	准教授	岡本 智周	現代日本人の歴史認識の構成にみる国民意識と 共生意識の接続および歴史学習経験の寄与	1,040	
16K04598	ビジネスサイエンス系	准教授	加藤 毅	ホワイトカラー総合職としての大学職員の再評価と 新たな役割	1,430	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤 研究 (C) 【一 般】	16K04599	ビジネスサイエンス系	講師	稲永 由紀	地域・社会連携を通じた高等教育の多様なイノベーションとその成立要因に関する研究	2,210
	16K04660	芸術系	教授	直江 俊雄	イングリッシュ・バカロレア体制下における美術カリキュラム編成の集团的動向	2,080
	16K04661	芸術系	教授	石崎 和宏	美術鑑賞プロセスでの思考の柔軟性と深化を促す学習方略の研究	1,560
	16K04812	人間系	准教授	宮本 昌子	発達障害を重複する吃音の子どもの実態・発達の变化の追跡調査-	1,560
	16K04813	人間系	准教授	小島 道生	青年期発達障害者の自尊感情の安定性とwell-beingに関する心理学的研究	910
	16K04814	人間系	教授	川間 健之介	二分脊椎症児の認知特性に応じた教科の指導法の開発	1,300
	16K04815	人間系	教授	柿澤 敏文	弱視児童生徒のICTアクセシビリティに関する理論的・実証的研究	1,300
	16K04874	数理物質系	助教	金澤 研	スピン偏極STMによる磁性半導体の磁性発現機構の解明と磁性ナノ構造作製への応用	650
	16K04943	数理物質系	准教授	櫻井 岳暁	光・磁気局所解析法による有機半導体粒界物性評価ならびに粒界エンジニアリング	910
	16K05035	数理物質系	准教授	照井 章	近似Syzygyによる代数曲面の融合計算の研究	1,040
	16K05141	数理物質系	教授	加藤 久男	位相空間論と連続体論を用いたカオス力学系の幾何構造の研究	1,430
	16K05222	数理物質系	名誉教授	若林 誠一郎	主部の係数が時間のみの関数でコーシー問題が適切である双曲型作用素の特徴付け	1,170
	16K05223	数理物質系	准教授	木下 保	ウェーブレット解析による変数係数を持つ波動方程式への超局所解析的応用	1,170
	16K05340	計算科学研究センター	准教授	根村 英克	格子QCD計算による現実的一般化核力の研究と軽いハイパー核の精密物理への展開	650
	16K05432	数理物質系	准教授	森下 將史	2次元量子固体の構造操作による量子現象の発現と解明	1,560
	16K05495	計算科学研究センター	准教授	仝 暁民	2色円偏光強レーザー場における原子・分子電離過程の解明と制御	650
	16K05529	生命環境系	教授	八木 勇治	新しいハイブリッドバックプロジェクション法の開発と巨大地震の高周波励起現象の解明	2,210
	16K05642	数理物質系	教授	服部 利明	高精度テラヘルツ分光測定によるさまざまな水分子のダイナミクスの解明	1,040
	16K05682	数理物質系	教授	関口 章	ケイ素-ケイ素三重結合化合物を基盤とする新規なケイ素不飽和結合化合物の創製	1,430
	16K05683	数理物質系	准教授	一戸 雅聡	高周期14族元素ポリラジカル種の合成、構造、および物性に関する研究	1,430
16K05684	数理物質系	講師	山村 正樹	複数のリン原子からなる屈曲型化合物を基盤とした発光性ホスト分子の開発	1,560	
16K05739	数理物質系	講師	石塚 智也	超分子組織化を指向した新規拡張 $\pi$ 共役系の機能発現	1,040	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤 研究 (C) 【一 般】	16K05807	数理物質系	助教	横川 雅俊	超高感度レドックスセンサアレイによる発電微生物の探索	1,430
	16K05966	システム情報系	准教授	松田 哲也	CFRP積層板における負のポアソン比の発現とその検証ならびに応用に関する研究	780
	16K06144	システム情報系	教授	堀 憲之	モデルベース制御のためのデスクリプタ系離散時間化手法の研究	1,170
	16K06207	数理物質系	教授	只野 博	可変容量直列補償回路を用いた高効率非接触給電システム	1,820
	16K06409	システム情報系	教授	河辺 徹	計算知能援用制御法の開発 -IoT時代の大規模複雑システムへの適用を目指して-	1,820
	16K06502	システム情報系	教授	武若 聡	沿岸漂砂フラックスのリモートセンシング観測手法の確立	650
	16K06529	生命環境系	研究員	堀川 洋子	近代発電用ダム成立条件としての「地域・都市」の利益調整に関する研究	1,170
	16K06631	システム情報系	准教授	山本 幸子	地域特性に対応した包括的移住支援システムのパターン展開	1,820
	16K06987	医学医療系	講師	榎 和子	総腓骨神経を欠損する突然変異マウスの原因遺伝子の解明	1,690
	16K07081	医学医療系	講師	石井 亜紀子	経口免疫寛容の誘導による外来遺伝子発現法の検討	1,690
	16K07244	医学医療系	准教授	西村 健	X染色体再活性化の空間的・経時的解析を通じたエピジェネティクス制御開始機構の解析	1,950
	16K07336	医学医療系	助教	水野 智亮	小胞体ストレス応答におけるSnf1 AMPKによるHog1 MAPKの制御機構	1,820
	16K07337	生命環境系	助教	柴 小菊	プロテオミクスと分子イメージングの融合による精子鞭毛運動制御因子の解析	1,560
	16K07338	生命環境系	准教授	中野 賢太郎	アルベオラータ生物のアクチオシンによらない細胞質分裂の分子機構の解明	1,170
	16K07339	生命環境系	助教	鶴田 文憲	USP15による新規RNAプロセッシング制御と神経疾患との関連	1,430
	16K07390	生命環境系	教授	三浦 謙治	カルモジュリン様タンパク質による低温時におけるカルシウム認識機構の解明	1,560
	16K07433	生命環境系	助教	堀江 健生	光遺伝学とイメージングによる単一ニューロンレベルでの遊泳運動神経回路の機能解明	1,430
	16K07568	生命環境系	准教授	春原 由香里	作物の成長促進と耐病性増強をもたらす二次代謝産物の探索と作用メカニズムの解析	1,300
	16K07586	生命環境系	教授	松倉 千昭	果実細胞壁・果皮クチクラ生合成経路の解明-果実内デンプン分解産物のダイナミズム	1,820
	16K07710	生命環境系	教授	臼井 健郎	$\gamma$ -tubulin特異的阻害剤 gatastatinを用いた化学生物学的研究	1,430
16K07803	生命環境系	准教授	小幡谷 英一	伝統的な雅楽器に用いられる葦材の物性解明と人工栽培による代替材の開発	1,040	
16K07888	生命環境系	准教授	興梠 克久	職業能力の「見える化」に対応した林業雇用管理のあり方に関する研究	1,820	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤 研究 (C) 【一 般】	16K07936	生命環境系	教授	石井 敦	国際競争力を持った低コスト大規模稲作実現のための水利システムの国際比較研究	1,690
	16K08094	生命環境系	教授	Taylor De Mar	Molecular studies on nutrient regulation of reproduction and immune responses in a tick	1,170
	16K08125	芸術系	准教授	伊藤 弘	世界遺産を活用した観光地整備のあり方に関する研究	1,040
	16K08293	医学医療系	教授	本間 真人	漢方エキス製剤の使用実態に基づく偽アルドステロン症のリスク因子の解明	1,430
	16K08541	国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	入鹿山 容子	敗血症性ショックにおけるオレキシンの新規中枢神経系制御機序の解明	1,820
	16K08609	医学医療系	教授	大根田 修	2型糖尿病由来間葉系幹細胞の単離およびその機能解析	2,080
	16K08610	医学医療系	准教授	福田 綾	モデルマウスによるUCP1発現細胞の非侵襲的イメージング解析	1,690
	16K08706	医学医療系	准教授	鈴木 裕之	扁平上皮がんの発生、進展におけるTHG-1の役割	1,430
	16K08804	医学医療系	准教授	竹内 薫	パラインフルエンザウイルスの粒子形成機構の解析と新規ワクチンの開発	1,950
	16K08859	医学医療系	特任助教	速水 恵子	研修医を対象とした医師不足地域の就労に関するコホート調査	650
	16K08860	医学医療系	教授	近藤 正英	慢性腎臓病(CKD)のマススクリーニングに関する経済評価	1,430
	16K08961	医学医療系	教授	川上 康	NGSを用いた褐色細胞腫の遺伝的背景の解明-精密医療・先制医療を目指して	1,170
	16K09010	医学医療系	講師	安岡 聖	BNCTに関連した患者体内ホウ素濃度分布の非侵襲的計測機器の開発	520
	16K09048	医学医療系	講師	横谷 省治	小中学校がん教育プログラムを通じたがん検診受診の促進とその検証	1,690
	16K09125	医学医療系	教授	濱田 洋実	総合周産期母子医療センター内助産システムを中核とする新規地域産科医療モデルの構築	650
	16K09416	医学医療系	講師	石津 智子	3次元エコー図による右室機能と同期不全評価法の研究	910
	16K09417	医学医療系	准教授	瀬尾 由広	後期高齢者における包括的な心エコー図指標に関する基準値の策定	1,950
	16K09511	医学医療系	研究員	小菅 寿徳	ナノ粒子を用いた血管炎症病変の非侵襲的診断および治療法の探求	1,430
	16K09570	医学医療系	講師	菊池 慎二	細胞接着分子CADM1を分子標的とする小細胞肺癌の治療法の開発	1,040
	16K09571	医学医療系	講師	松野 洋輔	肺線維症における活性酸素シグナリングの役割とその制御機構	1,950
16K09664	医学医療系	教授	玉岡 晃	アルツハイマー病における病因関連分子の分子種依存的なミトコンドリア障害の解析	1,820	
16K09738	医学医療系	講師	岩崎 仁	転写因子CREB3L3による複合的な生活習慣病改善に関わる新規因子の同定	1,430	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤 研究 (C) 【一 般】	16K09886	医学医療系	助教	川崎 綾	網羅的発現解析を応用した膠原病の疾患関連パ スウェイおよびlncRNAの探索	1,430
	16K09917	医学医療系	講師	近藤 裕也	自己免疫性関節炎に特異的なFoxp3+制御性T細 胞サブセットとその制御機構の同定	1,560
	16K10306	医学医療系	教授	柴田 靖	大脳白質線維の画像解析による慢性頭痛の病態 解明、診断治療への応用	650
	16K10383	医学医療系	准教授	奥村 敏之	残肝機能に着目した陽子線照射の最適化に関す る研究	650
	16K10420	医学医療系	研究員	高野 恵輔	糖鎖発現解析による腎移植後慢性拒絶反応の新 規診断法の開発	1,820
	16K10489	医学医療系	講師	久倉 勝治	徐放性ハイドロゲル製剤を用いた新規消化管縫合 不全予防剤の開発	1,820
	16K10562	医学医療系	教授	近藤 匡	肝転移抑制を目指した癌細胞接着・浸潤メカニ ズムの解明と予防法の開発研究	1,690
	16K10563	医学医療系	研究員	橋本 真治	消化器癌に特異的な糖鎖暗号(sugar code)の解読	1,300
	16K10651	医学医療系	准教授	佐藤 明	腹部大動脈瘤の病態形成における好中球細胞外ト ラップの役割解明と治療への応用	1,690
	16K10671	医学医療系	教授	佐藤 幸夫	外科手術用の高強度魚ゼラチン接着剤開発	1,430
	16K10709	医学医療系	講師	滝川 知司	TEMPO-RNPによる動脈硬化における酸化ストレス 発生の予防	1,690
	16K10781	医学医療系	講師	阿久津 博義	低侵襲レーザー内視鏡治療器を用いた定位的光 線力学療法の確立	1,170
	16K10808	医学医療系	講師	原 友紀	末梢神経損傷に対する多血小板血漿療法の効果 に関する研究	1,170
	16K10845	医学医療系	准教授	吉岡 友和	骨髄間葉系幹細胞と多血小板血漿を用いた新しい 低侵襲半月板修復促進法の開発	2,600
	16K10952	医学医療系	准教授	田口 典子	加齢が術後認知機能に与える経時的変化の解明と その予防についての研究	1,560
	16K10994	医学医療系	講師	常楽 晃	膀胱癌における免疫環境と遺伝子変異の包括的 解析によるBCG抵抗性機序の解明	1,430
	16K11129	医学医療系	准教授	水口 剛雄	子宮体癌における統合的ゲノム・エピゲノム解析に 基づく新規分子標的治療の探索	1,560
	16K11258	医学医療系	講師	岡本 芳史	食品添加物由来の組織シーラントを用いた結膜癒 着防止効果の検討	1,170
	16K11316	医学医療系	講師	平岡 孝浩	高次収差解析による近視進行コアメカニズムの解 明と新理論に基づく近視抑制CLの開発	1,560
	16K11394	体育系	研究員	Jesmin Subrina	Exploration of mechanisms underlying organ protective role of blockade of protease activated receptor 2 in sepsis through the modulation of VEGF angiogenic system and associated microcirculation	1,820
16K11981	医学医療系	准教授	三木 明子	在宅ケアを受ける患者・家族からの暴力・ハラスメント 防止方策の構築	1,820	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基 盤 研 究 ( C ) 【 一 般 】	16K12135	医学医療系	助教	福澤 利江子	周産期の非医療的支援提供方法の開発と評価:参加型介入研究	1,170
	16K12234	医学医療系	准教授	岡田 佳詠	看護師の認知行動療法実践者のためのスーパーバイザー養成プログラムの作成と評価	1,690
	16K12329	医学医療系	准教授	村井 文江	大学生ピアおよびITを活用した高校生のデートDV予防支援プログラムの開発・評価	1,950
	25330394	人文社会系	准教授	海後 宗男	自治体の防災と市民社会活性化のためのSNSの効果的運用方法の開発	780
	25370157	芸術系	准教授	大原 央聡	欧州の木彫表現についての研究, および日本の木彫表現との比較	650
	25370266	人文社会系	准教授	馬籠 清子	20世紀半ばのカルテットの世界観の分析	650
	25370422	人文社会系	准教授	渡邊 淳也	フランス語および日本語におけるモダリティの発展的研究	650
	25400191	システム情報系	准教授	八森 正泰	部分構造への等質性を基軸とする単体的複体の構造解析	780
	25400222	計算科学研究センター	准教授	森 正夫	輻射流体シミュレーションによる銀河系統樹の構築	1,040
	25400242	数理物質系	教授	石橋 延幸	弦の場の理論を用いた超弦理論・D-ブレーンの研究	1,040
	25462171	医学医療系	研究員	酒井 光昭	肺エアリーク定量モニタリングの臨床応用と気嚢に対する新しい治療戦略の構築	390
	26370006	人文社会系	准教授	五十嵐 沙千子	「哲学カフェ」に関する基礎理論および「哲学カフェ」形式の授業構築に関する研究	650
	26370091	芸術系	准教授	宮原 克人	農閑工芸の研究 - 軟質文化の造形から -	780
	26370423	人文社会系	教授	青柳 悦子	21世紀的視座から見る北アフリカ(チュニジア・アルジェリア)の現代文学状況	780
	26380026	ビジネスサイエンス系	准教授	日野 辰哉	取引関係に起因する危険の制御と私法秩序	520
	26380087	人文社会系	教授	岡上 雅美	法人処罰における刑法、手続法および制裁法上の問題点—ドイツ判例実務の研究	455
	26380106	ビジネスサイエンス系	教授	木村 真生子	行動経済学と証券規制	130
	26380111	ビジネスサイエンス系	教授	岡本 裕樹	三当事者以上の契約に関わる基礎理論の考察	1,040
	26380145	ビジネスサイエンス系	教授	潮海 久雄	競争法の視点からみた商標機能論の再構築	1,170
	26380286	システム情報系	准教授	原田 信行	中小企業の雇用・技術と日本経済の再生	910
26380418	人文社会系	教授	佐藤 千登勢	低所得者への食料支援におけるアメリカ農務省の役割に関する社会経済史研究	650	
26380918	人間系	教授	沢宮 容子	対人的楽観性に焦点を当てた抑うつ予防的アプローチ法の開発	910	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤 研究 (C) 【一 般】	26381063	人間系	教授	岡 典子	日本型インクルーシブ教育システムの融合的創成とその国際的意義に関する総合的研究	1,040
	26400106	数理物質系	准教授	竹山 美宏	可積分系に現れる差分方程式の代数解析	1,040
	26400186	システム情報系	名誉教授	藤原 良叔	デジタル指紋符号の組合せ理論的新構成法に関する研究	910
	26430140	生命環境系	助教	南雲 陽子	がんの不均一性・変動性制御にむけた抗がん剤オーダーメイド投薬アプローチ	0
	26440231	生命環境系	講師	大橋 一晴	多様な送粉動物の利用における開花時刻の適応的意義	910
	26460588	医学医療系	准教授	齋藤 知栄	慢性腎臓病進行抑制のための医薬連携システムの確立と検証	1,950
	26462513	医学医療系	教授	佐藤 豊実	婦人科がんの系統的、総合的週術期VTE予防法の確立およびVTE発生機序の解明	1,170
	26463405	附属病院	看護部長	小泉 仁子	高度周産期医療施設勤務助産師のワークエンゲージメント向上プログラムの開発	1,040
	26463482	医学医療系	准教授	橋爪 祐美	中高年女性ケア従事者と夫の老親介護生活適応を促す夫婦間の心のケア	650
	17K00043	システム情報系	教授	イリチュ(佐藤)美佳	高次計量による高次元小標本型ビックデータ解析とその社会的応用	1,950
	17K00150	図書館情報メディア系	准教授	鈴木 伸崇	大規模グラフデータからスキーマを抽出するための外部記憶アルゴリズムの開発	650
	17K00164	図書館情報メディア系	教授	長谷川 秀彦	高精度演算と共役勾配法を用いた非対称線形方程式の解法ソフトウェアの開発と高速化	1,950
	17K00178	システム情報系	准教授	西出 隆志	データ秘匿計算の具体的問題構造に基づく機能性・効率性向上	2,210
	17K00179	システム情報系	准教授	大山 恵弘	IoT環境でマルウェアが実行する耐解析処理の解明	1,430
	17K00200	図書館情報メディア系	准教授	森田 ひろみ	携帯型端末画面と実環境の間の注意配分測定と背景引き込み効果の実証	1,560
	17K00224	システム情報系	准教授	山田 武志	誤認識原因の識別と通知に基づく音声認識のユーザビリティ改善	1,950
	17K00264	システム情報系	教授	三末 和男	大規模イベントデータの俯瞰のための可視化手法の研究	1,820
	17K00332	システム情報系	教授	遠藤 靖典	言語ルールによる位相的クラスタリング技法の確立ーポスト深層学習へ向けて	1,820
	17K00360	システム情報系	助教	山口 友之	橋梁移動ロボットの安定化による高精度ひび割れ検査	1,560
	17K00435	システム情報系	名誉教授	高木 英明	医療機関における患者オペレーションマネジメントのサービス科学的研究	1,040
	17K00436	システム情報系	准教授	古川 宏	安全・安心歩行者ナビにおけるユーザ個性・状況・環境変化への適応化機構の開発	1,950
	17K00447	図書館情報メディア系	教授	吉田 右子	社会的公正を基軸とした公共図書館論の再構築	1,040



(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤 研究 (C) 【一 般】	17K00448	図書館情報メディア系	教授	芳鐘 冬樹	サイエンスリンクエージの分野横断性に着目した論文・特許間引用の分析	910
	17K00449	図書館情報メディア系	准教授	高久 雅生	ブラウジング型探索タスクの解明とその支援手法に関する研究	1,040
	17K00450	図書館情報メディア系	助教	松村 敦	リアル空間とオンライン空間の融合型理解による知識・情報アクセス支援環境の構築	1,690
	17K00459	図書館情報メディア系	准教授	鈴木 佳苗	メディアインフォメーションリテラシーの構成要素に基づく教育プログラムの開発と評価	1,170
	17K00679	システム情報系	准教授	奥島 真一郎	環境・エネルギーに関する多次元貧困指標の開発と政策分析	1,690
	17K00680	芸術系	名誉教授	鈴木 雅和	広島市・長崎市における被爆樹木の保全活用に関する環境政策上の現状と課題	1,300
	17K00712	芸術系	教授	小山 慎一	医薬品情報の探索と活用を促進する情報デザインの開発と実験心理学的基礎研究	2,470
	17K00959	人間系	教授	片平 克弘	子供の科学概念の長期的な変容・発展を促進するLPs活用型教授サイクルの実践と確立	2,340
	17K01071	システム情報系	教授	星野 聖	暗闇でも眼球回旋と視線の長時間計測が可能な眼球運動計測装置の開発	1,560
	17K01107	図書館情報メディア系	講師	三波 千穂美	テクニカルコミュニケーションからみたライティング力評価ルーブリックの開発	1,170
	17K01108	図書館情報メディア系	教授	西岡 貞一	一般学生が映像によりメッセージを伝える力を修得するための学習パッケージの開発	2,080
	17K01192	人文社会系	准教授	谷口 陽子	石膏地のセッコ壁画の保存修復材料と手法の開発	1,820
	17K01223	生命環境系	教授	植田 宏昭	日本の夏の気候を規定するチベット・オホーツク海高気圧の形成機構	2,340
	17K01243	システム情報系	教授	秋山 英三	市場参加者の異質性とその認識が資産価格変動に与える影響	1,300
	17K01287	システム情報系	教授	糸井川 栄一	市街地火災時の安全な避難を目指した住民の初期消火活動効果とその限界に関する研究	2,080
	17K01334	システム情報系	助教	田中 聖三	水害防護対策工の信頼性向上のための大規模水害シミュレータの開発	260
	17K01625	体育系	教授	佐野 淳	スポーツの技術指導時の効果的な言語表現構造の解明	910
	17K01665	体育系	准教授	仲澤 眞	生涯スポーツ社会におけるシニアアスリートの役割と環境的課題	910
	17K01714	体育系	助教	仙石 泰雄	競泳競技における高強度インターバルトレーニングの負荷特性の究明	1,170
	17K01715	体育系	助教	藤本 元	ハンドボール競技における個人戦術力の構造とその発達	520
17K01716	体育系	教授	本間 三和子	シンクロナイズドスイミングにおけるリズム能力に関する研究	2,340	
17K01717	体育系	准教授	澤江 幸則	障害者スポーツイベントによる障害者スポーツの日常化への影響	3,120	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤 研究 (C) 【一 般】	17K01752	体育系	助教	福田 崇	ひずみゲージと加速度計による新手法を用いた衝突時の頭部作用の解明	2,860
	17K01798	医学医療系	准教授	大宮 朋子	健康生成論に基づく中学生の「生きる力」形成要因と人生経験の究明に関する縦断研究	1,430
	17K01839	医学医療系	教授	竹越 一博	レナナーゼ多型を指標とした生活習慣病のオーダーメイド診断法・運動治療法の開発	3,120
	17K01942	生命環境系	講師	加香 孝一郎	タンパク質アルギニンメチル化修飾の個体機能の解明	1,170
	17K02213	人文社会系	教授	佐久間 秀範	註釈家スティラマティと法相教学の安慧とヴァラビーの堅慧の関係性の総合的解明	1,560
	17K02214	人文社会系	教授	吉水 千鶴子	中観帰謬派の出現とその思想伝承	1,040
	17K02309	芸術系	教授	八木 春生	中国盛唐時期における「古典様式」成立後の仏教美術の展開—開元、天宝期を中心に	1,430
	17K02346	芸術系	准教授	田島 直樹	ステートとヴァリエント — 版画の潜在的性能を積極的に応用した新たな表現の創出	650
	17K02347	図書館情報メディア系	助教	寺澤 洋子	芸術表現に適した脳波計と脳波分析方法の開発	1,170
	17K02490	人文社会系	教授	佐野 隆弥	エリザベス朝王朝交替期における諷刺的文化環境の出現と演劇興行へのインパクト	1,040
	17K02584	人文社会系	准教授	Heselhaus Geva Herrad	エルフリーデ・イエリネクにおけるヨーロッパの難民問題—「生の危うさ」と「歓待」	1,170
	17K02673	人文社会系	准教授	那須 昭夫	付属語音調変異の同時代的な動態記述と変異生成機序の解明	910
	17K02674	人文社会系	准教授	橋本 修	日本語名詞節の内部構造と、主節に対する機能に関する研究	780
	17K02804	人文社会系	准教授	和田 尚明	日英語ならびに西欧諸語における時制とその関連領域に関する発展的研究	1,040
	17K02819	人文社会系	名誉教授	藤原 保明	英語の「出わたり」の共時的・通時的的研究	1,690
	17K03236	生命環境系	助教	山下 重紀郎	市街地内農業用水の適正な利用と維持管理に関するガバナンスの構築	650
	17K03237	生命環境系	准教授	湯澤 規子	近代日本の産業地域形成と生活基盤の再編に関する歴史地理学的研究	910
	17K03238	人文社会系	教授	中西 僚太郎	日本統治期の朝鮮・満州における民間地図と画像資料に関する歴史地理学的研究	1,430
	17K03272	人文社会系	准教授	鈴木 伸隆	「フィリピン英語」の誕生とトランスナショナルな展開に関する研究	1,170
	17K03447	ビジネスサイエンス系	准教授	直井 義典	倒産手続における債権の優先弁済に関する研究	1,430
17K03500	図書館情報メディア系	准教授	村井 麻衣子	図書館・アーカイブに関する著作権法のあり方—図書館情報学と法学の架橋に向けて—	910	
17K03528	人文社会系	教授	近藤 康史	マルチ・レベル選挙制度下におけるイギリス政党政治の変容についての研究	1,040	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基 盤 研 究 ( C ) 【 一 般 】	17K03576	ビジネスサイエンス系	准教授	礪波 亜希	経済外交の新領域:北極域等における日中対外インフラ投資および非国家アクターの役割	910
	17K03920	ビジネスサイエンス系	副学長	Benton Caroline F.	Happiness in Global Companies: Comparative Enablers and Impact on Performance	1,430
	17K03989	システム情報系	講師	近藤 文代	階層ベイズによるマルチデバイス状況を考慮したオムニチャンネルモデルの構築	2,600
	17K04091	人文社会系	准教授	高木 智世	乳幼児による社会的行為産出をめぐる理解可能性と共感の達成	1,430
	17K04113	人文社会系	教授	仲田 誠	情報化時代における東南アジア住民の価値観と情報倫理・ロボット倫理に関する比較調査	1,950
	17K04193	医学医療系	准教授	森田 展彰	精神障害やアディクションのある養育者とその子どもの支援に関する研究	1,690
	17K04307	人間系	教授	相川 充	感謝スキルが対人関係と自己認知に及ぼす形成・拡張効果の介入的実証研究	780
	17K04341	人間系	准教授	飯田 順子	教員のいじめ対応効力感を高めるための支援プログラムの開発及び効果検証	1,560
	17K04402	医学医療系	助教	大谷 保和	潜在的指標と自記式尺度を組み合わせた依存物質再使用リスク測度の改良及び治療応用	1,690
	17K04403	人間系	助教	田附 あえか	児童養護施設における心理職による家族支援のための教育研修プログラムの構築と試行	780
	17K04442	人間系	教授	原田 隆之	性的アディクションに対するリスクアセスメント・ツールおよび治療プログラムの開発	1,430
	17K04527	人間系	准教授	根津 朋実	教員は評価アイデンティティをどう形成するのか	1,170
	17K04604	人間系	教授	藤井 穂高	フランス及びスイスにおける幼小接続制度の論理と課題に関する研究	1,170
	17K04674	人文社会系	准教授	森 直人	1970-80年代の公教育批判の諸実践と教育思想の転回に関する歴史社会学的研究	1,560
	17K04740	人間系	教授	唐木 清志	高等学校公民科へのサービス・ラーニングの導入に関する理論的・実践的研究	1,950
	17K04741	人間系	准教授	蒔苗 直道	戦中・戦後の数学教育における進歩主義と本質主義の対立と共存に関する研究	1,430
	17K04843	人間系	准教授	田中 マリア	スイスPERにおける価値教育に関する研究-倫理・宗教文化・市民性への教育を中心に	1,950
	17K04912	人間系	研究員	裴 虹	日本に在住する中国人障害幼児児童の支援方法に関する調査研究と事例研究	1,040
	17K04913	人間系	教授	熊谷 恵子	算数困難のある生徒のためのICT活用授業に関する研究	520
	17K05018	数理物質系	講師	柏木 隆成	高温超伝導体テラヘルツ波発振器の外場制御と協調動作による高出力化	1,690
17K05030	数理物質系	特命教授	小島 誠治	非弾性光散乱法によるリラクサー強誘電体の巨大外場応答の解明	1,690	
17K05157	数理物質系	講師	木村 健一郎	パー構成による混合モチーフの研究	1,040	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤 研究 (C) 【一 般】	17K05158	数理物質系	教授	森田 純	無限次元代数群とリー代数の研究、および準周期・非周期構造への応用	1,300
	17K05159	数理物質系	教授	秋山 茂樹	数論的アルゴリズムの自己誘導構造	1,690
	17K05189	数理物質系	准教授	増岡 彰	ホップ代数から見るスーパー群とスーパー幾何学	1,560
	17K05190	数理物質系	講師	星野 光男	無限の被約グレードを持つ加群の研究	1,040
	17K05217	数理物質系	助教	守屋 克洋	高次元の曲面と部分多様体の表現公式とその応用	1,300
	17K05241	数理物質系	教授	川村 一宏	関数空間上の線形作用素と幾何学的トポロジー	1,560
	17K05290	数理物質系	准教授	梁 松	拡散過程の古典力学系モデル	650
	17K05328	数理物質系	教授	寛 知之	対称空間上のシュレディンガー方程式の幾何解析	1,690
	17K05342	数理物質系	教授	坪井 明人	モデル理論におけるShelah予想とその解決に向けた研究	1,300
	17K05406	数理物質系	助教	佐藤 勇二	ゲージ理論-重力理論双対性と可積分性を用いた強結合ゲージ理論の研究	1,170
	17K05606	数理物質系	講師	長友 重紀	ヘモグロビン協同性発現へのタンパク質の大振幅揺らぎと低波数振動の寄与の実験的検証	2,340
	17K05651	計算科学研究センター	教授	田中 博	ロスビー波の砕波と飽和による地衡風乱流理論の構築	2,080
	17K05702	生命環境系	講師	興野 純	衝撃圧縮その場時間分解X線構造解析法による構造変化ダイナミクスの解明	1,430
	17K05800	数理物質系	助教	志賀 拓也	双安定性金属錯体をもちいたプロトン-電子連動物性の探索	2,600
	17K05894	数理物質系	教授	中谷 清治	マイクロ空間制御分析による微粒子/溶液系の物質移動解析	2,340
	17K05973	数理物質系	講師	桑原 純平	共役高分子材料の開発を加速する効率的合成手法の開拓	2,470
	17K05985	数理物質系	准教授	後藤 博正	生命体・液晶を用いた組織転写重合による機能性高分子の開発	3,120
	17K06222	システム情報系	准教授	若槻 尚斗	音声による誘導を目的とする大面積斜方放射型音響設備に関する研究	2,340
	17K06248	システム情報系	教授	坪内 孝司	衛星測位における受信状況不良衛星の弁別に関する研究	2,730
	17K07026	システム情報系	准教授	藤野 貴康	再生可能エネルギー電源の大量導入を支える希ガスMHD発電の高速負荷追従能力の検証	1,170
17K07041	生命環境系	教授	古久保(徳永) 克男	ショウジョウバエを用いた精神疾患リスク遺伝子の神経遺伝学的解析	1,820	
17K07130	国際統合睡眠医科学研究機構	助教	伊関 大敬	エピゲノム研究を革新する統合的エピゲノム制御システムの開発と個体モデルの創出	1,430	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤 研究 (C) 【一 般】	17K07131	生命領域学際研究センター	講師	石田 純治	アルギニンメチル化が担う胎児期の血管形成メカニ ズムの解明	1,820
	17K07269	生命環境系	教授	本多 正尚	国内外来爬虫類が分布拡大の最前線で在来生態 系に与える影響	1,040
	17K07270	芸術系	准教授	佐伯 いく代	樹上性カタツムリを指標とした森林の分断化影響評価	2,080
	17K07279	医学医療系	准教授	大庭 良介	核様体凝集をトリガーとする複合ストレス環境への 適応システムの解明	1,820
	17K07300	グローバル教育院(HBP)	准教授	奥脇 暢	ヒストンシヤベロンによる遺伝子発現制御機構の解明	1,950
	17K07327	医学医療系	助教	船越 祐司	非定型RabGAPによるクラスリン非依存性カーゴ蛋 白質の細胞内膜輸送制御	1,560
	17K07377	医学医療系	助教	須田 恭之	細胞内新規膜構造形成の分子メカニズム	1,560
	17K07556	生命環境系	助教	佐藤 幸恵	繁殖における雄の代替戦略の進化と母性効果の役 割について	2,990
	17K07557	生命環境系	准教授	田中 健太	植生履歴が草原の生物圏に与える影響:古い草原 の歴史的価値	1,560
	17K07746	生命環境系	助教	廣田 恵子	tRNAiMetメチル化による寿命制御メカニズムの解明	1,950
	17K08039	生命環境系	教授	田島 淳史	ニフトリ生殖細胞の移住能および性分化に関する 研究	1,690
	17K08133	国際統合睡眠医科学研究機構	助教	曹 麗琴	先天的恐怖誘発機構の解明および精神疾患との 関連	1,690
	17K08191	生命環境系	准教授	岩井 宏暁	細胞壁マーカーによる病害診断系と抵抗性穀類作 出の技術基盤構築	1,560
	17K08193	生命領域学際研究センター	講師	大徳 浩照	アセチルCoAを接点としたグルコース代謝と FOXO1アセチル化の制御機構の解明	2,080
	17K08435	医学医療系	准教授	小島 真奈	妊娠・授乳期の医薬品使用の情報共有を基盤とし た精神疾患周産期管理システムの構築	910
	17K08487	医学医療系	教授	志賀 隆	生後発達期の母子関係による脳の発達と行動の調 節:セロトニン神経系の役割	1,040
	17K08620	医学医療系	助教	齋藤 祥子	核膜孔タンパク質の質的变化による細胞運命の決定	1,560
	17K08715	医学医療系	准教授	坂下 信悟	RNA Sequenceを用いた粘液性肺腺癌の解析	1,170
	17K08781	医学医療系	講師	蕨 栄治	ヒト型NASHモデルマウスの病態発症機序に対する 多臓器連関からのアプローチ	1,690
	17K08850	医学医療系	研究員	杉山 賢司	宿主因子pp32のインフルエンザウイルス複製促進 および感染種適合性の分子機構解明	1,300
17K08899	医学医療系	研究員	森 隆浩	医療介護費の有効利用・削減に向けた提言:大腿 骨骨折後レセプトビッグデータ分析から	650	
17K08900	医学医療系	講師	前野 貴美	プライマリ・ケアにおけるビッグデータ収集ツールの 開発と検証	1,950	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤 研究(C) 【一 般】	17K09054	医学医療系	助手	照沼 利之	腫瘍・骨の識別知能を獲得する高信頼性マーカー レス腫瘍追跡アルゴリズムの研究	2,340
	17K09484	医学医療系	准教授	吉田 健太郎	RENSフィルタを用いた非侵襲的不整脈起源同定 のための心磁図-CTマージ法の開発	2,730
	17K09485	医学医療系	教授	小池 朗	難治性重症心不全患者におけるロボットスーツ HALを用いた革新的治療の開発	2,340
	17K09486	医学医療系	講師	村越 伸行	持続性心房細動に対する新たな治療法の開発	1,690
	17K09567	医学医療系	助教	田尻 和子	好中球細胞外トラップを標的とした新たな心筋梗塞 治療戦略の構築	1,560
	17K09603	医学医療系	准教授	坂本 透	遺伝的リスクスコアによる個別化喘息発症予測の検討	2,210
	17K09684	医学医療系	准教授	臼井 丈一	腎臓発生や老化に関する研究成果を臨床医療に 応用するための基盤研究	1,430
	17K09685	医学医療系	教授	長田 道夫	ポドサイト病の発症進展機序	1,820
	17K09898	医学医療系	准教授	小原 直	ヒト造血不全における神経系マーカー陽性造血支 持細胞の解析	1,430
	17K09915	医学医療系	講師	加藤 貴康	急性骨髄性白血病と骨髄微小環境相互作用の解 明(造血器腫瘍と炎症)	1,560
	17K09946	医学医療系	講師	栗田 尚樹	臍帯血移植後の血小板回復遅延に対する、巨核 球前駆細胞を介した新規アプローチ	1,560
	17K09966	医学医療系	教授	住田 孝之	シェーグレン症候群発症の分子機構と制御	1,560
	17K09967	医学医療系	教授	土屋 尚之	HLA領域シーケンスによる膠原病共通抵抗性ハ プロタイプ上の原因的多型部位の解明	2,730
	17K10096	附属病院	病院講師	中尾 朋平	小児がん等に対する陽子線治療における有害事象 と放射線感受性遺伝子との関連解析	780
	17K10172	体育系	教授	Rakwal Randeep	マルチオミックス解析アプローチによるDOHaD説に 基づく新生児脳の解析	1,560
	17K10467	医学医療系	教授	石川 仁	免疫チェックポイント阻害剤による新規膀胱温存療 法の確立を目指した基礎的研究	1,560
	17K10533	医学医療系	講師	井口 研子	乳癌におけるTIGITと可溶性CD155の臨床病理学 的意義の解明	2,080
	17K10687	医学医療系	講師	榎本 剛史	内因性レクチンを薬剤キャリアーとする新規がん治 療開発	1,560
	17K10722	医学医療系	講師	徳永 千穂	放射光微小血管撮影法を用いた肺高血圧症にお ける微小肺細動脈リモデリング解析	2,990
	17K10819	医学医療系	講師	丸島 愛樹	ナノ粒子化活性酸素消去剤による脳虚血再灌流障 害の神経血管ユニット保護療法の開発	1,950
17K10921	医学医療系	准教授	國府田 正雄	脊髄損傷の早期・客観的重症度判定を可能にする 分子バイオマーカー探索	2,730	
17K10953	医学医療系	講師	三島 初	細胞治療の観点から行う難治性骨折の病態解明と 新規治療法の開発	2,860	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤 研究 (C) 【一 般】	17K11068	医学医療系	講師	山下 創一郎	GSK-3βに焦点をあてた術後の高次機能障害の 発症機序の解明とその予防法の検討	1,820
	17K11101	医学医療系	准教授	猪股 伸一	オピオイドシステムのメカニズムと癌発現に関する 多角的遺伝子研究	1,040
	17K11102	医学医療系	講師	清水 雄	実験的脳梗塞モデルを用いた神経保護作用と中 枢痛(視床痛)改善の検討	2,210
	17K11217	生命環境系	特任助教	佐藤 伴	酸化ストレスに起因した男性不妊に対する新たな治 療戦略の検討	1,690
	17K11352	医学医療系	准教授	斎藤 慎二	フローラを含むヒト鼻腔粘膜上皮環境モデルの構 築と新規アレルギー制御特性の探索	1,950
	17K11505	医学医療系	准教授	高安 肇	先天性横隔膜ヘルニアにおける肺低形成と肺高血 圧への薬物治療の研究	1,820
	17K11564	医学医療系	講師	中山 慎	心肺蘇生後の脳浮腫予防のための複合的な治療 戦略	1,820
	17K12108	医学医療系	助教	笹原 朋代	日本版エンド・オブ・ライフ・ケアの提供に必要な看 護師のコンピテンシーに関する研究	1,690
	17K12241	体育系	教授	田中 喜代次	ホルモン療法中の乳がん患者のQoL改善を企図し た生活習慣介入プログラムの効果検証	1,170
	17K12242	医学医療系	教授	日高 紀久江	意識障害があり寝たきり状態の患者の食行動の確 立に向けたケアガイドラインの開発	1,430
	17K12284	医学医療系	名誉教授	江守 陽子	育児期にある女性の社会経済的地位と健康関連 QOL および育児ストレスとの関係	1,820
	17K12392	医学医療系	助教	岡本 紀子	高齢者の肺炎予防のための免疫機能の強化と生 活リズム調整プログラムの開発	1,430
	17K12565	医学医療系	名誉教授	高田 ゆり子	通常学級に在籍する発達障がいのある小学生への 健康支援プログラム開発	1,950
	15K03693	システム情報系	名誉教授	星野 靖雄	企業合併・企業合併・買収、完全子会社の経営特 質の国際比較	1,040
	15K06840	国際産学連携本部	助教	杉原 英志	悪性リンパ腫発症・悪性化における腫瘍免疫回避 を誘導する分子機構の解明	1,560
	15K10381	医学医療系	講師	早川 幹人	急性期脳主幹動脈閉塞に対する血行再建療法の 適応基準策定に関する研究	1,430
	16K03565	人文社会系	准教授	生藤 昌子	プロスペクト理論の妥当性・有用性の分析:大震災 と不動産価格への応用	1,170
	16K03947	ビジネスサイエンス系	准教授	伴 正隆	地域ブランドにおける市場構造分析に関する研究	1,170
	16K05869	環境安全管理室	教授	中村 修	味蕾細胞モデルを模したVOCセンサーシステムの 開発	323
	16K07504	生命環境系	研究員	柴尾 晴信	社会性アブラムシにおける環境要因と母性効果を 介した階級分化と社会制御	325

(金額の単位:千円)

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
【特設分野研究(C)】 基盤研究	15KT0102	数理物質系	教授	田島 慎一	機械学習モデルの特異統計構造と計算代数解析アルゴリズム	1,040
	15KT0127	生命環境系	教授	増田 美砂	参加型アプローチの可能性と制約:ジャワの森林コンフリクトを通じた検証	650
	16KT0186	人文社会系	研究員	下田 恭美	モビリティと人の繋がり:国際開発支援における人の国際移動とその影響	1,950
	26520101	医学医療系	講師	小林 麻己人	老年学モデルとしてのゼブラフィッシュ活用の試み	1,040
	17KT0133	体育系	助教	國部 雅大	音や声などの聴覚情報を用いるスポーツ経験の影響に関する運動心理学的検討	1,950
	17KT0153	システム情報系	教授	伊藤 誠	ロボットに対する信頼感の構造:製造元への信頼を考慮に入れた分析	1,560
挑戦的萌芽研究	15K11992	数理物質系	名誉教授	赤平 昌文	統計的欠損性の階層構造の解明とその応用	1,170
	15K11993	システム情報系	名誉教授	金野 秀敏	応用確率過程解析における「ホインの微分方程式の方法」の開拓	650
	15K12001	システム情報系	教授	丸山 勉	大規模問題に対するFPGAアクセラレータ構築手法の研究	910
	15K12007	システム情報系	教授	亀山 幸義	マルチステージ証明記述言語の設計と開発	1,170
	15K12024	システム情報系	教授	北川 高嗣	一般化逆作用素を用いたビッグデータ向け知識創造サイクルモデル	1,040
	15K12137	システム情報系	准教授	安東 弘泰	2型糖尿病における人工的膵臓刺激装置設計のための数理モデル研究	780
	15K12256	生命環境系	助教	平尾 章	植物の花蜜が介在する生物間ネットワークの形成プロセス	1,170
	15K12272	生命環境系	准教授	水野谷 剛	道州制導入後の流域管理政策の提言ー南・北関東州を例としたシミュレーション分析ー	650
	15K12626	体育系	教授	長谷川 聖修	帰還困難地域の避難者へ地域交流を促す身体運動の効果と方法	1,170
	15K12628	体育系	准教授	三木 ひろみ	体育で育成する思考力・判断力・表現力ー21世紀型能力と学習指導要領の視点から	1,300
	15K12639	システム情報系	准教授	山際 伸一	動きビッグデータからスキルの予測は可能か?	1,300
	15K12642	体育系	准教授	小池 関也	高速スポーツ動作生成メカニズムの即時提示システムの開発	780
	15K12692	体育系	教授	前田 清司	定期的な有酸素性運動は中高齢男性における勃起不全を改善するか?	1,300
	15K12773	人間系	助教	高橋 阿貴	苛立ちの神経回路	1,170
	15K12797	生命環境系	教授	呉羽 正昭	景観変化とイメージ創造に基づいたリゾート発展モデルの構築	780
15K12855	人文社会系	准教授	対馬 美千子	現代ヨーロッパ文学におけるトラウマと創造性についての総合的研究	910	



(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
挑 戦 的 萌 芽 研 究	15K12955	人文社会系	教授	関根 久雄	ダイバーシティ・マネジメントの民族誌的研究ー企業活力の追求と人類学の可能性ー	650
	15K12975	ビジネスサイエンス系	教授	弥永 真生	北アフリカにおける会社法ーシャリーアとの関連において	910
	15K13002	システム情報系	准教授	栗野 盛光	分権的マッチング制度の理論研究	1,170
	15K13172	人間系	教授	濱田 博文	新たな学校ガバナンスにおける「教育の専門性」の再定位	650
	15K13220	体育系	准教授	三田部 勇	保健体育科教員を養成及び育成する一貫した教育プログラムの検討	780
	15K13329	数理物質系	准教授	丸本 一弘	ペロブスカイト太陽電池のスピ形成・電荷蓄積の直接観測と特性向上	1,300
	15K13371	医学医療系	教授	安野 嘉晃	光レオロジー: 偏光で見るバイオメカニクス	1,040
	15K13475	数理物質系	講師	中條 達也	高エネルギー実験のための10ピコ秒 飛行時間測定器の開発	390
	15K13546	数理物質系	助教	菱田 真史	擬似非平衡場としての生体膜: 膜上での分子拡散と選択的分子集積	780
	15K13717	数理物質系	教授	藤田 淳一	マイクロ電解セルの創出による電解反応機構解明とデバイス応用	780
	15K14094	システム情報系	教授	藤川 昌樹	在来産業の近代化と都市形成の対応に関する日中比較研究	1,040
	15K14520	生命環境系	教授	笹倉 靖徳	ホヤにおける新規母性因子特異的ノックダウン法によるmRNAの局在機構の解明	1,300
	15K14579	生命環境系	准教授	宮村 新一	真核生物のオスとメス、2つの性の起源と進化に関する細胞構造学的研究	780
	15K14719	生命環境系	准教授	丹羽 隆介	エクジステロイド生合成に関わる新規酵素に着目した昆虫発育制御剤スクリーニング戦略	1,690
	15K14747	生命環境系	准教授	堀田 紀文	岩盤風化に伴う流水水質の変化に着目した深層崩壊の発生時期予測手法の開発	1,040
	15K15523	附属病院	病院講師	高野 晋吾	血管新生因子アンチセンスホモロジーボックス由来ペプチドによる脳梗塞の血管新生療法	1,040
	15K15642	医学医療系	講師	新開 統子	臍帯間葉系幹細胞シートによる先天性横隔膜ヘルニア低形成肺の再生	650
	15K15825	医学医療系	教授	水野 道代	がん患者の就労に係る自己評価ツールの活用とQOLに与える効果の検討	910
	15K15846	医学医療系	准教授	涌水 理恵	在宅重症心身障害児の家族エンパワメントに焦点を当てたケアモデルの検証	650
	15K15847	附属病院	副看護師長	山海 千保子	「育児ストレス」軽減に向けた認知行動療法プログラムの開発	650
16K12396	システム情報系	助教	合原 一究	カエルの合唱法則に基づく群知能アルゴリズムの創出	1,690	
16K12410	システム情報系	准教授	新城 靖	多重世界モデルに基づきプライバシーを保護するオペレーティングシステム	910	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
挑 戦 的 萌 芽 研 究	16K12453	システム情報系	教授	福井 和広	顔面微小特徴点セットの3次元配置構造に基づく個人識別	1,690
	16K12467	システム情報系	准教授	志築 文太郎	導電性インクで印刷可能なROMとこれに基づく紙状のコントローラ	1,170
	16K12468	図書館情報メディア系	准教授	落合 陽一	計算機プログラムとテラヘルツイメージングを用いたファブリケーションの研究	650
	16K12484	システム情報系	助教	大澤 博隆	視線投影デバイスを用いたユーザの視線表出補助	650
	16K12547	システム情報系	教授	宇津呂 武仁	絵本に対する子どもの認知発達の反応事例を提示する絵本推薦システムの研究	1,430
	16K12576	生命環境系	准教授	内海 真生	暗黒海である海洋中・深層水中の微生物群集の増殖および代謝活性現場測定法の開発	1,430
	16K12647	生命環境系	特任助教	新家 弘也	貯蔵脂質と貯蔵多糖合成の代謝スイッチングの仕組み	2,080
	16K12736	医学医療系	教授	平松 祐司	MK-7低産生菌、短時間発酵と紫外線加工によるビタミンK低減化納豆開発と性能試験	1,040
	16K12816	生命環境系	教授	村山 祐司	東南アジアのメガシティにおけるアーバン・ボリュームと生態系サービスの変容	1,040
	16K12866	数理物質系	准教授	加納 英明	脂肪を燃やす褐色脂肪細胞における熱産生過程の非染色分子イメージング	780
	16K12977	体育系	教授	酒井 利信	絵画と映像でひもとく武道文化	1,040
	16K13038	人間系	准教授	山田 実	身体活動とソマトポーズ・アドレノポーズに関する包括的研究	1,560
	16K13039	体育系	教授	徳山 薫平	手続き記憶の固定(技の習得)と睡眠の相互作用	1,300
	16K13040	医学医療系	准教授	矢作 直也	多価不飽和脂肪酸の作用ドメイン解明から新規高トリグリセリド血症治療薬へ	1,170
	16K13041	国際統合睡眠医科学研究機構	教授	佐藤 誠	運動がヒトの褐色脂肪組織に及ぼす影響: MRIによる定量	650
	16K13066	体育系	教授	清水 紀宏	子どもの体力・スポーツ格差に関する基礎的実証研究	1,560
	16K13156	人文社会系	助教	土井 裕人	人文情報学を活用した宗教学の新たな教育方法論の構築と研究への循環	650
	16K13169	芸術系	教授	長田 年弘	聖地オリュンピア―戦闘行為の抑止への宗教および視覚芸術の関与	910
	16K13173	芸術系	助教	Fondevilla HL	Alternative Pop: How Asian popular culture changed the landscape of contemporary art in the US West Coast	1,690
	16K13174	人文社会系	教授	今泉 容子	映画が辿る認知症介護の45年間 1973～2017	1,430
16K13234	人文社会系	准教授	島田 雅晴	料理レシピサイトCookpadを用いた言語研究: 英語のPを使った名付けを中心に	1,040	
16K13256	人文社会系	教授	卯城 祐司	技能統合型言語テストの妥当化: タスク遂行に必要な構成概念の測定に向けて	910	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
挑 戦 的 萌 芽 研 究	16K13290	人文社会系	助教	前田 修	社会変化の「速度」から解く先史時代人類史	1,170
	16K13297	生命環境系	教授	松井 圭介	聖地共創時代におけるオタクの癒し空間に関する 応用地理学的研究	1,300
	16K13300	人文社会系	助教	木村 周平	エスノグラフィを援用した課題解決手法構築に向け た人類学的実践の再帰的研究	1,430
	16K13356	人間系	准教授	Lamichhane Kamal	インクルーシブ教育が障害児の学力を向上させる のか:ネパールを事例とした実証分析	1,040
	16K13394	システム情報系	准教授	上市 秀雄	リアルタイム場面におけるサービス・インタラクション 理論の構築と実証	650
	16K13409	人文社会系	准教授	野上 元	軍事組織への社会学的接近	780
	16K13430	医学医療系	教授	安梅 勅江	持続可能社会に向けた多世代共創コミュニティ・エン バワメント開発評価	1,690
	16K13481	人間系	准教授	山中 克夫	我が国の文化や介護現場に即した認知症の人や 介護者のQOL評価法の開発	1,430
	16K13482	人間系	研究員	宇野 かおり	キャラクター・ストレングスの活性化による危機耐性 (レジリエンス)強化モデルの構築	520
	16K13515	人間系	准教授	佐藤 博志	「成功した校長」の国際比較研究ーオーストラリア・ ニュージーランド・日本を対象にー	910
	16K13516	人間系	教授	藤田 晃之	現職教員を対象とした教育専門職学位(Ed.D.)プ ログラムの創設	1,170
	16K13543	人文社会系	教授	畔上 泰治	異文化理解教育の新たな課題ードイツの極右グ ループの音楽活動を中心にー	780
	16K13565	芸術系	助教	市川 寛也	妖怪文化を活用した教科横断型の地域学習支援 ツールの開発	1,300
	16K13566	人間系	助教	山本 容子	生物教育における環境倫理意識を高めるバイオ フィリアの概念を導入した環境教育の研究	910
	16K13567	人間系	教授	大高 泉	明治期の理科教育における近代科学の基本的自然 観の再生産の研究	1,040
	16K13594	人間系	教授	園山 繁樹	知的障害特別支援学校における不登校の実態と 支援方法の検討	1,430
	16K13612	数理物質系	教授	黒田 眞司	半導体ドット中の単一スピンの制御と応用	1,820
	16K13660	数理物質系	教授	西堀 英治	弾性・非弾性散乱データ同時解析による計測物質 科学の創成	910
	16K13678	数理物質系	講師	山田 洋一	Ge(110)表面における単一配向極薄Geナノワイ ヤーの創製と応用開拓	1,950
	16K13679	数理物質系	准教授	近藤 剛弘	超高感度ヘテロダイン走査トンネル分光の実現	1,820
16K13782	計算科学研究センター	教授	相川 祐理	計算科学によるアストロバイオロジーへの理論的挑戦	910	
16K13797	数理物質系	准教授	武内 勇司	半導体SOI回路と超伝導検出器STJの融合による 革新的高感度検出器の開発	1,300	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
挑 戦 的 萌 芽 研 究	16K13798	計算科学研究センター	研究員	浮田 尚哉	格子数値計算による超対称性の自発的破れの解明	1,300
	16K13845	数理物質系	教授	初貝 安弘	四元数のトポロジカル相での意義の解明への挑戦: 多体問題と時間反転の破れ	1,040
	16K13943	数理物質系	教授	市川 淳士	フッ素置換遷移金属カルベン錯体を經由する含 フッ素化合物の触媒的合成法	1,820
	16K14315	システム情報系	教授	谷口 守	インビジブルシティ(見えない都市)の「見える化」に よるハイブリッドなまちづくり	1,040
	16K14364	芸術系	教授	上北 恭史	歴史的建造物を建築基準法適用除外するために 必要な包括的な同意基準の研究	1,690
	16K14484	生命環境系	准教授	橋本 義輝	土壌微生物による新規ターメリック代謝	1,820
	16K14588	医学医療系	教授	高橋 智	生体内でのインシュリン産生細胞誘導法の開発	1,560
	16K14589	医学医療系	講師	三輪 佳宏	近赤外イメージングを応用した神経機能マッピング 新技術の開発	1,820
	16K14719	生命環境系	教授	中田 和人	ミトコンドリアゲノム変異の病原性発現における細胞 種特異的な感受・抑制機構の解明	1,170
	16K14750	生命環境系	准教授	別役 重之	マイクロ流体デバイスを用いた植物1細胞サリチル 酸応答解析	1,560
	16K14764	医学医療系	講師	松田 学	マイノリティ細胞の動態理解に向けた組織細胞分 散分離手法の開発	1,430
	16K14795	生命環境系	助教	豊福 雅典	細菌から探る, コミュニケーションの地理的な系統と 推移	1,430
	16K14847	生命環境系	教授	菅谷 純子	モモ果実の香气生成の生化学的・分子生物学的メ カニズムに関する研究	910
	16K14878	生命環境系	教授	小林 達彦	放線菌におけるユニークな遺伝情報発現の制御機 構研究	1,820
	16K14898	生命環境系	教授	田中 俊之	炭素間三重結合導入酵素の探索と反応機構解明	1,170
	16K14991	生命環境系	教授	茂野 隆一	農作業事故リスクの実態に関する研究	650
	16K15079	システム情報系	教授	村上 暁信	津波で失われた景観のデジタル再現と記憶の分析 によるコミュニティが共有する場の解析	1,300
	16K15086	生命環境系	教授	高谷 直樹	多細胞微生物の細胞機能のヘテロ性の解明	1,430
	16K15087	生命領域学際研究センター	教授	深水 昭吉	細胞内リン脂質代謝のイメージング	1,430
	16K15130	生命環境系	准教授	桑山 秀一	微生物に由来する新規ガン抑制因子の作用機構 の解析	1,690
16K15154	医学医療系	准教授	古川 宏	薬剤投与で発症する皮膚薬剤過敏症モデル動物 の作成	1,690	
16K15187	国際統合睡眠医科学研究機構	教授	船戸 弘正	マウス睡眠覚醒制御遺伝子のサブレッサースクリ ーニング	1,820	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
挑 戦 的 萌 芽 研 究	16K15188	医学医療系	准教授	溝上 裕士	肝脂肪酸エネルギー代謝異常による新しいNASH 発症機序の解明	1,690
	16K15299	医学医療系	助教	藤江 敬子	患者の受療行動と過剰受診・過剰投薬の実態およ びその是正に関する探索的研究	1,040
	16K15343	医学医療系	准教授	熊田 博明	あらゆる放射線外部照射の治療計画が可能なオー ルモダリティ治療計画システムの開発	2,080
	16K15388	医学医療系	客員教授	阿部 智一	外傷診療の質の向上ーヘルスサービスリサーチに よる革新的アプローチ	1,170
	16K15454	医学医療系	教授	石井 幸雄	新規モデルを用いた非自己免疫性肺胞蛋白症の 病態解明と治療法の開発	1,300
	16K15476	医学医療系	講師	富所 康志	アルツハイマー病の予防的治療法にむけた毒性A βコンホマーによる新規診断マーカー	1,040
	16K15497	医学医療系	准教授	坂田 麻実子	T細胞リンパ腫の支持環境細胞クローン進化の解析	1,690
	16K15573	医学医療系	教授	坪井 康次	放射線照射とiPS細胞による新たながん治療	1,690
	16K15604	医学医療系	准教授	鄭 允文	ヒト免疫システムを持つヒト肝臓化ラットの創出とヒト 肝疾患・治療モデルの開発研究	1,040
	16K15605	医学医療系	教授	小田 竜也	糖鎖標的癌治療;癌幹細胞の特異的糖鎖に対する レクチノトキシンによる新規癌治療	1,690
	16K15685	医学医療系	教授	西山 博之	土壌菌菌体成分であるミコール酸による抗腫瘍免 疫製剤の開発	1,690
	16K15757	医学医療系	講師	後藤 行延	霊長類モデルを用いた革新的な術後SIRS/ARDS 発症メカニズムの探究	1,040
	16K15817	医学医療系	教授	武川 寛樹	ヌードラット末梢神経損傷に対するヒト歯髄幹細胞 の神経再生効果	1,430
	16K14841	生命環境系	研究員	小松 節子	ナノ粒子利用によるダイズ生育初期における湿害 の改善法の開発	1,820
	17K18523	人文社会系	教授	内山田 康	原発事故後の福島における環境の知の獲得過程 を追跡する分野横断的な人類学的研究	3,380
	17K18553	システム情報系	准教授	S. J Turnbull	Applications of Category Theory to Games and Economic Behavior	780
	17K18554	システム情報系	教授	堤 盛人	組成データ解析の新たな展開	1,690
	17K18610	人文社会系	教授	津城 寛文	「日本語文化」の保存・刷新・発信のための分野横 断的・統合的な理論構築	2,080
	17K18865	数理物質系	教授	末益 崇	シリサイド半導体への酸素添加によるSiタンデム太 陽電池用トップセルの開拓	4,290
	17K18897	システム情報系	教授	安永 守利	大脳視覚野モデルを用いたトンネル切羽の解析・ 認識システム	1,040
17K18917	システム情報系	教授	金久保 利之	RC造建物の劣化度合いを構造性能に反映させた 耐久性性能指数の提案	2,340	
17K18946	システム情報系	教授	吉瀬 章子	半正定値基を用いた錐最適化問題の近似解法の 開発	2,080	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
挑 戦 的 萌 芽 研 究	17K18947	システム情報系	准教授	谷口 綾子	道路上の異モード間コミュニケーションの生起と社会的受容	1,430
	17K19096	数理物質系	助教	奥野 将成	界面選択的レーザー温度ジャンプ法の開拓	5,590
	17K19218	生命環境系	教授	青柳 秀紀	寒天平板培養法の問題点を排除した未培養微生物の実用的な単離培養法の開発	3,250
	17K19304	生命環境系	教授	松下 秀介	高齢農業経営者の離農促進条件の実証的解明に関する実験的経営研究	3,510
	17K19339	医学医療系	教授	久武 幸司	Tcl1を利用したゲノム変異の少ないiPS細胞誘導方法の開発	3,380
	17K19541	医学医療系	助教	小田 ちぐさ	エクソソームによるアレルギー免疫応答制御機構の解明	3,250
	17K19580	医学医療系	教授	加藤 光保	扁平上皮がんのマスターレギュレーターTSC22D4/THG-1の研究と医薬品開発	3,900
	17K19639	国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	阿部 高志	覚醒度のゆらぎの発生機序解明に向けた研究	3,120
	17K19787	医学医療系	教授	井上 貴昭	大規模災害発災時病院避難の基準作成と医療圏共通BCP策定による受け入れ体制の構築	2,340
	17K19788	医学医療系	教授	松田 ひとみ	高齢者の起立時血圧低下の予防に活用する「起立前看護オノマトペ法」の教材開発と効果	4,810
	17K19887	医学医療系	教授	正田 純一	p62によるNASH制御の分子機構の解明—脂肪酸エネルギー代謝からのアプローチ	3,510
	17K19888	医学医療系	准教授	鈴木 英雄	NASHに対する腸内細菌と酸化ストレス応答性転写因子Nrf2の役割	1,820
	17K19889	医学医療系	講師	関谷 元博	新しい栄養代謝産物センサーに注目したエビジェネティクス制御システムの解明	3,380
	17K19890	ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター	准教授	末富 真弓	自己理解促進ツールによる発達障害学生に対するシームレスな支援に関する研究	1,430
	17K19891	人間系	教授	小川 園子	加齢に伴う社会的関わりの変容がこころの健康に及ぼす影響についての萌芽研究	4,940
	17K19956	数理物質系	教授	青嶋 誠	非スパースモデリングによるビッグデータの展開	4,420
	17K19992	システム情報系	准教授	井澤 淳	身体性を越えた運動記憶と共感の獲得に関する脳内基盤の解明:超身体性脳科学の萌芽	3,640
	17K19993	システム情報系	准教授	田中 文英	親が幼児に与えている安心感の工学的再構成に関する研究	3,900
	17K19994	ビジネスサイエンス系	教授	倉橋 節也	科学・華僑・家族の歴史データから探る教育システムの解明	1,690
	17K20022	図書館情報メディア系	教授	森嶋 厚行	ソーシャルインクルージョンを指向したアクセシブル・クラウドソーシング技術基盤	2,600

(金額の単位:千円)

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
挑戦的萌芽研究	17K20039	生命環境系	教授	濱 健夫	微生物炭素ポンプは土壌生態系においても駆動しているかー炭素長期隔離のキーププロセス	4,290
	17K20040	生命環境系	助教	和田 茂樹	難分解性溶存態有機物の消失経路-泡による粒子化-	2,470
	17H06290	システム情報系	教授	鈴木 健嗣	表情表出による社会性の機能再生を支援するロボットマスクの研究	4,940
若手研究(A)	26706018	数理物質系	講師	久保 敦	通信帯フェムト秒表面プラズモン波束の顕微映像化と非線形増幅	2,600
	26708008	数理物質系	准教授	所 裕子	双安定性を利用した新規機能性相転移物質の開発	4,160
	26710001	医学医療系	教授	松本 正幸	前頭前野機能への神経路特異的なドーパミン信号の役割	5,330
	26711022	生命環境系	准教授	中野 裕昭	非モデル動物を用いた海産無脊椎動物幼生の進化に関する比較発生学的研究	4,940
	26712004	生命環境系	助教	吉岡 洋輔	キュウリ属作物の果実品質改良に寄与するゲノムデザイン育種基盤の構築	4,550
	15H05374	医学医療系	助教	山田 洋	生理的欲求に応じて価値判断を調節する神経ネットワークの解明	7,670
	15H05418	数理物質系	助教	石井 宏幸	低分子系および高分子系有機半導体のための大規模電子伝導計算理論	6,630
	15H05473	数理物質系	准教授	伊藤 良一	3次元グラフェンが生み出す特異物性の解明と開拓	2,730
	15H05558	システム情報系	准教授	横田 茂	即時安定作動可能な大電流電子源	3,770
	15H05560	システム情報系	准教授	海老原 格	環境に応じて自律的にパラメータを調整する水中音響モデムによる小型移動体通信の実現	4,550
	15H05576	医学医療系	准教授	村谷 匡史	肺癌に関わる非コードゲノム制御領域のゲノム・エピゲノム統合解析	7,800
	16H05856	システム情報系	准教授	海野 広志	高レベル言語で記述されたソフトウェアの時相的・関係的仕様の検証	3,380
	16H05896	システム情報系	准教授	甲斐田 直子	価値観に根ざした環境配慮行動促進策の提案:東洋・西洋社会における横断・縦断研究	7,280
	16H05920	体育系	助教	松井 崇	運動持久性における視床下部グリコーゲンの役割:新規持久性向上策の提案	4,810
	16H05921	人間系	准教授	山田 実	高齢期の身体機能レベル別の骨格筋機能特性の解明と対応する介入プログラムの開発	4,940
	16H05982	数理物質系	客員准教授	吉田 昭二	テラヘルツ時間分解STMの開発	2,860
	16H06002	数理物質系	准教授	山崎 剛	量子色力学を基にした原子核構造の解明へ向けた基礎研究	9,620
	16H06141	国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	林 悠	睡眠構築を生み出す神経基盤の解明とその応用	9,490
	16H06164	計算科学研究センター	学振特別研究員	原田 隆平	Gタンパク質共役受容体におけるシグナル伝達機構の解明	1,560

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手 研究 (A)	16H06189	生命環境系	助教	豊福 雅典	メンブランベシクルによって放出される細胞外RNAを紐解く	7,800
	17H04688	図書館情報メディア系	准教授	落合 陽一	多重場による視触覚提示基盤の構築	9,750
	17H04753	体育系	助教	藤井 直人	熱中症予防にむけた熱放散反応の末梢メカニズム解明	13,650
	17H04766	人間系	助教	高橋 阿貴	過剰な攻撃行動と免疫系をつなぐ神経メカニズムの解析	9,100
	17H04791	人間系	助教	川口 純	障害児の社会経済特性と教育のインクルージョンに関する国際比較研究	3,900
	17H04865	数理物質系	助教	奥野 将成	キラル敏感な新規時間分解分光法の開発による分子キラリティーのダイナミクスの解明	9,100
	17H04866	計算科学研究センター	助教	庄司 光男	光化学系II酸素発生中心における水分解反応の全反応経路解明	21,710
	17H04918	数理物質系	准教授	都甲 薫	III-V族化合物薄膜のモノライク・低温合成技術の構築とユビキタス太陽電池の創製	7,280
	17H04942	システム情報系	助教	浅井 健彦	同調回転慣性質量トランスデューサーの開発とその検証実験	3,120
	17H04981	医学医療系	助教	山田 朋子	神経分化や行動による遺伝子発現とヒストンH2A.zによるエピジェネティック制御	9,360
	17H05012	生命環境系	助教	松崎 仁美	受精後刷り込みメチル化を誘導する生殖細胞エピゲノム情報の解明	10,270
	17H05060	医学医療系	助教	武内 謙憲	生体イメージングを用いた栄養シグナルの遺伝子発現制御メカニズムの解析	4,550
	17H05063	医学医療系	助教	林 洋平	染色体異常を伴った疾患特異的iPS細胞を修復する「染色体編集法」の開発	7,020
	17H05071	生命領域学際研究センター	助教	鍋倉 幸	記憶ナチュラルキラー細胞分化におけるマスター制御因子の同定	8,840
	17H05083	生命領域学際研究センター	助教	木村 航	低酸素シグナルによる心臓再生	13,520
26713057	医学医療系	准教授	涌水 理恵	発達障害児の家族を対象とした包括的エンパワメントプログラムの開発と評価	1,430	



(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
若 手 研 究 ( B )	15K16424	体育系	特任助教	朴 京眞	ダンス指導力向上を目指す教員養成課程におけるダンス授業のプログラム改善	780
	15K16442	体育系	助教	洪 性賛	スポーツボールの飛翔軌道を予測する可視化システムの構築	1,300
	15K16445	体育系	特任助教	荒牧 亜衣	オリンピック競技大会のレガシーに関する批判的検討	390
	15K16557	国際統合睡眠医科学研究機構	助教	斉藤 毅	光により睡眠・摂食を制御する分子ツールの開発	1,560
	15K16623	北アフリカ研究センター	研究員	喜田川 たまき	北アフリカ地域の多層文化構造における食用・薬用植物の宗教的意味についての研究	1,040
	15K16732	人文社会系	助教	窪田 悠介	論理文法と構成的動的意味論の統合	1,690
	15K16758	人文社会系	助教	田川 拓海	分散形態論を用いた日本語の時・法と語性の形式的研究	910
	15K16855	人文社会系	助教	村上 宏昭	近代ドイツ社会における細菌学説の拡散と変容—衛生博覧会運動を中心に—	910
	15K17023	システム情報系	准教授	澤 亮治	マルチタスク環境および協力ゲームにおける進化ゲーム理論の研究	650
	15K17156	ビジネスサイエンス系	准教授	中村 亮介	財務制限条項の役割に関する包括的実証研究	520
	15K17212	医学医療系	研究員	磯 笑子	大規模コホートを活用した、思春期におよぶ学校不適応への早期支援方法の解明	910
	15K17337	人間系	特任助教	星野 真澄	学級規模縮小政策の法制的・財政的研究 —日米比較を中心に—	1,300
	15K17432	数理物質系	助教	植田 暁子	パラフェルミオンの電氣的制御を目指した理論研究	1,040
	15K17505	数理物質系	助教	金子 元	種々の数列のランダム性、およびその超越数論への応用	650
	15K17550	数理物質系	准教授	平山 至大	体積保存可微分力学系のエルゴード性とその応用	650
	15K17596	システム情報系	助教	高安 亮紀	非線形放物型方程式に対する解の精度保証付き数値計算理論の研究	1,170
	15K17797	数理物質系	助教	池添 竜也	ミラー磁場配位における自発励起アルベン波動の境界条件および非等方性緩和の研究	650
	15K18315	数理物質系	助教	山崎 信哉	リボソームをテンプレートとしたモリブデンナノ粒子合成法の実用化に向けた研究開発	1,430
	15K18359	国際統合睡眠医科学研究機構	助教	大石 陽	睡眠を誘発する神経システムの解明	1,300
	15K18462	生命環境系	研究員	二宮 直登	皮膚細胞から肺前駆細胞への直接転換技術の開発	910
15K18550	生命環境系	助教	木下 奈都子	長鎖非コードRNAは如何に転写因子を制御するか:実生時ストレス応答機構をモデルに	1,040	
15K18558	生命環境系	准教授	Buzas Diana Mihaela	Role of a novel DNA demethylation enzyme in cellular memory	910	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手 研究 (B)	15K18567	生命領域学際研究センター	助教	林 誠	魚類の多様な繁殖様式を支える配偶子幹細胞の動態解析	1,040
	15K18582	生命環境系	助教	平川 泰久	核による二次葉緑体の分裂制御機構の解明	780
	15K18631	生命環境系	助教	伊澤 かんな	イネ科植物細胞壁におけるフェルラ酸-アラビノキシランエステルの役割の解明	1,170
	15K18659	生命環境系	助教	浅野 眞希	微生物マイクロハビタットとしての土壌団粒微小環境の解明	780
	15K18744	生命環境系	特任助教	湯山 育子	造礁性サンゴにおける遺伝子ノックダウン技術の確立と応用	1,430
	15K18747	生命環境系	助教	Lur Puangkaew	タイにおける福島原発事故後の日本産農水産物・食品の主体別輸入対応行動の総合評価	1,170
	15K19160	附属病院	病院講師	山本 祥之	MDM4を標的とした新規癌治療の開発研究	1,040
	15K19219	医学医療系	教授	五所 正彦	医薬品副作用データベースを用いた生活習慣病治療薬の併用に伴う副作用リスク分析	1,300
	15K19312	附属病院	病院講師	長谷川 直之	肝細胞癌に対する腫瘍融解ワクシニアウイルスJX-594と一過性免疫抑制の併用効果	1,300
	15K19367	附属病院	病院講師	町野 毅	心房細動および致死性不整脈に対する革新的な腎交感神経アブレーション治療法の確立	1,820
	15K19948	医学医療系	講師	松田 真秀	不活化ウイルス粒子による脳腫瘍幹細胞を標的とした新規核酸医薬療法の開発	1,300
	15K20884	システム情報系	准教授	乾 孝司	言語表現の使用実態を踏まえたソーシャルメディア上の誹謗中傷行為の検出に関する研究	650
	15K20885	システム情報系	准教授	佐野 良夫	スペクトラルグラフ理論を用いた離散構造とアルゴリズムの研究	1,300
	15K20891	医学医療系	講師	吉本 尚	大学生におけるアルコール使用障害のスクリーニングに関する研究	650
	15K20893	人文社会系	助教	鈴木 華子	健康増進型留学生支援モデルの構築	1,170
	15K20895	生命環境系	助教	河内 敦	乾燥地沿岸農業地域における地下水塩水化の評価と予測:地下水質への灌漑の作用と効果	650
	15K20896	ビジネスサイエンス系	准教授	Caroline S.L. Tan	Consumer Behavior for Sustainable Marketing: Understanding How To Market and Make Sustainability Work in Japan and Overseas	1,170
	15K21090	生命環境系	特任助教	山科 千里	シロアリ塚が生み出すナミビア北部、モパネウッドランドの生物多様性の解明	1,170
	16K16010	システム情報系	准教授	小林 佑輔	頑健なネットワークの設計に向けた組合せ最適化理論の研究	1,040
	16K16013	ビジネスサイエンス系	准教授	尾崎 幸謙	調査データの質向上のための不適切回答者抽出方法の開発	650
16K16097	システム情報系	助教	大槻 麻衣	広い空間での遠隔作業指示に有効な予期を可能にする非言語表現の伝達手法	1,560	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手 研究 (B)	16K16108	システム情報系	准教授	日野 英逸	疎表現とノンパラメトリックモデルの融合によるデータ駆動型推論に関する研究	910
	16K16154	図書館情報メディア系	学振特別 研究員	伏見 卓恭	要点と評価を軸とした評価文書可視化に関する研究	910
	16K16161	図書館情報メディア系	助教	小泉 公乃	公共図書館経営におけるハイブリディゼーションの基礎的研究	1,430
	16K16162	図書館情報メディア系	助教	照山 絢子	「人」を貸し出す「図書館」の理念と実践に関する研究	650
	16K16201	生命環境系	准教授	加藤 弘亮	森林環境中の放射性セシウム動態解析に基づく林内空間線量率予測モデルの開発	1,690
	16K16339	芸術系	研究員	河崎 衣美	着生地衣類の二次代謝産物による石造文化遺産への化学的劣化に及ぼす影響評価の試み	1,040
	16K16347	数理物質系	研究員	松中 哲也	石英中炭素14の超高感度測定法の開発と氷河地形編年への応用	1,690
	16K16372	生命環境系	助教	池端 慶	銅・鉄同位体を用いた本質噴出物と変質噴出物の識別:噴火推移予測の高度化を目指して	650
	16K16378	計算科学研究センター	助教	松枝 未遠	天候レジームに関連する大気顕著現象の予測可能性	1,170
	16K16397	数理物質系	研究員	Vong BinhLong	Development of controllable nitric oxide-releasing injectable hydrogel with ROS scavenging effect for biomedical therapies	1,430
	16K16405	附属病院	病院講師	大西 信三	関節リウマチモデルマウスにおける光線力学療法による関節炎抑制	650
	16K16459	医学医療系	研究員	田中 直樹	歩行感覚提示装置を用いた歩行リハビリテーションが脳卒中患者に与える効果の検証	520
	16K16489	体育系	助教	渡邊 仁	構造的類縁プログラムを基軸とした野外教育プログラムの教育・治療構造の検討	1,300
	16K16509	体育系	研究員	宮田 香織	集団のダイナミクスを活性化するメンタルトレーニングプログラムの確立	1,560
	16K16510	システム情報系	助教	廣川 暢一	人の水泳技能向上を支援する着用型トレーニング機器の開発	1,690
	16K16512	体育系	助教	金子 史弥	オリンピック開催がスポーツ政策の実践の場に及ぼす影響に関する研究	650
	16K16558	体育系	特任助教	金堀 哲也	三次元投球動作解析と野球肘検診結果からみた少年期野球肘の発症要因となる投球動作	260
	16K16559	体育系	助教	岡本 正洋	うつ病の予防・改善をもたらす運動効果:RNA-Seqによる海馬分子基盤の解明	2,210
	16K16573	体育系	助教	片岡 千恵	高校保健教育における危険行動防止のための規範意識の育成を重視した授業モデルの開発	650
	16K16593	体育系	特任助教	辻本 健彦	活動量計とICTを活用した遠隔型運動支援プログラムの効果検証	2,210
16K16594	体育系	助教	赤澤 暢彦	運動が認知機能を改善させる生理学的機序の解明-中心動脈機能と脳血流の役割-	1,950	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
若 手 研 究 ( B )	16K16639	国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	Wang Zhiqiang	リン酸化プロテオミクスで拓く新規Sleepy遺伝子の睡眠恒常性維持機構への関与	1,950
	16K16817	人文社会系	助教	池田 晋	中国語における重畳形式の基盤としての重複表現	390
	16K16869	人文社会系	助教	藤田 亮子	日本人英語学習者のリスニング理解にノイズが与える影響の研究	780
	16K16920	人文社会系	助教	上田 裕之	清朝の漢地支配と雲南銅政の財政構造—生み落とされる「盛世」と「衰世」—	1,170
	16K16952	生命環境系	特任助教	市川 康夫	多面的機能レジーム下の先進国山村の再編と領域化に関する研究	1,040
	16K16962	人文社会系	助教	Otsuki Grant	The Human is a Cybernetic Communication System: A Historical and Ethnographic Study of Human-Technology Interactions in Japanese Wearable and Robotic Technologies	833
	16K17108	システム情報系	助教	牛島 光一	公共政策が子供への健康投資行動に与える影響に関する実証研究	1,430
	16K17226	人文社会系	助教	白戸 健一郎	戦前満洲における多文化的公共性の比較メディア史的研究	910
	16K17255	ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター	助教	河野 禎之	認知症にやさしいまちづくりに関する評価指標(モデル地域版)の開発と有用性の検証	2,210
	16K17289	人間系	准教授	藤 桂	メディア上へ拡張される感情と身体—調査的・実験的アプローチによる影響の検討—	1,430
	16K17305	人間系	准教授	宇佐美 慧	縦断データ分析におけるモデルの誤設定に頑健な手法の開発と教育・発達心理学への応用	1,170
	16K17375	システム情報系	助教	山田 亜紀	大学院生に対する学際型STEMプログラムの教育効果の基礎研究	1,300
	16K17525	数理物質系	助教	You Borwen	Development of three-dimensional terahertz photonic chip for molecular sensing	910
	16K17639	システム情報系	助教	保國 恵一	大規模疎な制約付固有値問題に対する頑健かつ効率的な解法	910
	16K17678	数理物質系	助教	森口 哲朗	スキン構造理解のための不安定原子核の陽子及び中性子密度分布の研究	1,040
	16K17679	数理物質系	助教	伊敷 吾郎	超弦理論の非摂動的定式化についての研究	780
	16K17680	計算科学研究センター	助教	日野原 伸生	中性子-陽子対相関・対凝縮の解明	910
	16K17818	生命環境系	准教授	藤野 滋弘	長時間スケールでみた南海トラフにおける地震・津波の再来間隔と地殻変動の多様性	1,690
	16K17929	数理物質系	助教	柴田 友和	機能性ヘム核酸の創成とその機能発現メカニズムの解明	2,080
	16K18008	システム情報系	助教	金川 哲也	不均質音速理論とベンチュリ管実験の融合による「高濃度・気泡流音響学」の開拓	1,560
16K18100	システム情報系	助教	鈴木 大三	高次可変リフティング構造を用いた高機能映像統合符号化	1,300	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
若 手 研 究 ( B )	16K18255	システム情報系	助教	花田 信子	触媒を付与した窒素吸蔵材料電極適用による液体アンモニア電気分解反応の過電圧低減	2,730
	16K18306	システム情報系	助教	嶋村 耕平	磁界共鳴による人工衛星間無線エネルギー送電の実現	130
	16K18358	国際統合睡眠医科学研究機構	助教	上田 壮志	生理学的アプローチによる新規睡眠制御ニューロンの機能発現の解明	1,300
	16K18359	国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	坂口 昌徳	新生ニューロンが作る記憶痕跡	1,040
	16K18398	医学医療系	助教	濱田 理人	転写因子MafBによる腫瘍随伴マクロファージ増殖の制御	1,430
	16K18535	生命環境系	助教	石川 香	核-ミトコンドリア間クロストークからのミトコンドリア病発症機構へのアプローチ	1,950
	16K18559	生命環境系	准教授	寿崎 拓哉	根粒形成の正の制御に関わる宿主因子の解析	1,820
	16K18583	国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	佐藤 牧人	睡眠覚醒制御メカニズム解明に向けた革新的睡眠センシング	1,923
	16K18592	生命環境系	特別研究員 (PD)	谷口 順子	前端部神経外胚葉のセロトニン神経が腸管形成を制御する新規メカニズムの解明	2,600
	16K18633	生命環境系	助教	岡部 佳弘	受粉刺激を介した単為結果性果実発達の分子機構に関する研究	910
	16K18642	生命環境系	助教	原 尚資	ソバの収量性向上および安定化に寄与する日長反応性と生態型に関する研究	2,470
	16K18648	生命環境系	助教	王 寧	トマトの腋芽抑制遺伝子の発現と機能解明	1,430
	16K18675	高細精医療イノベーション研究 コア	研究員	河野 祐介	大腸菌を用いた新規硫黄貯蔵分子および関連代謝経路の同定と生理意義の解明	1,820
	16K18698	国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	Cherasse Yoan	Elucidation of the molecular mechanisms of zinc-induced sleep	1,430
	16K18735	生命環境系	助教	今 孝悦	砂浜域の生物生産に対する漂着物の機能評価	2,080
	16K18919	医学医療系	助教	秋山 雅博	メチル水銀感受性を制御する生体内活性イオウ分子の実態解明	1,560
	16K18920	医学医療系	特任助教	鶴木 隆光	活性イオウ分子による環境中親電子物質の新奇解毒機構	2,210
	16K18930	医学医療系	講師	土岐 浩介	新規経口抗凝固薬の血中薬物濃度を指標とした個別投与設計法の構築	1,040
	16K18987	国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	本堂 茉莉	グリシン受容体欠損によるレム睡眠行動異常症にかかわる神経回路の解明	910
	16K19005	国際統合睡眠医科学研究機構	助教	長谷川 恵美	中枢概日時計のニューロンタイプ特異的な神経生理学的解析	2,340
16K19014	医学医療系	助教	片桐 尚宏	新奇抗癌剤開発を目指した低分子量Gタンパク質Arf6シグナル伝達機構の解明	2,340	
16K19100	医学医療系	助教	渡邊 幸秀	腫瘍形成におけるTM6PAIの分子機構の解明	1,950	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手 研究 (B)	16K19170	附属病院	病院講師	春田 淳志	客観的専門職連携能力実施試験の開発と試験が及ぼすインパクトの検証	1,170
	16K19441	医学医療系	講師	増子 裕典	IgE感作後の臓器感受性の違いに着目した花粉症病態の検討	780
	16K19475	医学医療系	講師	永井 恵	高齢者のMPO-ANCA産生機序解明とその治療応用	910
	16K19627	医学医療系	講師	加藤 愛章	新しい心電図指標と心磁図マッピング法を用いた川崎病症例の心筋虚血検出法の確立	1,950
	16K19628	医学医療系	講師	岩淵 敦	微量血液による多種血糖制御ペプチド測定系を応用した、小児の新規糖尿病治療法開発	1,170
	16K19629	附属病院	医員	酒井 愛子	B型肝炎ワクチン反応性を規定するClass II HLAアレルの探究	2,080
	16K19705	医学医療系	講師	渡辺 玲	ヒト皮膚resident memory T細胞と皮膚疾患の関わりに関する解析	1,430
	16K19804	医学医療系	講師	大西 かよ子	頭頸部癌に対する硼素中性子補足療法の線量評価と治療効果に関する研究	520
	16K20034	附属病院	病院講師	榎本 有希	敗血症によるエンドトキシン血症が筋力に及ぼす影響に関する研究	1,430
	16K20124	医学医療系	講師	木村 友和	進行膀胱癌に高発現するGPNMBを標的とした環状ペプチドの開発	2,080
	16K20303	医学医療系	講師	星 崇仁	非膨潤性ハイドロゲルを眼内タンポナーデとして用いた網膜剥離手術の検討	1,430
	16K20746	附属病院	副看護師長	櫻本 秀明	重症呼吸不全患者に対する安全で効果的な気道クリアランス方法に関する検討	1,040
	16K20785	医学医療系	助教	Togoobaatar Ganchimeg	Women's experiences of maternity health care in Mongolia: Listening to Mothers survey	1,820
	16K20928	医学医療系	講師	浅島 弘充	抗原特異的T細胞の抑制によるシェーグレン症候群での新規治療薬の開発	2,080
	16K20929	医学医療系	研究員	水野 沙織	特定の細胞周期で機能するCas9による多重遺伝子ノックインマウス作製	2,080
	16K20930	体育系	助教	Byun Kyeongho	低強度運動は加齢による海馬の特異的萎縮や機能低下を防ぐか	910
	16K20931	システム情報系	助教	津川 翔	ロバストなネットワーク構築のための影響最大化に基づくアプローチ	1,170
	16K20932	医学医療系	助教	瀬川 誠司	間質性肺炎の進行予防に関わる新たな治療標的因子の解析	2,340
	16K20934	附属病院	病院講師	高橋 広行	シェーグレン症候群における新規治療標的分子NR4A2とDPP4	2,080
	16K20935	医学医療系	助教	金丸 由美	制御性T細胞におけるDNAM-1の機能解析と炎症性腸疾患の治療応用の検討	1,690
16K20936	人文社会系	研究員	高橋 洋成	ギルガメシュ叙事詩の編集史的研究および物語言語研究のためのデジタルアーカイブ構築	650	
16K20937	芸術系	助教	上浦 佑太	立体表現の発想を促すツール「かたちの見本帳」の開発-2	390	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手 研究 (B)	16K20938	人文社会系	助教	津田 博司	現代オーストラリアにおける脱植民地化と共和制論争の通時的分析	1,040
	16K20939	数理物質系	助教	藤田 健志	触媒的フッ素脱離による含フッ素化合物の系統的合成	1,300
	16K20940	数理物質系	助教	丹羽 秀治	非白金燃料電池触媒の活性点分布の解明	1,560
	16K20942	人間系	特任助教	野口 代	介護施設巡回型スタッフ・サポート・システム(SSS)の開発	1,430
	16K20943	人文社会系	准教授	中野 優子	タンザニアにおける農業技術研修と農家間技術普及の有効性	780
	16K20944	人間系	助教	Hong Ee Rea	The Power of Parent Supports: The Effectiveness of Caregiver Training in Improving Social and Communication Skills of Children with Autism Spectrum Disorders	1,820
	16K20945	生命領域学際研究センター	助教	島田 裕子	内部寄生蜂感染による宿主ショウジョウバエのアンバランスな発生と恒常性攪乱システム	1,690
	16K20946	ビジネスサイエンス系	助教	朱 藝	国民文化と異文化経営の関連性:日本における中国企業を事例に	1,040
	16K21314	医学医療系	助教	伊藤 智子	労働力の維持と安心できる介護の両立を目指して—家族介護者における就労の背景要因	1,300
	25780539	人間系	助教	森 まゆ	点字使用者の学習において識別容易性の高い点図作成基準構築のための基礎的研究	0
	26770022	人文社会系	准教授	志田 泰盛	継続型混交を許容する写本システムの推定:『プラカラナ・パンチカー』校訂研究	910
	26800077	数理物質系	助教	竹内 耕太	有限組み合わせ論を用いた安定性理論の新展開	910
	26800078	数理物質系	准教授	矢田 和善	高次元漸近理論の統一的研究	780
	26861310	医学医療系	講師	櫻井 学	婦人科悪性腫瘍におけるTFの発現と過凝固状態についての研究	650
	26870083	人文社会系	助教	塩谷 哲史	近代ロシア帝国の開発と中央アジア南部定住地域の社会変容—灌漑史の視点から—	1,040
	17K12689	システム情報系	助教	遠藤 結城	ディープニューラルネットワークによる静止画像からの動画像生成手法の開発	2,210
	17K12690	システム情報系	助教	今倉 暁	複素モーメント型超並列固有値解析手法に対する数理的耐障害技術の開発	780
	17K12783	システム情報系	助教	佐野 幸恵	想起効果を内在する集成的記憶モデルの開発	1,040
	17K12784	図書館情報メディア系	助教	于 海涛	A Novel Interactive Information Retrieval System Using Deep Neural Network	1,170
	17K12812	生命環境系	助教	大森 裕子	太平洋亜熱帯域における揮発性有機化合物の海洋-大気間の収支評価	2,210
17K12865	芸術系	助教	佐藤 布武	集落土地利用史の変遷にみる伝統的デザイン手法—沿岸漁村における防災・環境デザイン	1,430	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手 研究 (B)	17K13027	数理物質系	研究員	金 雅 寛	次世代ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)を目指したマルチ機能型ナノ粒子の開発	2,340
	17K13041	附属病院	病院講師	野口 裕史	コンビネーション機器の最低保証強度に基づいた革新的評価法構築	3,120
	17K13084	医学医療系	助教	久保田 茂希	腕神経叢損傷に対する新開発上肢ロボットを用いた画期的リハビリテーション	3,380
	17K13134	体育系	特任助教	藁科 侑希	パラバドミントン競技者における傷害・疼痛発生予防システムの開発	1,170
	17K13135	体育系	助教	國部 雅大	運動準備時の注視状態が素早く正確な身体運動の制御に与える影響	2,470
	17K13180	計算科学研究センター	助教	宍戸 英彦	人工知能を活用したスポーツ選手映像における関節位置の可視化	3,250
	17K13217	医学医療系	助教	會田 雄一	血中HDLレベルを規定するCausal SNPの探索とその機能解析	2,080
	17K13218	附属病院	病院講師	根本 みゆき	前頭側頭型認知症に対する運動療法の効果	910
	17K13259	国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	沓村 憲樹	BNTX誘導体の抗トリコモナス活性発現メカニズムの解明、及び、構造活性相関研究	2,600
	17K13264	生命環境系	准教授	宮前 友策	内在性リガンドを模倣する新規共有結合性PPAR $\gamma$ アゴニストの創製と作用機構解明	3,380
	17K13440	人文社会系	助教	山村 崇斗	名詞用法形容詞の史的発達への生成統語論的アプローチ	1,300
	17K13482	人文社会系	助教	関崎 博紀	自然会話の特徴への気づきに効果的な提示方法に関する研究	780
	17K13713	人文社会系	助教	Yu Zhengfei	A study of estimation and inference of the density discontinuity	910
	17K13714	システム情報系	助教	五十嵐 岳	裾・境界バイアス問題のないノンパラメトリック直接型密度比推定量とその応用について	650
	17K13720	ビジネスサイエンス系	助教	Deseatnicov Ivan	A dynamic analysis of Global Value Chain participation by Japanese firms	1,560
	17K13839	人文社会系	学振特別研究員	木村 豊	都市における戦争災害の集合的未来に関する比較歴史社会学的研究	1,040
	17K13868	人間系	助教	森地 徹	参加型調査によるセルフアドボカシー促進要因の解明に関する研究	1,690
	17K13929	医学医療系	研究員	大宮 宗一郎	薬物事犯に対する治療プログラムの長期的な効果の検証と再犯予防の要因に関する研究	1,040
	17K13961	人間系	特任助教	梶田 麻菜美	ラットの時間的順序記憶における海馬-内側前頭前野グルタミン酸受容体の役割	1,560
	17K14030	人間系	特任助教	勝田 光	国語科におけるブッククラブの指導方法による授業研究:物語創作活動の効果に着目して	1,040
17K14058	図書館情報メディア系	助教	松原 正樹	聴覚障害者を対象とした音響学に基づく音認知テストおよび個人適応型音楽トレーニング	1,430	
17K14059	ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター	准教授	五味 洋一	協同学習における遂行水準の異なる参加者間の相互作用の促進	1,560	



(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手 研究 (B)	17K14110	数理物質系	助教	奥村 宏典	窒素極性面AINの接触抵抗低減と分極効果トランジスタの実現	2,730
	17K14121	数理物質系	助教	巻田 修一	光干渉断層計を用いた網膜光凝固術の自動最適化法の開発	2,990
	17K14151	数理物質系	助教	桑原 敏郎	ジェット束の変形量子化による頂点代数の研究	1,170
	17K14152	数理物質系	准教授	Carnahan Scott	Beyond Generalized Moonshine	650
	17K14180	数理物質系	助教	丹下 基生	4次元多様体のハンドル分解とデーモン手術の研究	1,040
	17K14245	計算科学研究センター	助教	古家 健次	星間雲から原始惑星系円盤に至る分子組成進化の理論的研究	1,300
	17K14318	数理物質系	助教	森 龍也	融合型テラヘルツ帯分光によるガラスの普遍的励起の研究及びびガラスの新評価法提案	3,120
	17K14388	生命環境系	助教	釜江 陽一	惑星規模のモンスーン長期変動機構の理解と予測	1,430
	17K14455	数理物質系	助教	中村 貴志	置換活性な配位サイトを集積したナノ空間の創出と特異的分子変換	2,210
	17K14456	数理物質系	助教	小谷 弘明	塩基駆動型原子価互変異性を示すピリジリアミン系金属錯体の開発と応用	2,730
	17K14653	数理物質系	助教	岡本 大	新規前駆体熱酸化手法によるSiC絶縁膜界面制御技術の開発とトランジスタ応用	2,340
	17K14928	生命環境系	特任助教	本庄 賢	ショウジョウバエを用いたRFアミド型神経ペプチドによる痛覚調節メカニズムの解析	2,080
	17K14971	医学医療系	助教	水野 聖哉	「ホールデンの規則」を制御する遺伝子の特定による生殖隔離機構の解明	2,210
	17K14981	医学医療系	助教	沖田 結花里	がん幹細胞におけるGPNMBの機能解析と特殊環状ペプチドを用いた医療応用	2,210
	17K15007	医学医療系	研究員	黒川 宏美	ヒトPD-1発現T細胞保有マウスの作製と抗PD-1抗体薬の効判定システム構築	2,340
	17K15016	附属病院	医員	斎藤 高	化学療法、放射線治療、温熱療法を一つにまとめた膵臓癌治療用ナノ粒子の開発	910
	17K15017	医学医療系	助教	Hipolito Chris	Targeting ALK1 using macrocyclic peptides: A novel approach for the regulation of angiogenesis in cancer	2,470
	17K15156	生命環境系	助教	櫻井 啓輔	視細胞に備わる高いS/N特性の基盤に関する数理生理学的研究	1,820
	17K15191	生命環境系	特任助教	Faulks Leanne Kay	Global phylogeography and genomics of an emerging infectious disease of fish	1,300
	17K15241	生命環境系	助教	熊野 匠人	新規ピペリン代謝の基礎および応用研究	2,210
17K15257	生命環境系	助教	梶尾 俊介	ピラジン環の新たな生合成経路の解明	1,690	
17K15282	生命環境系	准教授	津田 吉晃	標高に着目したダケカンパの集団動態の歴史推定および温暖化への適応予測	5,070	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手 研究 (B)	17K15343	生命環境系	助教	山下 祐司	イモゴライト-腐植複合体が示す土壌物理現象の コロイド界面化学に基づく理解	650
	17K15350	生命環境系	助教	藤内 直道	環境調節によるトマト障害果発生抑制:果実への液 流入速度調節の効果に関する研究	2,990
	17K15354	生命環境系	助教	粉川 美踏	散乱特性とスペクトロミクスによる食品の熟成モニタ リング手法の開発	1,950
	17K15397	生命環境系	助教	横井 智之	非蜜源作物に対するニホンミツバチによる加害行 動の解明	1,170
	17K15404	生命環境系	助教	新保 奈穂美	近代における日独学術交流が日本の緑地計画に 果たした役割の評価	910
	17K15410	生命環境系	准教授	Utada Andrew	シングルセルトラッキングによる細菌バイオフィーム 形成の解析	4,160
	17K15489	医学医療系	助教	安孫子 ユミ	環境中キノン体によるレドックスシグナル伝達と高求 核性イオウ化合物によるその制御	1,300
	17K15570	医学医療系	研究員	松岡 妙子	睡眠覚醒制御機構に関与する新たな細胞内シグ ナル伝達経路の解明	2,080
	17K15592	国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	Ma Jing	新規睡眠制御分子SIK3シグナルカスケードの同定	1,690
	17K15634	医学医療系	助教	柴 綾	チロシンキナーゼ分解を抑制し肺腺癌悪性化を招 くSFNを標的とした治療戦略	2,470
	17K15797	医学医療系	助教	Alexander Zaboronok	Novel adjuvant method of malignant brain tumor neutron capture therapy with absorbed dose evaluation and tumor localization using composite boron and high-Z element nanoparticles.	1,300
	17K15887	医学医療系	講師	辻 浩史	アルツハイマー病のミトコンドリア障害における GDF15の意義および臨床応用	1,690
	17K15935	生命領域学際研究センター	研究員	大岡 杏子	炎症性腸疾患治療薬5-ASAの作用機序の解析	2,080
	17K16239	医学医療系	講師	福島 紘子	小児・家族性がん患者の網羅的遺伝子解析～新 規治療・スクリーニング法の開発～	2,990
	17K16240	附属病院	臨床的・ フェロー	今川 和生	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症における新規疾患 遺伝子の探索とその分子機能の解析	1,690
	17K16418	附属病院	医員	関野 雄太	間欠的低酸素領域を標的とした温熱による効率的 な陽子線治療法の確立	1,300
	17K16419	附属病院	医員	石田 俊樹	治療効果向上と適応拡大を目指したBNCT用ナノ 粒子	1,690
	17K16528	医学医療系	講師	大原 佑介	大腸癌腹膜播種に対する糖鎖標的レクチン治療の 開発	1,430
	17K16668	医学医療系	助教	孫 略	遊走浸潤を介した脳腫瘍幹細胞の放射線逃避シス テムの解明	1,430
	17K16673	附属病院	病院講師	松本 佑啓	ピンサイト感染を予防する創外固定ピンの開発:ア パタイトFGF-2コーティングピン	1,430
17K16774	医学医療系	講師	神鳥 周也	腎癌の脂肪酸伸長酵素ELOVL2による脂質の質的 変容を介した悪性化機序の解明	2,080	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手 研究 (B)	17K16775	附属病院	病院講師	池田 篤史	人工知能を利用した次世代高画質膀胱癌内視鏡 視認システムの構築	2,080
	17K16776	医学医療系	助教	河原 貴史	免疫環境と分子診断を基に分類された転移性尿路 上皮癌に対応した非臨床モデルの構築	2,080
	17K16828	医学医療系	講師	秋山 梓	子宮頸癌におけるPIK3CA遺伝子変異をターゲット とした新規分子標的治療の探索	1,300
	17K16829	医学医療系	講師	志鎌 あゆみ	子宮体癌における腫瘍微小環境プロファイルに基 づく新規分子標的治療の探索	1,300
	17K17620	図書館情報メディア系	助教	叶 少瑜	安心と信頼の視点から見る留学生のソーシャル・サ ポート・ネットワークと異文化適応	650
	17K17621	生命環境系	助教	Agostini Sylvain	Potential of coral resilience in an acidifying ocean	1,950
	17K17622	生命環境系	助教	Benjamin Harvey	Understanding the Impacts of Ocean Acidification: from Biodiversity to Ecosystem Functioning	910
	17K17623	附属病院	病院講師	小山 泰明	近赤外線分光法を用いた新しい心肺脳蘇生－ Tailor-made CPR－	1,950
	17K17624	医学医療系	研究員	鈴木 寿人	食物アレルギーの発症における腸内細菌叢の役割 の解明	1,430
	17K17625	医学医療系	助教	金丸 和正	アトピー性皮膚炎におけるClec10aの機能解明	3,250
	17K17626	生命環境系	助教	矢野 亮一	メタトランスクリプトームの手法による重要ウリ科作物 の植物微生物相互作用の研究	3,640
	17K17627	システム情報系	助教	新宅 勇一	材料強度発現のメカニズム解明のための金属組織 を考慮したマルチスケールき裂進展解析	2,730
	17K18399	人間系	特任助教	水野 雅之	大学生の発達障害に関するメンタルヘルスリテラ シーの介入プログラムの開発	1,170
	15K18764	生命環境系	特別研究員 (RPD)	菅野 里美	植物のセシウム吸収機構における無機栄養素の 相互作用	780
	16K16734	芸術系	研究員	江口 みなみ	戦後ドイツにおける日本美術研究の復興	1,040
	16K17657	数理物質系	助教	渡邊 祥正	巨大分子雲形成と星形成史を繋ぐ化学診断法の 開拓	1,300
	16K17700	数理物質系	助教	飯田 崇史	高発光量ヨウ化物シンチレータによる宇宙暗黒物 質探索のための基礎研究	2,340
	16K18672	生命環境系	准教授	萩原 大祐	糸状菌孢子における休眠メカニズムの分子基盤解析	1,179
	16K19994	附属病院	病院講師	伊藤 嘉朗	血管新生因子に基づいた硬膜動静脈瘻新規治療 の確立	1,300
	16K21057	国際統合睡眠医科学研究機構	技術職員	齊藤 夕貴	覚醒と睡眠の制御におけるセロトニン5HT1A受容 体の生理的役割の解明	1,950

(金額の単位:千円)

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手研究(B)	16K21595	生命環境系	特任助教	秋山 千亜紀	将来の地域人口・経済予測に基づいた持続的な水環境管理シナリオの提案に関する研究	1,040
	17K12983	システム情報系	准教授	高野 祐一	混合整数最適化を用いた制約付き変数選択による高精度パラメータ推定	133
	17K16409	医学医療系	助教	佐々木 哲也	自閉症モデル霊長類を用いた発達期大脳皮質シナプス形成・再編成異常の解析	2,600
研究活動スタート支援	16H06650	計算科学研究センター	助教	塩川 浩昭	大規模グラフの頻出部分構造を利用した高速な分析アルゴリズムの開発	1,430
	16H06651	スポーツR&Dコア	研究員	阿江 数通	野球における初期姿勢の違いを考慮したスウィング動作のシミュレーション解析	1,430
	16H06653	人文社会系	特任研究員	田中 佑	近現代日本語における助数詞の新生に関する語彙論的研究	910
	16H06655	システム情報系	助教	Tran Lamanhduong	貿易のネットワーク構造が技術の波及を通じて経済成長に与える影響の分析	1,430
	16H06656	人間系	特任助教	千島 雄太	日本人青年における未来結果の熟慮が持つ役割の検討とキャリア教育的介入	1,430
	16H06657	人間系	特任研究員	村井 大介	希望に着目した社会科授業研究—授業実践の記録と教師の語りから—	520
	16H06658	芸術系	特任助教	箕輪 佳奈恵	イスラム文化に即した美術教育構築に向けた基盤形成	1,430
	16H06661	国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	Malyshevskaya Olga	Identification of brain regions involved in the arousal from coma and sleep.	1,430
	16H06663	医学医療系	講師	石塚 洋典	ロリクリン欠損が末梢免疫に与える影響	1,300
	16H06664	医学医療系	講師	鶴淵 隆夫	神経管閉鎖不全症の早期胎内分子診断法の確立	1,300
	16H07465	医学医療系	准教授	丸尾 和司	トランスレーショナル・メディカルセンター	735
	17H06539	体育系	特任助教	下竹 亮志	運動部活動における「指導者言説」に関する歴史社会学的研究	910
	17H06540	体育系	特任助教	武田 紘平	デコンボリューション加工を用いて骨格筋ミトコンドリアの形態を可視化する	1,430
	17H06541	医学医療系	研究員	佐藤 葵	生活習慣病とガンを結びつける新たな転写因子CREB3L3の機能解析	1,430
	17H06542	人文社会系	研究員	島村 絵里子	20世紀のイエズス会人文主義思想の展開—B.ロナガンの倫理・教育思想を中心に—	780
	17H06543	人文社会系	研究員	河野 正治	ポスト植民地期マイクロネシアにおける身分階層制と国家体制の関係に関する人類学的研究	1,430
	17H06544	ビジネスサイエンス系	教授	平井 孝志	資源投下パターンが長期的収益性に与える影響についての研究	1,430
	17H06545	数理物質系	助教	松岡 亮太	可逆に剛直性が変化する金属錯体ナノワイヤ・ナノシートの開発	1,430
17H06546	国際統合睡眠医科学研究機構	助教	平野 有沙	睡眠覚醒リズムを生み出す神経ネットワークの解明	1,430	

(金額の単位:千円)

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
研究活動スタート支援	17H06547	生命環境系	助教	八幡 穰	細菌バイオフィルムにおけるスペシャリスト細胞出現プロセスの機械学習を用いた解明	1,430
	17H06548	医学医療系	助教	岡田 理沙	宇宙環境における骨格筋萎縮のエピゲノム解析による新規筋萎縮治療標的の探索	1,430
	17H06549	医学医療系	研究員	重盛 駿	宿主遺伝子変異がもたらす腸内環境変動の横断的・定量的評価	1,430
	17H06550	附属病院	病院講師	中村 貴之	メカニカルストレスによる皮膚炎誘導のメカニズムの解明	1,430
	17H06551	医学医療系	講師	下村 治	膵癌の新規早期診断法;レクチンと抗体を2重に利用するサンドイッチアッセイ法の確立	1,430
特別研究員奨励費【特別研究員】	15J00013	人間総合科学研究科	特別研究員(DC1)	金井 雅仁	感情の認識と制御における文化的自己観と身体的作用に関する基礎的研究	900
	15J00384	生命環境科学研究科	特別研究員(DC1)	榎原 厚一	六フッ化硫黄を用いた若い地下水の滞留時間推定に関する研究	900
	15J00393	国際統合睡眠医科学研究機構	特別研究員(PD)	藤山 知之	新規Dreamless遺伝子に基づくレム睡眠制御機構の解明	1,300
	15J00394	人間総合科学研究科	特別研究員(DC1)	横井 美緒	典型発達児および発達性読み書き障害児における漢字書取の正確性と流暢性に関する研究	900
	15J00599	生命環境科学研究科	特別研究員(DC1)	林 優樹	rRNA転写量および核小体動態変化を介した小胞体ストレス応答の解析	900
	15J00652	生命環境科学研究科	特別研究員(DC1)	天久 朝恒	交尾刺激による生殖幹細胞の増加を司るステロイドホルモンを介した神経機構の追究	900
	15J00718	生命環境系	特別研究員(PD)	李 沁潼	海洋窒素循環に寄与するアンモニア酸化古細菌の生態特性評価	247
	15J00763	生命環境科学研究科	特別研究員(DC1)	藏満 司夢	植物由来の防御物質が高次栄養段階の昆虫に及ぼす影響の解明	900
	15J00805	生命環境科学研究科	特別研究員(DC1)	杉本 卓也	水環境中の物質輸送予測の高度化に向けた非一様・非定常流中の凝集ダイナミクスの解析	900
	15J00821	生命環境科学研究科	特別研究員(DC1)	松尾 恵梨子	葉緑体置換に伴うクロロフィルa合成系進化:「1足す1は1」型ゲノム進化解明へ	900
	15J00840	人間総合科学研究科	特別研究員(DC1)	吉川 徹	生活習慣改善が肥満者の脈圧増幅および抗炎症性アディポカインSFRP5に与える影響	800
	15J00841	体育系	特別研究員(PD)	渡邊 和仁	運動時の循環反応に関する研究—個人差に着眼した新たな研究方法によるアプローチ—	1,430
	15J00900	医学医療系	特別研究員(PD)	松原 朋子	抗老化因子Klothoが肥満改善による動脈伸展性増大に果たす役割	1,430
	15J01084	人文社会科学研究所	特別研究員(DC1)	多久 孝一郎	ジューン=ガル滅亡前夜の清朝外交の変容過程—講和期外交とその終焉	900
	15J01238	人文社会科学研究所	特別研究員(DC1)	Blajhribar Kubo Petra	比較考古学からみた初期国家形成—葬送儀礼を中心に—	900
15J01241	人文社会科学研究所	特別研究員(DC1)	細田 雅也	英語学習者による「テキストからの学習」:推論生成を通じた因果理解の観点から	900	
15J01304	人文社会科学研究所	特別研究員(DC1)	森 好紳	英語学習者によるマイクロ志向・マクロ志向のメインアイデア理解プロセスの解明	800	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
特別 研究員 奨励費 【特別 研究員 】	15J01317	人文社会系	特別研究員 (PD)	木村 豊	戦争災害の集合的記憶に関する比較社会学的研究	1,430
	15J01843	システム情報工学研究科	特別研究員 (DC1)	上里 友弥	再帰プログラムの拡張における到達可能性問題を 広く可解とする構造の究明と応用	900
	15J01900	システム情報系	特別研究員 (PD)	松田 壮一郎	自閉症スペクトラム障害幼児における早期対人相 互作用の定量解析に基づく発達支援法	1,300
	15J01910	システム情報工学研究科	特別研究員 (DC1)	黒田 翔	不動産市場の時空間計量経済分析	400
	15J01942	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC1)	許 銀超	ウェットエンドにおけるポリマー吸着を活用した紙基 板環境センサーの開発	700
	15J02048	システム情報工学研究科	特別研究員 (DC1)	森 英高	都市構造リスク低減を考慮した都市の集約化に向 けた一考察	1,100
	15J02139	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC1)	高部 涼太	ゲルマニウム基板上へのバリウムシリサイド薄膜太 陽電池作製とガラス基板上への展開	900
	15J03797	計算科学研究センター	特別研究員 (PD)	原田 隆平	分子動力学シミュレーションで探る細胞環境におけ るタンパク質フォールディング機構	1,430
	15J04660	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC1)	本多 俊介	トップクォーク対と随伴生成されるヒッグス粒子の探 索とトップクォーク湯川結合の測定	900
	15J04751	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC1)	中澤 暦	脂質膜内添加物の役割の解明:構造熱力学モデ ルによる統一化	900
	15J05607	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC1)	長谷川 友里	有機複合材料の自己組織化構造の分子レベル観 察に基づく機能創成	800
	15J06369	グローバル教育院	特別研究員 (DC1)	本多 隆利	新規睡眠制御遺伝子Sleepyの機能解析による睡 眠覚醒制御の分子・神経基盤の解明	1,100
	15J08253	グローバル教育院	特別研究員 (DC1)	新妻 耕太	自然免疫応答を制御する新規ヒト免疫受容体CD3 00Hの機能解明	800
	16J00173	人文社会科学研究科	特別研究員 (DC2)	根本 みなみ	「家」の戦略から見る萩藩毛利家の藩内秩序	600
	16J00187	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC1)	大野 博	脂肪酸組成制御が高次脳機能と精神疾患におよ ぼす影響の解明と健康科学への応用	900
	16J00298	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC1)	奥脇 亮	高周波励起源と断層すべりに基づく巨大地震の不 規則な発展プロセスの解明	800
	16J00338	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC1)	上野 将玄	ラットのストレスレジリエンスの個体差における神経 ペプチドYの関与	900
	16J00419	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC2)	岩本 佳世	通常学級における階層的予防モデルによる相互依 存型集団随伴性の適用に関する研究	600
	16J00443	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC1)	戸祭 森彦	地域特異的繁殖戦略から読み解く形態形質の進 化機構	600
	16J00464	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC2)	朝岡 寛史	ASD児の直示動詞獲得に関する研究-視点取得 の分析に基づく指導方法の検討-	500
16J00487	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC1)	森永 花菜	環境浄化細菌の効率的制御を目指した細胞間コ ミュニケーションの実態解明	900	
16J00582	生命環境系	特別研究員 (PD)	篠崎 良仁	エチレンによる着果抑制機構の解明	1,040	

(金額の単位:千円)

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
特別研究員奨励費 【特別研究員】	16J00623	生命環境系	特別研究員 (PD)	吉田 美佳	木質バイオマス資源のサプライチェーンマネジメントとビジネスモデル構築に関する研究	1,040
	16J00635	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC2)	下條 賢悟	巨大地震後の流体に起因する長野県北部およびその他地域における地震活動	600
	16J00682	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC2)	菅原 大地	ポジティブ感情が精神的健康に与える影響—拡張—形成理論の実証と精緻化—	900
	16J00747	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC2)	新村 麻実	気候変動による影響を予測可能かつ水田域の水動態を考慮した流域水温モデルの構築	900
	16J00758	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC2)	森田 俊平	ショウジョウバエにおけるSxl lethal下流候補遺伝子:NHP2の機能解析	900
	16J00760	人文社会科学研究所	特別研究員 (DC2)	隋 藝	中国共産党による都市支配の確立と国民意識の形成—1945年～1953年の東北社会	780
	16J00768	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC1)	森 英樹	森林性ツル植物の林床での待機から林冠への登攀メカニズムに着目した生活史戦略の解明	600
	16J00782	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC1)	山口 慶子	先天代謝異常症児家族の医療社会面に関する研究	100
	16J00783	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC2)	水落 裕樹	衛星ビッグデータと水文モデルを用いたナミビア季節湿地における稲作導入適地の推定	1,430
	16J00786	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC2)	西村 春輝	反すうの制御過程における実行機能	600
	16J00793	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC2)	秋山 健太郎	脂肪性肝炎の発症機序の解明に向けた肝臓、腸管、脂肪の臓器連関からのアプローチ	600
	16J00797	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC2)	江面 健太郎	トマト着果におけるGAシグナル調節因子DELLAを介したSAM 代謝制御機構	600
	16J00800	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC2)	高橋 将人	振盪フラスコの気相環境に着目した新たな微生物培養法の提案とその利用	600
	16J00828	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC2)	桜井 淳平	学校安全のポリティクスに関する研究—通学路の防犯カメラ設置事業を事例に—	500
	16J00884	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC2)	仲嶺 真	社会的ネットワーク外の異性関係開始に関わる判断プロセス	1,170
	16J00911	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC1)	岩瀬 滋	次世代電子デバイスの理論設計に向けた第一原理電伝導計算手法の開発	1,100
	16J00930	人文社会科学研究所	特別研究員 (DC2)	金 ヒョン我	国民精神総動員期における民衆動員の日韓比較研究	900
	16J00934	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC1)	岡田 大地	自己組織化強誘電ポリマー球体内への二次高調波の閉じ込めと増幅	600
	16J00969	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC2)	三和 秀平	教師の教科指導学習動機に関する検討	400
	16J00973	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC1)	吉野 優香	感謝が対人関係の形成・維持・発展に及ぼす効果に関するプロセスモデルの検証	600
16J01020	グローバル教育院	特別研究員 (DC1)	山内 裕	卵管での配偶子と初期胚輸送機構の解明	800	
16J01196	人文社会科学研究所	特別研究員 (DC2)	岡村 逸郎	犯罪被害者支援に関する歴史社会学的研究—刑事法学・精神医学の領域交差に注目して	600	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
特別 研究員 奨励費 【特別 研究員 】	16J01376	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC1)	福本 隼平	トキソプラズマにおける宿主オルガネラリクルート機構の解析	600
	16J01394	人文社会科学研究所	特別研究員 (DC2)	齋藤 竜太	ウズベキスタン農村部における水利組織の実態と海外援助機関の関与	900
	16J01419	人文社会科学研究所	特別研究員 (DC2)	大石 茜	都市下層における近代の家族の誕生と慈善事業の社会的意義	400
	16J01526	人文社会系	特別研究員 (PD)	渡井 葉子	新バビロニア時代における女性のプロノボグラフィ研究	910
	16J01545	人文社会科学研究所	特別研究員 (DC2)	宮内 優子	未成人骨から見た古代西アジア社会の再考	900
	16J01676	人文社会科学研究所	特別研究員 (DC2)	納谷 亮平	語彙範疇と機能範疇の中間的な振る舞いを見せる要素に関する研究	500
	16J01690	システム情報工学研究所	特別研究員 (DC2)	曾我部 陽光	高速なヒトDNA解読実現のための小規模計算機システムの構築	800
	16J01716	人文社会科学研究所	特別研究員 (DC2)	Van Lommel Pieter	明治後半における日本文学と教育——「田舎教師」の時代	500
	16J01957	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC2)	阿部 巧	身体パフォーマンステストを応用した認知機能評価法の開発	600
	16J02020	システム情報工学研究所	特別研究員 (DC2)	矢野 貴大	演算加速器を有する計算機クラスタ向け固有値解法の並列実装に関する研究	600
	16J02064	システム情報研究科	特別研究員 (DC1)	長谷川 大輔	デマンド型交通の運行形式に着目した都市内交通の最適化に関する研究	600
	16J02077	システム情報工学研究所	特別研究員 (DC1)	齋藤 慎平	原子炉過酷事故時における炉心溶融物分散・微粒化機構の解明	1,100
	16J02119	システム情報工学研究所	特別研究員 (DC1)	湯浅 朋久	小型高効率回転機の最適設計手法の構築を目指した伝熱流動特性の解明	900
	16J02186	システム情報系	特別研究員 (PD)	阿武 秀和	マッチング市場の理論的研究	910
	16J02197	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC2)	経隆 悠	土石流の数値シミュレーションと現地観測に基づいた土砂流出量の長期推定モデルの開発	600
	16J02215	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC1)	汪 子涵	フェムト秒時間分解STMによる半導体低次元系の核スピンドYNAMIX計測	600
	16J02219	システム情報工学研究所	特別研究員 (DC2)	吉田 崇紘	空間統計学と組成データ解析に基づく離散選択モデルの高度化	1,100
	16J02555	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC2)	倉持 達司	多電子酸化還元触媒能を有するハイブリッドPOMの合成	600
	16J02879	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC1)	具志 俊希	逆ペロブスカイト型強磁性窒化物細線における磁壁物性の横断的研究	600
	16J03531	グローバル教育院	特別研究員 (DC1)	小木曾 里樹	音響ビーコンで自己位置を推定する屋内移動ロボットシステム	600
16J03777	グローバル教育院	特別研究員 (DC1)	西田 惇	人の身体認知特性の理解に基づくサイボーグ型インタフェースの研究	1,100	
16J04305	生命環境科学研究科	特別研究員 (PD)	牛木 亜季	レニン遺伝子はいかにして血圧の変化を感知するのか? : 新規エンハンサー機能の解明	780	



(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
特別 研究員 奨励費 【特別 研究員 】	16J05042	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC2)	征矢 茉莉子	認知機能を高める海馬グリコゲンローディング法の開発	800
	16J05238	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC1)	茂木 裕幸	遷移金属ダイカルコゲナイド原子層のナノスケール伝導解析と新奇機能探索	600
	16J05248	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC2)	本多 真紀	原子燃料サイクル施設の稼働に係る環境保全調査のためのヨウ素129の高感度分析	1,100
	16J05288	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC2)	三枝 優太	新規お椀型縮環ポルフィリン誘導体による光電子機能性の創出	1,430
	16J05432	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC1)	山下 愛智	電気化学的手法による鉄系超伝導体の超伝導化	900
	16J05520	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC2)	内山田 健	多孔質MIPの分子認識能の付加による単一細胞解析のための光干渉型センサの開発	900
	16J05727	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC1)	新山 瑛理	温熱療法と免疫療法を同時に達成するナノファイバーメッシュの開発	600
	16J06442	グローバル教育院	特別研究員 (DC1)	徐 昊クン	睡眠覚醒機構とミクログリアの連関をin vivoで解明する	900
	16J06932	システム情報工学研究科	特別研究員 (DC2)	川口 一画	テレプレゼンスロボットを用いた双方向作業空間共有型遠隔会議支援システムの開発	1,100
	16J07651	計算科学研究センター	特別研究員 (PD)	野村 昂亮	原子核の集団運動とエキゾチック核構造に関する理論的研究	1,430
	16J09715	数理物質系	特別研究員 (PD)	滝本 大裕	電気化学反応を利用した新奇コアシェル構造ナノシートの創製と燃料電池用触媒への応用	1,430
	16J40008	生命環境系	特別研究員 (RPD)	山崎 敦子	棘皮動物の幼生骨片形成に関わる初期発生メカニズムの進化	425
	16J40018	医学医療系	特別研究員 (RPD)	田中 笑子	長期追跡コホートを活用した子育てエンパワメント指標の開発と支援的応用	1,300
	17J00009	人文社会系	特別研究員 (PD)	松枝 佳奈	世紀転換期の英仏米におけるロシア研究—対露認識をめぐる比較文学比較文化史的考察	910
	17J00022	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC2)	牧瀬 翔麻	小規模自治体における実効的な教育行政モデルの研究	900
	17J00034	生命環境系	特別研究員 (PD)	谷口 順子	中枢神経の出現に伴う腸管神経系の進化	1,430
	17J00104	システム情報工学研究科	特別研究員 (DC1)	犬塚 健斗	大腿切断者のための健脚側動作情報を利用した大腿能動義足の制御手法の確立	1,000
	17J00218	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC1)	井村 英輔	動物発生タイミングを制御する神経・内分泌基盤と時計システムの研究	1,000
	17J00231	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC2)	横山 航	RNA塩基メチル化修飾が老化において果たす役割の解明	900
	17J00236	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC2)	貴嶋 紗久	植物免疫応答におけるアクチン機能および細菌性エフェクターHopW1の作用機構解明	1,100
17J00269	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC2)	矢ヶ崎 太洋	東日本大震災後の人口移動と地域社会のレジリエンス	1,000	
17J00274	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC2)	木村 駿太	陸棲藍藻の乾熱耐性を司る鍵物質の解明—光合成生物への乾熱耐性の付与を目指して—	1,100	

(金額の単位:千円)

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
特別研究員奨励費 【特別研究員】	17J00324	生命環境系	特別研究員 (PD)	寺内 奈々	不等長2本鞭毛の運動性分化を統御する新規因子の解明	1,430
	17J00332	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC1)	山口 敦史	土・水環境中の物質の運命予測に資するヘテロなコロイド懸濁液のレオロジー特性の解明	900
	17J00346	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC1)	麻生 紘平	大都市工業集積地における企業間関係の変容過程と要因	900
	17J00358	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC1)	張 楠	太陽光を利用したアンモニア阻害抑制のための新規メタン発酵システムの開発	900
	17J00410	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC1)	西野 貴騎	ノコギリカメムシの雌後脚と卵表面で糸状菌との共生が成立するメカニズムの解明	1,100
	17J00436	システム情報工学研究科	特別研究員 (DC2)	白石 僚一郎	在宅での運動機能改善訓練と自立機能向上が可能な車いす型統合支援システムの開発	900
	17J00450	システム情報工学研究科	特別研究員 (DC2)	陸 文杰	秘密計算において、ゲノムデータを用いた複数の検定のアウトソーシング計算基盤	900
	17J00479	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC2)	石井 大海	実数の集合の性質の集合論的解明と工学的応用	900
	17J00480	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC2)	齋藤 隆大	混合ホッジ加群の理論を用いた特異点の研究	1,000
	17J00502	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC2)	張 新民	中国東莞都市圏における都市化プロセスと持続的発展: シナリオ分析	900
	17J00511	人文社会科学研究科	特別研究員 (DC2)	源島 穰	イギリスの社会的排除/包摂をめぐる民主的福祉ガバナンス	1,000
	17J00544	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC1)	茂藤 健太	プラスチック上における高スズ濃度ゲルマニウムスズ結晶の創成と太陽電池応用	1,000
	17J00611	人文社会科学研究科	特別研究員 (DC2)	文 昶允	複合外来語の短縮過程に見られる現代日本語の音韻特性	900
	17J00707	人文社会科学研究科	特別研究員 (DC2)	加納 敦子	日中戦争期における中国国民党政府と朝鮮独立運動関係史	1,000
	17J00708	システム情報工学研究科	特別研究員 (DC1)	久保 凱	マクロ/メゾ/ミクロスケールを完全連成した織物複合材料の強度解析手法の構築と実証	900
	17J00726	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC1)	高野 貴大	教師教育における「批判的省察」の理論的・実証的研究: 「省察」概念の再構築に向けて	1,000
	17J00734	人文社会科学研究科	特別研究員 (DC2)	茂野 智大	死なるものの理解と表現との関係から見た柿本人麻呂挽歌論の構築	800
	17J00738	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC1)	柏木 光昭	レム睡眠のON/OFFを司る新規な細胞群に基づくレム睡眠のメカニズムと意義の解明	1,000
	17J00747	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC1)	山岡 明奈	創造性の適応的な増進に向けたマインドワンダリングの応用可能性に関する基礎的研究	1,000
	17J00758	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC1)	渡邊 寛	男性役割葛藤を解明するメタ規範の理論的・実証的研究	1,000
17J00774	システム情報工学研究科	特別研究員 (DC2)	庄司 香織	災害時の衛星通信ネットワークを確保するモジュール型展開アンテナの内力制御デザイン	900	
17J00792	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC1)	橋田 慈子	親集団の学習と変容を基盤とした障害者の地域自立支援プロセスに関する研究	1,100	

(金額の単位:千円)

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
特別 研究員 奨励費 【特別 研究員 】	17J00831	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC1)	長峯 聖人	臨床場面におけるノスタルジアを利用した介入法の 確立に関する実験的検討	1,000
	17J00906	人文社会科学研究所	特別研究員 (DC1)	多田 豪	意図的語彙学習における語彙ネットワークの役割: コロケーション特性を考慮した学習	900
	17J00926	人文社会科学研究所	特別研究員 (DC2)	李 珠姫	帝国日本における転向小説のジャンル論的研究	900
	17J01031	システム情報工学研究所	特別研究員 (DC2)	福地 一斗	離散分布におけるスカラー値のMinimax最適な推 定量	1,000
	17J01091	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC2)	陳 嘉民	大容量磁気メモリ用単結晶磁気抵抗素子のシリコ ンウェハー上で開発	900
	17J01243	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC2)	全 孝静	経胎盤移植系を用いた造血免疫系ヒト化マウスモ デルの作製	900
	17J01264	システム情報工学研究所	特別研究員 (DC2)	篠崎 由依	持続可能な水資源利用のための環境流量設定手 法の構築	500
	17J01330	システム情報工学研究所	特別研究員 (DC1)	田辺 健	振動スピーカを用いた非接地型力覚提示及びマル チモーダル感覚提示	1,000
	17J01363	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC2)	高山 史徳	マラソンレースによる筋損傷を軽減するプレコンディ ショニング法の実証的検討	1,100
	17J01387	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC2)	岡本 裕二	水素ラジカル還元法による高純度シリコンの高効率 作製プロセスの開発	1,000
	17J01405	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC2)	小崎 恵生	定期的運動がもたらす腎保護効果の解明:腎内微 小循環動態に着目して	900
	17J01536	システム情報工学研究所	特別研究員 (DC2)	山田 大将	プラズマによる血液凝固促進現象の剤型加工(タン パク質機能改変)への展開	1,100
	17J01683	システム情報工学研究所	特別研究員 (DC1)	坂口 和彦	プログラム抽出法の新展開 -- 証明自動化と高性 能の両立	1,000
	17J01691	グローバル教育院	特別研究員 (DC1)	佐藤 晃矢	ソーシャルタギングデータを利用した眠り姫メカニズ ムの解明	1,000
	17J02092	人間系	特別研究員 (PD)	石塚 祐香	発達障害児への社会的相互作用を軸としたICT活 用型の長期縦断的進学移行支援と評価	1,560
	17J02194	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC2)	藤本 知臣	冷水環境下における運動時の体温・呼吸循環調節 に関する研究	1,000
	17J03104	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC2)	長坂 和明	脳損傷後に痛みを誘発する神経ネットワークの大 規模改編:サルモデルによる統合的解析	1,100
	17J03290	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC2)	岩下 和輝	卵白におけるタンパク質混合系の協同的な凝集体 ネットワーク形成機構の解明	1,000
	17J03747	生命環境科学研究科	特別研究員 (DC2)	米田 広平	有用脂質生産藻類の脂質蓄積構造体である油滴 に局在するタンパク質の同定と機能解析	1,000
	17J03902	人文社会科学研究所	特別研究員 (DC2)	Jammo Sari	西アジア新石器時代における墓地の成立とその背景	1,000
17J03967	芸術系	特別研究員 (PD)	瀧本 みわ	古代末期ローマ帝国の彫像研究:キリスト教国家確 立期における異教神像の保護と蒐集	1,560	
17J04162	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC2)	布施 雄士	レドックス因子Txnl1による生体防御機構Nr2システ ムの応答能調節	900	

(金額の単位:千円)

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
特別研究員奨励費【特別研究員】	17J05303	人文社会系	特別研究員 (PD)	濱田 華練	東方キリスト教の信仰と知: 中世アルメニア神学のキリスト論における科学知の受容	910
	17J05462	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC2)	渡部 陽太	遷移金属によるフッ素脱離を活用したフルオロカーボンユニットの自在導入	1,000
	17J05652	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC2)	林 宏紀	$\pi$ 共役と主鎖らせんからなる革新的刺激応答性ブロック共重合体の創成	1,000
	17J05926	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC1)	松本 凌	超高圧下電気伝導測定装置の開発と新規超伝導探索	1,100
	17J06100	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC2)	佐々木 友彰	単体金属の充填構造と電子密度分布の相関	1,000
	17J06167	人間総合科学研究科	特別研究員 (DC1)	中澤 優太	腫瘍微小環境における死細胞を介した免疫応答機構の解明	900
	17J07957	グローバル教育院	特別研究員 (DC2)	Kim Staci Jakyong	フォワード・ジェネティクスで同定した新規睡眠制御遺伝子による分子機構の解明	900
	17J10501	数理物質科学研究科	特別研究員 (DC2)	タン シン	超微結晶Nd-Fe-B基 高保磁力異方性磁石の開発	900
	17J40087	人文社会系	特別研究員 (RPD)	白井 聡子	川西民族走廊チベット=ビルマ系諸言語における動詞接辞の地域特徴の研究	1,430
	17J40129	国際統合睡眠医科学研究機構	特別研究員 (RPD)	大山 薫	睡眠・覚醒時の大脳皮質神経ネットワークの活動様態の解明	1,430
特別研究員奨励費【外国人特別研究員】	15F15034	数理物質系	教授	大塩 寛紀	カスタマイズ可能なポリオキソバナデートをもちいた拡張骨格構造の構築	500
	15F15408	国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	坂口 昌徳	睡眠中の、新生ニューロンの記録回路への組み込み	1,000
	16F16020	数理物質系	教授	宮本 雅彦	ホップ代数理論を利用した頂点作用素代数のミラー拡大の応用	200
	16F16395	生命環境系	教授	江面 浩	Myb305転写因子のトマト発達における機能解明	1,100
	17F17905	数理物質系	教授	大塩 寛紀	プロトン共役電子移動を鍵とする物性変換システム	1,200
	17F17385	数理物質系	准教授	櫻井 岳暁	Zスキーム型BiVO <sub>4</sub> 光触媒における不純物添加効果の物理機構解明	500
	17F17345	数理物質系	教授	中村 潤児	3Dグラフェンおよび非貴金属ナノ粒子からなる白金フリー燃料電池電極触媒	500
	17F17396	生命環境系	教授	江前 敏晴	表装された日本画の本紙/肌裏紙/環境間の物質動態劣化機構の解明と保存技術の確立	700
研究成果公開促進費(学術図書)	17HP5117	人文社会系	助教	根本 達	ポスト・アンベードカルの民族誌	900
	17HP511	人文社会系	非常勤研究員	山崎 寿美子	カンボジア北東部のラオ村落における対人関係の民族誌—もめごとへの間接的な対処法	1,400
	17HP5219	人間系	助教	菊池 かおり	イングランドのシティズンシップ教育政策の展開	900
	17HP5252	生命環境系	教授	志賀 和人	森林管理の公共的制御と制度変化: スイス・日本の公有林管理と地域	1,200

(金額の単位:千円)

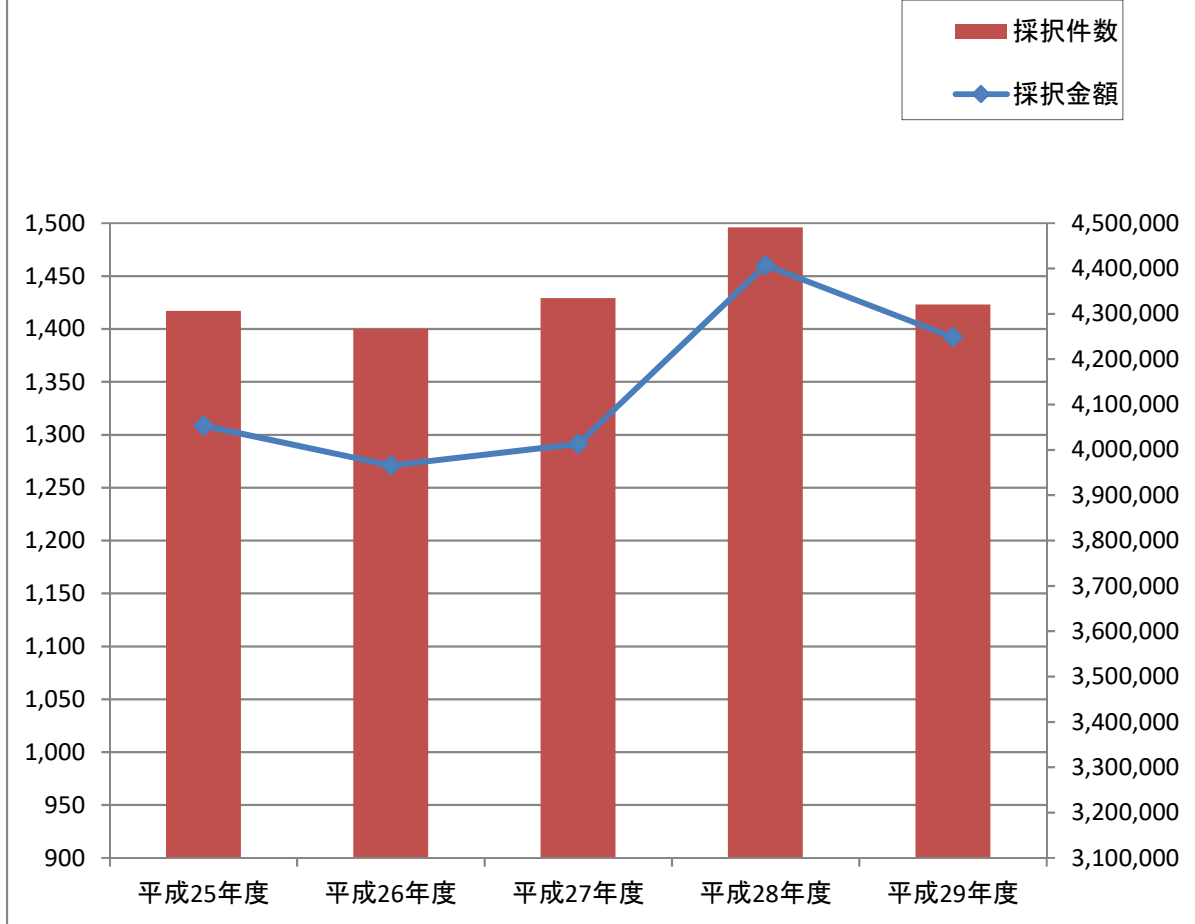
研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
(国際共同研究 研究加速 強化基金)	16KK0022	人文社会系	准教授	柴田 大輔	紀元前二千年紀後半のアッシリア領土統治における多様性の解明:地方王国マリ国の研究	15,470
	16KK0072	図書館情報メディア系	助教	小泉 公乃	公共図書館の直営経営とハイブリディゼーションの国際比較研究	6,500
	16KK0093	数理物質系	講師	久保 敦	高空間分解・時間分解イメージング法によるメタマテリアルの新奇な波束伝搬機構の解明	13,260
	16KK0158	生命環境系	助教	鶴田 文憲	Sparcl1/Hevinスプライシング変異体による発達期シナプス形成の制御機構	15,210

※奨励研究は除く

※追加配分、前倒し分は含む。

※繰越は考慮しない。

## 科研費の推移



年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
採択件数	1,417	1,400	1,429	1,496	1,423
採択金額	4,053,266	3,965,618	4,013,175	4,407,088	4,248,540

(単位:千円)

(4) 研究プロジェクト支援経費

ア 戦略イニシアティブ (S), (A) 採択・配分状況<平成 29 年度>

(ア) 総括表

(単位：千円、以下同じ。)

系	平成 25 年 度採択 S	平成 25 年 度採択 A	平成 29 年 度採択 A	配分金額
人文社会系	0	1	0	4,000
ビジネスサイエンス系	0	0	0	0
数理工学系	0	1	0	4,000
システム情報系	0	0	0	0
生命環境系	0	1	1	8,000
人間系	0	0	0	0
体育系	0	0	0	0
芸術系	0	0	0	0
医学医療系	0	0	0	0
図書館情報メディア系	0	0	0	0
計算科学研究センター	1	0	0	5,000
生命領域学際研究センター	1	0	0	5,000
人工知能科学センター	0	0	1	4,000
合 計	2	3	2	30,000

(イ) 研究代表者等

1) 新規<戦略イニシアティブ A>

代表者		拠 点 名	配分額
所属部局・職	氏名		
人工知能科学センター・センター長	櫻井 鉄也	人工知能科学センター	4,000
生命環境系・教授	野村 暢彦	ERATO (野村集団微生物制御プロジェクト)	4,000

2) 継続<戦略イニシアティブ S>

代表者		拠 点 名	配分額
所属部局・職	氏名		
計算科学研究センター・センター長	梅村 雅之	計算科学研究センター (重点研究センター)	5,000
生命領域学際研究センター・センター長	花岡 文雄	生命領域学際研究センター (重点研究センター)	5,000

3) 継続<戦略イニシアティブ A>

代表者		拠 点 名	配分額
所属部局・職	氏名		
人文社会系・教授	辻中 豊	人文社会国際比較研究機構 (学術センター)	4,000
数理工学系・教授	金谷 和至	数理工学融合科学センター (学術センター)	4,000
生命環境系・系長	松本 宏	地球・人類共生科学研究機構 (学術センター)	4,000

イ プレ戦略イニシアティブ（研究拠点提案型）、（研究プロジェクト提案型）

申請・採択・配分状況 <平成 29 年度>

(ア) 総括表

系	新規申請件数		新規採択件数		継続件数		配分金額
	拠点	プロジェクト	拠点	プロジェクト	拠点	プロジェクト	
人文社会系	0	-	0	-	1	-	1,000
ビジネスサイエンス系	0	-	0	-	0	-	0
数理工学系	1	-	1	-	1	-	1,500
システム情報系	0	-	0	-	1	-	2,200
生命環境系	1	-	1	-	0	-	1,400
人間系	1	-	0	-	0	-	0
体育系	1	-	1	-	0	-	1,600
芸術系	0	-	0	-	0	-	0
医学医療系	2	-	1	-	0	-	400
図書館情報メディア系	1	-	0	-	0	-	0
合計	7	-	4	-	3	-	8,100

(イ) 研究代表者等

1) 新規採択

	代表者		拠 点 名	配分額
	所属部局・職	氏名		
研究拠点提案型	数理工学系・教授	守友 浩	次世代物質・デバイス戦略開発拠点	1,000
	生命環境系・教授	高谷 直樹	微生物サステイナビリティ研究拠点	1,400
	体育系・教授	高木 英樹	医体工連携による水中運動医科学のイノベーションを目指した国際的研究拠点の形成	1,600
	医学医療系・准教授	涌水 理恵	小児医療現場における「患者・家族からの暴力・暴言・ハラスメント」対応力強化研究拠点	400

2) 継続（平成 28 年度採択）

	代表者		拠 点 名	配分額
	所属部局・職	氏名		
研究拠点提案型	人文社会系・教授	山田 重郎	国際研究拠点としての「西アジア文明研究センター」の確立	1,000
	数理工学系・准教授	山本 洋平	光と物質・生命科学のアンサンブルによる新現象の発掘と解明	500

3) 継続（平成 27 年度採択）

	代表者		拠 点 名	配分額
	所属部局・職	氏名		
研究拠点提案型	システム情報系・准教授	横田 茂	宇宙輸送技術研究拠点の形成	2,200



ウ 研究基盤支援プログラムSタイプ（スタートアップ支援）申請・採択・配分状況  
 〈平成29年度〉

(ア) 総括表

(単位:円)

組織名	Sタイプ					配分金額 (合計)
	平成29年度採択 (採択1年目)			平成28年度採択 (採択2年目)		
	申請 件数	採択 件数	配分金額	継続 件数	配分金額	
人文社会系	1	0	0	0	0	0
ビジネスサイエンス系	2	0	0	0	0	0
数理工学系	2	2	1,840,000	0	0	1,840,000
システム情報系	2	1	985,980	1	991,460	1,977,440
人間系	1	0	0	0	0	0
医学医療系	2	2	2,000,000	3	2,800,000	4,800,000
生命領域学際研究センター	1	0	0	0	0	0
合 計	11	5	4,825,980	4	3,791,460	8,617,440

(イ) 採択状況

(単位:円)

	所属部局・職		氏 名	研 究 課 題 名	平成29年度 配分金額
S タ イ プ ( 採 択 1 年 目 )	数理工学系	准教授	伊藤 良一	グラフェンの多孔質化による高効率エネルギーデバイスの開発	1,000,000
	数理工学系	助教	飯田 崇史	無機シンチレータを用いた地下素粒子実験による宇宙史解明への挑戦	840,000
	システム情報系	准教授	安藝 裕久	需要家とアグリゲータの参入を想定した需要サイド電力システム運用シミュレーションモデルの開発	985,980
	医学医療系	助教	孫 略	小児脳腫瘍幹細胞に対する陽子線治療の効果の最適化	1,000,000
	医学医療系	講師	日下部 学	医原性リンパ増殖性疾患の遺伝子変異と治療反応性の解明	1,000,000
(採 択 2 年 目 )	システム情報系	助教	新宅 勇一	金属材料の組織設計のための微視的メカニズムに基づくき裂進展解析手法の開発	991,460
	医学医療系	助教	林 洋平	iPS細胞において染色体異常を修復する技術の開発	1,000,000
	医学医療系	講師	秋山 梓	局所進行子宮頸癌におけるPIK3CA遺伝子変異解析に基づいた新規分子標的治療の探索	900,000
	医学医療系	助教	宮寺 浩子	ゲノム編集によるMHC改変マウスの樹立と自己免疫疾患発症機序の解明	900,000

エ 研究基盤支援プログラムAタイプ（若手研究者研究奨励費）申請・採択・配分状況  
 （平成29年度）

（ア）総括表

（単位：千円）

所 属	申請件数					採択件数					配分額
	准教授	講師	助教	研究員	計	准教授	講師	助教	研究員	計	
人文社会系	0	0	5	2	7	0	0	1	1	2	1,680
数理物質系	0	0	8	2	10	0	0	3	1	4	3,660
システム情報系	0	0	6	1	7	0	0	2	0	2	1,713
生命環境系	0	0	0	2	2	0	0	0	1	1	798
人間系	0	0	5	0	5	0	0	0	0	0	0
体育系	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0
芸術系	0	0	2	0	2	0	0	1	0	1	940
医学医療系	0	1	5	3	9	0	0	2	1	3	2,720
国際統合睡眠医科学研究機構	0	0	5	1	6	0	0	3	0	3	2,706
計算科学研究センター	0	0	1	2	3	0	0	0	0	0	0
生命領域学際研究センター	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
プラズマ研究センター	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0
アイトープ環境動態研究センター	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
高細精医療イノベーション研究コア	0	0	0	2	2	0	0	0	1	1	780
合計	0	1	37	22	60	0	0	12	5	17	14,997

## (イ) 採択状況

(単位:千円)

	所属部局・職		氏名	研究課題名	配分額
A タイプ	人文社会系	助教	伊藤 秀明	日本語学習者向け漢字アニメーションの制作	936
	人文社会系	研究員	安 祥希	上級・超級日本語学習者のためのアカデミック・ライティングにおける複合辞指導のモデル構築	744
	数理物質系	助教	大好 孝幸	天然物を基盤とした新規タンパク質間相互作用を誘導する化合物の創製と機能解明	940
	数理物質系	助教	鈴木 伸司	短寿命核の質量測定に用いる準非破壊的な飛行時間検出器・位置検出器の開発	940
	数理物質系	助教	松岡 亮太	分子鎖の撚りあわせを利用した可変柔軟性ナノシートの開発	1,000
	数理物質系	研究員	佐藤 悠貴	非対称多座配位子をもちいた異種金属グリッド型錯体の機能発現	780
	システム情報系	助教	二村 保徳	超大規模固有値問題の省メモリ型並列アルゴリズムの研究	940
	システム情報系	助教	Phung-Duc Tuan	起動時間を有するシステムの理論解析と省エネ型データセンター性能評価への応用	773
	生命環境系	研究員	白鳥 峻志	新奇捕食性原核生物 Phagobacterium amorphum のアクチン様タンパク質の発現と局在の解析	798
	芸術系	助教	山本 美希	物語絵本における「絵と言葉」の関係性—相互依存の見られない場面の実態調査	940
	医学医療系	助教	木村 雄一	出芽酵母の小胞体ストレス応答における新規翻訳制御機構の解析	940
	医学医療系	助教	越田 隆介	樹状突起スパインにおけるミオシンファミリーの機能解析	780
	医学医療系	研究員	本村 香織	脂肪酸により誘導される膵臓β細胞増殖の新規メカニズムの解明と糖尿病治療への応用	1,000
	国際統合睡眠医科学研究機構	助教	征矢 晋吾	恐怖記憶の表出が睡眠に与える影響	766
	国際統合睡眠医科学研究機構	助教	丹羽 康貴	Tet-Lightシステムで細胞内シグナルを操り、睡眠時間を制御する	940
	国際統合睡眠医科学研究機構	助教	平野 有沙	睡眠・覚醒サイクル制御に向けた神経ネットワークの理解	1,000
高細精医療イノベーション研究コア	研究員	田中 尚志	微生物細胞機能制御の基盤研究:活性硫黄種シグナルによる細胞恒常性維持機構の解明	780	

オ 研究基盤支援プログラムBタイプ（ステップ・アップ支援）申請・採択・配分状況  
 〈平成29年度〉

(ア) 総括表

(単位:千円)

組織名	Bタイプ		
	申請件数	採択件数	配分額
人文社会系	2	2	1,798
数理物質系	2	2	1,900
システム情報系	5	5	4,600
生命環境系	4	3	4,735
体育系	3	2	5,300
医学医療系	3	3	4,500
図書館情報メディア系	2	2	1,694
計算科学研究センター	2	2	1,744
生命領域学際研究センター	1	1	800
合 計	24	22	27,071

(イ) 採択状況

(単位:千円)

	所属部局・職		氏 名	研 究 課 題 名	配分額
	B タ イ プ	人文社会系	准教授	小野 雄一	発信力向上を主眼においた学習行動分析システムの構築と実践に関する研究
人文社会系		准教授	許 明子	初対面の日韓中英語母語話者間のパーソナル・テリトリーの認識と対人関係の構築	900
数理物質系		教授	白木 賢太郎	タンパク質を安定化する凝集性クラスターの形成制御	900
数理物質系		准教授	辻村 清也	ナノ空間における酵素の超活性機構	1,000
システム情報系		教授	相山 康道	可変剛性機構に基づく手先機械剛性調整による人間協働ロボットのための衝突安全機構	900
システム情報系		准教授	延原 肇	ユーザの潜在的嗜好を明らかにする深層概念分析-スポット情報推薦を応用例として	1,000
システム情報系		准教授	藤井 さやか	カナダにおける社会的包摂プログラムを内包した住宅再整備手法の実態と課題	900
システム情報系		助教	橋本 悠希	足底への錯触覚提示手法を用いた歩行サービスシステムの構築	900
システム情報系		助教	山本 亨輔	車両振動分析を用いた橋梁スクリーニング技術の開発	900
生命環境系		准教授	千葉 親文	イモリ超巨大ゲノムの解読:体再生モデルの構築とnewtic factor探索	3,035
生命環境系		准教授	野口 良造	シュレーリン密度構造解析を用いた有機性排水による排水管閉塞メカニズムの解明	900
生命環境系	准教授	應 蓓文	細胞増殖の高速化に伴うトランスクリプトームの構造変化	800	

B タ イ プ	体育系	教授	武政 徹	トレーニング適応を生きている細胞で検証する新規の分子運動生理学的研究システム	4,500
	体育系	助教	李 燦雨	武芸図譜通志が物語る日中韓における武文化の伝統と共存に関する研究	800
	医学医療系	教授	大河内 信弘	新規モデルを用いたNASHの病態解析と治療法の開発(外科手術の安全性に着目して)	2,700
	医学医療系	講師	松井 裕史	層別化がん細胞を用いた高感度遺伝子変異検査法の開発	900
	医学医療系	講師	中馬越 清隆	認知症患者の前庭刺激プログラムによる転倒予防効果	900
	図書館情報メディア系	教授	井上 智雄	能動学習において多様な学生を活かすインタラクション技術の開発研究	800
	図書館情報メディア系	教授	呑海 沙織	認知症にやさしい図書館モデル構築の研究	894
	計算科学研究センター	教授	天笠 俊之	ヘテロジニアスマルチプロセッサクラスタのための大規模データ分析基盤	900
	計算科学研究センター	教授	日下 博幸	ペタフロップスのスパコン一般化時代に向けた超高速解像度の都市気象LESモデルの開発	844
	生命領域学際研究センター	助教	山城 義人	血管壁のメカノセンシングを起点とした新しい大動脈瘤発生メカニズムの提唱	800

カ 研究基盤支援プログラムCタイプ（ステップ・アップ強化）配分状況  
（平成29年度）

（単位：千円）

採択部局	配分額
人文社会系	100
数理物質系	839
システム情報系	1,470
生命環境系	1,233
人間系	1,250
芸術系	500
医学医療系	800
図書館情報メディア系	250
合計	6,442

キ 海外教育研究ユニット招致 招致・配分状況 <平成29年度>

(ア) 総括表

(単位:千円)

系	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	配分金額
人文社会系	1	0	0	0	5,000
数理物質系	0	2	0	1	30,000
下田臨海実験センター(生命環境系)	0	1	0	0	10,000
人間系	0	0	0	1	10,000
体育系	0	0	1	0	10,000
医学医療系	1	0	0	0	10,000
合計	2	3	1	2	75,000

(イ) 受入責任者等

(単位:千円)

受入責任者			PI			運営費 配分額	備考
所属	職名	氏名	所属機関	職名	氏名		
人文社会系	教授	吉水 千鶴子	Department of Indian and Tibetan Studies, Aisa-Asica Institute, University of Hamburg	教授	Harunaga Isaacson Dorji Wangchu Michael Zimmerman	5,000	平成26年度招致 研究重点型 (期間:H26~30)
医学医療系	教授	加藤 光保	Leiden University Medical Center	教授	Peter ten Dijke	10,000	平成26年度招致 研究重点型 (期間:H26~30)
数理物質系	教授	西堀 英治	デンマークオーフス大学・材料結晶学センター	教授・センター長	Bo Brummerstedt Iversen	10,000	平成27年度招致 研究重点型 (期間:H27~31)
下田臨海実験センター (生命環境系)	教授	稲葉 一男	プリマス大学(英国)海洋科学工学部	教授	Jason Hall-Spencer	10,000	平成27年度招致 研究重点型 (期間:H27~31)
人間系	教授	小川 園子	Emory University, Atlanta, USA	William P. Timmie Professor	Larry J. Young, Ph.D.	10,000	平成29年度招致 研究重点型 (期間:H29~33)
数理物質系	教授	伊藤 雅英	Universite Joseph Fourier (Grenoble)	教授	GHEERAERT ETIENNE MARIETTE HENRI VALLEE CHRISTOPHE	10,000	平成27年度招致 教育重点型 (期間:H27~31)
体育系	教授	征矢 英昭	University of California, Irvine	准教授	Yassa, Michael A	10,000	平成28年度招致 CiC型 (期間:H28~32)
数理物質系	教授 講師	三明 康郎 中條 達也	Institute for Subatomic Physics, Utrecht University Utrecht University	Full Professor and Institute Director Assistance	Full Professor and Institute Director Assistance Professor(UD)	10,000	平成29年度招致 CiC型 (期間:H29~33)

ク 産学連携推進プロジェクト申請・採択・配分状況〈平成29年度〉

(ア) 総括表

(単位:千円)

系等	つくば産学連携強化事業 (重点領域を含む)			共同研究実用化ブースト事業			共同研究プロジェクト			ベンチャー創業プロジェクト			つくば地区研究開発法人との マッチングファンド			合 計		
	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額
人文社会系	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
ビジネスサイエンス系	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
数理物質系	16 (0)	11 (0)	13,000 (0)	2 (0)	1 (0)	3,000 (0)	0 (3)	0 (3)	0 (1,000)	0 (4)	0 (4)	0 (500)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	18 (7)	12 (7)	16,000 (1,500)
システム情報系	4 (0)	1 (0)	2,000 (0)	11 (0)	6 (0)	13,000 (0)	0 (6)	0 (6)	0 (500)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	15 (6)	7 (6)	15,000 (500)
生命環境系	5 (0)	3 (0)	4,000 (0)	6 (0)	2 (0)	2,000 (0)	0 (2)	0 (2)	0 (0)	0 (2)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (4)	5 (4)	6,000 (0)
人間系	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1,000 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1,000 (0)
体育系	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (500)	0 (1)	0 (1)	0 (500)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (2)	0 (1,000)
芸術系	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
医学医療系	3 (0)	2 (0)	3,000 (0)	2 (0)	1 (0)	1,000 (0)	0 (4)	0 (4)	0 (1,500)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (3)	0 (3)	0 (3,000)	5 (8)	3 (8)	4,000 (4,500)
図書館情報メディア系	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
生命領域学際研究センター	1 (0)	1 (0)	2,000 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2,000 (0)
ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1,000 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1,000 (0)
大学発ベンチャー企業等	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0 (3)	0 (3)	0 (0)	/	/	/	0 (3)	0 (3)	0 (0)
合 計	29 (0)	18 (0)	24,000 (0)	28 (0)	12 (0)	21,000 (0)	0 (16)	0 (16)	0 (3,500)	0 (11)	0 (11)	0 (1,000)	0 (3)	0 (3)	0 (3,000)	57 (30)	30 (30)	45,000 (7,500)

注) ( )内の数字は、継続研究課題の申請件数、採択件数及び採択金額で内数。

## (イ) 種目別採択状況

(単位:千円)

種類	研究代表者		プロジェクト名	配分額		
	配分先(所属)・職	氏名				
つくば産学連携強化事業	29年度新規採択分(合わせ技ファンド)	数理物質系 教授	佐々木正洋	原子層物質を利用した超高効率平面型電子放出素子の創出	2,000	
		数理物質系 教授	丸本一弘	蒸着型ペロブスカイト太陽電池の高効率化・長寿命化のための欠陥状態の解析	2,000	
		数理物質系 講師	山田洋一	均一・高配向熱活性化遅延蛍光分子膜による高効率有機EL素子創出	2,000	
		システム情報系 教授	藪野浩司	細胞力学計測のための自励発振モード連成型マイクロカントレバープローブによる原子間力顕微鏡	2,000	
		生命環境系 教授	市川創作	ゲルビーズ懸濁型マイクロリアクションシステムによる用いたモデルタンパク質スクリーニング操作の実証	2,000	
		医学医療系 教授	林 洋平	iPS細胞培養系の自動純化処理を実現するレーザー操作技術の確立	2,000	
		生命領域学際研究センター 教授	深水昭吉	PRMT8の二重活性を制御する核酸分子の創出	2,000	
	(つくば産学連携強化採択分)	数理物質系 教授	伊藤雅英	軟X線による個々の微粒子組成の高速・定量解析	1,000	
		数理物質系 准教授	笹 公和	宇宙用半導体素子の放射線耐性試験装置の開発	1,000	
		生命環境系 教授	植田宏昭	季節予報の精度向上と予測情報の社会発信	1,000	
		生命環境系 准教授	吉田滋樹	アカマツ松葉由来生理活性物質の探索による森林資源の高付加価値化	1,000	
		医学医療系 准教授	福光延吉	多孔性アルミナを用いた99Mo/99mTcジェネレータ用吸着材の開発	1,000	
	重点領域産学連携強化プロジェクト	29年度新規採択分	数理物質系 教授	丸本一弘	有機エレクトロニクス素子中での励起子・ラジカルの解析	500
			数理物質系 講師	柏木隆成	高温超電導体テラヘルツ波発信器の開発	1,000
数理物質系 助教			藤田健志	フロン類の触媒的炭素-フッ素結合活性化による高効率科学変換法	500	
数理物質系 助教			松岡亮太	三重鎖分子の撚りあわせを駆使した極薄ナノ絆創膏の開発	1,000	
数理物質系 助教			森 龍也	ガラスの普遍的励起の非破壊評価のための、反射型テラヘルツ時間領域分光装置の基盤構築	1,000	
数理物質系 助教			Cedric Mannequin	新しい半導体デバイス開発のための原子層エッチング技術の開発	1,000	
共同研究実用化ブースト事業	29年度新規採択分(採択研究)	数理物質系 准教授	加納英明	非線形光学効果を基軸とした新規ラベルフリー細胞診の開発	3,000	
		システム情報系 教授	伊藤 誠	日本型シェアードスペース実現のための路面設計と評価の技術開発	2,000	
		システム情報系 教授	加藤和彦	電子連結車両による端末公共交通システムの実現に向けた運行管理方式の研究開発	2,000	
		システム情報系 教授	矢野博明	環境計測を伴う電子連結車両における走行・乗り心地支援技術に関する研究	4,000	
		システム情報系 准教授	河本浩明	術者の直感的な操作を可能とする革新的視覚拡張システムの研究開発	3,000	



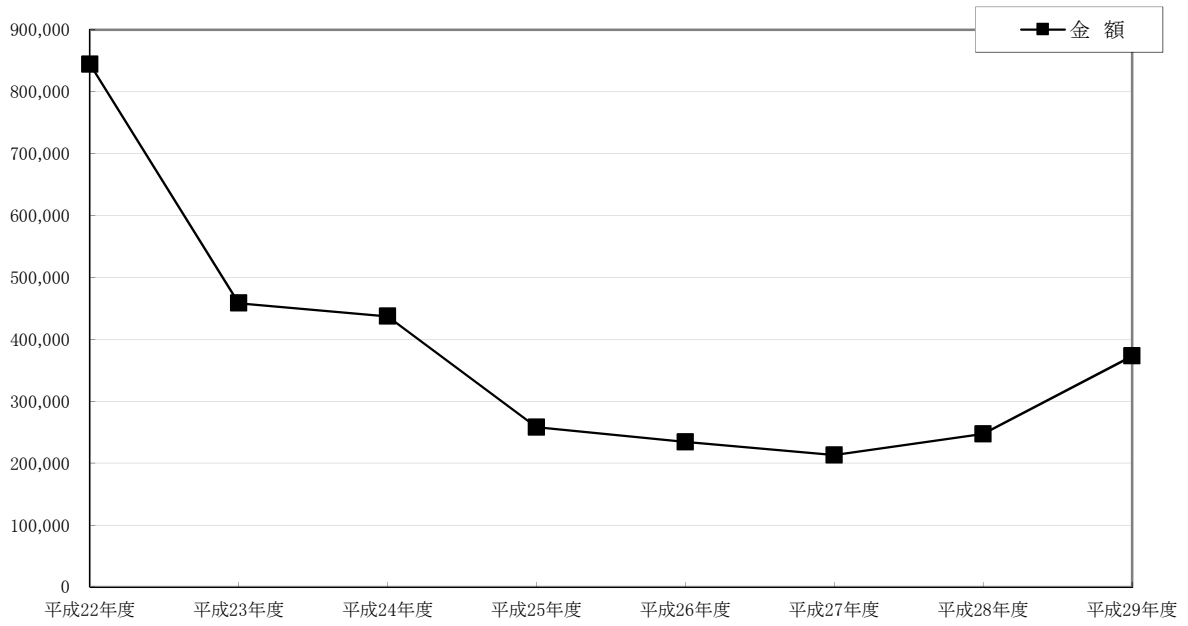
(単位:千円)

種類	研究代表者		プロジェクト名	配分額	
	配分先(所属)・職	氏名			
共同研究実用化ブリスト事業	29年度新規採択分(奨励研究)	システム情報系 教授	星野准一	海洋環境VRシステムの社会実装	1,000
		システム情報系 助教	善甫敬一	視覚障害者・外国人に対する地図情報の可聴化による支援	1,000
		生命環境系 助教	藤内直道	自動走行ロボットに搭載した3Dデジタルカメラからの画像情報に基づくトマト植物体の腋芽位置特定のため	1,000
		生命環境系 助教	養田 歩	硫酸性温泉紅藻を利用した貴金属回収プロトタイプの開発	1,000
		人間系 教授	熊谷恵子	通常の学級(中学校)にいる2E(teice exceptional)の子どもたちへのICT活用授業についての有効性の検討	1,000
		医学医療系 助教	松本孔貴	治療効果向上と適応拡大を目指したBNCT用ナノ粒子による抗腫瘍効果の検証	1,000
		ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター 助教	佐々木銀河	障害者・高齢者等の行動解析・介入支援アプリケーションの開発	1,000
共同研究プロジェクト	28年度継続採択分	数理物質系 准教授	後藤博正	バイオカーボンヘリカルコイルの応用	0 (ILC等施設利用)
		システム情報系 教授	相山康道	視覚を用いた産業用ロボットの新たなダイレクト教示手法開発	0 (ILC等施設利用)
		システム情報系 教授	伊藤 誠	視野障害者向け簡易運転能力評価システムの開発	0 (ILC等施設利用)
		システム情報系 教授	星野 聖	超軽量で廉価な眼球計測メガネの開発	0 (ILC等施設利用)
		システム情報系 准教授	岡島敬一	3軸電子コンパス診断技術を用いた燃料電池スタック最適運転に関する制御手法の開発	0 (ILC等施設利用)
		システム情報系 准教授	山際伸一	非侵襲的な血中物質計測手法によるヘルスケアサービスクラウド技術の開発	0 (ILC等施設利用)
		生命環境系 教授	北村 豊	県内産ブルーベリー100%使用の美味健康ブルーベリーワインの開発	0 (ILC等施設利用)
		生命環境系 助教	養田 歩	藻類を利用したリンの回収とリサイクルについての検討	0 (ILC等施設利用)
	27年度継続採択分	数理物質系 教授	長崎幸夫	レドックス高分子の開発とバイオマテリアルとしての開発	500 (ILC等施設利用)
		数理物質系 准教授	丸本一弘	有機薄膜素子評価用の電子スピン測定ホルダーの開発	500
		システム情報系 教授	横田 茂	宇宙用電気推進機のための大型電子源の開発	500
		体育系 准教授	大蔵倫博	世界初の卓越した健康度評価・改善システムを内蔵する体重計開発	500
		医学医療系 教授	千葉 滋	抹消性T細胞リンパ腫における特異的RHOA遺伝子変異を利用した診断および標的治療の開発	500
		医学医療系 准教授	新井哲明 (朝田 隆)	メタボローム解析を用いた認知症およびうつ病マーカーの探索研究とアッセイ開発	0 (ILC等施設利用)
医学医療系 准教授	福島 敬	遺伝子導入脂肪細胞技術の医療実用化のための共同研究	500 (ILC等施設利用)		
医学医療系 講師	大城幸雄	all in oneコンピュータ外科手術支援パッケージの開発研究	500 (ILC等施設利用)		

(単位:千円)

種類	研究代表者		プロジェクト名	配分額
	配分先(所属)・職	氏名		
ベンチャー創業プロジェクト	28年度継続採択分	数理物質系 教授	門脇和男	固有ジョセフソンテラヘルツレーザー光を用いたイメージングシステムの開発 0 (ILC等施設利用)
		数理物質系 准教授	小林伸彦	バイオマテリアル理論設計システムの開発 0 (ILC等施設利用)
		数理物質系 准教授	蓮沼 隆	電子デバイスの雑音計測技術を基にした信号計測とデータ解析サービスへの展開 0 (ILC等施設利用)
		生命環境系 教授	宮崎 均	原生林あしたばを用いたヒト及び家畜の生殖能力の改善 0 (ILC等施設利用)
		生命環境系 准教授	坂本和一	アンチエイジングに向けた生理活性物質の生理作用解析と機能性ヘルスケア製品の開発 0 (ILC等施設利用)
		医学医療系 准教授	熊田博明	BNCT用治療計画装置を中核としたベンチャー起業に向けた研究 0 (ILC等施設利用)
		人間総合科学研究科 大学院生	遠山寛人	超高精細イメージでの文化財の保存と活用 0 (ILC等施設利用)
		株式会社空間知能化研究所 代表取締役	伊藤昌平	遠隔無人探査機 (ROV)、自立型無人潜水機 (AUV)、自律航行無人艇 (ASV) の開発 0 (ILC等施設利用)
	27年度継続採択分	数理物質系 教授	伊藤雅英	3次元LSI実装のためのマイクロバンプ測定装置の開発 500 (ILC等施設利用)
		体育系 研究員	松田裕雄	地域創成に寄与するストック活用型リノベーション手法の研究開発-猪苗代湖志田浜周辺区域のスポーツ資源を通じた再開発実践 500 (ILC等施設利用)
株式会社MCBI 代表取締役		内田和彦	先制医療のための認知症の早期血流検査システムの開発 0 (ILC等施設利用)	
つくば地区マツチング開発ファ	27年度継続採択分	医学医療系 教授	坪井康次	陽子線照射とがん免疫賦活によるロコ・システム融合がん治療法の開発 1,000
		医学医療系 教授	山崎正志	革新的医療機器開発:骨粗鬆症高齢者でも弛まない骨固定材料・成長因子含有アパタイトコーティングネジ 1,000
		医学医療系 助教	松本孔貴	高精度放射線の向上を目指した金ナノ粒子増感剤の開発 1,000

研究プロジェクト支援経費(配分金額)の推移



(単位:千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
金 額	844,309	458,438	437,253	257,903	234,184	212,913	247,252	372,987

- 注) ・戦略イニシアティブ推進機構経費を含む。  
 ・平成22年度～24年度は筑波大学革新的研究等支援プログラムを含む。  
 ・平成25年度以降は系・研究科経営経費を除く。

(5) その他の研究費

ア 寄附金(学術研究関係)及び研究助成金<平成29年度>

(金額:円)

部 局 名	1. 寄附金 (学術研究関係)		2. 研究助成金		3. 寄附研究部門		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
人文社会系	5	5,400,000	3	1,500,000	0	0	8	6,900,000
ビジネスサイエンス系	5	5,133,900	3	1,950,000	0	0	8	7,083,900
数理物質系	27	43,680,000	25	32,493,000	0	0	52	76,173,000
システム情報系	37	31,401,853	22	27,602,687	0	0	59	59,004,540
生命環境系	23	22,635,595	26	37,477,183	0	0	49	60,112,778
人間系	4	23,900,000	6	6,130,000	0	0	10	30,030,000
体育系	18	16,230,000	8	14,900,000	0	0	26	31,130,000
芸術系	5	3,200,000	2	1,340,000	0	0	7	4,540,000
医学医療系	415	305,103,229	102	160,273,200	0	0	517	465,376,429
図書館情報メディア系	5	2,845,923	1	1,000,000	0	0	6	3,845,923
国際統合睡眠医科学研究機構	2	1,000,000	16	22,150,000	1	18,000,000	19	41,150,000
計算科学研究センター	2	11,321,920	0	0	0	0	2	11,321,920
生命領域学際研究センター	2	3,100,000	17	31,000,000	0	0	19	34,100,000
プラズマ研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0
人工知能科学研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0
下田臨海実験センター	0	0	0	0	0	0	0	0
アイトープ環境動態研究センター	1	655,200	0	0	0	0	1	655,200
北アフリカ研究センター	3	8,777,655	0	0	0	0	3	8,777,655
つくば機能植物イノベーション研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0
サイバニクス研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0
藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0
プレゼンテーション・メディア開発研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0
未来社会工学開発研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツイノベーション開発研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルスサーチ・リサーチ開発研究センター	0	0	1	9,800,000	0	0	1	9,800,000
高細精医療イノベーション研究コア	3	2,907,800	4	2,400,000	0	0	7	5,307,800
研究基盤総合センター	0	0	0	0	0	0	0	0
つくば臨床医学研究開発機構	0	0	0	0	0	0	0	0
グローバルコミュニケーション教育センター	0	0	0	0	0	0	0	0
学術情報メディアセンター	0	0	0	0	0	0	0	0
附属病院	18	13,093,182	7	4,348,377	4	119,870,000	29	137,311,559
附属学校	1	300,000	2	799,093	0	0	3	1,099,093
計	576	500,686,257	245	355,163,540	5	137,870,000	826	993,719,797

定義

1. 寄附金(学術研究関係)……国立大学法人筑波大学寄附金等取扱規程第2条第1項
2. 研究助成金……国立大学法人筑波大学寄附金等取扱規程第2条第2項
3. 寄附研究部門……国立大学法人筑波大学寄附講座及び寄附研究部門取扱規程第2条第2項

## イ 受託研究費

(金額：円)

部 局 名	受託研究費		医薬品等受託研究費		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
人文社会系	2	9,247,280	0	0	2	9,247,280
ビジネスサイエンス系	4	6,825,500	0	0	4	6,825,500
数理物質系	34	423,086,906	0	0	34	423,086,906
システム情報系	45	465,863,064	0	0	45	465,863,064
生命環境系	52	892,152,031	0	0	52	892,152,031
人間系	10	24,816,391	0	0	10	24,816,391
体育系	15	189,064,723	0	0	15	189,064,723
芸術系	1	1,722,500	0	0	1	1,722,500
医学医療系	57	352,915,926	0	0	57	352,915,926
図書館情報メディア系	5	75,228,719	0	0	5	75,228,719
計算科学研究センター	22	624,759,218	0	0	22	624,759,218
生命領域学際研究センター	2	5,650,000	0	0	2	5,650,000
国際産学連携本部	1	42,500,000	0	0	1	42,500,000
アイソトープ環境動態研究センター	3	45,046,640	0	0	3	45,046,640
サイバニクス研究センター	1	130,000,000	0	0	1	130,000,000
国際統合睡眠医科学研究機構	11	161,284,819	0	0	11	161,284,819
つくば機能植物イノベーション研究センター	1	12,130,000	0	0	1	12,130,000
北アフリカ研究センター	1	26,939,900	0	0	1	26,939,900
藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター	4	155,422,600	0	0	4	155,422,600
附属病院（つくば臨床医学研究開発機構）	129	615,970,962	291	57,026,847	420	672,997,809
合 計	400	4,260,627,179	291	57,026,847	691	4,317,654,026

※医薬品等受託研究費は、産学連携等実施状況調査における治験等受入実績の件数、金額である。

## 〔過去5年間の推移〕

(金額：千円)

		25	26	27	28	29
受託研究費	件数	260	305	322	357	400
	金額	3,513,898	3,818,136	4,928,020	4,940,870	4,260,627
医薬品等受託研究費	件数	2,063	1,832	288	314	291
	金額	177,583	179,309	129,271	182,124	57,027
合 計	件数	2,323	2,137	610	671	691
	金額	3,691,481	3,997,445	5,057,291	5,122,994	4,317,654

※医薬品等受託研究費は、産学連携等実施状況調査における治験等受入実績の件数、金額である。

ウ 民間等との共同研究費

(金額：円)

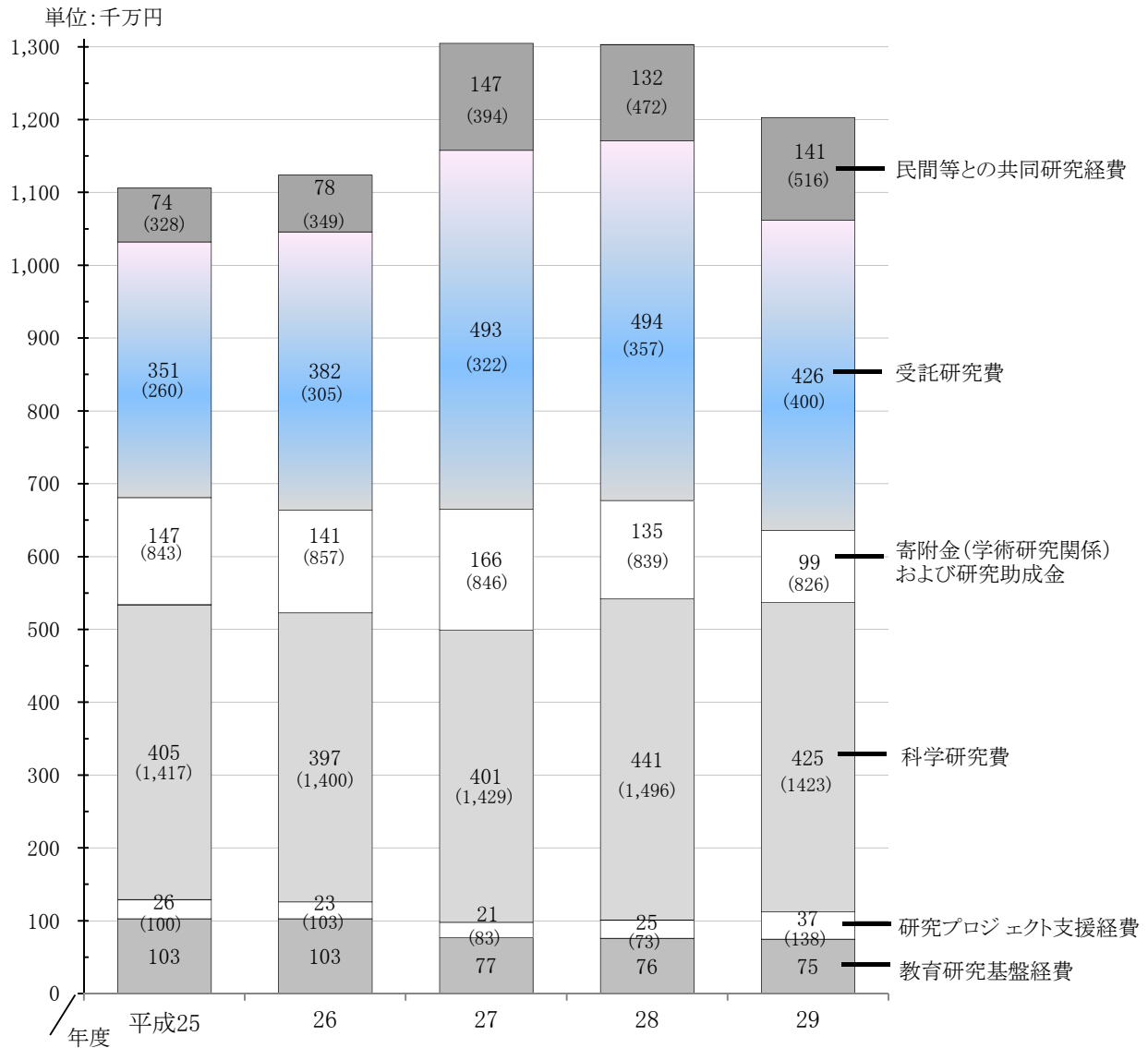
部 局 名	件 数	研究員 受入数	金 額
人文社会系	0	0	0
ビジネスサイエンス系	3	0	5,540,000
数理物質系	69	6	80,210,370
システム情報系	95	6	243,000,682
生命環境系	71	14	209,423,830
人間系	11	0	5,890,000
体育系	51	1	63,233,502
芸術系	13	3	19,377,791
医学医療系	67	6	149,327,631
図書館情報メディア系	13	0	46,515,199
計算科学研究センター	11	1	22,828,072
プラズマ研究センター	32	0	156,414,000
生命領域学際研究センター	5	0	12,120,000
国際産学連携本部	17	5	175,508,000
学術情報メディアセンター	4	2	1,513,000
サイバニクス研究センター	1	0	4,400,000
国際統合睡眠医科学研究機構	14	5	37,319,940
附属病院（つくば臨床医学研究開発機構）	31	0	153,551,988
陽子線研究センター	1	0	0
藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター	3	0	6,069,200
アイソトープ環境動態研究センター	1	0	0
北アフリカ研究センター	1	0	3,604,700
スポーツイノベーション開発研究センター	1	0	15,000,000
附属学校	1	0	0
計	516	49	1,410,847,905

〔過去5年間の推移〕

(金額：千円)

項	年度	25	26	27	28	29
件 数		328	349	394	472	516
金 額		747,418	778,249	1,466,370	1,318,676	1,410,848

(6) 各種研究費年度別取得状況



\* ( )内数字は件数を示す。

各種経費とその割合

(単位: 千万円)

区分	教育研究基盤経費	研究プロジェクト支援経費	科学研究費	学外からの研究費(外部資金)				合計
				計	寄附金(学術研究関係)および研究助成金	受託研究	民間等との共同研究	
平成25年度	103 (9.3)	26 (2.4)	405 (36.6)	572 (51.7)	147	351	74	1,106
平成26年度	103 (9.2)	23 (2.0)	397 (35.3)	601 (53.5)	141	382	78	1,124
平成27年度	77 (5.9)	21 (1.6)	401 (30.7)	806 (61.8)	166	493	147	1,305
平成28年度	76 (5.8)	25 (1.9)	441 (33.8)	761 (58.4)	135	494	132	1,303
平成29年度	75 (6.2)	37 (3.1)	425 (35.3)	666 (55.4)	99	426	141	1,203

( )内は研究費の合計に占める割合を示す。

## (7) 日本学術振興会特別研究員採用状況

区 分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	申請	採用	申請	採用	申請	採用	申請	採用	申請	採用
S P D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
P D	55	9	62	8	51	6	61	6	30	4
D C	317	70	337	62	328	68	320	55	277	62
計	372	79	399	70	379	74	381	61	307	66

区 分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	申請	採用	申請	採用	申請	採用	申請	採用	申請	採用
R P D	5	1	7	0	6	2	7	3	13	0

## (8) 工業所有権等（平成30年3月31日現在）

## ア 発明等の届け出状況

年度	発明等の届け出数	発明者に権利帰属	法人(国)に権利帰属数
14	73	65	8
15	114	110	4
16	112	48	64
17	122	26	96
18	132	63	69
19	179	77	102
20	163	43	120
21	129	34	95
22	100	21	79
23	127	18	109
24	136	15	121
25	121	13	108
26	142	28	114
27	102	20	82
28	132	6	115
29	125	12	113

## イ 現有特許件数

	国内特許件数	外国特許件数	合計
登録済	449	275	724
申請中	340	185	525



## 4 学内共同教育研究施設等関係

### (1) 学内共同教育研究施設等勤務教職員数

[全国共同教育研究施設]

(平成30年3月1日現在)

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	教員計	研究員等	技術職員	事務職員	医療職員	合計
計算科学研究センター	14	9	3	11			37	25	5	8		75
下田臨海実験センター	2	2		6			10	1	6	1		18
つくば機能植物イノベーション研究センター	12	8	1	10			31	3	15	4		53
プラズマ研究センター	1	4	3	1			9		4	1		14
合計	29	23	7	28	0	0	87	29	30	14		160

[学内共同教育研究施設]

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	教員計	研究員等	技術職員	事務職員	医療職員	合計
生命領域学際研究センター	5		4	7			16	3	2	5		26
グローバルコミュニケーション教育センター	12	19		12			43	2	1	5		51
体育センター	8	9	1	6		5	29			3		32
アドミッションセンター	3	1					4			2		6
北アフリカ研究センター	2	2		2			6	2		2		10
学術情報メディアセンター	2	8	1	1			12		10	6		28
サイバニクス研究センター	2	3					5	1		5		11
研究基盤総合センター	1	4	1	1			7		9	5		40
アイソトープ環境動態研究センター	3	3	1	2		1	10	3	6			
人工知能科学センター											1	1
保健管理センター	2	2	3	4			11			1	7	19
合計	40	51	11	35	0	6	143	11	28	35	7	224

[部局附属教育研究施設]

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	教員計	研究員等	技術職員	事務職員	医療職員	合計
大学研究センター		3	1				4			1		5
宇宙史研究センター	3	3					6					6
エネルギー物質科学研究センター	7						7			1		8
山岳科学センター	2	4		6		1	13		10	1		24
教育開発国際協力研究センター	1	1					2		1			3
ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター							0					0
生命科学動物資源センター	2	1		3			6		14	2		22
トランスボーダー医学研究センター							0					0
知的コミュニティ基盤研究センター	4	4					8			1		9
陽子線医学利用研究センター	4	3	2	1	1		11		1	2		14
つくばスポーツ医学・健康科学センター							0					0
特別支援教育研究センター	2	1					3					3
合計	25	20	3	10	1	1	60	0	26	8		94

[事業費により措置する教育研究組織]

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	教員計	研究員等	技術職員	事務職員	医療職員	合計
高細精医療イノベーション研究コア							0	5				5
つくば臨床医学研究開発機構	5	2		1			8		9	10	4	31
薬類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター							0	6	4	2		12
プレジジョン・メディシン開発研究センター							0			1		1
未来社会工学開発研究センター							0			2		2
スポーツイノベーション開発研究センター							0			1		1
ヘルスサービス開発研究センター							0					0
合計	5	2	0	1	0	0	8	11	13	16	4	52

[医療科教員養成施設]

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	教員計	研究員等	技術職員	事務職員	医療職員	合計
医療科教員養成施設	1	1	2				4		2	2		8

## (2) 学内共同教育研究施設等利用概況

施設名	利用状況	業績等
計算科学研究センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共同利用・共同研究者の受入れ状況：531人 (内訳：大学412・研究機関68・民間機関9・外国機関35・その他7)</li> <li>・ 59研究施設 (内訳：大学27・研究機関6・民間機関4・外国機関18・その他4)</li> <li>・ 見学者数：1,578人</li> </ul>	論文数：277件 (内、国際学術誌掲載263件) 受賞総数：9件 研究会・シンポジウム等開催18件 (参加者総数765人)
下田臨海実験センター	教育・研究等でセンターを利用する学内・学外の利用者は、延べ7,256人となっており、共同利用・共同研究の利用については延べ5,464人(うち国際共同研究など海外から233人)となっている。特に、海洋酸性化の研究を進めるため式根島ステーションを開設して、年間延べ432人の利用者を受け入れた。 授業臨海実習として、13件の臨海実習を行い、延べ1,331人の実習生を受け入れている。また、全国の高校生を対象として、公開講座を行い、29人の高校生を受け入れた。 宿泊施設の利用状況について年間の宿泊者は、延べ6,516人の利用があった。	論文数：32件 国際生物学賞記念シンポジウム開催 (参加者；193名)
つくば機能植物イノベーション研究センター	(遺伝子実験センター) 共同利用者：328名(占有194、機器134) 一般見学者：638名  (次世代農業研究部門) 学生の実験、実習、大学院生・教職員の研究：29,927名 視察、見学、外国人訪問、公開講座等：699名	発表論文数：51報
ブラズマ研究センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員：11名</li> <li>・ PD：3名</li> <li>・ 大学院生：22名</li> <li>・ 学類生：12名</li> <li>・ 見学者：46件、1,500名</li> <li>・ 双方向型共同研究(筑波大学受入分)の実施：31件</li> <li>・ 自然科学研究機構核融合科学研究所との共同研究：1件</li> </ul>	論文：17編 国際会議(ブローディングス、アブストラクト、講演)：43件 解説・紀要等：6件 国内学会・国内会議・研究会等：72件 受賞：4件
生命領域学際研究センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TARAプロジェクトの実施：7件</li> <li>・ 見学：延べ1,500名</li> </ul>	TARAセミナー：14回
グローバルコミュニケーション教育センター	(外国語教育部門) 共通科目外国語授業：797科目 メディアライブラリー利用者：1,300名  (日本語教育部門) 合計科目数=267科目 ○集中日本語コース 科目数=2科目、学生数=14名 ○日韓共同理工系学部留学生日本語コース 科目数=1科目、学生数=7名 ○補講日本語コース 科目数=145科目、受講者数=2,270名 ○総合日本語コース 科目数=72科目、受講者数=1,017名 ○日本語(外国語科目) 科目数=10科目、受講者数=91名 ○学群英語コース ・ 外国語(日本語) 科目数=9科目、受講者数=186名 ・ 総合科目II 科目数=9科目、受講者数=309名 ○Japan-Expert日本語(※秋学期のみ開講) 科目数=18科目、学生数=8名	公開講演会・シンポジウム：4回 FD研修会：4回
体育センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋外体育施設(陸上競技場他)：約486,358人</li> <li>・ 屋内体育施設(中央体育館他)：約726,808人</li> </ul>	FD研修会：4回
アドミッションセンター	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. アドミッションセンター入試の実施</li> <li>2. 国際科学オリンピック特別入試の実施</li> <li>3. 国際バカロレア特別入試の実施</li> <li>4. 海外教育プログラム特別入試の実施</li> <li>5. 「筑波大学入学案内2018」の発行及び配布(70,000部)</li> <li>6. 「AC入試・特別入試GUIDE BOOK 2019リーフレット」の発行及び配布(10,000部)</li> <li>7. 進学相談の実施(60件)</li> <li>8. 大学見学(広報室所掌)団体対応(17回)</li> <li>9. 東京キャンパス「進学相談」の実施(15回、63件)</li> <li>10. 東京キャンパス「春の進学説明会」の実施(3日間のべ2,837人)</li> <li>11. 受験生等対象大学説明会・進学説明会への参加(122回)</li> <li>12. 「受験生のための筑波大学説明会」における進学相談(271件)及び概要説明(1,200人)の実施</li> <li>13. 全学入試関係参考資料(「帰国生徒特別入試選考のための参考資料」「推薦入試選考のための参考資料」)の作成及び提供</li> <li>14. 全学入試関係情報の提供(Webサイト「アドミッションセンター」及び携帯サイト等)</li> <li>15. 各教育組織パンフレットの高校宛て一括発送(1回、1,524校)</li> </ol>	大学入学者選抜改革推進委託事業「高大での教育改革を目指した理数分野における入学者選抜改革」の実施

施設名	利用状況	業績等
北アフリカ研究センター	<p>○視察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モロッコ大使館 大使・参事官一行：3名</li> <li>モロッコ大使館 文化担当参事官：1名</li> </ul> <p>○研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SATREPSプログラムJICA長期研修員：3名</li> <li>SATREPSプログラムJICA短期研修員：10名</li> <li>平成29年度JICA集団研修：9名</li> </ul>	<p>論文：84編 学会発表：国内36件、国際34件 著書：2冊 定期セミナー：5回 JST-JICA地球規模課題対応国際科学技術協力事業 EUへのモンペリエ大学とErasmus Mundusプログラムを共同実施 TJASST2017シンポジウム開催</p>
学術情報メディアセンター	<p>○計算機システム関係</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全学計算機システムの利用者登録数：20,398件</li> <li>2. レンタルサーバ設置件数：96件</li> <li>3. ウェブホスティング件数：27件</li> <li>4. サーバハウジング件数：4件</li> <li>5. 統一認証システム登録者数：34,106件</li> <li>6. グループウェアシステム登録者数：3,445件</li> </ol> <p>○ネットワーク関係</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. DNSに登録されているドメイン数：223件</li> <li>2. DNSに登録されているメールサーバ数：609件</li> <li>3. 無線LANアクセスポイントへの利用者登録数(学内)：21件 無線LANアクセスポイントへの利用者登録数(学外)：2,654件</li> </ol> <p>○e-ラーニング関係</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習管理システム(manaba)有効利用者数：38,656件</li> <li>2. 学習管理システム(manaba)の有効コース数：13,368件</li> <li>3. 遠隔講義・自動収録システムの利用科目数：118件</li> <li>4. 遠隔講義・自動収録システムの動画登録数：961件</li> <li>5. オープンコースウェア(OCW)の登録コース数(公開分)：84件</li> </ol> <p>○メディア機器関係</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. AV利用件数：129件</li> <li>2. ビデオ配信件数：1件</li> <li>3. ビデオ制作：31件</li> <li>4. ライブ中継件数：2件</li> <li>5. ポスター看板製作件数：202件</li> </ol>	<p>論文・国際会議論文：19編 口頭発表：14件 訳書：0編</p>
研究基盤総合センター	<p>(応用加速器部門)</p> <p>応用加速器部門 2017年度利用登録者数 計116名 (教職員34名、学生66名、学外16名)</p> <p>2017年度 加速器施設利用統計 施設総利用時間：5,112時間(213日) 共用事業 産学連携・学外研究利用：10課題</p> <p>1MVタンデム加速器利用実績 加速器運転時間：628時間 ビーム利用時間：301時間 実験利用者総数：244名</p> <p>6MVタンデム加速器利用実績 加速器運転時間：1,857時間 ビーム利用時間：1,501時間 実験実施課題数：90件 実験利用者総数：636名</p> <p>施設見学者数：449名(内 中学・高校生：256名) 高校生 体験実習 2件</p>	<p>研究業績 発表論文：44編 書籍・解説等：3編 国際学会招待講演：11件 国際学会発表：29件 国内学会招待講演：6件 国内学会発表：64件</p> <p>研究教育利用 博士論文：2編 修士論文：4編 卒業論文：3編</p> <p>セミナー開催：11件 産業フェア等出展：2件</p>
	<p>(低温部門)</p> <p>液体ヘリウム供給：599件、44,659リットル 液体窒素供給：3,780件、173,103リットル 低温容器貸出：57件 大型装置共同利用：12件 低温寒剤利用説明会受講者数：531名 (教職員56名、学生475名) 液体ヘリウム利用説明会受講者：25名 (教職員4名、学生21名) 見学者：67名</p>	<p>発表論文：16編 口頭発表：31件</p>
	<p>(分析部門)</p> <p>委託分析：学内 5機種、100件/44時間/840検体 学外 10機種、17件/77.5時間/59検体数 共同利用：学内 22機種、延4,351名、10,258時間 学外 22機種、延 61名、 316時間 利用部局：6学系</p>	<p>論文：62編</p>
	<p>(工作部門)</p> <p>機械工作関係：202件、延2385.5時間 ガラス工作関係：233件、延746.5時間 共同利用：152件 361時間 部門主催講習会受講者：機械11名、ガラス3名 授業支援：大学院共通科目(全学対象)65名 学類授業支援(化学対象)60名 見学者：67名</p>	

施設名	利用状況	業績等
サイバニクス研究センター	教員3名、大学院生41名、学群生9名、研究員等13名 視察等： 世界経済フォーラム一行 5名 ベルギー サン・イグナチオ・デ・ロヨラ大学 10名 台湾医療研修団 18名 マレーシア科学技術イノベーション省 (MoSTI) 大臣 8名 岡山県立岡山朝日高校 文部科学省学術機関課一行 4名 文部科学省科学技術・学術政策局一行 4名 文部科学省新規採用職員一行 35名 放射線医学オープンスクール 46名 取材： NHKBS 取材「偉人たちの健康診断」 その他： サイバニクス研究室見学会 サイバニクスインタフェース デバイスの研究開発・実験	
アイソトープ環境動態研究センター	放射線安全管理部 (アイソトープ基盤研究部門) 放射線業務従事者登録数：270名 (内研究利用者数：60名、管理区域入退システム入室者数：延べ3,895名) A型エックス線装置使用者個人管理：10名 学類・大学院授業：397名 放射線管理教育 ・新規講習会参加者：181名 ・更新講習会参加者：217名 ・X線講習会参加者：79名 ・新規利用者ガイダンス：19名 教員免許更新講習：19名 その他の講義室利用 (セミナー、ゼミ、会議他)：486名 授業・講習会を除く管理区域一時立入者：347名 2017日本放射化学会年会・第61回放射化学討論会をKEK放射線科学センターと共に開催した。国内から200名の研究者が集まり放射化学に関する研究成果の発表および交流をはかった。 (放射性物質環境移行部門) 日本科学未来館 (東京都江東区) にて、3月10日、シンポジウム「Lesson #3. 11プロジェクト・原発事故から7年。放射能汚染の状況はどこまで回復したか。」を開催。223名の一般参加を集める。 (環境動態予測部門) 教育関係：延べ894名 研究関係：延べ360名 機器・データ利用：2名	論文：(国内 1編、国外18編) 合計19編 学会発表：(国際会議16件、国内学会15件、研究会等6件) 合計37件 セミナー主催回数：11回 論文：(国内2編、国外13編) 合計15編 学会発表：(国内 8件、国外 11件) 合計19件 セミナー主催回数：4回 (70名) 論文：(国内6編、国外26編) 合計32編 学会発表：(国内5件、国外7件) 合計12件
人工知能科学センター	なし	①国立研究開発法人理化学研究所革新知能統合研究センターと人工知能・機械学習に関する連携推進に係る協定書を平成29年4月に締結した。 ②C-AIRワークショップを平成30年2月22日に開催し、センターにおいて共同研究を実施する民間企業等を含む10の事例紹介を行った。 ③平成29年11月7日に筑波大学においてIBM東京基礎研究所の研究者が研究紹介をする交流ワークショップを開催した。また、平成29年12月5日には、IBM東京基礎研究所において筑波大学人工知能科学センターの研究者が研究紹介を行う交流ワークショップを開催した。 ④海外大学との研究交流を推進するため、平成29年11月13日から16日にかけてジョンズホプキンス大学等の米国の5大学を訪問し、双方の研究についての情報交換を行った。また、平成29年11月16日にはデラウェア大学において共同でワークショップを開催した。 ⑤データサイエンス人材育成に貢献するため、エクステンションプログラム「ゼロから始めるデータ分析実践講座」を2018年3月3日～4日に開催し、39名の参加者があった。 ⑥平成30年3月19日～20日に、筑波大学東京キャンパスにおいて日米デジタルイノベーションハブワークショップを共催した。また、平成30年3月21日には筑波大学が主催し、産総研人工知能センターと協力してサテライトワークショップを開催した。

施設名	利用状況	業績等
大学研究センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>○履修証明プログラム「大学マネジメント人材養成」(受講生延べ24名)</li> <li>・大学マネジメントセミナー：全3回・6時間     〃 (TV配信)：筑波大学つくばキャンパス(参加者延べ277名)</li> <li>・大学マネジメント講義：全24科目・150時間</li> <li>・大学マネジメント研究Ⅰ：12.5時間</li> <li>・大学マネジメント研究Ⅱ：12.5時間</li> <li>・大学マネジメントフィールド調査：4時間</li> <li>○来訪者</li> <li>・29.5.24 中国大学IR学会代表团(中国)9名</li> <li>・29.6.21 タイ高等教育機関関係者一行(タイ)50名</li> <li>・29.7.6 台湾大学評価協会 大学ガバナンス・経営視察団(台湾)14名</li> <li>・29.9.26 中国政府教育部 国家教育発展研究センター調査団(中国)7名</li> </ul>	論文：12編 著書：3件 報告書：1件 学会発表・講演：5件
宇宙史研究センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロスアポイントメント教員：7名</li> <li>・連携教員：学外11名、学内7名</li> <li>・海外教育研究ユニット招致(ソウル大、ユトレヒト大)：PI教授3名、副PI助教1名</li> <li>・Kick-off symposium of Quark Gluon Plasma Research Unit(参加者数：22名)</li> <li>・Inaugural Symposium of the Tomonaga Center for the History of the Universe(参加者数：述べ102名)</li> <li>・筑波大学学園祭展示、科学技術週間展示</li> </ul>	2017年度業績(9月以前の数理物質融合科学センター宇宙史国際研究拠点時代を含む)： <ul style="list-style-type: none"> <li>論文、査読付き国際会議プロシーディングス：225件</li> <li>国際会議発表：92件</li> <li>国内会議・学会発表：120件</li> </ul>
エネルギー物質科学研究センター(旧：学際物質科学研究センター)	学際物質科学研究センター(平成29年9月以前) <ul style="list-style-type: none"> <li>・第17回機能性分子シンポジウム(大饗シンポジウム)</li> <li>・超分子化学講演会(TIM講演会)“Systems Chemistry: From Logic Gates based on Supramolecular Gels to Supramolecular Polymer Transporters”</li> <li>・超分子化学講演会(TIM講演会)New methodologies to postfunctionalize BODIPY dyes</li> <li>・TIA連携大学院サマーオープンフェスティバル2017 第5回TIAナノグリーン・サマースクール</li> </ul> エネルギー物質科学研究センター(平成29年10月以降) <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー物質科学研究センタースタートアップミーティング</li> <li>・2018 Joint Symposium on Energy Materials Science and Technology(Workshop of Pre-Strategic Initiatives)</li> <li>・超分子化学講演会「π電子系有機ラジカル種に関する最近の研究 電子系有機ラジカル種に関する最近の研究」</li> <li>・物理工学域専攻セミナー「半導体と加速器科学」</li> </ul>	学際物質科学研究センター(平成29年9月以前) <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジウム開催(1回)</li> <li>・講演会・セミナー開催(3回)</li> <li>・論文53件</li> <li>・学会発表(国際会議58件、国内会議106件)</li> </ul> エネルギー物質科学研究センター(平成29年10月以降) <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジウム開催(2回)</li> <li>・講演会・セミナー開催(2回)</li> <li>・論文137件</li> <li>・学会発表(国際会議205件、国内会議226件)</li> </ul>
山岳科学センター	学生の実験・実習、大学院生、教職員の研究、公開講座等、視察・見学等、セミナー及び研究集会、その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・苗畑地区：1,432名</li> <li>・菅平高原実験所：7,051名</li> <li>・八ヶ岳演習林：1,413名</li> <li>・井川演習林：427名</li> </ul>	苗畑地区：論文1編 菅平高原実験所：研究論文数 32編 八ヶ岳演習林： <a href="http://www.msc.tsukuba.ac.jp/ens/res-1st_2017.html">http://www.msc.tsukuba.ac.jp/ens/res-1st_2017.html</a>
教育開発国際協力研究センター	以下の国際会議を実施し、海外からの代表团等を受け入れた。(参加者数) <ul style="list-style-type: none"> <li>筑波大学アジア太平洋経済協力UNESCO-MGIEP国際会議実施(157名；内外国人132名)</li> <li>筑波大学東南アジア教育大臣機構シンポジウム実施(53名；内外国人35名)</li> <li>東南アジア教育大臣機構所長および文部科学省職員訪問受入(3名)</li> <li>タイ・コンケン大学 短期奨学生受入(18名)</li> <li>タイ・カセサート大学附属高校生訪問受入(26名)</li> <li>タイ・コンケン大学アジア太平洋経済協力国際会議(441名、共催)</li> <li>タイ・高等教育機関執行部・学長級関係者訪問受入(50名)</li> <li>タイ・コンケン大学附属高校生訪問受入(30名)</li> </ul> また外国人研究員として6名を受け入れた。	国連向け日本政府首相官邸広報誌(We are Tomodachi, Autumn 2017)に当センター長による日本型教育海外展開として掲載された。
ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター	H27年7月に新設。毎年100名超規模の国際フォーラムを含むサイエンスウィークを開催(H29年度参加者延べ331人)。その他、研究会・セミナー等を11件開催(H29年度参加者延べ275人)。H29年度共同利用・共同研究課題の公募を行い、学内外併せて27件を採択・実施した。	論文数：145件 (内国際学術誌：116件、Top10%論文：9件) プレスリリース：8件 研究発表数：300件 (内国際会議での発表：100件) 受賞数：12件
生命科学動物資源センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物実験計画：399件、利用者登録数：732名</li> <li>・利用者数：延べ78,284名(214名/日平均)</li> <li>・動物導入数：6種、58,041匹</li> <li>・飼育動物数：59,123匹/日平均</li> <li>・講習会の受講者数：185名、見学者：64名</li> </ul>	遺伝子改変マウス作製事業 TG:92件、VC:32件、CH:3件、ES:1件

施設名	利用状況	業績等
トランスオーダー医学研究センター	4月1日に正式発足し、活動を開始した。6月17日にキックオフ国際シンポジウムをつくば国際会議場で開催し、海外参加者を含め160名以上の参加があった。センター予算を用いてフラックスアナライザーを導入した。遺伝子解析の共同研究を促進するNGS meetingを14回開催し、受託解析を1,031検体について行なった。統合予定の生命科学動物資源センターでは128件の遺伝子改変マウス等の受託作製を実施した。	Science, Nature Medicine, Gastroenterology, Moll Cell, Nature Communication, PNASを含む83編の英文論文を発表した。基盤研究(S)、AMED研究、JAXA重点研究を推進した。
知的コミュニティ基盤研究センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ「超高齢社会と図書館研究会」(全4回)</li> <li>・研究談話会(全2回:延べ参加者27名)</li> <li>・シンポジウム「大学におけるオープンサイエンス」(参加者53名)</li> <li>・知的コミュニティ基盤研究センター成果報告会及びシンポジウム「映像コンテンツの国際展開と情報基盤の構築」(参加者34名)</li> <li>・展示「筑波山と文学—和歌・連歌など—」</li> </ul>	論文:45件 学会発表:13件 著書:6件 受賞:4件
陽子線医学利用研究センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陽子線治療患者数:280名(先進医療211名、臨床研究3名、保険診療52名、自由診療9名、外国人5名)(昨年度298名)</li> <li>・治療予定日実施率:224日/224日(100%)</li> <li>・学内見学者数106名</li> <li>・学外視察・見学者数636名(うち国外10か国から156名)</li> </ul>	論文:57編 著書:11件 学会発表:72件 講演:34件 公開セミナー3回(参加人数478名)
つくばスポーツ医学・健康科学センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アスレティックリハビリ患者数:(延べ)2,452人</li> <li>・スポーツ外傷の入院手術治療患者数:(実)45人</li> <li>・鍼治療:36回</li> <li>・マークシート運動器健診実施数(つくば市):19,861人</li> <li>・茨城県甲子園出場投手メディカルチェック:4人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高原 亮 2017臨床スポーツ医学会発表「つくばスポーツ医学・健康科学センターにおける取り組み:第一報」</li> <li>・森 利雄 2017筑波スポーツ医学セミナー講演「ドクターと連携したアスレティックトレーナーとしての活動」</li> </ul>
特別支援教育研究センター	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 免許法認定公開講座「特別支援教育の基礎理論」「視覚障害教育の理解」「聴覚障害教育の理解」「知的障害の理解」「肢体不自由の理解」「視覚障害教育の指導法」「聴覚障害教育の指導法」「知的障害の指導法」「肢体不自由の指導法」「障害児の心理・生理・病理・教育課程・指導法論」の全10講座、受講者数のべ459名、のべ単位取得者数449名</li> <li>2. 平成29年度筑波大学特別支援教育研究センター主催セミナー「シリーズ特別支援教育の伸展(8)—指導法の豊かさを願って:先輩からのエールII—」:参加者54名</li> <li>3. 平成29年度筑波大学特別支援教育研究センター主催セミナー「特別支援教育の今後を語る」:参加者79名</li> <li>4. JICA筑波委託事業 課題別研修「障がいのある子どものための授業づくり」 研修コースの企画・運営および研修員の受入れ(アフガニスタン1名、フィジー1名、ケニア2名、レソト1名、モンゴル1名、ミャンマー1名、パラオ1名、サモア1名、ソロモン2名、ベトナム1名:計12名の研修員) / 受託期間 平成29年10月2日～平成30年3月9日</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現職教員研修事業(研修期間1年):北海道1名、静岡県1名 計2名</li> <li>・免許法認定公開講座開講</li> <li>・主催セミナー開講(2回)</li> <li>・「筑波大学特別支援教育研究 第12巻」発刊</li> <li>・「教材・指導法データベース(日本語版/英語版)」(教材数355)</li> </ul>
つくば臨床医学研究開発機構	<p>○講演会等 知財セミナー「医療分野の知的財産」・・・76名 臨床研究法に関する説明会・・・202名</p> <p>○教育・研修 倫理等教育レベル1・・・新規:243名(のべ:3コマ),更新:284名 他e-learning受講者有 倫理等教育レベル2・・・437名(のべ:8コマ) 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス講座・・・574名(のべ:9回) グローバル医薬品・医療機器開発マネジメント講座・・・23名</p> <p>○臨床試験・治験支援 臨床研究倫理審査新規件数・・・318件 臨床研究のプロジェクト支援・・・28プロジェクト 医師主導の治験プロジェクト支援・・・4プロジェクト 治験審査件数・・・112件 治験実施支援(CRC支援等)・・・112件</p> <p>○プロトコル相談・・・26件 ○シーズ・知財相談・・・75件 ○監査業務(医師主導治験監査業務)・・・2件</p> <p>○センター利用 未来医工融合研究センター支援プロジェクト・・・6件 C P F利用プロジェクト・・・2件</p> <p>○来訪 未来医工融合研究センター・・・13件 文部科学省、ノルウェー科学技術大学、台湾医科大学 他</p>	

施設名	利用状況	業績等
藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター	<p>筑波大学が創始した、アジア・オセアニア藻類イノベーションサミット (Asia-Oceania Algae Innovation Summit) を平成28年9月に中国武漢で開催した。30ヶ国から550名の研究者が参加し、アジア・オセアニア地区を中心とした藻類研究者のネットワーク体制の強化に貢献しており、次回は2018年11月にインドのハイデラバードで開催される。</p> <p>本センターの設立趣旨から、外部資金の獲得による研究開発を強力に推進した。2016年度より継続している経産省資源エネルギー庁「微細藻類を活用したバイオ燃料生産のための実証事業」に藻類産業創成コンソーシアムのメンバー企業9社とともに取り組み、福島復興と藻類燃料実用化にむけて大きく前進する成果を得て、当センターからは国際誌に多くの論文が発表され、高い評価を受けている。また、環境省における二酸化炭素削減に関する大型プロジェクトを獲得、本年度から新たに筑波大学、藻バイオテクノロジー株式会社、日本電気株式会社、三菱マテリアル株式会社により、2017年10月1日より開始された。その成果の一部を、アメリカ合衆国フロリダ州タンパで開催された第10回二酸化炭素利用に関する頂上会議 (Carbon Dioxide Utilization Summit, 2018年2月20-3月1日) で発表し、この取り組みの先進性を示した。</p> <p>また、地域貢献の一環として、国際戦略総合特区として指定を受けている栗原地区の藻類バイオマス・エネルギー大規模実証施設の一般公開を、2017年7月と11月に実施し、多くの参加者があった。昨年度に引き続き、茨城県立土浦第一高等学校のスーパーグローバルハイスクール事業、米軍子弟高大連携プロジェクト事業、複数のSSH・SGH校への協力等も行った。国際共同事業としてはドイツブラウンフォーファー研究機関、インドネシアにおけるパームに関する環境問題の解決プロジェクトなど、多岐にわたった開発研究を実施した。</p> <p>当該センターと㈱デンソーとの共同研究成果をもとに製造された製品である㈱デンソーの「Moina」はリピーターが多く、順調に販売が継続され、アマゾンでも取り扱われるようになった。さらに紫外線カットハンドクリーム「Moina UV」も新たに製造・販売され、好評を得ている。</p>	<p>見学受入件数：11件 論文発表数：14件 (国内1件、海外13件) 学会発表：43件 (国内29件、海外14件) 特許申請数：2件 (国内2件) 開発製品数：2件 (デンソーにより製造・販売) 藻類バイオマス研究試料の利用数：12件 (国内7件、海外5件)</p>
プレジジョン・メディシン開発研究センター	<p>平成28年度第2次補正予算 (国立大学法人先端研究等施設整備費補助金) (1000ドルシーケンス拠点のための設備整備) 【文科省】で獲得した次世代シーケンサーを用いた我が国初の1000ドルゲノム開発研究を目指したオミックス解析拠点をセットアップ完了し、平成29年1月に新設。国内の複数の上場企業と連携を図り、最先端のゲノム解析システムや質量分析システムを用いて科学的証拠に基づいたがんや様々な病気の診断システムを開発に着手した。</p>	<p>筑波大発ベンチャー企業(株) iLACとの特別共同研究事業開始(平成29年4月1日～) 産業界との共同研究事業プロジェクト：計5件</p>
ヘルスサービス開発研究センター	<p>○国際学会 The 5th International Conference on Global Aging 9/27 50名参加</p> <p>○公開研究会 第20回HSR研究会 8/25 22名参加 第21回HSR研究会 10/27 17名参加 第22回HSR研究会 12/22 23名参加 第23回HSR研究会 2/23 18名参加</p> <p>○公開講演会 2回開催 (1/5、1/18) 各25名参加</p> <p>○データ分析利用者 (延べ) 学内：226名 (非常勤・客員含む) 学外：23名</p>	<p>○研究業績 論文数 : 25 (原著論文：17 総説その他：8) 著書 : 1 会議、講演数 : 4 国内学会 件数 : 18 国際学会 件数 : 14</p>
国際統合睡眠医科学研究機構	<p>WPI-IIIISセミナー開催：20回 中高生向けレクチャー・ラボツアー：15回</p>	<p>研究論文数：157報</p>

施設名	利用状況	業績等
理療科教員養成施設	<p>○理療臨床部 利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療日数：170日</li> <li>・患者数：4,237名（初見患者：166名、再来患者：4,071名）</li> </ul> <p>○講習会、講座等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・免許法認定公開講座 特別支援学校（視覚）理療科教員免許法認定講習 臨床医学総論および臨床医学各論 受講者：19名</li> <li>・公開講座 「東洋医学でリフレッシュ！」 受講者：26名</li> <li>・特別支援教育に関する教職員等の資質向上事業 （自立教科等担当教員講習会） 参加者：78 （うち免許状更新講習参加33）</li> <li>・ブラインドパラリンピックスポーツミーティング（毎月1回） 「ブラインドパラリンピックスポーツに関する情報交換」 参加者：毎回30名</li> </ul> <p>○共催等による研究会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第42日本東洋医学系物理療法学会 「鍼通電療法の基礎と臨床 最新の知見を学ぶ」 参加者：100名</li> <li>・「スポーツ鍼灸リサーチミーティング」開催 参加者：50名</li> <li>・「実技セミナー」開催 参加者：30名 日本理療科教員連盟との共催</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮本俊和教授最終講義 参加者：120名</li> </ul>	<p>○研究助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学研究費補助金（基盤研究（C））（研究代表者：徳竹忠司）： 「特別支援学校理療科あん摩実技における臨床能力向上を目的とした教育プログラムの開発」</li> <li>・科学研究費補助金（基盤研究（C））（研究代表者：濱田 淳）： 「鍼実技実習における視覚障害学生の治療教育プログラムの開発に関する教材論的研究」</li> <li>・スポーツ庁ハイパフォーマンスサポート事業（パラリンピック競技）： 「障害特性に応じたメディカルチェックおよびコンディショニングの指標の研究開発」</li> <li>・スポーツ庁ハイパフォーマンスサポート事業（パラリンピック競技）： 「ブラインド選手に対する各種競技情報のフィードバックシステムの研究開発」</li> <li>・（株）ナイガイとの産学連携研究 「機能性を重視したレッグウェアの開発」（研究代表者：和田恒彦）</li> <li>・筑波大学教育戦略推進プロジェクト支援事業（研究代表者：宮本俊和）： 「視覚障害パラリンピアンへの支援を基にした筑波型インクルーシブ教育システムの構築」</li> </ul> <p>○広報刊行物等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「理療科教員養成施設概要」：学内関係部局、文部科学省、来訪者等科学省、都道府県庁、全国盲学校等視覚障害関係機関、全国鍼灸関係専門学校、来訪者へ配布</li> <li>・「理療臨床部はりきゅう治療室案内」：はりきゅう治療受療希望者へ配布</li> <li>・「筑波大学視覚障害者アスリート支援」（筑波大学視覚特別支援学校、理療科教員養成施設、大学院スポーツ医学専攻による視覚障害者アスリートに対する支援、各施設の紹介）：全国視覚特別支援学校、競技団体、眼科、一般へ配布</li> <li>・「さあ、ボランティアをしよう！視覚障害者のスポーツボランティア」（視覚障害者がスポーツボランティアを行うための方法の概要、事例集）：全国視覚特別支援学校、競技団体、眼科、一般へ配布</li> <li>・筑波大学理療科教員養成施設紀要第3巻1号；理療科教員養成施設：全国の視覚特別支援学校、視覚障がい者センター、鍼灸専修学校へ配布</li> </ul>



### (3) 理療科教員養成施設

#### ア 学生数 (平成30年3月1日現在)

総定員	1年	2年	計
40	19(2)	18(6)	34(8)

(注) ( )は、女子を内数で示す。

#### イ 卒業生数 (平成30年3月31日現在)

定員	卒業生数	累計
20	18(6)	851(177)

(注) ( )は、女子を内数で示す。

#### ウ 入学選抜 (平成30年4月1日現在)

入学定員	試験別	志願者数	合格者数	入学者数
20	一般入試	18(4)	14(3)	16(4)
	推薦入試	4(2)	3(1)	

(注) ( )は、女子を内数で示す。

#### エ 奨学金 (平成30年3月1日現在)

学生数	日本学生支援機構	その他	比率(%)
34(8)	1	1(1)	5.88

(注) ( )は、女子を内数で示す。

#### オ 就職 (平成30年3月31日現在)

卒業生数	就職者数	就職者の内訳				進学者	その他
		盲学校等教員	視力障害センター等教員	専修学校等教員	治療院等		
18(6)	12(3)	12(3)	0	0	0	1(1)	5(2)

(注) ( )は、女子を内数で示す。

#### カ 患者数 (平成30年3月31日現在)

診療日数	患者数				1日平均患者数
	初見者数	再来者数	学用者数	計	
170	166	4,071	0	4,237	25

## 5 学生生活関係

### (1) 学生の表彰

平成 29 年 5 月

No.	所属（年次） 氏 名	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	グローバル教育院 一貫制博士課程 エンパワーメント 情報学プログラム (4年次) にしだ じゅん 西田 惇	第4条 第1項 第1号	『人々の運動覚体験を融合するウェアラブルデバイス：biosync』における研究成果 1. Microsoft Research Asia PhD Fellowship Award (2016年11月) 2. Microsoft Innovation Award 2016, 最優秀賞および日本航空アントレプレナー賞 3. ACM CHI2017, Full Paper (採択率25%以下) 採択

平成 29 年 6 月

No.	所属（年次） 氏 名	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	情報学群 情報メディア創成学類 (3年次) すずき いっぺい 鈴木 一平	第4条 第1項 第1号	[受賞] 1. 主著者として Augmented Human 2017 BEST LONG PAPER AWARD 1ST PLACE 受賞、採択論文 19 本（投稿数 66 本，採択率：29%） 2. Laval Virtual Award 2017 TRANSPORT & MOBILITY 部門受賞、応募数 86 件のうち部門別に 11 プロジェクトが受賞（受賞率：12.8%） 3. 先導的研究者体験プログラム(ARE) 2016 年度 優秀賞、第 22 回学生 CG コンテスト CAMPUS GENIUS AWARD SILVER（塩田周三 審査員賞）、第 20 回文化庁メディア芸術祭アート部門 審査委員会推薦作品選出など [代表的な論文・ポスター・デモ] 1. <u>Ippei Suzuki</u> , Shuntarou Yoshimitsu, Keisuke Kawahara, Nobutaka Ito, Atsushi Shinoda, Akira Ishii, Takatoshi Yoshida, and Yoichi Ochiai. Design Method for Gushed Light Field: Aerosol Based Aerial and Instant Display. In Proceedings of the 8th Augmented Human International Conference (AH '17), Article 1, 10 pages, 2017. BEST LONG PAPER AWARD 1ST PLACE 2. Ippei Suzuki, (他 6 名), and Yoichi Ochiai. Gushed Light Field: Design Method for Aerosol-based Fog Display. In SIGGRAPH ASIA 2016 Posters (SA '16), Article 26, 2 pages, 2016. (ポスター発表) 3. <u>Ippei Suzuki</u> , (他 6 名), and Yoichi Ochiai. Gushed Light Field: Design Method for Aerosol-based Fog Display. In SIGGRAPH ASIA 2016 Emerging Technologies (SA '16), Article 9, 2 pages, 2016. (デモ)

		<p>4. <u>Ippei Suzuki</u>, (他 6 名), and Yoichi Ochiai. Gushed Diffusers: Fast-moving, Floating, and Lightweight Midair Display. In Proceedings of the 29th Annual Symposium on User Interface Software and Technology (UIST '16 Adjunct), 69-70, 2016.</p> <p>5. <u>Ippei Suzuki</u>, (他 6 名), and Yoichi Ochiai. Gushed Light Field: Video Showcase of Aerosol-Based Fog Display. In Proceedings of the 2017 CHI Conference Extended Abstracts on Human Factors in Computing Systems (CHIEA '17), 2017. (to appear) (Video Showcase)</p> <p>6. <u>Ippei Suzuki</u>, (他 6 名), and Yoichi Ochiai. Gushed Diffusers: Fast-moving, Floating, and Lightweight Midair Display. Demo hour, Interactions 24, 1, December 2016, 8-11. (査読あり国際会議 UIST2016 にて発表したデモンストレーションが ACM の雑誌 Interactions にて特集された : 79 のうちの 4 つが選出)</p>
--	--	---

平成 29 年 9 月

No.	所属（年次） 氏 名	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	生命環境科学研究科 博士後期課程 生物機能科学専攻 (3年次) ワシケン WANG Xin	第4条 第1項 第1号	在籍している3年間に、合計9報（平成28年5月24日時点）の査読付き原著論文（欧文）を発表し、そのうち5報は筆頭著者として中心的な役割を果たした。他の4報についても、筆頭著者に協力しつつ論文を作成している。一方で3報の総説（欧文）も筆頭著者として採択され、研究が高く評価されている。計12報のうち9報の論文は、インパクトファクターが3以上ある著名な国際的専門誌であり、さらに、国際学会に5回（うち1回は筆頭発表者）、国内学会に9回（うち6回は筆頭発表者）と数多くの発表をするなど極めて活発に国内外の学会で活動している。
2	生命環境科学研究科 博士後期課程 地球進化科学専攻 (2年次) タンリ Tang Li	第4条 第1項 第1号	中国地塊・Fuping 岩体の岩石学的・年代学的研究をもとに当該地域のテクトニクスに関する研究を行い、博士後期課程の2年間で査読付き国際誌に筆頭論文5編を含む17編の論文を掲載した。また、2015年10月21-23日に筑波大学で開催された「第12回国際ゴンドワナ-アジアシンポジウム」にて最優秀ポスター発表賞を受賞した。

平成 30 年 1 月

No.	所属（年次） 氏 名	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	体育専門学群 (4年次) いなば こうへい 稲場 航平	第4条 第1項 第2号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FINA Water Polo World League 2017 インターコンチネンタルトーナメント（オーストラリア・ゴールドコースト） 水球男子 第3位</li> <li>・FINA Water Polo World League Super Final 2017（ロシア・ルザ） 水球男子 出場</li> <li>・第17回世界水泳選手権（2017ハンガリー・ブタペスト） 水球男子 第10位</li> <li>・第29回ユニバーシアード競技大会（2017台北） 水球男子 第6位</li> </ul>
2	体育専門学群 (4年次) のうち あいみ 能智 亜衣美	第4条 第1項 第2号	<p>第29回ユニバーシアード競技大会（2017台北）</p> <p>日本代表選手団旗手 柔道女子 63kg級 優勝（金メダル） 女子団体戦 優勝（金メダル）</p>
3	体育専門学群 (4年次) ひらやま ゆきな 平山 友貴奈	第4条 第1項 第2号	<p>第29回ユニバーシアード競技大会（2017台北）</p> <p>競泳女子 4×100mメドレーリレー 優勝（金メダル） 競泳女子 50mバタフライ 第3位（銅メダル） 競泳女子 100mバタフライ 第7位</p>

4	体育専門学群 (2年次) やました じゅん 山下 潤	第4条 第1項 第2号	第29回ユニバーシアード競技大会(2017 台北) 陸上競技 4×100m リレー 優勝(金メダル) 200m 8位入賞
5	体育専門学群 (4年次) としま さちろう 戸嶋 祥郎	第4条 第1項 第2号	第29回ユニバーシアード競技大会(2017 台北) 男子サッカー 優勝(金メダル)
6	体育専門学群 (4年次) なかの せいや 中野 誠也	第4条 第1項 第2号	第29回ユニバーシアード競技大会(2017 台北) 男子サッカー 優勝(金メダル)
7	体育専門学群 (2年次) みとま かおる 三苫 薫	第4条 第1項 第2号	第29回ユニバーシアード競技大会(2017 台北) 男子サッカー 優勝(金メダル)
8	体育専門学群 (4年次) いのうえ ありさ 井上 愛里沙	第4条 第1項 第2号	第29回ユニバーシアード競技大会(2017 台北) 女子バレーボール 準優勝(銀メダル)
9	体育専門学群 (3年次) まるお はるか 丸尾 遥香	第4条 第1項 第2号	第29回ユニバーシアード競技大会(2017 台北) 女子バレーボール 準優勝(銀メダル)
10	体育専門学群 (3年次) みずたに ゆうき 水谷 有希	第4条 第1項 第2号	第29回ユニバーシアード競技大会(2017 台北) 女子サッカー日本代表 準優勝(銀メダル)
11	体育専門学群 (4年次) かとう みゆき 加藤 美幸	第4条 第1項 第2号	第29回ユニバーシアード競技大会(2017 台北) バドミントン男女混合団体戦 準優勝(銀メダル) 女子ダブルス 第3位(銅メダル)
12	体育専門学群 (4年次) かしはら みき 柏原 みき	第4条 第1項 第2号	第29回ユニバーシアード競技大会(2017 台北) バドミントン男女混合団体戦 準優勝(銀メダル) 女子ダブルス 第3位(銅メダル)
13	体育専門学群 (3年次) うしじま りさ 牛島 里咲	第4条 第1項 第2号	第29回ユニバーシアード競技大会(2017 台北) テニス競技団体 第3位(銅メダル) シングルス 5位入賞
14	体育専門学群 (4年次) はた こうすけ 秦 耕介	第4条 第1項 第2号	第29回ユニバーシアード競技大会(2017 台北) 男子バレーボール競技 第3位(銅メダル)

15	体育専門学群 (3年次) 酒井 啓輔	第4条 第1項 第2号	第29回ユニバーシアード競技大会 (2017 台北) 男子バレーボール競技 第3位 (銅メダル)
16	体育専門学群 (4年次) 齊藤 葵	第4条 第1項 第2号	第29回ユニバーシアード競技大会 (2017 台北) 女子水球 第3位 (銅メダル)
17	体育専門学群 (3年次) 榎本 遼香	第4条 第1項 第2号	第29回ユニバーシアード競技大会 (2017 台北) 水泳飛込 女子団体戦 第3位 (銅メダル) 水泳飛込 女子10m シンクロナイズド 第4位 水泳飛込 混合団体戦 第5位 水泳飛込 混合3m シンクロナイズド 第5位
18	体育専門学群 (3年次) 岡野 圭穂	第4条 第1項 第2号	第29回ユニバーシアード競技大会 (2017 台北) 競泳女子50m 自由形 第5位
19	体育専門学群 (3年次) 大久保 琳太郎	第4条 第1項 第2号	第29回ユニバーシアード競技大会 (2017 台北) 競泳男子200m 平泳ぎ 第6位
20	体育専門学群 (3年次) 大本 航生	第4条 第1項 第2号	第29回ユニバーシアード競技大会 (2017 台北) 水球男子 第6位

平成30年3月  
(大学院)

No.	所属 (年次) 氏 名	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	教育研究科 教科教育専攻 (2年次) 原口 楓規	第4条 第1項 第1号	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本数学教育学会の学会誌に、次の投稿論文が掲載された。 「数学的コミュニケーションの創発連鎖に関する研究」(日本数学教育学会誌・数学教育学論究・第99巻, pp. 41-48, 2017年) 本学会誌の今年度の論文採択率は8.2%(投稿件数85件, 採択7件)であり、この投稿論文は厳しい審査を経て、評価され、学会誌に掲載された。</li> <li>2. 日本数学教育学会 学会賞(大学院生研究奨励部門)を受賞した。本学会賞は、大学院生の研究の中で特に優れた論文に対して授与されるものである。上記の論文が高く評価され、学会賞を受賞した。この受賞により、本学大学院教育研究科における大学院生の研究水準に対する評価が高まった。</li> </ol>

2	人文社会科学研究所 一貫制博士課程 哲学・思想専攻 (4年次) よこやま あきと 横山 啓人	第4条 第1項 第1号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「中村元東洋思想文化賞」(中村元記念館東洋思想文化研究所) 優秀賞</li> </ul> 修士論文「プラジュニャーカラグプタの知覚論-知と対象の関係の考察 (Pramāṇavārttikālaṃkāra ad Pramāṇavārttika III 194-207)」が選考 島根県松江市の中村元記念館で記念講演を行った。
3	人文社会科学研究所 一貫制博士課程 文芸・言語専攻 (5年次) しげの ともひろ 茂野 智大	第4条 第1項 第1号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・萬葉学会奨励賞受賞</li> <li>・筑波大学日本語日本文学会奨励賞受賞</li> </ul>
4	人文社会科学研究所 博士前期課程 国際地域研究専攻 (2年次) なかむら みずき 中村 瑞希	第4条 第1項 第1号 及び 第4号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5回国際タタール語・タタール文学オリンピック 優勝 (ロシア連邦タタールスタン共和国の首都カザンで開催)</li> </ul> 予選参加者数はロシアを含む14カ国から14,700名、本選参加者数は500名。 本選では作文試験、歴史科目筆記試験、プレゼンテーション課題、芸術課題で競われ、作文とプレゼン、芸術課題(歌唱を選択)で非常に高い評価を獲得した。 2015年の第3回大会から3年連続で出場し、第3回大会入賞、第4回大会では3位を獲得し、今回14,700名の頂点に立った。優勝者には、表彰状と賞品の他、カザン連邦大学への入学権利が授与された。この模様はロシア全土にテレビで報道され大きな話題となった。
5	ビジネス科学研究科 博士後期課程 企業科学専攻 (2年次) すいし ゆたか 水師 裕	第4条 第1項 第1号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本プロモーション・マーケティング学会の論文集『プロモーション・マーケティング研究』に査読付き学術研究論文として掲載され、優秀論文として「学会賞」を受賞。</li> </ul> <受賞論文> 「内集団ひいきとしての購買行動に間接互惠性が与える影響」 プロモーション・マーケティング研究, Vol. 10, pp. 7-24, 平成29年9月
6	数理物質科学研究科 博士後期課程 ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻 (3年次) たかべ りょうた 高部 涼太	第4条 第1項 第1号	新しい太陽電池材料として期待されるバリウムシリサイド(BaSi <sub>2</sub> )の表面不活性化を達成し、さらに、高品質薄膜の形成条件を見出した。これにより、この材料を用いた太陽電池を初めて実証し、そのエネルギー変換効率は、初期段階としてはかなり高い9.9%に達した。これら一連の成果により、2016年秋季応用物理学学会講演奨励賞(満33歳以下の登壇者で、一般投稿件数の1%以内)を受賞した。また、研究成果は、米国物理学協会(American Institute of Physics)が発行する応用物理学分野のトップジャーナルである Journal of Applied Physics に筆頭著者として論文が4編、AIP Advances に筆頭著者として1編、さらに、日本の応用物理学学会が発行する Japanese Journal of Applied Physics に筆頭著者として3編、Wileyが発行する Physica Status Solidi C に筆頭著者として1編が出版(掲載可を含む)されるなど、大変優れた業績を挙げたと認められる。

7	<p>数理物質科学研究科 3年制博士課程 物質・材料工学専攻 (3年次)</p> <p>みずた りょう 水田 亮</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p><u>研究業績 (論文)</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Mizuta, R.; Taguchi, T., Macromol Biosci 2017, 17, 1600349.</li> <li>2. Mizuta, R.; Ito, T.; Taguchi, T., Colloids Surf B 2016, 146, 212-220.</li> <li>3. Mizuno, Y.; Mizuta, R.; Hashizume, M.; Taguchi, T., Biomater Sci. 2017, 5, 982-989.</li> <li>4. Taguchi, T.; Mizuta, R.; Ito, T.; Yoshizawa, K.; Kajiyama, M., J Biomed Nanotechnol 2016, 12, 128-134.</li> <li>5. Yoshizawa, K.; Mizuta, R.; Taguchi, T., Biomaterials 2015, 63, 14-23.</li> </ol> <p><u>研究業績 (雑誌)</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 水田 亮, 西口昭広, 田口哲志, 強度と生体親和性を両立する革新的外科用接着剤, 高分子, 2017, 66 [9], 490</li> <li>2. 水田 亮, 田口哲志, 疎水化タラゼラチンシーラント, 医療用バイオマテリアルの研究開発, 2017, 117</li> <li>3. 水田 亮, 田口哲志, 医用高分子材料の生体組織への接着性向上技術と応用事例, 手術用シーラント材・癒着防止剤の利便化向上を目指した製品開発, 2016, 278-287</li> <li>4. 水田 亮, 田口哲志, 疎水化ゼラチンの材料特性と非臨床試験評価, 手術用シーラント材・癒着防止剤の利便化向上を目指した製品開発, 2016, 206-213</li> <li>5. 水田 亮, 田口哲志, 生体組織・臓器にくっついて治療する材料, 化学, 2016, 71 [3], 64</li> </ol> <p><u>研究業績 (受賞)</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. つくば医工連携フォーラム 2017, “研究奨励賞”, 2017年1月, 茨城 (筆頭)</li> <li>2. 日本化学会 第5回 CSJ 化学フェスタ 2015, “優秀ポスター発表賞”, 2015年10月, 東京 (筆頭)</li> <li>3. 日本接着学会 第53回年次大会, “ベストポスター賞”, 2015年6月, 愛知 (筆頭)</li> <li>4. つくば医工連携フォーラム 2014, “ベストポスター賞”, 2014年1月, 茨城 (筆頭)</li> <li>5. Student Seminar of University of Tsukuba with Universities in Taiwan, “Best Presentation Award”, 2016 November, Taiwan (筆頭)</li> <li>6. 第39回日本バイオマテリアル学会大会, “優秀研究ポスター賞”, 2017年11月, 東京 (共同)</li> <li>7. 第35回日本バイオマテリアル学会大会, “ハイライト講演”, 2013年11月, 東京 (共同)</li> </ol>
8	<p>システム情報工学 研究科 博士後期課程 社会工学専攻 (3年次)</p> <p>フアム ティエン ダット PHAM TIEN DAT</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>GIScience &amp; Remote Sensing (採択率 18%, IF3.049, 下記, 論文 PDF 添付)をはじめとする(採択率 38%, IF3.244, 共著者)を含む8編の査読付論文を発表した。</p> <p>Pham, T.D., Yoshino, K., &amp; Bui, D.T. 2017. “Biomass estimation of <i>Sonneratia caseolaris</i> (L.) Engler at a coastal area of Hai Phong city (Vietnam) using ALOS-2 PALSAR imagery and GIS-based multi-layer perceptron neural networks”. GIScience &amp; Remote Sensing, 54(3): 329-353. (Acceptance rate: 18%, IF: 3.049)</p>



9	システム情報工学 研究科 博士後期課程 コンピュータ サイエンス専攻 (3年次) うえざと ゆうや 上里 友弥	第4条 第1項 第1号	プログラム検証への応用を視野にいたした基礎理論分野において顕著な研究成果をあげている。博士後期課程進学時に学振 DC1 を獲得して研究を推進し、これまでの通算で8編の査読付き学術論文・国際会議論文を発表するとともに、学会から5件の受賞実績がある。(論文はすべて単著もしくは筆頭著者。受賞はすべて単独受賞であり、すべて上里氏自身が主導した研究の成果である)。博士後期課程在学中の3年間に限定しても、査読付き論文3編(学術雑誌2編、国際会議論文1編)と2件の受賞実績(日本ソフトウェア科学会大会・学生奨励賞、第18回プログラミングおよびプログラミング言語ワークショップ・発表賞)を有している。
10	生命環境科学研究科 博士後期課程 生物科学専攻 (3年次) あめく ともつね 天久 朝恒	第4条 第1項 第1号	1. 筆頭著者論文の出版: Ameku & Niwa (2016) Mating-Induced Increase in Germline Stem Cells via the Neuroendocrine System in Female Drosophila. PLOS Genetics 12: e1006123 (IF=6.1); この他、筆頭著者英文原著論文1報、共著の英文原著論文1報、英文総説2報。 2. 国際会議における受賞歴: The 2nd International Insect Hormone Workshop (IIHW) Excellent Presentation Award (2015年7月、ギリシャ); Tsukuba Global Science Week 2015 Best Poster Award (2015年9月、つくば); 3rd IIHW Excellent Presentation Award (2017年7月、那須)
11	生命環境科学研究科 一貫制博士課程 環境バイオマス共生学 専攻 (4年次) まちだ しゅんたろう 町田 峻太郎	第4条 第1項 第1号	「シアノバクテリアにおける新規修飾脂肪酸の合成」をテーマに研究に取り組んできた。近年、微細藻類が合成する脂肪酸が石油代替物質や化粧品などの有用物質として利用可能な物質の1つとして期待されているが、微細藻類が合成する主な脂肪酸種は飽和脂肪酸及び不飽和脂肪酸である。飽和脂肪酸の融点の高さや、不飽和脂肪酸の酸素存在下で容易に酸化される二重結合 C=C の存在は、これらの脂肪酸の産業的な利用性を低くしている。そこで、低融点で且つ酸化に対して安定な性質を持つ「シクロプロパン型脂肪酸」及び「分岐鎖脂肪酸 10-メチルステアリン酸」の光合成生物での合成を目指し成功した。光合成生物でこのような脂肪酸を合成する試みは初めてのことであり、これらの結果は、光合成生物で新規な修飾脂肪酸の合成が可能である事を示しており、さらに有用で利用価値の高い脂肪酸の合成が可能になる可能性を示している。また、10-メチルステアリン酸の合成経路は、本研究で新たに発見したもので、特許申請中である。
12	生命環境科学研究科 博士前期課程 生物資源科学専攻 (2年次) はら りさ 原 理紗	第4条 第1項 第1号	学術論文: Use of the product of mean intensity ratio (PMIR) technique for discriminant analysis of lycopene-rich vegetable juice using a portable NIR-excited Raman spectrometer, Food Chemistry, 241 巻, 353-357 頁, 2018 年 2 月 15 日印刷 上記論文は原理紗氏が筆頭著者として執筆し、IF: 4.529 (Food Science & Technology 分野で6位/129誌中) の Food Chemistry 誌に受理されたものである。 受賞: Royal Society of Chemistry Poster Presentation Award, ICAVS-9, 2017 年 6 月 16 日 ICAVS-9 は振動分光学に関する世界最大規模の国際会議で、上記の賞は応用分野のポスター発表 60 件のうち、博士後期課程を含む学生 1 名だけが選ばれる最優秀ポスター賞である。

13	人間総合科学研究科 3年制博士課程 スポーツ医学専攻 (2年次) こさき けいせい 小崎 恵生	第4条 第1項 第1号	近年、運動習慣は、種々の疾患の予防や改善に有効であることが明らかになった。しかし、高額な医療費を要する血液透析や心血管疾患の発症に強く関連する慢性腎臓病 (chronic kidney disease: CKD) の予防・改善における運動効果については、不明な点が多く、日本腎臓病学会のCKD診療ガイドラインでも「運動がCKDの発症・進展に影響を与えるか、明らかでない」としている。小崎恵生氏は、世界に先駆けて、運動がCKDの予防に有効であるかを検討し、定期的な運動には腎保護効果があることを明らかにした。これらの成果をはじめ、大学院在籍中にスポーツ科学や健康科学の分野で高い評価を受けているScand J Med Sci Sports (IF: 3.33) やExp Gerontol (IF: 3.49) などの国際学術誌6篇に筆頭著者として研究成果を公表した。また、第6回日本腎臓リハビリテーション学会ではYoung Investigator Award 大会長賞を受賞した。
14	人間総合科学研究科 博士前期課程 芸術専攻 (2年次) はっとり まち 服部 真知	第4条 第1項 第1号	2016年11月 改組新第3回日展 入選 作品名《ほころび》主催(公社)日展 国立新美術館 2017年11月 改組新第4回日展 入選 作品名《目覚め》主催(公社)日展 国立新美術館 2016年4月 第46回日彫展 初入選 新人賞受賞 作品名《力士像》主催(公社)日本彫刻会 東京都美術館 2017年4月 第47回日彫展 入選 新人賞受賞 作品名《そっぽ》主催(公社)日本彫刻会 東京都美術館
15	人間総合科学研究科 博士後期課程 教育基礎学専攻 (3年次) しらいわ しんや 白岩 伸也	第4条 第1項 第1号	単著論文「戦後初期における旧軍関係教育機関出身者への施策―「非軍事化」と「民主化」の動向とその射程に着目して―」が、教育史学会の編集・発行する『日本の教育史学』(第60集、2017年10月)に掲載された。『日本の教育史学』は1958年に創刊され、教育学分野で高い評価を受けてきた、年刊の学術雑誌である。第60集の日本教育史関係論文の投稿数は23本、そのうち掲載数は4本であり、採択倍率は5.75倍である。日本教育史関係論文のなかでみると、大学院生が掲載にいたったのは候補者の論文のみである。候補者は非常に高い水準で精力的に研究活動を展開しており、これまで教育史学会で3回、日本教育学会で1回の口頭発表を行い、『筑波大学教育学系論集』に2本の論文を発表している。
16	人間総合科学研究科 博士前期課程 体育学専攻 (2年次) どばし こうへい 土橋 康平	第4条 第1項 第1号	1. 2017年8月に発刊された英文国際誌において筆頭著者として原著論文が掲載された。 “Effect of voluntary hypocapnic hyperventilation or moderate hypoxia on metabolic and heart rate responses during high-intensity intermittent exercise.” Dobashi K, Fujii N, Watanabe K, Tsuji B, Sasaki Y, Fujimoto T, Tanigawa S, Nishiyasu T European Journal of Applied Physiology 117(8):1573-1583. 2. 2017年11月13-17日に開催された17th International Conference on Environmental Ergonomics (国際環境工学学会)において、口頭発表部門の1位(oral presentation 1st prize)を受賞した。本国際学会は2年に1度開催され、今回は神戸にて開催され、海外参加者150名(26ヶ国)及び日本人参加者60名であった。学生発表者67名の中から口頭発表1位の賞であった。

17	人間総合科学研究科 博士前期課程 体育学専攻 (1年次) たかはし ゆうき 高橋 侑希	第4条 第1項 第2号	2017 世界レスリング選手権大会 (フランス・パリ) 男子フリースタイル 57kg 級 優勝 (金メダル)
18	人間総合科学研究科 博士前期課程 体育学専攻 (1年次) みやち ひでたか 宮地 秀享	第4条 第1項 第2号	第47 回世界体操競技選手権大会 (カナダ・モントリオール) 2017 年 10 月 2 日～8 日開催 鉄棒 第5位
19	人間総合科学研究科 博士後期課程 体育科学専攻 (3年次) すおべ かずや 諏訪部 和也	第4条 第1項 第1号	博士論文を構成する関連論文のうち、“Acute moderate exercise improves mnemonic discrimination in young adults” (一過性中強度運動で高まる類似記憶弁別能) と題する論文を海馬研究のトップジャーナル、Hippocampus (IF=3.95) に刊行。本内容は本学プレスリリースを経て朝日新聞 (夕刊全国版) や TBS ラジオなどの複数メディアを通じて報道された。さらに、“Aerobic fitness associates with mnemonic discrimination as a mediator of physical activity effects: evidence for memory flexibility in young adults” (有酸素能力は身体活動量の媒介因子として類似記憶の識別能力と関係する: 記憶の柔軟性を示す科学的証拠) と題する関連論文を Nature 姉妹誌である Scientific Reports (IF=4.25) に刊行。本内容も本学プレスリリースを経て「大学ジャーナルオンライン」などで紹介された。その他、博士論文に付随する多数の実績がある。
20	グローバル教育院 エンパワーメント 情報学プログラム (4年次) さとう こうすけ 佐藤 綱祐	第4条 第1項 第1号 及び 第2号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4条第1項第1号該当の業績 バレーボールアタック練習用ブロックマシンの研究開発を行い、リオデジャネイロオリンピックの直前合宿で女子バレー代表チームが運用した。本研究の成果をロボット分野のトップカンファレンスである ICRA2017 で発表し、Best Human-Robot Interaction Paper Award および IEEE Robotics and Automation Society Japan Joint Chapter Young Award をダブル受賞した。</li> <li>・第4条第1項第2号該当の業績 インホイールモーター内蔵一輪車を手綱で操縦する新たなスポーツである” Carry Otto” を創出し、ミズノスポーツ振財団の助成金 (100 万円) に採択された。” Carry Otto” は情報処理学会インタラクシオン 2017 においてインタラクティブ発表賞を、さらに第2回超人スポーツ学術研究会において研究奨励賞を受賞した。</li> </ul>

(学群)

No.	所属（年次） 氏 名	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	人文・文化学群 比較文化学類 (4年次) ほりした かける 堀下 翔	第4条 第1項 第1号 及び 第3号	若手俳句作家としての文学界における顕著な活動。第六回石田波郷新人賞の受賞。俳句同人誌『里』における「俳句雑誌管見」の連載。現代俳句協会におけるシンポジウムパネラー。中高生に対する俳句講座の開催や高校での俳句部の指導補助。
2	人間学群 障害科学類 (2年次) たかはし りえこ 高橋 利恵子	第4条 第1項 第2号	ゴールボール日本代表として、下記国際大会に出場し、優秀な成績をおさめた。 ・スウェーデン・マルモインターカップ (Malmö Lady and Men Intercup 2017) (開催地：スウェーデン) 成績：準優勝 ・リトアニア・トラカイトーナメント (2017 International Trakai Goalball Tournament) (開催地：リトアニア) 成績：第4位

3	<p>理工学群 社会工学類 (4年次)</p> <p>やの まさき 矢野 正基</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p> <p>[受賞] ・MIRU 学生奨励賞 受賞 (2017 年) 242 件の発表件数の中から学生の発表が対象であり (学生発表数は不明), 19 件が受賞 矢野正基, 大西正輝, “シグモイド関数を用いた周期的な学習率スケジューリングによるアンサンブル学習,” 画像の認識・理解シンポジウム (MIRU2017), PS1-20, Aug. 2017. ・Kaggle コンペティション Kaggle, Cdiscount’s Image Classification Challenge 10 位 (627 チーム中) 個人参加で 10 位入賞</p> <p>[国際学術誌論文] Yoshihiko Ozaki, Masaki Yano, Masaki Onishi, “Effective hyperparameter optimization using Nelder-Mead method in deep learning,” IPSJ Transactions on Computer Vision and Applications, (2017) 9:20.</p> <p>[口頭発表] 1. 矢野正基, 大西正輝, “[ショートペーパー] 深層学習における連続的な学習率スケジューリングと認識精度の関係,” 電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2017-88, pp145-148, Oct. 2017. 2. 矢野正基, 大西正輝, “スナップショットアンサンブルを用いた DNN に対する蒸留手法の提案,” 電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2017-46, pp. 53-58, Sep. 2017. 3. 矢野正基, 大西正輝, “シグモイド関数を用いた周期的な学習率スケジューリングによるアンサンブル学習,” 画像の認識・理解シンポジウム (MIRU2017), PS1-20, Aug. 2017. 【MIRU 学生奨励賞 受賞】 (再掲) 4. 矢野正基, “深層学習における確率的勾配降下法の学習率スケジューリング” 最適化の基盤とフロンティア — 未来を担う若手研究者の集い 2017 — 5. 尾崎嘉彦, 矢野正基, 大西正輝, 久野誉人, “識別器におけるハイパパラメータ最適化手法の性能評価,” 第 19 回情報論的学習理論ワークショップ (IBIS2016), D2-23, Nov. 2016. 6. 尾崎嘉彦, 矢野正基, 大西正輝, 久野誉人, “微分フリー最適化手法による識別器のハイパパラメータチューニング,” 電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2016-84, pp. 227-232, Sep. 2016. 【2016 年度 PRMU 研究奨励賞 受賞】</p>
---	---	--

4	<p>理工学群 社会工学類 (4年次)</p> <p>かたやま あかひね 片山 茜</p>	<p>第4条 第1項 第1号 及び 第2号 及び 第3号</p>	<p>[研究・国際貢献・社会活動に関する幅広い貢献]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全国から広く作品を募集する「第10回未来エレベーターコンテスト」において未来の移動空間を提案し審査員賞を受賞、筑波 E. S. S. に所属し、全国の大学生が出場する英語ディベート大会の NAFA 九州 2016 大会において優勝するなどの顕著な業績がある。</li> <li>2. 地域活動として、特に震災復興活動に取り組んでいる。顕著な活動として、つくば市北条の空き地活用に取り組み、1年をかけて地域交流を促すギャラリーの企画・運営を行い地域復興に貢献した。これらの活動経験を元に、Building the TOMODACHI Generation プログラムに筑波大学代表として選出され、米国で世界銀行等の様々な主体と社会的復興について意見交換を行っている。本学の世界展開力強化事業にて南米の学生の被災地研修においても活躍し、本年度末にはチリ大学へ派遣される予定で、地域・国際貢献を通じて本学への貢献も果たしている。</li> <li>3. 学術研究成果として、学部生でありながら本分野の代表的な学術誌である都市計画論文集（題目：『キーワードからみた都市計画研究の変遷』）及び土木学会論文集（題目：『「食環境」と「食行動に関する意図」が主観的健康状態に及ぼす影』）に審査付き論文が掲載されている。他にも、土木学会、人工知能学会に計2本の研究報告を行っている。</li> </ol>
5	<p>生命環境学群 生物学類 (4年次)</p> <p>たなか ちさと 田中 千聡</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>[学術論文]</p> <p>2017年 昆虫と自然 Insects Reports に論文受理 2017年 主著を Apidologie に投稿中（英文・筆頭）</p> <p>[国際学会発表]</p> <p>2017年 Behaviour 2017（ポルトガル） ポスター発表（英語・筆頭）</p> <p>[国内学会発表]</p> <p>2017年 第61回日本応用動物昆虫学会 ポスター発表（筆頭）</p> <p>[その他]</p> <p>2014-2016年 つくばアクションプロジェクト（T-ACT）の企画「つくバグ」へ参加 筑波大学社会貢献プロジェクト及び子どもゆめ基金の助成金による活動</p> <p>つくばアクションプロジェクト 平成28年度上半期優秀賞受賞 筑波大学学園祭「雙峰祭グランプリ」アカデミー賞（展示企画最優秀賞）</p> <p>2016年 つくば科学フェスティバル スタッフ参加 2017年 先導的研究者体験プログラム研究成果発表会 優秀賞受賞 2017年 卒業研究発表会準備委員会委員 2017年 ヒヌマイトトンボ観察会 スタッフ参加 2017年 第二回筑波大学生フォトコンテスト 優秀賞 2017年 ミツバチサミット（筑波大学） スタッフ参加 2017年 日中韓大学院生フォーラム 日本実行委員</p>

6	<p>生命環境学群 生物資源学類 (4年次)</p> <p>久知良 桃花</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>[国内学会・研究会における発表]</p> <p>1. 口頭発表 糸状菌の菌糸を足場にした枯草菌の生育様式の解析、久知良桃花、竹下典男、尾花望、野村暢彦、2017年度グラム陽性菌ゲノム機能会議、ホテル熱海、2017年8月25-26日</p> <p>2. ポスター発表 糸状菌の菌糸を足場にした枯草菌の生育様式の解析、久知良桃花、竹下典男、尾花望、野村暢彦、第16回微生物研究会、東京工業大学、2017年11月18日</p> <p>[受賞] 第16回微生物研究会、優秀ポスター賞 2017年11月</p>
7	<p>情報学群 情報科学類 (4年次)</p> <p>怒田 晟也</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>オープンソースプロジェクトに参加し実課題に取り組む「Google Summer of Code」プログラムに選抜され、Googleから奨励金を得ながらFreeBSDプロジェクトの課題を完遂した。また、経済産業省が独立行政法人情報処理推進機構を通じて取り組んでいる「ソフトウェア関連分野で優れた能力を有する突出した若い逸材の発掘・育成」を行う「未踏IT人材発掘・育成事業」に採択され、IoTデバイスのための基本ソフトウェアを開発し、未踏クリエイターの中でも特に優秀であると評価され、未踏スーパークリエイターにも認定された。</p>

8	<p style="text-align: center;">情報学群 情報メディア創成学類 (4年次)</p> <p style="text-align: center;">さかした もうせ 坂下 申世</p>	<p style="text-align: center;">第4条 第1項 第1号</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本学生支援機構(JASSO)平成 29 年度優秀学生顕彰大賞 (学術部門) 受賞 (平成 29 年 12 月 9 日受賞)</li> <li>・ CHI 2017 Conference on Human Factors in Computing Systems (CHI ' 17). Asian CHI Symposium にて Best Demo/Poster Prize (2<sup>nd</sup> Place)受賞</li> <li>・ 筑波大 A. R. E. に 2 年連続採択され、平成 28 年度に優秀賞受賞</li> <li>・ 上記の受賞等にもつながる、SIGGRAPH、SIGGRAPH Asia、UIST などの トップカンファレンスにおける論文採択、デモ・ポスター・ 口頭発表 9 件 (以下には第一著者の論文の書誌を掲げる)</li> </ul> <p>➤ <u>Mose Sakashita</u>, Yuta Sato, Ayaka Ebisu, Keisuke Kawahara, Satoshi Hashizume, Naoya Muramatsu, and Yoichi Ochiai. 2017. Haptic marionette: wrist control technology combined with electrical muscle stimulation and hanger reflex. In SIGGRAPH Asia 2017 Posters (SA ' 17), Article 33, 2 pages. DOI: <a href="https://doi.org/10.1145/3145690.3145743">https://doi.org/10.1145/3145690.3145743</a></p> <p>➤ Mose Sakashita, Tatsuya Minagawa, Amy Koike, Ippei Suzuki, Keisuke Kawahara, and Yoichi Ochiai. 2017. You as a Puppet: Evaluation of Telepresence User Interface for Puppetry. In Proceedings of the 30th Annual Symposium on User Interface Software and Technology (UIST ' 17), 12 pages. DOI: <a href="https://doi.org/10.1145/3126594.3126608">https://doi.org/10.1145/3126594.3126608</a></p> <p>➤ Mose Sakashita, Kenta Suzuki, Keisuke Kawahara, Kazuki Takazawa, and Yoichi Ochiai. 2017. Materialization of motions: tangible representation of dance movements for learning and archiving. In ACM SIGGRAPH 2017 Studio (SIGGRAPH ' 17). Article 7, 2 pages. DOI: <a href="https://doi.org/10.1145/3084863.3084869">https://doi.org/10.1145/3084863.3084869</a></p> <p>➤ Mose Sakashita, Keisuke Kawahara, Amy Koike, Kenta Suzuki, Ippei Suzuki, and Yoichi Ochiai. 2016. Yadori: mask-type user interface for manipulation of puppets. In ACM SIGGRAPH 2016 Emerging Technologies (SIGGRAPH ' 16). Article 23, 1 pages. DOI: <a href="http://dx.doi.org/10.1145/2929464.2929478">http://dx.doi.org/10.1145/2929464.2929478</a></p>
---	--	--	---



9	<p style="text-align: center;">情報学群 知識情報・図書館 学類 (4年次)</p> <p style="text-align: center;">むらまつ なおや 村松 直哉</p>	<p style="text-align: center;">第4条 第1項 第1号</p>	<p>以下の査読あり国際学会（ICISIP 2017, UIST 2017 Demo, SIGGRAPH Asia 2017 Posters, NIPS 2017 Workshops）において論文採択，オーラルプレゼンテーション，ポスター発表，デモ展示の実績がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <u>Naoya Muramatsu</u>, Ooi Chun Wei, Takashi Miyazaki. 2017. Development of High Performance Filter for Indoor Positioning System. In International Conference on Intelligent Systems and Image Processing 2017 (ICISIP 2017). (オーラル発表)</li> <li>2. <u>Naoya Muramatsu</u>, Chun Wei Ooi, Yuta Itoh, and Yoichi Ochiai. 2017. DeepHolo: Recognizing 3D Objects using a Binary-weighted Computer-Generated Hologram. In SA '17 Posters: SIGGRAPH Asia 2017 Posters, November 27- 30, 2017, Bangkok, Thailand. ACM, 2 pages. (ポスター)</li> <li>3. <u>Naoya Muramatsu</u>, Kazuki Ohshima, Ryota Kawamura, Ooi Chun Wei, Yuta Sato, and Yoichi Ochiai. 2017. Sonoliards: Rendering Audible Sound Spots by Reflecting the Ultrasound Beams. In Adjunct Publication of the 30th Annual ACM Symposium on User Interface Software and Technology (UIST '17). ACM, 57-59. (デモ)</li> <li>4. Mose Sakashita, Yuta Sato, Ayaka Ebisu, Keisuke Kawahara, Satoshi Hashizume, <u>Naoya Muramatsu</u>, Yoichi Ochiai. 2017. Haptic Marionette: Wrist Control Technology Combined with Electrical Muscle Stimulation and Hanger Reflex. In SIGGRAPH Asia 2017 Poster (SA '17). (ポスター)</li> <li>5. Natsumi Kato, Hiroyuki Osone, Daitetsu Sato, <u>Naoya Muramatsu</u>, and Yoichi Ochiai. 2017. Crowd Sourcing Clothes Design Directed by Adversarial Neural Networks. In NIPS 2017 Workshop (NIPS '17). (Workshop)</li> </ol> <p>査読なし国内学会において口頭発表の実績がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 <u>村松直哉</u>，佐藤哲司，伏見卓恭. 2017. レビュー観点の推移パターンに基づく商品属性の抽出手法. In 第9回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2017). 学生プレゼンテーション賞</li> </ol>
10	<p style="text-align: center;">体育専門学群 (4年次)</p> <p style="text-align: center;">つがね めぐみ 津金 恵</p>	<p style="text-align: center;">第4条 第1項 第2号</p>	<p>2017年柔道グランドスラム・東京大会（東京体育館） 女子63kg級 第3位</p>
11	<p style="text-align: center;">体育専門学群 (2年次)</p> <p style="text-align: center;">たじま ごうき 田嶋 剛希</p>	<p style="text-align: center;">第4条 第1項 第2号</p>	<p>2017年世界ジュニア柔道選手権大会（クロアチア・ザグレブ） 男子90kg級 優勝 国別男女混合団体 優勝</p>
12	<p style="text-align: center;">体育専門学群 (2年次)</p> <p style="text-align: center;">まつもと まみこ 松本 真未子</p>	<p style="text-align: center;">第4条 第1項 第2号</p>	<p>EAFF E-1 サッカー選手権 2017 決勝大会（千葉） 日本代表 準優勝 なでしこジャパン日本女子代表のゴールキーパーとして出場</p>
13	<p style="text-align: center;">体育専門学群 (1年次)</p> <p style="text-align: center;">ながの ふうか 長野 風花</p>	<p style="text-align: center;">第4条 第1項 第2号</p>	<p>アジアサッカー連盟(AFC) U-19 女子選手権中国 2017（中国・南京） 日本代表 優勝(金メダル)</p>

14	体育専門学群 (1年次) <small>みなみ もえか</small> 南 萌華	第4条 第1項 第2号	アジアサッカー連盟(AFC) U-19 女子選手権中国 2017 (中国・南京) 日本代表 優勝(金メダル)
15	体育専門学群 (2年次) <small>かじはら ゆうみ</small> 梶原 悠未	第4条 第1項 第2号	2017年 UCIトラックワールドカップ第3戦 (カナダ) 女子オムニアム 優勝 2017年 UCIトラックワールドカップ第4戦 (チリ) 女子オムニアム 優勝 2017年 UCIトラックワールドカップ第2戦 (イギリス) 団体 4km チームパーシュート 第3位

(団体)

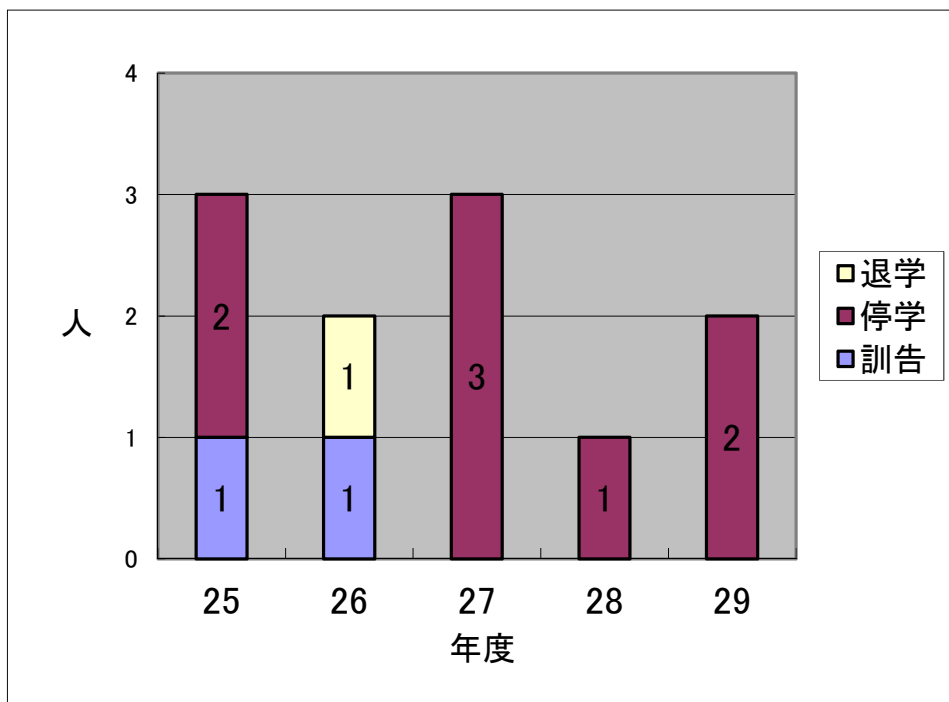
No.	団体名称	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	CFA Institute Research Challenge 筑波大学大学院チーム(5人) 【代表者】 ビジネス科学研究科 専門職学位課程 国際経営 プロフェッショナル専攻 (2年次) やまもと かつゆき 山本 勝之	第4条 第1項 第1号	本専攻開設の「ファイナンス」の授業の一環として、国際経営 プロフェッショナル専攻学生5人からなるチームが、CFA協会 主催リサーチチャレンジ国内大会2017に参加し、優勝した。 このイベントは、大学対抗で企業分析を行い、調査・分析内容 の優劣を競うもので、予選では約4カ月をかけて企業分析レポ ート(今回の対象企業はヤマハ)を英文で作成し、上位5チ ームが英語でのプレゼンテーション・Q&Aセッション(決勝)に 進む。2017年は日本国内から全18チームが参加したが、筑波 大チームが予選・決勝を勝ち抜き、東京大学、一橋大学、名古 屋大学、早稲田大学、慶応大学等有力校を抑えて優勝した。こ の結果、筑波大チームは2018年4月に行われるアジア太平洋 地区大会(マレーシアで開催予定)に日本代表として参加する こととなった。
2	体育会 剣道部 【代表者】 体育専門学群 (4年次) さ さ き よういちろう 佐々木 陽一朗	第4条 第1項 第2号	第65回全日本学生剣道優勝大会(日本武道館) 団体 優勝
3	体育会 バドミントン部 【代表者】 体育専門学群 (3年次) うしき あゆこ 牛木 鮎子	第4条 第1項 第2号	第68回全日本学生バドミントン選手権大会 女子団体 優勝(4連覇)

※ 適用条項は、「筑波大学学生表彰に関する規程」第4条第1項の各号の規定による。

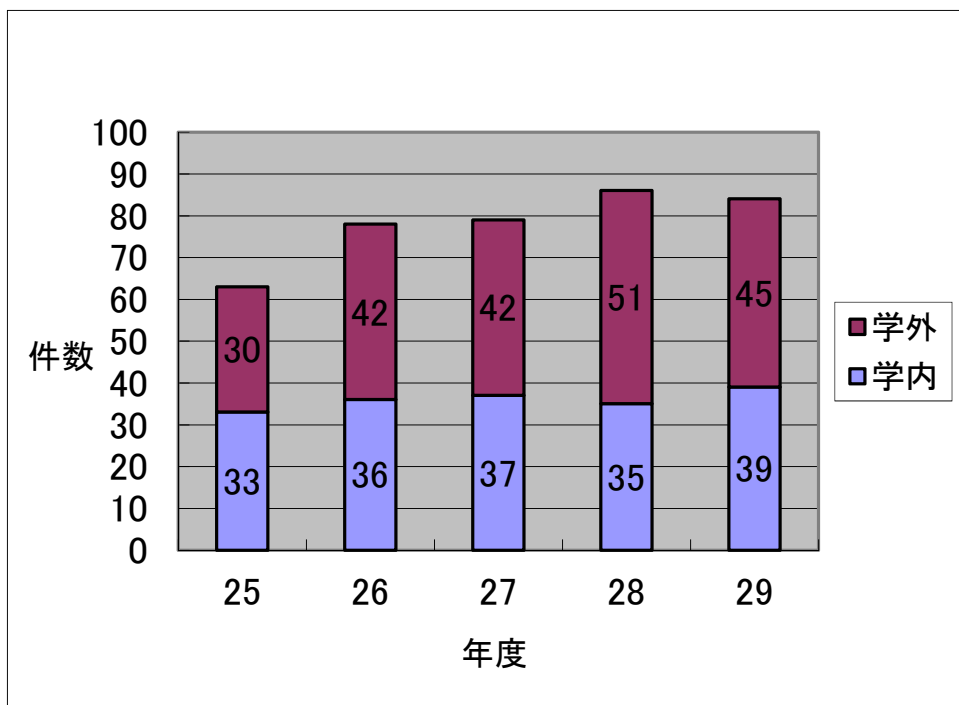
第4条 学生表彰は、次の各号のいずれかに該当する学生又は学生団体に対し行うことができる。

- (1) 筑波大学における卒業論文、修士論文又は博士論文、卒業制作又は修了制作、研究その他の学修の成  
果が優れていると認められるもの
- (2) 筑波大学における課外活動の成果が特に顕著であり、かつ、筑波大学の課外活動の振興に功績があつ  
たと認められるもの
- (3) 社会活動において顕著な功績があつたと認められるもの
- (4) その他前3号と同等の学生表彰に価する功績があつたと認められるもの

(2) 学生の懲戒



(3) 学生の交通事故



(4) 福利厚生施設

場 所	業 種	席数
第一エリア	食堂	232
	喫茶	82
	書籍・文具	
	パン販売	
	自動販売機	
第二エリア	食堂	336
	小食堂	64
	喫茶	72
	書籍・文具	
	パン販売	
	自動販売機	
第三エリア	食堂	138
	フードコート	285
	そば・うどん	
	カレー	
	中華	
	和食	
	喫茶	
	書籍・文具	
	食品・日用雑貨	
	パン販売	
	自動販売機	
銀行キャッシュコーナー		
(総合研究棟B)	パン販売	
医学エリア	食堂	200
	喫茶	36
	書籍・文具	
	食品・日用雑貨	
	パン販売	
	自動販売機	
(4B棟)	パン販売	
	自動販売機	
体育・芸術エリア	食堂(1階)	144
	食堂(2階)	105
	画材・文具	
	喫茶(3階)	40
	写真・スポーツ用品	
	パン販売	
	自動販売機	
(総合研究棟D)	パン販売	

場 所	業 種	席数
春日エリア	食堂	188
	書籍・文具	
	自動販売機	
大学会館(本館)	レストラン	150
	大学オリジナルグッズ	
	自動販売機	
大学会館(別館)	郵便局	
	郵便局キャッシュコーナー	
	書籍・文具	
	食品・日用雑貨	
	画材等	
	トラベルサービス	
	銀行キャッシュコーナー	
自動販売機		
本部棟	レストラン	52
	パン販売	
	自動販売機	
中央図書館	コーヒーショップ	36
	銀行キャッシュコーナー	
平砂学生宿舎	食堂	180
	電化製品	
	理容	
	浴場	
	シャワー室	
	自動販売機	
追越学生宿舎	電化製品	
	美容	
	シャワー室	
	自動販売機	
一の矢学生宿舎	食品・日用品雑貨	
	電化製品	
	理容	
	シャワー室	
	自動販売機	

## (5) 奨学生数

## ア 日本学生支援機構奨学生

## (ア) 学群

(平成30年3月1日現在)

学群 ・ 学類		学生数	第一種	第二種	併用	計	比率 (%)
人文・文 化学群	人文学類	534	76	54	8	138	25.8
	比較文化学類	351	67	31	9	107	30.5
	日本語・日本語文化学類	186	26	26	4	56	30.1
	小計	1,071	169	111	21	301	28.1
社会・国 際学群	社会学類	372	34	43	6	83	22.3
	国際総合学類	381	50	39	9	98	25.7
	小計	753	84	82	15	181	24.0
人間学群	教育学類	154	22	16	5	43	27.9
	心理学類	221	33	24	4	61	27.6
	障害科学類	149	18	12	5	35	23.5
	小計	524	73	52	14	139	26.5
生命環境 学群	生物学類	343	30	28	8	66	19.2
	生物資源学類	530	72	42	6	120	22.6
	地球学類	222	17	32	5	54	24.3
	小計	1,095	119	102	19	240	21.9
理工学群	数学類	167	20	21	6	47	28.1
	物理学類	263	33	25	14	72	27.4
	化学類	212	26	21	6	53	25.0
	応用理工学類	527	69	39	10	118	22.4
	工学システム学類	568	63	48	14	125	22.0
	社会工学類	517	62	59	18	139	26.9
小計	2,254	273	213	68	554	24.6	
情報学群	情報科学類	396	69	26	15	110	27.8
	情報メディア創成学類	254	33	22	4	59	23.2
	知識情報・図書館学類	459	66	46	10	122	26.6
	小計	1,109	168	94	29	291	26.2
医学群	医学類	795	53	63	14	130	16.4
	看護学類	308	51	34	8	93	30.2
	医療科学類	165	33	14	2	49	29.7
	小計	1,268	137	111	24	272	21.5
体育専門学群	1,030	149	168	62	379	36.8	
芸術専門学群	462	77	59	18	154	33.3	
合 計	9,566	1,249	992	270	2,511	26.2	

(注) 1. 学生数は、外国人留学生を除いた数である。

2. 平成29年度の貸与月額は、次のとおりである。

第一種（自宅外通学） 51,000円, 30,000円からの選択制

第一種（自宅通学） 45,000円, 30,000円からの選択制

第二種 30,000円, 50,000円, 80,000円, 100,000円, 120,000円からの選択制

## (イ) 大学院

(平成30年3月1日現在)

課程・研究科	学生数	奨学生数				比率 (%)	
		第一種	第二種	併用	計		
(修士・博士前期・一貫制修士相当)	教育研究科	197	41	3	3	47	23.9
	人文社会科学研究科	154	44	4	0	48	31.2
	ビジネス科学研究科	351	5	6	1	12	3.4
	数理物質科学研究科	494	227	9	7	243	49.2
	システム情報工学研究科	768	339	15	20	374	48.7
	生命環境科学研究科	447	149	4	5	158	35.3
	人間総合科学研究科	840	224	8	25	257	30.6
	図書館情報メディア研究科	103	28	5	1	34	33.0
	グローバル教育院	13	2	0	0	2	15.4
	小計	3,367	1,059	54	62	1,175	34.9
(一貫制博士相当・博士課程・博士後期・医学)	人文社会科学研究科	172	28	2	1	31	18.0
	ビジネス科学研究科	133	0	0	0	0	0.0
	数理物質科学研究科	140	34	0	2	36	25.7
	システム情報工学研究科	155	20	0	4	24	15.5
	生命環境科学研究科	214	34	0	4	38	17.8
	人間総合科学研究科	852	114	2	7	123	14.4
	図書館情報メディア研究科	69	5	2	3	10	14.5
	グローバル教育院	34	0	0	0	0	0.0
	小計	1,769	235	6	21	262	14.8
合計	5,136	1,294	60	83	1,437	28.0	

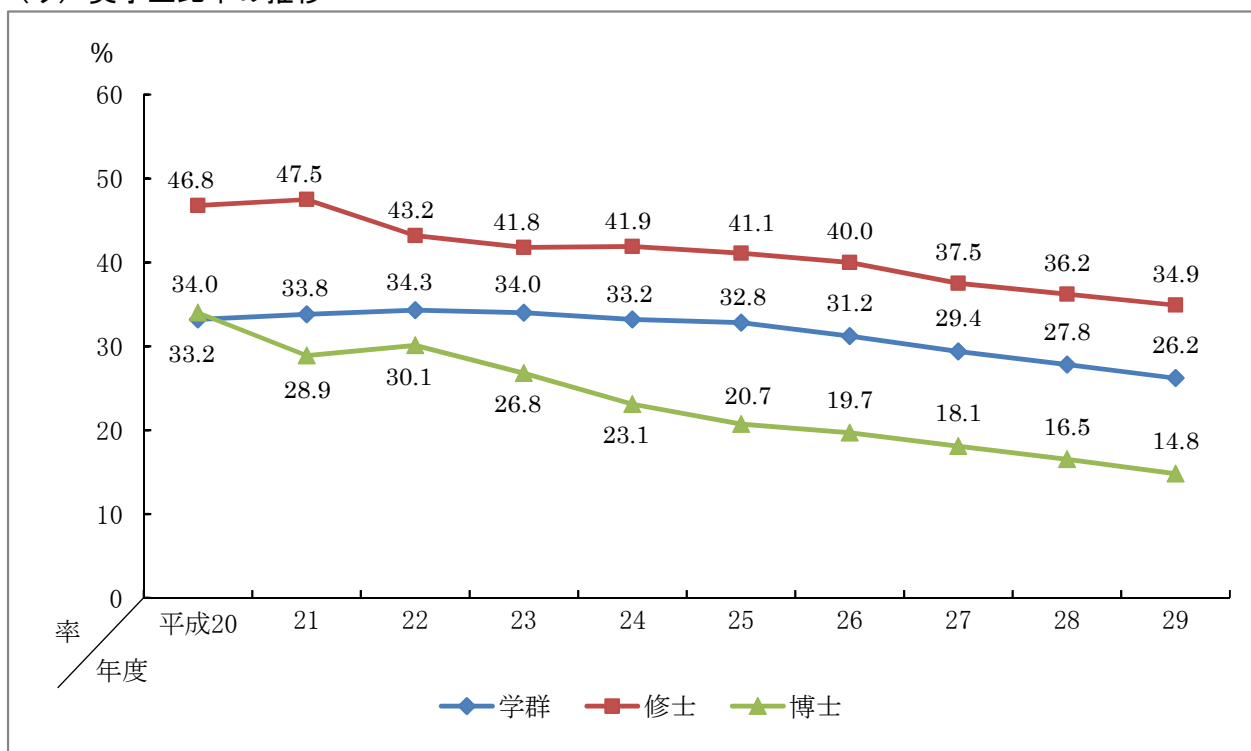
(注) 1. 学生数は、外国人留学生を除いた数である。

2. 専門職学位課程は、修士課程に含む。

3. 平成29年度の貸与月額は、次のとおりである。

第一種 (修士課程・博士前期課程)	1・2年	50,000円・88,000円からの選択制
第一種 (一貫制博士課程)	1・2年	50,000円・88,000円からの選択制
第一種 (一貫制博士課程)	3～5年	80,000円・122,000円からの選択制
第一種 (博士後期課程・博士医学課程)	1～4年	80,000円・122,000円からの選択制
第二種		50,000円, 80,000円, 100,000円, 130,000円, 150,000円からの選択制

(ウ) 奨学生比率の推移



イ 地方公共団体・民間育英団体奨学生

(平成30年3月1日現在)

奨学団体	学 群						大 学 院						合 計	
	給 与		貸 与		小 計		給 与		貸 与		小 計			
	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数
地方公共団体	2	2	12	23	14	25	0	0	0	0	0	0	14	25
民間育英団体	36	97	6	15	42	112	31	94	4	6	35	100	77	212
合 計	38	99	18	38	56	137	31	94	4	6	35	100	91	237



(6) アルバイト

職 種	求人件数
家庭教師	56
塾講師	99
語学教師	9
一 般	754
合 計	918

平成29年6月1日現在

(7) 学生団体数及び加入者数

\* ( )内は前年同月の数

系別	課外活動団体		一般学生団体		計	
	団体数	加入者数	団体数	加入者数	団体数	加入者数
文化系	37 ( 37 )	1,504 ( 1,462 )	58 ( 50 )	1,435 ( 1,254 )	95 ( 87 )	2,939 ( 2,716 )
体育系	74 ( 75 )	3,395 ( 3,323 )	33 ( 34 )	1,990 ( 1,951 )	107 ( 109 )	5,385 ( 5,274 )
芸術系	29 ( 33 )	1,375 ( 1,523 )	15 ( 10 )	493 ( 270 )	44 ( 43 )	1,868 ( 1,793 )
合 計	140 ( 145 )	6,274 ( 6,308 )	106 ( 94 )	3,918 ( 3,475 )	246 ( 239 )	10,192 ( 9,783 )

- (注) 1. 課外活動団体：学長が認定した学生団体のうち、援助・育成に値するもの  
 2. 一般学生団体：学長が認定した学生団体のうち、課外活動団体以外のもの

## (8) 課外活動団体の主な成績

## 【文化系】

団体名	競技会等名称・種目	団体・個人名等	成績	備考
アマチュア無線クラブ	第59回ALL JAコンテスト	JRIZTT	4位	XMA部門
E. S. S.	Japan National Debate Tournament	池・福田	優勝	ディベート
	NAFA九州	筑波A	優勝	ディベート
	NAFAみちのく	筑波大学	優勝	ディベート
	The 37th Annual All Japan intercollegiate Oratorical Contest for J. U. E. L Cup	横尾夏澄	3位	スピーチ
	The 31th EAST Japan intercollegiate English Oratorical Contest	横尾夏澄	3位	スピーチ
歌留多部	第28回全国かるた競技水沢大会	手塚亮太	優勝	A級
斬桐舞	第50回ふくろ祭り「第十八回東京よさこいコンテスト」	団体	企業賞 (レミネ賞)	
将棋部	関東大学将棋連盟 春季団体戦	団体	5位	B2級
	関東大学将棋連盟 秋季団体戦	団体	5位	B2級

## 【芸術系】

団体名	競技会等名称・種目	団体・個人名等	成績	備考
THK 筑波放送協会	第34回NHK全国大学放送コンテスト	団体	2位	映像CM部門
舞踏研究会	第114回東都大学学生競技ダンス選手権大会	宮下・古川	3位 6位	パソパブレ ルンパ

## 【体育系・部会】

団体名	競技会等名称・種目	団体・個人名等	成績	備考
アーチェリー部	2017年度関東学生アーチェリー連盟リーグ戦	男子	2位	2部Bグループ
		女子	4位	2部Bグループ
合気道部	第55回全日本合気道演武大会	団体	参加	※順位は出ない
	第57回全国大学学生合気道演武大会	団体	参加	※順位は出ない
男子アイスホッケー部	平成29年度関東大学アイスホッケーリーグ戦	団体	2部優勝	
オリエンテーリング部	2017オリエンテーリングジュニア世界選手権大会 (フィンランド)	増澤すず	4位	ミドルディスタンス競技C
	第2回アジアジュニア・ユースオリエンテーリング選手権大会 (中国)	増澤・宮本	1位	MW20スプリントリレー
		宮本和奏	3位	W20ミドルディスタンス競技
	第43回全日本オリエンテーリング大会	佐久間若菜	1位	W20B
	第6回全日本ミドルオリエンテーリング大会	増澤すず 山岸夏希	1位 3位	W20E W21E
2017年度日本学生オリエンテーリング選手権大会	増澤すず	2位 2位	スプリント競技 WE ロングディスタンス競技 WE	
弓道部	第47回全関東学生弓道選手権大会	男子団体 女子団体	準優勝 4位	
	第49回関東学生弓道選手権大会決勝大会	女子団体	優勝	
	第25回関東学生弓道選手権春季トーナメント大会決勝大会	男子団体 女子団体	準優勝 優勝	
	第65回全日本学生弓道選手権大会	男子団体	ベスト8	

剣道部	第65回全日本学生剣道優勝大会	男子団体	優勝	
	第51回全日本女子学生剣道選手権大会	大西ななみ	優勝	
	第36回全日本女子学生剣道優勝大会	団体	3位	
	第65回全日本学生剣道選手権大会	星子啓太	3位	
	第66回関東学生剣道優勝大会	男子団体	優勝	
	第43回関東女子学生剣道優勝大会	女子団体	優勝	
硬式庭球部	第29回ユニバーシアード競技大会（台北）	牛島里咲	銅メダル	女子団体
	三菱全日本テニス選手権92nd	米原・森崎	優勝	女子ダブルス
	全日本学生テニス選手権大会	米原・森崎	優勝	女子ダブルス
	平成29年度全日本大学対抗テニス王座決定試合	女子団体	準優勝	
硬式野球部	首都大学野球連盟2017春季リーグ戦1部	団体	2位	
	首都大学野球連盟2017秋季リーグ戦1部	団体	2位	
	2017年度首都大学野球新人戦	団体	準優勝	
	第66回関東甲信越大学体育大会	団体	優勝	
サイクリング部	UCIトラックワールドカップ第3戦（カナダ）	梶原悠未	金メダル	女子オムニアム
	UCIトラックワールドカップ第4戦（オーストラリア）	梶原悠未	金メダル	女子オムニアム
	第58回全日本学生選手権トラック自転車競技大会	梶原悠未	1位	女子 ホップ・イントレース、 インテリゲンシャル・パ シュート
	文部科学大臣杯第73回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	梶原悠未	1位	女子 ホップ・イントレース、 3Km1R、ロードレース
	第29回全日本学生個人ロードタイムトライアル自転車競技大会	梶原悠未	1位	女子 25.2Km
蹴球部	第29回ユニバーシアード競技大会（台北）	中野誠也 戸嶋祥郎 三苫 薫	金メダル	
	第97回天皇杯全日本サッカー選手権大会	団体	ベスト16	
	第41回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント	団体	3位	
	第66回全日本大学サッカー選手権大会	団体	ベスト8	
	JR東日本カップ 2017第91回関東大学サッカーリーグ戦1部	団体	優勝	
女子サッカー部	第29回ユニバーシアード競技大会（台北）	水谷有希	銀メダル	
	第23回関東大学女子サッカーリーグ戦1部	団体	8位	
	第25回全国大学女子サッカーつくばフェスティバル	団体	準優勝	一般リーグ

柔道部	第29回ユニバーシアード競技大会（台北）	能智亜衣美	金メダル	女子63kg級 女子団体
	2017年世界ジュニア選手権大会	田嶋剛希	優勝	男子90kg級
	グランドスラム・デュッセルドルフ大会	田川兼三	優勝	男子66kg級
	平成29年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会	石郷岡秀征 柴田理帆	優勝 優勝	男子73kg級 女子57kg級
	平成29年度全日本選抜柔道体重別選手権大会	津金恵	優勝	女子63kg級
	平成29年度全日本学生柔道体重別選手権大会	野上廉太郎 能智亜衣美	優勝 優勝	男子73kg級 女子63kg級
	講道館盃全日本柔道体重別選手権大会	佐々木健志	優勝	男子81kg級
	平成29年度全国国立大学柔道優勝大会	団体	優勝	
	平成29年度全日本学生柔道優勝大会	男子団体 女子団体	3位 2位	五人制
準硬式野球部	東都大学準硬式野球春季リーグ戦	団体	2部6位	
少林寺拳法部	茨城県大会	成田拓朗 木澤沙羅	優秀賞	
水泳部	第29回ユニバーシアード競技大会（台北）	平山友貴奈	金メダル 銅メダル	女子4×100mメドレーリレー 女子50mバタフライ
		榎本遥香 齊藤葵	銅メダル 銅メダル	女子飛込 団体 女子水球
	2017年度日本室内選手権飛込競技大会翼 ジャパンダイビングカップ	大久保柊	優勝	男子シロク高飛込
	第72回国民体育大会愛媛大会	榎本遼香	優勝	成年女子高飛込
	第93回日本選手権水泳競技大会飛込競技	榎本遼香	優勝	女子シロク高飛込
	第93回日本学生選手権水泳競技大会競泳 競技	平山友貴奈 岡野圭穂	優勝 優勝	女子100mバタフライ 女子50m自由形
	第93回日本学生選手権水泳競技大会飛込 競技	榎本遼香	優勝	女子高飛込 3m飛板飛込
	第93回日本選手権水泳競技大会水球競技	男子	ベスト8	
	第2回Japan waterpolo league	男子	4位	
	第64回全国国公立大学選手権水泳競技大会	男子 女子	優勝 優勝	
スキー部	第90回全日本学生スキー選手権大会	南雲亮佑	3位	男子SL
漕艇部	第39回全日本軽量級選手権大会	小原・柴田	準優勝	女子ダブルスカル
	第44回全日本大学選手権大会	濱谷奎介	2位	男子シングルスカル
	第95回全日本選手権大会	小原・柴田	総合4位	女子ダブルスカル
	第67回東日本選手権大会	柴田知実	1位	女子シングルスカル
	第40回東日本新人選手権競漕大会	宇内・高田	2位	男子ダブルスカル
男子ソフトボール部	関東学生男子ソフトボール春季リーグ戦	団体	Ⅱ部優勝	
女子ソフトボール部	関東学生女子ソフトボール春季リーグ戦	団体	Ⅲ部優勝	

体操部	3rd World Gym for Life Challenge 2017(ノルウェー)	団体	銀メダル	Small Dance Graupカテゴリー
	第23回全日本ラート競技選手権大会	森本修多	1位	男子直転
		松浦佑希	1位 2位	女子斜転、跳躍 女子個人総合
		富名腰真子	3位	女子個人総合、斜転
	平成29年度全日本学生ラート競技選手権大会	瓜兼汐里	1位	女子規定個人総合 跳躍
			2位	斜転、直転
		富名腰真子	1位	直転、斜転
2位			女子規定個人総合 跳躍	
山田光穂	3位	女子規定個人総合 直転、跳躍		
団体	1位			
体操競技部	第71回全日本学生体操競技選手権大会	男子	4位	団体総合
		女子	6位	団体総合
		小島廉生	3位	男子ゆか
	第66回関東甲信越大学体育大会	福家直子	3位	女子跳馬
井上和佳奈		3位	女子平均台	
第50回東日本学生体操競技選手権大会	男子	1位	団体総合	
	中根健太郎	1位	個人総合	
卓球部	ITTFチャレンジ・タイオープン アンダー21	坪井勇磨	優勝	男子シングルス
	第14回全日本学生選抜卓球選手権大会	坪井勇磨	優勝	男子シングルス
	第87回全日本大学総合卓球選手権大会	男子	3位	団体の部
	秋季関東学生卓球リーグ戦	男子	1部5位	
		女子	2部1位	
ダンス部	第30回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)	The mob	神戸市長賞	
	アーティストikum-pument イン・トヤマ2017	きのこのこのこ	北日本新聞社賞	
		adimaN	特別賞	
トライアスロン部	2017日本学生トライアスロン選手権観音寺大会女子選手権	団体	3位	
	2017日本学生スプリントトライアスロン選手権大会女子個人選手権	宮崎集	6位	
	2017関東学生トライアスロン選手権那須塩原大会	女子	3位	団体
軟式庭球部	東都大学ソフトテニス春季リーグ	男子 女子	5位 4位	
	第66回関東甲信越大学体育大会	井手・田村 射場・高杉	1位 2位	男子ダブルス 女子ダブルス
馬術部	関東学生馬術賞典総合馬術競技	団体	9位	
	第9回北関東学生馬術大会	団体	1位	
男子バスケットボール部	第69回全日本大学バスケットボール選手権大会	団体	準優勝	
	第66回関東大学バスケットボール選手権大会	団体	優勝	
女子バスケットボール部	第69回全日本大学バスケットボール選手権大会	団体	ベスト16	
	第7回関東大学女子バスケットボール新人戦	団体	6位	
	第66回関東大学女子バスケットボールリーグ戦	団体	1部6位	

バドミントン部	第29回ユニバーシアード競技大会	加藤美幸 柏原みき	銀メダル	混合団体
		加藤・柏原	銅メダル	女子ダブルス
	第68回全日本学生バドミントン選手権大会	女子団体 加藤・柏原	優勝 優勝	4連覇 女子ダブルス
	第6回全日本教育系学生バドミントン大会	牧野桂大 安田・香山	優勝 優勝	男子シングルス 女子ダブルス
	第60回東日本学生バドミントン選手権大会	女子団体	優勝	
	平成29年度関東大学バドミントン春季リーグ戦	女子団体 男子団体	1部優勝 2部優勝	
男子バレーボール部	第29回ユニバーシアード競技大会（台北）	秦 耕介 酒井啓輔	銅メダル	
	第70回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会	団体	準優勝	
	第36回東日本バレーボール大学選手権大会	団体	準優勝	
	平成29年度秋季関東大学1部バレーボールリーグ戦	団体	2位	
女子バレーボール部	第29回ユニバーシアード競技大会（台北）	井上愛里沙 丸尾遥香	銀メダル	
	第64回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会	団体	準優勝	
	第36回東日本バレーボール選手権大会	団体	優勝	
	2017年度春季関東大学女子1部バレーボールリーグ戦	団体	1位	
	2017年度秋季関東大学女子1部バレーボールリーグ戦	団体	3位	
男子ハンドボール部	(高松宮記念杯第60回)平成29年度全日本学生ハンドボール選手権大会	団体	準優勝	
	平成29年度関東学生ハンドボール春季リーグ戦	団体	1部優勝	
女子ハンドボール部	(高松宮記念杯第53回)平成29年全日本学生ハンドボール選手権大会	団体	3位	
	平成29年度関東学生ハンドボール春季リーグ戦	団体	1部2位	
	平成29年度関東学生ハンドボール秋季リーグ戦	団体	優勝	
フィールドホッケー部	平成29年度関東学生ホッケー春季リーグ戦	団体	3部3位	男子
	平成29年度関東学生ホッケー秋季リーグ戦	団体	3部優勝	男子
ヨット部	平成29年秋季関東学生ヨット選手権大会470予選	団体	25位	
ライフセービング部	全日本ライフセービング種目別選手権	古川萌子	3位	女子サーフスキー
	第32回全日本学生ライフセービング選手権大会	古川萌子 土肥はづき	4位 5位	女子サーフスキー
ラグビー部	平成29年度関東大学春季大会	団体	3位	Bカテゴリー
	2017年度関東大学対抗戦	団体	5位	Aリーグ
	第39回関東大学ジュニア選手権大会	団体	1位	カテゴリー2
男子ラクロス部	第29回関東学生ラクロスリーグ戦	団体	2部昇格	
	関東国公立大学対抗戦	団体	優勝	
女子ラクロス部	第29回関東学生ラクロスリーグ戦	団体	3部3位	Cカテゴリー
	関東国公立大学対抗戦	団体	優勝	

陸上競技部	第29回ユニバーシアード競技大会	山下潤	金メダル	4x100mR
	天皇賜杯第86回日本学生陸上競技対校選手権大会	男子 女子 辻川美乃利	総合7位 総合5位 1位	女子円盤投
	2017年日本学生陸上競技個人選手権大会	山下潤 森下大地 江原宇宙	1位 1位 1位	男子200m 男子砲丸投 女子ハンマー投
	第101回日本陸上競技選手権大会	辻川美乃利	1位	女子円盤投
	第96回関東学生陸上競技対校選手権大会	男子1部 女子1部	総合4位 総合2位	

【体育系・同好会】

団体名	競技会等名称・種目	団体・個人名等	成績	備考
剣道同好会	関東理工科系学生剣道大会	山田枝梨乃	3位	女子個人戦
サッカー同好会	スポーツマネジメント フレッシュマンズカップ	Aチーム	準優勝	
	スポーツマネジメント 夏の陣2017	Bチーム	準優勝	
トランポリン同好会	第52回全日本学生トランポリン競技選手権大会	上原・水谷	3位	男子シンクロナクラス
		女子団体	5位	Cクラス
バドミントン同好会	第37回UBFシングルス大会	小川拓真 猪股篤子	1位 2位	男子Bランク 女子Cランク
	第3回UBFオープン戦	櫻井・鈴木 太田・鈴木	1位 2位	女子2部ダブルス 男子1部ダブルス
医学アイスホッケー部	第60回東日本医科学生総合体育大会	団体	4位	
	関東医科歯科リーグ有山杯	団体	優勝	
医学弓道部	第13回花弓大会	団体	準優勝	
	第48回東日本看護学生弓道大会	団体	3位	
	第36回関東医学部予科学生弓道大会	団体	準優勝	
医学剣道部	第60回東日本医科学生総合体育大会	桶屋青葉	3位	女子個人戦
	看護学生交流剣道大会	富永涼風	優勝	女子個人戦
	看護学生交流剣道大会	女子団体	3位	
医学硬式庭球部	関東医科歯科リーグ春季団体戦	男子 女子	1部2位 2部5位	
	第60回東日本医科学生総合体育大会	男子団体	優勝	
医学ゴルフ部	全日本医科大学ゴルフ連盟秋季大会	男子団体 女子団体	ABリーグ入替戦1位 6位	
医学サッカー部	第60回東日本医科学生総合体育大会	団体	4位	
	第60回東日本国公立医学生サッカー大会	団体	準優勝	
医学準硬式野球部	北関東大学準硬式野球連盟春季リーグ戦	団体	2位	東地区
医学水泳部	第60回東日本医科学生総合体育大会	女子 男子	総合1位 総合8位	
	第66回関東甲信越大学体育大会	男子 女子	総合2位 総合1位	
医学卓球部	第60回東日本医科学生総合体育大会	男子団体	準優勝	
	春季関東医科学生卓球大会	男子団体	優勝	
医学バスケットボール部	第60回東日本医科学生総合体育大会	女子団体	準優勝	

医学バドミントン部	関東医科リーグ	男子団体	準優勝	1部
	第60回東日本医科学生総合体育大会	男子団体 女子団体	ベスト8 ベスト8	
医学バレーボール部	関東医科リーグ 秋季	団体	3位	
	関東医歯薬リーグ 秋季	団体	2部1位	
医学ハンドボール部	第60回東日本医科学生総合体育大会	男子部	3位	
	関東医歯薬獣系大学秋期大会	女子部	優勝	
医学ヨット部	第60回東日本医科学生総合体育大会	団体	4位	
	北日本医科学生総合体育大会	団体	優勝	
医学ラグビー部	第65回関東医歯薬大学ラグビーリーグ	団体	優勝	1部
医学陸上競技部	第60回東日本医科学生総合体育大会	男子 女子	総合優勝 総合優勝	
	第71回全関東医歯薬獣医科大学対抗陸上競技大会	男子 女子	総合優勝 総合優勝	
	第34回関東医科大学対抗陸上競技大会	男子 女子	総合優勝 総合優勝	



## (9) 就職等

### ア 国家試験等

#### (ア) 医師国家試験

第112回医師国家試験

試験日	平成30年2月10日(土)～11日(日)
受験者数	122名
合格者数	115名
合格率(%)	94.3%

[過去5年の合格率の推移]

第108回	第109回	第110回	第111回	第112回
99.0%	96.2%	94.1%	98.2%	94.3%

#### (イ) 司法試験

年度	受験者	短答式筆記試験合格者	最終合格者	合格率(%)
29	72	44	11	15.2%

#### (ウ) 国家公務員採用総合職試験

平成29年度試験結果				
試験区分		志願者数	一次合格者数	最終合格者数
行政	院卒	7 (3)	2 (1)	0 (0)
政治・国際	大卒	13 (8)	1 (1)	0 (0)
法律	大卒	32 (17)	1 (1)	0 (0)
経済	大卒	7 (3)	1 (1)	0 (0)
人間科学	院卒	14 (3)	11 (1)	3 (1)
	大卒	10 (7)	1 (1)	1 (1)
工学	院卒	19 (3)	10 (1)	3 (0)
	大卒	11 (1)	1 (1)	1 (1)
数理学・物理・地球科学	院卒	10 (0)	0 (0)	0 (0)
	大卒	9 (1)	3 (0)	1 (0)
化学・生物・薬学	院卒	5 (1)	1 (0)	1 (0)
	大卒	6 (3)	0 (0)	0 (0)
農業科学・水産	院卒	6 (3)	3 (1)	3 (1)
	大卒	12 (7)	4 (2)	2 (2)
農業農村工学	院卒	2 (2)	2 (2)	1 (1)
	大卒	1 (0)	0 (0)	0 (0)
森林・自然環境	院卒	6 (3)	2 (1)	2 (1)
	大卒	13 (3)	2 (0)	2 (0)
合計		183 (68)	45 (14)	20 (8)
合格率			24.6%	10.9%

前年度試験結果				
試験区分		志願者数	一次合格者数	最終合格者数
行政	院卒	10 (4)	4 (1)	1 (1)
政治・国際	大卒	16 (12)	3 (2)	0
法律	大卒	46 (22)	5 (2)	3 (2)
経済	大卒	18 (9)	5 (3)	4 (3)
人間科学	院卒	12 (5)	9 (4)	4 (2)
	大卒	5 (4)	1 (1)	1 (1)
工学	院卒	16 (3)	12 (3)	5 (1)
	大卒	19 (3)	4 (2)	2 (2)
数理学・物理・地球科学	院卒	10 (1)	4 (0)	1 (0)
	大卒	8 (3)	2 (1)	1 (1)
化学・生物・薬学	院卒	8 (4)	2 (1)	1 (0)
	大卒	7 (2)	1 (0)	0
農業科学・水産	院卒	7 (3)	3 (2)	2 (1)
	大卒	11 (5)	3 (1)	2 (1)
農業農村工学	院卒	3 (2)	1 (0)	1 (0)
	大卒	0	0	0
森林・自然環境	院卒	4 (3)	2 (1)	2 (1)
	大卒	9 (4)	1 (0)	1 (0)
合計		209 (89)	62 (24)	31 (16)
合格率			29.7%	14.8%

注) 人事院からの資料に基づき集計したもので、既卒者を含み、( )内は女子を内数で示す。

[過去5年の合格状況の推移]

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
志願者数	193	196	200	209	183
合格者数	17	18	22	31	20

## (工) 地方公務員上級採用試験

都道府県	受験者	合格者	都道府県	受験者	合格者
北海道	不開示	不開示	山口県	2	0
青森県	2	0	徳島県	不開示	不開示
岩手県	2	0	香川県	不開示	不開示
宮城県	0	0	愛媛県	不開示	不開示
秋田県	7	1	高知県	0	0
山形県	2	0	福岡県	4	1
福島県	2	1	佐賀県	0	0
茨城県	56	13	長崎県	不明	不明
栃木県	17	3	熊本県	0	0
群馬県	17	5	大分県	2	1
埼玉県	不開示	不開示	宮崎県	1	0
千葉県	不開示	不開示	鹿児島県	6	0
東京都	不開示	不開示	沖縄県	不明	1
神奈川県	8	2	札幌市	6	0
新潟県	6	1	仙台市	7	1
富山県	4	0	さいたま市	不開示	4
石川県	1	0	千葉市	不開示	1
福井県	3	1	特別区	不開示	不開示
山梨県	不開示	不開示	横浜市	28	7
長野県	不開示	不開示	川崎市	不開示	不開示
静岡県	11	4	相模原市	2	1
愛知県	3	2	新潟市	不開示	不開示
岐阜県	不開示	不開示	静岡市	3	1
三重県	2	0	浜松市	1	1
滋賀県	1	0	名古屋市	不開示	不開示
京都府	0	0	京都市	5	2
大阪府	1	1	大阪市	不明	不明
兵庫県	0	0	堺市	不開示	不開示
奈良県	不明	不明	神戸市	2	0
和歌山県	2	2	岡山市	2	1
鳥取県	1	0	広島市	不開示	不開示
島根県	不開示	不開示	北九州市	2	1
岡山県	不開示	不開示	福岡市	2	1
広島県	不開示	不開示	熊本市	不開示	不開示
			合計	223	60
			昨年度	272	79

- 注) 1. 重複受験者及び重複合格者を含む。  
 2. 各都道府県市人事委員会への照会を集計したものである。  
 3. 既卒者を含む。

## 〔過去5年の合格者数の推移〕

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
107	120	116	79	60

(才) 公立学校教員採用試験

都道府県	受験者	合格者	都道府県	受験者	合格者
北海道	5	1	山口県	6	1
青森県	9	3	徳島県	3	0
岩手県	10	4	香川県	16	1
宮城県	9	0	愛媛県	3	0
秋田県	14	1	高知県	3	1
山形県	不開示	不開示	福岡県	11	3
福島県	19	0	佐賀県	4	1
茨城県	128	49	長崎県	5	2
栃木県	29	10	熊本県	20	1
群馬県	33	9	大分県	5	0
埼玉県	34	14	宮崎県	9	1
千葉県	50	10	鹿児島県	10	1
東京都	109	19	沖縄県	12	0
神奈川県	37	6	札幌市	0	0
新潟県	不開示	不開示	仙台市	0	0
富山県	10	4	さいたま市	2	0
石川県	不開示	不開示	千葉市	千葉県と共通	千葉県と共通
福井県	8	5	横浜市	18	2
山梨県	11	2	川崎市	2	0
長野県	15	3	相模原市	1	0
静岡県	17	5	新潟市	1	1
愛知県	不開示	不開示	静岡市	1	0
岐阜県	7	3	浜松市	1	1
三重県	5	1	名古屋市	0	0
滋賀県	6	1	京都市	4	1
京都府	8	0	大阪市	0	0
大阪府	16	3	堺市	0	0
兵庫県	11	5	神戸市	3	1
奈良県	6	2	岡山市	3	2
和歌山県	6	1	広島市	広島県と共通	広島県と共通
鳥取県	5	2	北九州市	0	0
島根県	1	1	福岡市	不開示	不開示
岡山県	5	0	大阪府豊能地区	2	1
広島県	7	0	熊本市	3	1
			合計	778	186
			昨年度	819	199

- 注) 1. 重複受験者及び重複合格者を含む。  
 2. 各都道府県市教育委員会への照会を集計したものである。  
 3. 既卒者を含む。

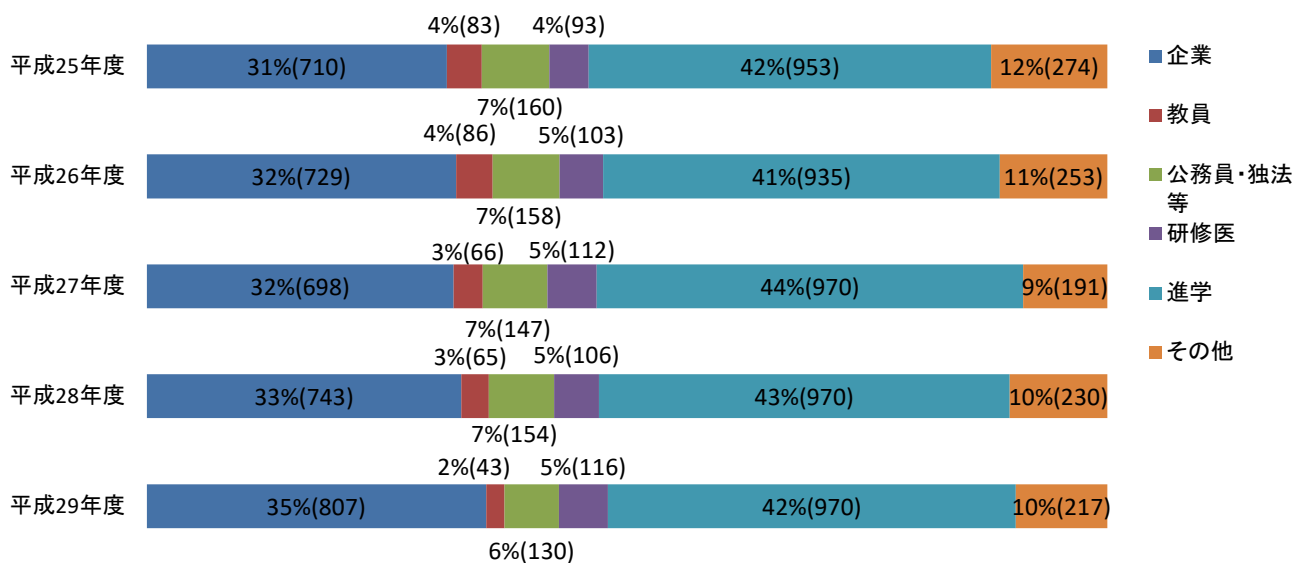
〔過去5年の合格者数の推移〕

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
273	227	215	199	186

# イ 就職

## (ア) 学 群

### ① 進路(就職)の推移



② 平成29年度学群・学類卒業生進路状況

(平成30年5月1日現在)

学群・学類	卒業生	進学者	就職者	就職者の内訳					その他		
				企業	教員	公務員	独法等	研修医	研究生等・留学	資格・試験等準備 他	
人文・文化学群	人文学類	120 (58)	17 (1)	75 (41)	58 (29)	2 (2)	13 (8)	2 (2)			28 (16)
	比較文化学類	85 (56) [3]	10 (5) [1]	67 (45) [2]	54 (40) [2]	4 (2)	9 (3)				8 (6)
	日本語・日本文化学類	40 (30) [1]	5 (4)	30 (23)	23 (17)	2 (1)	3 (3)	2 (2)			5 (3) [1]
社会学群・国際	社会学類	106 (38) [13] (7)	16 (6) [7] (4)	78 (30) [2] (2)	67 (25) [2] (2)		10 (4)	1 (1)		1	11 (2) [4] (1)
	国際総合学類	98 (56) [10] (6)	12 (5) [3] (2)	73 (44) [3] (2)	63 (39) [3] (2)		6 (4)	4 (1)			13 (7) [4] (2)
人間学群	教育学類	39 (15) [1]	12 (5)	22 (9) [1]	13 (5) [1]	3 (1)	6 (3)				5 (1)
	心理学類	50 (27) [1]	12 (9)	30 (14)	26 (12)		4 (2)				8 (4) [1]
	障害科学類	35 (31) [2] (2)	11 (9)	17 (17) [1] (1)	10 (10) [1] (1)	2 (2)	4 (4)	1 (1)			7 (5) [1] (1)
生命環境学群	生物学類	87 (45) [11] (6)	64 (34) [5] (5)	16 (9) [1]	11 (7) [1]	2 (1)	2	1 (1)			7 (2) [5] (1)
	生物資源学類	142 (67) [16] (13)	100 (43) [13] (10)	29 (18)	20 (12)		9 (6)				13 (6) [3] (3)
	地球学類	60 (27) [4] (4)	40 (18) [2] (2)	14 (5)	10 (4)	1	3 (1)				6 (4) [2] (2)
理工学群	数学類	37 (2)	20	12 (1)	6	6 (1)					5 (1)
	物理学類	57 (6)	47 (6)	7	7					1	2
	化学類	51 (8) [1]	40 (7)	11 (1) [1]	10 (1) [1]		1				
	応用理工学類	132 (19) [5] (4)	108 (14) [2] (1)	17 (3) [1] (1)	17 (3) [1] (1)					2	5 (2) [2] (2)
	工学システム学類	138 (18) [3]	123 (16) [1]	10 (2)	9 (2)		1			2 [1]	3 [1]
	社会工学類	130 (30) [2] (1)	72 (15) [1] (1)	51 (15)	48 (14)		3 (1)				7 [1]
情報学群	情報科学類	100 (6) [4] (1)	74 (3) [4] (1)	24 (3)	23 (3)		1				2
	情報メディア創成学類	71 (15)	36 (4)	31 (10)	31 (10)						4 (1)
	知識情報・図書館学類	107 (57) [1] (1)	18 (8) [1] (1)	77 (44) [1] (1)	62 (31)	1 (1)	11 (11)	3 (1)		2	10 (5)
医学群	医学類	120 (41)	1 (1)	116 (40)					116 (40)		3
	看護学類	82 (76) [1]	10 (9) [1]	68 (63)	52 (48)	3 (2)	13 (13)			1 (1)	3 (3)
	医療科学類	40 (28) [1]	22 (12)	14 (14)	13 (13)		1 (1)				4 (2) [1]
体育専門学群	250 (73)	61 (24)	161 (42)	133 (33)	17 (4)	11 (5)				3 (1)	25 (6)
芸術専門学群	106 (85) [1] (1)	39 (31) [1] (1)	46 (38)	41 (33)		4 (4)	1 (1)				21 (16)
学群合計	2,283 (914) [81] (46)	970 (289) [42] (28)	1,096 (531) [12] (6)	807 (391) [12] (6)	43 (17)	115 (73)	15 (10)	116 (40)	12 (2) [1]	205 (92) [26] (12)	

(注) ( )内は、女子を内数で示す  
[ ]は、留学生を内数で示す  
< >は留学生のうち女子を内数で示す

平成28年度卒業生

学群合計	2,268 (917) [58] (24)	970 (264) [33] (9)	1,068 (550) [9] (5)	743 (387) [9] (5)	65 (33)	128 (66)	26 (16)	106 (48)	7 (3)	223 (100) [16] (10)
------	--------------------------	-----------------------	------------------------	----------------------	---------	----------	---------	----------	-------	------------------------

③ 産業分類別進路状況 (学群)

(平成30年5月1日現在)

学群・学類	企業 (自営業を含む)											公務員					合計	平成28年度最終 (同期)			
	農業	林業	漁業	鉱業・採石業・砂利採取業	建設業	製造業	熱供給・水道業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸・通信業	卸売・飲食店	金融・保険業	不動産業・物品賃貸業	サービス業	分類不能産業	小計	教員			国家公務員 (国大法除)	独立行政法人等	地方公務員
人文・文化学群	人文学類					2 (2)	13 (4)		1	7 (3)	6 (3)	2 (2)	27 (15)	58 (29)	2 (2)	1 (1)	2 (2)	12 (7)	15 (10)	75 (41)	60 (33)
	比較文化学類					1 (1)	9 (7)		6 (3)	7 (5)	4 (3)	2 (2)	25 (19)	54 (40)	4 (2)	1		8 (3)	9 (3)	67 (45)	57 (40)
	日本語・日本文化学類						7 (5)		2 (5)	5 (5)	1	1 (1)	7 (6)	23 (17)	2 (1)		2 (2)	3 (3)	5 (5)	30 (23)	30 (24)
社会学群・国際	社会学類					3 (2)	10 (3)	1 (1)	3 (1)	4 (5)	15 (5)	4	27 (13)	67 (25)		3 (1)	1 (1)	7 (4)	11 (5)	78 (30)	84 (30)
	国際総合学類					1 (1)	9 (6)		7 (3)	2 (1)	6 (5)	2	36 (23)	63 (39)	2 (2)	4 (1)	4 (2)	10 (5)	73 (44)	65 (41)	
人間学群	教育学類						3 (2)					1 (3)	9 (3)	13 (5)	3 (1)	2 (2)		4 (1)	6 (3)	22 (9)	18 (9)
	心理学類					2 (1)			2 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (8)	16 (8)	26 (12)		1		3 (2)	4 (2)	30 (14)	26 (11)
	障害科学類								1 (1)	2 (2)	1 (1)	6 (6)	10 (10)	2 (2)		1 (1)	4 (4)	5 (5)	17 (17)	21 (17)	
生命環境学群	生物学類						4 (2)			3 (3)	1	3 (2)	11 (7)	2 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	3 (1)	16 (9)	23 (10)	
	生物資源学類						8 (4)			1 (2)	3 (2)	8 (6)	20 (12)		2 (1)		7 (5)	9 (6)	29 (18)	36 (22)	
	地球学類					1 (1)	1		1	1		6 (3)	10 (4)	1 (1)	1		2 (1)	3 (1)	14 (5)	11 (5)	
理工学群	数学類										2	4	6 (1)	6 (1)					12 (1)	11 (3)	
	物理学類						3					4	7						7	13 (2)	
	化学類						4 (1)			1		5	10 (1)				1	1	11 (1)	5 (4)	
	応用理工学類					1 (1)	7 (1)		1		1 (1)	6	17 (3)						17 (3)	14 (3)	
	工学システム学類					1	1					7 (2)	9 (2)				1	1	10 (2)	15 (1)	
情報学群	社会工学類					2 (1)	6 (2)		1 (1)	3 (3)	9 (3)	1 (7)	26 (14)	48 (14)				3 (1)	3 (1)	51 (15)	67 (16)
	情報科学類						3				2	18 (3)	23 (3)				1	1	24 (3)	19 (1)	
	情報メディア創成学類						2 (1)		2	1		26 (9)	31 (10)						31 (10)	20 (10)	
医学群	知識情報・図書館学類					9 (4)		2 (2)	5 (4)	5 (2)		41 (19)	62 (31)	1 (1)	1 (1)	3 (1)	10 (10)	14 (12)	77 (44)	80 (48)	
	医学類																				
	看護学類						1 (1)					51 (47)	52 (48)	3 (2)			13 (13)	13 (13)	68 (63)	74 (69)	
医学群	医療科学類						3 (3)					10 (10)	13 (13)				1 (1)	1 (1)	14 (14)	13 (12)	
	体育専門学群					5 (2)	35 (6)	5 (1)	9 (1)	6 (8)	23 (1)	6 (14)	44 (208)	133 (33)	17 (4)	1 (1)	10 (4)	11 (5)	161 (42)	154 (48)	
芸術専門学群					1 (6)	8 (6)	1 (1)	2 (2)	2 (2)	2 (2)		25 (20)	41 (33)			1 (1)	4 (4)	5 (5)	46 (38)	46 (43)	
学群合計					20 (11)	147 (59)	7 (3)	39 (11)	51 (28)	84 (36)	22 (8)	437 (235)	807 (391)	43 (17)	16 (8)	15 (10)	99 (65)	130 (83)	980 (491)	962 (502)	
平成28年度最終 (同期)	3 (1)				22 (11)	135 (60)	6 (3)	42 (19)	50 (32)	86 (44)	26 (9)	373 (208)	743 (387)	65 (33)	22 (9)	26 (16)	106 (57)	154 (82)	962 (502)		

(注) ( ) 内は女子を内数で示す

(イ) 大学院

① 平成29年度修了者の進路状況

(平成30年5月1日現在)

研究科	修了者	進学者	就職者	就職者の内訳				研究員	その他			
				企業	教員	公務員	独法等		職務復帰	帰国	研究生等・留学	資格・試験等準備等
教 育	77 (26)	3	52 (21)	11 (5)	39 (16)	2			10 (4)			12 (1)
人 文 社 会 学 科 (修士課程)	44 (23) [35] (20)	12 (7) [9] (5)	12 (6) [6] (5)	9 (4) [4] (3)		2 (2) [2] (2)	1		11 (6) [11] (6)	8 (3) [8] (3)		1 (1) [1] (1)
人 文 社 会 学 科 (博士前期課程)	72 (50) [42] (32)	14 (9) [9] (6)	36 (21) [18] (12)	32 (19) [18] (12)		1	3 (2)		1 (1)	14 (13) [14] (13)		7 (6) [1] (1)
ビ ジ ネ ス 学 科 (博士前期課程)	66 (17)								65 (17)			1
ビ ジ ネ ス 学 科 (専門職学位課程)	33 (16) [1] (1)		1 (1) [1] (1)	1 (1) [1] (1)					30 (14)	2 (1)		
数 理 物 質 学 科 (博士前期課程)	246 (37) [26] (10)	22 (1) [5]	210 (31) [13] (6)	193 (28) [13] (6)	8 (2)	8 (1)	1			8 (4) [8] (4)		6 (1)
シ ス テ ム 情 報 工 学 科 (博士前期課程)	463 (79) [116] (39)	31 (7) [16] (5)	376 (54) [61] (19)	362 (50) [61] (19)		8 (3)	6 (1)		3 (1)	37 (14) [37] (14)		16 (3) [2] (1)
生 命 環 境 学 科 (博士前期課程)	277 (128) [94] (45)	42 (15) [21] (8)	164 (81) [14] (9)	136 (70) [13] (8)	4 (2)	19 (5)	5 (4) [1] (1)		3 (2)	57 (27) [57] (27)	1	10 (3) [2] (1)
人 間 総 合 学 科 (修士課程)	107 (52) [19] (14)	16 (9) [5] (2)	42 (17) [1] (1)	39 (16) [1] (1)	1	1 (1)	1	1	29 (13)	10 (8) [10] (8)	1 (1) [1] (1)	8 (4) [2] (2)
人 間 総 合 学 科 (博士前期課程)	353 (186) [68] (45)	58 (28) [8] (6)	149 (86) [20] (14)	109 (65) [20] (14)	23 (11)	16 (9)	1 (1)	2	41 (18)	37 (22) [37] (22)	4 (2)	62 (30) [3] (3)
図 書 館 情 報 メ デ ィ ア (博士前期課程)	59 (29) [15] (11)	4 (2)	44 (20) [10] (7)	39 (17) [9] (6)	2 (1) [1] (1)	1 (1)	2 (1)		4 (2)	5 (4) [5] (4)		2 (1)
グ ロー バ ル 教 育 院 (博士前期課程)	8 (4) [8] (4)	3 (2) [3] (2)	1 (1) [1] (1)	1 (1) [1] (1)				1 [1]		3 (1) [3] (1)		
修 士 合 計	1,805 (647) [424] (221)	205 (80) [76] (34)	1,087 (339) [145] (75)	932 (276) [141] (71)	77 (32) [1] (1)	58 (22) [2] (2)	20 (9) [1] (1)	4 [1]	197 (78) [11] (6)	181 (97) [179] (96)	6 (3) [1] (1)	125 (50) [11] (9)

(注) 1 ( )内は女子を内数で示す

2 [ ]は、留学生を内数で示す < >は留学生のうち女子を内数で示す

平成28年度修了者

修 士 合 計	1,779 (578) [359] (168)	231 (65) [69] (22)	1,112 (330) [136] (69)	941 (265) [131] (64)	97 (34) [4] (4)	60 (26) [1] (1)	14 (5)	3 (2) [1] (1)	184 (68) [12] (4)	135 (68) [135] (68)	4	110 (45) [6] (4)
---------	----------------------------	-----------------------	---------------------------	-------------------------	--------------------	--------------------	--------	------------------	----------------------	------------------------	---	---------------------

研究科	修了者	進学者	就職者	就職者の内訳				研究員	博士特別研究員	その他				
				企業	教員	公務員	独法等			職務復帰	帰国	研究生等・留学	資格・試験等準備等	
博士課程	人文社会科学 (一貫制博士課程)	18 (9) [5] (3)		6 (1) [2] (1)		6 (1) [2] (1)		4 (2) [1]	3 (2)	1 (1)	2 (2) [2] (2)		2 (1)	
	人文社会科学 (博士後期課程)	16 (9) [7] (6)		9 (3) [1] (1)	2 (1)	6 (2) [1] (1)		1	1 (1) [1] (1)	2 (1) [1]	4 (4) [4] (4)			
	ビジネス科学 (博士後期課程)	5 (1)								5 (1)				
	ビジネス科学 (専門職学位課程)	27 (2)		2	2					24 (2)			1	
	数理解物質科学 (博士後期課程)	45 (5) [10]		18 (2) [2]	12 [2]	3 (1)	1	2 (1)	8 (2)	4 (1) [1]	8 [1]	6 [6]		1
	数理解物質科学 (3年制博士課程)	14 (5) [8] (4)		7 (2) [4] (2)	3 (1) [1] (1)			4 (1) [3] (1)	1 (1)		2	2 (1) [2] (1)		2 (1) [2] (1)
	システム情報工学 (博士後期課程)	52 (10) [17] (6)	2 (1) [1] (1)	24 (1) [6]	14 [3]	3 [2]	2	5 (1) [1]	1	2 [1]	8 (2)	9 (5) [9] (5)		6 (1)
	生命環境科学 (一貫制博士課程)	5 (1) [2]		2 (1) [1]			1 [1]	1 (1)	2			1 [1]		
	生命環境科学 (博士後期課程)	117 (40) [47] (24)		42 (17) [14] (9)	20 (7) [5] (3)	5 (1) [1]	2	15 (9) [8] (6)	15 [4]	3 (1)	27 (6) [2] (1)	27 (14) [27] (14)		3 (2)
	生命環境科学 (3年制博士課程)	2 (2)									2 (2)			
	人間総合科学 (一貫制博士課程)	69 (20) [15] (12)		21	21				6 (3) [2] (2)	1 (1) [1] (1)	28 (7)	12 (9) [12] (9)	1	
	人間総合科学 (博士後期課程)	45 (28) [4] (3)		19 (13) [1] (1)	4 (3)	14 (9) [1] (1)	1 (1)		5 (1)	2 (1) [2] (1)	13 (7)	2 (2) [1] (1)		4 (4)
	人間総合科学 (3年制博士課程)	30 (12) [2]		14 (8) [1]	3 (1) [1]	11 (7)			5		7 (2)	1 [1]		3 (2)
	図書館情報メディア (博士後期課程)	7 (5) [2] (2)		1		1					3 (3)	2 (2) [2] (2)		1
	グローバル教育院 (一貫制博士課程)	14 (9) [10] (7)	4 (1) [2] (1)	6 (5) [4] (3)	5 (5) [3] (3)			1 [1]	2 (1) [2] (1)	1 (1) [1] (1)	1 (1) [1] (1)			
博士合計	466 (158) [129] (67)	6 (2) [3] (2)	171 (53) [36] (17)	86 (18) [15] (7)	49 (21) [7] (3)	7 (1) [1]	29 (13) [13] (7)	49 (10) [9] (3)	17 (8) [7] (4)	131 (35) [5] (2)	68 (39) [67] (38)	1	23 (11) [2] (1)	

(注)1 ( )内は女子を内数で示す

2 [ ]は、留学生を内数で示す ( )は留学生のうち女子を内数で示す

平成28年度修了者

博士合計	450 (135) [108] (44)		138 (38) [12] (5)	75 (15) [7] (2)	39 (19) [1] (1)	3	21 (4) [4] (2)	61 (15) [26] (6)	37 (14) [15] (7)	136 (30) [5] (1)	50 (24) [49] (24)	1	27 (14) [1] (1)
------	-------------------------	--	----------------------	--------------------	--------------------	---	-------------------	---------------------	---------------------	---------------------	----------------------	---	--------------------



② 産業分類別進路状況 (大学院)

(平成30年5月1日現在)

研究科	企業(自営業を含む)													公務員					合計	平成28年度最終 (同期)		
	農業	林業	漁業	鉱業・採石業・ 砂利採取業	建設業	製造業	熱供給・水道業	電気・ガス・ 熱供給・水道業	運輸・通信業	卸売・小売業・ 飲食店	金融・保険業	不動産業・ 物品賃貸業	サービス業	分類不能産業	小計	教員	(国家公務員 国家公務員 (国家公務員 除)	独立行政法人等			地方公務員	小計
教育研究科						3 (2)				2			6 (3)	11 (5)	39 (16)				2	2	52 (21)	58 (20)
人間総合科学研究科 (修士課程)						18 (7)	1			1 (1)			19 (8)	39 (16)	1		1		1 (1)	2	42 (17)	27 (13)
人文社会科学研究科 (修士課程)					1 (1)	2				1			5 (3)	9 (4)		2 (2)	1			3 (2)	12 (6)	9 (6)
人文社会科学研究科 (博士前期課程)						4 (3)				3 (1)	2 (1)		23 (14)	32 (19)			3 (2)		1	4 (2)	36 (21)	23 (15)
ビジネス科学研究科 (博士前期課程)																						
数理物質科学研究科 (博士前期課程)					2	149 (24)	3 (1)	6 (1)			1		32 (2)	193 (28)	8 (2)	5 (1)	1		3	9 (1)	210 (31)	224 (31)
システム情報工学研究科 (博士前期課程)					9 (4)	168 (18)	6 (3)	39 (1)	6 (2)	1 (1)	13	5	121 (19)	362 (50)		1 (1)	6 (1)	7 (3)	14 (4)	376 (54)	379 (57)	
生命環境科学研究科 (博士前期課程)	1	1 (1)		1	6 (3)	69 (32)	1 (1)	3 (1)	7 (2)	3 (4)	6 (2)		41 (25)	136 (70)	4 (2)	6 (1)	5 (4)	13 (4)	24 (9)	164 (81)	193 (93)	
人間総合科学研究科 (博士前期課程)					3 (1)	16 (5)				7 (4)	3 (2)	4 (3)	76 (50)	109 (65)	23 (11)	5 (3)	1 (1)	11 (6)	17 (10)	149 (86)	160 (79)	
図書館情報メディア研究科 (博士前期課程)					1 (4)	6 (4)			4 (1)	2 (1)		1	25 (11)	39 (17)	2 (1)		2 (1)	1 (1)	3 (2)	44 (20)	39 (16)	
グローバル教育院 (博士前期課程)						1 (1)								1 (1)							1 (1)	
ビジネス科学研究科 (国際経営)						1 (1)								1 (1)							1 (1)	
修士合計	1	1 (1)		1	22 (9)	437 (97)	11 (2)	52 (13)	24 (11)	26 (5)	9 (3)	348 (135)	932 (276)	77 (32)	19 (7)	20 (9)	39 (15)	78 (31)	1,087 (339)	1,112 (330)		
平成28年度最終(同期)	2		1 (1)		32 (9)	439 (102)	13 (1)	61 (13)	28 (13)	16 (5)	5 (1)	344 (120)	941 (265)	97 (34)	19 (5)	14 (5)	41 (21)	74 (31)	1,112 (330)			

研究科	企業(自営業を含む)													公務員					合計	平成28年度最終 (同期)	
	農業	林業	漁業	鉱業・採石業・ 砂利採取業	建設業	製造業	熱供給・水道業	電気・ガス・ 熱供給・水道業	運輸・通信業	卸売・小売業・ 飲食店	金融・保険業	不動産業・ 物品賃貸業	サービス業	分類不能産業	小計	教員	(国家公務員 国家公務員 (国家公務員 除)	独立行政法人等			地方公務員
人文社会科学研究科 (一貫制博士課程)															6 (1)					6 (1)	2 (2)
人文社会科学研究科 (博士後期課程)													2 (1)	2 (1)	6 (2)		1			1 (3)	2 (2)
ビジネス科学研究科 (博士後期課程)																					
数理物質科学研究科 (一貫制博士課程)																					
数理物質科学研究科 (博士後期課程)						9							3	12 (1)	3 (1)	1 (1)	2 (1)		3 (1)	18 (2)	15 (3)
数理物質科学研究科 (3年制博士課程)						3 (1)								3 (1)			4 (1)		4 (1)	7 (2)	1
システム情報工学研究科 (一貫制博士課程)																					
システム情報工学研究科 (博士後期課程)						2	2	3					7	14	3	1	5 (1)	1	7 (1)	24 (1)	19 (2)
生命環境科学研究科 (一貫制博士課程)																1 (1)	1 (1)		2 (1)	2 (1)	3
生命環境科学研究科 (博士後期課程)						13 (5)							7 (2)	20 (7)	5 (1)	1 (9)	15 (9)	1	17 (9)	42 (17)	21 (6)
生命環境科学研究科 (3年制博士課程)																					
人間総合科学研究科 (一貫制博士課程)						1							19	21						21	26 (4)
人間総合科学研究科 (博士後期課程)													4 (3)	4 (3)	14 (9)			1 (1)	1 (1)	19 (13)	28 (12)
人間総合科学研究科 (3年制博士課程)													3 (1)	3 (1)	11 (7)					14 (8)	13 (4)
図書館情報メディア研究科 (博士後期課程)															1					1	2 (1)
グローバル教育院 (一貫制博士課程)						2 (2)		1 (1)					2 (2)	5 (5)			1		1 (5)	6 (5)	5 (1)
グローバル教育院 (博士後期課程)																					
ビジネス科学研究科 (法曹)													2	2						2	
博士合計						30 (8)	2	4 (1)		1		49 (9)	86 (18)	49 (21)	4	29 (13)	3 (1)	36 (14)	171 (53)	137 (37)	
平成28年度最終(同期)	1				1	21 (4)		2	1	1		47 (10)	74 (14)	39 (19)	1	21 (4)	2	24 (4)	137 (37)		

(注) ( )内は女子を内数で示す

## 6 国際交流関係

### (1) 教職員等の交流

(平成29年度)

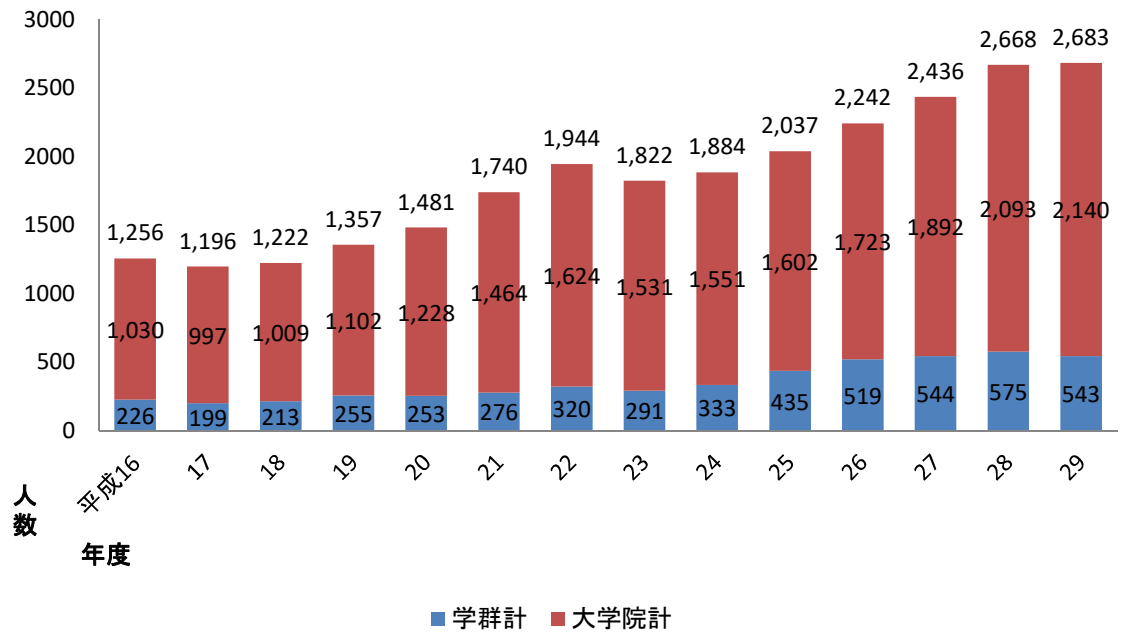
交流組織	外国人研究者の受入数										教職員等の海外派遣数							合計		
	外国人 研究員	外国人 教員	外国人 の非常勤 講師	小 計	本 学 の 資 金	科 学 研 究 費 補 助 金	日 本 学 術 振 興 会	科 学 技 術 振 興 機 構	そ の 他	小 計	合 計	科 学 研 究 費 補 助 金	教 育 研 究 費	日 本 学 術 振 興 会	国 際 協 力 機 構	科 学 技 術 振 興 機 構	そ の 他			
学群	人文・文化学群			3	3	4				3	7	10	1					1		
	社会・国際学群			5	5						0	5						0		
	人間学群				0						0	0					1	1		
	生命環境学群			5	5			10			10	15	7					7		
	理工学群			1	1						0	1	1					1		
	情報学群				0						0	0						0		
	医学群			1	1						0	1						0		
修士専門課程	体育専門学群			0						0	0						1	1		
	芸術専門学群			1	1	2				2	3							0		
博士課程	教育研究科				0						0	0	1					1		
	人文社会科学研究科			16	16				2	2	18	4			1		3	8		
	ビジネス科学研究科			5	5					0	5		3				1	4		
	数理物質科学研究科			4	4					0	4	1						1		
	システム情報工学研究科			2	2				1	1	3	1	3			2		6		
	生命環境科学研究科			10	10				2	2	12	2	4					6		
	人間総合科学研究科			2	2	23			1	24	26	4	10				4	18		
図書館情報メディア研究科				0					0	0							0			
グローバル教育院			28	1	29	18	2	34	7	61	90		2			1	2	5		
系	人文社会系	5	39	44	33	27	7	1	35	103	147	161	66	49	3		50	329		
	ビジネスサイエンス系		7	7	6	1				7	14	48	33		4		31	116		
	数理物質系	12	21	33	39	26	4	2	24	95	128	159	66	15		1	90	331		
	システム情報系	7	11	18	12	10	2		34	58	76	117	60	1	11	1	125	315		
	生命環境系	19	22	41	29	19	5	14	57	124	165	99	137	24	19		130	409		
	人間系	4	7	11	4	56	1		24	85	96	76	60	2	3		29	170		
	体育系	5	12	17	22	5	8			25	60	77	50	66	2	1	169	288		
	芸術系	6	3	9		12				58	70	79	52	25				42	119	
	医学医療系	8	14	22	7	5				13	25	47	103	80	19	1		233	436	
	図書館情報メディア系	2	5	7	1	8		1	651	661	668	34	32				3	35	104	
	センター等	計算科学研究センター	7	3	10	17	2	6	4	32	61	71	39	47	2	1	41	48	178	
下田臨海実験センター				0	10	3			24	37	37	2		1			1	4		
遺伝子実験センター				0					6	6	6	4	11	1	1		10	27		
プラズマ研究センター				0				1	53	54	54		5					5		
生命領域学際研究センター		1	1	2	1				1	2	4	5	10					5	20	
グローバルコミュニケーション教育センター				5	5	3				3	8	4	7		1			12		
体育センター				0						0	0		1					1	2	
アドミッションセンター				0						0	0								0	
北アフリカ研究センター		2		2					6	6	8		8		7			10	25	
学術情報メディアセンター				0						0	0		8					1	9	
研究基盤総合センター				0						0	0								0	
サイバニクス研究センター			1	1						0	1						1		1	
アイソトープ環境動態研究センター		1		1	3	2	3		3	11	12	3	1					11	15	
保健管理センター				0						0	0								0	
大学研究センター				0	5	3			1	9	9								0	
学際物質科学研究センター				0					2	2	2								0	
農林技術センター				0						0	0								0	
山岳科学センター				0	1				3	4	4	1							1	
教育開発国際協力研究センター		6		6	24				37	61	67		1						1	
生命科学動物資源センター				0						0	0								0	
次世代医療研究開発・教育統合センター				0						0	0								0	
知的コミュニティ基盤研究センター				0	6		14			20	20		2						1	3
陽子線医学利用研究センター				0					9	9	9	5							7	12
特別支援教育研究センター				0					3	3	3									0
医療科教員養成施設				0						0	0									0
薬類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター		1		1					1	1	2								3	3
人工知能科学センター				0					7	7	7									0
エネルギー物質科学研究センター				0	2				2	4	4									0
ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端科学研究センター				0	2				1	3	3									0
つくば機能植物イノベーション研究センター				0	1	1			23	25	25								3	3
つくば臨床医学研究開発機構				0	1					1	1									0
数理物質融合科学センター				0	1					1	1									0
生存ダイナミクス研究センター				2	2		1		2	3	5	1								1
プレジジョン・メディシン開発研究センター			0						0	0								1	1	
ヘルスサービス開発研究センター	1		1						0	1	1							1	2	
国際統合睡眠医学研究機構	10	5	15	1	2	3		15	21	36	18	1	1				15	35		
附属図書館			0						0	0									0	
附属病院			0					16	16	16	1	9	1					20	31	
附属学校教育局			0						0	0	1								1	
附属学校			3	3	2			30	32	35	4	46		3				66	119	
本部・事務・技術職他		2	1	3	52		16	224	292	295	5	133	41	5			31	215		
合計	97	183	65	345	332	185	113	23	1,438	2,091	2,436	1,015	937	159	61	50	1,181	3,403		

(2) 学生の交流

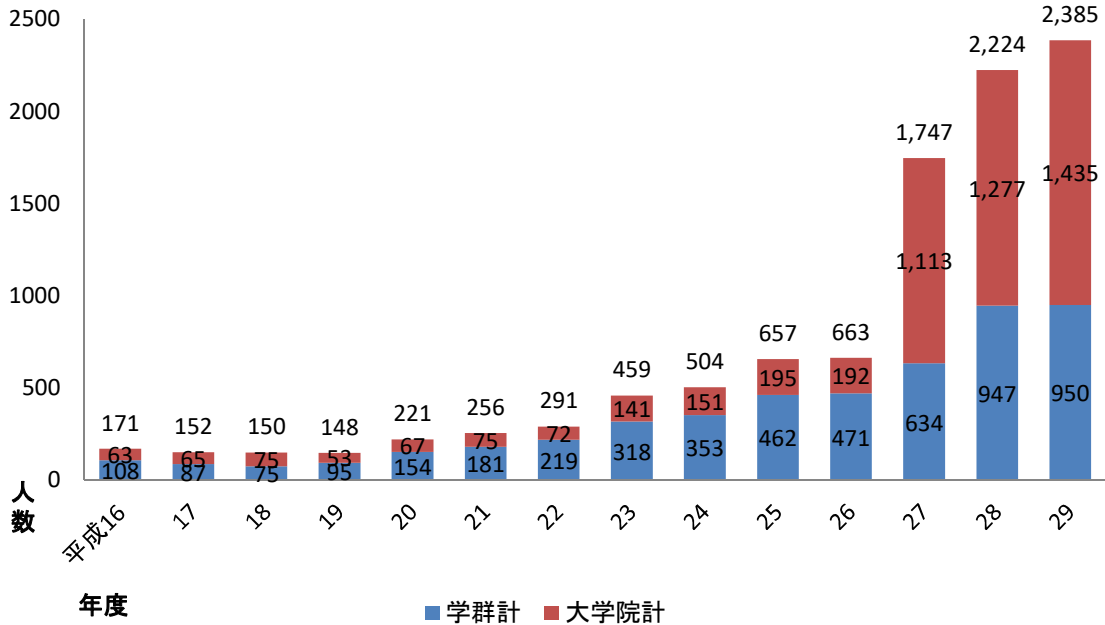
区 分		外国人留学生の受入れ数			学生の海外派遣数			合 計
		学生院生	研究生等	小 計	国 費	私 費 そ の 他	小 計	
第 一 学 群	人 文 学 類			0			0	0
	社 会 学 類			0			0	0
	自 然 学 類			0			0	0
第 二 学 群	比 較 文 化 学 類			0			0	0
	日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類			0			0	0
	人 間 学 類			0			0	0
	生 物 学 類			0			0	0
	生 物 資 源 学 類			0			0	0
第 三 学 群	社 会 工 学 類			0			0	0
	国 際 総 合 学 類			0			0	0
	情 報 学 類			0			0	0
	工 学 シ ス テ ム 学 類			0			0	0
	工 学 基 礎 学 類			0			0	0
医 学 専 門 学 群				0			0	0
図 書 館 情 報 専 門 学 群				0			0	0
人 文 ・ 文 化 学 群	人 文 学 類	3	15	18		51	51	69
	比 較 文 化 学 類	10	16	26		73	73	99
	日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類	11	36	47		31	31	78
社 会 ・ 国 際 学 群	社 会 学 類	41	6	47		36	36	83
	国 際 総 合 学 類	47	31	78		189	189	267
人 間 学 群	教 育 学 類	1		1		14	14	15
	心 理 学 類	5	2	7		17	17	24
	障 害 科 学 類	3		3		12	12	15
生 命 環 境 学 群	生 物 学 類	64	4	68		32	32	100
	生 物 資 源 学 類	79	37	116		99	99	215
	地 球 学 類	17	2	19		27	27	46
理 工 学 群	数 学 類	2		2		3	3	5
	物 理 学 類	7	1	8		7	7	15
	化 学 類	4		4		3	3	7
	応 用 理 工 学 類	20	2	22		18	18	40
	工 学 シ ス テ ム 学 類	14	1	15		38	38	53
	社 会 工 学 類	11	1	12		22	22	34
情 報 学 群	情 報 科 学 類	11	4	15		20	20	35
	情 報 メ デ ィ ア 創 成 学 類	5		5		36	36	41
	知 識 情 報 ・ 図 書 館 学 類	4		4		37	37	41
医 学 群	医 学 類		1	1		54	54	55
	看 護 学 類	4		4		29	29	33
	医 療 科 学 学 類	3	1	4		21	21	25
体 育 専 門 学 群		1	1	2		34	34	36
芸 術 専 門 学 群		4	5	9		47	47	56
グ ロー バ ル 教 育 院 地 球 規 模 課 題 学 位 プ ロ グ ラ ム		6		6			0	0
学 群 計		377	166	543	0	950	950	1,493
修 士 課 程	地 域 研 究 科			0			0	0
	教 育 研 究 科	6	18	24		15	15	39
	環 境 科 学 研 究 科			0			0	0
	体 育 研 究 科			0			0	0
	芸 術 研 究 科			0			0	0
	修 士 課 程 小 計	6	18	24	0	15	15	39
博 士 課 程	人 文 社 会 科 学 研 究 科	303	140	443		116	116	559
	ビ ジ ネ ス 科 学 研 究 科			0		11	11	11
	数 理 物 質 科 学 研 究 科	130	33	163		183	183	346
	シ ス テ ム 情 報 工 学 研 究 科	314	139	453		322	322	775
	生 命 環 境 科 学 研 究 科	391	98	489		246	246	735
	人 間 総 合 科 学 研 究 科	325	102	427		398	398	825
	図 書 館 情 報 メ デ ィ ア 研 究 科	44	17	61		47	47	108
	グ ロー バ ル 教 育 院	78		78		68	68	146
博 士 課 程 小 計	1,585	529	2,114	0	1,391	1,391	3,505	
専 門 職 位 課 程	ビ ジ ネ ス 科 学 研 究 科	2		2		29	29	31
	専 門 職 位 課 程 小 計	2		2	0	29	29	31
大 学 院 計		1,593	547	2,140	0	1,435	1,435	3,575
合 計		1,970	713	2,683	0	2,385	2,385	5,068

(注)外国人留学生については、平成30年3月1日現在の現員を示す。

【留学生受入数の推移】(各年度3月1日現在)



【留学生派遣数の推移】(各年度3月1日現在)



注：平成27年度より、学内の支援による短期海外出張等も含めた。

(3) 国際交流協定

ア 協定締結期間、交流分野等

(平成29年度)

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
中国	中国科学院大学	全学	2010/7/7 ~ 2015/7/6	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	浙江大学	全学	2012/11/9 ~ 2017/11/8	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	西安交通大学	全学	2013/2/21 ~ 2018/2/20	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	北京航空航天大学	全学	2013/2/25 ~ 2018/2/24	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	清華大学	部局間	2010/5/18 ~ 2015/5/17	研究者 学生	新エネルギー及び関連分野
	中国原子能科学研究院	部局間	2012/8/1 ~ 2017/7/31	研究者 学生	加速器科学及び関連分野
	大連大学	部局間	2012/2/18 ~ 2017/2/17	研究者 学生	日本語・日本文化を中心とした人文科学、社会科学及び関連分野
	南京大学	部局間	2013/4/7 ~ 2018/4/6	研究者 学生	生命科学、環境科学、環境工学、生物資源、エネルギー資源及び関連分野
	中国科学院 地理科学・資源研究所	部局間	2012/4/1 ~ 2017/3/31	研究者 学生	生命環境科学及び関連分野
	南開大学	全学	2012/12/26 ~ 2017/12/25	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	中国人民大学	部局間	2013/6/1 ~ 2018/5/31	研究者 学生	日本語・日本文化を中心とする人文社会系分野
	浙江科技学院	部局間	2013/7/1 ~ 2018/6/30	研究者 学生	生命環境科学分野
	中国美术学院	部局間	2013/5/19 ~ 2018/5/18	研究者 学生	芸術諸分野
	廈門大学	全学	2013/5/21 ~ 2018/5/20	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	吉林大学	全学	2013/2/7 ~ 2018/2/6	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	中国科学技術大学	全学	2014/4/6 ~ 2019/4/5	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	南京農業大学	部局間	2014/2/1 ~ 2019/3/31	研究者 学生	農業、生命環境科学及びその関連分野
	復旦大学	部局間	2014/3/23 ~ 2019/3/22	研究者 学生	環境科学・環境工学及び関連分野
	吉林農業大学	部局間	2014/2/25 ~ 2019/2/24	研究者 学生	農業生物科学、農業経済社会学、応用生化学、生物資源環境工学、その他関連分野
	雲南大学	部局間	2013/3/8 ~ 2018/3/7	研究者 学生	環境科学、環境工学、生命科学、エネルギー資源及び関連分野
	清華大学	部局間	2013/5/10 ~ 2018/5/9	研究者 学生	生命環境科学及び関連分野
	香港理工大学	部局間	2014/11/11 ~ 2019/11/10	学生	社会学全領域
	香港中文大学	全学	2015/2/17 ~ 2020/2/16	研究者 学生	協議により決定
	上海図書館	部局間	2015/1/5 ~ 2020/1/4	研究者 学生	図書館情報学及び関連分野
	東北師範大学	全学	2014/4/10 ~ 2019/4/9	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	同済大学	部局間	2015/8/1 ~ 2020/7/31	研究者 学生	環境科学、環境工学、水環境及び関連分野
	内蒙古農業科学院	部局間	2016/4/12 ~ 2021/4/11	研究者 学生	畜産学・草地理学及び関連分野
	蘭州大学	部局間	2016/8/17 ~ 2021/8/16	研究者 学生	原子核物理学及び関連分野
	江南大学	部局間	2015/9/28 ~ 2020/9/27	研究者 学生	生物技術、生命科学分野及びその関連分野
	西安外国語大学	部局間	2016/11/1 ~ 2021/10/31	研究者 学生	日本語・日本文化を中心とする人文社会系分野
	福建師範大学	部局間	2016/11/1 ~ 2021/10/31	研究者 学生	日本語・日本文化を中心とする人文社会系分野
	澳門大学	部局間	2015/4/1 ~ 2020/3/31	研究者 学生	社会科学、人文科学及び関連分野
	北京師範大学	全学	2016/4/28 ~ 2021/4/27	研究者 学生	全領域
	北京大学	全学	2016/10/12 ~ 2021/10/11	研究者 学生	両大学におけるすべての分野
	湖南大学	部局間	2016/8/22 ~ 2021/8/21	研究者 学生	人文科学及び社会科学(文学、語学、社会学、文化学、国際関係学)
	清華大学	部局間	2017/2/27 ~ 2022/2/26	研究者 学生	都市計画・建築計画
	中国地質大学	部局間	2015/11/23 ~ 2020/11/22	研究者 学生	環境科学、環境工学、生命環境科学及びエネルギー資源
	鄭州大学	部局間	2015/11/28 ~ 2020/11/27	研究者 学生	環境科学、環境工学、衛生環境医学、生命環境科学など
	香港科技大学	全学	2017/9/1 ~ 2022/8/31	研究者 学生	全領域
	蘇州大学	部局間	2017/11/13 ~ 2022/11/12	研究者 学生	体育、スポーツ科学
華東師範大学	全学	2017/7/25 ~ 2022/7/24	研究者 学生	全領域(特に、理学・工学、日本語・日本文化、中国語・中国文化、生命環境、体育)	
西北農林科技大学	部局間	2017/11/1 ~ 2022/10/31	研究者 学生	両機関に共通するすべての領域(主に生命環境科学、食料バイオ科学、バイオ環境科学、バイオシステム科学、地域システム経済学)	
河北農業大学	部局間	2017/12/12 ~ 2022/12/11	研究者 学生	両機関に共通するすべての領域(主に生命環境科学、食料バイオ科学、バイオ環境科学、バイオシステム科学、地域システム経済学)	
東北大学	部局間	2017/3/1 ~ 2020/2/29	研究者 学生	経営学、経済学及び関連分野	
大連民族大学	部局間	2018/3/1 ~ 2023/2/28	研究者 学生	全学	
四川大学	部局間	2018/3/16 ~ 2023/3/15	研究者 学生	半導体材料とデバイス及び関連分野	

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
台湾	輔仁大学	全学	2014/4/16 ~ 2019/4/15	研究者 学生	全分野
	国立台湾大学	全学	2012/11/16 ~ 2017/11/15	研究者 学生	全領域
	国立彰化師範大学	部局間	2013/3/7 ~ 2018/3/7	研究者 学生	障害科学、教育学、心理学
	国立台湾科技大学	部局間	2013/9/30 ~ 2018/9/29	研究者 学生	芸術、デザイン及び感性科学分野
	国立成功大学	全学	2014/3/21 ~ 2019/3/20	研究者 学生	全領域
	国立防災科学技術センター	部局間	2013/10/1 ~ 2018/9/30	研究者 学生	気候変動予測および防災に関する影響評価
	高雄医学大学	部局間	2014/9/22 ~ 2019/9/21	研究者 学生	医学及び関連分野
	国立台湾大学	部局間	2015/4/20 ~ 2020/4/19	学生	学生交流
	国立台湾芸術大学	部局間	2015/7/12 ~ 2020/7/11	研究者 学生	芸術諸分野
	東呉大学	全学	2016/4/23 ~ 2021/4/22	研究者 学生	両機関に共通するすべての領域（特に人文社会科学、図書館情報メディア科学）
	国立交通大学	部局間	2015/8/25 ~ 2020/8/24	研究者 学生	ナノエレクトロニクス関連分野での教育及び研究
	国立台湾体育運動大学	全学	2016/11/19 ~ 2021/11/18	研究者 学生	体育、医学
	国立政治大学	部局間	2016/7/1 ~ 2021/6/30	研究者 学生	人文社会科学及び関連分野（とくに、東アジア地域研究、日本語学、日本文学、国際日本研究）
	国立屏東科技大学	部局間	2016/11/1 ~ 2021/10/31	研究者 学生	生命環境科学
	国立台湾大学	全学	2015/9/30 ~ 2020/9/29	研究者 学生	CiC協定における全領域
	国立交通大学	部局間	2017/8/2 ~ 2022/8/1	研究者 学生	医学、工学
	国立台湾師範大学	全学	2017/12/1 ~ 2022/11/30	研究者 学生	両大学に共通するすべての分野
	国立清華大学	全学	2017/11/29 ~ 2022/11/28	研究者 学生	全領域
韓国	釜山大学校	部局間	2013/9/1 ~ 2018/8/31	研究者 学生	障害科学、教育学、心理学及びその他の関連分野
	西江大学校	部局間	2013/2/27 ~ 2018/2/26	研究者 学生	国際学およびその他の関連分野
	大邱大学校	部局間	2013/8/24 ~ 2018/8/23	研究者 学生	心身障害学、リハビリテーション科学及び関連分野
	韓国外国語大学校	部局間	2012/10/22 ~ 2017/10/21	研究者 学生	人文科学、社会科学、地域研究、日本語・日本文化及び関連分野
	啓明大学校	部局間	2012/11/1 ~ 2017/10/31	研究者 学生	人文科学及び社会科学
	漢陽大学校	部局間	2014/1/26 ~ 2019/1/25	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域
	弘益大学校	全学	2014/4/13 ~ 2019/4/12	研究者 学生	全領域（両大学に共通する全ての分野）
	慶熙大学校	部局間	2014/6/17 ~ 2019/6/16	研究者 学生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	釜山大学校	部局間	2014/4/1 ~ 2019/3/31	研究者 学生	図書館情報学及び関連分野
	延世大学校	部局間	2014/10/1 ~ 2019/9/30	研究者 学生	両大学に共通するすべての領域
	ソウル大学校	部局間	2015/6/18 ~ 2020/6/17	研究者 学生	体育・健康・スポーツ科学及び関連分野
	国家核融合研究所	部局間	2015/8/1 ~ 2020/7/31	研究者	プラズマ核融合科学
	韓国科学技術院	全学	2015/6/1 ~ 2020/5/31	研究者 学生	両機関に共通するすべての領域（主に工業デザイン、感性インターフェース、感性インタラクション、ロボット工学、情報工学、音楽情報処理）
	韓国国土研究院	部局間	2016/6/12 ~ 2021/6/11	研究者	都市及び地域計画及び関連分野
	忠南大学校	部局間	2016/12/6 ~ 2021/12/5	研究者 学生	医学教育、医学研究、医学分野における産学連携方法についての交流
	釜山大学校	部局間	2017/2/16 ~ 2022/2/15	研究者 学生	材料科学、物理学及び関連分野
	仁荷大学校	部局間	2017/5/20 ~ 2022/5/19	研究者 学生	日本語学、日本文学、韓国語学、韓国文学、応用言語学、比較文学、文化交流論及び関連分野
	仁川大学	部局間	2012/11/28 ~ 2017/11/27	研究者 学生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	忠南大学校	部局間	2017/3/21 ~ 2022/3/20	研究者 学生	農学、生物学、地球環境科学及び関連分野
	梨花女子大学校	全学	2018/5/31 ~ 2023/5/30	研究者 学生	全領域（両大学に共通する全ての分野）
ソウル市立大学校	部局間	2018/2/15 ~ 2023/2/14	研究者 学生	都市計画、空間情報科学、建築・環境デザイン、生命環境科学に関わる分野	
高麗大学校	全学	2018/2/1 ~ 2023/1/31	学生	人文科学、社会科学及び自然科学全般（協議により決定）	
インド	マドラス大学	部局間	2016/2/4 ~ 2019/2/3	研究者 学生	陽電子消滅を用いた物性研究
	ジャワハルラー・ネール大学	部局間	2016/4/1 ~ 2021/3/31	研究者 学生	日本研究、インド研究、日本語教育、英語教育を含む人文社会科学分野及び関連分野
	ハイデラバード大学	部局間	2016/12/14 ~ 2021/12/13	研究者 学生	生物学、生命科学及び関連分野
	マナブラチャナ国際大学	部局間	2017/11/1 ~ 2022/10/31	研究者 学生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医学、スポーツ理学療法、栄養学
インドネシア	バンドン工科大学	部局間	2013/1/27 ~ 2018/1/26	研究者 学生	生命環境科学
	ウダヤナ大学	部局間	2013/6/1 ~ 2018/5/31	研究者 学生	医学分野

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
インドネシア	バジャジャラン大学	全学	2013/8/1 ~ 2018/7/31	研究生	協議により決定
	ガジャマダ大学	部局間	2013/9/1 ~ 2018/8/31	研究生	両機関が興味関心を共有するすべての領域
	インドネシア大学	全学	2014/5/22 ~ 2019/5/21	研究生	協議により決定
	インドネシア教育大学	部局間	2014/4/1 ~ 2019/3/31	研究生	心身障害学、教育学、心理学及び関連分野
	ポゴール農科大学	部局間	2016/8/6 ~ 2021/8/5	研究生	環境科学、農学、生物工学、生命科学および関連分野
	ピヌス大学	部局間	2014/4/1 ~ 2019/3/31	研究生	生命環境関連 (AIMSプログラムで指定される10学問分野)
カンボジア	カンボジア王立農業大学	部局間	2010/7/21 ~ 2015/7/20	研究生	食物、エネルギー、天然資源及び関連分野
	王立プノンペン大学	部局間	2015/6/22 ~ 2020/6/21	研究生	生物学及び環境科学
タイ	プリンスオブソクラ大学	部局間	2018/3/11 ~ 2023/3/10	研究生	物質科学、バイオマテリアル、薬学、医学及び関連分野
	カセサート大学	全学	2009/2/25 ~ 2014/2/24	研究生	協議により決定
	メーファールアン大学	部局間	2014/4/1 ~ 2019/3/31	研究生	生命環境関連 (AIMSプログラムで指定される10学問分野)
	スラナリー工科大学	部局間	2011/4/1 ~ 2016/3/31	研究生	食物、エネルギー、天然資源及び関連分野
	メジョ大学	部局間	2011/4/1 ~ 2016/3/31	研究生	生命環境科学
	アジア工科大学院	部局間	2013/9/1 ~ 2018/8/31	研究生	両機関に共通するすべての領域
	シーナカリンウィロート大学	部局間	2014/11/9 ~ 2019/11/8	研究生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	キング・モンクット工科大学トンブリ校	部局間	2016/8/1 ~ 2021/7/31	研究生	生物資源科学、環境バイオマス共生学及び関連分野
	チュラロンコン大学	部局間	2016/8/9 ~ 2021/8/8	研究生	地球進化学及び関連分野
	コンケン大学	全学	2016/10/19 ~ 2021/10/18	研究生	両機関に共通する全ての領域
	コンケン大学	部局間	2017/2/8 ~ 2022/2/7	研究生	医学
	チュラロンコン大学	部局間	2017/4/1 ~ 2022/3/31	研究生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医学
	タマサート大学	部局間	2016/9/1 ~ 2021/8/31	研究生	AIMSプログラム関連分野、主に 農業、食料科学技術、生物多様性、環境科学
	パキスタン	ベルシャワール農業大学	全学	2010/11/29 ~ 2015/11/28	研究生
バングラデシュ	バングラデシュ工科大学	部局間	2013/10/1 ~ 2018/9/30	研究生	土木工学、機械工学及び関連分野
	国際下痢症研究センター	部局間	2017/6/8 ~ 2022/6/7	研究生	医学 (社会医学、臨床医学、基礎医学) 及び関連分野
	バングラデシュ農業大学	部局間	2017/10/1 ~ 2022/9/30	研究生	農学、環境科学及び関連分野
フィリピン	セントラルルソン州立大学	部局間	2014/4/1 ~ 2019/3/31	研究生	生命環境関連 (AIMSプログラムで指定される10学問分野)
ブルネイ	ブルネイ・ダルサラム大学	部局間	2016/4/1 ~ 2019/3/31	学生	生命環境関連 (AIMSプログラムで指定される10学問分野)
ベトナム	ホーチミン市科学技術局	部局間	2011/9/22 ~ 2016/9/21	研究生	医学、生命科学、バイオテクノロジー及び関連分野
	熱帯生物学研究所	部局間	2011/9/22 ~ 2016/9/21	学生	医学、生命科学、バイオテクノロジー及び関連分野
	ホーチミン市バイオテクノロジーセンター	部局間	2011/9/22 ~ 2016/9/21	学生	医学、生命科学、バイオテクノロジー及び関連分野
	ハノイ工科大学	部局間	2009/10/16 ~ 2014/10/15	研究生	物質科学及び関連分野
	フエ医科薬科大学	部局間	2011/4/28 ~ 2016/4/27	研究生	両大学・研究に共通する全ての領域
	サイゴンハイテクパーク	部局間	2012/1/5 ~ 2017/1/4	研究生	医学、生命科学、バイオテクノロジー
	ハノイ科学大学	部局間	2012/7/13 ~ 2017/7/12	研究生	生命環境系、生命環境科学研究科、医学医療系、人間総合科学研究科に共通するすべての分野
	ハノイ医科大学	部局間	2012/10/1 ~ 2017/9/30	研究生	両大学に共通するすべての分野
	ベトナム国家大学ホーチミン市工科大学	部局間	2013/6/3 ~ 2018/6/2	研究生	環境科学分野とその他の関連分野
	チョライ病院	部局間	2013/7/18 ~ 2018/7/17	研究生	医学及び関連分野
	ホーチミン市美術大学	部局間	2014/1/21 ~ 2019/2/20	研究生	芸術、デザインの諸分野
	ベトナム国家農業大学	部局間	2013/12/16 ~ 2018/12/15	研究生	生命環境及び関連分野
	ホーチミン市師範大学	全学	2014/8/12 ~ 2019/8/11	研究生	両大学に共通する全ての領域
	ベトナム教育訓練省国際教育開発局	部局間	2014/4/21 ~ 2019/4/20	研究生	生命環境科学及び関連する分野全般
	ベトナム国立図書館	部局間	2014/2/2 ~ 2019/2/1	研究生	図書館システム、図書館経営、図書館員養成等、図書館関連分野
	ベトナム国家大学ハノイ校、 ベトナム国家大学ハノイ校工業技術大学、 ベトナム国家大学ハノイ校経済大学、 ベトナム国家大学ハノイ校教育大学、 ベトナム国家大学ハノイ校外国語大学、 ベトナム国家大学ハノイ校人文社会科学大学、 ベトナム国家大学ハノイ校自然科学大学、 日越大学	全学	2015/12/12 ~ 2017/6/30	研究生	全領域
	ホーチミン市バイオテクノロジーセンター	全学	2016/1/9 ~ 2021/1/8	学生	医学、生命科学、バイオテクノロジー及び関連分野

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
ベトナム	ヴァイン大学	部局間	2015/5/25 ~ 2020/5/24	研究者 学生	藻類バイオマスおよび藻類バイオマスに関連する基礎から応用までの分野
	ベトナム国家大学ホーチミン校自然科学大学、 ベトナム国家大学ホーチミン校 ホーチミン市経済法科大学、 ベトナム国家大学ホーチミン校情報工科大学、 ベトナム国家大学ホーチミン校国際大学、 ベトナム国家大学ホーチミン校人文社会科学大学	全学	2015/9/17 ~ 2020/9/16	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	ベトナム科学技術アカデミー・バイオテクノロジー研究所	部局間	2016/7/1 ~ 2021/6/30	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域
	交通通信大学	全学	2016/9/9 ~ 2021/9/8	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域
	ホーチミン市医科薬科大学	部局間	2016/9/22 ~ 2021/9/21	学生	医学、生命科学、バイオテクノロジー及び関連分野
	ナムディン看護大学	部局間	2017/12/8 ~ 2022/12/7	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域
マレーシア	ケバンサアン・マレーシア大学	全学	2011/1/21 ~ 2016/1/20	研究者 学生	生命環境科学、人文社会科学
	マラヤ大学	全学	2014/5/15 ~ 2019/5/14	研究者 学生	協議により決定
	ブトラマレーシア大学	部局間	2012/10/24 ~ 2017/10/23	研究者 学生	生命環境科学分野
	マレーシア工科大学	部局間	2016/9/19 ~ 2021/9/18	研究者 学生	CiC協定における全領域
	ウタラマレーシア大学	部局間	2016/2/11 ~ 2021/2/10	研究者 学生	大学の世界展開力強化推進事業担当 RIJ-TAGプログラム関連分野
ミャンマー	バテイン大学	部局間	2014/12/1 ~ 2019/11/30	研究者 学生	協議により決定
	教育省・監査及び評価局	全学	2018/1/10 ~ 2023/1/9	研究者	全学
モンゴル	モンゴル生命科学大学	部局間	2014/7/1 ~ 2019/6/30	研究者 学生	農業及び関連分野
	フスタイ国立公園研究センター	部局間	2015/5/7 ~ 2020/5/6	研究者	環境科学及び関連分野
	モンゴル国立大学	部局間	2017/8/8 ~ 2022/8/7	研究者	法律学
ラオス	ラオス国立大学	部局間	2010/7/27 ~ 2015/7/26	研究者 学生	食物、エネルギー、天然資源及び関連分野
オーストラリア	マードック大学	全学	2013/5/30 ~ 2016/5/29	研究者 学生	全領域（主に生命環境系、教理科質系、システム情報系の各分野）
	アデレード大学	部局間	2013/11/25 ~ 2018/11/24	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域（ただし、一部交流できない分野もある）
	クイーンズランド大学	全学	2014/8/20 ~ 2019/8/19	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	ジェームズクック大学	部局間	2015/5/20 ~ 2020/5/19	研究者 学生	全領域（ただし、大学、キャンパスあるいは学部の都合により、交流できない分野もある。）
	モナシュ大学	全学	2015/9/1 ~ 2020/8/31	研究者 学生	協議により決定
	ウーロンゴン大学	部局間	2015/11/18 ~ 2020/11/17	研究者	医学物理学
	西オーストラリア大学	部局間	2016/2/10 ~ 2021/2/9	研究者 学生	ビジネス科学（企業法学）、農学及び食糧科学、環境学、スポーツ科学
	ディーキン大学	全学	2015/9/24 ~ 2020/9/24	研究者 学生	両機関に共通するすべての領域（とくに海洋学、生物学、自然保護寄付講座、世界遺産学に関わる領域）
	ビクトリア大学	部局間	2017/7/24 ~ 2022/7/23	研究者 学生	健康、スポーツ科学
	タスマニア大学	全学	2018/1/1 ~ 2020/12/31	研究者 学生	両機関に共通するすべての領域（特に世界遺産学、自然保護寄付講座に関する領域）
オーストラリア国立大学	全学	2018/2/16 ~ 2023/2/15	学生	人文科学、社会科学、自然科学全般（学生交流は医学分野を除く。）	
ニュージーランド	オタゴ大学	部局間	2013/6/30 ~ 2018/6/29	研究者 学生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医学分野及び関連分野
	オー克蘭ド大学	部局間	2015/5/1 ~ 2020/4/30	研究者 学生	健康、スポーツ科学及びその他関連分野
カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	全学	2012/8/22 ~ 2017/8/21	学生	協議により決定
	プリンス・エドワード島大学	部局間	2013/3/28 ~ 2018/3/27	研究者 学生	日本研究、カナダ研究を中心とした人文科学、社会科学及び関連分野
	モントリオール大学	部局間	2014/9/3 ~ 2019/9/2	研究者 学生	協議により決定
	ブロック大学	部局間	2014/10/30 ~ 2019/10/29	研究者 学生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医学、スポーツ国際開発学
	サスカチュワン大学	部局間	2016/10/27 ~ 2021/10/26	研究者 学生	協議により決定
米国	ニューヨーク州立大学・ストニーブルック校	部局間	1985/9/1 ~ 有効期限なし	研究者	X線領域の放射線実験の応用
	コーネル大学	部局間	2010/9/8 ~ 2015/9/7	研究者 学生	農学全般、生物科学、生命科学、環境科学
	プリンストン大学	部局間	2013/2/14 ~ 2018/2/13	研究者 学生	核融合分野
	ケント州立大学	部局間	2013/2/25 ~ 2018/2/24	研究者 学生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医学
	イリノイ大学・シカゴ校	部局間	2013/5/31 ~ 2018/5/30	研究者 学生	看護学の研究と教育に共通する全ての領域
	ワシントン大学・セントルイス	部局間	2013/9/1 ~ 2018/8/31	研究者 学生	人文・社会科学及び関連分野
	ピッツバーグ大学	部局間	2014/3/16 ~ 2019/3/15	研究者 学生	図書館情報学、情報学
	カリフォルニア大学アーバイン校	部局間	2014/10/1 ~ 2019/9/30	研究者 学生	協議により決定
	ハワイ大学マノア校	全学	2014/10/9 ~ 2019/10/8	研究者 学生	協議により決定
	ミシガン大学	部局間	2014/12/1 ~ 2019/11/30	研究者 学生	図書館情報学及び関連分野



国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野	
米国	聖アンソニー看護大学	部局間	2014/7/1 ~ 2019/6/30	研究者 学生	看護学の研究と教育に共通する全ての領域	
	アリゾナ州立大学	部局間	2015/3/3 ~ 2020/3/2	研究者 学生	藻類バイオマスおよび藻類バイオマスに関連する基礎から応用までの分野	
	南インディアナ大学	部局間	2014/9/14 ~ 2019/9/13	研究者 学生	人間学、看護学、リハビリテーション科学、ソーシャル・ワーク、医学及び関連分野	
	カリフォルニア州立大学	全学	2014/8/1 ~ 2019/7/31	研究者 学生	協議により決定	
	カリフォルニア大学アーバイン校	部局間	2015/6/30 ~ 2018/5/31	研究者 学生	医学、生命科学、およびその関連分野	
	ニューメキシコ大学	部局間	2015/7/13 ~ 2020/7/12	研究者 学生	体育・スポーツ科学	
	ユタ州立大学	部局間	2015/4/1 ~ 2020/3/31	研究者 学生	生命科学・農学及び関連分野	
	ユタ州立大学	全学	2016/2/17 ~ 2021/2/16	研究者 学生	両大学に共通するすべての領域（特に農学、芸術学、デザイン学、物理学、宇宙開発分野）	
	アラスカ大学フェアバンクス校	部局間	2015/1/11 ~ 2020/1/10	研究者 学生	地球環境科学	
	カリフォルニア大学アーバイン校	全学	2016/4/19 ~ 2021/4/18	研究者 学生	医学、生命科学、スポーツ科学、システム情報およびその関連分野	
	オハイオ州立大学	部局間	2016/8/30 ~ 2021/8/29	研究者 学生	人文科学・社会科学及び関連分野	
	バドュー大学	全学	2016/4/26 ~ 2021/4/25	研究者 学生	全領域	
	カリフォルニア大学サンディエゴ校	全学	2016/3/4 ~ 2021/3/3	研究者 学生	両機関に共通するすべての領域（主に藻類バイオマスを基軸とした生命環境科学分野、医学科学分野とその他双方の関心の一致する分野）	
	ニューヨーク州立大学・オスウェゴ校	部局間	2016/7/1 ~ 2021/6/30	研究者 学生	教育学、社会科学及び関連分野	
	カリフォルニア大学アーバイン校	全学	2017/1/9 ~ 2022/1/8	研究者 学生	CiC協定における全領域（Research Partner）	
	ミシガン州立大学	部局間	2017/11/20 ~ 2022/11/19	研究者 学生	植物科学、作物科学研究	
	サンディエゴ大学	部局間	2014/3/1 ~ 2020/2/29	研究者 学生	経営学、経済学及び関連分野	
	ハワイ大学マノア校	部局間	2017/10/1 ~ 2020/9/30	研究者 学生	経営学	
	コロンビア	ロスアンデス大学	全学	2015/8/19 ~ 2020/8/18	研究者 学生	協議により決定
		サンタンデール工科大学	部局間	2017/1/13 ~ 2022/1/13	研究者 学生	全学（主に藻類バイオマス・エネルギーシステムに関する分野）
チリ	チリ大学	全学	2014/8/5 ~ 2019/8/4	研究者 学生	協議により決定	
ブラジル	バラ連邦大学	全学	2012/8/20 ~ 2017/8/19	研究者 学生	全領域（特に、基礎及び応用自然科学、人文科学、社会科学）	
	ベルナンブーコ連邦大学	部局間	1981/7/12 ~ 自動更新	研究者 学生	ラテンアメリカ研究	
	ブラジリア大学	全学	2013/3/15 ~ 2018/3/14	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域	
	サンパウロ大学	部局間	2013/9/27 ~ 2018/9/26	研究者 学生	両大学における医学の領域	
	サンパウロ大学	全学	2014/1/16 ~ 2019/1/15	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域（ただし、具体的な交流の実施については、個別の協定書により規定することとする（第2条参照））	
	サンパウロ大学	部局間	2014/6/18 ~ 2019/6/17	研究者 学生	両大学における医学の領域	
	サンパウロ大学	部局間	2015/4/16 ~ 2020/4/15	研究者 学生	健康・スポーツ科学及び関連分野	
	サンタ・クルス病院	部局間	2016/9/19 ~ 2021/9/18	研究者 学生	医学および関連分野	
	サンパウロ大学リベロンプレイト校	部局間	2016/12/7 ~ 2021/12/6	研究者 学生	主に両大学における健康科学および薬学の領域	
	カンピナス州立大学	全学	2017/2/28 ~ 2022/2/27	研究者 学生	農学、生命科学、環境科学、システム情報工学	
	サンパウロ大学	全学	2016/9/16 ~ 2021/9/15	研究者 学生	CiC協定における全領域	
	サンパウロ州研究財団	全学	2017/9/1 ~ 2022/8/31	研究者 学生		
サンパウロ州立パウリスタ大学	全学	2018/3/8 ~ 2023/3/7	研究者 学生	特に人間総合科学研究科及びシステム情報工学研究科		
ペルー	ペルー・カトリカ大学	全学	2018/3/1 ~ 2023/2/28	研究者 学生	全領域（特に、人文社会科学、自然科学）	
メキシコ	メキシコ大学院大学	部局間	2007/10/4 ~ 2017/10/3	研究者 学生	人文科学、社会科学及び関連分野	
	グアダハラ大学	部局間	2017/3/15 ~ 2022/3/14	研究者 学生	生命環境科学、人文社会科学、芸術が主体だが世界展開力強化推進事業の対象は全て含む	
サウジアラビア	キング・アブドゥールアジーズ大学	全学	2010/7/8 ~ 2015/7/7	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域	
トルコ	ボアジチ大学	部局間	2013/3/5 ~ 2018/3/4	研究者 学生	日本語・日本文化、日本語教育、トルコ語・トルコ文化	
	バムツカレ大学	全学	2014/4/10 ~ 2019/4/9	研究者 学生	協議により決定	
ヨルダン	ヨルダン科学技術大学	全学	2012/2/28 ~ 2017/2/27	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域	
イタリア	カ・フォスカリ大学	部局間	2011/9/8 ~ 2016/9/7	研究者 学生	日本語・日本文化研究、イタリア語・イタリア文化を中心とした人文科学、社会科学及び関連分野	
	ミラノ工科大学	全学	2013/9/13 ~ 2018/9/12	研究者 学生	デザイン領域（建築デザイン、環境デザイン、情報デザイン、プロダクトデザイン）、感性認知脳科学、建築工学、他	
	ボローニャ大学	部局間	2015/7/16 ~ 2020/7/15	研究者 学生	医学に関する領域	
	フィレンツェ国立美術学院	部局間	2016/7/1 ~ 2021/6/30	研究者 学生	芸術諸分野	

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
イタリア	マルシェ科学技術大学	部局間	2017/4/24 ~ 2022/4/23	研究者 学生	生命科学、生命環境科学、海洋生物学、海洋生態学、環境科学、バイオリソース学
	国際連合食糧農業機関	部局間	2015/2/6 ~ 2020/2/5	研究者	全領域
	国際連合食糧農業機関	部局間	2017/11/7 ~ 2020/11/6	学生	生命環境科学分野、食料農学分野
エストニア	タリン大学	部局間	2016/1/21 ~ 2021/1/20	研究者 学生	人文社会科学（地域研究・歴史研究・国際関係学など）、人間総合科学を中心とした学問分野
オーストリア	ウィーン経済・経営大学	部局間	2017/4/29 ~ 2022/4/28	研究者 学生	経営・社会経済システム分野
オランダ	アイントホーフエン工科大学	部局間	2013/6/12 ~ 2018/6/11	研究者 学生	感性情報メディア、感性インタラクション、情報デザイン、プロダクトデザイン、建築デザイン及び関連分野
	トウェンテ大学	全学	2013/11/24 ~ 2018/11/23	研究者 学生	サイバニクス分野（工学、医学、人文科学、ビジネス科学）及び関連分野
	デルフト工科大学	部局間	2014/3/20 ~ 2019/3/19	研究者	工学及び関連分野
	デルフト工科大学	部局間	2015/4/1 ~ 2021/3/31	研究者 学生	土木工学、環境工学、水管理、環境史、地球科学
	ユトレヒト大学	部局間	2016/10/21 ~ 2021/10/20	研究者 学生	健康、スポーツ科学
	ユトレヒト大学	部局間	2016/9/1 ~ 2019/8/31	研究者 学生	法学分野（学群組織については、（1）国際総合学類国際法専攻又は（2）社会学類法学専攻の学生のみに限る。）
	ユトレヒト大学	部局間	2017/9/15 ~ 2022/9/14	研究者	交流可能な全分野（CiC協定）
	デルフト工科大学	部局間	2017/4/1 ~ 2022/3/31	研究者 学生	感性認知脳科学、芸術学、デザイン学、情報学及び関連分野
	ユトレヒト大学	部局間	2018/3/1 ~ 2022/2/28	研究者 学生	物理学（特に、高エネルギー重イオン衝突実験及び関連分野）
英国	バドフォードシャー大学	部局間	2012/11/26 ~ 2017/11/25	研究者 学生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医学
	イースト・アングリア大学	全学	2014/3/10 ~ 2024/3/9	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域（特に環境学、生命科学、農学、芸術学）
	ラフバラ大学	部局間	2014/6/11 ~ 2019/6/10	研究者 学生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	マンチェスター大学	部局間	2014/8/24 ~ 2019/8/23	研究者 学生	生物学及び関連分野
	オックスフォード・ブルックス大学	全学	2015/2/18 ~ 2020/2/17	学生	協議により決定
	リバプール大学	部局間	2014/8/6 ~ 2019/8/5	研究者 学生	河川流域内の土砂生産及び土砂移動プロセス、放射性同位体トレーサー、放射能による土壌汚染・水域汚染、土壌侵食
	エディンバラ大学	全学	2015/5/11 ~ 2020/5/10	研究者 学生	計算科学、ロボット、地球科学、医学分野
	ノーザンブリア大学	部局間	2017/4/1 ~ 2020/3/31	研究者 学生	美術とデザイン分野全般、感性認知脳科学
	ブリマス大学	部局間	2017/7/27 ~ 2022/7/26	研究者 学生	放射性同位体トレーサー、放射能による土壌汚染・水域汚染、土壌侵食
	シェフィールド大学	全学	2017/9/1 ~ 2022/8/31	研究者 学生	全分野
スイス	国際スポーツ科学アカデミー	部局間	2017/7/18 ~ 2020/7/17	研究者 学生 医学	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医学
スウェーデン	ウプサラ大学	部局間	2009/1/16 ~ 2014/1/15	研究者 学生	生命環境科学及び関連分野
	ルンド大学	部局間	2016/1/8 ~ 2021/1/7	研究者 学生	健康科学に関する全ての領域
	スウェーデン王立美術大学	部局間	2017/4/1 ~ 2022/3/31	研究者 学生	芸術及び関連分野
スペイン	マドリッド・コンプルテンセ大学	部局間	2014/1/1 ~ 2018/12/31	研究者 学生	両大学に共通するすべての分野
	バルセロナ大学	部局間	2016/2/1 ~ 2021/1/31	研究者 学生	芸術及び関連分野
	サラマンカ大学	全学	2018/2/5 ~ 2023/2/4	研究者 学生	全領域（特に、人文社会科学及び芸術学・世界遺産学）
スロベニア	リュブリャナ大学	全学	2017/11/4 ~ 2022/11/3	研究者	両大学に共通する全ての領域
チェコ	カレル大学	全学	2017/9/9 ~ 2020/9/8	研究者 学生	両大学に共通するすべての領域（特に社会科学、国際関係学、日本語・日本文化）
デンマーク	コペンハーゲン大学	部局間	2014/10/15 ~ 2019/10/14	研究者 学生	図書館情報学
ドイツ	ベルリン自由大学	全学	2013/3/6 ~ 2018/3/5	研究者 学生	全領域
	ミュンヘン工科大学	部局間	2013/1/1 ~ 2017/12/31	研究者	量子ビーム（陽電子消滅・中性子ビーム）を用いた物性および太陽電池材料の研究
	ケルン大学	全学	2013/10/1 ~ 2018/9/30	研究者	両大学に共通する全ての分野
	デュースブルグエッセン大学	部局間	2014/9/11 ~ 2019/9/10	研究者	先端的がん放射線治療（BNCTならびに陽子線治療）の共同研究
	パイロイト大学	全学	2014/8/5 ~ 2019/8/4	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域
	ミュンスター大学	部局間	2015/4/1 ~ 2020/3/31	研究者 学生	健康、スポーツ科学
	ライプニッツ大学ハノーファー	部局間	2014/10/1 ~ 2019/9/30	研究者 学生	化学および関連分野
	フライブルク大学	部局間	2015/7/7 ~ 2020/7/6	研究者 学生	健康、スポーツ科学及びその他関連分野
	ライプツヒ大学	部局間	2015/6/8 ~ 2020/6/7	研究者 学生	健康、スポーツ科学及び関連分野
	ユーリッヒ総合研究機構（エネルギー・気候研究所）	部局間	2015/11/1 ~ 2020/10/31	研究者 学生	核融合研究
	ボン大学	全学	2016/2/14 ~ 2021/2/13	研究者 学生	全領域
	アウクスブルク応用科学大学	部局間	2016/2/14 ~ 2021/2/13	研究者 学生	機械工学及びその周辺分野

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
ドイツ	ポーフム大学	部局間	2016/8/16 ~ 2021/8/15	研究者 学生	両大学に共通するすべての分野
	ドルトムント工科大学	部局間	2016/6/1 ~ 2021/5/31	研究者 学生	健康、スポーツ科学
	デュッセルドルフ大学	部局間	2016/10/19 ~ 2021/10/18	研究者 学生	人文社会科学に係る分野
	マルティン・ルター・ハレ・ヴィッテンベルク大学	全学	2017/3/14 ~ 2022/3/13	研究者 学生	全学（人文社会科学と数理解物質科学をはじめとする学内で交流可能な分野）
	ブランデンブルク工科大学 Cottbus・ゼンテンベルク校	部局間	2017/6/26 ~ 2022/6/25	研究者 学生	世界遺産学、世界文化遺産学、遺産学、建築保存と建築歴史及び関連分野
	シュトゥットガルト・メディア大学	部局間	2017/11/14 ~ 2022/11/13	研究者 学生	図書館情報学及び情報学
	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン	部局間	2017/8/1 ~ 2020/7/31	学生	経営学、経済学及び関連分野
	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン	部局間	2018/4/1 ~ 2023/3/31	研究者 学生	障害科学、教育学、心理学、その他の関連分野
ノルウェー	オスロ大学	部局間	2017/4/25 ~ 2022/4/24	研究者 学生	地球科学及び環境科学
ハンガリー	エトヴェシュ・ロラーンド大学	部局間	2013/10/1 ~ 2018/9/30	研究者 学生	健康、スポーツ科学及び関連分野
	タンカブヤム教単科大学	部局間	2013/10/1 ~ 2018/9/30	研究者 学生	健康、スポーツ科学及び関連分野
	センメルヴァイス大学	部局間	2013/10/1 ~ 2018/9/30	研究者 学生	健康、スポーツ科学及び関連分野
	ハンガリー体育大学	部局間	2015/6/17 ~ 2020/6/16	研究者 学生	体育科学、健康科学とその他関連分野
	セグド大学	全学	2015/8/25 ~ 2020/8/24	研究者 学生	医学、ビジネス科学、化学、生物学
フィンランド	ヘルシンキ大学	部局間	2011/11/28 ~ 2016/11/27	研究者 学生	生命科学、環境科学及び関連分野
	ヘルシンキ芸術大学 美術アカデミー	部局間	2016/5/1 ~ 2021/4/30	研究者 学生	芸術及び関連分野
フランス	フランス放射線防護原子力安全研究所	全学	2012/7/11 ~ 2017/7/10	研究者 学生	放射線生態学、環境保全
	モンペリエ大学	全学	2013/2/28 ~ 2016/2/27	研究者 学生	全領域（特に生命環境科学、人文社会科学及び医学）
	グルノーブル大学	全学	2013/11/12 ~ 2018/11/11	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	ナント大学	部局間	2014/4/17 ~ 2019/4/16	研究者 学生	主に藻類バイオマスに関する分野
	ペルフォール・モンペリヤール工科大学	部局間	2014/9/6 ~ 2019/9/5	研究者 学生	電子・情報工学及び関連分野
	国立工業工芸大学（パリ工科大学）	部局間	2014/12/16 ~ 2019/12/15	研究者 学生	感性情報学、感性デザイン学、プロダクトデザイン、情報デザイン、環境デザイン、建築デザインを中心とした全ての教育プログラム
	フランシュ＝コンテ大学	全学	2015/11/1 ~ 2020/10/31	研究者 学生	両機関に共通するすべての領域（主に人文、社会科学、体育科学、体育教育）
	パリ第13大学	部局間	2016/9/13 ~ 2020/9/12	研究者 学生	生物学関連分野
	ボルドー・モンテーニュ大学	部局間	2016/10/6 ~ 2021/10/5	研究者 学生	言語研究・芸術・メディア・コミュニケーションを中心とした人文学全般、芸術・デザインに関する研究、感性認知脳科学に関する研究、地中海・アフリカ研究
	ボルドー大学	全学	2016/12/26 ~ 2020/9/29	研究者 学生	交流可能な全分野
	ボルドー大学	全学	2015/9/30 ~ 2020/9/29	研究者 学生	CiC協定における全領域
	ヴァレンシエンヌ大学	部局間	2016/2/10 ~ 2021/2/9	研究者 学生	人間機械共生系、システム工学、情報工学、制御工学及び関連分野
	パリ・ラ・ヴィレット建築大学	部局間	2017/6/26 ~ 2022/6/25	研究者 学生	社会学、国際関係学及び国際開発学、北アフリカ学
	ストラートデザイン大学	部局間	2017/10/3 ~ 2022/10/2	研究者 学生	プロダクトデザイン、情報デザイン、環境デザイン、建築デザイン
	モンペリエ第三大学	部局間	2017/9/1 ~ 2022/8/31	研究者 学生	全学（特に社会学、国際関係学及び国際開発学、北アフリカ学）
	グルノーブル大学連合	全学	2017/11/22 ~ 2022/11/21	研究者 学生	交流可能な全分野（CiC協定）
	グルノーブル経営大学院	部局間	2017/2/1 ~ 2020/1/31	学生	経営学、経済学及び関連分野
	パリ・サクレ大学	全学	2018/2/1 ~ 2023/1/31	研究者 学生	特に、芸術系、数理解物質系、生命環境系
	ボルドーサイエンスアグロ	全学	2018/3/12 ~ 2023/3/11	研究者 学生	特に、生命環境系、医学医療系
ベルギー	インターユニバーシティマイクロエレクトロニクスセンター、ルーバン・カトリック大学	部局間	2011/5/12 ~ 2016/5/11	研究者 学生	Siナノエレクトロニクス、光エレクトロニクス、スピントロニクス、カーボンナノエレクトロニクス、バイオ/有機ナノエレクトロニクス
ポーランド	ワルシャワ大学	部局間	2013/1/10 ~ 2018/1/9	研究者 学生	全分野（特に人文社会科学及び数理解物質科学を中心とした幅広い分野）
	ヤギェウォ大学	部局間	2012/9/2 ~ 2017/9/1	研究者 学生	人文社会科学分野、数理解物質科学分野及びその他
	ピアウイストック大学	部局間	2016/2/16 ~ 2021/2/15	研究者 学生	社会科学及び関連分野
ラトビア	ラトビア大学	部局間	2016/1/24 ~ 2021/1/23	研究者 学生	全学（人文社会科学（地域研究・歴史研究など）、人間総合科学など）
リトアニア	ヴィリニウス大学	部局間	2016/12/19 ~ 2021/12/18	研究者 学生	人文社会科学（言語・地域研究・歴史研究など）、情報学および関連分野を中心に相互協力により交流範囲を広げる努力を行う
ルーマニア	ティミショアラ西大学	部局間	2015/9/23 ~ 2020/9/22	研究者 学生	コンピュータサイエンス、情報通信技術（ICT）およびその関連分野
	ブカレスト大学	部局間	2015/10/1 ~ 2020/9/30	研究者 学生	生物学、地質学、地理学、地球物理学及び関連分野
ロシア	ブドカー原子物理学研究所	部局間	2013/2/16 ~ 2018/2/15	研究者 学生	核融合研究
	モスクワ市立教育大学	全学	2014/5/22 ~ 2019/5/21	研究者 学生	全領域

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
ロシア	カザン連邦大学	全学	2015/2/16 ~ 2020/2/15	研究生 交換学生としての本学学生の語学留学（ロシア語、英語）の推進	人文社会科学、人間総合科学を中心とした幅広い学問分野
	ピロゴフ記念ロシア国立研究医科大学	全学	2015/2/16 ~ 2020/2/15	研究生 H26年度に採択された「ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム（全学群対象、責任対応組織：人文社会系）」（大学の世界展開力強化事業）における医療実務研修および関連の学生交流活動	医学医療系を中心とした学問分野
	ノヴォシビルスク国立医科大学	全学	2015/2/16 ~ 2020/2/15	研究生 H26年度に採択された「ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム（全学群対象、責任対応組織：人文社会系）」（大学の世界展開力強化事業）における医療実務研修および関連の学生交流活動	医学医療系を中心とした学問分野
	太平洋国立医科大学	全学	2015/2/16 ~ 2020/2/15	研究生 H26年度に採択された「ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム（全学群対象、責任対応組織：人文社会系）」（大学の世界展開力強化事業）における医療実務研修および関連の学生交流活動	医学医療系を中心とした学問分野
	モスクワ国立大学	部局間	2014/10/7 ~ 2019/10/6	研究生 高分子化学、コロイド科学、生物資源、土壌環境及び関連分野	
	モスクワ国立大学	全学	2015/4/1 ~ 2020/3/31	研究生 人文社会科学、人間総合科学を中心とした幅広い学問分野 交換学生としての本学学生の語学留学（ロシア語、英語）の推進	
	極東連邦大学	全学	2015/6/17 ~ 2020/6/16	研究生 人文社会科学、人間総合科学を中心とした関連分野	
	ノヴォシビルスク国立大学	全学	2015/7/18 ~ 2020/7/17	研究生 人文社会科学、人間総合科学を中心とした幅広い学問分野	
	ロシア国立体育・スポーツ・青年・観光学	部局間	2015/12/1 ~ 2020/11/30	研究生 体育・スポーツ科学及び関連分野	
	サンクト・ペテルブルグ大学	全学	2017/2/1 ~ 5年間自動更新	研究生 全学（人文社会科学、人間総合科学などの関連分野）	
	ロシア国立人文大学	部局間	2018/3/14 ~ 2023/3/13	研究生 アーカイブズ学及び情報学などの関連分野	
アゼルバイジャン	アゼルバイジャン言語大学	部局間	2016/3/14 ~ 2021/3/13	研究生 人文社会科学を中心とした学問分野	
	ADA大学	部局間	2016/4/15 ~ 2021/4/14	研究生 人文社会科学、人間総合科学を中心とした学問分野	
アルメニア	ロシア・アルメニア・スラヴ大学	部局間	2016/5/2 ~ 2021/5/1	研究生 全学（人文社会科学、人間総合科学を中心とした学問分野）	
ウクライナ	キエフ国立大学	部局間	2016/9/11 ~ 2021/9/10	研究生 人文社会科学（地域研究・日本研究など）及び関連分野	
	ウクライナ農業放射線研究所、ウクライナ国立生命環境科学大学	部局間	2017/11/6 ~ 2022/11/5	研究生 両機関に共通するすべての領域（特に環境放射能、水文学、放射生態学）	
ウズベキスタン	ウズベキスタン国立世界言語大学	部局間	2015/10/25 ~ 2020/10/24	研究生 日本語教育、日本語学、教育学を中心とした学問分野	
	タシケント国立東洋学大学	部局間	2015/5/27 ~ 2020/5/26	研究生 人文科学及び関連分野	
	サマルカンド国立外国語大学	部局間	2016/9/30 ~ 2021/9/29	研究生 人文社会科学及び人間総合科学	
	世界経済外交大学	部局間	2016/10/29 ~ 2021/10/28	研究生 人文社会科学	
カザフスタン	ユーラシア国立大学	部局間	2013/6/3 ~ 2018/6/2	研究生 主に人文科学、社会科学、生命環境科学などの分野	
	ナルホーズ大学	部局間	2012/8/31 ~ 2017/8/30	研究生 人文社会科学	
	カザフ国際関係外国語大学	全学	2013/8/25 ~ 2018/8/24	研究生 人文社会科学、人間総合科学を中心とした幅広い学問分野	
	国立腫瘍移植科学センター	部局間	2015/2/1 ~ 2020/1/31	研究生 両機関に関する医学領域	
	カザフ国立教育大学	全学	2015/8/28 ~ 2020/8/27	研究生 人間総合科学、人文社会科学を中心とした幅広い学問分野	
	ナザルバエフ大学	部局間	2016/5/19 ~ 2021/5/18	研究生 全学（人文社会科学、人間総合科学を中心とした学問分野）	
	カザフ国立大学	全学	2017/1/23 ~ 2022/1/22	研究生 全領域（主として人文社会科学・数理物質科学および関連分野）	
	カザフ経済大学	部局間	2017/4/1 ~ 2030/3/31	学生 経営学、経済学及び関連分野	
キルギス	キルギス民族大学	全学	2013/10/9 ~ 2018/10/8	研究生 人文社会科学、人間総合科学とその他の関連分野	
	ビシュケク人文大学	全学	2013/8/26 ~ 2018/8/25	研究生 人文社会科学、人間総合科学分野	
	キルギス国立大学	部局間	2015/5/27 ~ 2020/5/26	研究生 人文科学及び社会科学	
ジョージア	トビリシ自由大学	部局間	2016/4/14 ~ 2021/4/13	研究生 全学（人文社会科学、人間総合科学を中心とした学問分野）	
タジキスタン	ロシア・タジク・スラヴ大学	部局間	2014/9/1 ~ 2019/8/31	研究生 両大学に共通するすべての領域（主として、人文社会科学、人間総合科学等の分野）	
	タジク国立言語大学	部局間	2015/10/24 ~ 2020/10/23	研究生 人文社会科学及び関連分野	
トルクメニスタン	トルクメニスタン国立アザディ世界言語大学	全学	2013/9/12 ~ 2018/9/11	研究生 人文科学及び社会科学及びその他の関連分野	
ベラルーシ	ベラルーシ国立医科大学	全学	2015/2/16 ~ 2020/2/15	研究生 H26年度に採択された「ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム（全学群対象、責任対応組織：人文社会系）」（大学の世界展開力強化事業）における医療実務研修および関連の学生交流活動	医学医療系を中心とした学問分野

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
ベラルーシ	ベラルーシ国立大学	全学	2017/2/21 ~ 2022/2/20	研究者 学生	全学（主として人文社会科学、生命環境科学）
モルドバ	モルドバ国立大学	部局間	2016/4/12 ~ 2021/4/11	研究者 学生	全学（人文社会科学、人間総合科学を中心とした学問分野）
アルジェリア	アルジェリア民主人民共和国高等教育・科学技術研究省	全学	2011/4/7 ~ 2016/4/6	研究者 学生	両機関が興味関心を共有するすべての領域（包括協定）
	オラン科学技術大学モハメド・ブーディアフ	全学	2012/11/5 ~ 2017/11/4	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域（主に生命環境科学、物質工学、土木工学）
	ホウアリ・ブーメディエン科学技術大学	全学	2015/3/2 ~ 2020/3/1	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域（主に生命環境科学、都市工学、情報工学）
エジプト	カイロ大学	全学	2013/6/26 ~ 2018/6/25	研究者 学生	生命環境科学、人文科学、ビジネス科学、情報通信科学、等
	アインシャムス大学	部局間	2013/2/9 ~ 2018/2/8	研究者 学生	日本語・日本文化研究、アラビア語・アラビア文化研究、中近東地域研究、国際関係論等
	エジプト日本科学技術大学（E-JUST）	全学	2018/1/22 ~ 2023/1/21	研究者 学生	両大学に共通するすべての分野
チュニジア	カルタゴ大学	全学	2011/3/17 ~ 2016/3/16	研究者 学生	バイオテクノロジー、環境科学、情報通信工学、人文社会科学
	スース大学	全学	2011/5/17 ~ 2016/5/16	研究者 学生	人文科学、社会科学、生命環境科学、医学、情報工学を含む、北アフリカ関連の諸問題に関わる全学的な学術領域
	スファックス大学	全学	2011/10/26 ~ 2016/10/25	研究者 学生	バイオテクノロジー、環境科学、医学及び関連分野
	スファックス・バイオテクノロジー・センター	部局間	2011/10/30 ~ 2016/10/29	研究者 学生	バイオテクノロジー、環境科学及び関連分野
	チュニス・エル=マナール大学	全学	2013/7/2 ~ 2018/7/1	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域（主に、語学を含む人文社会科学、医療科学）
ナイジェリア	ナイジェリア大学	部局間	2017/10/17 ~ 2022/10/16	研究者 学生	微生物科学、生化学、植物科学、動物科学、農学、環境科学及び関連分野
マラウイ	マラウイ大学	部局間	2017/11/20 ~ 2022/11/19	研究者 学生	医学（社会医学、臨床医学、基礎医学）及び関連分野
モリタニア	高等技術学院	部局間	2012/10/15 ~ 2017/10/14	研究者 学生	生命環境科学
モロッコ	シディー・モハメド・ベン・アブダラー大学	全学	2011/3/17 ~ 2016/3/16	研究者 学生	両大学共通する全ての領域（主に生命環境科学、人文社会科学、情報工学）
	モロッコ王国高等教育・科学研究・幹部養成省	全学	2012/9/10 ~ 2017/9/9	研究者 学生	両機関が興味関心を共有するすべての領域
	ハッサンII世農獣医大学	部局間	2011/5/9 ~ 2016/5/8	研究者 学生	生物資源科学、農業土木工学及び関連分野
	アル・アハワイン大学	全学	2014/8/1 ~ 2019/7/31	研究者 学生	両大学共通する全ての領域
	カディ・アヤド大学	全学	2015/3/2 ~ 2020/3/1	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域（主に生命環境科学、人文社会科学、情報工学）
	モハメド5世大学	全学	2017/2/16 ~ 2022/2/15	研究者 学生	全学（生命科学、環境科学、人文科学、社会科学、情報通信科学）
リビア	セブハ大学	全学	2015/5/13 ~ 2020/5/12	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域
国際連合	国際連合大学	全学	2012/10/13 ~ 2017/10/12	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域

70ヵ国・地域、合計377協定（GiC協定：7、大学間協定：154、部局間協定：223）

イ 協定締結機関先交流者数

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受入数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
中国	中国科学院大学	2005/7/7	2	2	0	2
	浙江大学	2007/11/9	9	12	7	2
	西安交通大学	2008/2/21	0	3	2	0
	北京航空航天大学	2008/2/25	0	7	4	5
	中国原子能科学研究院	2002/8/1	0	0	0	0
	大連大学	2007/2/18	0	6	1	2
	南京大学	2008/4/7	3	6	2	3
	中国科学院 地理科学・資源研究所	2007/4/1	0	0	0	0
	南開大学	2007/12/26	0	2	2	0
	中国人民大学	2013/6/1	2	2	0	1
	浙江科技学院	2013/7/1	0	4	4	3
	中国美术学院	2008/5/19	0	4	0	1
	厦門大学	2008/5/21	9	9	0	0
	吉林大学	2008/2/7	0	14	0	0
	中国科学技術大学	2009/4/6	2	3	0	0
	南京農薬大学	2014/2/1	0	5	0	2
	復旦大学	2014/3/23	1	2	10	2
	吉林農薬大学	2004/2/25	0	1	0	0
	雲南大学	2008/3/8	0	2	1	0
	香港理工大学	2014/11/11	0	3	2	1
	香港中文大学	2015/2/17	0	6	6	18
	上海図書館	1999/10/1	0	0	2	0
	東北師範大学	2009/4/10	9	11	0	3
	同済大学	2015/8/1	0	2	6	11
	内蒙古農薬科学院	2016/4/12	0	0	1	1
	蘭州大学	2016/8/17	2	1	1	0
	江南大学	2010/9/28	1	9	5	0
	西安外国語大学	2016/11/1	0	6	0	0
	福建師範大学	2016/11/1	1	2	0	0
	澳門大学	2010/3/31	0	6	1	1
	北京師範大学	2011/4/28	5	12	5	2
	北京大学	2011/10/12	5	7	3	7
	湖南大学	1996/3/18	0	10	0	2
	清華大学	2008/5/10	2	0	2	1
	中国地質大学	2005/11/23	1	12	9	37
	鄭州大学	2005/11/28	0	2	5	0
	香港科技大学	2017/9/1	5	0	4	3
	蘇州大学	2017/11/13	0	2	9	11
	華東師範大学	2012/7/25	21	14	31	41
	西北農林科技大学	2017/11/1	0	0	2	0
	河北農薬大学	2017/12/12	0	3	2	0
	東北大学	2017/3/1	0	6	0	0
	大連民族大学	2013/3/1	2	25	3	1
四川大学	2018/3/16	0	8	4	1	

(平成29年度)

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受入数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
台湾	輔仁大学	2014/4/16	1	5	3	4
	国立台湾大学	2007/11/16	51	33	65	115
	国立彰化師範大学	2013/3/7	2	0	0	0
	国立台湾科技大学	2008/9/30	0	0	0	4
	国立成功大学	2014/3/21	0	8	16	10
	国立防災科学技術センター	2013/10/1	0	0	0	0
	高雄医学大学	2014/9/22	0	0	0	0
	国立台湾芸術大学	2005/7/12	0	5	6	9
	東呉大学	2016/4/23	0	6	0	0
	国立交通大学	2010/8/25	3	2	7	13
	国立台湾体育運動大学	2016/11/19	1	0	3	0
	国立政治大学	2006/7/1	4	7	3	0
	国立屏東科技大学	2011/11/1	2	1	0	0
	国立台湾師範大学	2012/12/18	5	11	10	13
	国立清華大学	2007/11/29	4	4	3	1
	韓国	大邱大学校	1998/8/24	0	0	0
韓国外国語大学校		2002/10/22	2	7	1	1
啓明大学校		2007/11/1	0	5	5	5
漢陽大学校		2014/1/26	5	1	2	0
弘益大学校		2009/4/13	0	5	1	0
西江大学校		2008/2/22	0	0	2	1
慶熙大学校		2009/6/17	2	13	0	2
延世大学校		1995/10/1	2	0	2	0
ソウル大学校		2015/6/18	9	1	20	15
国家核融合研究所		2000/8/1	0	0	0	0
韓国科学技術院		2010/6/1	3	1	7	4
韓国国土研究院		1987/11/1	0	0	0	0
釜山大学校		1997/2/15	1	5	4	1
仁荷大学校		2002/5/20	0	0	1	2
仁川大学		2012/11/28	0	4	1	1
忠南大学校		1997/3/21	0	0	0	0
梨花女子大学校	1998/2/1	0	4	1	3	
ソウル市立大学校	2013/2/15	0	0	0	0	
高麗大学校	1998/2/1	8	9	10	6	
インド	マドラス大学	2016/2/4	1	0	0	0
	ジャワハルラー・ネル大学	2013/4/1	0	5	2	0
	ハイデラバード大学	2016/12/14	5	0	1	1
	マナブラチャナ国際大学	2012/11/1	1	0	0	0
インドネシア	バンドン工科大学	2013/1/27	1	1	1	0
	ウダヤナ大学	2013/6/1	0	1	0	2
	バジャラン大学	2013/8/1	0	14	1	2
	ガジャマダ大学	2013/9/1	7	5	12	3
	インドネシア大学	2014/5/22	0	11	7	3
	インドネシア教育大学	2014/4/1	13	2	1	2

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受人数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
インドネシア	ボゴール農科大学	2014/4/1	4	6	0	5
	ビスス大学	2010/7/21	0	4	1	10
カンボジア	カンボジア王立農業大学	2015/6/22	0	7	0	0
	王立プノンペン大学	2013/3/11	2	2	0	4
タイ	プリンスオブソクラ大学	1989/2/16	0	2	2	3
	カセサート大学	2014/4/1	8	10	17	24
	メフファールアン大学	2010/3/26	0	3	0	2
	スラナリー工科大学	2011/7/8	1	0	0	0
	メジョ大学	2003/9/1	2	0	0	0
	アジア工科大学院	2014/11/9	0	1	0	0
	シーナカリンウィロート大学	1996/8/1	2	2	1	0
	キング・モンクット工科大学トンブリ校	2001/8/9	4	3	1	1
	チュラロンコン大学	2016/10/19	3	4	9	14
	コンケン大学	1996/9/1	30	20	19	9
タマサート大学	2010/11/29	0	2	3	3	
パキスタン	ベルシャワール農業大学	2007/9/1	0	0	0	0
バングラデシュ	バングラデシュ工科大学	2007/6/8	0	0	0	0
	国際下痢症研究センター	2012/10/1	1	1	2	0
	バングラデシュ農業大学	2014/4/1	5	3	0	0
フィリピン	セントラルルソン州立大学	2016/4/1	0	4	3	23
ブルネイ	ブルネイ・ダルサラム大学	2006/9/22	0	3	2	1
ベトナム	ホーチミン市科学技術局	2007/3/5	0	0	0	0
	熱帯生物学研究所	2007/3/5	0	1	1	0
	ホーチミン市バイオテクノロジーセンター	2009/10/16	1	2	21	10
	ハノイ工科大学	2011/4/28	4	1	2	0
	フエ医科大学	2012/1/5	0	0	0	0
	サイゴンハイテクパーク	2012/7/13	0	0	0	0
	ハノイ科学大学	2012/10/1	0	2	2	1
	ハノイ医科大学	2013/6/3	0	0	1	1
	ベトナム国家大学ホーチミン市工科大学	2008/7/18	0	0	0	0
	チョライ病院	2014/1/21	8	0	7	12
	ホーチミン市美術大学	2013/12/16	0	0	0	0
	ベトナム国家農業大学	2014/8/12	0	6	4	3
	ホーチミン市師範大学	2014/4/21	0	6	4	8
	ベトナム教育訓練省国際教育開発局	2004/2/2	0	0	0	0
	ベトナム国立図書館	2012/7/1	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ハノイ校	2012/7/1	1	3	0	1
	ベトナム国家大学ハノイ校工業技術大学	2012/7/1	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ハノイ校経済大学	2012/7/1	0	2	0	0
	ベトナム国家大学ハノイ校教育大学	2012/7/1	1	0	2	0
	ベトナム国家大学ハノイ校外国語大学	2012/7/1	0	2	2	0
ベトナム国家大学ハノイ校人文社会科学大学	2012/7/1	0	0	0	0	
ベトナム国家大学ハノイ校自然科学大学	2012/7/1	0	4	2	0	
日越大学	2015/5/25	1	10	20	0	

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受人数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
ベトナム	グイン大学	2015/5/25	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ホーチミン校	2010/9/17	1	3	0	0
	ベトナム国家大学ホーチミン校自然科学大学	2010/9/17	0	1	8	1
	ベトナム国家大学ホーチミン校ホーチミン市経済法科大学	2010/9/17	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ホーチミン校情報工科大学	2010/9/17	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ホーチミン校国際大学	2010/9/17	0	6	0	0
	ベトナム国家大学ホーチミン校人文社会科学大学	2010/9/17	0	0	2	0
	ベトナム科学技術アカデミー・バイオテクノロジー研究所	2016/7/1	1	0	1	0
	交通通信大学	2016/9/9	0	0	0	0
	ホーチミン市医薬科大学	2007/3/6	2	6	17	31
ナムディン看護大学	2017/12/8	0	0	1	0	
マレーシア	ケバンサラン・マレーシア大学	2011/1/21	0	6	1	1
	マラヤ大学	2014/5/15	1	9	4	6
	ブトラマレーシア大学	2012/10/24	2	14	1	3
	マレーシア工科大学	2016/9/19	18	45	31	22
	ウタラマレーシア大学	2016/2/11	0	2	0	5
ミャンマー	パテイン大学	2014/12/1	5	6	2	4
	教育省・監査及び評価局	2018/1/10	0	0	0	0
モンゴル	モンゴル生命科学大学	2009/7/1	1	0	3	2
	フスタイ国立公園研究センター	2010/5/7	0	0	2	1
	モンゴル国立大学	2017/8/8	0	3	3	1
ラオス	ラオス国立大学	2010/7/27	0	4	0	0
オーストラリア	マードック大学	2013/5/30	0	0	0	0
	アデレード大学	2013/11/25	1	0	0	11
	クイーンズランド大学	2003/8/20	3	7	3	8
	ジェームズクック大学	2015/5/20	0	1	0	0
	モナシュ大学	1995/8/31	0	4	3	3
	ウーロンゴン大学	2015/11/18	1	0	2	1
	西オーストラリア大学	2016/2/10	0	0	3	2
	ディーキン大学	2015/9/24	1	1	1	1
	ビクトリア大学	2017/7/24	1	0	0	1
	タスマニア大学	2015/1/1	2	1	7	7
	オーストラリア国立大学	2007/8/1	4	1	4	1
ニュージーランド	オタゴ大学	2008/6/30	2	0	0	0
	オークランド大学	2015/5/1	2	0	4	0
カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	1980/12/8	0	1	13	2
	プリンス・エドワード島大学	2013/3/28	4	0	2	51
	モンリオール大学	2014/9/3	1	3	1	4
	ブロック大学	2014/10/30	0	0	0	0
	サスカチュワン大学	2016/10/27	0	0	1	2
米国	ニューヨーク州立大学・ストーブルク校	1985/9/1	2	0	0	1
	コーネル大学	2010/9/8	1	0	3	0
	プリンストン大学	2013/2/14	1	0	9	0
	ケント州立大学	2014/7/3	3	0	0	0

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受入数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
米国	イリノイ大学・シカゴ校	2013/5/31	2	0	3	5
	ワシントン大学・セントルイス	1980/9/1	0	1	0	0
	ピッツバーグ大学	2004/3/16	0	1	5	1
	ハワイ大学マノア校	2014/10/9	0	2	31	24
	ミシガン大学	1999/12/1	3	0	0	2
	聖アンソニー看護大学	2014/7/1	0	0	2	2
	アリゾナ州立大学	2015/3/3	1	1	4	8
	南インディアナ大学	1999/9/14	0	0	0	4
	カリフォルニア州立大学	2011/8/1	1	26	0	5
	ニューメキシコ大学	2015/7/13	2	2	2	0
	ユタ州立大学	2010/4/1	2	1	6	16
	アラスカ大学フェアバンクス校	2000/1/11	1	0	0	0
	カリフォルニア大学アーバイン校	2013/4/19	6	5	5	13
	オハイオ州立大学	1996/8/31	11	9	25	5
	パデュー大学	2001/4/26	0	1	3	0
	カリフォルニア大学サンディエゴ校	2016/3/4	0	0	10	4
	ニューヨーク州立大学・オスウェゴ校	2016/7/1	0	1	0	2
	ミシガン州立大学	2017/11/20	2	0	6	0
	サンディエゴ大学	2017/3/1	0	0	0	1
	コロンビア	ロスアンデス大学	2015/8/19	0	4	1
サンタンデル工科大学		2017/1/13	0	0	0	0
チリ	チリ大学	2004/8/5	2	2	2	4
ブラジル	バラナシオン大学	2012/8/20	0	0	0	0
	ベルナンブーコ連邦大学	1981/7/12	0	0	0	0
	ブラジリア大学	2013/3/15	0	1	6	1
	サンパウロ大学	2013/9/27	10	14	14	24
	サンタ・クルス病院	2016/9/19	9	0	1	1
	サンパウロ大学リベロプレイト校	2016/12/7	0	0	1	0
	カンピナス州立大学	2017/2/28	0	2	6	1
	サンパウロ州研究財団	2017/9/1	0	0	0	0
サンパウロ州立バウリスタ大学	2018/3/8	0	1	5	0	
ペルー	ペルー・カトリック大学	2008/3/1	0	8	7	12
メキシコ	メキシコ大学院大学	1979/4/9	2	3	1	1
	グアダハラ大学	2017/3/15	0	3	1	1
サウジアラビア	キング・アブドゥールアジーズ大学	2010/7/8	2	0	1	0
トルコ	ボアジチ大学	2003/3/5	1	4	0	0
	ハムツカレ大学	2014/4/10	0	0	0	0
ヨルダン	ヨルダン科学技術大学	2012/2/28	0	0	0	0
イタリア	カ・フォスカリ大学	2011/9/8	0	0	2	1
	ミラノ工科大学	2013/9/13	0	1	1	4
	ボローニャ大学	2015/7/16	1	0	2	0
	フィレンツェ国立美術学院	2016/7/1	0	0	0	2
	マルシェ科学技術大学	2012/4/24	0	0	0	0
	国際連合食糧農業機関	2015/2/6	0	0	0	0

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受入数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
エストニア	タリン大学	2006/1/21	0	1	1	2
オーストリア	ウィーン経済・経営大学	1997/4/29	0	1	1	0
オランダ	アイントホーフェン工科大学	2008/6/12	11	1	0	0
	トゥウェンテ大学	2008/11/24	0	1	0	1
	エントレヒト大学	1996/2/1	6	2	7	8
	デルフト工科大学	2001/2/6	0	2	2	4
英国	イースト・アングリア大学	2014/3/10	1	0	1	0
	ラフバラ大学	2014/6/11	1	0	0	3
	マンチェスター大学	1999/8/24	1	3	3	1
	オックスフォード・ブルックス大学	2015/2/18	0	4	1	4
	リバプール大学	2014/8/6	2	1	3	14
	エディンバラ大学	2010/5/11	3	3	3	16
	ノーザンブリア大学	2017/4/1	0	0	0	0
	ブリマス大学	2012/7/24	2	0	1	0
	シェフィールド大学	2007/9/1	0	2	4	9
	バドフォードシャー大学	2012/11/26	0	0	0	0
	スイス	国際スポーツ科学アカデミー	2014/7/26	1	0	6
スウェーデン	ウプサラ大学	2009/1/16	1	1	5	3
	ルンド大学	2016/1/8	0	0	3	1
	スウェーデン王立美術大学	2007/3/12	0	1	0	2
スペイン	マドリド・コンプルテンセ大学	2009/1/1	0	0	0	1
	バルセロナ大学	2011/2/1	1	0	1	3
	サラマンカ大学	2008/2/5	0	0	0	3
スロベニア	リュブリャナ大学	2012/11/4	0	8	2	8
チェコ	カレル大学	2002/9/9	0	0	2	5
デンマーク	コペンハーゲン大学	1999/10/15	0	2	2	0
ドイツ	ベルリン自由大学	2008/3/4	1	7	4	7
	ミュンヘン工科大学	2013/1/1	2	0	4	2
	ケルン大学	2013/10/1	0	5	0	9
	デュースブルグエッセン大学	2014/9/11	9	0	3	4
	ハイロイト大学	1994/7/20	0	0	1	3
	ミュンスター大学	2015/4/1	0	0	1	0
	ライプニッツ大学ハノーファー	2014/10/1	1	0	0	0
	フライブルク大学	2015/7/7	0	0	5	0
	ライプツィヒ大学	2005/6/8	0	0	0	1
	ユーリッヒ総合研究機構 (エネルギー・気候研究所)	2015/11/1	15	0	1	0
	ボン大学	2011/2/14	8	18	2	15
	アウクスブルク応用科学大学	2011/2/14	0	0	0	0
	ボーフム大学	2016/8/16	13	4	9	19
	ドルトムント工科大学	2016/6/1	0	3	0	0
デュッセルドルフ大学	2016/10/19	1	0	0	0	
マルティン・ルター・ハレ・ヴィッテンベルク大学	2012/3/14	0	2	3	2	
ブランデンブルク工科大学コッブス・ゼン フテンベルク校	2007/6/26	0	1	0	1	
シュトゥットガルト・メディア大学	2017/11/14	1	0	1	1	



国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受入数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
ドイツ	ルートヴィヒ・マキシミリアン大学ミュンヘン	2013/4/1	0	4	12	8
ノルウェー	オスロ大学	2017/4/25	0	0	1	1
ハンガリー	エトヴェシュ・ロラーンド大学	2013/10/1	0	0	3	0
	タンカプヤバ教員大学	2013/10/1	0	0	0	0
	センメルヴァイス大学	2013/10/1	0	0	0	0
	ハンガリー体育大学	2015/6/17	0	0	2	6
	セグド大学	2015/8/25	1	0	1	1
フィンランド	ヘルシンキ大学	2011/11/28	0	0	0	1
	ヘルシンキ芸術大学 美術アカデミー	2016/5/1	2	0	0	2
フランス	フランス放射線防護原子力安全研究所	2012/7/11	0	0	2	7
	モンペリエ大学	2013/2/28	1	9	3	3
	グルノーブル大学	2013/11/12	19	6	3	6
	ナント大学	2014/4/17	0	0	0	0
	ベルフォーレ・モンペリエール工科大学	1999/8/19	0	2	0	0
	国立工業工芸大学(パリ工科大学)	2014/12/16	0	0	0	1
	フランシュ＝コンテ大学	2010/11/23	0	9	5	12
	パリ第13大学	2013/2/26	3	3	0	2
	ボルドー・モンテーニュ大学	2016/10/6	0	0	0	0
	ボルドー大学	2013/10/7	15	25	18	17
	ヴァレシエンヌ大学	2011/2/10	0	2	0	0
	パリ・ラ・ヴァレット建築大学	2017/6/26	0	0	0	2
	ストラートデザイン大学	2017/10/3	0	0	0	0
	モンペリエ第三大学	2017/9/1	0	0	0	0
	グルノーブル大学連合	2017/11/22	3	0	5	9
	グルノーブル経営大学院	2017/2/1	0	0	2	1
	パリ＝サクレ大学	2018/2/1	2	0	0	0
	ボルドー＝サイエンスアグリ	2018/3/12	3	0	3	0
	ベルギー	インターユニバーシティマイクロエレクトロニクスセンター	2011/5/12	0	0	0
ルーバン・カトリック大学		2011/5/12	4	0	1	0
ポーランド	ワルシャワ大学	2013/1/10	0	2	1	2
	ヤギェウォ大学	2002/9/2	0	2	0	0
	ピアウィストック大学	2010/1/12	0	3	0	0
ラトビア	ラトビア大学	2006/1/24	0	1	1	1
リトアニア	ヴィリニウス大学	2006/12/19	0	5	0	2
ルーマニア	ティミショアラ西大学	2010/9/23	0	0	1	0
	ブカレスト大学	2015/10/1	0	0	0	1
ロシア	ブドカー原子物理学研究所	1998/2/16	3	0	4	0
	モスクワ市立教育大学	2009/5/22	1	8	4	33
	カザン連邦大学	2015/2/16	1	12	3	3
	ピロゴフ記念ロシア国立研究医科大学	2015/2/16	0	4	8	9
	ノヴォシビルスク国立医科大学	2015/2/16	0	3	7	1
	太平洋国立医科大学	2015/2/16	0	0	0	0
	モスクワ国立大学	2014/10/7	5	9	6	7
	極東連邦大学	2015/6/17	1	4	8	2
	ノヴォシビルスク国立大学	2015/7/18	0	3	0	1

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受入数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
ロシア	ロシア国立体育・スポーツ・青年・観光大学	2015/12/1	0	0	0	0
	サンクト・ペテルブルグ大学	2012/2/1	1	7	6	16
	ロシア国立人文大学	2018/3/14	0	0	2	0
アゼルバイジャン	アゼルバイジャン言語大学	2016/3/14	0	4	0	1
	ADA大学	2016/4/15	0	2	0	0
アルメニア	ロシア・アルメニア・スラヴ大学	2016/5/2	7	3	2	6
ウクライナ	キエフ国立大学	2006/9/11	0	9	0	3
	ウクライナ農業放射線研究所	2017/11/6	0	0	6	8
	ウクライナ国立生命環境科学大学	2017/11/6	0	0	3	1
ウズベキスタン	ウズベキスタン国立世界言語大学	2015/10/25	0	2	3	0
	タシケント国立東洋学大学	2005/5/27	0	6	13	7
	サマルカンド国立外国語大学	2006/9/30	0	2	5	0
	世界経済外交大学	2006/9/29	0	3	2	0
カザフスタン	ユールシア国立大学	2013/6/3	2	7	2	1
	ナルホーズ大学	2007/10/11	0	5	0	0
	カザフ国際関係外国語大学	2013/8/25	0	1	0	0
	国立腫瘍移植科学センター	2015/2/1	0	0	0	0
	カザフ国立教育大学	2015/8/28	2	1	3	0
	ナザルバエフ大学	2016/5/19	0	2	0	1
	カザフ国立大学	2012/1/23	2	11	3	10
	カザフ経済大学	2014/1/1	0	0	0	0
キルギス	キルギス民族大学	2013/10/9	0	4	0	4
	ビシュケク人文大学	2013/8/26	0	4	1	0
	キルギス国立大学	2005/5/27	1	4	1	0
ジョージア	トビリシ自由大学	2016/4/14	0	4	0	0
タジキスタン	ロシア・タジク・スラヴ大学	2014/9/1	0	3	0	1
	タジク国立言語大学	2015/10/24	0	4	0	0
トルクメニスタン	トルクメニスタン国立アザディ世界言語大学	2013/9/12	0	1	0	0
ベラルーシ	ベラルーシ国立医科大学	2015/2/16	0	0	0	0
	ベラルーシ国立大学	2012/2/21	0	0	1	0
モルドバ	モルドバ国立大学	2016/4/12	0	1	0	1
アルジェリア	アルジェリア民主人民共和国高等教育・科学技術研究省	2011/4/7	0	0	0	0
	オラン科学技術大学モハメド・ブーディアブ	2012/11/5	0	1	0	0
	ホウアリ・ブーメディエン科学技術大学	2010/3/17	0	0	0	0
エジプト	カイロ大学	2008/6/26	2	3	0	0
	アインシャムス大学	2003/2/9	0	4	0	0
	エジプト日本科学技術大学(E-JUST)	2013/1/22	3	0	9	0
チュニジア	カルタゴ大学	2011/3/17	0	1	1	0
	スース大学	2011/5/17	0	0	0	0
	スファックス大学	2011/10/26	0	0	0	0
	スファックス・バイオテクノロジー・センター	2006/10/30	0	0	0	0
	チュニス・エル＝マナール大学	2013/7/2	0	1	0	0
ナイジェリア	ナイジェリア大学	2007/10/17	1	0	1	0
マラウイ	マラウイ大学	2017/11/20	0	0	0	4
モーリタニア	高等技術学院	2012/10/15	0	0	0	0

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受人数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
モロッコ	シディー・モハメド・ベン・アブタッラー大学	2011/3/17	0	0	0	0
	モロッコ王国高等教育・科学研究・幹部養成省	2012/9/10	0	0	0	0
	ハッサンII世農獣医大学	2011/5/9	2	0	9	0
	アル・アハワイン大学	2011/4/25	0	4	0	11
	カディ・アヤド大学	2010/3/2	1	2	0	0
	モハメッド5世大学	2007/2/16	0	0	0	0
リビア	セブハ大学	2010/5/14	0	0	0	0
国際連合	国際連合大学	2012/10/13	0	1	0	0
小計			580	1,036	1,006	1,211
合計			1,616		2,217	

(4) 国際会議等の開催

(平成29年度)

会議名	開催期間	会場	主催等	テーマ	参加者数 (外国人参加者数)
Tsukuba Global Science Week 2017	2017/09/25 ~ 2017/09/27	つくば国際会議場	筑波大学	あらゆる学術分野の最新の研究成果の共有	48カ国/1,800人/(320人)
山岳科学センター第1回国際シンポジウム	2017/11/15 ~ 2017/11/15	筑波大学 大会館(特別会議室)	山岳科学センター	Mountain Science Frontier: Planning International and Interdisciplinary Studies	3カ国/43人/(12人)
第141回知的コミュニティ基盤研究センター研究談話会	2017/05/23 ~ 2017/05/23	知的コミュニティ基盤研究センター	知的コミュニティ基盤研究センター	ひきこもる若者の情報行動	4カ国/14人/(3人)
JST CREST 3プロジェクト合同シンポジウム	2017/06/02 ~ 2017/06/02	情報メディアユニオンホール	筑波大学 人工知能科学センター	人と人工知能のより良い未来	参加国数不明/116人/(14人)
第142回知的コミュニティ基盤研究センター研究談話会	2017/07/27 ~ 2017/07/27	知的コミュニティ基盤研究センター	知的コミュニティ基盤研究センター	シンガポール国立大学・Web Information Retrieval and Natural Language Processing Group (WING) における電子図書館、情報検索、自然言語処理に関する研究	3カ国/15人/(2人)
The 40th International ACM SIGIR Conference	2018/08/07 ~ 2018/08/11	京王プラザホテル	ACM SIGIR 2017 Conference Organization	Research and Development in Information Retrieval	36カ国/911人/(647人)
Franco-Japanese Days on Combinatorics and Optimization 2017	2017/12/04 ~ 2017/12/05	筑波大学東京キャンパス文京校舎119会議室	筑波大学	talk in different aspects of Combinatorics (including Algorithms and Combinatorial Optimization, various subjects in Graphs and Computational Geometry)	4カ国/34人/(3人)
第13回コンケン大学・アジア太平洋経済協力国際会議	2017/09/09 ~ 2017/09/12	コンケン大学教育学部講堂	コンケン大学	APEC人材養成部門授業研究プロジェクト報告会合	参加国数不明/441人/(434人)
第12回筑波大学・アジア太平洋経済協力、ユネスコ(MGIEP)会議	2018/02/07 ~ 2018/02/10	筑波大学 東京キャンパス	筑波大学	APEC授業研究ネットワークの成果報告	13カ国/157人/(132人)
第6回筑波大学・東南アジア教育大臣機構シンポジウム	2018/02/11 ~ 2018/02/11	筑波大学 東京キャンパス	筑波大学	価値教育、グローバルヘルティネス教育、SDGs(持続可能な開発目標)、ESD(持続可能な開発教育)に関する動向・課題の共有	参加国数不明/53人/(35人)
第6回IHISシンポジウム	2017/12/14 ~ 2017/12/14	東京コンパレンスセンター品川	筑波大学国際統合睡眠医学科学研究機構	睡眠・覚醒の謎に挑む	14カ国/194人/(43人)
トランプ政権下での気候変動対策	2018/03/14 ~ 2018/03/14	明治学院大学	筑波大学・明治学院大学	法学、環境法	4カ国/30人/(15人)
Candrakrti and beyond	2017/06/26 ~ 2017/06/26	オーストリア科学アカデミー/筑波大学	オーストリア科学アカデミー/筑波大学(ビデオ会議サテライト)	In this workshop, scholars will present the results of their ongoing research on Candrakrti and the interpretation of Candrakrti's thought in India and Tibet, with a special focus on the views of 12th-century Tibetan Madhyamikas.	3カ国/19人/(12人)
チベットの歴史と言語に関する国際研究会	2017/09/07 ~ 2017/09/07	神戸市立外国語大学	神戸市立外国語大学・筑波大学	チベットの言語と歴史資料について	3カ国/23人/(8人)
The research sessions on the pratyakṣa chapter of Prajñākaragupta's Pramāṇavārtikakārikā	2017/09/21 ~ 2017/09/22	筑波大学	海外教育研究ユニット招致プログラム(人文社会系)	The research sessions on the pratyakṣa chapter of Prajñākaragupta's Pramāṇavārtikakārikā	2カ国/6人/(1人)
「仏教典籍の翻訳と伝承における講義の役割」研究会	2017/09/25 ~ 2017/09/26	筑波大学	海外教育研究ユニット招致プログラム(人文社会系)	仏教典籍の翻訳と伝承における講義の役割	3カ国/5人/(2人)
考古学・歴史学・古典学の若手研究者による学際セミナー「道故革新」	2017/11/27 ~ 2017/11/27	筑波大学	海外教育研究ユニット招致プログラム(人文社会系)	海外教育研究ユニット招致プログラム(人文社会系)および西アジア文明研究センターとの学際交流の一環として、考古学・古典学・歴史学分野間の横の交流と若手研究者のプレゼンテーション力の向上を目的とし、各分野の若手研究者に現在進行中の研究を中心に、当該分野の背景と方法論も含めて紹介いただく	3カ国/11人/(1人)
The Tsukuba-Hamburg Universities Symposium Series: Buddhist Studies Young Scholars' Workshop 2018 Part 1	2018/01/22 ~ 2018/01/22	ハンブルク大学	ハンブルク大学アジア・アフリカ研究所インド学チベット学研究室	Buddhist Studies	5カ国/19人/(15人)
The Tsukuba-Hamburg Universities Symposium Series: Buddhist Studies Young Scholars' Workshop 2018 Part 2	2018/01/27 ~ 2018/01/27	ハンブルク大学	ハンブルク大学アジア・アフリカ研究所インド学チベット学研究室	Buddhist Studies	5カ国/19人/(15人)
Seminar on Philology	2018/02/07 ~ 2018/02/09	筑波大学	海外教育研究ユニット招致プログラム(人文社会系)	文献学と批判校訂に関するセミナー	2カ国/11人/(1人)
Workshop on Maṇḍana Mītra and Bhartṛhari	2018/02/13 ~ 2018/02/14	筑波大学	海外教育研究ユニット招致プログラム(人文社会系)	Workshop on Maṇḍana Mītra and Bhartṛhari	3カ国/6人/(3人)
第9回 日本語コミュニケーション研究会	2017/11/04 ~ 2017/11/04	筑波大学共同利用棟A601教室	科学研究費補助金 基礎研究(C) 研究課題番号15K02630「『言ひ換え』に関する語彙・表現の基礎的研究」(代表 小野正樹)、基礎研究(C) 研究課題番号25370576「日本語の配慮表現に関する学習者コーパスの作成と対照研究」(代表 萩原功)	コミュニケーションにおけるフレキシビリティ	8カ国/40人/(20人)
中央アジア日本研究セミナー	2018/03/14 ~ 2018/03/14	カザフ国立大学東洋学部棟536	筑波大学アルマトイオフィス、カザフ国立大学東洋学部極東学科	中央アジアにおける日本研究	2カ国/20人/(10人)
国際シンポジウム「文化の対話と翻訳・翻案」	2018/03/16 ~ 2018/03/17	タシケント国立東洋学大学	タシケント国立東洋学大学、科学研究費基礎研究(B) 採択課題「日本現代文学・文化の世界展開の比較文学的研究—クボツコナタクトを中心に」筑波大学中央アジア事務所	文化の対話と翻訳・翻案	4カ国/125人/(100人)
Tsukuba Workshop on Social Media and Citizen Engagement	2017/06/28 ~ 2017/06/30	筑波大学人社棟	筑波大学人文社会国際比較研究機構	東アジアにおけるソーシャルメディア利用、政治・社会参加	5カ国/20人/(10人)
Symposium on Emerging Issues in Social Science Research	2017/11/23 ~ 2017/11/23	筑波大学総合研究棟A	筑波大学人文社会国際比較研究機構	社会科学の最前線のトピックを扱うシンポジウム	10カ国/40人/(30人)
文軌『因明入正理論疏』過類段 研究会	2018/01/19 ~ 2018/01/20	人文社会系棟A815	筑波大学人文社会系 小野基	文軌『因明入正理論疏』過類段の英訳プロジェクト	2カ国/3人/(1人)
筑波大学 特別シンポジウム「持続可能な社会と日本語教育—長期的なビジョンに立った大学の日本語教育を考える—」	2017/12/06 ~ 2017/12/06	筑波大学大会館特別会議室	筑波大学、筑波大学ロシア語圏国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム(Ge-NIS)、筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター(CEGLOC)	ロシアにおける日本語教育・日本研究の最新状況の共有	7カ国/70人/(25人)
第39回ICRセミナー	2018/02/01 ~ 2018/02/01	人文社会系棟 A101	人文社会国際比較研究機構	What are we missing? Formal grammar, functional factors and the analysis of ellipsis	2カ国/21人/(1人)
第33回ICRセミナー	2017/05/11 ~ 2017/05/11	人文社会系棟 A101	人文社会国際比較研究機構	2014年総選挙での共産党躍進の要因: "Explaining the Surges and Declines of the Japanese Communist Party"	参加国数不明/70人/(30人)

会議名	開催期間	会場	主催等	テーマ	参加者数 (外国人参加者数)
明治学院大学・筑波大学ICR,SARACA・国際地域専攻共催講演会	2018/03/16 ~ 2018/03/16	筑波大学東京キャンパス118教室	明治学院大学・筑波大学ICR,SARACA・国際地域専攻	トランプ政権下のシェブロン 法理の展開	5か国/22人/(15人)
Minimal surfaces and related topics	2018/01/09 ~ 2018/01/12	Math. Institute at the University of Granada	University of Granada, University of Tsukuba	minimal surfaces and integrable systems	15か国/52人/(49人)
タイル張り力学系	2017/11/20 ~ 2017/11/24	数学国際交流センター	数学国際交流センター	タイル張り力学系の集中学習会	17か国/72人/(68人)
零エントロピーの力学系	2017/11/27 ~ 2017/12/01	数学国際交流センター	数学国際交流センター	零エントロピーの力学系	7か国/31人/(26人)
タイル張りと再帰性	2017/12/04 ~ 2017/12/04	数学国際交流センター	数学国際交流センター	自己誘導構造と再帰性	16か国/61人/(58人)
St Virgil 二国間交流(FWF/JSFS)集会	2018/02/20 ~ 2018/02/23	サンバーゼル	FWF/JSFS	タイヒミュラー流れと区間交換	4か国/18人/(12人)
China-Japan collaboration workshop on "Nuclear mass and life for unravelling mysteries of r-process"	2017/06/26 ~ 2017/06/28	計算科学研究センター会議室A	筑波大学	r過程の謎解明に向けた核質量と寿命	3か国/35人/(15人)
第3回内閣府SIP革新的構造材料先端計測拠点国際会議	2017/10/03 ~ 2017/10/05	産業技術総合研究所 つばば中央第一共用講堂	産業技術総合研究所、物質・材料研究機構、筑波大学、高エネルギー加速器研究機構、東京大学	内閣府SIP「革新的構造材料」における先端計測拠点の形成	4か国/58人/(8人)
Trends in Theory of Correlated Materials (TTCM2017)	2017/09/10 ~ 2017/09/13	Tsukuba International Congress Center (EPOCHAL TSUKUBA) Rm. 201 & Rm. 202.	University of Tsukuba & Geneva University	強相関物理の理論他、現代的な物性理論	2か国/58人/(13人)
International workshop "Variety and universality of bulk-edge correspondence in topological phases: From solid state physics to transdisciplinary concepts" [ BEC2018 ]	2018/01/05 ~ 2018/01/08	University of Tsukuba, Public lecture room B110, Advanced Research Building B (1F)	University of Tsukuba	トポロジカル相対にバルク・エッジ対応の物理	7か国/82人/(14人)
無機化学セミナー	2017/07/21 ~ 2017/07/21	筑波大学 自然科学系B棟601室	筑波大学	プロトン共役電子移動・分子モデルから触媒系へ	3か国/23人/(3人)
第一回筑波大学-グルノーブルアルプス大学ジョイントシンポジウム	2017/09/26 ~ 2017/09/26	筑波大学 総合研究B棟0110室	筑波大学 数理工学系化学域	数理工学系研究科とグルノーブルアルプス大学のダブルディグリープログラム開設	3か国/60人/(10人)
第2回日米二国間錯体化学会議	2017/09/15 ~ 2017/09/16	北海道大学札幌キャンパス	錯体化学会、新学術領域研究「配位アシストリ」	錯体化学分野の活性化と次世代を担う日米研究者の研究交流	2か国/100人/(20人)
超分子化学講演会(TIMS講演会)	2017/04/06 ~ 2017/04/06	筑波大学総合研究棟B	筑波大学学際物質科学研究センター	超分子化学	2か国/21人/(1人)
超分子化学講演会(TIMS講演会)	2017/08/03 ~ 2017/08/03	筑波大学総合研究棟B	筑波大学学際物質科学研究センター	超分子化学	2か国/21人/(1人)
2018 Joint Symposium on Energy Materials Science and Technology (Workshop of Pre-Strategic Initiatives)	2018/03/08 ~ 2018/03/09	筑波大学総合研究棟B	筑波大学、エネルギー物質科学研究センター(TREMS)、デュースブルグ・エッセン大学(CENIDE)、国立清華大学(NTHU)	エネルギー物質科学	8か国/88人/(27人)
π造形国際シンポジウム	2017/11/13 ~ 2017/11/14	ハイデルベルグ大学	π造形科学	π電子系有機材料の合成と物性について	2か国/80人/(50人)
東アジア生涯学習研究フォーラム	2017/12/10 ~ 2017/12/13	佐賀大学 他	筑波大学人間総合科学研究科教育学専攻	東アジア生涯学習法制に関する教育研究交流	3か国/45人/(15人)
第5回「スポーツ国際開発」国際シンポジウム	2017/12/16 ~ 2017/12/16	筑波大学東京キャンパス	筑波大学/鹿屋体育大学	スポーツ国際開発分野における「実践から研究への応用」	11か国/100人/(40人)
国際会議「釈奠-東アジアの孔子祭典を考える」	2018/01/26 ~ 2018/01/26	筑波大学 大学会館 国際会議室	筑波大学儒教美術復元研究組織	儒教の重要祭典である釈奠について、最新の研究成果を共有する	3か国/50人/(5人)
「ヒューマン・ハイパフォーマンスの実現を目指した次世代スポーツ科学と神経科学の融合・統合」	2018/02/28 ~ 2018/02/28	筑波大学5C216	筑波大学	HHPPの実現を目指した次世代スポーツ科学と神経科学の融合・統合	8か国/74人/(18人)
ARHHP国際フォーラム2018	2018/03/05 ~ 2018/03/05	筑波大学5C216	筑波大学	Sport Sciences for Olympic and Paralympic Games	12か国/145人/(49人)
ARHHPフォーラム2018	2018/03/06 ~ 2018/03/06	筑波大学5C216	筑波大学	Sport Sciences for Olympic and Paralympic Games	9か国/124人/(19人)
フアンアート・ユニバーシアードU-35展(展覧会2017年11月28日~12月10日、シンポジウム2017年12月9日、アーティストトーク2017年12月9日)	2017/11/28 ~ 2017/12/10	シンポジウム:筑波大学春日講堂 アーティストトーク:茨城県つくば美術館	文化庁 筑波大学	海外の作家・作品との交流を通して、わが国の若手芸術家を育成することを目的とした文化庁委託事業(展覧会、シンポジウム、アーティストトークで構成)シンポジウムのテーマは「芸術作品の評価とその方法」	16か国/1,020人/(20人)
ヒューマン・ケア科学専攻FD講演会	2017/09/06 ~ 2017/09/06	筑波大学総合研究棟D116	筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻	多文化・多人社社会での医師としての経験から日本を考える	5か国/36人/(6人)
パブリックヘルス&ヒューマン・ケア科学 国際交流セミナー-Vol.2	2017/12/20 ~ 2017/12/20	筑波大学総合研究棟D116	筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻	平成29年度よりスタートした国立大学法人発の博士(公衆衛生学)プログラムの発展と、パブリックヘルスおよびヒューマン・ケア科学の学際的・国際的教育研究の視点として更なる発展充実をめざす	5か国/50人/(8人)
第2回アジア・太平洋地域の遺産保護における自然と文化の連携に関する人材育成ワークショップ	2017/09/15 ~ 2017/09/26	筑波大学	筑波大学世界遺産専攻・自然保護寄附講座	神聖な景観	25か国/25人/(24人)
世界遺産シンポジウム 自然と文化をつなぐ	2017/09/26 ~ 2017/09/26	つくば国際会議場	筑波大学自然保護寄附講座	神聖な空間	18か国/62人/(25人)
国際シンポジウム「地域に根差した自然保護」	2017/11/23 ~ 2017/11/23	筑波大学東京キャンパス	筑波大学自然保護寄附講座	地域に根差した自然保護	3か国/120人/(20人)
チュニジア-日本 文化・科学・技術学術会議(TJASST 2017)	2017/11/24 ~ 2017/11/26	Hotel El Mouradi Gammarth, Tunisia	Institution de la Recherche et de l'Enseignement Supérieur Agricoles (IRESA)-筑波大学	北アフリカにおけるオープンイノベーションプラットフォームの創出	8か国/244人/(221人)
第6回高校生国際ESDシンポジウム	2017/11/09 ~ 2017/11/09	筑波大学東京キャンパス	筑波大学附属坂戸高等学校	SDGs × High School Students -「2030年に向けて私たちができること」-	6か国/250人/(20人)
第1回日本インドネシア高校生SDGsミーティング@ジャカルタ	2017/08/10 ~ 2017/08/10	インドネシア政府環境林業者	筑波大学附属坂戸高等学校	持続可能な世界を構築するためにわたしたち高校生が国境を超えてできること	2か国/140人/(120人)
The 5th International Conference on Global Aging Tsukuba (CGAT)	2017/09/27 ~ 2017/09/27	つくば国際会議場	筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野	学問の壁を越えエイジング関連に取り組む幅広い研究者が未来の超高齢化社会について深く議論する	10か国/55人/(25人)

会議名	開催期間	会場	主催等	テーマ	参加者数 (外国人参加者数)
遠隔医療カンファレンス	2017/06/15 ~ 2017/06/15	筑波大学附属病院総合臨床教育センター内遠隔医療カンファレンス室、九州大学医学部内アジア遠隔医療開発センター(TEMDEC)、チョーライ病院遠隔医療会議室	筑波大学附属病院	乳腺甲状腺内分泌外科	2か国/30人/(15人)
遠隔医療カンファレンス	2017/06/30 ~ 2017/06/30	筑波大学附属病院総合臨床教育センター内遠隔医療カンファレンス室、九州大学医学部内アジア遠隔医療開発センター(TEMDEC)、チョーライ病院遠隔医療会議室	筑波大学附属病院	耳鼻咽喉科	2か国/30人/(15人)
遠隔医療カンファレンス	2017/10/02 ~ 2017/10/02	筑波大学附属病院総合臨床教育センター内遠隔医療カンファレンス室、九州大学医学部内アジア遠隔医療開発センター(TEMDEC)、チョーライ病院遠隔医療会議室	筑波大学附属病院	腎泌尿器外科	2か国/30人/(15人)
遠隔医療カンファレンス	2017/10/19 ~ 2017/10/19	筑波大学附属病院総合臨床教育センター内遠隔医療カンファレンス室、九州大学医学部内アジア遠隔医療開発センター(TEMDEC)、チョーライ病院遠隔医療会議室	筑波大学附属病院	肝胆膵外科	2か国/30人/(15人)
消化器疾患セミナー	2017/11/14 ~ 2017/11/14	チョーライ病院カンファレンス室	筑波大学附属病院 (国立国際医療研究センター事業)	消化器疾患	2か国/159人/(150人)
臨床指導医養成ワークショップ	2017/11/21 ~ 2017/11/24	ホーチミン医科大学カンファレンス室	筑波大学附属病院 (国立国際医療研究センター事業)	臨床指導医養成	2か国/64人/(60人)
臨床指導医養成ワークショップ	2017/11/23 ~ 2017/11/23	ドンナイ省総合病院カンファレンス室	筑波大学附属病院 (国立国際医療研究センター事業)	臨床指導医養成	2か国/44人/(40人)
第3回ブラジル日本協カシンポジウム	2018/01/11 ~ 2018/01/11	サンパウロ大学カンファレンス室	サンパウロ大学、サンタクルス病院、筑波大学附属病院	内視鏡、眼科、国際協力	2か国/66人/(60人)
第8回国際放射線神経生物学学会大会	2018/02/09 ~ 2018/02/10	つくば国際会議場	国際放射線神経生物学学会	To what extent can we preserve histology and function?	5か国/62人/(6人)
目米デジタルイノベーションハブ ワークショップ	2018/03/19 ~ 2018/03/20	筑波大学東京キャンパス(東京都文京区大塚3丁目29-1)	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	日米の大学や研究機関がデータ科学、AI、サイバーセキュリティ等デジタル分野における共同研究の実施やデジタル時代に必要とされる教育プログラムの開発において、国際協力を推進するためのプラットフォーム構築を目指すものである。本ワークショップでは、「デジタル」をキーワードに日米協力をテーマとした講演・議論を通じて、両国研究機関の協力関係の強化を推進する	2か国/200人/(不明)
目米デジタルイノベーションハブワークショップ(3日目)「ビッグデータとAI時代のデータ活用と流通」	2018/03/21 ~ 2018/03/21	筑波大学 東京キャンパス文京校舎122 講義室	筑波大学人工知能科学センター	3月19日、20日に開催される「目米デジタルイノベーションハブワークショップ」での議論をふまえて、「データ分析のためのデータ」、「サイバーセキュリティのためのデータ」、「教育のためのデータ」をテーマとして、米国の協力を推進するためにさらに議論を深める	2か国/30人/(6人)
日蘭合同サマーワークショップ	2017/07/03 ~ 2017/07/08	筑波大学エンパワースタジオ	筑波大学グローバル教育院 エンパワメント情報学プログラム	魅せ方と現場力の育成	2か国/40人/(18人)
BEVI-jの導入および認証ワークショップ	2017/12/05 ~ 2017/12/05	筑波大学中央 図書館	筑波大学	BEVI-jの導入についての学内周知と利用ガイダンス	2か国/19人/(2人)
オハイオ州立大学比較研究学部・比較文化学類国際シンポジウム	2018/01/17 ~ 2018/01/17	筑波大学	比較文化学類・オハイオ州立大学比較研究学部(OSU/CS)共催	社会正義・非正義・差別・不平等: 文化的差異を越えて	2か国/43人/(3人)
第10回日中韓大学院生フォーラム	2017/09/22 ~ 2017/09/25	中国地質大学	中国地質大学 筑波大学(共催)	グローバル高度人材の育成を目的とする「大学院生による、大学院生のための、大学院生のフォーラム」	3か国/126人/(98人)
放射性物質環境動態・環境および生物への影響に関する学生共同研究 平成29年度キックオフシンポジウム	2017/06/05 ~ 2017/06/05	弘前大学被ばく医療総合研究所	放射性物質環境動態・環境および生物への影響に関する学際共同研究事務局	アイノープ環境動態研究センターと弘前大学被ばく医療総合研究所の学際共同研究	2か国/44人/(1人)
原子力災害特別セミナー (外国人講師による公開セミナー:01AD705)	2017/07/08 ~ 2017/07/08	筑波大学	筑波大学大学院 生命環境科学研究科 環境科学専攻・持続環境学専攻	Radiological protection of the environment	8か国/20人/(9人)
原子力災害特別セミナー (外国人講師による公開セミナー:01AD705)	2017/07/08 ~ 2017/07/08	筑波大学	筑波大学大学院 生命環境科学研究科 環境科学専攻・持続環境学専攻	Why make data available?	9か国/20人/(9人)
原子力災害特別セミナー (外国人講師による公開セミナー:01AD705)	2017/07/09 ~ 2017/07/09	筑波大学	筑波大学大学院 生命環境科学研究科 環境科学専攻・持続環境学専攻	The role of IAEA, Overview on the MODARIA2 programme, The influence of the season on the levels of activities in crops following a short-term deposition of radionuclides to agricultural land	10か国/18人/(6人)
原子力災害特別セミナー (外国人講師による公開セミナー:01AD705)	2017/07/09 ~ 2017/07/09	筑波大学	筑波大学大学院 生命環境科学研究科 環境科学専攻・持続環境学専攻	Transfer of radionuclides to agricultural animals and the appropriate remediation, The comparing remediation after the Chernobyl and Fukushima accidents	10か国/18人/(6人)
IAEA MODARIA2- ENEP 公開セミナー in English	2017/07/10 ~ 2017/07/10	筑波大学	筑波大学大学院 生命環境科学研究科 環境科学専攻・持続環境学専攻	Why we need Fukushima data	7か国/46人/(11人)
合同特別セミナー	2018/02/22 ~ 2018/02/22	筑波大学	筑波大学大学院 生命環境科学研究科 環境科学専攻・持続環境学専攻	地下水及び地下水を通じて移行する放射性物質のリスクアセスメント、及び水の放射性物質モニタリングにおける検出限界値の決定方法について	6か国/43人/(8人)
放射性物質環境動態・環境および生物への影響に関する学生共同研究 平成29年度報告会	2018/02/23 ~ 2018/02/23	筑波大学	放射性物質環境動態・環境および生物への影響に関する学際共同研究事務局	アイノープ環境動態研究センターと弘前大学被ばく医療総合研究所の学際共同研究	3か国/54人/(2人)
「Lesson #3.11プロジェクト」シンポジウム	2018/03/10 ~ 2018/03/10	日本科学未来館	筑波大学アイノープ環境動態研究センター放射線物質環境移行部門	原発事故から7年、放射能汚染の状況はどこまで改善したのか	4か国/240人/(5人)
International Symposium on Restoration of Steppe Rangeland: Based on the Ethics of Stakeholders	2017/09/08 ~ 2017/09/08	フスタイ国立公園	筑波大学	放牧地管理の研究成果の共有	2か国/73人/(71人)
山岳科学センター第1回国際シンポジウム	2017/11/15 ~ 2017/11/15	筑波大学 大会館	山岳科学センター	Joint Symposium for Research Collaboration between University of Hyderabad and University of Tsukuba	3か国/43人/(12人)
サマースクール:土・水・生命環境とCOVID境界現象2017	2017/07/28 ~ 2017/07/28	筑波大学 総合研究棟A	土・水・生命環境とCOVID境界現象実行委員会	Natural Organic Matter (NOM) & Flocculation	5か国/30人/(15人)
FAOインターンシッププログラム学生説明会報告	2017/11/16 ~ 2017/11/16	筑波大学 2C棟	筑波大学 野口良造	FAOと筑波大学の間で、FAOインターンシッププログラムのMOU締結が最終段階を迎え、FAOでのインターンシップを希望する学生への説明会を行うとともに、今後の筑波大学とFAOとの協力関係について、関係者で議論するために行われた	2か国/60人/(15人)
T-PIRCセミナー	2017/12/08 ~ 2017/12/08	筑波大学遺伝子実験センター211 セミナー室	筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター	What strategies for deciphering the role of ascorbic acid (VitC) in tomato fruits?	2か国/25人/(8人)
第1回T-PIRCシンポジウム	2017/12/15 ~ 2017/12/15	筑波大学遺伝子実験センター211 セミナー室	筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター	アボミタシスの生物学	2か国/30人/(10人)

会議名	開催期間	会場	主催等	テーマ	参加者数 (外国人参加者数)
T-PIRCセミナー	2018/02/27 ~ 2018/02/27	筑波大学遺伝子実験センター211 セミナー室	筑波大学つくば機能植物イノベーション 研究センター	The floral meristem termination : a way to control fruit	2か国/35人/(10人)
第2回T-PIRCセミナー	2018/03/13 ~ 2018/03/13	筑波大学春日キャンパス情報メディア ユニオンメディアホール	筑波大学つくば機能植物イノベーション研 究センター	植物生理学的モデルならびに情報技術を活用 した施設園芸生産技術革新	2か国/47人/(4人)
第3回T-PIRCセミナー	2018/03/14 ~ 2018/03/14	筑波大学遺伝子実験センター211 セミナー室	筑波大学つくば機能植物イノベーション研 究センター	温室作物の成長モデル:収量予測と分析	2か国/19人/(4人)
第4回T-PIRCセミナー	2018/03/15 ~ 2018/03/15	筑波大学生命環境系(旧生農棟)F 棟506	筑波大学つくば機能植物イノベーション研 究センター	From genetics to nutrients:the use of zebrafish embryos in molecular nutrition and nutrigenomics	2か国/13人/(3人)
第5回T-PIRCセミナー	2018/03/26 ~ 2018/03/26	Advanced Research Building, A11	筑波大学つくば機能植物イノベーション研 究センター	Engineering Solutions for Biomass Production and Provision System	2か国/27人/(26人)
T-PIRCシンポジウム (TGSW2017)	2017/09/26 ~ 2017/09/26	つくば国際会議場	つくば機能植物イノベーション研究セン ター	植物回復力とイノベーションのための先端大学フォーラム	7か国/151人/(11人)
「日本並び海外におけるゲノム編集技術の農業分 野への利用-現状と未来」	2017/07/10 ~ 2017/07/10	東京大学 伊藤国際学術研究セン ター 伊藤謝恩ホール	ILSI JAPAN SIPゲノム編集育種コンソ主催公開国際 ワークショップ	ゲノム編集技術の農業研究への利用について日本と海 外の状況について比較しながら、将来的な展望を探る	5か国/306人/(6人)
第6回ヒューマンバイオロジーシンポジウム	2017/09/25 ~ 2017/09/27	つくば国際会議場	筑波大学 教育推進部教育機構支援課 グローバル教育院	Transborder Networking in Human Biology	5か国/10人/(8人)
第6回GIP-TRIAD国際会議	2018/03/05 ~ 2018/03/05	国立台湾大学	筑波大学・国立台湾大学・ボルドー大学	国際連携食料健康科学専攻の運営に係る審議・報告	3か国/参加者数不明/(不明)
1st NTU-UT Radiation Oncology Joint Symposium	2017/11/25 ~ 2017/11/25	NTU College of Medicine	筑波大学・国立台湾大学	陽子線治療・放射線腫瘍学に関する研究成果の共有	2か国/75人/(60人)
1st NTU-UT Radiation Oncology Joint Symposium	2017/11/25 ~ 2017/11/25	NTU College of Medicine	筑波大学・国立台湾大学	陽子線治療・放射線腫瘍学に関する研究成果の共有	2か国/75人/(60人)
Doula workshop: The Perinatal doula's practice and contribution to modern Maternity care and current situations and challenges in Mongolian maternity care	2017/12/18 ~ 2017/12/19	モンゴル国立医科大学看護学部	モンゴル国立医科大学 筑波大学(共催)	出産中の女性への非医療的支援についての科学的・実 践的知識を共有し話し合うこと	3か国/71人/(70人)
第5回国際北極研究シンポ	2018/01/15 ~ 2018/01/18	一橋会館	北極研究コンソーシアム	北極圏の気候変動研究	20か国/600人/(300人)
Korea-Japan (Japan-Korea) Database Workshop 2017 (KJDB 2017)	2017/11/17 ~ 2017/11/20	沖縄都ホテル	筑波大学計算科学研究センター他	データベース、データ工学	2か国/74人/(16人)
The First IEEE Workshop on Human-Machine Collaboration in BigData (HMDData2017)	2017/12/11 ~ 2017/12/11	ウエスティンコブレイプラザ	IEEE	人間が処理系の一部として介入するビッグデータ解析	5か国/80人/(30人)
第6回核融合研究のためのプラズマ-材料相互作用 実験装置に関する国際ワークショップ	2017/11/01 ~ 2017/11/03	筑波大学総合研究棟B 110室	筑波大学	核融合研究のためのプラズマ-材料相互作用実験装置 に関する国際ワークショップ	7か国/65人/(28人)
第3回 日本・南アフリカ大学フォーラム(SAJU フォーラム)	2017/07/15 ~ 2017/07/16	東京国際交流館 プラザ平成	筑波大学・長崎大学, University of Pretoria	SDGsの実現に向けて、両国の大学が連携してどのよう な貢献を果たせるかについて議論する	2か国/200人/(60人)
AEARU(東アジア研究型大学協会) 第41回理事 会・第23回総会	2017/09/24 ~ 2017/09/24	つくば国際会議場	AEARU(筑波大学がホスト校)	東アジア研究型大学の連携強化	6か国/64人/(41人)
平成29年度筑波大学SD研修会ネットワーク・キ ング・ワークショップ「大学のグローバル化を考える」	2018/02/13 ~ 2018/02/13	筑波大学学生会館	筑波大学 グローバル・コモンズ機構	国際社会で活躍できる人材の育成	8か国/42人/(23人)
「大学の世界展開力強化事業(AIMS)」~ASEA N対象プログラム・AIMSプログラム~平成29年度 合同シンポジウム	2018/02/12 ~ 2018/02/12	筑波大学東京キャンパス	東南アジア教育大臣機構・高等教育開発 センター、筑波大学	「Campus to Campus Connectivityプロジェクト」キックオフ シンポジウム	9か国/参加者数不明/(28人)
「大学の世界展開力強化事業(中南米)」~共同 プログラム運営委員会	2017/09/14 ~ 2017/09/15	カトリック大学	筑波大学	協働プログラム実施にかかわる協議	6か国/参加者数不明/(6人)
第2回AIMSステアリング会合	2017/07/06 ~ 2017/07/07	東京ドームホテル	東南アジア教育大臣機構・高等教育開発 センター、文部科学省、筑波大学	AIMSプログラムに係るプログラム実施及び将来計画等 を審議	10か国/参加者数不明/(33人)

(5) 国別交流者数

国・地域名	研究者等の受入	教職員の派遣	外国人留学生	学生の派遣	計
インド	36	32	39	10	117
インドネシア	63	85	115	44	307
カンボジア	5	13	11	10	39
シンガポール	12	49	3	38	102
スリランカ	4	3	20	5	32
タイ	110	99	37	77	323
ネパール	4	8	8	1	21
パキスタン	5		11		16
バングラデシュ	17	8	41	2	68
フィリピン	13	34	30	53	130
ブータン	1	3		1	5
ブルネイ	2	3	1	1	7
ベトナム	36	103	81	66	286
マカオ				1	1
マレーシア	46	66	41	64	217
ミャンマー	10	14	19	17	60
モルディブ	1				1
モンゴル	8	24	24	7	63
ラオス			8	2	10
韓国	103	183	170	90	546
香港	5	37	6	21	69
台湾	118	179	97	169	563
中国	255	258	1,375	182	2,070
アフガニスタン	1		8		9
アラブ首長国連邦		7		6	13
イエメン			1		1
イスラエル	6	7	1		14
イラク		5	1		6
イラン	6	3	11		20
サウジアラビア	2	1	2		5
シリア	1		7		8
トルコ	2	10	9	9	30
バーレーン		1	1		2
ヨルダン	1	2	1		4
レバノン		2	1		3
アゼルバイジャン		2	2	1	5
アルメニア	8	7	1	1	17
ウクライナ	5	22	9	8	44
ウズベキスタン	3	20	22	7	52
カザフスタン	11	8	12	13	44
キルギス	2	3	8	5	18
ジョージア		2	4	1	7
タジキスタン	1		6		7
トルクメニスタン	1	11	2		14
ベラルーシ	1	4	3		8
モルドバ		1		1	2
ロシア	39	76	26	78	219
アイスランド	1	1		5	7
アイルランド	2	14		7	23
アルバニア			0		0
イタリア	14	62	8	44	128
エストニア		4	1	12	17
オーストリア	10	54	2	39	105
オランダ	36	36	7	37	116
キプロス	2	3		3	8
ギリシャ	3	14	3	8	28
クロアチア	1	6	3	2	12
スイス	20	62	1	33	116
スウェーデン	3	26	1	12	42
スペイン	9	57	1	24	91
スロバキア		3	1		4
スロベニア		4	6	9	19
セルビア		1	1	1	3
チェコ	1	24	1	14	40
デンマーク	4	16	2	11	33
ドイツ	101	175	36	115	427
ノルウェー	13	9	3	6	31
ハンガリー	6	14	3	10	33
フィンランド	6	11	2	6	25
フランス	118	169	25	78	390
ブルガリア	0	1	3	1	5
ベルギー	7	13	1	4	25
ポーランド	6	15	3	20	44
ボスニア・ヘルツェゴビナ			2		2
ポルトガル		23	2	7	32
マルタ		1		2	3
モナコ		2			2
ラトビア	1	1		1	3
リトアニア		2	6	2	10
ルーマニア	6	5	3	5	19
ルクセンブルク	2				2
英国	61	113	9	76	259

国・地域名	研究者等の受入	教職員の派遣	外国人留学生	学生の派遣	計	
北米	カナダ	25	107	3	139	274
	米国	198	666	44	415	1,323
オセアニア	オーストラリア	28	70	2	72	172
	サモア			1		1
	ソロモン諸島	1		2		5
	ニュージーランド	7	20	1	13	41
	バブアニューギニア		3			3
	パラオ		4	1	1	6
	フィジー	2	1	4	5	12
中南米	アルゼンチン	1	6	3	3	13
	アンティグア・バーブーダ			1		1
	エクアドル				2	2
	エルサルバドル		1			1
	ガイアナ			1		1
	キューバ		3		1	4
	グアテマラ			3		3
	コスタリカ	1		2		3
	コロンビア	3	1	3	4	11
	ジャマイカ			2	1	3
	チリ	7	3	4	3	17
	ニカラグア			1		1
	ハイチ			1	1	2
	パラグアイ			2	1	3
	ブラジル	33	34	44	37	148
	ベネズエラ	2		4		6
	ペルー	10	18	14	14	56
	ボリビア			1		1
	メキシコ	20	24	10	6	60
アフリカ	アルジェリア			5		5
	ウガンダ		8	3	3	14
	エジプト	8	17	9		34
	エチオピア	1	3	8	2	14
	エリトリア			1		1
	ガーナ		3	13		16
	カメルーン			2		2
	ギニア			2		2
	ケニア		13	8	12	33
	コートジボワール		1	1		2
	コンゴ民主共和国	1		1		2
	ザンビア	1	3	3	2	9
	シエラレオネ			1		1
	ジンバブエ	1	2	2		5
	スーダン			1		1
	セネガル		1	3	1	5
	タンザニア			3	2	5
	チュニジア	7	29	13	3	52
	トーゴ		2			2
	ナイジェリア	2	1	8		11
	ブルキナファソ		1	1		2
	ベナン			1		1
	ボツワナ			1		1
	マラウイ	3	1	7	9	20
	マリ			1	1	2
	モーリシャス		1			1
	モーリタニア		1			1
	モザンビーク			2		2
	モロッコ	3	13	11	13	40
	リビア					0
	リベリア			2		2
	ルワンダ	1	1	4	4	10
	南アフリカ	39	4	1	2	46
その他	その他	9	1		2	12
国・地域不明		645			24	669
合計		2,436	3,403	2,683	2,385	10,907

## 7 社会連携・大学公開関係

### (1) 社会貢献プロジェクト(採択課題)

※所属/氏名欄の網掛けは、学生の取組みを示す。

分野	所属/氏名	取組み名
科学振興・教育	生命環境系 /松本 宏	2017国際植物の日 (Fascination of Plants Day) ～筑波大学生命環境系～
	システム情報系 /亀田 敏弘	超小型人工衛星を用いた体験実習型科学教育による地域・社会貢献プロジェクト
	生命環境系 /Matthew C. Wood	学生によるサイエンスコミュニケーションの実践 ～筑波大学サイエンスコミュニケーショングループSCOUT～
	数理解物質系 /後藤 博正	先端研究・国際活動を生かした地域社会貢献のための小中高校生への理科教育
国際	人文社会系 /明石 純一	国際都市つくばの新しい国際化施策一定住外国籍児童に対する「職育」プログラム
環境	生命環境系 /田村 憲司	環境マイスターの育成による地域環境教育の推進および環境保全事業
	生命環境系 /丸尾 文昭	「いもりの里」をモデル拠点とした谷津田・里山の復元・維持管理ネットワークの継続的発展2017
	生命環境科学研究科 /近藤 瑞穂	学生プロジェクトNature Human Linkage ～身近ないきものデータあつめ～
健康・医療・福祉	人間系 /野呂 文行	地域の知的障害児通園施設において低負担で実施できるコミュニケーション指導プログラムの職員研修および評価
	体育系 /田中 喜代次	住民主導による健康減量教室の普及
	医学医療系 /高橋 伸二	医療職および一般市民に対する新国際標準救急蘇生(ガイドライン2015)教育体制強化の支援
	芸術系 /貝島 桃代	アートの活用による開かれた病院の顔づくりプロジェクト -療養環境改善のための患者・地域住民・スタッフ参加型ワークショップの開催-
	医学医療系 /水野 智美	つくば市を国際的な点字ブロック適正設置モデル都市にするプロジェクト
	医学医療系 /鎌田 浩史	成長発育期(小・中学生)の「健康手帳」用いた運動器検診とトレーナーによる運動器障害予防活動 -小中学校におけるトレーナーの活動の実践-
	附属病院 /鈴木 康裕	児童への小児肥満改善のための参加(ワークショップ)型出前授業の提案-医療と芸術の協同した健康創成のための取り組み-
	附属病院看護部 /大塚 唯依	『つくばキッズメディカルユニバーシティ 2017』～小学生対象の医療現場体験ツアー～
文化・地域活性化	人文社会系 /井川 義次	哲学カフェによる地方創生
	人間系 /原田 悦子	高齢者コミュニティで作る広報誌を介した地域づくり社会連携プロジェクト
	体育系 /長谷川 聖修	定期的な健康づくり運動の実践による避難者・近郊高齢者・大学生などの交流の促進
	芸術系 /太田 圭	つくばエクスプレスでつなぐ「夏休みアート・デイキャンプ&アートたんけん隊2017」の実施
	附属高等学校 /山田 研也	文京ラグビースクール活動支援 ～小学生へのラグビー普及活動の一環として～
	附属坂戸高等学校 /岡 聖美	つくさか地域食育支援プロジェクト
	人文学類 /横尾 夏澄	市内小中学校における放課後学習支援および近隣高校との交流会の充実化
	体育専門学群 /伊藤 春花	大学生と中高生合同での企画推進を通して学生の未来を考える
	比較文化学類 /喜瀬 沙織	盆LIVE2017
防災・復興支援	生物資源学類 /野中 駿宏	つくば市におけるコミュニティ形成の継続的支援



(2) 地方自治体との連携協定

自治体名	連携事項	締結日	備考
つくば市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学と市の情報、資源及び研究成果等の交流並びにその活用</li> <li>・大学と市が共同して行う事業の企画及び実施</li> </ul>	H15.10.1	包括
茨城県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学と県の相互の情報、技術等知的資源の活用</li> <li>・地域の活力を育む人材の育成</li> <li>・大学と県が共同して実施する事業の企画、調整及び推進</li> </ul>	H17.2.7	包括
大子町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育等の人材育成のための特色ある取り組みに関すること</li> <li>・地域の健康増進</li> <li>・地域の自然、文化を活かしたまちづくり</li> <li>・農産物等の地域資源の振興</li> </ul>	H20.8.7	包括
文京区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成</li> <li>・文化、スポーツ、芸術の発展及び産業の振興</li> <li>・地域コミュニティの発展</li> </ul>	H22.2.9	包括
牛久市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育、文化、スポーツの振興</li> <li>・健康及び福祉の増進</li> <li>・地域資源の活用及び振興</li> <li>・地域の自然及び環境対策</li> <li>・まちづくりの推進</li> </ul>	H22.7.28	包括
土浦市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの推進</li> <li>・地域資源の活用及び振興</li> <li>・教育、文化及びスポーツの振興</li> <li>・地域施策の助言</li> </ul>	H23.3.1	包括
常総市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特性を活かしたまちづくり</li> <li>・文化・スポーツ・芸術を通じた地域活性化</li> <li>・教育支援及び人材育成</li> <li>・健康及び福祉の増進</li> </ul>	H24.2.14	包括
行方市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業・食、運動、休息による地域活性化</li> <li>・まちづくり推進及び健康サービスモデル開発事業</li> </ul>	H24.10.3	共同研究
福島県いわき市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津波等により甚大な被害を受けた沿岸地域等の復興</li> <li>・地域力の再生及び強化</li> <li>・地域産業の再生及び復興</li> <li>・都市魅力の再生及び復興</li> </ul>	H23.8.10	震災復興
宮城県仙台市及び 国立大学法人東北 大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・藻類バイオマス技術による東北の復興に向けて、</li> <li>・三者の相互の情報、技術的知的資源の活用</li> <li>・三者が共同して実施する事業の企画、調整及び推進</li> </ul>	H23.11.10	震災復興
潮来市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に強いまちづくり</li> <li>・産業の振興による復興支援</li> <li>・震災復興に係る施策への助言</li> </ul>	H23.11.21	震災復興
福島県伊達市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学的根拠に基づく先進的な健康づくり</li> <li>・放射性核種による汚染の実態と対策及び健康管理</li> </ul>	H23.11.28	震災復興
神栖市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・液状化被害、ライフライン被害等の調査検討</li> <li>・地域防災計画の見直し</li> <li>・復興に向けたまちづくりの推進</li> </ul>	H23.11.29	震災復興
北茨城市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活基盤の復旧及び地域コミュニティの再生</li> <li>・地域産業及び経済の再建</li> <li>・防災基盤の整備及び防災体制の強化</li> <li>・地域の現状や特性に応じたまちづくり</li> </ul>	H23.12.2	震災復興
高萩市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に強いまちづくり</li> <li>・生涯を通じた心身の健康づくり</li> </ul>	H23.12.6	震災復興
鹿嶋市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・震災からの復興に向けたまちづくりの推進</li> <li>・津波及び液状化対策</li> <li>・地域防災計画の改定</li> </ul>	H24.2.27	震災復興

(3) 高大連携事業一覧

事業名		対応員数等	参加人数	備考	
茨城県教育委員会	高校生公開授業	6科目	8名	16科目提示	
	高校生公開講座	7講座	87名	7講座提示	
	未来の科学者育成プロジェクト	5研究室	12名	県からの委託事業 14研究室(40名)の受入れ提示	
		4講座	54名	科学系コンテスト参加者強化トレーニング	
茨城県高校生科学研究発表会	審査員 50名	発表者 126名 参加者 500名	審査員には大学院生含む		
近隣高校	竹園高校	筑波大学図書館研修	—	国際科 80名	中央図書館対応
		「探Q」アドバイザー派遣	派遣大学院生 10名	国際科 80名	成果発表会 (1/31) に教員1名派遣
		国際科オリエンテーション	派遣大学院生 5名	国際科 80名	国際科2年進級予定生徒対象
		研究室体験学習 (文系)	受入教員 6名	国際科 42名	教育研究科で調整、期間中の1日
		研究室体験学習 (理系)	受入教員 2名	国際科 15名	化学分野、期間中の1日
		先端科学講座	派遣教員 3名	200名	1年生中心の希望者、物理・化学・生物の三分野
		大学紹介模擬授業	派遣教員 13名	280名	1年生全員、2～3年生希望者
		医学部進学支援特別授業	派遣教員 1名	40名	1～2年希望者
	茗溪学園	科学研究アドバイザー	—	—	2年生対象、生物分野
		大学訪問	16組織	40名	3年生
		SSH講演会	派遣教員 12名 派遣学生 7名	260名	1年生対象 室長、室員2名も対応
		SS研究・個人課題研究発表会	派遣室員 7名	発表者 28名 参加者 400名	大学後援、全校生徒参加 会場：大学会館
	土浦一高	出前講義	対応教員 2名	132名	医学研の生徒対象
		病院見学・体験実習	対応教員 2名	30名	医学研の生徒対象
		海外フィールドワーク	対応教員 6名	29名	マレーシア工科大、タスマニア大、UCアーバインでの活動の支援
		出前講義	対応教員 1名	320名	1年生対象
		職場訪問	対応教員 2名	10名	1年生対象
		留学生とのワークショップ	留学生延べ 25名	320名	1年生対象
		研究発表ポスター掲示	対応職員 2名	20名	サテライトオフィス利用
		模擬国連ワークショップ参加	対応教員 2名 学生 6名	20名	社会・国際学群高大連携企画
	水戸一竜	大学訪問 (模擬授業)	12組織、AC	160名	2年生
	大学研究会 (出前講義)	派遣教員 3名	120名	2年生対象、社会・生物・応理より派遣	

事業名		対応員数等	参加人数	備考	
附属学校	駒場	高校生研究室体験研修	19研究室	163名	2年生
		中学生研究室体験研修	(前半) 12研究室 (後半) 15研究室	122名	中学3年生
	高附属	大学訪問 (研究室体験)	28研究室	234名	2年生
	坂戸	大学訪問 (模擬授業&施設見学)	7学類8科目	160名	1年生
その他	理工系一日体験教室		数学類	37名	体験学習
			物理学類	33名	体験学習
			化学類	93名	体験学習
			応用理工学類	67名	サマースクール
	米軍子弟教育高大連携プロジェクト		13研究室	100名	米国防省からの委託事業
	高大連携シンポジウム		対応教員 3名	参加者 150名	社会工学域大澤研究室
	被災地支援出前講義		派遣教員 8名	280名	1校 (いわき桜が丘)
	出前講義、講演・シンポジウム、学群・学類紹介		教員延べ 238名		125校
模擬授業、研究室体験		教員述べ 265名		55校 シニアプロフェッサー対応含む	
高校生アートライター大賞		対応教員 3名	応募者 13ヶ国 551名	芸術専門学群	

#### (4) 公開講座実施状況

##### ア 一般公開講座

公開講座名	講座数	対象者	募集人数	応募者数	受講者数	修了者数
剣道（春季）	1	小学校1年生以上の者	50	32	32	29
剣道（秋季）	1	小学校1年生以上の者	50	61	60	56
弓道	1	中学生以上の弓道初心者	35	40	40	34
ゴルフ（初級）	1	一般市民（初心者）	24	51	25	25
ゴルフ（中級）	1	一般市民（「初級講座」修了者）	24	29	27	26
ゴルフ（上級）	1	一般市民（「中級講座」を修了し、ベストスコアが100以下の方）	24	32	26	26
ゴルフ（上級アドバンスコース）	1	一般市民（「上級講座」を修了し、ベストスコアが95以下の方）	24	21	21	21
スポーツ教室 7 講座			231	266	231	217
油絵（初級・中級）	1	初級：16歳以上、中級：18歳以上	30	34	32	29
日本画	1	16歳以上	20	16	16	16
電気炉でガラス作品を作ろう！ （入門基礎、応用）	2	入門基礎：初心者、応用：経験者	32	25	25	22
芸術教室 4 講座			82	75	73	67
憲法で学ぶ社会-若手憲法学者の最前線- -第四弾	1	一般市民（中学生以上）	15	8	8	4
まちなか自然講座-昆虫・植物・菌類-	1	一般市民（大学生以上）	20	30	30	25
筑波山地域ジオパークの魅力	1	一般市民	25	26	26	25
生きがいを見つけよう-あなたと考える 「哲学カフェ」	1	一般市民	10	17	15	15
世界遺産学の最前線～自然と文化をつなぐ～1	1	一般市民	30	17	17	17
世界遺産学の最前線～自然と文化をつなぐ～2	1	一般市民	30	8	8	7
健康増進を目指した生活習慣	1	一般市民	30	15	15	15
植物遺伝資源研究の最前線-育種から植物分子デザイン研究まで-	1	一般市民（高校生以上）	20	39	39	36
職場のメンタルヘルスとカウンセリング	1	一般市民	50	30	27	25
古文書を読んで、災害の記録をデータ化する	1	一般市民（古文書の読解経験の浅い方）	30	11	10	9
海洋生物学入門	1	高校生	25	43	30	30
“語り”から読み解く『働くひとの生涯発達心理学』	1	一般市民	30	24	24	22
憲法で学ぶ社会-法学検定で学ぶ-	1	一般市民（中学生以上）	15	5	4	3
藻類と環境-めぐりめぐる関係-	1	一般市民	30	21	20	19
筑波大学アドバンス・スポーツ・ボランティア講座	1	一般市民	30	0	0	0
東洋医学でリフレッシュ！	1	一般市民	40	29	26	19
教養講座 16 講座			430	323	299	271
計 27 講座			743	664	603	555

## イ 現職教育講座

公開講座名	講座数	対象者	募集人数	応募者数	受講者数	修了者数
視覚に障害のある重複障害児の指導と教材・教具	1	特別支援学校・学級の教員等	35	61	57	56
弱視教育研修講座	1	弱視教育担当教員等	35	39	37	36
さまざまな障害のこどもたちの体育指導	1	中学校・高等学校の保健体育教員、小学校、特別支援学校・学級の教員	30	32	31	30
教員のための遺伝子組換え実験教育研修会	1	中学・高等学校の教員及び博物館等の教育施設の関連事業の担当者等の総括責任者が必要と認めた者	20	13	11	6
教員のための遺伝子組換え実験教育研修会-アドバンスト・コース	1		20	19	19	19
保育士のための発達行動小児科学講座	1	保育士・幼稚園教諭、保育系・教育系の学生、就学前の子供のケアを担当している者	30	34	34	34
特別支援教育における社会性支援のための音楽活動	1	幼稚園・小学校および特別支援学校教員等	25	66	61	60
特別支援教育における教材・教具の活用と製作	1	特別支援教育及び関連する指導者等	20	29	19	18
特別支援教育における情動調整の評価と支援	1	幼稚園及び特別支援教育教員等	36	50	35	35
自閉症児における社会性支援プログラムの実際	1	幼稚園及び特別支援教育教員等	36	22	21	19
肢体不自由教育基礎講座	1	特別支援教育及び関連する指導者等	25	26	26	25
聴覚障害・発音指導研修講座	1	特別支援学校（聴覚）教員及び関連する指導者等	50	44	41	38
知的障害を伴う自閉症児の幼児期の指導～家庭や地域との連携～	1	教員・保育士・施設職員	30	14	12	11
静的弛緩誘導法による障害の重い子の成長・発達の援助	1	特別支援学校教員、医療・療育施設職員等	24	27	24	23
自立活動にいかす動作法実習	1	特別支援学校教員等	30	20	18	15
障害の重いこどもの知覚－運動学習	1	保育園、幼稚園、小・中・高及び特別支援学校の教員	30	25	21	20
特別な教育的ニーズのある子どもの学習支援	1	小・中・高および特別支援学校の教員、教育委員会等の教育関係者	30	32	28	26
自閉症のある子どものアセスメント	1	現職教員、教職を目指す大学生、療育機関や福祉施設の職員	20	23	23	21
自閉症児の特性に応じた教材・教具の作り方-実践事例を通して教材・教具の活用方法を考える-	1		20	29	21	20
自閉症のある子供と音楽	1	教員、保育士、施設職員	50	56	49	44
盲・弱視児童生徒理科実験指導研修講座	1	特別支援学校（視覚）・特別支援学級（弱視学級）教員等	15	20	14	14
免許法認定公開講座「特別支援教育の基礎理論」	1	幼、小、中、高の教諭普通免許状等を有し、国公立学校に勤務する教員（非常勤講師等を含む）で、特別支援学校教諭免許状を取得しようとする者	70	101	69	68
免許法認定公開講座「障害児の心理・生理・病理・教育課程・指導法論」	1		70	99	69	68
免許法認定公開講座「視覚障害の理解」	1		40	52	49	48
免許法認定公開講座「聴覚障害の理解」	1		40	52	44	43
免許法認定公開講座「知的障害の理解」	1		70	72	64	61
免許法認定公開講座「肢体不自由の理解」	1		30	33	28	26
免許法認定公開講座「視覚障害の指導法」	1		40	38	32	32
免許法認定公開講座「聴覚障害の指導法」	1		40	43	39	38
免許法認定公開講座「知的障害の指導法」	1		70	61	54	51
免許法認定公開講座「肢体不自由の指導法」	1		30	19	14	14
免許法認定講習「特別支援学校（視覚）療育科教員免許法認定講習」	1	視覚特別支援学校に勤務している教員で療育に係る特別支援学校自立教科教諭の臨時免許状または二種免許状を有する者	40	19	19	19
計	32	講座	1,151	1,270	1,083	1,038

### (5) 教員免許状更新講習

区分	講習名	受講者数
必修領域	必修A 教育の最新事情(開設4講習)	869
選択必修領域	選択必修a 学習指導要領の変遷と学校教育をめぐる今日的課題(2講習)	91
	「教育法規と教育政策」及び「学校における危機管理上の課題」(2講習)	80
	すぐに役立つ、児童生徒の望ましい人間関係づくりを身につけよう。(2講習)	78
	学校で苦戦する子どもの援助～チーム学校の視点から	64
	学校を巡る近年の状況の変化(2講習)	72
	グローバル時代の教育課題	42
	学校予防教育～子どもの問題の理解と対応のために～	23
	キャリア教育の更なる充実に向けて(2講習)	99
	開かれた学校(2講習)	34
	アクティブ・ラーニングの理論と方法	48
	学校組織マネジメント	18
	コミュニケーション能力の定義をもとにした英語教育の基本的認識と指導方法概論	22
	いじめ・不登校の理解と対応	76
	「子どものための学校」を実現するための組織マネジメント	7
	学校教育におけるICT活用～その可能性と課題を考える～	19
	進路と教育	29
	選択領域	選択B 特別なニーズのある子どもの理解と支援(3講習)
新しい体育科の授業の実践と分析		33
図画工作・美術教育を複眼的に考える		28
世界の授業、日本の授業－算数・数学授業の国際比較		32
理科好きな子どもを育てる授業		39
「おや?」「なるほど!」による算数・数学科問題解決の指導一愉しく・優しく育まれる人の心、生きる術、卓越した教習		44
国語科における教育課程の動向と対話活動の充実		38
心の教育からの脱却と道徳教育		89
新聞活用(NIE、新聞づくり)で育む言語力		36
性や薬物乱用等の現代的課題に対応した保健教育の考え方や進め方		31
「人と人がつながる試み」～子どもの可能性を拓く「総合表現」指導法～		27
英語学、英米文学、異文化理解の視点からの英語教育への提案		28
隣国理解のための歴史学習と歴史を中心とした校外学習		38
書写・書道教育の今日的課題		36
文法事項とコミュニケーション活動の一体化、4技能の総合的な育成を核とした英語科指導方法		24
考える算数・体験的算数		92
主体的で深い学びのある言語活動(英語)の充実と学習習慣の育成		37
気体に関する実験とその指導法		19
オリンピックを題材とする体育理論の授業づくりー文化としてのスポーツ学習を中心に		15
演劇の専門家とつくる教室		18
歌唱及び合唱指導法～美しい歌声を導くための実践実習～		22
書写指導～児童・生徒の文字への関心を高めるために～		23
フリーソフトを用いた楽しい統計		28
漢文訓読～高等学校国語での漢文教材の工夫と有効活用～	17	
視覚に障害のある児童・生徒のサポートについて考えよう	21	
触って考える数学	19	
見えにくさ・読みにくさへの配慮って何だろう?	17	

区分	講習名	受講者数
選択領域	選択C アジア・太平洋戦争を問い直す(4講習)	185
	稲と米のはなし	23
	エネルギー資源と新技術	26
	学校における剣道の指導法について	不開講
	学校の大規模災害対処と法的責任(2講習)	91
	子どもの心に耳を傾ける美術鑑賞	30
	発見!「筑波山地域ジオパーク」	39
	身近な物質の不思議さ・面白さ	20
	イタズラ実験オモシロ工作	44
	学校トラブルへの法的対処(幼稚園・小学校編)(2講習)	120
	気になる放射線を理解する～放射線の基礎と測定～	19
	芸術・デザインの観点から考える情報デザイン(ビジュアルデザインを適切に判断・評価するために)	10
	現代の社会における「繋がり」を考える	25
	物質の原子の並びを観る・予測する:計測と計算による物質科学	不開講
	学校トラブルへの法的対処(中学校・高等学校編)(2講習)	112
	最新のスポーツ科学についてー運動生理・生化学からみたー	26
	人工知能・ビッグデータを支える技術	8
	ストレスマネジメントスキル	48
	親世代・これから親になる世代が直面している課題	48
	学校における個人情報保護(2講習)	111
	古典に学ぶ:百科全書としてのダンテ『神曲』	8
	サイバーセキュリティリスクと対策技術	13
	雑穀等を用いた総合学習の展開～基礎知識から応用技術まで～	17
	知的興味を引き出す数学	26
	変動する大地 ～地震・津波・火山・地すべり～	41
	構成演習～やってみると色と形の構成の魅力～	33
	里山探検隊	47
	都市生活と地域・地球環境との関わり	21
	「文化としてのスポーツ」の考え方や学校体育ーなぜ体育は生涯スポーツをめざすのか?ー	25
	丈夫でおいしい野菜の品種をめざしてー園芸植物育種研究所での体験型学習～(2講習)	38
	実習と実験による役に立つ防災教育(土木学会との共催)	40
	ミュージアムパークで聞く野外観察へのとびら ー身近な草木やコケの名前を調べようー	31
	地学教育への基本講座ー地層をつくる砂粒から恐竜化石までー	29
組織マネジメントと人材育成	96	
楽しく学べるやさしい天気予報活用術	56	
私たちのからだと地球を支える身近なマイクロワールド～食育、環境教育に役立つ微生物・バイオのはなし～	32	
発達期のこころと行動～小児科・精神科の視点から～	112	
心から心に響くうた	20	
リハビリテーションの理論と実際	19	
東洋医学的アプローチによる生徒の健康管理	21	
選択D	附属小学校実践演習(3講習)	102
	附属中学校実践演習(2講習)	51
	附属高等学校実践演習(2講習)	52
	附属駒場中・高等学校実践演習	48
	附属坂戸高等学校実践演習	17
	附属視覚特別支援学校実践演習	23
	附属聴覚特別支援学校実践演習(2講習)	47
	附属大塚特別支援学校実践演習(2講習)	62
	附属桐が丘特別支援学校実践演習(2講習)	30
	附属久里浜特別支援学校実践演習(2講習)	36
他の講座等を活用した講習	31	
合計	122講習	4,864

※受講者数:受講申込者数から事前辞退者を除いた数(当日欠席者を含む)。

## (6) 大学会館施設利用状況

H29.04.01～H30.03.31

施設名	回数	利用者数				主な利用内容
		学生	教職員	学外者	計	
ホール	69	2,165	722	4,517	7,404	式典等(12回)、音楽会等(24回) 古典芸能(4回)、学会(8回) シンポジウム等(20回)、授業等(26回) その他(80回)
講堂	66	10,280	1,096	4,850	16,226	式典等(6回)、音楽会等(24回) 学会(3回)、授業等(37回) その他(61回)
国際会議室	96	3,544	1,961	4,125	9,630	国際会議等
特別会議室	140	5,916	1,258	4,780	11,954	学会等諸会議
第1～6会議室	620	13,303	4,429	6,504	24,236	学会等諸会議, 学生健康診断
レクリエーション室	130	1,171	187	160	1,518	職員の華道, 茶道の講習会等
小計	1,121	36,379	9,653	24,936	70,968	
多目的ホール	139	6,850	778	3,191	10,819	学生, 教職員の作品展示会等
ラウンジ	77	2,605	635	2,097	5,337	学生, 教職員の作品展示会等
ギャラリー	66	2,480	599	635	3,714	学生, 教職員の作品展示会等
マルチメディアルーム	114	3,915	870	1,117	5,902	見学者対応等
同窓交流室	37	20	122	117	259	元教職員等の交流
小計	433	15,870	3,004	7,157	26,031	
筑波大学ギャラリー	302	1,476	658	13,544	15,678	見学等
大学会館宿泊施設(20室, 22名)	287	19	1,601	2,088	3,708	講師等の宿泊
天久保宿泊施設(16室, 16名)	353	418	497	2,335	3,250	〃
春日宿泊施設(6室, 6名)	239	188	172	404	764	〃
小計	879	625	2,270	4,827	7,722	
合計	2,735	54,350	15,585	50,464	120,399	

## (7) 視察・来訪者

### ア キャンパスツアー見学受入数(平成29年度)

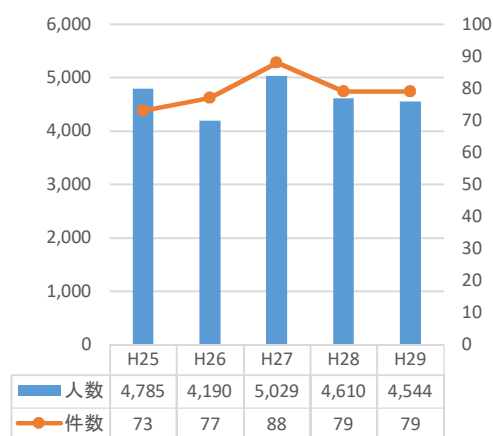
見学者別受入数

団体の種類	件数	人数
高等学校(中等教育学校4年以上含む)	65	3,339
中学校	6	704
P T A	7	491
その他	1	10
合計	79	4,544

目的別受入数

目的の種類	件数	人数
進路指導	71	4,043
研修・研究会	7	491
施設見学	1	10
修学旅行	0	0
合計	79	4,544

キャンパスツアー見学受入数の推移



内訳

月	学校等名	件数	人数	見学目的
4月	平成高等学校中高一貫コース2・3年	1	36	進路指導
5月	山梨学院高等学校普通科2年	5	80	進路指導
	東京教育大学OBクラス会		10	施設見学
	千葉県旭市立飯岡中学校1年		74	進路指導
	栃木県立茂木高等学校総合学科2年		32	進路指導
	群馬県樹徳高等学校普通科進学クラス2年		90	進路指導
6月	茨城県立古河中等教育学校中学3年	10	126	進路指導
	宮城県聖ウルスラ学院英智高等学校2年		59	進路指導
	埼玉県立春日部高等学校普通科理系2・3年		82	進路指導
	東京都明星高等学校2年		35	進路指導
	茨城県立鹿島高等学校普通科2年		42	進路指導
	埼玉県大宮開成中学高校普通科1年		91	進路指導
	埼玉県昌平高等学校PTA		93	PTA研修
	栃木県立足利高等学校PTA		124	PTA研修
	栃木県立さくら清修高等学校総合学科2年		50	進路指導
	岡山県立岡山城東高等学校2年		88	進路指導
7月	土浦日本大学高等学校特進コース2年	13	84	進路指導
	東京都立小山台高等学校普通科2年		52	進路指導
	(千葉県) 日本大学習志野高等学校2年		39	進路指導
	東京都立戸山高等学校普通科2年		27	進路指導
	東京都立北園高等学校全日制普通科2年		24	進路指導
	(埼玉県) 西武学園文理高等学校理数科1年		25	進路指導
	(埼玉県) 星野学園中学校		152	進路指導
	(茨城県) 明秀学園日立高等学校2年		30	進路指導
	新潟県立柏崎翔洋中等教育学校5年		83	進路指導
	静岡県立科学技術高等学校理数科1年		44	進路指導
	栃木県立宇都宮女子高等学校2年		23	進路指導
	栃木県立烏山高等学校普通科1・2年		42	進路指導
	福島県磐城第一高校 普 特進1・2・3		43	進路指導



8月	埼玉県本庄高校附属中学校3年	7	101	進路指導
	新潟県立巻高校 普2年		66	進路指導
	群馬県立高崎女子高校 普1・2年		42	進路指導
	富山県立砺波高校 普2年		123	進路指導
	愛知県学校法人河原学園未来高校普通科1・2年		37	進路指導
	埼玉県立本庄高校 普1・2年		86	進路指導
	埼玉県浦和実業学園高校 普(特進)2年		70	進路指導
9月	群馬県立高崎高校 普2年	9	74	進路指導
	埼玉県立越谷北高校普通・理数 1・2・3年		42	進路指導
	長野県上田高校 普2年		23	進路指導
	千葉県立柏高校 普通・理数1～3年		40	進路指導
	栃木県立鹿沼高校PTA		50	PTA研修
	ぐんま国際アカデミー普通科・高等部		32	進路指導
	茨城県立並木中等教育学校中学3年		167	進路指導
	常磐大学高等学校1年		18	進路指導
	札幌第一高校 普通1年		8	進路指導
10月	岡山県立玉野光南高校 体育2年	17	12	進路指導
	茨城県鹿島高校 普通1年		42	進路指導
	茨城県立日立第一高校普通・サイエンス科1年		88	進路指導
	群馬県新島学園高等学校(中高一貫)高校1・2年		20	進路指導
	茨城県立竜ヶ崎第一高校普通1年		49	進路指導
	群馬県前橋育英高校普通科I類特別進学クラス1年		80	進路指導
	栃木県立石橋高校 普1年		42	進路指導
	神奈川県立多摩高校PTA		50	PTA研修
	茨城県立水戸第二高等学校普通科1年		40	進路指導
	栃木県作新学院高校トップ英進部・英進部1年		43	進路指導
	茨城県霞ヶ浦高校 普通2年		42	進路指導
	群馬県立渋川高校 普通1年		42	進路指導
	栃木県立栃木女子高校 普通1年		80	進路指導
	本庄東高校PTA		50	PTA研修
	愛媛県私立新田高校特別進学コース1年		120	進路指導
	茨城県立日立北高校普通1年		42	進路指導
	東京都高輪高等学校1年		30	進路指導
11月	新潟県立六日町高校PTA	8	44	PTA研修
	沖縄県立球陽高校理数科2年		85	進路指導
	沖縄県立球陽高校理数科2年		83	進路指導
	山形県立山形南高校理数科1年		42	進路指導
	群馬県立桐生高校 理数1年		85	進路指導
	埼玉県立松山高校理数科2年		44	進路指導
	埼玉県立川口北高等学校PTA		80	PTA研修
	(山形県)北杜市立甲陵高等学校1年		42	進路指導
12月	茨城県立取手第一高校総合学科1年	8	38	進路指導
	茨城県立石岡第一高校普通科1年		42	進路指導
	熊本県立済々黌高校1年		60	進路指導
	新潟県立燕中等教育学校中学1年		84	進路指導
	熊本県立宇土中学・高校 高校1年		61	進路指導
	群馬県立太田東高校普通科1年		24	進路指導
	山口県立防府高校2年		43	進路指導
	芝浦工業大学附属中学高等学校(中3～高3)		16	進路指導
3月	山形県立鶴岡南高校理数科2年	1	40	進路指導
合 計		79	4,544	

附属学校受入数

月	学 校 等 名	件数	人数	見学目的
4月	附属視覚特別支援学校	2	2	解剖実習準備
	附属視覚特別支援学校		12	解剖実習
5月	附属高等学校	1	234	研究室訪問
7月	附属視覚特別支援学校	9	2	解剖実習準備
	附属視覚特別支援学校		8	解剖実習
	附属視覚特別支援学校		12	解剖実習
	附属小学校		156	施設見学
	附属視覚特別支援学校		10	解剖実習
	附属視覚特別支援学校		9	解剖実習
	附属駒場中・高等学校		163	研究室訪問
	附属視覚特別支援学校		24	キャンパス体験
附属坂戸高等高校	24	農場体験実習		
8月	附属坂戸高等高校	1	31	スポーツ交流
10月	附属坂戸高等高校	2	163	授業体験
	附属視覚特別支援学校		12	施設見学
11月	附属坂戸高等高校	2	18	AIMSプログラム交流
	附属坂戸高等高校		6	インターンシップ
12月	附属坂戸高等高校	1	31	スポーツ交流
2月	附属駒場中・高等学校	2	123	研究室訪問
	附属視覚特別支援学校（2月26日～3月1日）		10	解剖実習
3月	附属坂戸高等高校	2	2	インターンシップ
	附属桐が丘特別支援学校		16	学長訪問
合 計		22	1,068	

## イ 外国人来訪者

### ●キャンパスツアー

年・月	キャンパスツアー	件数	人数
平成29.4	インドネシア・バングラデシュ高校生・教職員一行	1	83
平成29.5	タイ大学生・教員一行 中央アジア諸国(5カ国)高校生・教員一行	2	33 62
平成29.6	インドネシア・タイ・韓国・中国・シンガポール高校生・スタッフ一行 コロンビア高校生・大学生・教員一行	2	19 30
平成29.9	アフリカ諸国(7カ国)大学院生・研究生一行 ベトナム大学生一行	2	8 12
平成29.10	タイ高校生・教員一行 タイ高校生・教員一行 マレーシア大学生一行 インドネシア大学生一行	4	36 26 16 20
平成29.12	台湾高校生・教員一行 フィリピン高校生・教員一行	2	33 7
平成30.1	韓国高校生・教員一行	1	22
平成30.2	韓国大学生・教員一行 香港高校生・教員一行 韓国大学生・教員一行 韓国高校生・教員一行	4	7 42 20 18
平成30.3	アメリカ大学生・教員一行	1	8
合 計		19	502

### ●視察等

年・月	主な視察・来訪者	件数	人数
平成29.4	東南アジア教育大臣機構 特別支援教育専門センター アラブ首長国連邦高等教育省 ノルウェー科学技術大学	11	64
平成29.5	タイ・コンケン大学付属高等学校 台湾・台中第一高級中等学校 フランス・グルノーブル大学	13	143
平成29.6	アルメニア・ロシア・アルメニア・スラヴ大学 中国・吉林省科技厅他 台湾・国立台湾大学	13	135
平成29.7	中国・寧波市達敏学校 カナダ・駐日カナダ大使館 ベトナム・チョライ病院	10	30
平成29.8	韓国・ソウル大学校 中国・北京大学他	2	19
平成29.9	中国・華東師範大学 台湾・国立屏東科技大学 フランス・ボルドー大学	11	37
平成29.10	エジプト日本科学技術大学(E-JUST) ドイツ・ボン大学 台湾・国立台湾大学校友会	12	40
平成29.11	マレーシア・マラッカ技術大学、マラッカ州政府 オーストラリア・南オーストラリア大学 メキシコ大学院大学	7	26
平成29.12	ラトビア・リガ工科大学 メキシコ・グアダハラ大学 中国・北京市科学技術委員会	7	22
平成30.1	モロッコ・モハメド5世大学・駐日モロッコ大使館	1	1
平成30.2	カナダ・プリンスエドワード等大学 マレーシア・エネルギー・環境技術・水省 在日フランス大使館	9	19
平成30.3	米国・ユタ州立大学 中国・東北師範大学 ベトナム国家大学ホーチミン校	6	32
合 計		102	568

## (8) 広報刊行物等

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
筑波大学概要 筑波大学概要英語版	大学全般の概要をまとめたもの	教職員、国立大学法人、文部科学省、教育関係機関、来訪者、一般企業等	広報室
リーフレット リーフレット英語版	大学の基本情報をデータと地図でまとめたもの	教職員、来訪者等	広報室
TSUKU COMM (TSUKUBA COMMUNICATIONS) (季刊)	大学の最新情報、学内組織や教職員及び学生の活動内容、大学を取り巻く状況等にスポットをあてたもの	教職員、学生、文部科学省、教育関係機関、来訪者、一般企業等	広報室
筑波大学新聞(年7回)	本学の教職員及び学生に対し、中立公明の立場で広く情報を提供するため発行するもの。また、広く情報発信を行うことにより社会との交流の場としての機能を有するもの	教職員、学生、文部科学省、教育関係機関、保護者等	編集：筑波大学新聞編集部 発行：広報室
TSUKUBA FUTURE	本学の若手研究者を中心に、研究内容や人物像を紹介し、人材や研究分野の多様さから、進路としての本学の認知度向上に資するもの	中高生、保護者等	広報室
ハラスメントのない快適なキャンパスを	ハラスメントの防止を目的としたリーフレット	教職員、学生	ハラスメント防止対策委員会
筑波大学公開講座2017	公開講座の開設案内	市役所、公民館、図書館、希望者等	社会連携課
筑波大学入学案内2018	大学概要説明	受験生、高等学校等	アドミッションセンター
A C入試・特別入試GUIDE BOOK 2019リーフレット	アドミッションセンター入試、国際科学オリンピック特別入試及び国際バカロレア特別入試の説明	受験生、高等学校等	アドミッションセンター
アクセシビリティ部門 (パンフレット)	本学の障害学生支援の概要をまとめたもの	教職員、学生、来訪者等	アクセシビリティ部門
平成28(2016)年度活動実績報告書	アクセシビリティ部門の活動実績	Web公開	アクセシビリティ部門
平成29年度ダイバーシティ活動報告書	ダイバーシティ部門の活動報告書	教職員、学生、来訪者等	ダイバーシティ部門
牽引型事業紹介 パンフレット「TIDE」	産業技術総合研究所、日本アイ・ビー・エムとの協働プロジェクト「TIDE」についてのパンフレット	教職員、学生、来訪者等	ダイバーシティ部門
ダイバーシティ部門 シンポジウム報告書	上記シンポジウムの内容をとりまとめたもの	教職員、学生、来訪者等	ダイバーシティ部門
外国人留学生のための筑波大学入学案内 Enrollment Guidebook for International Students University of Tsukuba 2018-2019	本学に入学を希望する外国の学生を対象に、入学方法、教育組織、教員の研究分野についてまとめたもの	本学に入学を希望する外国の学生、在外公館、外国の主要大学等	学生部学生交流課
Junior Year at Tsukuba Program 2017-2018	筑波大学短期留学国際プログラム(JTP)の内容を簡潔にまとめたもの	本学に入学を希望する外国の大学生、本学の協定校	学生部学生交流課

刊 行 物 名	内 容	配 布 対 象	編 集 ・ 発 行
つくばスチューデント (通常号年3回 特集号年2回)	学生の様々な活動を紹介するとともに、教員・卒業生からのメッセージや大学に関する種々の情報を掲載したもの	教員、学生	編集：学生生活支援室 発行：学生部学生生活課
T-ACTのススメ	T-ACT経験者の生の声で、T-ACTを勧めることを目的としたもの	教職員、学生、教育関係機関	編集：T-ACT推進室 発行：学生生活課
つくばアクションプロジェクト活動報告書2017. JUNE	2016年度における、T-ACTで行われた活動についての参加学生による活動報告およびT-ACT活動実績データを掲載したもの	教職員、学生、教育関係機関	編集：T-ACT推進室 発行：学生生活課
下田臨海実験センターパンフレット	センター研究活動概要説明	来訪者等	下田臨海実験センター
プラズマ研究センターパンフレット	センターの概要及び活動等を紹介	来訪者等	プラズマ研究センター
計算科学研究センターパンフレット	センター活動概要説明	来訪者等	計算科学研究センター
計算科学研究センターパンフレット(英語版)	センター活動概要説明	来訪者等 SCI7配布	計算科学研究センター
計算科学とスーパーコンピュータ	センター活動概要説明(中・高校生向け)	中・高校生見学者	計算科学研究センター
タンデム静電加速器施設の学術・産業利用 参考資料パンフレット	タンデム静電加速器施設の紹介と利用設備、施設利用の手引き等の説明	タンデム静電加速器施設利用者、施設見学者等	研究基盤総合センター 応用加速器部門 共用運営委員会
リーフレット	利用の手引き	学内関係組織、教員	研究基盤総合センター 工作部門
センターパンフレット	筑波大学サイバニクス研究センターの事業紹介、新領域【サイバニクス】の紹介	学内外来訪者等	サイバニクス研究センター
人工知能科学センターパンフレット(日本語版、英語版)	センターの概要及び研究活動等の説明	来訪者等	人工知能科学センター
生命領域学際研究センターパンフレット(英語版)	センター概要説明(英語)	来訪者等	生命領域学際研究センター
「Go Abroad!」筑波大生のための海外留学ガイドブック2018	学内各教育組織で行っている海外派遣プログラム及び協定校一覧等、海外留学に関する情報をまとめたもの	学生	グローバル・コモンズ機構
学生の皆さんが海外へ渡航する際の7つのチェック事項	学生が海外へ渡航する際に、必要な手続きや注意事項をまとめたもの	学生	グローバル・コモンズ機構
筑波大学生のための海外安全ハンドブック	海外危機管理の観点から、海外渡航前・滞在中・渡航後における安全対策についてまとめたもの	学生	グローバル・コモンズ機構

刊 行 物 名	内 容	配 布 対 象	編 集 ・ 発 行
University of Tsukuba Conflict of Interest Policy	筑波大学における利益相反マネジメントの英語 説明資料	教職員等	利益相反・輸出管理マネジメント室
利益相反・輸出管理マネジ メント室年報	平成28年度の利益相反・輸出管理マネジメント 室の活動をまとめたもの	学内関係部局、関係教職員、 国立大学法人産学連携担当部 署等	利益相反・輸出管理マネジメント室
eラーニングコンテンツ (輸出管理コンテンツ)	筑波大学における輸出管理のしくみ	教職員等	利益相反・輸出管理マネジメント室
平成30年4月より利益相反の定 期的自己申告が電子化されま す(利益相反フライヤー)	利益相反電子自己申告システム運用開始を学内 周知するもの	教職員等	利益相反・輸出管理マネジメント室
筑波大学人文・文化学群 人文学類案内2018	学類の案内誌	高校生等	人文・文化学群人文学類
人文学類案内2018別冊 人文学類生による学類紹介	学類の案内誌	高校生等	人文・文化学群人文学類
社会学類への招待	学類の案内誌	高校生等	社会・国際学群社会学類
現代語・現代文化専攻 専攻案内パンフレット	専攻・所属教員の紹介 学生の博士論文題目、在学生の研究テーマ等	入学希望者	現代語・現代文化専攻広報委 員会、現代語・現代文化専攻
国際日本研究専攻 専攻案内パンフレット	専攻・所属教員の紹介	入学希望者等	国際日本研究専攻
人文社会科学研究科国際地域 研究専攻院生募集ポスター	一般入試案内(出願期間・入試日程・募集人 員・問合せ先の情報、コースの紹介)	学内(学群・学類・関係部局 等)、学外(全国主要国公私 立大学等)	国際地域研究専攻
経済・公共政策プログラム院 生募集ポスター・リーフレッ ト	一般入試案内(出願期間・入試日程・募集人 員・問合せ先の情報、コースの紹介)	学外(対象国の在外大使館、 省庁、中央銀行、JICA事務所 等)	経済・公共政策プログラム
経済・公共政策プログラム経 済学コース院生募集ポスター	一般入試案内(出願期間・入試日程・募集人 員・問合せ先の情報、コースの紹介)	学内(学群・学類・関係部局 等)、学外(全国主要国公私 立大学、在外公館等)	経済・公共政策プログラム 経済学コース
筑波大学大学院 人文社会科学研究科	専攻の紹介	入学希望者等	人文社会科学研究科
企業法学専攻パンフレット	企業法学専攻の概要等	受験希望者、来訪者等	企業法学専攻
国際経営プロフェッショナル 専攻案内プロシユア	国際経営プロフェッショナル専攻のプログラム 内容をまとめたもの	入学希望者、来訪者等	国際経営プロフェッショナル 専攻
ODAフィールドワークレポート	ODAフィールドワーク実施の内容、成果をまと めたもの	教職員、学生、来訪者等	ODAフィールドワークチーム

刊 行 物 名	内 容	配 布 対 象	編 集 ・ 発 行
筑波大学東京キャンパス 社会人のための夜間大学院	専攻の概要と施設の紹介	受験希望者等	社会人大学院等支援室
大学研究センターパンフレット	大学研究センターの概要等	来訪者等	大学研究センター
物理学域だより2016（第8号）	物理学域の現在をまとめたもの	関係教職員、学生及び卒業生等	数理工学系物理学域
数理工学系科学研究科 パンフレット	数理工学系科学研究科の概要、研究分野、専攻等の紹介	学内関係部局、国公私立大学・高専等関係機関、来訪者等	数理工学系科学研究科
数理工学系科学研究科オープン キャンパスポスター	数理工学系科学研究科学生募集説明会の案内	学内関係部局、国公私立大学・高専等関係機関	数理工学系科学研究科
数理工学系科学研究科学生募集 ポスター	入試の案内（専攻・入試日程・出願期間等）	学内関係部局、国公私立大学・高専等関係機関	数理工学系科学研究科
地球学類パンフレット	地球学類の概要等	高等学校、大学説明会等参加者、見学者等	地球学類
地球学類大学説明会 パンフレット	在学生による学類の紹介等	大学説明会参加者等	地球学類
数学類パンフレット	数学類の概要等	高等学校、大学説明会等参加者、見学者等	数学類
物理学類パンフレット	物理学類の概要等	高等学校、大学説明会等参加者、見学者等	物理学類
化学類パンフレット	化学類の概要等	高等学校、大学説明会等参加者、見学者等	化学類
数学類・物理学類・化学類 合同大学説明会パンフレット	在学生による各学類の紹介等	大学説明会参加者等	数学類・物理学類・化学類
理工学群パンフレット	理工学群の構成、6学類の特徴と紹介、卒業生の進路等	高等学校及び大学説明会での配布等	理工学群長
社会工学類パンフレット	社会工学類の教育目的、3つの主専攻紹介、メッセージ、学生生活、就職先等	高等学校及び大学説明会での配布等	社会工学類、社会工学類長
応用理工学類パンフレット	応用理工学類の特徴、組織とカリキュラム、主専攻・研究室紹介、学生生活について等	高等学校及び大学説明会での配布等	応用理工学類、 応用理工学類長
工学システム学類パンフレット	学類の教育目標、主専攻分野案内、担当教員紹介、学習・教育到達目標等	高等学校及び大学説明会での配布等	工学システム学類、 工学システム学類長

刊 行 物 名	内 容	配 布 対 象	編 集 ・ 発 行
情報科学類パンフレット	情報科学類概要	高等学校、高等専門学校及び大学説明会等での配布	情報科学類
明日のEXECUTIVE (国際総合学類紹介誌)	学類のカリキュラム・分野の説明、教員・学生紹介等	学類学生及び保護者、高校生、受験希望者等	国際総合学類、 国際総合学類長
システム情報工学研究科 パンフレット	システム情報工学研究科の概要	学内関係部局、研究科公開・専攻説明会、学外(他大学・企業・高専・予備校等)	システム情報工学研究科 広報委員会
システム情報工学研究科公開 用ポスター	システム情報工学研究科公開の案内	学内関係部局、研究科公開・専攻説明会、学外(他大学・企業・高専・予備校等)	システム情報工学研究科 広報委員会
知能機能システム専攻 パンフレット	専攻の教育、研究、教員、入試等に関する概要の紹介	各国公私立大学及び工業高等専門学校等関係機関、専攻受験希望者	知能機能システム専攻
知能機能システム専攻公開用 ポスター	専攻公開に関する告知	各国公私立大学及び工業高等専門学校等関係機関	知能機能システム専攻公開 2017事務局
知能機能システム専攻公開用 リーフレット (全2回、各回用)	専攻公開用デモ展示・ポスター展示及び公開研究室等マップ一覧	専攻公開来場者	知能機能システム専攻公開 2017事務局
社会工学専攻公開用ポスター	専攻公開に関する告知	学内外関係部局	社会工学専攻広報委員会
社会工学専攻リーフレット	専攻の案内等	他大学及び学内関係部局、受験希望者等	社会工学専攻広報委員会
構造エネルギー工学専攻 パンフレット(和文・英文)	構造エネルギー工学専攻の案内と研究紹介	学内外関係部局、受験予定者、来訪者等	構造エネルギー工学専攻
構造エネルギー工学専攻公開 用ポスター	専攻公開に関する告知	各国公立私立大学及び工業高等専門学校	構造エネルギー工学専攻
コンピュータサイエンス専攻 パンフレット(和文・英文)	専攻の教育、教員、研究室(和文は研究紹介を含む)、入試、進路等に関する概要の紹介	各国立私立大学及び工業高等専門学校関係機関、関連企業等、受験希望者、留学生等	コンピュータサイエンス専攻
コンピュータサイエンス専攻 公開ポスター	専攻公開に関するお知らせ	各国立私立大学及び工業高等専門学校関係機関、学内掲示板等	コンピュータサイエンス専攻
リスク工学専攻パンフレット	専攻概要、研究活動情報等	大学、高専、企業等	リスク工学専攻
リスク工学専攻公開ポスター	専攻公開に関するお知らせ	大学、高専、企業等	リスク工学専攻
比較文化学類への招待 (学類パンフレット)	学類の概要、コース紹介、カリキュラム、教員紹介、卒業論文、留学、就職と進路他	入学希望者、大学説明会参加者、模擬授業参加者他	比較文化学類



刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
日本語・日本文化学類案内	学類の概要、教員・学類生からのメッセージ、カリキュラム紹介、国内・海外実習、卒業後の進路等	入学希望者、大学説明会参加者、模擬授業参加者等	日本語・日本文化学類
日本語・日本文化実習報告(国内編)	国内実習「日本語研究フィールド実習」「日本文化研究フィールド実習」報告書	実習協力者・協力組織、関係教職員、学生等	日本語・日本文化学類
日本語・日本文化研修留学生修了報告書「異文化との出会い」	日本語・日本文化研修留学生修了論文	学内外関係組織、教職員、学生等	日本語・日本文化学類
JDS International Seminar 2017	学内で開催した国際セミナーの概要を紹介したパンフレット	受講希望者、講師等	環境系専攻 JDS office
環境科学専攻・持続環境学専攻リーフレット	環境科学専攻および持続環境学専攻の研究・教育内容の紹介	入学希望者	環境科学・持続環境学専攻 広報・IT委員会
環境科学専攻・持続環境学専攻ポスター	専攻説明会、入試案内等	全国国公私立大学(950箇所)、Web公開	環境科学・持続環境学専攻 広報・IT委員会
JST ERATO野村集団微生物制御プロジェクトパンフレット	JST ERATO野村集団微生物制御プロジェクト概要	来訪者、関係機関、アウトリーチ活動先等	JST ERATO野村集団微生物制御プロジェクト
筑波大学生命環境学群パンフレット	生命環境学群案内	受験希望高校生等	生命環境学群広報委員会
「第1回国際シンポジウム」ポスター	「第1回国際シンポジウム」に係る案内	学内関係部局及び学外機関等	山岳科学センター
「第1回国際シンポジウム」チラシ	「第1回国際シンポジウム」に係るプログラム紹介	学内関係部局及び学外機関等	山岳科学センター
菅平生き物通信	生物や自然に関する専門的な知識をわかり易く解説(年8回発行)	上田地域36,000世帯及び公公共施設、小中学校他見学者、来訪者等	山岳科学センター 菅平高原実験所
教育学専攻院生募集ポスター	入試に向けた大学院説明会開催について	学内(学群・学類)	教育学専攻
教育学専攻院生募集リーフレット日本語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等	学内(学群・学類)	教育学専攻
教育学専攻院生募集リーフレット英語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等	学内(学群・学類)	教育学専攻
教育学専攻院生募集リーフレット中国語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等	学内(学群・学類)	教育学専攻
学校教育学専攻院生募集ポスター	入試に向けた大学院説明会開催について	学内(学群・学類)	学校教育学専攻

刊 行 物 名	内 容	配 布 対 象	編 集 ・ 発 行
学校教育学専攻院生募集リーフレット日本語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等	学内(学群・学類)	学校教育学専攻
学校教育学専攻院生募集リーフレット英語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等	学内(学群・学類)	学校教育学専攻
学校教育学専攻院生募集リーフレット中国語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等	学内(学群・学類)	学校教育学専攻
教育基礎学専攻院生募集ポスター	入試に向けた大学院説明会開催について	学内(学群・学類)	教育基礎学専攻
教育基礎学専攻院生募集リーフレット日本語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等	学内(学群・学類)	教育基礎学専攻
教育基礎学専攻院生募集リーフレット英語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等	学内(学群・学類)	教育基礎学専攻
教育基礎学専攻院生募集リーフレット中国語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等	学内(学群・学類)	教育基礎学専攻
教育研究科案内	教育研究科紹介、各専攻・コースの紹介、研究分野・授業担当教員、修了後進路の情報等	学内外関係部局、研究科受験予定者等	教育研究科
教育研究科学生募集ポスター	一般入試・社会人特別プログラム、現職教員1年生プログラム募集数及びスケジュール等	学内(学群・学類)、学外(他大学、附属学校、教育委員会、教育長等)	教育研究科
教育研究科抄録集	教育研究科修士論文概要	学内外関係部局、研究科修了生	教育研究科
教育学類2019	教育学類のカリキュラム、2つのコースと4つの系列、教育学類構成員の研究テーマ、卒業生の進路、入試等について紹介したパンフレット	高等学校・高校生・教育学類生・大学説明会参加者(高校生・保護者)	教育学類
つくばの心理学2019	心理学類構成員の研究内容や大学生・高校生・一般社会人に薦める書籍を紹介	高等学校・高校生・心理学類生・大学説明会参加者(高校生・保護者)	心理学類
心理学類2019ー心と行動の統合的理解をめざしてー	心理学類構成員、心理学類のカリキュラムとそのコンセプト、取得できる資格・免許、卒業生の進路(就職、進学)等を簡潔に紹介したパンフレット	高等学校・高校生・心理学類生・大学説明会参加者(高校生・保護者)	心理学類
障害科学類2018	障害科学類構成員、障害科学類のカリキュラムの紹介、取得できる資格・免許、在校生の声、卒業生の進路、関連組織等を簡潔に紹介したパンフレット	高等学校・高校生・障害科学類生・大学説明会参加者(高校生・保護者)	障害科学類
リーフレット	当センター概要および合同展示紹介	EDUCA2017参加者	教育開発国際協力研究センター
2018年筑波大学体育系英文パンフレット	体育系の紹介	来訪者	体育系

刊 行 物 名	内 容	配 布 対 象	編 集 ・ 発 行
筑波大学体育専門学群 パンフレット2018	体育専門学群の紹介	受験生、来訪者等	体育専門学群
筑波大学芸術専門学群2018	芸術専門学群の紹介	全国高等学校、来訪者等	芸術専門学群
平成29年度筑波大学芸術専門学群卒業研究・作品集	平成29年度筑波大学芸術専門学群卒業研究・作品すべてを掲載	卒業生、在学生、大学説明会（学外・学内）、教職員	編集：卒業研究・作品集係 発行：芸術専門学群
連携大学院博士（公衆衛生学） プログラムパンフレット	博士（公衆衛生学）プログラムの紹介	一般及び受験希望者・研究者	ヒューマン・ケア科学専攻
平成29年度筑波大学大学院体育系修士研究論文集第40巻	平成29年度体育系修士学生の研究論文集	学生・教職員	人間総合科学研究科 体育学専攻 スポーツ健康システム・マネジメント専攻 スポーツ国際開発学共同専攻 教育研究科 教科教育専攻保健体育教育コース
つくば国際スポーツアカデミー（TIAS）パンフレット（英語版）	アカデミーの紹介	教職員、学生、海外及び国内関係機関等	つくば国際スポーツアカデミー
スポーツ・オリンピック学学位プログラム学生紹介	学生紹介冊子	教職員、海外及び国内関係機関等	つくば国際スポーツアカデミー
スポーツ国際開発学共同専攻リーフレット	専攻案内	志望学生、大学関係者、各関係大学及び団体、関連分野研究者等	スポーツ国際開発学共同専攻
大学体育スポーツ高度化共同専攻リーフレット	専攻案内	志望学生、大学関係者、各関係大学及び団体、関連分野研究者等	大学体育スポーツ高度化共同専攻
博士前期課程芸術専攻・博士後期課程芸術専攻パンフレット2017-2018	研究内容・教員一覧等	一般及び受験希望者	博士前期課程芸術専攻 博士後期課程芸術専攻
博士前期課程芸術専攻修士論文梗概集2017	2017年度芸術専攻の修士論文の梗概	学生、受験希望者 全国芸術系大学大学院、関連研究機関、学内関係部局	博士前期課程芸術専攻
博士前期課程芸術専攻履修便覧2018	開設授業科目一覧・授業の履修例等	学生	博士前期課程芸術専攻
2017学位論文梗概集	2017年度世界遺産専攻・世界遺産文化学専攻の修士論文、博士論文の梗概	学生、受験希望者	世界文化遺産学専攻 世界遺産専攻
平成29年度版 自然保護寄附講座パンフレット	プログラム内容・カリキュラム・公開シンポジウム・担当教員等	一般及び学生	自然保護寄附講座事務局
自然保護寄附講座 Newsletter No.4	インターンシップ報告・サイエンティックジャーナリズム報告・平成29年度国際シンポジウム・タスマニア実習報告	一般及び学生	自然保護寄附講座事務局

刊 行 物 名	内 容	配 布 対 象	編 集 ・ 発 行
世界遺産学研究	2016CBWNCL報告書（英語）	一般及び学生	自然保護寄附講座事務局
医学群ガイドブック	医学群の紹介、カリキュラム、卒業後の進路等	受験希望者等	医学群
筑波大学図書館情報メディア系2016年活動報告	図書館情報メディア系の管理運営、研究活動等をまとめたもの	教職員、学内関係組織	図書館情報エリア支援室
情報メディア創成学類パンフレット	情報メディア創成学類の紹介・説明	高等学校、大学説明会の参加者等	情報メディア創成学類（広報委員会）
情報学群 知識情報・図書館学類 パンフレット	知識情報・図書館学類の紹介等	高等学校、編入学説明会参加者、大学説明会参加者等	知識情報・図書館学類
KLiS TODAY	学類広報誌	新入生、高校生	知識情報・図書館学類
図書館情報メディア研究科パンフレット（日本語・電子版）	図書館情報メディア研究科の紹介	入学希望者・大学院説明会参加者・各大学・各図書館	図書館情報メディア研究科
図書館情報メディア研究科パンフレット（英語・電子版）	図書館情報メディア研究科の紹介	入学希望者・大学院説明会参加者・各大学・各図書館	図書館情報メディア研究科
図書館情報メディア研究科大学院説明会ポスター	図書館情報メディア研究科大学院説明会の開催について	各大学・各図書館	図書館情報メディア研究科
図書館情報メディア研究科図書館経営管理コースリーフレット	図書館経営管理コースの紹介	各大学・各図書館	図書館情報メディア研究科
筑波大学附属図書館年報2016	図書館の1年の事業内容や活動状況を広報する目的でまとめたもの	教職員、大学図書館関係者、来訪者等	附属図書館
筑波大学附属図書館研究開発室年次報告2016	研究開発室における1年の成果を職員や関係者に還元するためにまとめたもの	Web公開	附属図書館研究開発室
平成29年度筑波大学附属図書館企画展 江戸の遊び心 ―歌川国貞の描く源氏物語の世界―（図録）	平成29年10月10日～11月19日に開催した図書館特別展の図録	来訪者等	附属図書館
Prism (Practical Information for your Serendipity and Mind)	利用者へのお知らせや利用促進を目的として作成したもの	教職員、学生、来訪者等	附属図書館
筑波大学附属図書館利用案内（和英併記）	図書館サービスの概要、利用方法の周知を目的とするもの	学生（主に新入生）	附属図書館
学術情報メディアセンター案内	センター概要説明	来訪者等	学術情報メディアセンター

刊 行 物 名	内 容	配 布 対 象	編 集 ・ 発 行
学術情報メディアセンター案内リーフレット	センター概要説明	来訪者等	学術情報メディアセンター
学術情報メディアセンター案内リーフレット（英語版）	センター概要説明（英語版）	来訪者等、外国人見学者等	学術情報メディアセンター
学術情報メディアセンターが提供するシステム等の利用に関して	センターが提供するシステム等の概略	学生	学術情報メディアセンター
外来診療案内	当院の案内やお願い、交通案内を目的とするもの	近隣医療機関等	病院総務部患者サービス課
病院のご案内	附属病院の理念、目標、特徴、諸統計と各診療科の特徴その他関係事項を記載し、病院の紹介、案内を目的とするもの	国立大学附属病院、見学者、県外及び近隣医療機関等	病院総務部総務課、患者サービス課
NEWS LETTER	病院業務に必要な情報を病院職員へ提供・周知することを目的とするもの	教職員	病院総務部総務課
筑波大学附属病院だより	附属病院の紹介をはじめ、病院内の情報や特徴を近隣医療機関や地域住民向けに提供するもの	近隣医療機関等、来院者、職員	病院総務部総務課
つくば臨床医学研究開発機構パンフレット	機構の紹介	研究者、企業、一般	つくば臨床医学研究開発機構
未来医工融合研究センターパンフレット	未来医工融合研究センターの紹介	研究者、企業、一般	つくば臨床医学研究開発機構
附属学校教育局概要	附属学校教育局及び附属学校全般の概要をとりまとめたもの	学内関係部局、文部科学省、来訪者等	附属学校教育局
附属学校教育局広報誌ポローニア	附属学校の情報を広く理解させることを内容とした広報誌	学内関係部局、文部科学省、来訪者等	附属学校教育局
学校要覧	学校の沿革、教育目標、教育環境、年間行事の概要をまとめたもの	関係教職員等	附属小学校
学校要覧	学校の沿革、教育目標、教育環境、年間行事の概要をまとめたもの	学校参観者等	附属中学校
所報	各教科・部局の研究報告	学内関係部局	附属中学校
指導計画	各教科・各学年間等の年間指導計画	教育実習生、学校参観者等	附属中学校
SCHOOL GUIDE（学校案内）	学校生活、学校行事、委員会・部活の概要をまとめたもの	学校参観者等	附属中学校

刊 行 物 名	内 容	配 布 対 象	編 集 ・ 発 行
学校要覧	学校の沿革、教育目標、教育環境、年間行事の概要をまとめたもの	来校者、研究協議会参加者、実習生、免許更新講習者	附属高等学校
学校案内	学校の教育方針、年間行事、生徒活動状況等	来校者、研究協議会参加者、実習生、免許更新講習者	附属高等学校
国際交流	学校の国際教育の取り組み	在籍生徒の保護者、関係教職員等	附属高等学校
附属だより	学校的内容及び生徒活動の報告・紹介等	在籍生徒の保護者、関係教職員等	附属高等学校
学校要覧	学校の沿革、教育目標、教育環境、年間行事の概要をまとめたもの	学内関係部局、関係教職員、来訪者等	附属駒場中・高等学校
学校案内	学校の教育方針、年間行事、生徒活動状況等	学内関係部局、関係教職員、来訪者等	附属駒場中・高等学校
学校要覧	沿革概要、教育目標、教育課程、研究活動、年間行事計画等の学校概要をまとめたもの	学内外関係部局、関係教職員、来訪者等	附属坂戸高等学校
学校案内	教育課程、学校の特色、学校生活、入試情報などを写真を交えてまとめたもの	入学希望者、来訪者等	附属坂戸高等学校
学校要覧	学校の沿革、教育課程等をまとめたもの	各種関係機関、来訪者等	附属視覚特別支援学校
学校案内	教育課程、学校の特色、学校生活、入試情報などを写真を交えてまとめたもの	入学希望者、来訪者等	附属視覚特別支援学校
学校紹介	各部科のセールスポイントを簡単にまとめたもの	各種関係機関、来訪者等	附属視覚特別支援学校
学校要覧	学校の沿革、教育課程等をまとめたもの	各種関係機関、来訪者等	附属聴覚特別支援学校
学校案内	学校の教育方針、年間行事、生徒活動状況等	来校者、聾教育実践研修会参加者等	附属聴覚特別支援学校
乳幼児教育相談パンフレット	幼稚部が行う聴覚障害乳幼児に対する教育相談の案内	近隣医療機関等	附属聴覚特別支援学校
専攻科3科パンフレット	専攻科造形芸術科・ビジネス情報科・歯科技工科の教育内容の案内	各種関係機関、来訪者等	附属聴覚特別支援学校
専攻科歯科技工科パンフレット	専攻科歯科技工科の教育内容の案内	各種関係機関、来訪者等	附属聴覚特別支援学校

刊 行 物 名	内 容	配 布 対 象	編 集 ・ 発 行
学校要覧	学校の沿革、教育目標、教育環境、年間行事の概要をまとめたもの	学内関係部局、関係教職員、来訪者等	附属大塚特別支援学校
学校案内	学校の教育方針、年間行事、生徒活動状況等	来校者、研修会参加者等	附属大塚特別支援学校
学校要覧	学校の沿革、教育方針・内容、研究活動、その他各種資料	学内関係者、関係教職員、教育委員会、特別支援学校	附属桐が丘特別支援学校
学校案内	学校の内容（年間行事、教育課程）の紹介	学校参観者	附属桐が丘特別支援学校
学校要覧	学校の沿革、教育目標、教育環境、年間行事の概要をまとめたもの	学内関係部局、関係教職員、来訪者等	附属久里浜特別支援学校
学校案内	学校の沿革、教育課程等学校の概要をまとめたもの	学内関係部局、関係教職員、来訪者等	附属久里浜特別支援学校
地域広報誌「のびのび」	本校に在籍する子どもたち（幼児・児童）に対する理解促進を旨とし、子どもたちの活動状況、学内各種行事・イベント情報等の報告、開催案内等	近隣の町内会（地域住民）、保護者、教育関係機関、学内関係部局、関係教職員、来訪者等	附属久里浜特別支援学校
理療科教員養成施設概要	施設の沿革、教育課程等の概要をまとめ、理療臨床部の治療を紹介したもの	学内関係部局、文部科学省、来訪者等科学省、都道府県庁、全国盲学校等視覚障害関係機関、全国鍼灸関係専門学校、来訪者等	理療科教員養成施設
理療臨床部はりきゅう治療室案内	理療臨床部はりきゅう治療室案内パンフレット	はりきゅう治療受療希望者	理療科教員養成施設
筑波大学視覚障害者アスリート支援	筑波大学視覚特別支援学校、理療科教員養成施設、大学院スポーツ医学専攻による、視覚障害者アスリートに対する支援、各施設の紹介	全国視覚特別支援学校、競技団体、眼科、一般	理療科教員養成施設
さあ、ボランティアをしよう！ 視覚障害者のスポーツボランティア	視覚障害者がスポーツボランティアを行うための方法の概要、事例集	全国視覚特別支援学校、競技団体、眼科、一般	理療科教員養成施設

## 8 医療・保健関係

### (1) 附属病院

#### ア 診療グループ構成

(平成30年3月1日現在)

診療グループ	延従事者
総合	16
保健衛生外来	8
遺伝	5
睡眠呼吸障害	3
膠原病リウマチアレルギー(内)	10
腫瘍内科	3
腎泌尿器(内)	11
血液	13
細菌学的診断(感染症)	3
呼吸器(内)	17
消化器(内)	20
内分泌代謝(内)	10
循環器(内)	24
脳神経(内)	11
精神神経	12
小児(内)	24
病院総合内科	5
呼吸器(外)	8
循環器(外)	11
乳腺・甲状腺・内分泌(外)	6
消化器(外)	14
救急・集中治療	21
形成	5
小児(外)	9
脳神経(外)	15
脳卒中	3
整形	25
皮膚	8

診療グループ	延従事者
腎泌尿器(外)	12
眼	9
耳鼻咽喉頭	9
婦人・周産期	16
放射線腫瘍科	13
放射線診断・IVR	11
病理診断	12
麻酔	15
歯・口腔	5
臨床病理	8
合計	430



イ 業務従事者数(実数)

(平成30年3月1日現在)

職 種		人 数
教 員	医学医療系	258
	人間系	2
	体育系	2
小 計		262
病 院 講 師	医師・歯科医師	63
	薬剤師	2
	事務系・技術系	2
医員・医員(研修医)		292
看護師		761
助産師		45
薬剤師		53
診療放射線技師		47
臨床検査技師		54
臨床工学技士		27
理学療法士		33
作業療法士		11
言語聴覚士		4
歯科技工士		1
歯科衛生士		3
視能訓練士		3
栄養士		9
調理師		9
臨床心理士		4
社会福祉士		7
診療情報管理士		6
精神保健福祉士		1
保育士		3
内視鏡技師		1
看護助手		3
技術職員		15
事務職員		111
合 計		1,570

ウ 診療実績

区分		件数	備考
患者数	外来	432,323	1日平均 1,772名
			新 来 23,810名
患者数	入院	263,196	1日平均 721名(病床800床)
			稼働率 90.1%
			新入院 19,483名
			退 院 19,564名
計		695,519	
臨床検査		2,999,605	
X線		145,881	
リハビリテーション		118,241	
調剤処方		681,436	処方延患者 321,068名
手術		21,136	
麻酔		16,465	
分娩		1,144	(死産を除く。)
病理解剖		51	

エ 受託実習生等受入数

区分	受託実習生	病院研修生
臨床検査関係	23	9
放射線関係	41	0
薬剤関係	35	0
看護関係	332	3
理学療法関係	33	2
栄養士関係	14	0
合 計	478	14

オ ボランティア受入状況

活動内容	人数
総合案内	14
成人病棟	9
小児病棟 (読み聞かせ8名を含む)	17
患者図書室	15
合 計	55

## (2) 保健管理センター

### ア 保健管理センター勤務職員数

職 種		人数
教 員	内 科	3
	整 形 外 科	1
	眼 科	0
	精 神 科	3
	婦 人 科	0
	歯 科	0
	学 生 相 談	4
	小 計	11
薬 剤 師	1	
看 護 職 員	4	
診 療 放 射 線 技 師	1	
臨 床 検 査 技 師	0	
歯 科 衛 生 士	1	
栄 養 士	0	
事 務 職 員	1	
合 計	20	

### イ 利用者数

事項	一般定期健康診断	その他の健康診断	診療及び健康相談	栄養相談	予防接種	学生相談	精神衛生相談	救護等その他	計
利用者									
学群学生	8,862	197	3,265		1,316	2,372	2,328	4,646	22,986
大学院生	4,649	609	1,831			1,284	1,495	8,005	17,873
研究生	715	6	342			3	51	41	1,158
職員	5,703	4,376	171		24	53	19	62	10,408
その他	18		7		187			60	272
合計	19,947	5,188	5,616	0	1,527	3,712	3,893	12,814	52,697

(注1) 一般定期健康診断、学生相談、精神衛生相談における利用者区分の詳細については、後掲の項目参照。

(注2) 救護等その他の内容は、入試・各種大学行事等における救護、入学志願者等の健康診断書の書類審査、健康診断書の発行件数等について計上。

(注3) 利用者のその他は、理療科教員養成施設の学生、研究員、外部者等。

ウ 一般定期健康診断受診内訳

区 分		在籍者数	受診者数	未受診数	受診率(%)
人文・文化学群	人 文 学 類	590	462	128	78.3
	比 較 文 化 学 類	386	331	55	85.8
	日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類	239	221	18	92.5
社会・国際学群	社 会 学 類	425	326	99	76.7
	国 際 総 合 学 類	471	369	102	78.3
人間学群	教 育 学 類	170	139	31	81.8
	心 理 学 類	229	190	39	83.0
	障 害 科 学 類	161	139	22	86.3
生命環境学群	生 物 学 類	414	370	44	89.4
	生 物 資 源 学 類	655	616	39	94.0
	地 球 学 類	246	202	44	82.1
理工学群	数 学 類	172	151	21	87.8
	物 理 学 類	277	229	48	82.7
	化 学 類	218	192	26	88.1
	応 用 理 工 学 類	555	451	104	81.3
	工 学 シ ス テ ム 学 類	587	468	119	79.7
	社 会 工 学 類	530	442	88	83.4
情報学群	情 報 科 学 類	414	322	92	77.8
	情 報 メ デ ィ ア 創 成 学 類	259	223	36	86.1
	知 識 情 報 ・ 図 書 館 学 類	466	405	61	86.9
医学群	医 学 類	798	767	31	96.1
	看 護 学 類	312	306	6	98.1
	医 療 科 学 類	174	152	22	87.4
体 育 専 門 学 群		1,078	988	90	91.7
芸 術 専 門 学 群		482	401	81	83.2
学 群 生 合 計		10,308	8,862	1,446	86.0
大学院生	修 士 課 程	230	174	56	75.7
	博 士 課 程	7,269	4,475	2,794	61.6
	小 計	7,499	4,649	2,850	62.0
研 究 生		1,745	715	1,030	41.0
職 員	常 勤 職 員	5,107	4,580	527	89.7
	非 常 勤 職 員	1,188	1,123	65	94.5
	小 計	6,295	5,703	592	90.6
合 計		25,847	19,929	5,918	77.1

(注1) 在籍者数は、健康診断実施時の数である。

(注2) その他(18人)を除く。

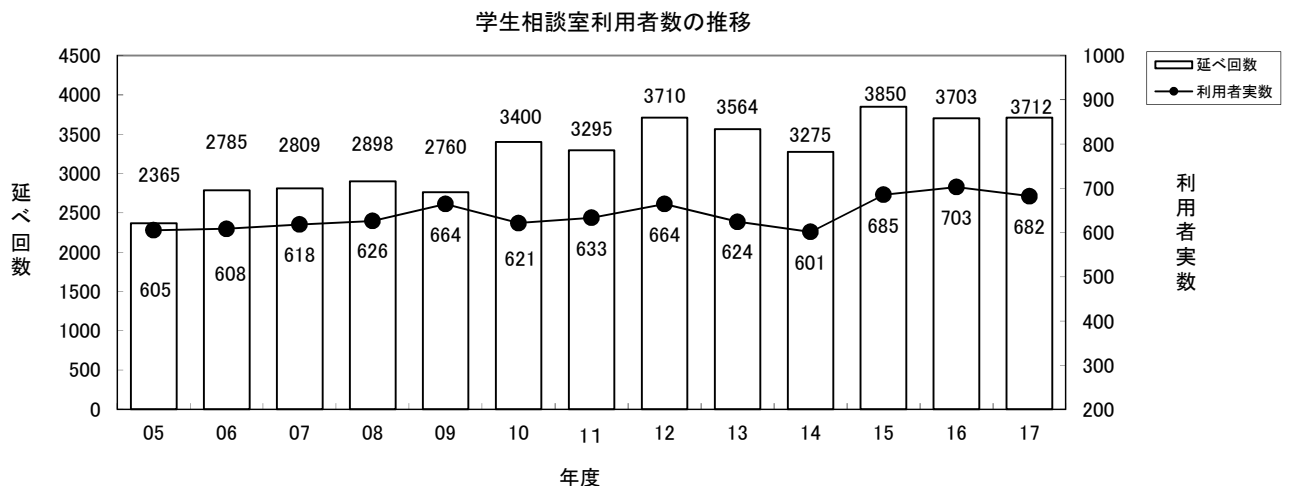
## エ 学生相談利用状況

### (ア) 学生相談内訳

区 分		修	進	友	異	結	家	情	人	経	住	そ	U	合	実
		学	路	人	性	婚	庭	緒	生	済	居	の	P	計	
		学	路	係	性	婚	庭	格	問	済	居	他	I		数
学 群	人 文 ・ 文 化 学 群	78	16	12	4		14	422	11			18	10	585	96
	社 会 ・ 国 際 学 群	15	1		3		2	94	1			6	7	129	32
	人 間 学 群	17	2	1	10		13	136			1	16	8	204	46
	生 命 環 境 学 群	30	4	1	2		5	137	8		1	11	17	216	63
	理 工 学 群	80	21	2	14		5	319	3		1	37	16	498	88
	情 報 学 群	85	20	10	6		4	227				3	16	371	59
	医 学 群	44	2				1	70				5	6	128	33
	体 育 専 門 学 群				3			16				8	3	30	16
	芸 術 専 門 学 群	24	8	3	1		4	147	5			11	8	211	45
	小 計	373	74	29	43		48	1,568	28		3	115	91	2,372	
大 学 院 生	教 育 研 究 科	17	6				1	17				2		43	10
	人 文 社 会 科 学 研 究 科	36	10	14			1	179	38			6		284	29
	人 間 総 合 科 学 研 究 科	25	11	3	1		10	136	15			7		208	47
	生 命 環 境 科 学 研 究 科	47	7	3			3	133				24		217	36
	数 理 物 質 科 学 研 究 科	25	16	4				93		1		15		154	22
	シ ス テ ム 情 報 工 学 研 究 科	68	12	1	2		1	204						288	38
	図 書 館 メ デ ィ ア 研 究 科	2	1					80				4		87	12
	ビ ジ ネ ス 科 学 研 究 科														
	グ ロ ー バ ル 教 育 院							3						3	1
	小 計	220	63	25	3		16	844	53	1		58		1,284	
研 究 生								3						3	1
そ の 他	9	9						19			16			53	8
合 計	602	146	54	46		64	2,434	81	1	3	189	91	3,712	682	

実 数	113	28	13	19		11	318	13		2	79	86	682
-----	-----	----	----	----	--	----	-----	----	--	---	----	----	-----

(※)UPI(University Personality Inventory)とは、大学生の心の健康調査をいう。



(イ) 総合相談窓口の利用状況

	学生本人	教職員	保護者・家族	外部者	その他	計
相談	379	47	58	8	1	493
問い合わせ	177	11	26	1	9	224
苦情要望	3				1	4
その他	7	8		1		16
計	566	66	84	10	11	737

各相談窓口内訳

・スチューデントプラザ

	学生本人	教職員	保護者・家族	外部者	その他	計
相談	313	30	50	8	1	402
問い合わせ	164	8	20	1	8	201
苦情要望	3				1	4
その他	7	7		1		15
計	487	45	70	10	10	622

・春日

	学生本人	教職員	保護者・家族	外部者	その他	計
相談	66	17	8			91
問い合わせ	13	3	6		1	23
苦情要望						0
その他		1				1
計	79	21	14	0	1	115

才 精神衛生相談利用状況

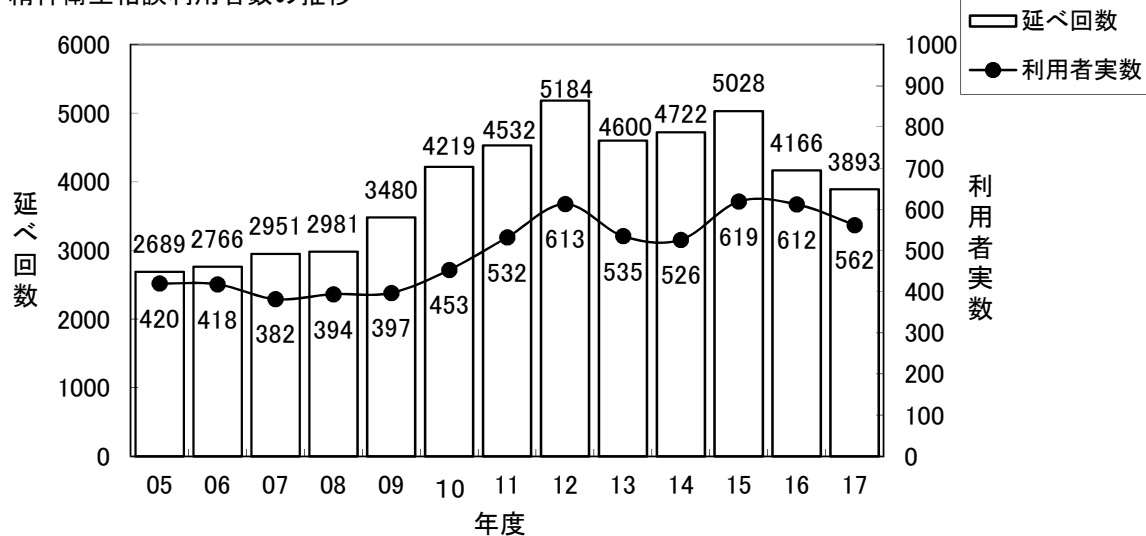
(ア) 精神衛生相談内訳

区 分		延 数	実 数	
学群学生	人文・文化学群	人 文 学 類	283	32
		比 較 文 化 学 類	72	12
		日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類	114	8
	社会・国際学群	社 会 学 類	97	12
		国 際 総 合 学 類	41	15
	人間学群	教 育 学 類	15	2
		心 理 学 類	104	12
		障 害 科 学 学 類	72	15
	生命環境学群	生 物 学 類	159	21
		生 物 資 源 学 類	127	22
		地 球 学 類	10	5
	理工学群	数 学 類	22	2
		物 理 学 類	32	8
		化 学 類	43	7
		応 用 理 工 学 類	57	12
		工 学 シ ス テ ム 学 類	225	29
	情報学群	社 会 工 学 類	91	8
		情 報 科 学 類	136	17
		情 報 メ デ ィ ア 創 成 学 類	35	9
	医学群	知 識 情 報 ・ 図 書 館 学 類	131	18
		医 学 類	141	23
		看 護 学 類	58	9
	医学群	医 療 科 学 類	26	1
		体 育 専 門 学 群	39	9
	芸 術 専 門 学 群	198	27	
	小	計	2,328	335

大学院生	修 士 ( 前 期 ) 課 程	1,051	147
	博 士 ( 後 期 ) 課 程	444	57
	小 計	1,495	204
研 究 生	51	13	
そ の 他	19	10	
合 計	3,893	562	

(注)その他は教職員、家族等である。

精神衛生相談利用者数の推移



(イ) ICD-10分類による学生の診断別件数(実数)

器質性精神障害

F06	1
計	1

統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害

F20	24	統合失調症
F21	13	
F28	1	
計	38	

気分障害

F31	25	躁うつ病
F32	77	うつ病
F33	14	反復性うつ病
F34	13	持続性気分障害
F38	8	
計	137	

神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害

F40	15	社会不安障害など
F41	23	パニック障害など
F42	9	
F43	191	適応障害
F44	4	
F45	7	
F48	3	
計	252	

生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群

F50	12	摂食障害
F51	39	非器質性睡眠障害
F54	2	
計	53	

成人の人格および行動の障害

F60	4
F63	1
F64	2
計	7

心理的発達の障害

F80	1	広汎性発達障害
F84	36	
計	37	

小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害

F90	19	多動性障害
F94	2	
F98	2	
計	23	

その他

てんかん	2
問題なし	12
計	14

合計	562
----	-----

## 9 附属図書館関係

### (1) 利用統計

#### ア 利用者数等

		中央	体芸	医学	図情	大塚	合計
年間開館日数	平日	239	239	239	247	247	-
	(日) 土・日・祝日	113	78	113	117	117	-
	合計	352	317	352	364	364	-
入館者数	平日	535,486	95,932	134,361	55,538	53,651	874,968
	(人) (学外者 内数)	23,434	1,656	4,311	3,098	20,561	53,060
	土・日・祝日	99,912	10,317	30,872	7,627	40,670	189,398
	(学外者 内数)	10,062	449	3,032	1,435	13,135	28,113
	合計	635,398	106,249	165,233	63,165	94,321	1,064,366
平均入館者数	平日	2,241	401	562	225	217	-
	(人/日) (学外者 内数)	98	7	18	13	83	-
	土・日・祝日	884	132	273	65	348	-
	(学外者 内数)	89	6	27	12	112	-
	1日当たり	1,805	335	469	174	259	-
貸出冊数	学群生	99,463	14,243	12,692	9,073	808	136,279
	(冊) 院生	91,646	13,009	4,453	5,097	9,221	123,426
	教員	16,474	1,949	2,113	2,124	1,824	24,484
	学外者	5,679	566	527	885	1,853	9,510
	その他	885	30	0	2	0	917
合計	214,147	29,797	19,785	17,181	13,706	294,616	
貸出利用者数	学群生	43,950	6,263	6,587	4,535	413	61,748
	(人) 院生	31,416	4,705	2,027	2,204	4,298	44,650
	教員	5,590	632	857	642	752	8,473
	学外者	2,646	269	272	471	849	4,507
	その他	22	5	0	2	0	29
合計	83,624	11,874	9,743	7,854	6,312	119,407	
文献複写(コピー)	学外依頼	4,061	575	2,396	616	2,065	9,713
	(件) 学外提供	1,879	171	510	99	133	2,792
	合計	5,940	746	2,906	715	2,198	12,505
相互貸借(図書)	学外借受	1,200	81	13	62	303	1,659
	(件) 学外貸出	2,378	279	65	109	95	2,926
	合計	3,578	360	78	171	398	4,585
レファレンス件数	学生	8,277	1,644	1,482	1,156	4,924	17,483
	(件) 教職員	2,918	239	2,199	204	1,146	6,706
	その他	1,286	77	91	167	1,282	2,903
	合計	12,481	1,960	3,772	1,527	7,352	27,092
	資料に関するもの	9,289	1,126	3,481	830	4,925	19,651
	利用案内・指導	3,143	834	291	692	2,417	7,377
	事実に関するもの	49	0	0	5	10	64
合計	12,481	1,960	3,772	1,527	7,352	27,092	

#### イ Webコンテンツアクセス数

Webサイトアクセス件数

	(件)
学内	419,427
学外	836,225
合計	1,255,652

つくばリポジトリアクセス件数

	(件)
メタデータアクセス数	790,564
本文ダウンロード数	2,861,495

主要な電子ジャーナルフルテキストアクセス件数

	(件)
Cambridge Journals Online	6,689
JSTOR	37,006
Nature	176,969
Oxford Journals	61,212
ProQuest Central	101,313
Science	23,741
ScienceDirect	747,260
SpringerLink	134,833
Wiley Online Library	194,235

主要な文献情報データベースアクセス件数(サーチ数)

	(件)
Business Source Complete	6,839
InCites-Journal and Highly Cited Data*	17,318
Lexis Advance	2,513
Oxford English Dictionary	6,858
ProQuest Central	24,229
SciFinder**	108,775
Web of Science	150,697
医中誌Web	79,209

\*Journal Citation Reportsより名称変更

\*\*2017年度から算出方法を変更

主要な電子ブックアクセス件数

	(件)
Cambridge University Press	1,613
ProQuest Ebook Central	15,506
Maruzen eBook Library*	1,597
NetLibrary*	1,199
Springer	158,446
Wiley Online Library	2,219

\*タイトルアクセス数(その他はセクションアクセス数)



## (2) 基盤統計

### ア 施設環境

	中央	体芸	医学	図情	大塚	合計
建物面積 (㎡)	19,330	3,518	2,793	2,848	1,552	30,041
座席数 (席)	1,138	371	338	252	131	2,230
利用者用PC台数 (台)	163	70	76	38	25	372

(\*2017年度末現在)  
(冊)

### イ 図書

年度受入冊数 (和洋区分)		中央	体芸	医学	図情	大塚	合計
和書	和書	10,333	3,574	1,435	1,698	1,136	18,176
	洋書	1,932	656	88	148	243	3,067
	合計	12,265	4,230	1,523	1,846	1,379	21,243
(受入区分)	購入	7,497	1,577	1,323	866	877	12,140
	寄贈	3,673	2,386	155	832	352	7,398
	製本	1,082	252	44	145	144	1,667
	その他	13	15	1	3	6	38
	合計	12,265	4,230	1,523	1,846	1,379	21,243
蔵書冊数 (和洋区分)	和書	1,112,934	198,126	92,357	181,762	52,423	1,637,602
	洋書	794,774	68,452	80,511	73,792	26,665	1,044,194
	合計	1,907,708	266,578	172,868	255,554	79,088	2,681,796

### ウ 雑誌(冊子)

	年度受入タイトル数			所蔵 タイトル数
	購入	寄贈	合計	
和雑誌	806	6,531	7,337	17,490
洋雑誌	468	1,039	1,507	12,874
合計	1,274	7,570	8,844	30,364

### エ Webコンテンツ

つくばリポジトリ累積登録件数 (\*2017年度末現在)

内訳	件数
学術雑誌掲載論文	8,928
学位論文全文	3,943
学位論文内容・審査の要旨	9,192
修士論文	214
紀要論文	18,593
研究報告書	3,314
会議発表資料	356
講義資料	97
研究業績目録	23
つくば3Eフォーラム	95
A-LIEP	64
その他(図書)	277
合計	45,096

電子ジャーナル契約タイトル数 (\*有料契約誌のみ)

内訳	タイトル数
Cambridge Journals Online	384
JSTOR	983
Nature	31
Oxford Journals	261
ProQuest Central	19,200
Science	1
ScienceDirect	2,445
SpringerLink	1,605
Wiley Online Library	1,408
その他	5,148
合計	31,466

提供データベース・検索ツール  
(主要契約データベース)

データベース名
Business Source Complete
CINAHL
DI-Law.com
InCites-Journal and Highly Cited Data*
Lexis Advance
Oxford English Dictionary
ProQuest Central
PsycINFO
SciFinder (Academic)
Web of Science
Westlaw Japan
医中誌Web
開蔵II ビジュアル
ジャパンナレッジLib

\*Journal Citation Reportsより名称変更  
(学外への公開・発信)

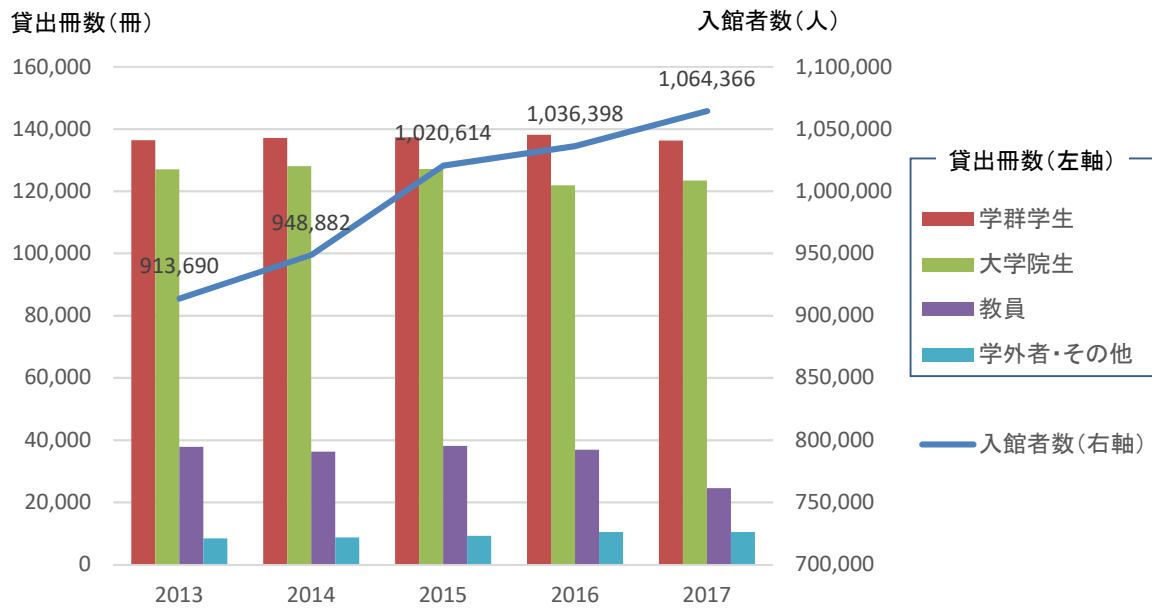
公開・提供内容
SCPJ (学協会著作権リポジティブ)
沖縄歴史文献データベース
つくばサイエンスアクティビティ
つくばリポジトリ
展覧会ポスターデータベース
日本美術シソーラスデータベース (試験運用版)

電子ブック契約タイトル 累積数(\*2017年度末現在)

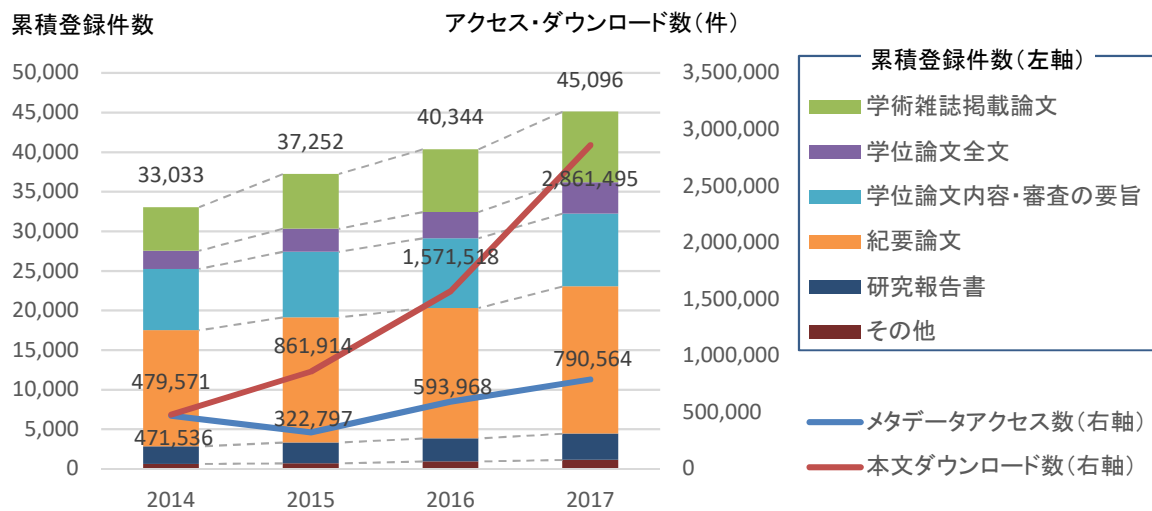
内訳	タイトル数	
	和	洋
Cambridge University Press	-	1,669
ProQuest Ebook Central	-	526
Maruzen eBook Library	822	122
NetLibrary	490	1,027
Springer	-	23,636
Wiley Online Library	-	1,124
その他	13	3,664
合計	1,325	31,768

### (3) 推移

#### ア 利用サービスの推移



#### イ つくばリポジトリ 登録件数と利用の推移



#### (4) オリエンテーション・講習会

内 容	実施回数	参加者数
新入生オリエンテーション (学群生)	11回	846名
新入大学院生オリエンテーション (院生)	7回	404名
留学生オリエンテーション	10回	229名
新任教員オリエンテーション	2回	14名
職員オリエンテーション	1回	80名
図書館の本や雑誌の探し方講習会	1回	6名
論文の探し方講習会	37回	432名
自由テーマオリエンテーション	10回	165名
科目関連指導	71回	3,387名
(内訳) フレッシュマンセミナー (各学類等)	49回	2,375名
日本語・日本文化学類 フレッシュマンセミナー応用編	1回	50名
理療科教員養成施設向け論文の探し方講習会	1回	19名
リハビリテーションコース新入生向け講習会	1回	20名
授業「水文化学演習C」春学期1コマ分を担当	1回	20名
授業「国語Ⅲ」春学期2コマ分を担当	2回	149名
授業「看護学研究法」春学期2コマ分を担当	2回	34名
授業「看護学の探求」春学期1コマ分を担当	1回	86名
授業「基礎化学」春学期2コマ分を担当	2回	114名
授業「知の探検法」秋学期11コマ分を担当	11回	520名
その他	8回	185名

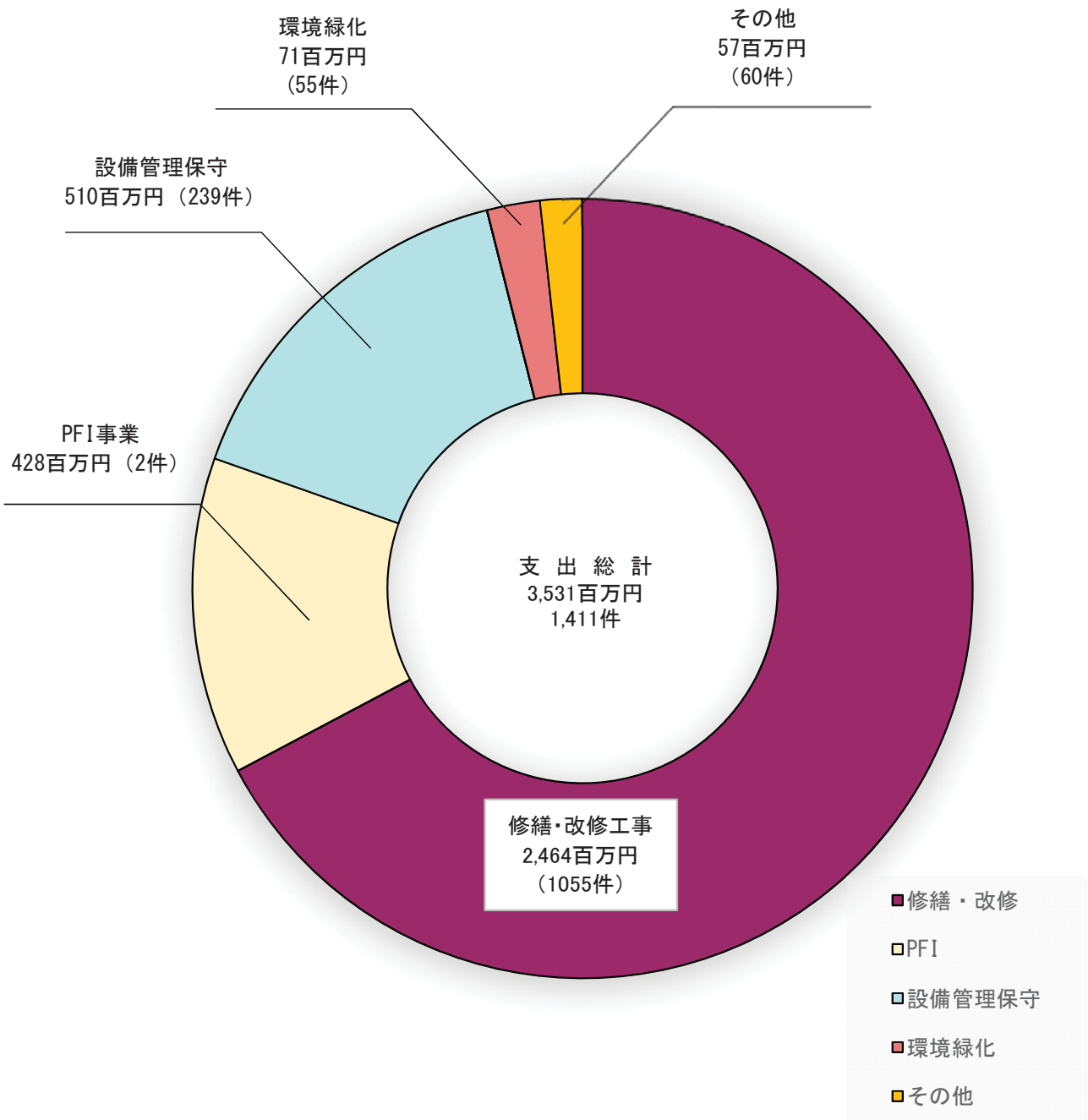
開催日	内 容	講 師	参加者数
ライティング支援連続セミナー			
2017. 4. 18	自分を守る『情報リテラシー』： 情報の山で迷わないために	逸村裕 (図書館情報メ ディア系)	18名
2017. 6. 14	疑うことから始めよう：批判的に読む (大学で身につけたい言葉の力)	島田康行 (人文社会系・ アドミッションセン ター)	13名
2017. 7. 5	文書リテラシー (1) 小論文とレポートの違いはわかりますか？	三波千穂美 (図書館情報 メディア系)	8名
2017. 7. 12	(2) 伝わるための環境づくり		7名
2017. 7. 19	事実？意見？ (1) 理系レポートの核・図表を攻略しよう	野村港二 (教育イニシア チブ機構)	4名
2017. 7. 26	(2) レポートの作法： 「事実」と「意見」を区別しよう		6名
2017. 10. 4	伝えるためのことばのカタチ	田川拓海 (人文社会系)	7名
2017. 10. 11	自分をオープンに伝えてみよう！： 本音で話して大丈夫な技術 ワークショップ (1)	五十嵐沙千子 (人文社会系)	7名
2107. 10. 18	ワークショップ (2)		8名
LAセミナー			
2017. 5. 17	ラーニング・アドバイザーが伝える！レポート の書き方セミナー	小山田建太、Novikova Natalia、鈴木修斗 (附属図書館ラーニング・ アドバイザー)	38名
2017. 7. 26	ストレスフリーな卒論術 ～LAがすすめる！卒論前に読みたい文献～	金美京、鈴木修斗、清水 家齊(附属図書館ラーニン グ・アドバイザー)	8名
その他の研究・学習支援企画			
2017. 10. 24	博士論文インターネット公表の基礎知識	佐藤まみ子、中原由美子 (リポジトリ担当)	61名
2017. 10. 26			61名

# 10 施設・環境関係

## (1) 平成29年度施設整備状況(竣工ベース)

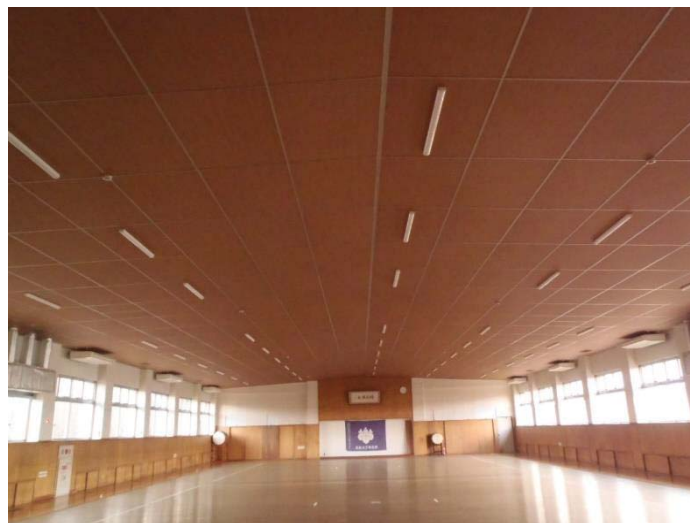
名 称	財 源	予算年度	構造階数	建築面積	延面積	完成日
講堂等天井耐震改修機械設備工事	施設整備費	28年度	RS4	3,533	5,077	平成29年6月30日
講堂等天井耐震改修工事	施設整備費	28年度	RS4	3,533	5,077	平成29年6月30日
講堂等天井耐震改修電気設備工事	施設整備費	28年度	RS4	3,533	5,077	平成29年6月30日
山中共同研修所屋根等改修工事	運営費交付金	29年度	R2	460	932	平成29年6月30日
1A棟耐震改修電気・機械設備設計業務	施設整備費	29年度	R3	1,615	3,107	平成29年8月10日
大学会館Aスプリンクラーポンプ改修工事	運営費交付金	29年度	RS4	2,389	5,632	平成29年9月7日
7A棟空調設備改修工事	運営費交付金(建物維持費)	29年度	R2	1,304	2,592	平成29年10月17日
1H棟トイレ改修機械設備工事	運営費交付金	29年度	R3	700	1,352	平成29年11月17日
1H棟トイレ改修工事	運営費交付金	29年度	R3	700	1,352	平成29年11月17日
構内高圧変電設備改修工事(平成29年度)	運営費交付金(保守)	29年度	-	-	-	平成29年12月22日
中央図書館(新館)貴重書庫等空調設備改修工事	施設費交付事業費(営繕事業)	29年度	R6	4,942	19,092	平成29年12月22日
生命領域学際研究センターB棟SPF室空調改修工事	運営費交付金(建物維持費)	29年度	R3	1,975	3,666	平成29年12月25日
一の矢学生宿舎36号等防水改修工事	運営費交付金(建物維持費)	29年度	R4	1,203	4,195	平成29年12月27日
非常勤講師宿泊施設漏水復旧機械設備工事	運営費交付金(建物維持費)	29年度	R4	391	821	平成30年1月31日
非常勤講師宿泊施設漏水復旧建築工事	運営費交付金(建物維持費)	29年度	R4	391	821	平成30年1月31日
1B棟等照明設備改修工事	運営費交付金(省エネ対策経費)	29年度	R4	797	2,809	平成30年2月8日
武道館天井耐震改修電気設備工事	施設整備費	29年度	R2	2,376	4,611	平成30年2月23日
医学食堂1階トイレ改修機械設備工事	施設費交付事業費(営繕事業)	29年度	R2	959	1,270	平成30年2月28日
医学食堂1階トイレ改修その他工事	施設費交付事業費(営繕事業)	29年度	R2	959	1,270	平成30年2月28日
附属坂戸高等学校囲障改修工事	施設費交付事業費(営繕事業)	29年度	-	-	-	平成30年2月28日
武道館天井耐震改修工事	施設整備費	29年度	R2	2,376	4,611	平成30年2月28日
ショッピングプラザ整備地伐採除根業務	運営費交付金	29年度	-	-	-	平成30年2月28日
一の矢学生宿舎1号等給湯設備改修工事	運営費交付金(建物維持費)	29年度	R4	1,203	4,195	平成30年3月8日
井川演習林管理・学生宿泊棟耐震改修工事	施設費交付事業費(営繕事業)	29年度	S2	209	313	平成30年3月9日
平砂学生宿舎共用棟火災報知設備改修工事	施設費交付事業費(営繕事業)	29年度	-	-	-	平成30年3月9日
体育総合実験棟等天井耐震改修工事	施設費交付事業費(営繕事業)	29年度	RS6	4,212	18,027	平成30年3月19日
陸上競技場改修工事	運営費交付金	29年度	-	-	-	平成30年3月19日
体育総合実験棟等天井耐震改修電気設備工事	施設費交付事業費(営繕事業)	29年度	RS6	4,212	18,027	平成30年3月19日
追越学生宿舎25号等空調設備改修工事	運営費交付金(建物維持費)	29年度	R4	1,822	6,478	平成30年3月20日
附属坂戸高等学校総合実習棟コンピュータ室B他空調設備改修工事	施設費交付事業費(営繕事業)	29年度	R3	1,786	4,938	平成30年3月22日
共同研究棟C空調設備改修工事	運営費交付金(公募スペース使用料)	29年度	R3	570	1,753	平成30年3月26日
3C・D棟他エレベーター設備改修工事	施設費交付事業費(営繕事業)	29年度	R4	2,064	6,094	平成30年3月27日
ショッピングプラザ屋外給排水設備工事	運営費交付金	29年度	-	-	-	平成30年3月28日
3A棟他中央監視設備改修工事	施設整備費	29年度	R5	3,473	10,909	平成30年3月28日
生物・農林学系F棟等研究・実験室空調設備改修工事	運営費交付金(公募スペース使用料)	29年度	R6	642	3,887	平成30年3月29日
附属中・高等学校附中校舎校長室等内装改修工事	運営費交付金	29年度	R3	1,554	4,536	平成30年3月29日
附属中・高等学校附中校舎校長室等改修電気設備工事	運営費交付金	29年度	R3	1,554	4,536	平成30年3月29日

# 平成29年度 施設関係事業構成



【南地区】

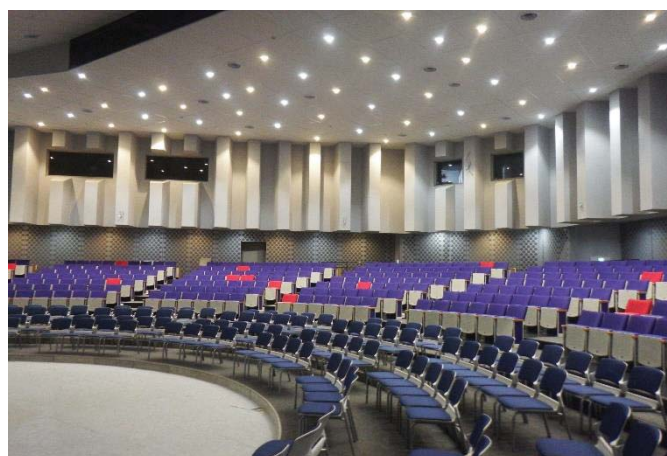
武道場耐震改修(天井)



講堂(講堂客席)

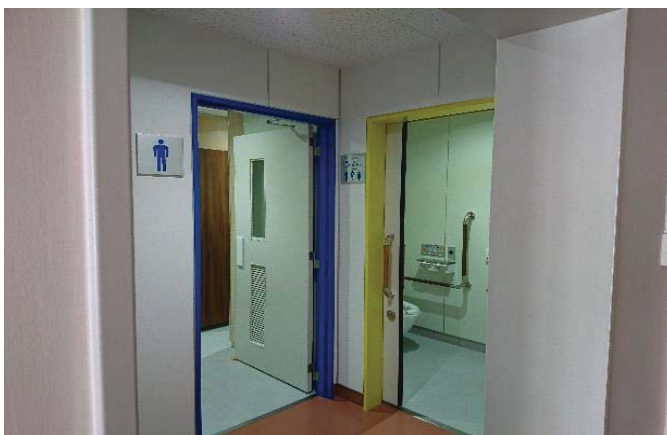


大学会館A館(小ホール)



【西地区】

医学食堂(女子トイレ・男子トイレ)



平砂学生宿舎共用棟 火災受信機・総合盤



【坂戸】

附属坂戸高等学校総合実習棟コンピュータ室B空調設備改修工事



【井川コウノイタ】

管理・学生宿泊棟耐震改修工事



(2) 施設所在地



遠隔地

- ① 菅平高原実験センター
- ② 八ヶ岳演習林
- ③ 附属坂戸高等学校
- ④ 戸田艇庫・合宿所
- ⑤ 附属聴覚特別支援学校
- ⑥ 山中共同研修所
- ⑦ 井川演習林
- ⑧ 下田臨海実験センター
- ⑨ 館山研修所
- ⑩ 附属久里浜特別支援学校

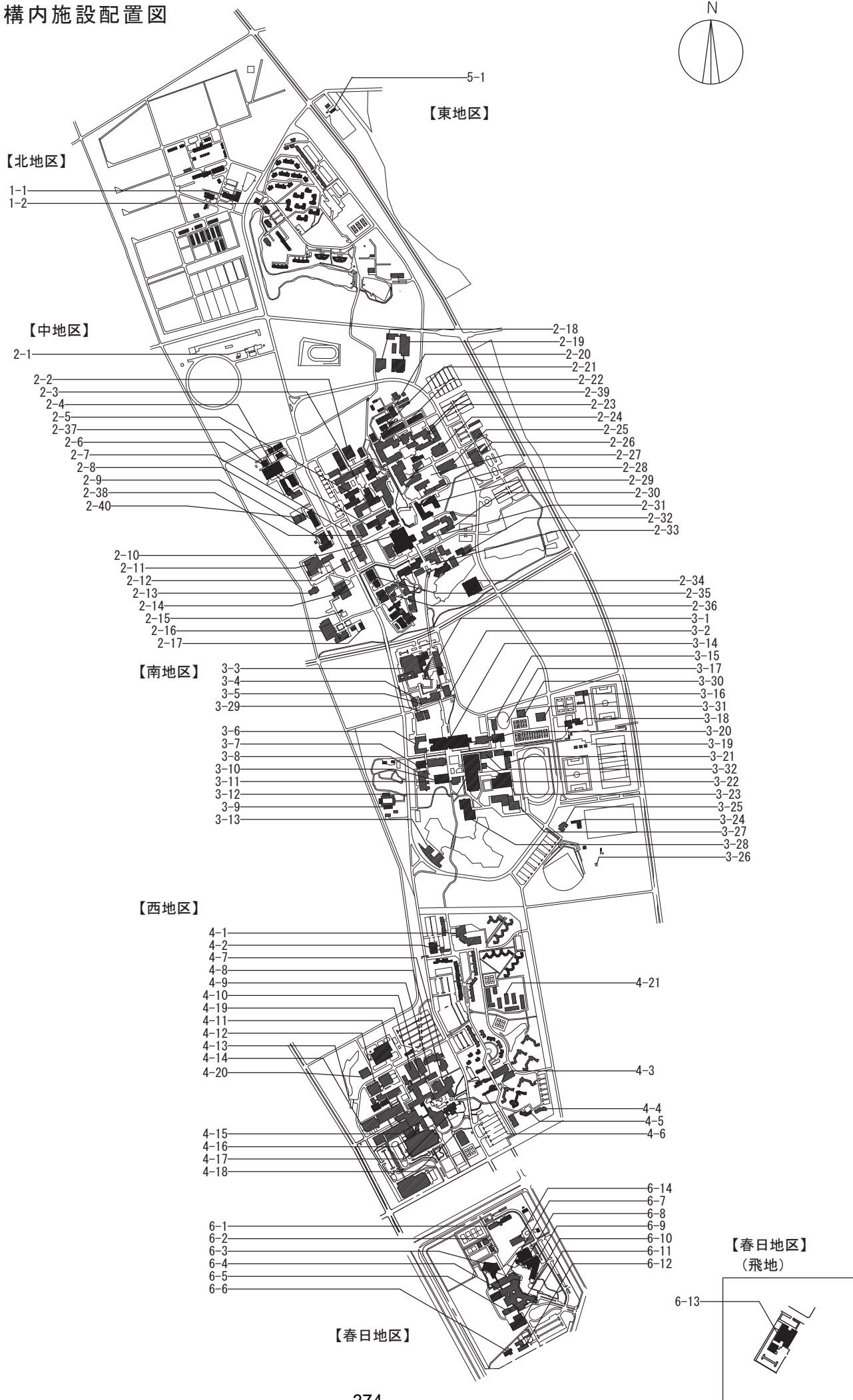


東京都内

- ① 附属桐が丘特別支援学校
- ② 附属視覚特別支援学校
- ③ 東京キャンパス文京校舎
- ④ 附属中学校  
附属高等学校
- ⑤ 附属大塚特別支援学校
- ⑥ 附属駒場中学校  
附属駒場高等学校



(3) 大学構内施設配置図



(4) 施設整備状況

地区 番号	建 物 等	構 造 階 数	建築面積	延面積	整備年度	備 考
			m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
【北地区】						
1-1	農林技術センター・農場施設	鉄筋2階, 他	8,805	9,202	昭48,49,51,52,56,57,平2,16,27	車庫含 1,466戸
1-2	一の矢学生宿舎, 同共用棟	鉄筋4・5・8階, 他	11,517	40,467	昭51,52,61,62, 平2,5,8,9,21,24,25,26,27,28,29	
【中地区】						(定員1,795)
2-1	アイソトープ環境動態研究センター	鉄筋2階, 鉄骨2階, 鉄骨1階	2,617	2,807	昭51,平18	
2-2	第3体育館	鉄骨1階	1,224	1,219	昭54	
2-3	第3エリア	鉄筋3・4・5階	10,677	38,987	昭51,52,53,58, 平5,6,7,8,19,20,27,28,29	
2-4	プラズマ研究センター	鉄骨鉄筋3階・地下1階, 他	3,150	6,432	昭55,56,62,平8	
2-5	工学系学系棟	鉄骨鉄筋12階・地下1階, 他	6,245	32,186	昭52,53,54,平2,3,5,6,25,26	
2-6	理科系棟	鉄筋5階	2,545	8,473	昭51,53,57,平25,26	
2-7	ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー	鉄筋4階	527	2,017	平7,8	
2-8	研究基盤総合センター(工作部門)	鉄筋1階, 鉄骨1階	898	889	昭52,58	
2-9	研究基盤総合センター(低温部門)	鉄筋1階	1,532	1,460	昭51	
2-10	中央図書館	鉄筋5・6階	4,942	19,092	昭52,53,平3,5,6,20,21,22,27,29	
2-11	研究基盤総合センター(応用加速器部門) ・共同研究棟C・プロジェクト研究棟	鉄筋9・3階, 鉄骨4階	3,174	7,697	昭48,49,52,平21,29	
2-12	総合研究棟B	鉄骨鉄筋12階・地下1階	1,816	17,641	平15	
2-13	研究基盤総合センター(分析部門)	鉄筋2階	495	819	昭52	
2-14	研究基盤総合センター	鉄筋2階	1,859	2,588	昭52,56,平25	
2-15	水銀廃棄物保管庫	鉄骨1階	121	119	昭60	
2-16	中央機械室(中)	鉄筋2・3階	3,152	5,474	昭48,49,50,平3,25,27,28	
2-17	無機系廃液処理施設	鉄筋2階, 鉄骨1・2階, 他	458	648	昭50,55,57	
2-18	産学リエゾン共同研究センター	鉄筋3階	1,002	3,056	平15	
2-19	生命領域学際研究センター	鉄筋2・3階	4,336	6,957	平7,8,9,24,25,28,29	
2-20	遺伝子実験センター・温室	鉄筋2・4階, 鉄骨1階	3,038	5,643	昭58,60,平13,15,17,18,19, 20,21,23,24,25	
2-21	生物・農林RI研究棟	鉄筋2階	352	580	昭58	
2-22	バイオシステム研究科棟	鉄筋5階	827	4,108	平7,8	
2-23	生物・農林学系棟	鉄骨鉄筋8階, 他	4,659	23,381	昭50,51,52,53,平8,9,25,28,29	
2-24	第1体育館	鉄骨1階	1,552	1,541	昭51	
2-25	総合研究棟A	鉄骨鉄筋7階	1,662	9,286	平14	
2-26	本部棟	鉄骨鉄筋8階, 他	3,340	9,877	昭50,51,57,平25,26,27	車庫等含
2-27	第2エリア	鉄骨鉄筋2・3・5階, 他	10,082	29,259	昭49,50,51,60,62,平25,26,28	
2-28	文科系修士棟	鉄筋4階	1,738	6,235	昭50,53	
2-29	人間系学系棟	鉄筋5階	3,514	12,026	昭51,52,53,54	
2-30	共同研究棟A・共同利用棟A・D	鉄筋3・6階, 鉄骨2階	1,876	6,785	昭54,平18,25,26	
2-31	人文社会学系棟	鉄骨鉄筋8階	2,814	14,416	昭50,51,平3,25,26,27	
2-32	文科系サークル館	鉄筋3階	805	2,061	昭50,53	
2-33	第1エリア	鉄筋3・4・5階, 他	9,148	24,711	昭48,49,50,61,平22,25,26,29	
2-34	実験廃水処理施設(中)	鉄筋1階, 他	2,061	2,061	昭50	
2-35	計算科学研究センター	鉄筋1・3階	1,535	3,075	平4,5,6,18,26,28	
2-36	自然系学系棟	鉄骨鉄筋8階, 他	5,098	21,055	昭49,50,51,52,平25,26,27,28	
2-37	グリーンエネルギー実験・実証温室・カーボン ニュートラル実験実証設備建家・用途分 析・ビジネス解析室	鉄骨1階	676	676	平22,24	
2-38	サイバニクス研究棟	鉄筋4階	892	3,210	平22	
2-39	環境防災研究棟	鉄筋3階	407	1,198	平22	
2-40	エンパワーメントスタジオ大空間棟・実験棟	鉄骨1階	1,087	1,087	平26,27	

地区 番号	建 物 等	構 造 階 数	建築面積	延面積	整備年度	備 考
			㎡	㎡		
【南地区】						
3-1	大学会館	鉄筋4階	5,315	11,890	昭49,50,57,58,59,平27,29	
3-2	保健管理センター	鉄筋2階	667	1,186	昭48,49,平26	
3-3	講堂・留学生センター・総合交流会館	鉄骨鉄筋4階, 鉄骨2階	4,360	5,908	昭53,54,平18,25,28,29	
3-4	学術情報メディアセンター	鉄筋2・3・4階・地下1階, 他	1,761	5,202	昭49,50,54,平5,6,28	
3-5	外国語・学術情報メディアセンター	鉄筋5階	1,589	5,253	昭50	
3-6	芸術学系棟・建築デザイン実習棟	鉄筋6階, 木造1階	1,335	5,513	昭51,52,平17,21,22,26	
3-7	6A棟・6B棟	鉄筋4階	2,237	7,433	昭50,57,平26	
3-8	芸術学系棟(工房)	鉄筋2階	1,638	2,055	昭51,52	
3-9	開学記念館	木造1階	991	928	昭50	
3-10	体芸図書館	鉄骨4階, 他	1,059	3,516	昭47,48,平7,8,24,28	
3-11	体芸食堂	鉄筋3階	677	1,214	昭48	
3-12	中央体育館	鉄骨鉄筋4階	3,192	6,280	平25	
3-13	総合研究棟D	鉄骨鉄筋7階	2,470	15,108	平15,28	
3-14	5C棟・建築デザイン実習棟	鉄骨鉄筋6階・地下1階, 鉄骨1階	4,279	18,090	昭47,48,平	
3-15	共同研究棟B	鉄筋2階	515	1,000	昭52,平28	
3-16	弓道場	鉄骨1階	591	577	昭49,55,56,57	
3-17	体育総合実験棟	鉄筋3階	1,679	3,508	平15,29	
3-18	合宿所	鉄骨鉄筋2階	791	1,497	昭47	
3-19	体育グラウンド施設				昭46,47,48,57	
3-20	体育科学系棟	鉄筋6階	2,050	10,695	昭49,52,53,平20,21	
3-21	体育センター・体育系サークル館	鉄筋2階	1,936	3,111	昭48,49,51,平2	
3-22	サイクリング実習棟	鉄骨1階	267	249	昭62	
3-23	屋内プール	鉄筋2階	2,497	2,778	昭53	
3-24	課外活動練習施設	鉄骨1階	527	414	昭61	
3-25	クラブハウス	鉄筋2階	381	500	昭55	
3-26	野外活動実習管理棟	木造2階	48	69	平15	
3-27	武道館	鉄筋2階	2,376	4,611	昭52,平25,29	
3-28	球技体育館	鉄骨1階	2,021	2,011	昭53,平26	
3-29	国際講義棟	鉄筋2階	278	500	平23	
3-30	T-Dome	鉄骨1階	495	495	平23	
3-31	スポーツ流体工学実験棟	鉄骨1階	810	899	平23	
3-32	グローバルスポーツインノベーション棟	鉄筋4階	1,022	3,154	平28	
【西地区】						
4-1	平砂学生宿舎, 同共用棟	鉄筋2・3・4階	8,948	26,802	昭48,49,平21,22,23,24,25,26,29	1,324戸
4-2	レジデント宿泊施設	鉄筋6階	1,188	4,611	昭54,平20	110戸
4-3	追越学生宿舎, 同共用棟	鉄筋2・4・5階	7,357	24,062	昭49,50,平3,11,21,26,29	1,025戸
4-4	外国人教師等宿泊施設	鉄筋3階	310	900	昭53	12戸
4-5	客員研究員等宿泊施設	鉄筋3階	346	892	昭52,平7	20戸
4-6	看護師宿舎	鉄骨鉄筋8階, 他	2,577	12,207	昭50,51,52,55,平5,6,7,8,20,28	313戸
4-7	4B棟・共同利用棟B	鉄筋2・5階, 鉄骨2階, 他	3,484	7,858	昭53,55,平15,16,18,24	
4-8	4A棟	鉄筋4階	3,228	9,594	昭48,49,平3,20,21,25,27	
4-9	医科学棟	鉄骨鉄筋3階	427	1,234	昭54,平25	
4-10	医学系学系棟	鉄骨鉄筋9階・地下1階, 他	3,271	25,627	昭50,51,52,平25,26,27,28	
4-11	中央機械室(西)	鉄筋2階	2,931	3,196	昭48,49,平24,25,27	
4-12	生命科学動物資源センター	鉄筋5階	2,449	9,159	昭52,53,平17,25	
4-13	実験廃水処理施設(西)	鉄筋1階・地下1階	185	1,220	昭50	
4-14	陽子線医学利用研究センター	鉄筋2階, 地下1階	2,142	5,138	平11,13	
4-15	附属病院	鉄骨鉄筋6・12階・地下1階, 他	24,073	121,255	昭48,49,50,51,54,55,61,62, 平3,4,5,11,12,13,14,21,24,26	800床
4-16	医学図書館・臨床講義室	鉄筋3階	2,157	4,499	昭51,52,平26	
4-17	医学食堂	鉄筋2階	959	1,270	昭50,平29	
4-18	第2体育館	鉄骨1階	1,221	1,218	昭53	
4-19	健康医科学インノベーション棟	鉄骨鉄筋8階	1,101	7,501	平22	
4-20	睡眠医学研究棟	鉄骨6階	1,444	7,989	平26,27	
4-21	グローバルビレッジ	鉄筋2・3階	2,796	7,708	平28	

地区 番号	建 物 等	構 造 階 数	建築面積	延面積	整備年度	備 考
			m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
【東地区】						
5-1	厩舎・堆肥舎	鉄骨1階	297	263	昭59,平17,19	
【春日地区】						
6-1	春日1・2号棟	鉄筋5階	596	2,906	昭55,56,平6,11,23,24	160戸
6-2	トレーニング室	鉄骨1階	100	100	平6	
6-3	春日講堂	鉄筋2階	1,188	1,046	昭60	
6-4	7C棟	鉄筋2階	440	878	平8	
6-5	7D棟	鉄筋5階	229	1,118	平8	
6-6	春日宿泊施設	鉄筋2階	233	423	昭58	8戸
6-7	7A棟	鉄筋2階	1,304	2,592	昭54,平29	
6-8	第4体育館	鉄筋1階	1,056	1,050	昭55,平26	
6-9	春日福利厚生棟	鉄筋2階	1,238	1,829	昭55	
6-10	図書館研究管理棟	鉄筋5階	3,615	8,744	昭56,平13,27,28	
6-11	情報メディアユニオン	鉄筋4階	1,128	3,372	平13	
6-12	春日3号棟(留学生)	鉄筋4階	382	762	昭63	20戸
6-13	春日プラザ・車庫	鉄筋4階・鉄骨1階	1,332	4,252	平22	
6-14	高細精医療イノベーション棟	鉄骨鉄筋5階	1,381	6,088	平26	
手代木	外国人教師等宿泊施設 客員研究員宿泊施設	鉄筋2階	1,870	2,547	昭57(所管替)	22戸
東京	東京キャンパス文教校舎	鉄筋6階, 地下1階, 他	3,875	16,049	平23	
【附属学校】						
大塚3丁目	附属小学校	鉄筋1～3階, 鉄骨1階, 木造1階	4,313	9,680	昭52(所属替),56,57,62, 平6,10,25,26,27	
大塚1丁目	附属中学校、附属高等学校	鉄筋1～3階, 鉄骨1階, 他	8,408	16,483	昭52(所属替),55,60, 平5,8,21,26,27,29	
池尻	附属駒場中学校、附属駒場高等学校	鉄筋1～3階, 鉄骨1階, 他	6,361	11,040	昭52(所属替),53,55,63, 平2,3,11,21,26,27	
坂戸	附属坂戸高等学校	鉄筋1・3階, 鉄骨1階, 他	10,974	17,625	昭52(所属替),53,55,56,58,61, 平6,8,10,26,27,28,29	
目白台	附属視覚特別支援学校	鉄筋2・4・5階, 鉄骨1階, 他	4,222	12,325	昭52(所属替), 平6,7,8,25,27,28	
国府台	附属聴覚特別支援学校	鉄筋1～4階, 鉄骨1階, 他	6,937	14,510	昭52(所属替),53,55, 平3,5,12,15,26,27	
春日	附属大塚特別支援学校	鉄筋1～3階, 鉄骨1・3階, 他	1,715	3,858	昭52(所属替),59,平10,15,27	
小茂根2丁目	附属桐が丘特別支援学校(本校)	鉄筋1～3階, 鉄骨1階	4,493	6,339	昭52(所属替),58,63, 平元,26,27	
小茂根1丁目	附属桐が丘特別支援学校(併設学級)	鉄筋2階	1,493	3,444	昭52(所属替),平26	
野比	附属久里浜特別支援学校	鉄筋1～3階	4,708	5,132	平16(所属替),28	
埼玉	戸田艇庫・合宿所・土方リユニオンホール	鉄筋2階, 他	398	676	昭52(所属替),平23	
千葉	館山研修所	鉄筋2階, 他	583	949	昭50( " ),57,平22	定員53
山梨	山中共同研修所	鉄筋2階, 他	705	1,177	昭52( " ),平3,8,22,28,29	定員76
長野	八ヶ岳演習林	鉄筋1階, 他	1,164	1,151	昭50( " ),63,平6,21,27	
〃	菅平高原実験センター	鉄筋2階, 他	1,063	2,459	昭53( " ),53,56,59, 平11,25	
静岡	下田臨海実験センター	鉄筋2階, 他	2,129	3,931	昭51( " ),53, 平11,21,26,28	
〃	井川演習林	鉄骨1階, 他	589	586	昭50( " ),平3,29	